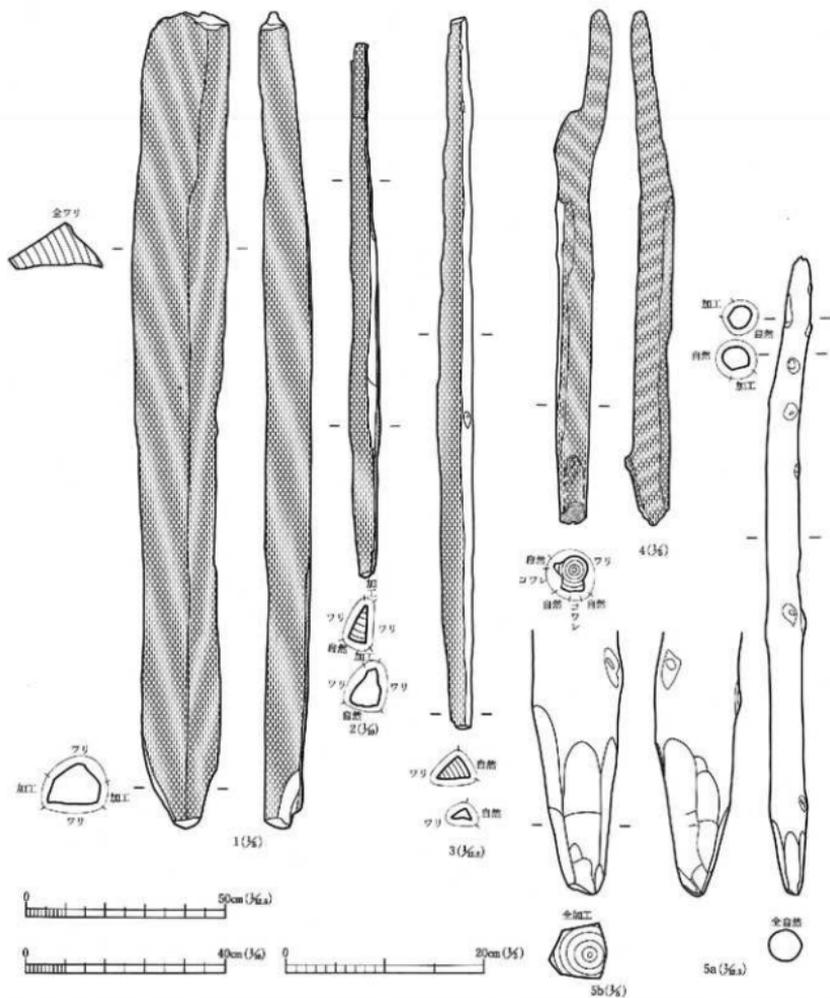


発掘 層位	山 番	品 番	種別	器 種	地 層	区 画	出土番号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考					産 地	木取り	時期	写真図版
								全長	幅・径	厚	重	備 考				
VI	L-585	材	板	材	VI	区	6材4	全長 44.6	幅・径 5.0	厚 1.9				ナラ	平安	
VI	L-588	材	分割材	材	VI	区	6材7	22.4	1.4	1.2	先端加工				平安	
VI	L-583	材	分割材	材	VI	区	6材1	89.0	4.2	1.6					平安	
VI	L-587	材	丸	材	VI	区	6材6	21.3	3.5	3.1	先端加工			志保丸	平安	
VI	L-592	杖	角	杖	VI	区	6杖5	全長 127.9	幅・径 11.2	厚 4.8	先端加工 3箇所				平安	337-5
VI	L-591	杖	角	杖	VI	区	6杖7	162.3	9.8	7.8					平安	337-4

第302図 VI区河川跡6層出土木製品類2



図中番号	発掘番号	類別	器種	法編	区別	取上番号	法 量 ・ 材 質 ・ 備 考					副 種	本取り	時期	写真図版
1	I-594	杖	刺 杖	VI 区 編	区 別	6 杖 9	全 長	軸 ・ 径	厚	先端加工				平安	
2	L-595	杖	刺 杖	VI 区 編	区 別	6 杖 10	109.5	6.1	7.6	2面1段			平安		
3	L-596	杖	刺 杖	VI 区 編	区 別	6 杖 3	182.0	8.5	5.5				平安	337-6	
4	L-593	杖	刺 杖	VI 区 編	区 別	6 杖 8	52.4	3.3	3.6				平安		
5	L-597	杖	丸 杖	VI 区 編	区 別	6 杖 4	182.5	8.9	8.6	5面半段			平安	337-10	

第303図 VI区河川跡6層出土木製品類3

回転糸切り無調整である。第300図8の体部には判読不明の墨書がある。

瓦は、丸瓦片6点と平瓦片2点がある。丸瓦はいずれも粘土紐巻き造りで、凹面は布目、凸面は縄叩き後クロロ調整されている。平瓦は、凹面は布目、凸面は縄目調整のみのものと縄目調整後ナデ調整されるものがある。

木製品は、矢・円板・その他不明品が出土している。矢(第301図2)は、木製の籬の基部と矢柄の先端部の接続部分の破片で、矢柄の先端部には桜の樹皮と見られる紐が8回ほど巻かれている。籬の部分は芯無丸材で矢柄に挿入する部分はやや細く削られ、紐巻きとの境には僅かな段がある。

円板(第301図1)は、直径13cmの柾目の板材で、木目に沿って半分に分れている。残存部縁辺には1カ所に小孔が開けられている。

不明品のうち第301図3は、断面形が蕪餅型的全長14.9cmの角材で、中央部がやや膨らむ。第301図4は、全長25.4cmの楔状の角材で、尖っている方と反対側の端部は頭状に加工されている。

材には、建築材(第301図5)と板材(第301図6・7、第302図1)・分割材(第302図2・3)・丸材(第302図4)がある。建築材は残存長156cm・直径9.2cmの芯持丸材で、残存する木口面は平坦に加工され、その木口からから21cmのところには縦6.5cm・横4.0cm・深さ約2cmの方形のホゾ穴が開いている。

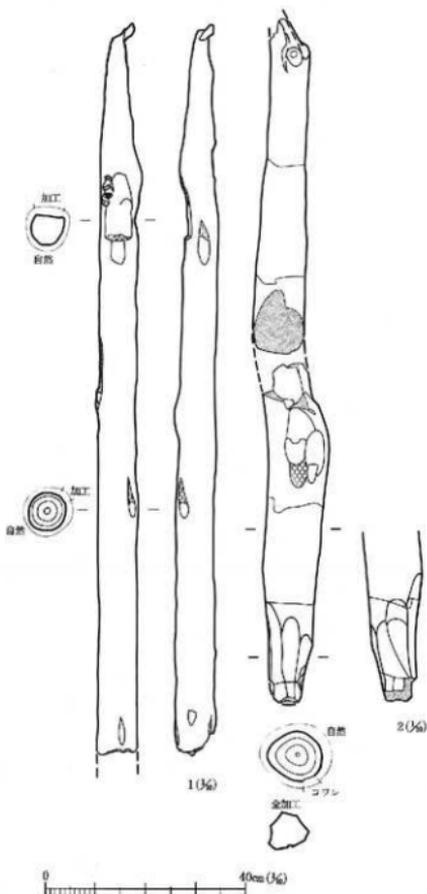
板材には、柾目板(6)、板目板の厚板(7)、ナナメの端板(1)がある。分割材は、2点とも割り面だけの材で、他に加工は認められない。丸材は、芯持材で、残存する木口には切断痕と考えられる加工痕がある。

## 7 7層検出遺構と出土遺物

### 1) 堆積土の状況と検出遺構

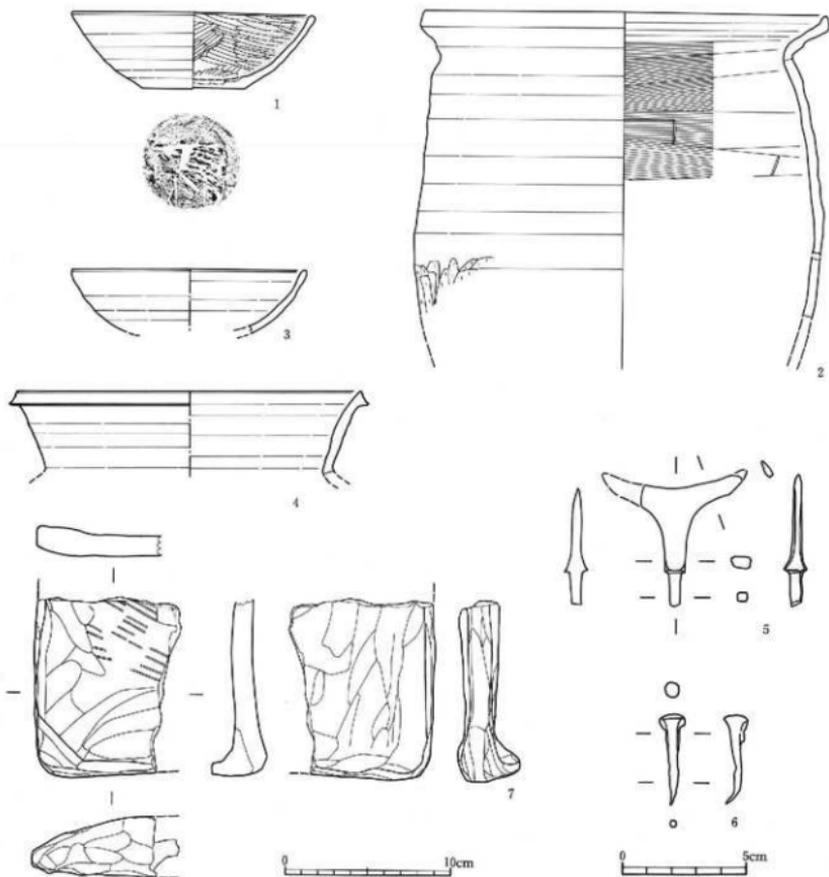
7層は、締まりのない灰オリブ色の泥状の粘土層で、河川跡の中央部から南岸斜面分布する。北側斜面には分布せず、6層の最深部付近では、6層堆積時に浸食を受けて無くなった可能性がある。層厚は5～15cmで、場所により厚さが異なり、底面に起伏がある。

検出遺構としては、杭が6本ある。



検出遺物	遺物番号	種類	用途	検出区	出土番号	長さ	直径	厚さ	加工	備考	層	木取り	時期	写真図版
1	L-883	板	丸板	VI区南	6検1	全長149.2	8.1	8.1	先端加工	矢柄		芯持丸	平安	
2	L-500	板	丸板	VI区南	6検5	139.0	11.1	19.0	7面多段			芯持丸	平安	

第304図 VI区河川跡6層出土木製品類4



河川 遺跡 番号	遺跡 種別	出土 層位	出土地点		出土品				特徴・備考		年代	時期	写真 図版
			流域	遺跡	層位	取上げ号	全長	幅・厚	重量	外			
1	D-25	土器層	坪	VIK	7層	土器知1	4.7	14.4	6.1	ロタロ製。腹部右側糸切り	黒色灰胎、ヘタミガキ	平安	232-2
2	D-24	土器層	壺	VIK	7層	土器知2	8.0	24.0		ロタロ製。鉢部下半ヘタミガキ	ロタロ製	平安	232-1
3	E-5	土器層	坪	VIK	7層		13.9	14.0		ロタロ製	ロタロ製	平安	
4	E-6	土器層	壺	VIK	7層		13.9	20.8		口縁部のみロタロ製	ロタロ製	平安	224-2
河川 遺跡 番号	遺跡 種別	出土 層位	出土地点		出土品				特徴・備考		素材	時期	写真 図版
5	N-5	灰 層	壺	VIK	7層		5.4	4.0	0.9	黒胎		平安	340-5
6	N-6	灰 層	壺	VIK	7層		3.7	1.6	1.6			平安	340-6
7	P-4	土器品	不明	VIK	7層		31.0	8.8	1.3	外周平行タタキのちナア、内面ナア		平安	322-8

第305図 VI区河川跡7層出土遺物1

## 2) 杭列

7層の6本の杭は、VI区西部にある。杭1・2は、VI区西部中央付近の河川跡の中程に、流路と平行して約65cmの間隔で並ぶ。杭1(第307図7)は、先端を欠損するが残存長が72.3cmの芯持丸材である。杭2(第308図1)は、全長97.4cmの芯持丸材で、先端は全周の3/4の面から加工されて尖っている。

杭3～6は、VI区西端部の河川跡中央部にあたるところで検出された(第298図)。4本の杭は、河川流路に直交する方向に長軸をもって長方形に配置されている。長軸方向の間隔は、杭3—約125cm—杭4、杭6—約130cm—杭7である。短軸方向の間隔は、杭3—約35cm—杭6、杭4—約40cm—杭5である。配置や間隔は良く整っており、計画的に配置されたものであることは理解されるが、機能については明らかでない。杭材は、4本とも芯持丸材で、杭3(第308図3)は、残存長68.4cmを測り、先端は大別すると2面から加工されて尖っている。大別2面のうち1面は袈裟状の段差があり、建築材からの転用の可能性もある。杭4(第308図2)は、両端を欠損するが、残存長は90.1cmを測る。杭5(第307図9)は、先端を欠損するが残存長111.8cmの長い杭である。杭6(第307図8)は、全長207.5cmの長い杭で、先端は切断の際の加工により尖っている。

以上のように、6層で検出された杭は、数は少ないがいずれも芯持丸材で、長さが長く、直径が比較的太いものが使用されているという傾向が認められる。

## 3) 遺物出土状況と出土遺物

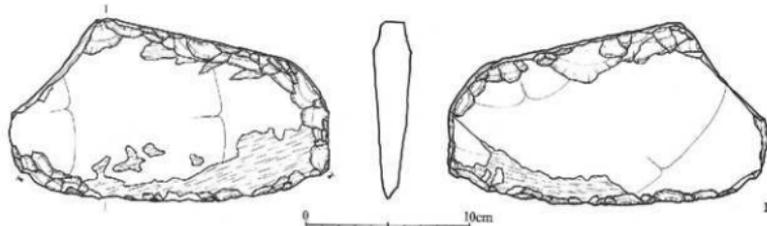
7層からの出土遺物は6層よりもさらに少ない。少ないなかでも木製品類は、VI区東部の東壁際から出土した木製品(7層木製品3の下駄)を除くと、VI区西部中央付近の河川跡の中央部にあたるところから散在しながら出土している(第298図)。

出土遺物には、土師器・須恵器・瓦・板状石器・金属製品・土製品・木製品・材がある。土師器は、回転糸切り無調整の環(第305図1)と、ロクロ調整の甕で、頸部が括れ、口縁が強く外反した後端部が立ち上がり受口風になるもの(第305図2)のほか、非ロクロ土師器片13点とロクロ土師器片2点が出土している。

須恵器は、体部から口縁部まで内湾しながら立ち上がり、口径に対して底径が小さいと推定される環(第305図3)と、甕の口縁部片(第305図4)のほか、底径の大きな糸切り底の環の底部片が1点出土している。

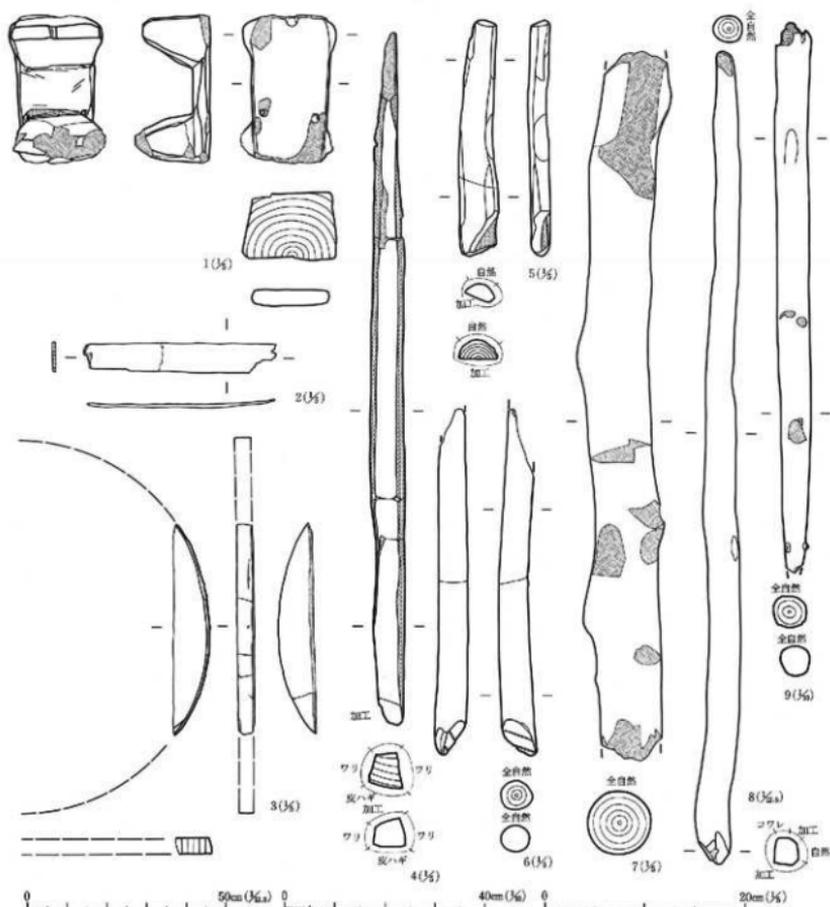
瓦は、丸瓦片2点と平瓦片2点が出土している。丸瓦は、2点とも粘土紐巻き造りで、凹面布目、凸面ロクロ調整される。平瓦は、調整の分かれる1点は、凹面布目後ナブ、凸面鈍叩き調整される。

板状石器は、全長19.3cmを測り、刃部と背面に剝離調整が加えられ、両面には磨面がある(第306図1)。弥生時代の遺物の混入と考えられる。



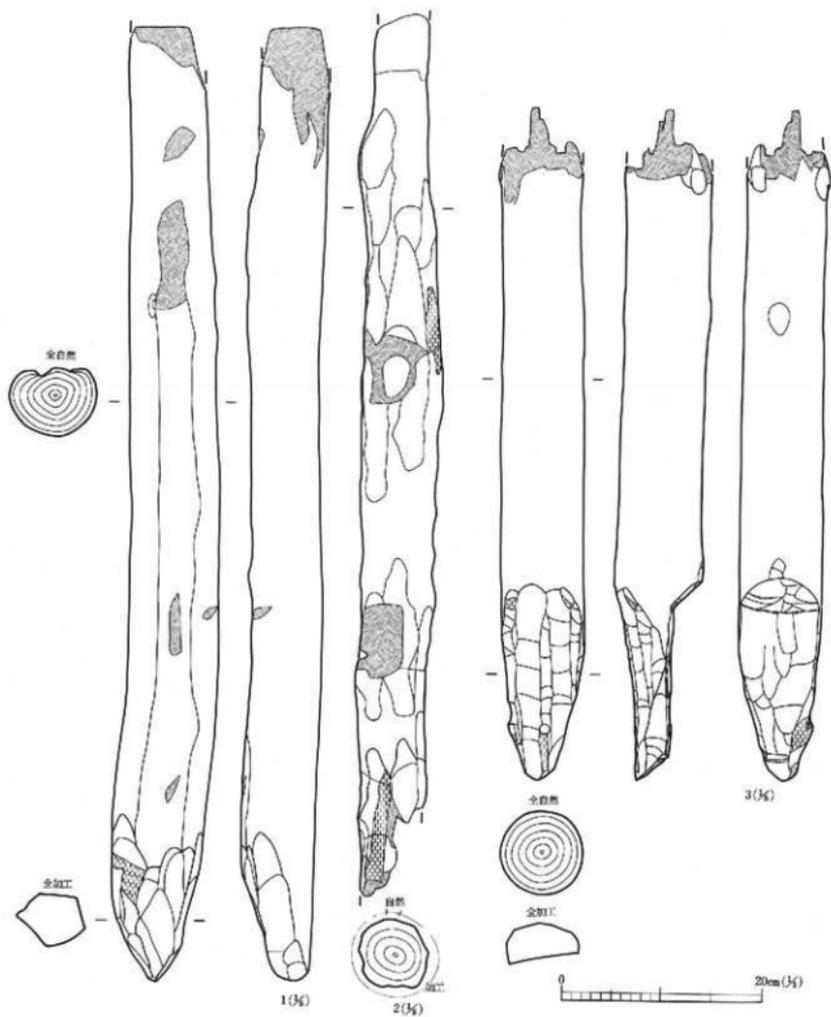
図中 番号	発掘 番号	類別	器種	出土 地区	遺構 名	層位	出土 位置	取上 番号	全長	軸 径	厚さ	重量	特徴・備考	素材	時期	写真 図版
1	K-73	石器	板状石器	VI区	河川跡	7層			72.3	10.9	2.3	625.6	一端-両面、a面有1線跡	炭山岩		249-2

第306図 VI区河川跡7層出土遺物2



図中 番号	発 掘 層	種 類	地 区	取 上 層 位	法 定 ・ 特 徴 ・ 備 考						尺 寸	木 取 り	材 質	写 真 図 版		
1	L-606	木製品	遺 跡 下 敷	VI 7 区 跡	7木3	全 長 15.1	身 幅 3.2	身 厚 1.8	面 幅 3.4	面 長 5.2	面 厚 5.2		ナリ	板 目	平安	260-7
2	L-599	木製品	御 藏 敷	VI 7 区 跡	7木2	全 長 19.4	幅 3.6	厚 0.4					ナリ	板 目	平安	
3	L-598	木製品	円 板	VI 7 区 跡	7木1	21.6	3.8	1.6	推定径元部 38.8					板 目	平安	265-11
4	L-604	材	分 割 材	VI 7 区 跡	7材4	全 長 79.7	幅 3.2	厚 3.6							平安	
5	L-603	材	平 面 材	VI 7 区 跡	7材3	24.0	4.0	1.9							平安	
6	L-801	材	丸 材	VI 7 区 跡	7材1	35.1	3.2	3.0	先端切削面					芯持丸	平安	
7	L-809	杖	丸 杖	VI 7 区 跡	7杖1	全 長 72.3	幅・径 6.5	厚 6.3	先端加工					芯持丸	平安	
8	L-611	杖	丸 杖	VI 7 区 跡	7杖6	207.5	8.0	8.9	4箇1段					芯持丸	平安	338-3
9	L-608	杖	丸 杖	VI 7 区 跡	7杖5	111.8	6.7	6.2						芯持丸	平安	

第307図 VI区河川跡7層出土木製品類1



山 番 号	器 种	種 別	形 種	出 土 区 画	取 上 番 号	法 量 ・ 材 質 ・ 備 考				樹 種	本 取 り	埋 藏	写 真 図 版	
1	L-607	杖	丸杖	VI 区 層	7枚2	全長 97.4	幅・柄 8.8	厚 6.8	全加工 4箇所段			芯棒丸	平安	338-2
2	L-610	杖	丸杖	VI 区 層	7枚4	90.1	6.9	6.9				芯棒丸	平安	
3	L-606	杖	丸杖	VI 区 層	7枚3	88.4	8.3	8.4	多面多段 狭5			芯棒丸	平安	338-1

第308図 VI区河川跡7層出土木製品類2

金属製品としては銅鉄と鉄釘が各1点出土している。銅鉄(第305図5)は、股が大きく開いた雁股鍔で、身の基部は両主面側に広がる。茎は身部よりも細く作られ、身部との境には段がつく。鉄釘(第305図6)は、全長が3.7cmあり、先端は曲がっている。長さに対して太く、且つ頭が大きい釘であるが、風化が著しいために、角釘か丸釘かは不明である。

土製品(第305図7)は、板状を呈する製品の角の部分の破片で、残存部の長辺は11.1cmを測る。残る側縁はいずれも肥厚する。長辺側の側縁は肥厚の割合は小さく、どの部分も同じような割合で厚くなる。これに対し、短辺側は、角から中心に向かって肥厚の割合を大きくし、長辺側の側縁より厚く肥厚する。中心側の厚さ1.2cm、長辺側の縁辺厚1.8cm、短辺側の縁辺厚3.7cmを測る。

木製品には、下駄・曲物側板・円板がある。下駄(第307図1)は、連歯の高下駄で、台部は爪先側が広く作られている。歯は、根元が厚く先が薄く作られるが、幅は歯先が広く根元が狭く作られている。台部の両端は、前後の歯の先から、それぞれ爪先部分と踵部分を欠損する。このため、鼻結孔は半分が残るだけである。

曲物側板(第307図2)は、全長19.4cm・幅3.0cmの断片で、表面には刻み線はない。

円板(第307図3)は、直径38.2cmに復元される径目の板材である。木目に沿って割れ、幅3.8cmだけが残る。縁辺は直に切り落とされている。

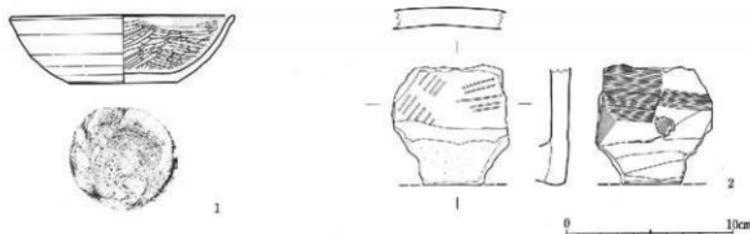
材には、分割材(第307図4他L-602・605)・半裁丸材(第307図5)・丸材(第307図6)がある。分割材は、割面だけで特に加工は認められないものである。半裁丸材は、芯持丸材を半裁した後に、割面に接する側面に加工を施している。丸材は片側の木口に、切断によるものと考えられる加工があり、先端が杭状に尖っている。

## 8 8層検出遺構と出土遺物

### 1) 堆積土の状況と検出遺構

8層は、7層と同じような締まりのない泥状の粘土層で、土色はオリープ黒色に変化する。河川跡の南岸から北岸の立ち上がり部分にかけて分布する。北側斜面には、7層と同様に6層の堆積時に浸食を受けたものか、分布していない。土層は、河川跡の中央付近が盛り上がるように堆積しており、層厚は45cm前後ある。中央から南岸にかけても厚く堆積し、30~40cmの厚さがある。これに対して北岸に寄ると徐々に薄くなり20~10cmの厚さとなる。

8層から検出された遺構はない。



図中 番号	発掘 番号	種類	形状	出土地点				法 量				特 徴・備 考		分類	群 類	写真図版
				地区	通稱	層位	取上番号	長さ	口径	直径	外 面	内 面				
1	D-26	土製器	杯	VI区	8層	土製%1	4.2	12.4	6.6	ロタロ製。長形石臼軸系切り	凹色処理、ヘラミダキ			平安	Z32-1	
2	P-5	土製品	不 明	VI区	8層		0.9	7.2	1.1	外面平行タタキ、内面ナデの丸ヘラナデ			平安	342-9		

第309図 VI区河川跡8層出土遺物



## 2) 遺物出土状況と出土遺物

8層は、5層・6層・7層に比べて層厚は厚いが、遺物の出土量は極めて少ない。木製品類は1点も出土していない。

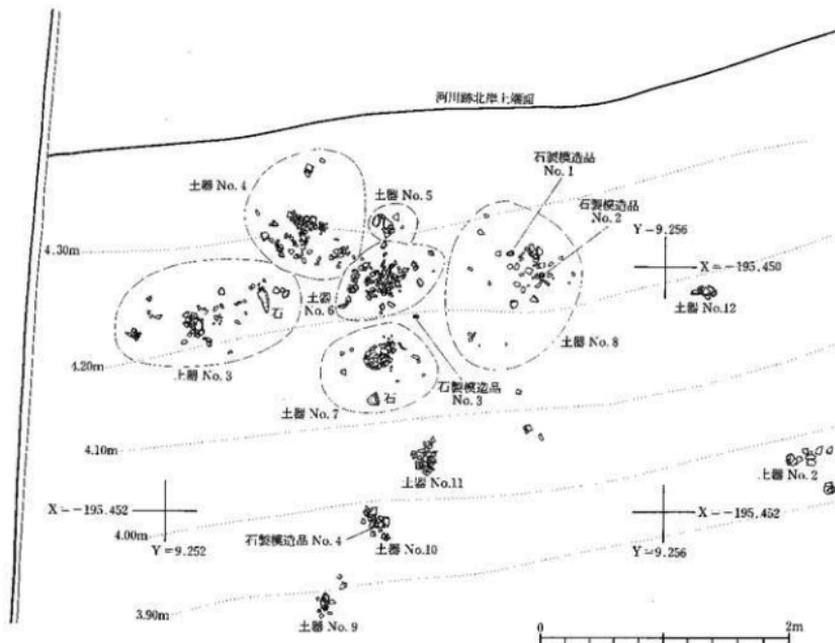
出土遺物には、土器器片2点と土製品が1点あるだけである。土器の2点は、完形に近いロクロ土器の坏1点(第309図1)と、要または櫃とみられる非ロクロ土器の体部から頸部にかけての破片である。坏は、回転糸切りされた後、底部の縁辺部を手持ちへラ削りしている。

土製品(第309図2)は、6層から出土した板状のものと同類似する製品の破片で、6層出土品の短辺部分にあたる破片と考えられるが、肥厚部分は張り付け面から剝落している。

## 9 9層検出遺構と出土遺物

### 1) 堆積土の状況と検出遺構

9層は、河川跡の北岸から南岸まで全体的に分布する。土性は黒色の泥炭質粘土を基本とするが、北岸斜面で中間に黒褐色の粘土層(9b層)を挟み、9a層・9b層・9c層の3層に細分される。9a層は、北岸斜面の中位から上位に分布し、層厚は中位で15cm前後、上位で5cm前後である。9b層は、北岸斜面の下位から上位まで分布し、層厚は5~10cmで比較的安定している。9c層は、河川跡の底面から北岸斜面の上位まで全体に分布し、層厚は、河川跡



第311図 VI区9層河岸上部遺物出土状況

底面で20～25cmである。9a層・9b層については、8層堆積時に浸食を受けている可能性が考えられる。

9層から検出された遺構には、杭が17本（杭2～18）ある。

## 2) 杭 列

9層で検出された杭は、全てVI区西部に位置し、河川跡の中央から北岸斜面の中位にかけて分布している。杭には、杭14・杭9・杭18・杭17のように単独で存在するものと、杭8-11-12-13、杭10-16、杭5-6-7、杭2-3-4のように数本の杭が接近して存在するものがある。接近して存在する杭の場合も、明確に列状に並ぶものはない（第310図）。

杭には、角杭3本・割杭2本・丸杭12本があり、丸杭の割合が高い。杭の形状と接近する杭との間には、明確な相互関係は認められない。角杭は、厚板状で全面が加工され、先端が両面から加工されて鈍く尖るもの（第316図1）と、断面が多角形を呈し、側面がほぼ全面加工され、先端も尖るもの（第316図2・3）がある。割杭は、樹皮面を除去したミカン割状の分割材の先端を尖らせたもの（第316図4）と、芯持丸材を1/3分割したもの（第316図6）がある。4の先端に近い部分には、抉り状の割り欠きがある。丸杭は、全て芯持丸杭で、表面全体が削られているもの（第318図1・2）、先端が対面する2面から加工されているもの（第317図3・7）、先端が直角に交わる2面から加工されているもの（第317図6、第318図3）、先端が1面から加工されるもの（第316図5、第317図5）、折れ面をそのまま先端とし、特に加工のないもの（第317図1・2・4）などがある。

## 3) 遺物出土状況

9層では、河川跡の底面から河岸斜面の中位にかけては木製品や材が出土し、河岸斜面の上位からは多数の土器と石製模造品が出土している（第310図）。木製品や材は、杭と同様にVI区の西部から出土しているが、その分布は散在的で、出土点数も少ない。木製品や材の出土層位は、9層木製品2（L-612）以外は、9c層に所属するが、9層木製品2については、細分層位を特定できなかった。

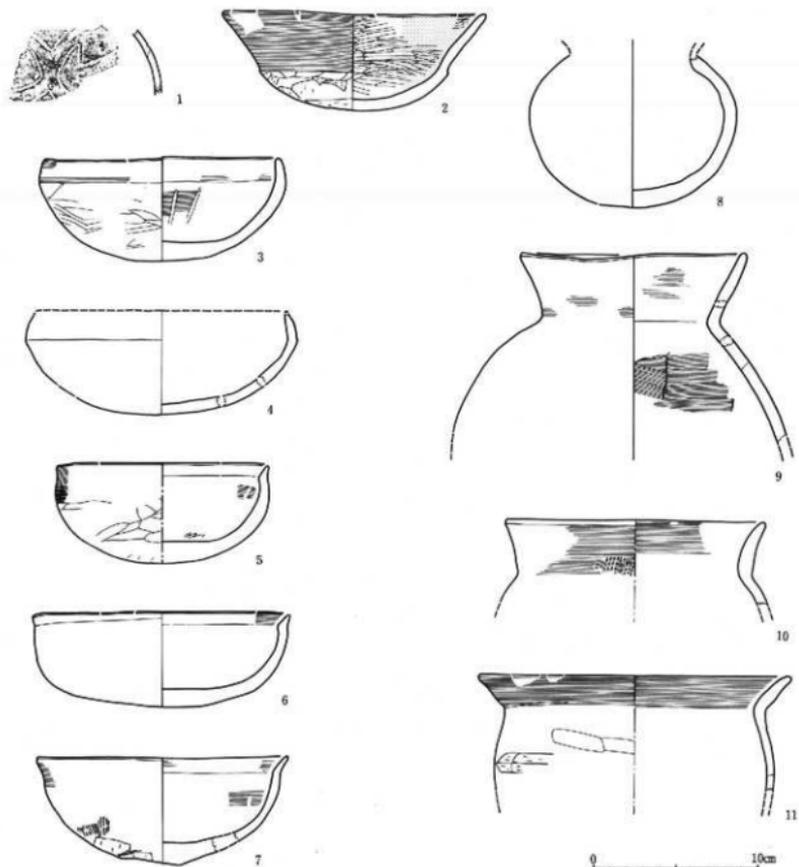
土器と石製模造品は、VI区東部の河川跡北岸上端付近の斜面の、東西・南北とも5mの範囲からまとまって出土している（第311図）。出土層位は、細分9b層および9c層中にあたる。土器は全て土師器で、潰れた状態でも散乱している。石製模造品は、これらの土師器片の中に散らばった状態で出土している。この遺物集中部からは、土師器と石製模造品の他に、大型の礫も2点出土している。

9層の河岸斜面上端付近からは、II区でも土師器が出土していることから、II区からVI区にかけの河岸斜面上端には、土師器やこれに伴う石製模造品が点在していることが推定される。

## 4) 出土遺物

9層からの出土遺物には、弥生土器・土師器・須恵器・石製模造品・木製品・材がある。弥生土器は、充填縄文手法による鑑形文のある壺の肩部の破片（第312図1）のほか、壺または甕の体部片が3点出土している。

土師器は、全てクワロを使用していないものである。9a層出土土師器と、9b層・9c層出土土師器では様相が異なる。9a層からは、河岸斜面の中位から壊れた状態で1個体分出土している。この壊は、底部は丸底で底部と体部の境が括れ、体部から口縁部にかけて大きく外反し、内面は黒色処理されている（第312図2）。型的には、住社式ないし栗形式（注3と同じ）に相当すると考えられる。これに対し、河川跡北岸上端付近から出土した9b層・9c層の土師器は、壊と壺と甕があるが、壊は内面が黒色処理されたものはない。壊の器形は、やや偏平な半球形の底部から体部に、内湾する口縁の付くもの（第312図3・4）と、同じく偏平な半球形の底部から体部に、短く外反する口縁が付き、内面の体部と口縁部の境に稜を形成するもの（第312図5～7）がある。これらの壊は、型的に



発見 年次	発見 番号	種別	形状	出土 地点	出土 層位	口径	高さ	容量	特徴・備考			分類	時期	写真 掲載	
									外	内	底				
1	B-87	陶器片	片	VIK	0層				断片。地文不明。					先史中期	171-1
2	C-76	土師器	杯	VIK	9層	土師No.2	6.1	15.9	10.4	口縁部：ヨコナガ 体部：ヘラズリのちコナガ	黒色加飾。ヘラとゴキ	III2	古墳前期	225-8	
3	C-78	土師器	杯	VIK	9層	土師No.1	6.4	14.2		口縁部：ヨコナガ、体部：ヘラとゴキ	口縁部：ヨコナガ 体部：ヘラズリのちヘラとゴキ	III2	古墳中期	222-7	
4	C-77	土師器	杯	VIK	9層		6.3	15.3		黒縁	黒縁	III2	古墳中期	224-8	
5	C-79	土師器	杯	VIK	9層	土師No.9	6.2	12.6		口縁部：ヨコナガのちヘラとゴキ 体部：ヘラメのちヘラとゴキ 底面：ヘラとゴキ	口縁部：ヨコナガ? 体部：ヘラズリのちヘラとゴキ	III3	古墳中期	222-10	
6	C-80	土師器	杯	VIK	9層	土師No.10	5.9	15.5		口縁部：ヨコナガ? 体部：ヘラズリのちヘラとゴキ	口縁部：ヨコナガ、体部：ヘラとゴキ	III3	古墳中期	222-11	
7	C-81	土師器	杯	VIK	9層	土師No.11	6.7	15.3		口縁部：ヨコナガのちヘラとゴキ? 体部：ヘラメのちヘラとゴキ 底面：ヘラズリのちヘラとゴキ	口縁部：ヨコナガのちヘラとゴキ 体部：ヘラズリのちヘラとゴキ	III3	古墳中期	222-2	
8	C-82	土師器	片	VIK	9層	土師No.5	6.4			黒縁	黒縁		古墳中期	220-4	
9	C-85	土師器	甕	VIK	9層	土師No.7	11.3	15.4		口縁部：ヨコナガ 体部：ハタメのちヘラとゴキ?	口縁部：ヨコナガ、体部：ヘラとゴキ		古墳中期	227-1	
10	C-84	土師器	甕	VIK	9層	土師No.8	8.3	15.6		口縁部：ハタメのちヨコナガ 体部：黒縁	口縁部：ヨコナガ、体部：黒縁		古墳中期		
11	C-82	土師器	甕	VIK	9層	土師No.12	7.0	18.9		口縁部：ヨコナガ 体部：ヘラズリのちコナガ	口縁部：ヨコナガ、体部：黒縁		古墳中期		

第312図 VI区河川跡9層出土遺物1

は南小泉式ないし引田式(注3に同じ)に相当すると考えられる。蓋は、球形の体部の破片(第312図8)が出土している。壺は、体部に丸みがあり、頸部が拵れ、口縁は厚みがあって外反するもの(第312図9~11など)が出土している。

須恵器は、壺の体部片1点が、9c層から出土している。

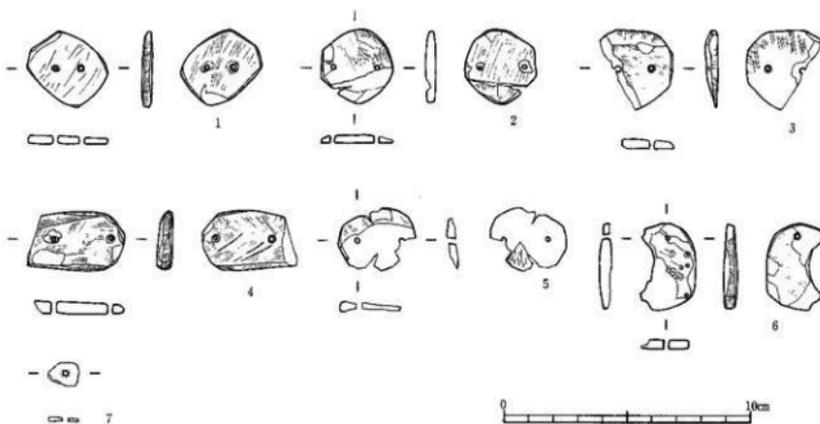
石製模造品は、2孔の開いた円板5点(第313図1~5)と、勾玉形のもの1点(第313図6)および1孔の開いた銅片1点(第313図7)がある。円板は、正円に近いものはなく、多角形や楕円形に近いものなど、粗い作りのものが多い。

木製品には、一木多又鋸・曲物の側板状の製品・不明品2点がある。一木多又鋸(第314図1)は、遺存状態が悪く、所々を欠損する。身部は幅約17cmで、長さ11~12cmの基部の先に5本の歯が付く。柄の断面形は円形で、握部はD字状を呈するが、横軸と左右の支軸の接点には、側面の外側から、支軸の太さの半分から2/3の深さまで、V字の切り込みが入れられている。

曲物の側板状の製品(第315図2)は、残存長19.2cm・残存幅3.8cm柘目の薄板である。

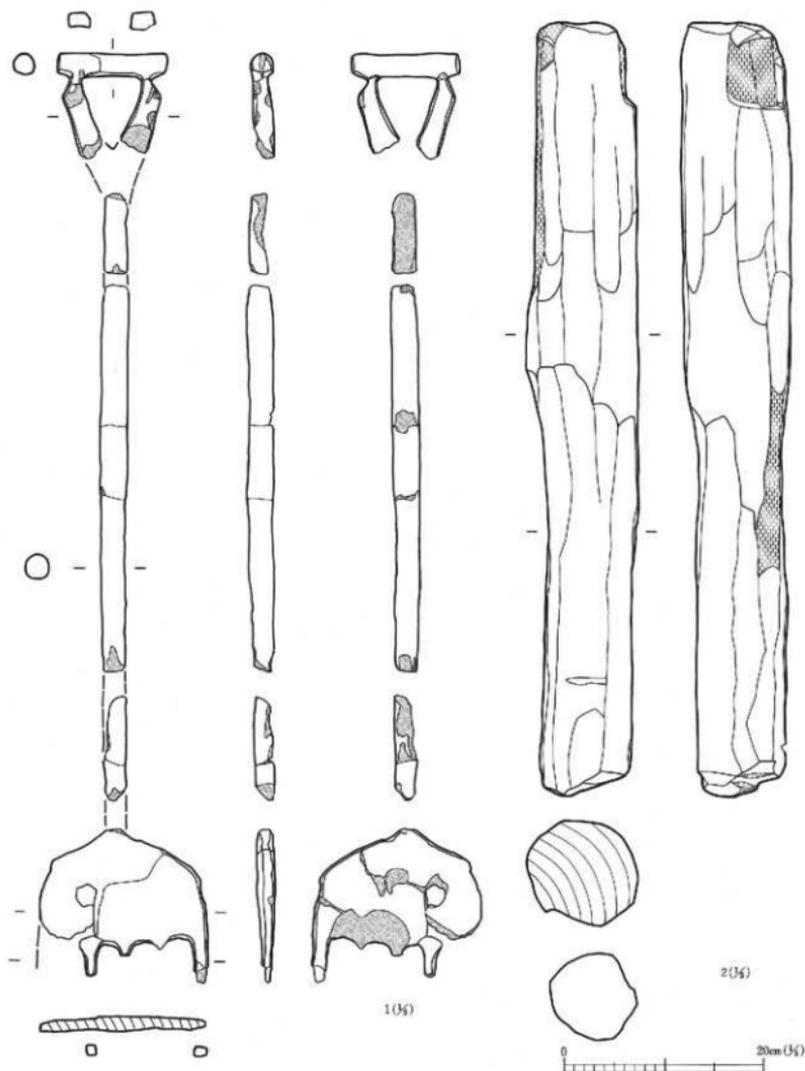
不明品のうち、第314図2は、全長78.7cm・直径10.8cm前後の芯無丸材で、一部に割面を残すが、全周が加工されている。何らかの木製品の未製品と考えられる。第315図1は、段差のある加工や、一对の小孔、U字の挟りないし長円形の孔など複雑な加工が施されている。何らかの組物の部材と考えられる。

材には、板材(第315図6)・分割材(第315図3・4・8他L-620・621・622)・丸材(第315図5・7)がある。板材は風化した全長135.8cmの板目板である。分割材には、両端に切断痕と側面の一部に加工のある短い材と(3・4)と、全長が91.3cmあるミカン割状の材(8)などがある。丸材には、片側の先端が片面から杭先状に削られ、



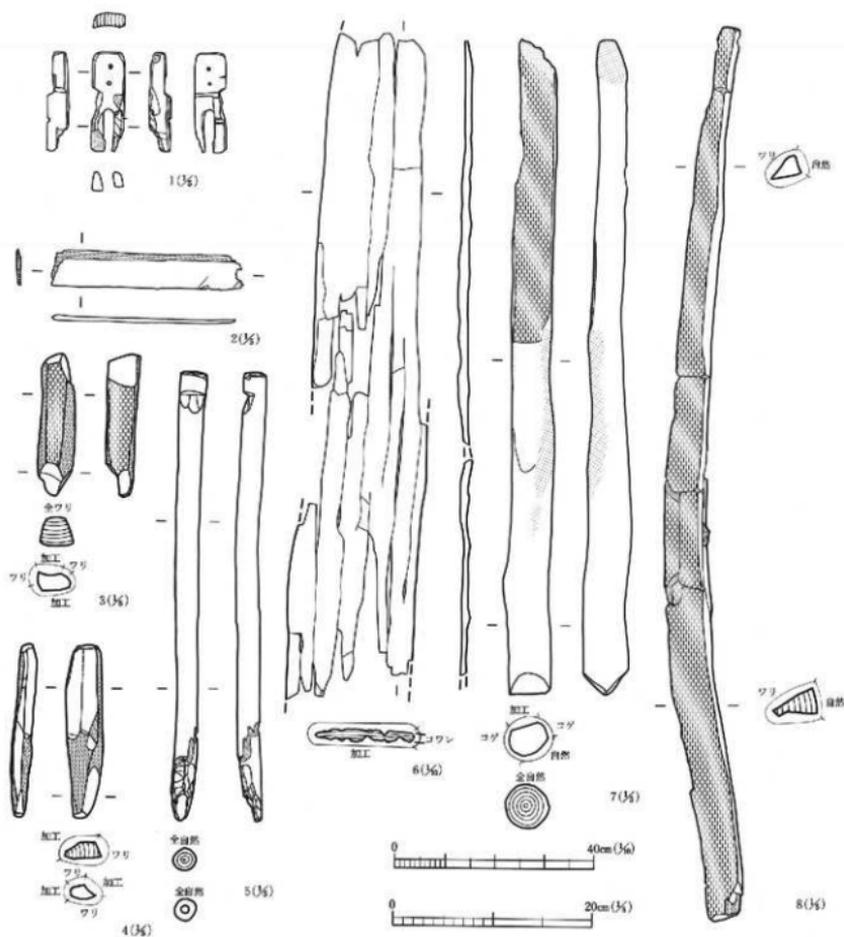
品目 番号	品名	種別	産地	出土 層位	出土 位置	取上 番号	全長	幅・ 径	厚さ	重量	特徴・ 備考	素材	時期	写真 撮影
1	K-77	石製模造品	有孔円板	VI区	ac層	ac層No.2	3.1	3.3	0.4	4.7	2孔	スレート	古墳中期	236-19
2	K-79	石製模造品	有孔円板	VI区	ac層	ac層No.6	3.1	3.0	0.4	4.0	2孔	スレート	古墳中期	236-20
3	K-80	石製模造品	有孔円板	VI区	ac層	ac層	3.3	3.0	0.4	5.7	2孔	スレート	古墳中期	236-21
4	K-76	石製模造品	有孔円板	VI区	ac層	ac層No.1	2.4	3.9	0.6	7.4	2孔	スレート	古墳中期	236-22
5	K-74	石製模造品	有孔円板	VI区	ac層	ac層No.5	2.6	3.1	0.4	2.3	2孔	スレート	古墳中期	236-23
6	K-78	石製模造品	勾玉	VI区	ac層	ac層No.3	3.5	2.2	0.6	5.3	1孔、孔の穿込みあり	スレート	古墳中期	236-25
7	K-75	石製模造品	有孔円板	VI区	ac層	ac層No.4	1.0	1.2	0.2	0.1	破片、孔あり	スレート	古墳中期	236-24

第313図 VI区河川跡9層出土遺物2



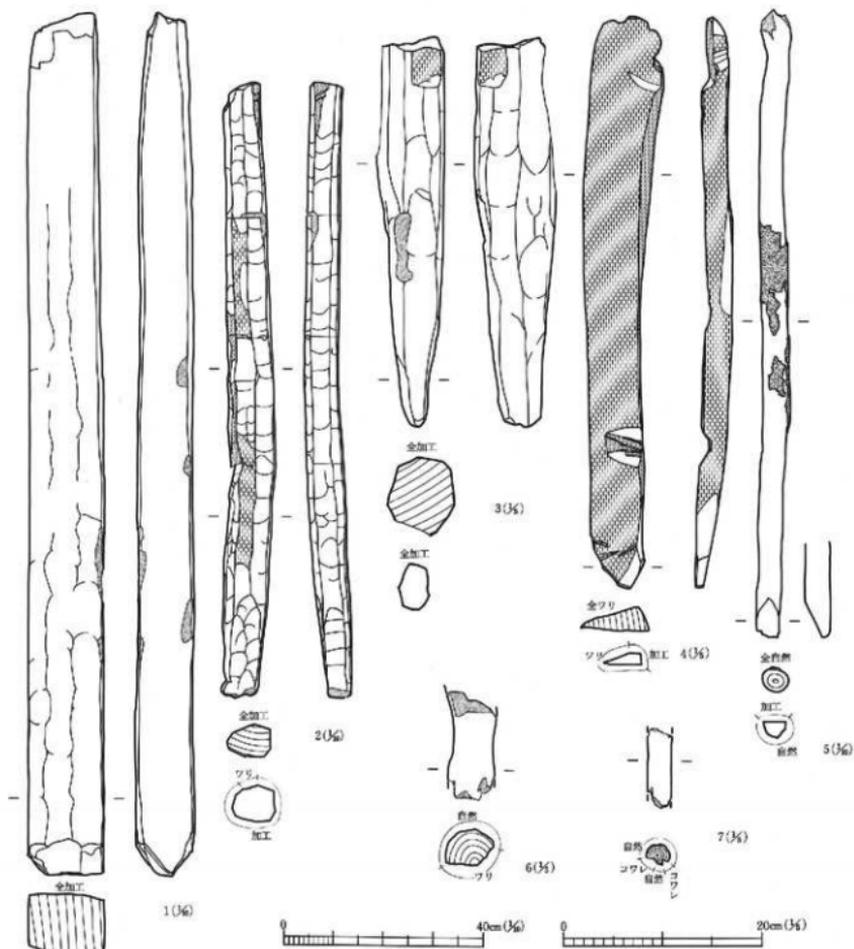
発出層号	器番号	種類	製材	用途	区画	取上番号	法量・特徴・備考						樹種	水取り	時期	写真図版	
							全長	片厚	片幅	断面厚	断面径	断面径					断面径
1	L-612	木製品	一木全長	VI区	9木2	全長 85.9	片厚 15.6	片幅 17.8	断面厚 1.0	断面径 69.4	断面径 2.4	断面径 19.8	断面径 11.2	5本歯	アサダ	証目	古橋村 266-1
2	L-623	木製品	不明	VI区	9材8	全長 78.7		断面 10.8	断面						クサノ	志願夫	古橋村 266-5

第314図 VI区河川跡9層出土木製品類1



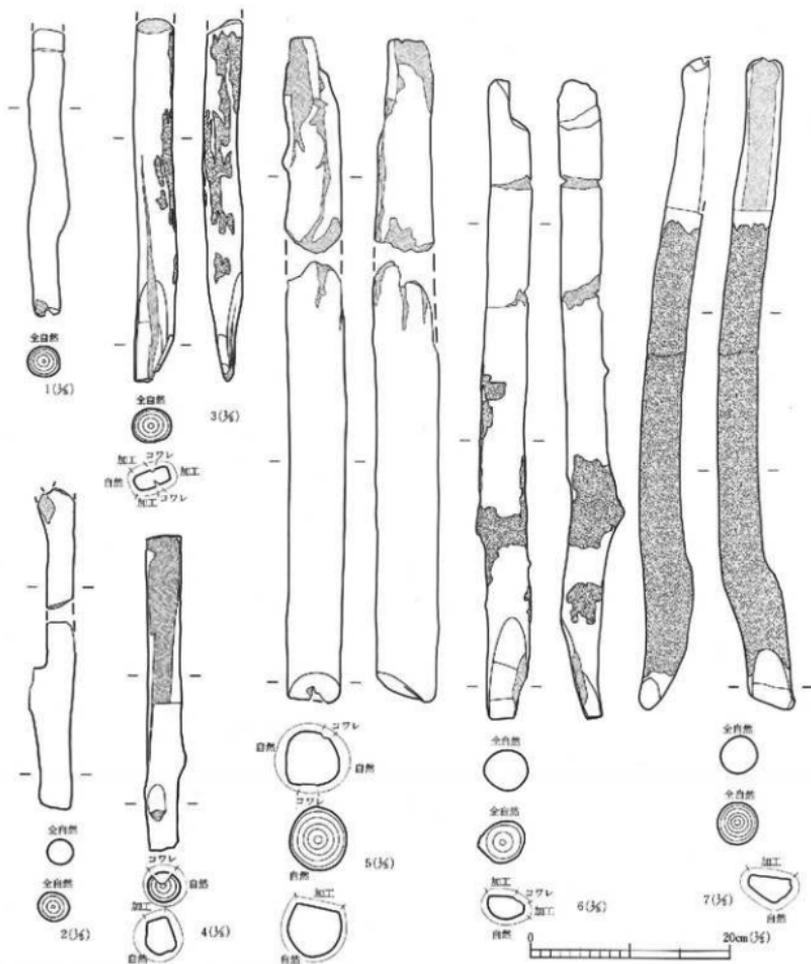
図中 番号	発掘 番号	種別	形種	土器 区分	取上層位	測定・特徴・備考						素材	木取方	時期	写真掲載
						全長	幅・径	厚	全長	幅・径	厚				
1	L-613	木製品	不明	VI区	9本3	全長 16.7	幅・径 2.0	厚 1.8	類似1対			ホヤ	芯抜き	古墳期	266-4
2	L-614	木製品	細線状	VI区	9本4	全長 19.2	幅・径 3.8	厚 0.6				スギ	縦目	古墳期	
3	L-619	針	分刺材	VI区	9材5	全長 14.5	幅・径 3.5	厚 2.9	両端加工			オハグ		古墳期	
4	L-615	針	分刺材	VI区	9本1	17.6	3.5	1.6	先端加工			ホダ		古墳期	
5	L-618	針	丸形	VI区	9材4	45.7	2.2	2.4	両端加工 上—芯抜き 下—多量分刺、芯抜き、抜り			コトコ	芯抜き	古墳期	327-3
6	L-624	針	板状	VI区	9材11	135.8	20.6	2.0				ナカサ	縦目	古墳期	
7	L-642	針	丸形	VI区	9材9	66.8	4.4	4.4	先端加工、濃煎			ナリ	芯抜き	古墳期	
8	L-617	針	分刺材	VI区	9材3	91.3	4.3	2.5	先端加工			コナ密		古墳期	

第3152図 VI区河川跡9層出土木製品類2



図中 番号	発 掘 層 号	種 別	材 質	形 態	区 別	取上 層号	法 量 ・ 物 験 ・ 備 考				断 面	未 取 り	貯 蔵	写真 図版	
1	I-641	杖	角 杖	VI 9	区 間	9 杖10	全 長 126.4	幅・径 15.2	厚 さ 11.9	先端加工 3箇所		タ リ	志 無	古 跡 類	338-5
2	L-636	杖	角 杖	VI 9	区 間	9 杖14	124.9	8.7	6.4	4箇所		ハ ン ノ コ	志 無	古 跡 類	338-4
3	L-637	杖	角 杖	VI 9	区 間	9 杖11	29.7	6.6	7.7	多節		ハ ン ノ コ	志 無	古 跡 類	
4	L-626	杖	角 杖	VI 9	区 間	9 杖7	98.1	6.8	2.5	先端加工	決り	タ リ	志 無	古 跡 類	338-6
5	L-625	杖	角 杖	VI 9	区 間	9 杖13	127.5	4.9	4.8	1箇所	縦皮付	タ リ	志 無	古 跡 類	339-2
6	L-630	杖	角 杖	VI 9	区 間	9 杖9	11.9	4.7	3.7			イ ロ ノ 板	志 無	古 跡 類	
7	L-631	杖	角 杖	VI 9	区 間	9 杖7	8.1	2.3	2.1			コ ウ ノ コ	志 無	古 跡 類	

第316図 VI区河川跡9層出土木製品類3



図中 番号	発 掘 層	種 別	細 部	埋 没 層	取上番号	全 長	幅 ・ 厚	厚 率	注 意 ・ 特 徴 ・ 備 考	編 織	木 取 り	時 期	等 身 図 紙		
1	L-628	杖	丸 杖	VI 9 区 層	9 杖 4	30.2	幅 3.2 厚 3.1				ケンボクシ漆	志持丸	古銅期		
2	L-632	杖	丸 杖	VI 9 区 層	9 杖 8	31.4	3.1 2.9				ハンノキ漆	志持丸	古銅期		
3	L-639	杖	丸 杖	VI 9 区 層	9 杖 15	36.9	3.9 3.4	3 箇半段	樹皮付		イヌシダ漆	志持丸	古銅期		
4	L-639	杖	丸 杖	VI 9 区 層	9 杖 5	32.0	3.2 3.8				ハンノキ漆	志持丸	古銅期		
5	L-627	杖	丸 杖	VI 9 区 層	9 杖 3	66.5	5.6 6.4	1 箇 1 段			ク	リ	志持丸	古銅期	
6	L-633	杖	丸 杖	VI 9 区 層	9 杖 9	65.0	4.5 4.1	2 箇 3 段	樹皮付		ブ	ナ	志持丸	古銅期	339-3
7	L-638	杖	丸 杖	VI 9 区 層	9 杖 12	66.0	4.1 4.2	2 箇 1 段	樹皮付		カ	エデ	志持丸	古銅期	339-4

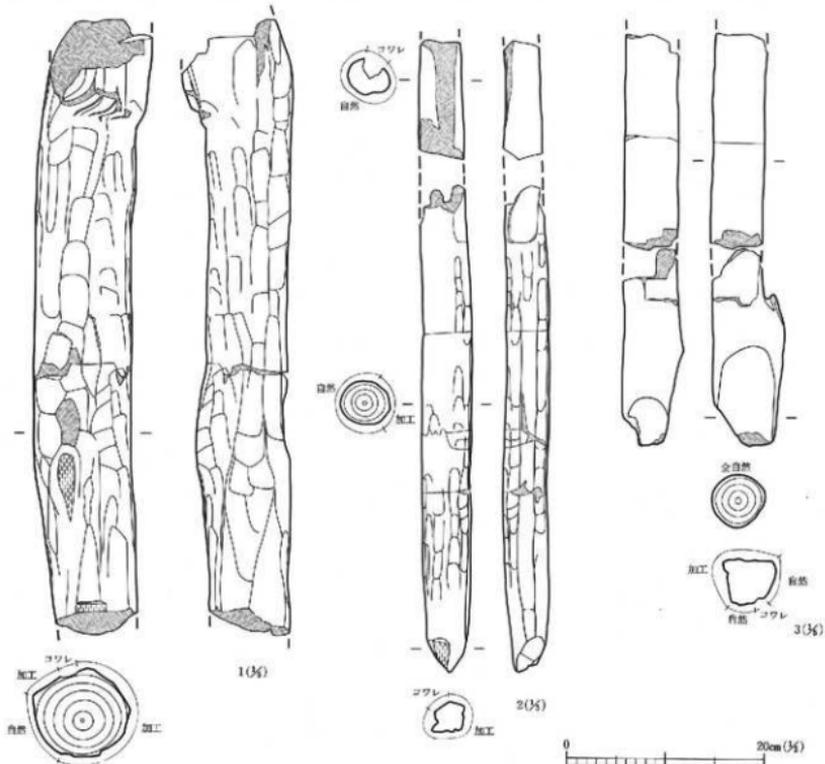
第317図 VI区河川跡 9層出土木製品類 4

反対の端部は平坦に削られたうえ、その端部の近くに抉りを入れたもの（第315図5）と、片側の先端が対面する2方向から切られた芯持丸材（第315図7）がある。

## 10 10層検出遺構と出土遺物

### 1) 堆積土の状況と検出遺構

10層は、底面から河岸斜面の上端にいたるまで、河川跡の全体に分布する。層厚は、河岸斜面では3～20cmの範囲で、層厚の厚い部分と薄い部分がある。これに対して河川跡の底面部分は、15cm前後で比較的安定している。土性



図中 番号	発 掘 地 点	形 状	部 類	区 別	取 上 番 号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考				樹 種	木 取 り	時 期	写 真 取 面
1	L-434	杖	丸 杖	VI 9	9-810	全 長 82.5	幅・ 径 10.6	厚 0.9		パノシ	芯持丸	古墳時期	
2	L-635	杖	丸 杖	VI 9	9-816	82.4	5.6	4.4	多面多段	パノシ	芯持丸	古墳時期	
3	L-649	杖	丸 杖	VI 9	9-817	41.9	5.2	5.4	先端加工	ニレ	芯持丸	古墳時期	

第318図 VI区河川跡9層出土木製品類5

は、草本質の粘土質泥炭層を基本とするが、未分解の木本の植物遺体も多く含んでいる。

10層の検出遺構としては、杭が8本ある。

## 2) 杭 列

10層から検出された8本の杭は、VI区西部の河川跡の中央部に分布している。杭は、9層と同様に杭3・杭7・杭8のように単独で存在するものと、杭1-2-5、杭4-6、のように数本の杭が接近して存在するものがあるが、接近する杭の場合でも、列状に並ぶものはない(第310図)。

杭には、割杭2本と丸杭6本がある。割杭は、全面が側面の角材状のもの(第337図5)と、板状の分割材(第337図6)がある。それぞれ18.2cmと21.8cmと短い杭である。丸杭は、全て芯持丸杭である。先端が平坦に切断されたもの(第337図7)、先端部を一度半載した後、半載面とその両側面に加工を施して尖らせたもの(第337図8、第338図2)、先端を多面から加工して尖らせたもの(第338図1)、折れ面や焼け焦げ面をそのまま先端とし、特に加工のないもの(第338図3・4)などがある。

## 3) 遺物出土状況

VI区の10層は、土師器の出土量が多く、破片が堆積土の全面から多数出土している。また、河川跡の底面や河岸斜面の低位付近からは、環の完形品や完形に近い個体も多数出土している。環に比べると甕や壺は、完形もしくは完形に近い個体は少なく、破片が多い。木製品や材の出土点数も多く、特にVI区西部では土師器を含めて濃密な分布状況を呈している。木製品や材の出土状況は、流路方向とは無関係に様々な方向を向き、大小の自然木とも重なり合いながら出土している。

## 4) 出土遺物

10層出土遺物には、弥生土器・土師器・須恵器・石製品・石器・木製品・材がある。弥生土器には、甕の胴部片(第319図1)と甕の体部から口縁部にかけての破片(第319図2)のほか、壺または甕の体部破片が4点出土している。

土師器は、器種としては甕と環がある。甕は、小型で球形の体部に外反する口縁の付くもの(第319図3・4)と、中型で球形の体部に外反する口縁の付くもの(第319図5)、大型で丸みのある体部に直立する口縁の付くもの(第319図6)、同じく大型で丸みのある体部に外反する口縁の付くもの(第319図7)がある。環は、全て丸底で、底部から体部にかけての形状が、半球形を呈するものであるが、口縁部の形状には様々なものがある(第320図1~24)。このうち1~11は口縁が外反もしくは外形するもの、12~20は口縁が内湾もしくは直立するもの、21~24は底部から口縁部まで丸みをもって立ち上がるものである。土師器の各個体は、南小泉式ないし引田式に位置付けられる(注3に同じ)。

須恵器は、甕の体部破片が4点出土している(第321図1他)。4点は、胎土・色割・調整痕の類似性が強く、同一個体と考えられる。調整は、外面が平行叩き、内面は同心円の当て具痕をナゲ消している。

石製品には、石製模造品(第321図2)と紡錘車(第321図3)がある。石製模造品は、円盤状を呈し、両面及び側面は研磨されているが、開孔はされていない。紡錘車は円錐台形を呈するものであるが、胴半部を欠損する。頂面には研磨痕、側面には縦方向の細かな削り痕跡が観察できる。

石器としては、扁平片刃石斧(第321図4)が1点出土している。基部を欠損し、残存部の前主面も大部分が剝落している。刃先は叩かれて潰れている。

木製品には、ナスビ型平鍬・農具直柄・横槌・木鍾・斧膝柄・矢・櫛・火鑽臼・その他不明品がある。

ナスビ型平鉄は4点(第322図1・2、第323図1・2)出土している。第322図1のナスビ型平鉄は、軸部は断面が蒲鉾型の棒状で、軸部下端の側面は傘状に開く。身部は、側面の中央が膨らんで長楕円形を呈するが、身部の先端は、約3cmの長さで両側面が平行になるように加工され、四角形になっている。刃部は、やや斜めであるが直線的である。軸部前面側の端部は、長さ約6cmの範囲が、約5mm削り落とされて薄くなり、軸部中央で段を形成する。軸部の後面側の端部は、長さ約1cmが周縁に沿って帯状に削り残されて高くなっている。身部の縁辺は、後面側から多く削られ、後面側の断面形が丸くなっている。これに対して前面は、軸部から身部まで平坦面となっている。第322図2は、中央から縦に割れ、片半部を欠損する。軸部は、断面が半円形の棒状で、軸部下端に、突起が造り出されている。身部は、側面の中央が膨らみ長楕円形を呈する。身部先端部は、約2cmの長さで両側面が平行になるように加工され、四角形になる。この四角形の部分を観察すると、側辺部は、1.5cmの幅で前面側に盛り上がり、中央部の前面側はこれより薄く凹んでいる。このような状況は、四角形の刃先部分に、両端を折り曲げた板状の鉄刃先が取り付けられていたことを示すものと考えられる。鉄製の刃先は、後面に刃部が位置するように取り付けられているために、鉄身後面の先端は平らに残り、前面側は磨滅したために窪んでいるものと解釈される。第322図1には、刃先部にこのような痕跡は観察されない。身部の削りは、前面と後面に大きな差はないが、前面からの削りが身部上半部ではやや多い。第323図1は、身部の下半部を欠損する。軸部は、断面が蒲鉾型の棒状で、軸部下端の側面は三角形の突起状に広がる。身部は、中央が膨らんで長楕円形を呈することは前2点と共通するが、前2点より身部幅が狭い。また、軸部の前面側は、端部から長さ5.5cmの範囲が、8mmほど削り落とされて段差ができています。軸部の前面側の端部に特に加工はない。身部の削りは、縦・横とも後面から前面側に行われており、前面側は平坦である。第323図2は、ナスビ型鉄の軸部下端から身部の上部にかけての片側の破片である。軸部下端の側面は、第322図1に類似し、傘状に開く。

農具直柄は、直径2.6cmの芯無丸材で、11.6cmだけが残存する(第323図4)。

横楯は、2点(第323図5・6)ある。第323図5は、芯持丸材の横楯で、楯部と柄部(握部)の境が明瞭で、段差がある。楯部は、円筒形を呈するが、柄部側が少し細くなる。柄部も円筒状であるが、基部は帯状に肥厚する。第323図6は、堅竹を半分に切って横楯に転用したものである。元の堅竹は、握部と握部に段差がなく、握部には算盤玉状の突起のないもので、芯無の丸材から作られている。

木鎌状の木製品は、3点(第324図1～3)出土している。第324図1は、中央部の全周がわずかに凹む芯無丸材で、両端には全周を巡る荒い切断痕が残っている。本品の、中央には細い部分にひび割れがあるが、これはこの木製品が、堅竹の中央部の破片で、前記したような堅竹を横楯などに転用する際に生じた断片である可能性も考えられる。第324図2は、両端を平らに削った芯持丸材で、両端に幅約1cm・深さ約3mmの溝状の彫り込みがある。側面には全周に加工が施されている。第324図3は、両端に全周を巡る荒い切断痕が残る心持丸材である。1・2に比べると直径が太く、7.6cmある。

斧膝柄は、完成品2点(第324図6、第325図2)と未製品1点(第325図1)がある。普通の斧膝柄の場合は斧台となる幹と柄となる枝が鋭角(「く」字)となる事を利用するために、斧の刃先は幹の上側にくるように作られるが、第324図6の斧膝柄は、細い枝を根の方に大きく湾曲させて通常の柄とは反対に反らせ、幹の根の方に刃が付くようにしている。斧台はやや扁平な円柱状で、先端は長さ約4cmの範囲が1段低く削られ、先端に向かって徐々に細く作られている。先端部の形状から、袋状の装着部を有する鉄斧が付いたと考えられ、刃は横に向くと判断される。第325図2は、鎌の膝柄と類似する柄であるが、柄の長さが19.2cmと短く、台部の上端に紐掛かりの突起がないことから、斧の柄と判断される。台部の平面形は長楕円形で、先端側は徐々に細くなるように加工され、端部は平らになる。先端部の断面形は隅丸長方形で、台部の後面は平坦である。この斧膝柄にも袋状の装着部を有する鉄斧が付いたと考えられ、刃は横に向くと判断される。第325図2は第325図1と同形鎌の斧膝柄で、斧台の後面に当たる幹

の樹心側の部分は割面のままで、柄の部分は同側面から切断されたままの未製品である。このような未製品の存在からも、第325図2のような短い柄の斧が存在したことが明らかである。

矢は3点(第325図3～5)出土している。いずれも欠柄と木蕨を板皮製の紐で巻いた部分の断片で、欠柄と木蕨・板皮製の紐が残るもの(3・4)と、木蕨と板皮製の紐だけが残るもの(5)がある。

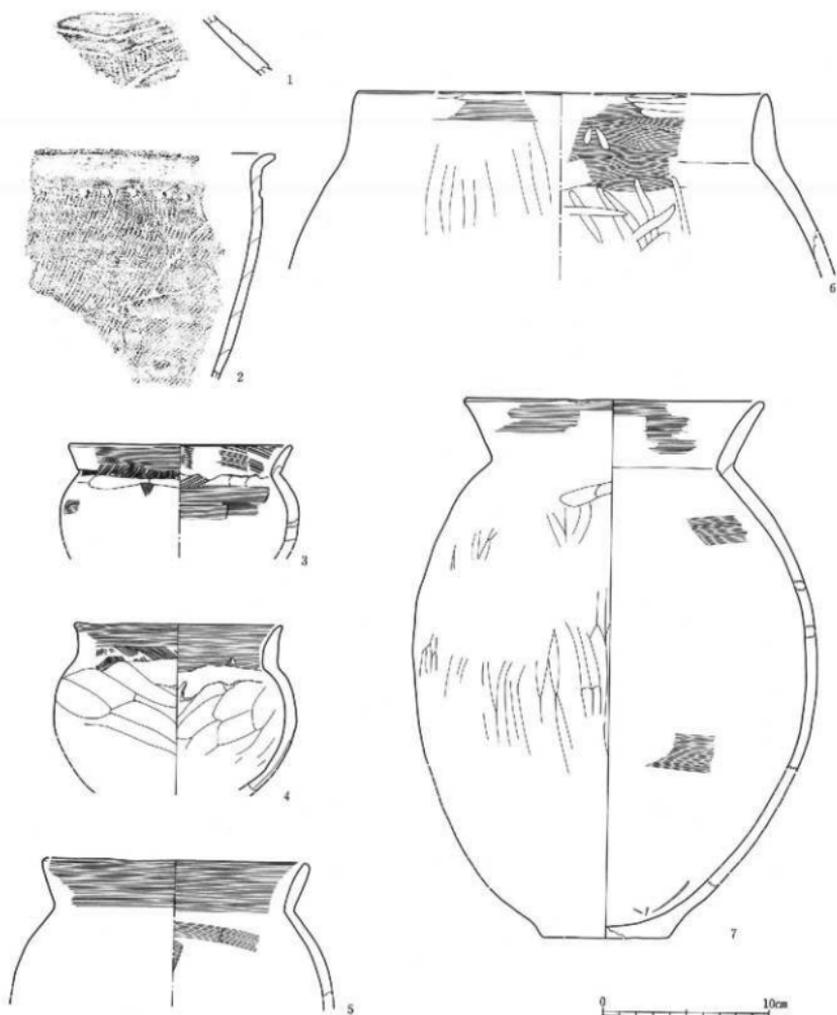
櫛(第326図1)は、結歯漆塗堅櫛で、黒漆が塗られている。歯部は、歯元の木質が少し残っている部分があるが、漆は残っていない。残存長3.6cm・頭部長2.5cm・頭部幅2.4cmを測る。この櫛は、頭部の基部に横に糸を巻いた帯の幅が広く、1.1cmを測る。

火鑽臼(第326図2)は、残存長21.3cm、幅3.1cm厚さ2.0cmの棒状の芯持板材で、対面する2面は平らに削られている。端部は、片側は残るが、他方は側面の切り込みの所から折れている。残った木口は面取りされている。側面には、折れ口の部分を含め左右ともに2.2～3.4cmの間隔で8ヶ所の切り込みが入れられている。実際の発火に使用されたのは片側だけで、折れ口から4カ所が窪み、その中が焦げている。

不明品には、製品の断片と考えられるものと、ほぼ完全な状態で残っているが用途の不明なものがある。第323図3は、鍔(曲柄鍔)の刃部片の可能性があり。第324図4・5は、握り棒状の木製品の断片(4)及び未製品(5)の可能性が考えられる。第326図3は、曲柄鍔の軸部の基部に類似する形態を呈するが、木取りが板目である点で、鍔とは異なる製品の断片と考えられる。第326図4は、T字状に2つの部材が組合う木製品である。横軸の方はほぼ完全に残るが、縦軸の方は、横軸に挿入された端部が残るだけで本体は欠損する。横軸は中央の幅が厚くなりその部分に縦軸を挿入するための楕円形の孔が開けられている。また、横軸の中央の厚さは、縦軸の本体側がわずかに厚くなっている。さらに横軸の側面には、縦軸に直交する方向に、2.9cm間隔で2カ所に孔が開けられている。縦軸の端部は、横軸から2.3cmほどはみ出しており、はみ出し部に横軸に直交する方向に孔が開けられ、木釘が打たれている。横軸と木釘は接しており、横軸から縦軸が抜けないように細工している。このような組み合わせ方の木製品には、2本の腕木(横軸)と1本の支え木(縦軸)を工字裂に組み合わせた紡織具の「カセ」があり、本品はその可能性がある。第326図5・6は角材状に加工された木製品で、6の片側の端部には段を作っている。第327図1・2は楔状を呈し、3は残存する片側の端部にホゾ突起が作られている。第327図4・5はともに刀のような形態を呈するが、共に刃部にあたる部分は鋭くなるように加工されていない。第328図1・2は柾目の厚板で、方形の孔が開けられ、孔の近くは片面から抉るように削られて薄くなる。第328図3・4は、方形を呈する柾目板で、縁辺部には不整形の孔が開けられている。孔の数は、4の残存する1辺には4カ所ある。4に比べると、3は孔の間隔が広いと考えられる。

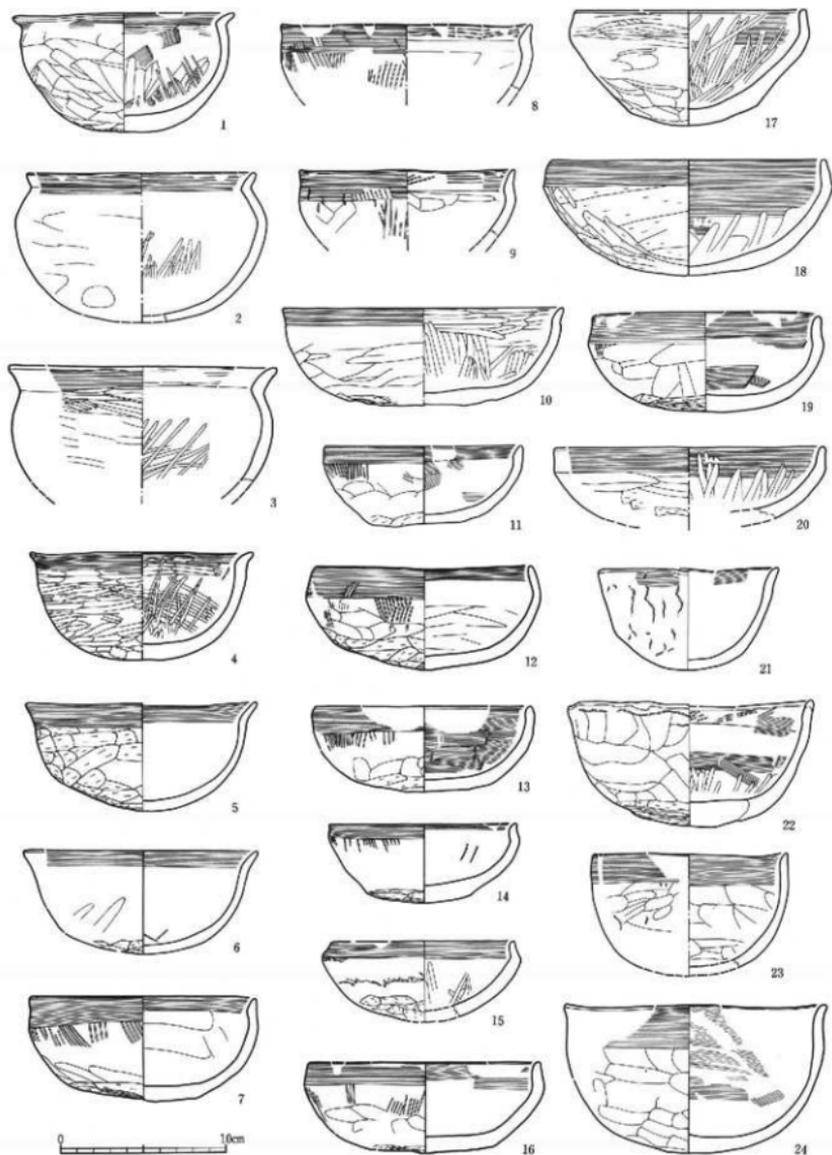
材には、建築材(第328図5・6、第329図1～3、第330図1～5)・板材(第331図1～5、第332図1～8他L-689・701・713・719・735・884・885)・角材(第333図1～6他L-718)・分割材(第333図7、第334図1～7他L-669・673・674・675・680・681・682・683・684・686・691・693・695・705・706・707・708・722・723・725・728・729・731・739・740・741・742・743・749・750・752・756・757・761・764・766)・半裁丸材(第335図1・2)・丸材(第335図3～7、第336図1～5、第337図1～4)がある。

建築材は、用途の明確なものとしては梯子板(第328図5)だけであるが、ほかにホゾやホゾ穴のある部材(第328図6、第329図1～3)や抉りのある丸材(第330図1～5)等がある。梯子板は、両端を欠損している。芯持半裁丸材から作られ、残存長112.4cm・幅18.0cmを測る。段は4段分が残り、段の間隔は30cm前後である。第328図6は、全面が削られている断面小判形の芯無材で、長軸に直交して長方形のホゾ穴が約34cmの間隔で2ヶ所にある。第329図1は、断面半月形の分割材で、方形のホゾ穴の開けられていた痕跡がある。第329図2は、長さ81.6cm・幅26.6cm・厚さ3.6cmの長方形の板材で、片側の長辺の縁には中央付近と両木口から約11cmのところの3カ所に縦約3.5cm・横1cm前後の孔が開けられている。第329図3は、残存長158cm・幅16.0cmの板材で、残存する一方の木口は、両角が



同中層特 長号	産別	産地	産区	土層	出土層	取上層号	法量		特徴・備考		分類	時期	写真位置	
							高さ	口径	底径	内径				
1	伊予中土	備前	VI区	10層					単文胆C法。 別立文、単文膽1。			古墳中期	172-7	
2	伊予中土	備前	VI区	10層					口縁部：ハタメのちヨコナデ 体部：ハタメのちコナデ			古墳中期	230-2	
3	C-110	土師群	和歌山	VI区	10層		( 6.0)	13.3	口縁部：ヨコナデ 体部：ハタメのちヘラナデ			古墳中期	230-3	
4	C-111	土師群	和歌山	VI区	10層	土器No.3	(10.2)	12.4	口縁部：ヨコナデ 体部：ハタメのちヘラナデ			古墳中期		
5	C-113	土師群	伊予	VI区	10層		( 7.5)	15.6	口縁部：ヨコナデ 体部：ハタメのちヘラナデ			古墳中期		
6	C-112	土師群	伊予or備前	VI区	10層		( 8.4)	24.5	口縁部：ヨコナデ 体部：ヘラミダキ			古墳中期		
7	C-114	土師群	伊予	VI区	10層		(33.4)	17.8	7.3	口縁部：ヨコナデ 体部：ヘラミダキ			古墳中期	227-5

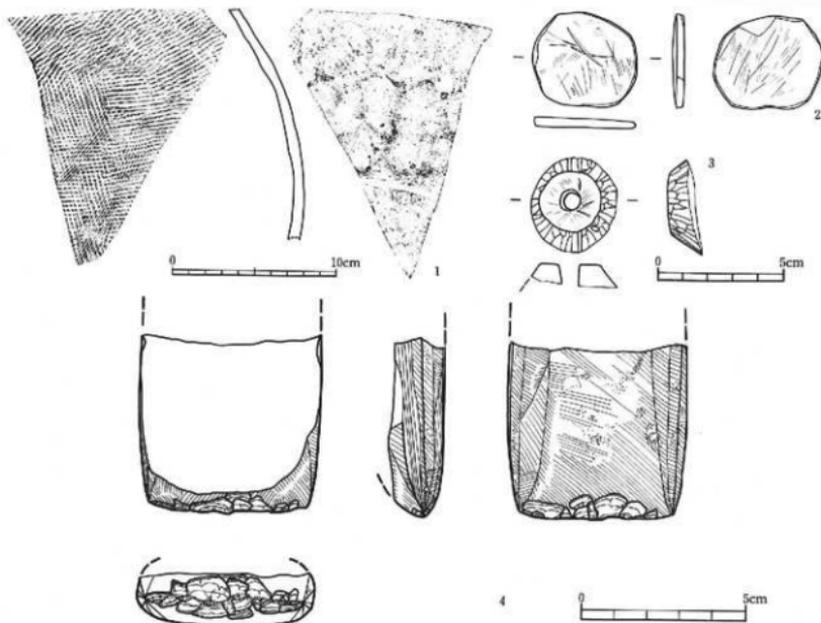
第319図 VI区河川跡10層出土遺物 1



第320图 VI区河川跡10層出土遺物2

第320図 観票表

区中 番号	発 掘 番号	地 区	層 別	出土地点		法 量		特 徴 ・ 備 考		分 類	時 期	写真回数	
				遺構	部位	取上番号	重量	口径	底径				外 面
1	C-58	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.1	7.3	13.1	体部ナダのちヘラミガキ	体部ヘラナダのちナダ	III C1	古墳中期	221-8	
2	C-102	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.5	9.2	13.7	体部深縁部	体部ヘラナダのちヘラミガキ	III C1	古墳中期	221-10	
3	C-103	土師器	Ⅱ区	10層		6.2	16.0	体部ヘラミガキ	体部ヘラミガキ	III C1	古墳中期	221-11	
4	C-97	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.14	6.4	13.2	体部ナダのちヘラミガキ	体部ヘラナダのちヘラミガキ	III C2	古墳中期	222-1	
5	C-101	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.10	6.7	13.8	体部ヘラナダ	体部ヘラナダ	III C2	古墳中期	222-3	
6	C-109	土師器	Ⅱ区	10層		6.4	14.4	体部ナダ	土師器ヨコナダ	III C2	古墳中期	222-4	
7	C-105	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.19	6.4	13.6	体部ハケメのちナダ	体部ナダ	III C3	古墳中期	223-1	
8	C-87	土師器	Ⅱ区	10層		16.0	15.0	体部ハケメのちナダ	体部ナダ	III C3	古墳中期	223-2	
9	C-85	土師器	Ⅱ区	10層		12.5	12.8	体部ハケメのちナダ	体部ナダ	III C3	古墳中期	223-3	
10	C-93	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.13	6.9	16.8	体部ナダ? or ミガキ	体部ヘラナダのちヘラミガキ	III C3	古墳中期	223-4	
11	C-92	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.15	4.9	11.7	体部ハケメのちナダ	土師器ヨコナダ 体部ヘラナダのちナダ	III C3	古墳中期	223-4	
12	C-104	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.7	6.4	12.9	体部ハケメのちナダ	体部ナダ	III E1	古墳中期	223-6	
13	C-91	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.2	5.3	12.9	体部ハケメのちナダ	体部ヘラナダ	III E1	古墳中期	223-8	
14	C-94	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.6	4.9	11.3	6.4	体部ハケメのちナダ	体部ヘラナダのちナダ	III E2	古墳中期	224-1
15	C-96	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.11	6.0	10.9	体部ナダ	体部ヘラナダ	III E2	古墳中期	224-2	
16	C-95	土師器	Ⅱ区	10層		5.6	13.9	体部ハケメのちナダ	体部ヘラナダのちナダ	III E2	古墳中期	224-3	
17	C-103a	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.18	7.1	13.7	体部ヘラミガキ	体部ヘラミガキ	III E2	古墳中期	224-5	
18	C-107	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.8	7.1	16.3	体部ハケメのちヘラミガキ	口縁・体部ヨコナダ	III E2	古墳中期	224-4	
19	C-98	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.4	8.7	13.6	体部ハケメのちナダ	体部ヘラナダのちナダ	III D	古墳中期	225-1	
20	C-89	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.17	7.6	14.6	体部ヘラミガキ	体部ヘラミガキ	III D	古墳中期	225-2	
21	C-103b	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.12	6.4	16.2	体部ヘラミガキ	体部ヘラミガキ	III D	古墳中期	225-3	
22	C-99	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.17	7.6	14.6	体部ヘラミガキ	体部ヘラミガキ	III D	古墳中期	225-3	
23	C-88	土師器	Ⅱ区	10層	土師No.19	6.5	11.6	体部ナダ	体部ナダ	III F	古墳中期	225-4	
24	C-100	土師器	Ⅱ区	10層		9.1	15.6	体部ヘラミガキのちナダ	体部ヘラナダ	III F	古墳中期	225-4	



区中 番号	発 掘 番号	地 区	層 別	出土地点		法 量		特 徴 ・ 備 考		分 類	時 期	写真回数
				遺構	部位	取上番号	重量	口径	底径			
1	E-7	灰土層	Ⅱ区	10層				タタキ目	同心円文のちナダ跡		古墳中期	234-1
2	K-81	石製 硬質品	Ⅱ区	10層	10層No.1	3.8	4.2	0.4	11.3			
3	K-82	石製 硬質品	Ⅱ区	10層		3.9	3.4	0.9	16.8	孔径0.9		
4	K-83	石製 硬質品	Ⅱ区	10層		5.5	5.5	1.7	71.3			

第321図 VI区河川跡10層出土遺物3

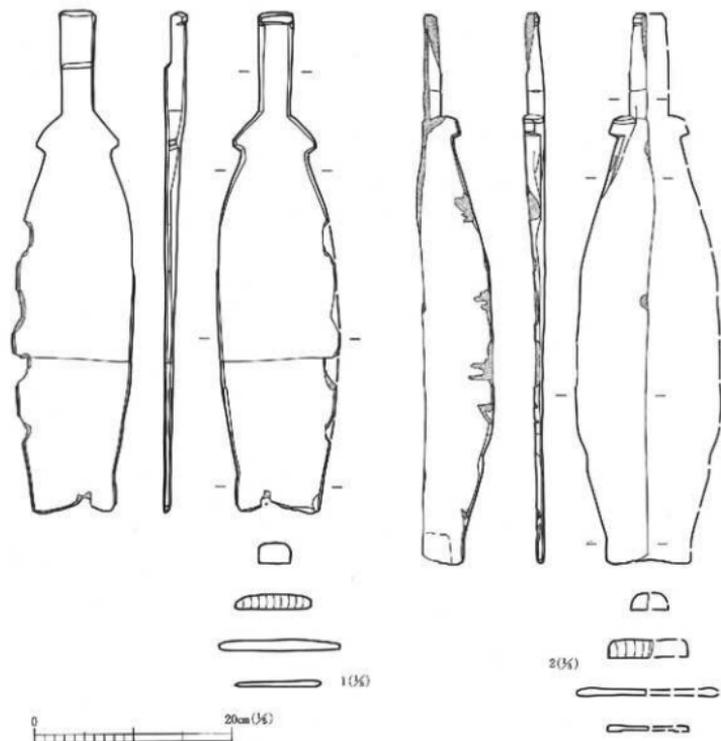
切り取られて、ホゾ状の突起が形成されている。第330図1・3～5は、丈の長い芯持丸材で、切断痕のある木口の近くに1か所（1～3）ないし対面に段違いとなって2ヵ所（4・5）の挟りが作られている。

板材には、幅がほぼ一定で丈の長い、柾目板（第331図1）、木取りナメ板（第331図2）・板目板（第331図3・4）、加工のある大小の板（第331図5、第332図1～8他）がある。

角材には、片方の木口が斜めに切断されるもの（第333図1）、片方の先が杭先状に尖っているもの（第333図2）、側面に半円形の挟りのあるもの（第333図3）、棒状のもの（第333図4～6）などがある。

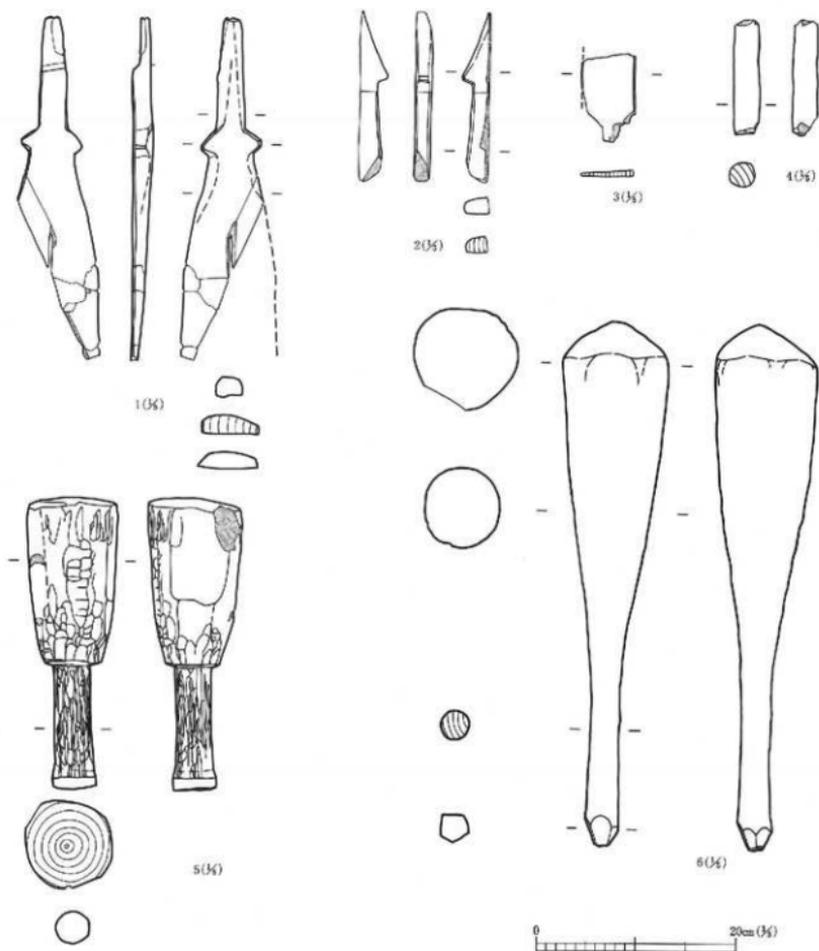
分割材には、切断痕や若干の加工のあるもの（第333図7、第334図1～3・5）や、断面だけの材（第334図6・7）があり、10層出土の分割材のほとんどは後者が占めている。

半截丸材は、数が少なく2点（第335図1・2）だけ出土している。1は、半截の後に側面と側面に接する側面が削られ、表面の調整がされている。2は片側の木口に切断痕が残る。



図中番号	発掘番号	種別	品類	品名	出土層	出土番号	測定・計測・備考							規格	木取り	時期	写真図版		
1	L-659	木製品	木製棒	木製棒	VI 10	10439	全長	母線長	身幅	身幅	身幅	端部長	端部幅	端部幅	端部幅	タヌ子	柾目	古墳期	267-3
2	L-655	木製品	木製棒	木製棒	VI 10	10440	56.2	43.4	6.8	2.0	0.8	12.8	3.8	2.0	先端片側に帯線	タヌ子	柾目	古墳期	267-2

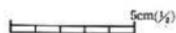
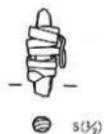
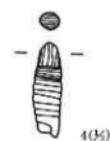
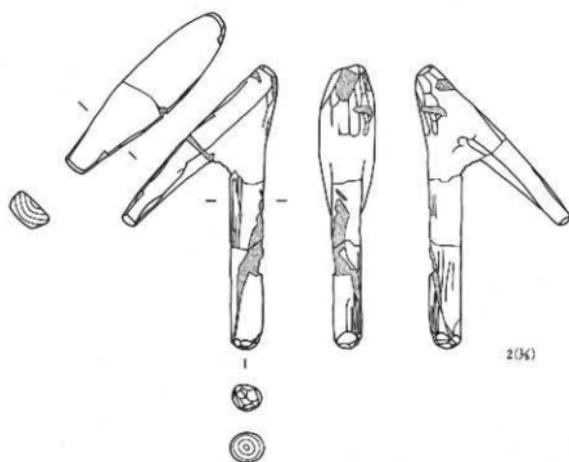
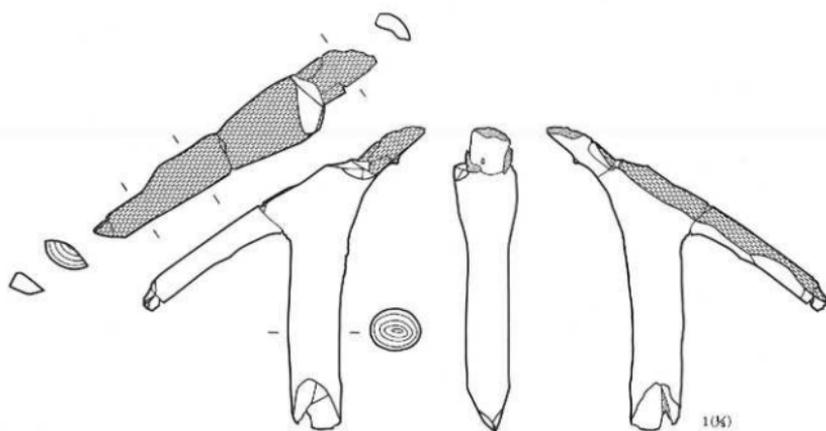
第322図 VI区河川跡10層出土木製品類 1



図中 番号	数量	種類	器種	出土 区画	出土 位置	取上番号	測 量 ・ 特 徴 ・ 備 考										製 法	木取り	時 期	写真 図版		
							全長	全径	身長	身径	刃厚	軸径	軸幅	軸厚	底径	底厚					底幅	底厚
1	L-660	木製品	ナメコ 樹皮層	VI 10	区 画	10中24	全長 34.8	全径 23.4	身長 8.6		刃厚	軸径 11.4	軸幅 6.0	軸厚 2.9					クヌギ	径目	古墳群	267-4
2	L-657	木製品	ナメコ 樹皮層	VI 10	区 画	10中13	17.4	19.2	2.1	1.6			7.2	2.8	1.8				クヌギ	径目	古墳群	267-5
3	L-643	木製品	不明	VI 10	区 画	10中1	9.8		5.4	9.8									クヌギ	径目	古墳群	
4	L-648	木製品	直柄	VI 10	区 画	10中6	全長 11.5	身径 2.6											キハダ	芯丸	古墳群	268-4
5	L-666	木製品	横切	VI 10	区 画	10中12	全長 29.8	軸径 17.2	底径 9.2		底厚 12.6	軸厚 3.6								芯丸	古墳群	
6	L-667	木製品	柄	VI 10	区 画	10中17	53.6		10.6					2.8					クヌギ	径目	古墳群	

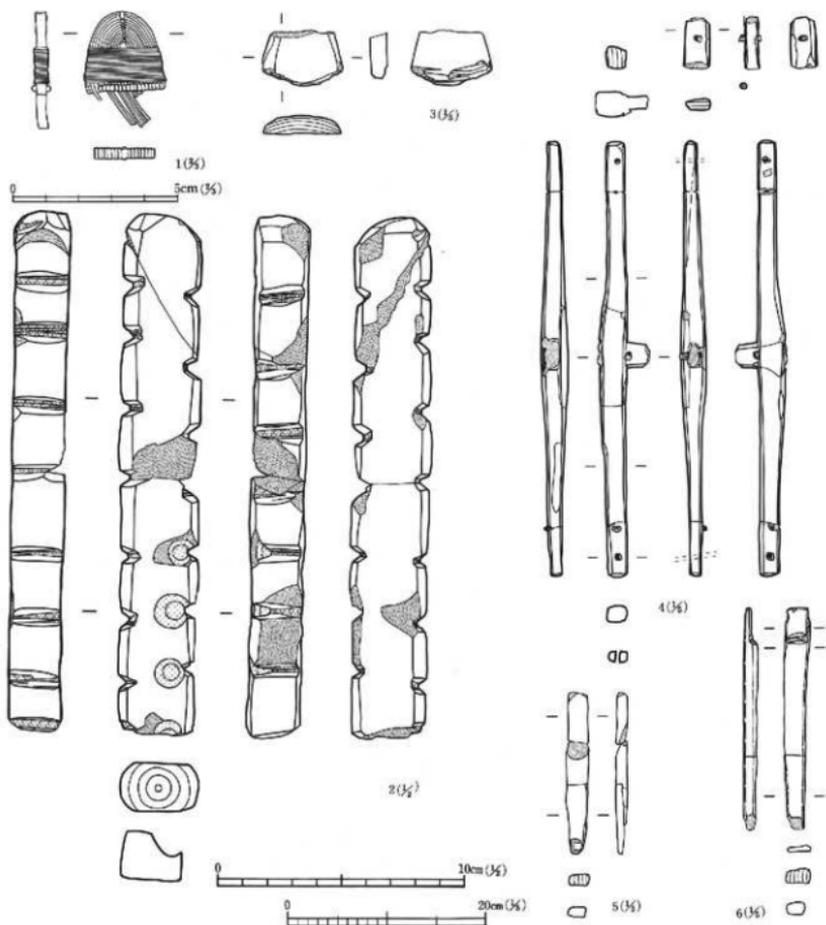
第323図 VI区河川跡10層出土木製品類2





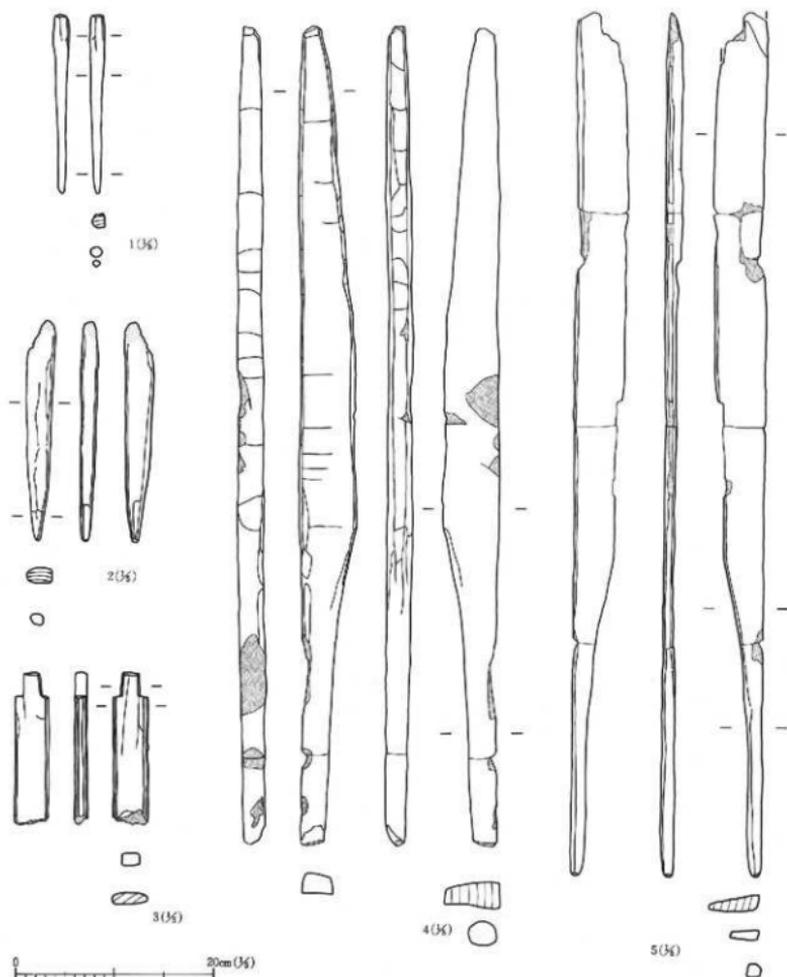
図中 番号	発 掘	種 別	器 種	遺 層	区 位	取上箇所	測 量 ・ 特 徴 ・ 備 考										製 材	木取り	時 期	写真図版					
1	L-703	木製品	斧頭柄	VI 10	区 画	10時52	全長 30.2	斧台長 33.4	斧台幅 6.4	斧台厚 2.6	柄長 18.5	柄幅 5.6	装輪径 19.2	装輪幅 3.4					45°	杉製品	タリ	古銅時代	260-2		
2	L-665	木製品	斧頭柄	VI 10	区 画	10本7	29.6	21.6	5.6	3.4	19.2	3.4								45°	杉製品	ブナ属	古銅時代	260-5	
3	L-661	木製品	矢	VI 10	区 画	10本15	全長 2.1	幅・厚 1.1													竹葉類		古銅時代	270-4	
4	L-660	木製品	矢	VI 10	区 画	10本27	3.9													1.2	矢頭、本體、紐の総称	ムナギ シナノキ	芯葉矢	古銅時代	270-5
5	L-645	木製品	矢	VI 10	区 画	10本3	3.6														木製、紐皮類	ムナギ シナノキ	芯葉矢	古銅時代	

第325図 VI区河川跡10層出土木製品類 4



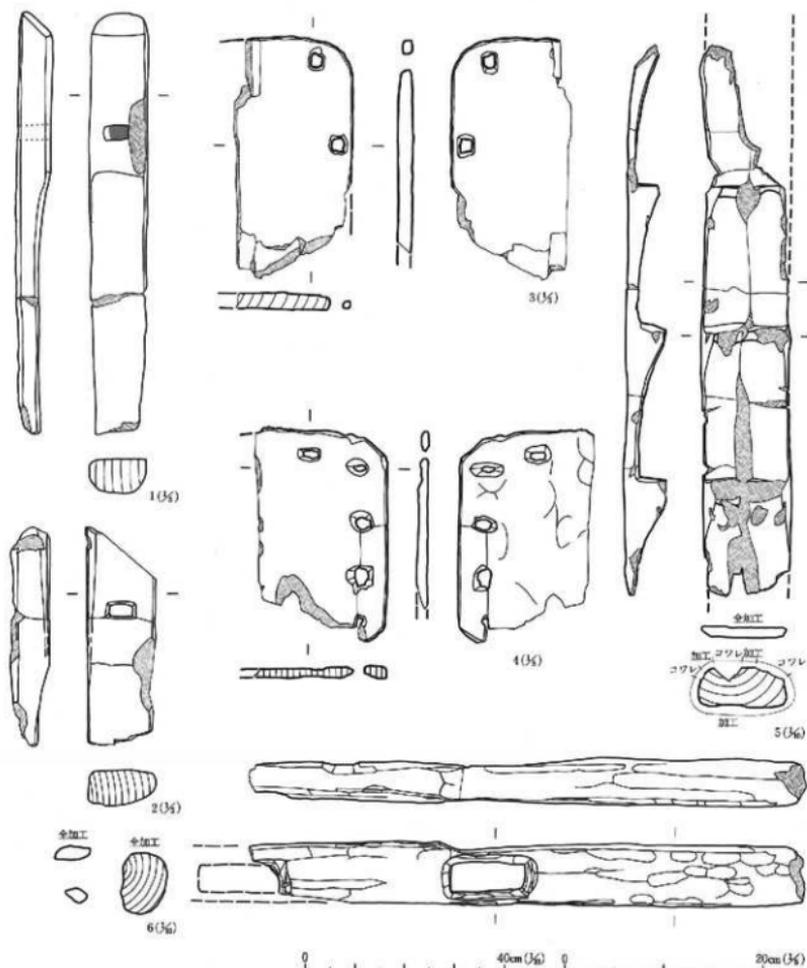
図中 番号	遺物 番号	種類	形状	土 層	取上 番号	測定・特徴・備考				素材	木取5	時期	写真 図版
1	L-663	木製品	板状	VI 19 区 層	10木20	全長 3.5	幅 2.4	厚さ 0.3	結晶構造整頓、片断			古時期	270-7
2	L-656	木製品	火燵口	VI 19 区 層	10木10	21.3	3.1	2.9	横底			古時期	270-11
3	L-931	木製品	押餅	VI 19 区 層	10木18	5.6	8.0	1.8				古時期	269-3
4	L-658	木製品	不明	VI 19 区 層	10木14	44.4	5.2	2.6	押入部幅はφ1.8			古時期	271-15
5	L-714	木製品	不明	VI 19 区 層	10材72	16.4	2.2	1.2				古時期	272-4
6	L-909	木製品	不明	VI 19 区 層	10材68	22.6	2.4	1.4				古時期	272-3

第326図 VI区河川跡10層出土木製品類5



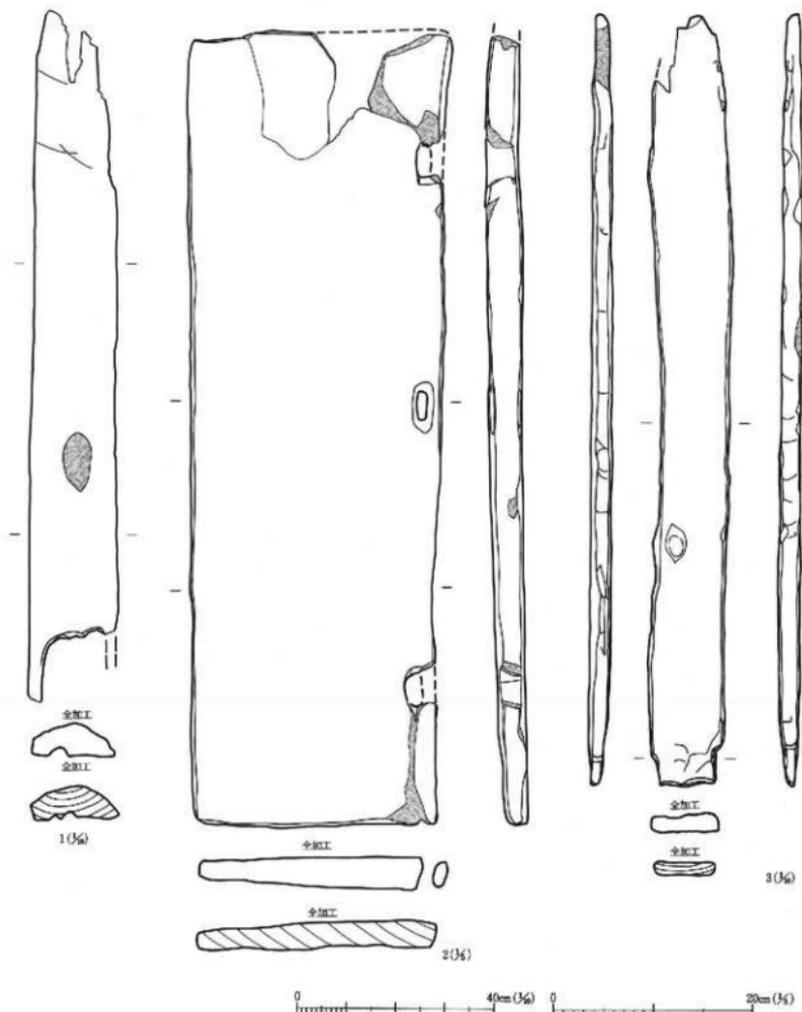
遺物 番号	発 掘 層	種 別	材 質	出 土 区 位	取上番号	測 量 ・ 特 徴 ・ 備 考			相 違	木取り	貯 蔵	写真 図版	
						全 長	幅	厚					
1	L-640	木製品	不明	VI 10 区 跡	10本4	18.2	1.4	1.4		中ニ誤	志懸丸	古跡相	271-10
2	L-644	木製品	不明	VI 10 区 跡	10本2	22.4	2.8	1.6	狭板	夕リ	志懸角	古跡相	271-9
3	L-650	木製品	不明	VI 10 区 跡	10本16	15.6	3.4	1.2		中ニ誤	ナナメ	古跡相	271-11
4	L-658	木製品	不明	VI 10 区 跡	10本21	83.8	5.8	2.8		夕メ40	志懸角	古跡相	272-1
5	L-690	木製品	不明	VI 10 区 跡	10本34	82.2	5.0	1.6		夕リ	延 目	古跡相	272-2

第327図 VI区河川跡10層出土木製品類 6



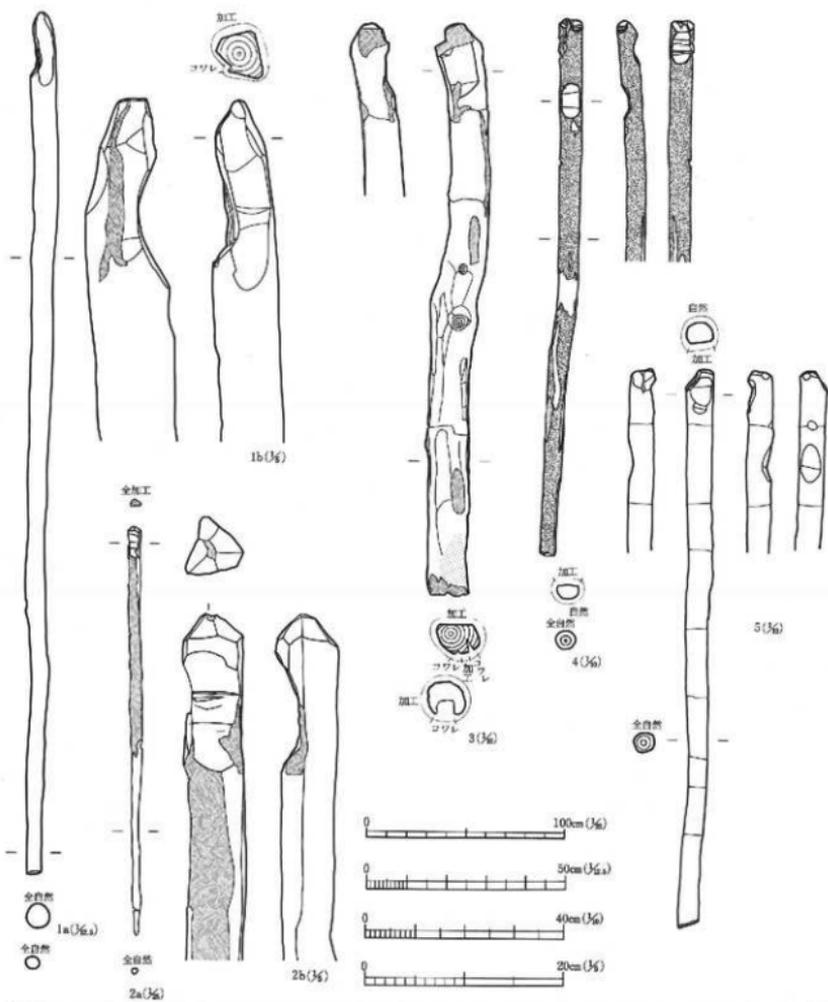
図中 番号	名称	種別	材種	用途	出土番号	測量・特徴・備考				層位	木取り	時期	写真図録
						全長	幅	厚	その他				
1	L-733	木製品	不明	VI区 16区	10F103	43.6	5.8	3.4	穿孔1個	1997	志美内	古銅期	272-5
2	L-654	木製品	不明	VI区 16区	10F102	22.4	6.8	3.6	穿孔1個	1997	志美内	古銅期	271-14
3	L-653	木製品	不明	VI区 16区	10F23	24.8	12.0	1.4	穿孔2個	クリ	板田	古銅期	271-13
4	L-647	木製品	不明	VI区 16区	10F5	20.2	13.2	1.2	穿孔5個	クリ	板田	古銅期	271-12
5	L-734	材	榿材	VI区 16区	10F104	112.4	18.0	8.4		4Fノミ	板田	古銅期	320-6
6	L-751	材	榿材	VI区 16区	10F06	111.6	12.4	8.8	ホゾ穴	クリ	志美内	古銅期	321-2

第328図 VI区河川跡10層出土木製品類7



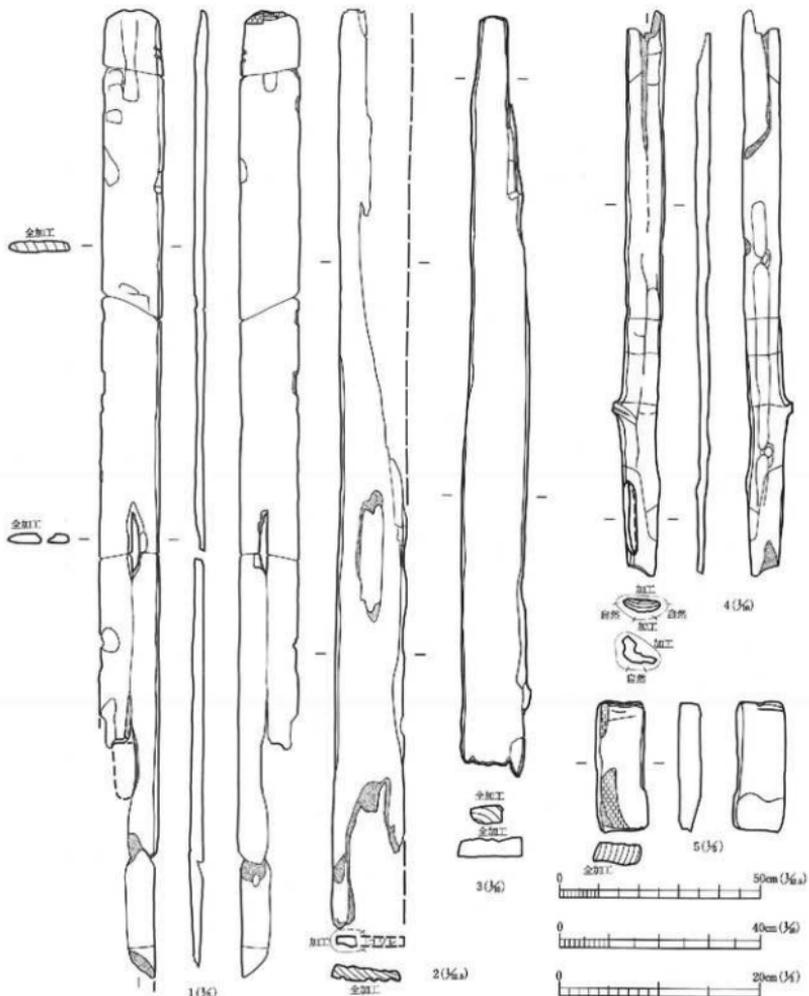
図中番号	登録番号	種別	産地	遺跡区別	取上番号	測量・特徴・備考				縦横	木取り	時期	写真図版
						全長	幅・厚	厚さ	方眼の寸法				
1	L-769	材	藤原村	VI区19	10材96	全長 340.2	幅・厚 19.8	厚さ 6.4	方眼の寸法	タリ	板目	古墳期	321-7
2	L-771	材	藤原村	VI区19	10材124	81.6	38.6	3.6	穿孔3個	ケヤキ	ナシメ	古墳期	222-1
3	L-765	材	藤原村	VI区19	10材63	158.0	16.0	4.0		タリ	板目	古墳期	321-6

第329図 VI区河川跡10層出土木製品類 8



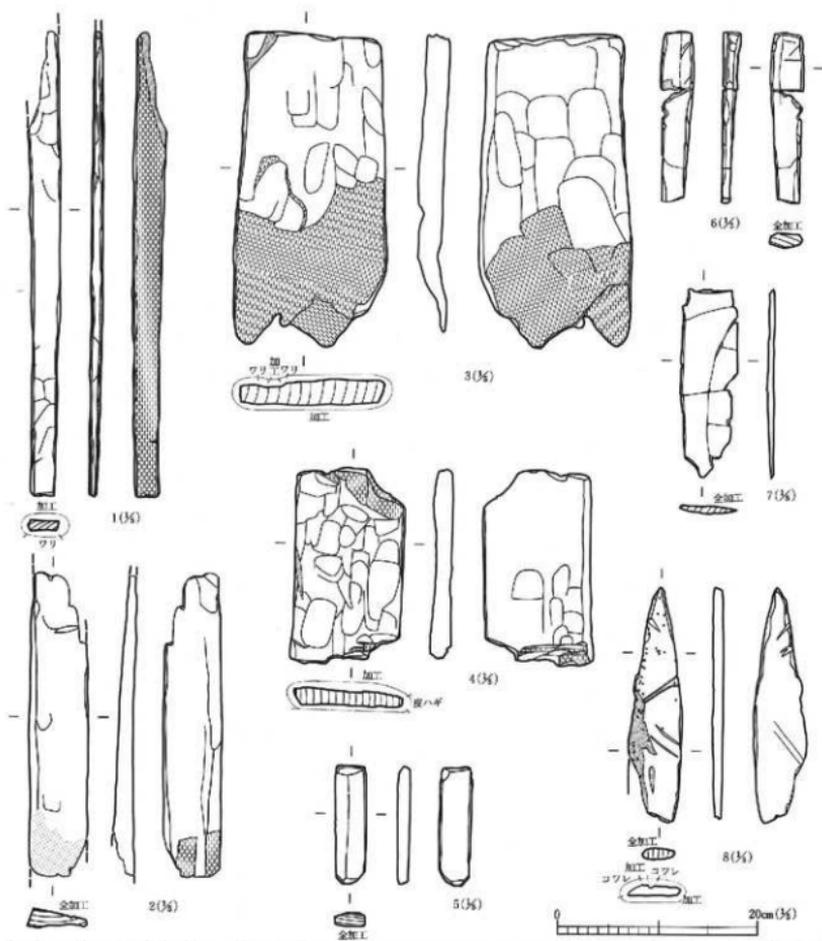
発掘 層位	遺物 番号	種類	産地	区 別	出土層位	全長	幅・厚	厚さ	重量・特徴・備考	種類	木取り	時期	写真 図版
1	L-763	杖	尾張村	VI 区層	10材32	220.5	幅・厚 9.8	厚さ	先端加工4面多段、抉り	クリ	芯持丸	古新期	321-5
2	L-760	杖	尾張村	VI 区層	10材116	268.0	6.2		先端加工、抉り	クス木	芯持丸	古新期	321-4
3	L-745	杖	尾張村	VI 区層	10材119	117.2	9.2		抉り、美濃	クス木	芯持丸	古新期	
4	L-758	杖	尾張村	VI 区層	10材113	130.0	4.4		先端加工、抉り、側面付	ヤブツバ	芯持丸	古新期	321-3
5	L-738	杖	尾張村	VI 区層	10材107	114.0	5.2		先端加工、抉り	ニレ属	芯持丸	古新期	321-1

第330図 VI区河川跡10層出土木製品類9



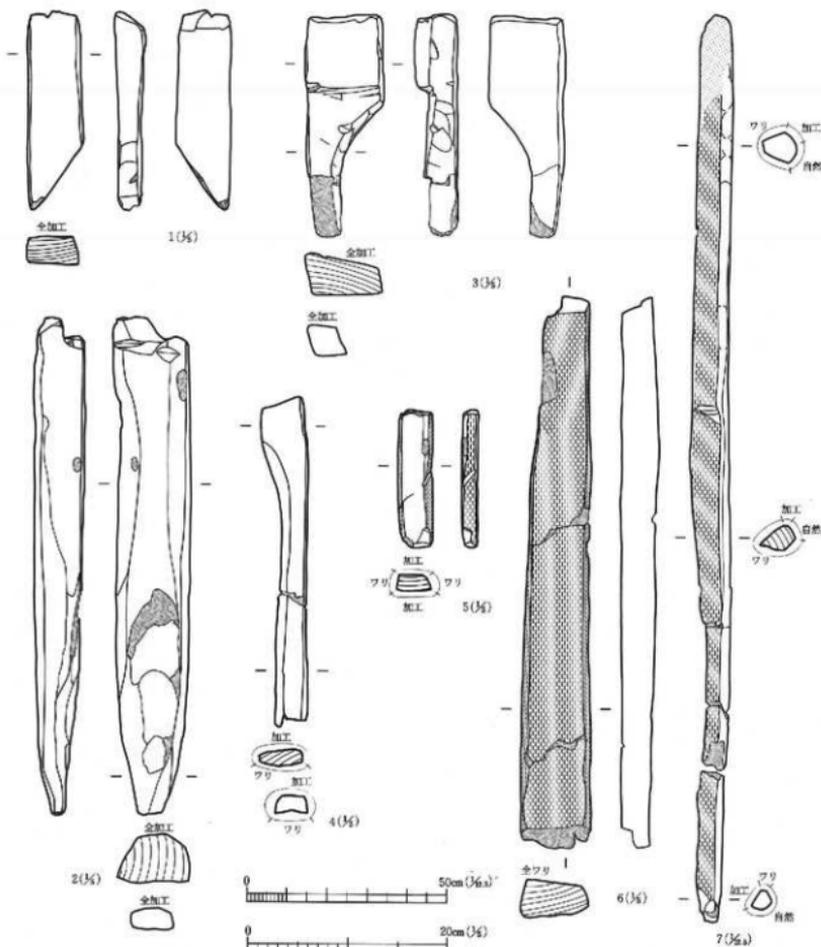
遺物番号	番号	種別	材質	用途	出土層号	全長	幅	厚	法要・特徴・備考	樹種	木取り	時期	写真図版	
1	L-689	材	板材	VI区	104233	全長 88.6	幅 6.1	厚 1.2	穿孔2個		クシ	板目	古墳期	
2	L-762	材	板材	VI区	104235	234.5	17.5	3.5			クシ	ナナメ	古墳期	
3	L-767	材	板材	VI区	104466	154.6	13.2	3.8			クシ	板目	古墳期	
4	L-755	材	板材	VI区	104481	118.4	7.6	3.2			ナナメ	板目	古墳期	
5	L-737	材	板材	VI区	1044106	13.3	4.7	2.3			クシ	板目	古墳期	

第331図 VI区河川跡10層出土木製品類10



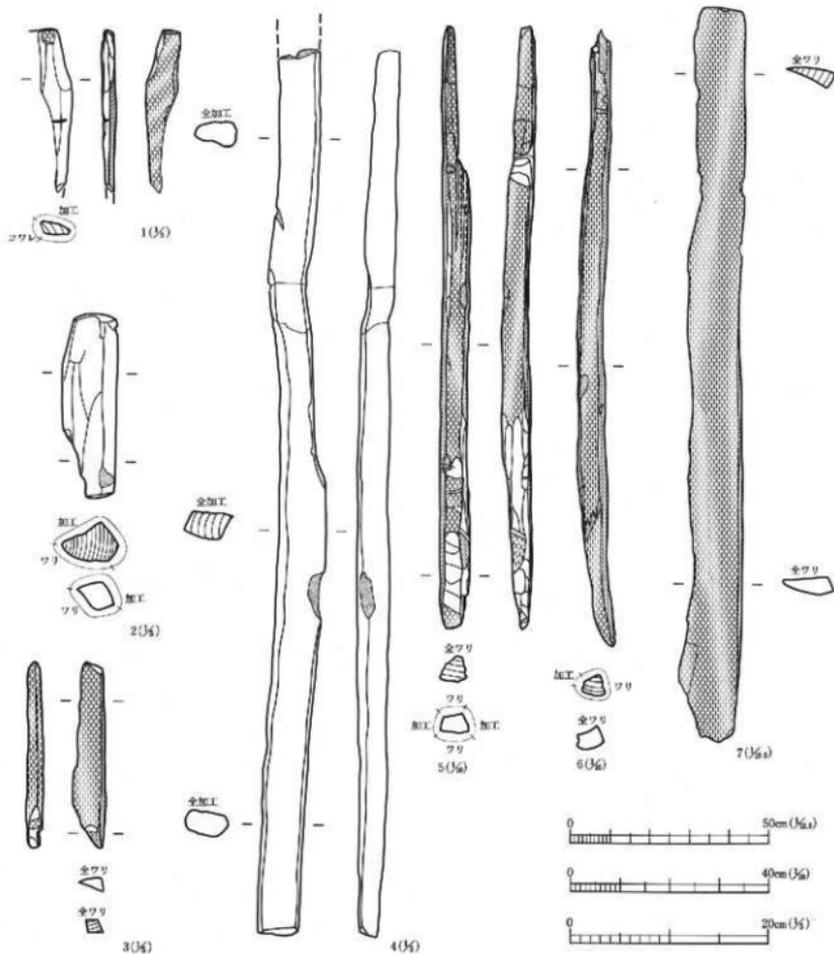
発掘 調査 番号	種別	部材	用途	出土番号	法量・特徴・備考				位置	木取り	時期	写真図版	
1	L-726	材	板材	VI区 10H93	全長 47.5	幅・厚 2.9 1.1				スギ	ナナメ	古墳期	327-9
2	L-709	材	板材	VI区 10H61	31.0	6.0 2.0	網底			クリ	板目	古墳期	
3	L-700	材	板材	VI区 10H29	32.4	16.3 2.7					板目	古墳期	
4	L-671	材	板材	VI区 10H9	20.1	10.7 1.4				クリ	板目	古墳期	
5	L-687	材	板材	VI区 10H30	12.0	3.0 1.3	先端加工			ナラ	板目	古墳期	
6	L-697	材	板材	VI区 10H66	17.5	3.3 1.6				クスノキ	ナナメ	古墳期	
7	L-704	材	板材	VI区 10H54	19.3	5.7 0.8				ケヤキ	板目	古墳期	
8	L-676	材	板材	VI区 10H14	23.9	5.2 1.1				ナラ	板目	古墳期	

第332図 VI区河川跡10層出土木製品類11



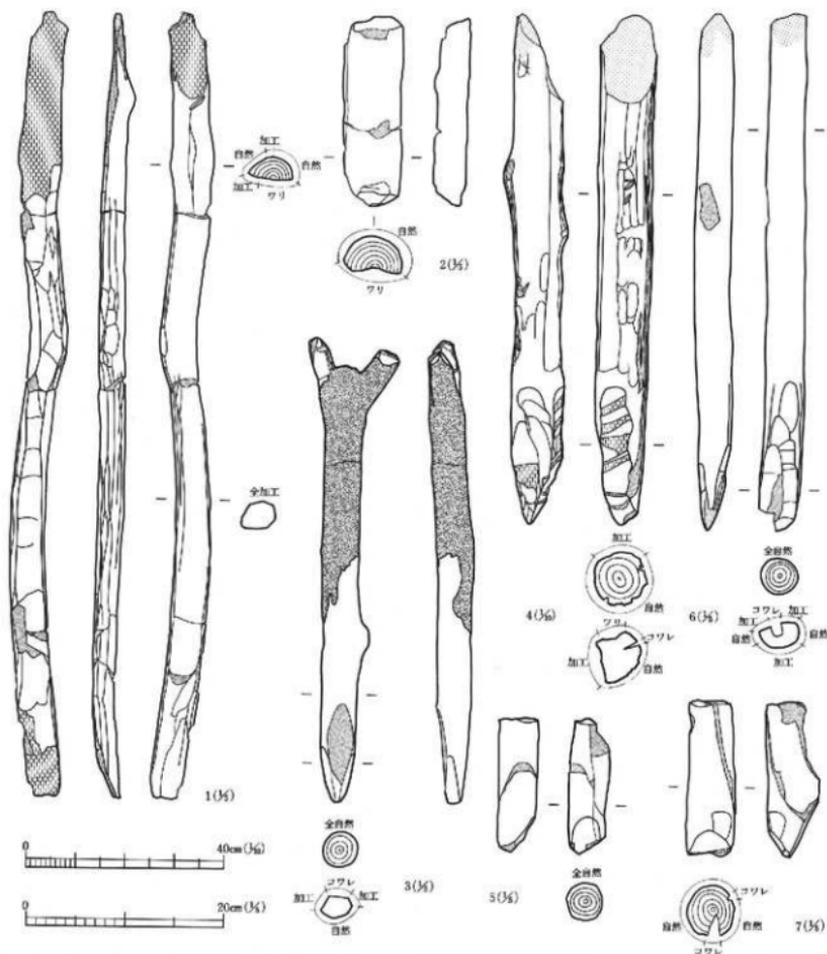
図中 番号	発掘 層位	種別	素材	出土地 区画	取上層号	法量・特徴・備考			種類	木取り	時期	写真図版
						全長	幅・径	厚さ				
1	L-732	柁	角材	VI 19区画	10材100	30.3	5.3	2.8	縦線加工	タリ		古時期
2	L-727	柁	角材	VI 10区画	10材91	51.2	7.2	4.8		タリ		古時期
3	L-719	柁	角材	VI 10区画	10材66	22.7	7.7	4.5		タリ		古時期 327-2
4	L-711	柁	角材	VI 10区画	10材68	33.6	5.3	1.8		タリ		古時期
5	L-715	柁	角材	VI 10区画	10材73	16.0	3.4	1.6		ニレ風		古時期
6	L-672	柁	角材	VI 10区画	10材6	56.2	6.8	3.9	先端加工、両取加工、焼炭	ニレ風		古時期
7	L-766	柁	角材	VI 10区画	10材76	221.5	11.0	8.3		タリ		古時期

第333図 VI区河川跡10層出土木製品類12



区山 標号	器 名	材 質	器 形	区 位	取上 部	全 長	幅・厚	重 量	注 記	樹 種	木 取 り	時 期	写 真 図 版
1	L-713	材	分節材	V1 36	10A669	16.6	幅・厚 3.9	1.4		クスノキ		古銅期	
2	L-679	材	分節材	V1 36	10A718	18.6	幅・厚 3.9	3.9		ヒノキ		古銅期	
3	L-670	材	分節材	V1 36	10A78	18.9	幅・厚 2.4	1.4		コナラ		古銅期	
4	L-755	材	分節材	V1 36	10A67	90.5	幅・厚 4.6	3.2		クリ		古銅期	
5	L-748	材	分節材	V1 36	10A25	122.4	幅・厚 6.9	5.0		コナラ		古銅期	
6	L-759	材	分節材	V1 36	10A115	125.1	幅・厚 5.6	4.4		クリ		古銅期	
7	L-770	材	分節材	V1 36	10A123	186.5	幅・厚 12.5	4.2		クスノキ		古銅期	

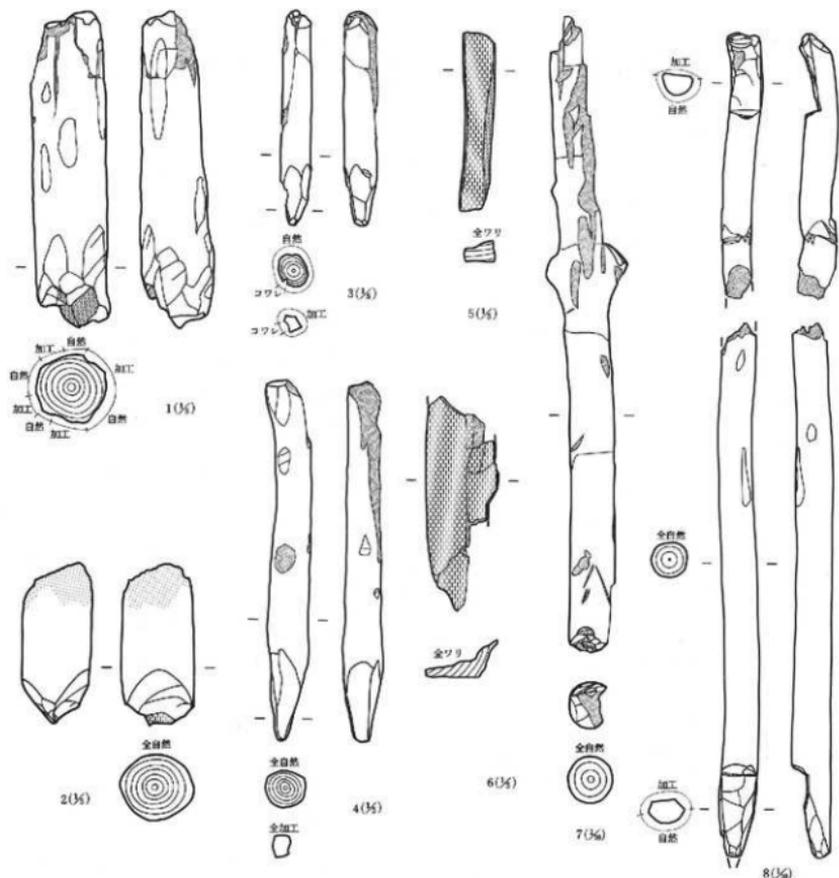
第334図 VI区河川跡10層出土木製品類13



図中 番号	器 種	器 名	用 途	区 別	取上番号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考				属 層	木 段 期	時 期	写 真 順 号
1	L-724	甗	中級陶器	VI 10 区 品	10#188	全 長 89.0	幅・底 4.3	厚・口 2.5		カニノ嘴	古瀬川層		
2	L-694	甗	中級陶器	VI 10 区 品	10#149	19.3	5.8	3.8	両端加工	コナヤビ	古瀬川層		
3	L-688	甗	丸 甗	VI 10 区 品	10#131	47.3	3.6	3.5	両端加工、靱皮付	カニノ嘴	古瀬川層	328-6	
4	L-754	甗	丸 甗	VI 10 区 品	10#165	103.8	19.6	10.6	先端加工 3 面多段、縞状	タリ	古瀬川層	328-9	
5	L-736	甗	丸 甗	VI 10 区 品	10#108	12.7	3.6	3.6	先端加工	タリ	古瀬川層		
6	L-730	甗	丸 甗	VI 10 区 品	10#296	52.8	4.0	3.7	先端加工 2 面多段、縞状	コナヤビ	古瀬川層	328-7	
7	L-702	甗	丸 甗	VI 10 区 品	10#151	15.8	4.6	5.0	先端加工 2 面 2 段	カニノ嘴	古瀬川層		

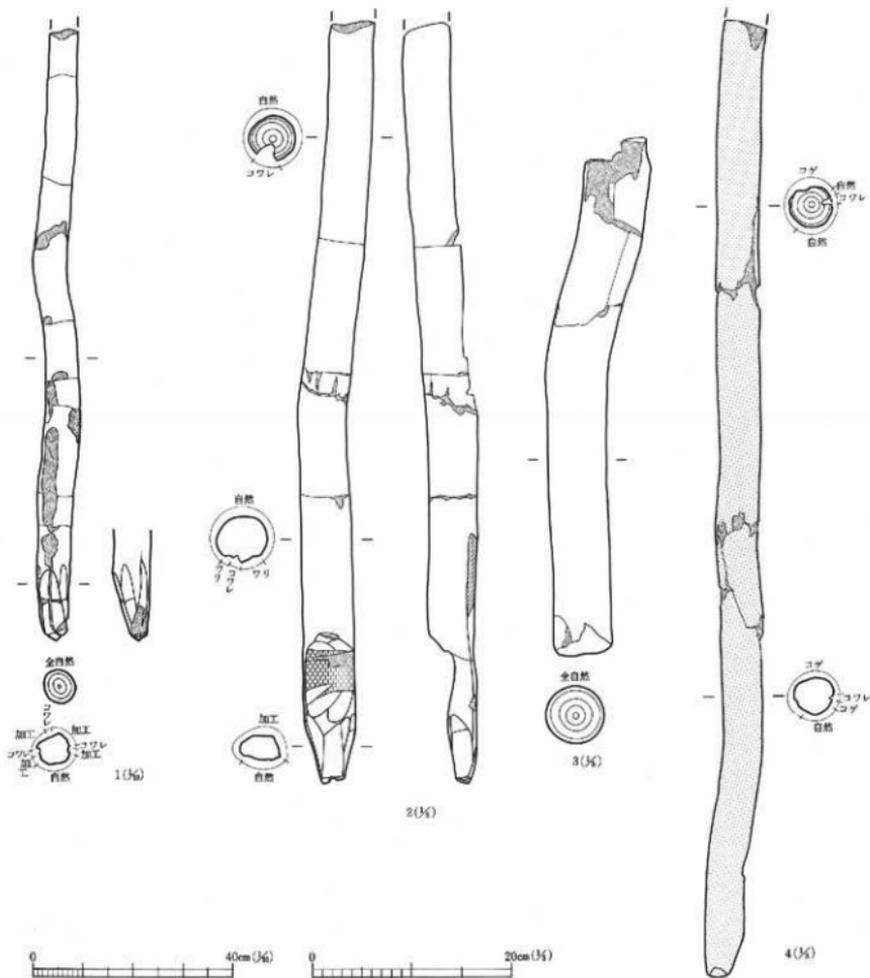
第335図 VI区河川跡10層出土木製品類14





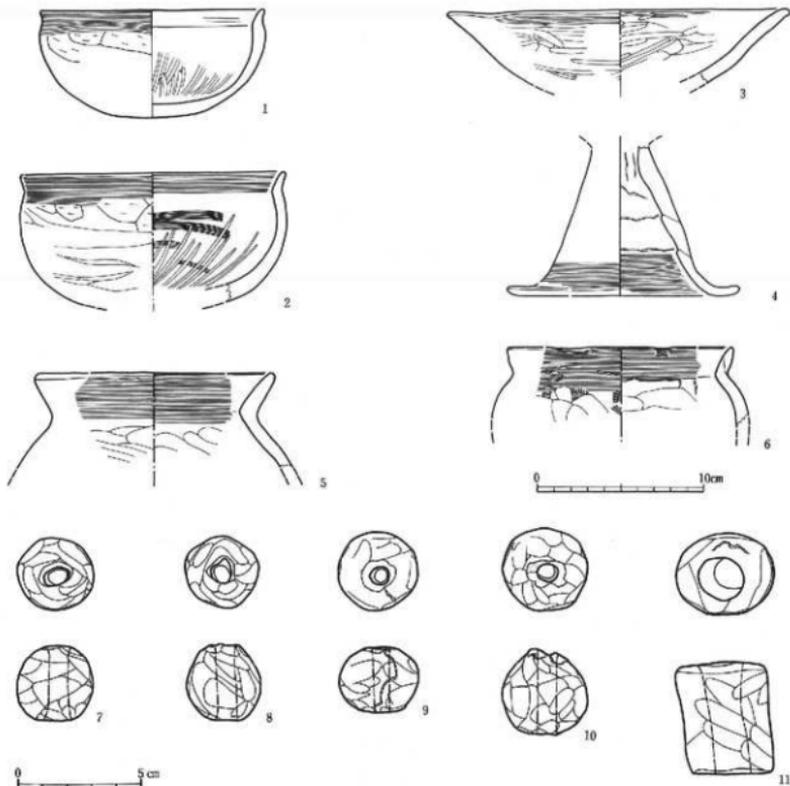
山 番 号	全 長	種 別	深 度	産 地	取上層	計 算 ・ 特 徴 ・ 備 考				層 深	木 取 り	時 期	写 真 取 組	
						全 長	幅・厚	厚 さ	備 考					
1	L-696	杖	丸	材	VI 19 区 層	10軒43	全長 32.0	幅・厚 7.0	7.0	羽端加工				
2	L-744	杖	丸	材	VI 19 区 層	10軒118	16.3	7.3	6.7	先端加工2面多段、焼痕				328-5
3	L-717	杖	丸	材	VI 19 区 層	10軒75	21.8	3.6	3.3	両端加工 上-3面1段 下-3面2段	ク リ	志 持 丸	古 樽 類	328-4
4	L-698	杖	丸	材	VI 19 区 層	10軒46	36.7	4.0	3.7	先端加工 3面1段	ク リ	志 持 丸	古 樽 類	
5	L-774	杖	丸	材	VI 19 区 層	10軒3	全長 32.0	幅・厚 3.2	2.1	先端加工				
6	L-775	杖	丸	材	VI 19 区 層	10軒4	21.8	7.2	3.8		ク リ		古 樽 類	
7	L-772	杖	丸	材	VI 19 区 層	10軒7	129.4	8.9	.6	先端加工				
8	L-779	杖	丸	材	VI 19 区 層	10軒2	162.8	7.2	7.2	羽端加工 上-2面多段 下-3面多段	ク リ	志 持 丸	古 樽 類	330-7

第337図 VI区河川跡10層出土木製品類16



図中 番号	器 番号	種 別	器 種	透 眼	区 位	取上番号						法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考				製 種	未 取 り	時 期	写 真 図 版
						全 長	幅・ 径	厚 さ	全 周 加 工 寸 数	透 眼 段 数	備 考	製 種	未 取 り	時 期	写 真 図 版				
1	L-773	杖	丸 杖	区 位 10	10株1	全 長 124.3	幅・ 径 6.3	厚 さ 6.8	全 周 加 工 寸 数 2	透 眼 段 数 2	備 考 樹皮付			ケヤキ	志持丸	古墳時期			
2	L-776	杖	丸 杖	区 位 10	10株8	78.7	5.2	4.7	多 面 多 段	抉 り				ケヤキ	志持丸	古墳時期			
3	L-776	杖	丸 杖	区 位 10	10株5	54.8	6.9	5.8						シラキ	志持丸	古墳時期			
4	L-777	杖	丸 杖	区 位 10	10株6	97.5	4.2	4.2		焼 痕				アト區	志持丸	古墳時期			

第338図 VI区河川跡10層出土木製品類17



図中 番号	器 番号	種 別	器 種	地区	遺跡	層位	出土番号	出 土			特 徴・備 考		分期	群 期	写真図版	
								器高	口径	底径	外 面	内 面				
1	C-115	土師器	杯	VI区	11層	土師No 3	6.6	13.3		口縁部ヨコナデ、体表面ヘラケズリ	口縁部ヘラミダキ	IIIc2	古墳中期	222-6		
2	C-116	土師器	杯	VI区	11層	土師No 1	9.8	15.7		口縁部ヨコナデ 体部ヘラケズリのちヘラミダキ	口縁部ヨコナデ 体部ヘラケズリのち ヘラミダキ	IIIc1	古墳中期			
3	C-118	土師器	高杯	VI区	11層		16.6	20.2		口縁部ヨコナデ、体部ヘラミダキ	口縁部ヘラミダキ		古墳中期			
4	C-117	土師器	高杯	VI区	11層	土師No 2	17.2	14.9		胴部体部縦溝、高部ヨコナデ	高部体部縦溝あり、高部ヨコナデ		古墳中期	231-4		
5	C-120	土師器	罍	VI区	11層		5.8	14.6		口縁部ヨコナデ 体部ナデのちヘラミダキ	口縁部ヨコナデ 体部ヘラケズリ のちナデ		古墳中期			
6	C-119	土師器	甕	VI区	11層		14.3	13.4		口縁部ハケメのちヨコナデ 体部ハケメのちナデ	口縁部ハケメのち ヨコナデ、体部ナデ		古墳中期			
図中 番号	器 番号	種 別	器 種	地区	遺跡	層位	出土番号	全高	口径	底径	重量	特 徴・備 考		分期	群 期	写真図版
7	F-9	土師器	土師	VI区	11層	11層No 4	3.1	3.6	0.9	26.4		穿孔有、ナデ		古墳中期	341-4	
8	F-10	土師器	土師	VI区	11層	11層No 5	3.1	2.9	0.8	25.0		穿孔有、ナデ		古墳中期	341-5	
9	F-7	土師器	土師	VI区	11層	11層No 2	2.7	3.2	0.7	24.0		穿孔有、ナデ		古墳中期	341-6	
10	F-8	土師器	土師	VI区	11層	11層No 3	3.5	3.4	0.8	34.7		穿孔有、ナデ		古墳中期	341-7	
11	F-6	土師器	土師	VI区	11層	11層No 1	4.6	3.7	1.9	55.7		ナデ		古墳中期	341-8	

第339図 VI区河川跡11層出土遺物

丸材には、二股の枝と幹を利用してY字状に木を取り、枝と反対の幹の先端を杭先状に尖らせたもの(第335図3)、先端が杭先状に鋭く尖り長いもの(第335図4・6、第336図1・2)、比較的短い丸材で、片側の端部は杭先状に削られ、他方の端部は丸く削られているもの(第337図3・4)、端部に切断痕のあるもの(第335図5・7、第336図5、第337図1・2)、芯持丸材の表面を削り調整しているもの(第336図3)、樹皮を木の周囲に沿って帯状に剥いだ痕跡のあるもの(第336図4)などがある。

## II 11層検出遺構と出土遺物

### 1) 堆積土の状況と検出遺構

11層は、10層に比べると粘土分が多くなり、木本質の植物遺体が見られなくなる。土層は北岸斜面と河川跡の底面南半から南岸斜面にかけて分布し、河川跡の底面北半部には殆ど分布していない。層厚は、北岸斜面では5cm前後、河川跡の南半分では15~20cmあり、南岸斜面ほど厚く堆積している。

11層から遺構は検出されていない。

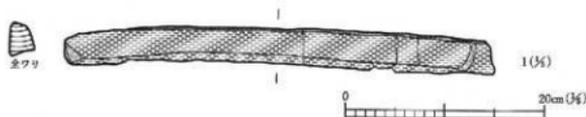
### 2) 遺物出土状況と出土遺物

11層からの出土遺物は、土師器片は全体に散布するが数は少ない。また、木製品は出土しておらず、木製品類としては材が1点あるだけである。少ない遺物にあって、土鎌が数点出土し、11層出土遺物の中では目立つ存在となっている。土器・材・土鎌など、出土地点を実測した遺物は、VI区西部の中央付近に集中している。

出土遺物としては、土師器・材・土鎌がある。土師器には、坏・高坏・甕などがある。坏は2点実測できた(第339図1・2)が、2点とも底部から体部にかけて半球形に立ち上がり、体部と口縁部の境が折れ、口縁は短いが強く外反し、内面の体部と口縁の境に強い稜がある。高坏には、坏部の破片(第339図3)と脚部の破片(第339図4)がある。坏部は、底部と体部の境付近がわずかに屈曲し、体部から口縁部にかけては外反して広がる。脚部は、脚柱部が円錐形に広がり、脚裾部は水平に開いて端部がわずかに反り上がる。実測した甕は2点とも小型のもの(第339図5・6)で、球形の体部に外反する口縁が付き、体部と口縁部の境の内面には稜が形成されている。11層の土師器も、南小泉式ないし引田式に位置付けられる(注3に同じ)。

土鎌には、球形のもの4点(第339図7~10)と、円筒形のもの1点(第339図11)がある。球形のものには、直径が3.0cm前後で、重量が25g前後のもの(7~9)と、直径が3.5cm前後で、重量が35g前後のもの(10)がある。円筒形のものには、長さ4.6cm・直径3.7cm・重量55.7gを測る。孔径は、球形のものが0.8cm前後、円筒形のもの1.9cmである。これらの土鎌は、魚網用の鏝であると考えられる。

木製品類としては、材が1点あるだけである(第340図1)。この材は、全長43.3cmの分割材で、全面が剖面となっており、特に加工は施されていない。



調査区画	遺物番号	種類	材質	形状	全長	直径	重量	取上番号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考			樹 種	木 取 り	貯 蔵	写真記録	
									全長	直径	重量					
I	L-790	材	分割材	11層	43.3	3.7	55.7	11層				ケヤキ		自然物		

第340図 VI区河川跡11層出土木製品類



## 12 12層検出遺構と出土遺物

### 1) 堆積土の状況と検出遺構

12層になると再び木本質の植物遺体を多量に含むようになり、大きな枝や幹なども出土する。12層の分布は、北岸側では、底面から河岸斜面の下位にはあるが、河岸斜面の中位から上位には分布していない。南岸側では、底面には分布するが、河岸斜面は調査区外となるために不明である。河川跡の南半部では、12層の中程に暗灰黄色の粘土を含む層(12b層)があり、これにより12層は、12a層・12b層・12c層の3層に細分された。12a層は南岸寄りの河川跡底面に分布し、層厚は10cm前後である。12b層は、河川跡底面の中央部から南側岸面に向かって緩やかに立ち上がりながら分布する。層厚は15～20cmである。12c層は、北側岸面の下位から河川跡底面、そして南側の岸面まで広く分布する。12c層の層厚は、河川跡中央部では30cm前後あるが、河川跡中央から南側は急に薄くなり5～10cmとなる。

遺構としては、杭が3本検出されている。

### 2) 杭

12層で発見された杭は3本あるが、それぞれ独立して存在する。杭1はVI区西部中央付近の調査区中段の壁面付近で発見された。全長81.4cmの割杭(第351図1)で、一部の割面を残して全面に大きな単位の削り痕跡がある。先端は1面から削られて、やや細くなっている。反対の端部にはささくれた部分を切断したような切断痕がある。

杭2は、VI区西部西寄りの河川跡中央で発見された。全長30.0cmの芯持丸杭(第350図6)で、折れ面がそのまま先端となり、特に加工は施されていない。

杭3は、VI区東部の河川跡中央付近で検出された。全長21.2cmの芯持丸杭(第350図7)で、先端は対面する2面から切断されている。

### 3) 遺物出土状況

12層からは、土師器片や木製品・材など多くの遺物が出土しているが、出土状況は全体的にまばらで、特に集中する部分はない。木製品類の出土も特に集中部なく、北岸河岸斜面下位から調査区の南岸際まで、12層の分布範囲内から全体的に出土している。

### 4) 出土遺物

12層出土遺物には、弥生土器・土師器・石器・石製品・土製品・木製品・材がある。弥生土器は、12a層から4点、12c層から2点の甕または壺の体部片が出土している。

土師器には、小型手捏ね土器・杯・高杯・壺・甕・甗がある。小型手捏ね土器(第342図1)は、平底の環形の土器で、器高の割に大きな底部で、体部から口縁部まで内湾しながら立ち上がる。器面は、内外面とも丁寧にナデ調整されている。杯(第342図2)は、上げ武風の小さな底部から半球形の体部となり、体部と口縁部の境は括れて、幅が広く大きく外反する口縁となる。外面及び内面の口縁部は、丁寧にヘラミガキ調整される。高杯は、脚部の破片(第342図3)がある。脚柱部は、高さの割に強く開き、脚柱部と脚柄部の境は不明瞭である。脚柄部はやや広がり、端部はわずかに反り上がる。壺は実測したものは5個体あり、小型のものと大型のものがある。小型のものには、球形の体部に、短く外傾する口縁の付くもの(第342図4)、扁平な球形の体部に、強く外反する短い口縁が付くもの(第342図5)、4・5よりさらに小型の甗で、球形の体部から外反する口縁となるもの(第342図6)などがある。大型の壺は、折り返し口縁の壺の破片で、折り返しの幅が狭く口縁部が外形するもの(第342図7)と、折り

返し幅が広く口縁部が外反するもの(第342図8)がある。実測した甕は4点(第342図11~14)ある。11は、長胴気味の体部で肩部に張りを持ち、頸部は緩やかに括れて立ち気味に外反する口縁となる。12は、丸みのある肩部から緩やかに括れて端部が強く外反する口縁となる。13は、外傾する口縁部片で、口縁部の中央が膨らみ、端部が尖っている。14は、球形の体部から強く外反する口縁の甕である。10は、器形の不明な端部破片である。

石器には、砥石(第343図1)と、敲石(第343図2)がある。砥石は、全長28cmの自然礫を利用したもので、長軸にそって1面が割れている。残存面には、いたるところに線状の擦痕がついているほか、凹形状の凹面も認められる。敲石は、全長9.1cmの棒状の礫で、両端に敲打痕がある。

石製品は、全長5.5cm・幅4.0cmの隅丸方形の扁平で湾曲のある石材に、対角線上の2カ所に穿孔のあるものが出土している(第343図3)。

土製品は、土鍾が4点出土している。土鍾の形態としては、直径3cm前後の球形のもの(第344図1・2)と、長軸3.6cm・短軸2.9cmの卵形のもの(第344図3)、直径7.8cm・厚さ4.3cmの饅頭形のもの(第344図4)が出土している。1~3については、11層出土の土鍾と同様に魚網用の鍾と考えられる。4については、土鍾ではなく紡錘車等の用途も考えられる。

木製品としては、漆柄二又鎌・曲柄鎌・直柄小型鎌・直柄横鎌・鎌柄柄・直柄・掘り棒・鎌柄・木鍾・弓・付付き容器・不明品などがある。

漆柄二又鎌(第345図1)は、軸部は断面が三角形で、基部に向かってやや広がる棒状を呈す。軸部の端部は、側面部分を、軸端側と歯側の両方向から抉るように削って、紐掛かりの突起を造り出している。身部上端は、一度外側に開いて肩部を形成した後、下方に外反して広がり、身部に続く。身部は、先端に向かってわずかに広がりながら直線的にのびる。身部の間の切れ込みは直線的で、身部の上部ほどやや狭くなり、末端は「」形に角張る。身部を薄く加工する際には、前面側の身部上端付近から削り込んでいる。身部の先には、側面からV字形の切り込みが入られ、主面から見ると先端が突起状に外側に膨らんでいる。

曲柄鎌(第345図2)は、軸部の破片である。断面形は半円形を呈し、基部に向かってやや幅が広がる。

直柄小型鎌(第345図3)は、全長20.2cm・幅9.0cmを測る。主面は、刃の方の幅が広い楕円形を呈する。後面には全長の2/3程度に達する流線型の着柄隆起が造り出されている。鎌の上端は、身部の幅と着柄隆起の幅が等しくなっている。柄孔は円形で、着柄隆起側の孔径が大きく開けられている。

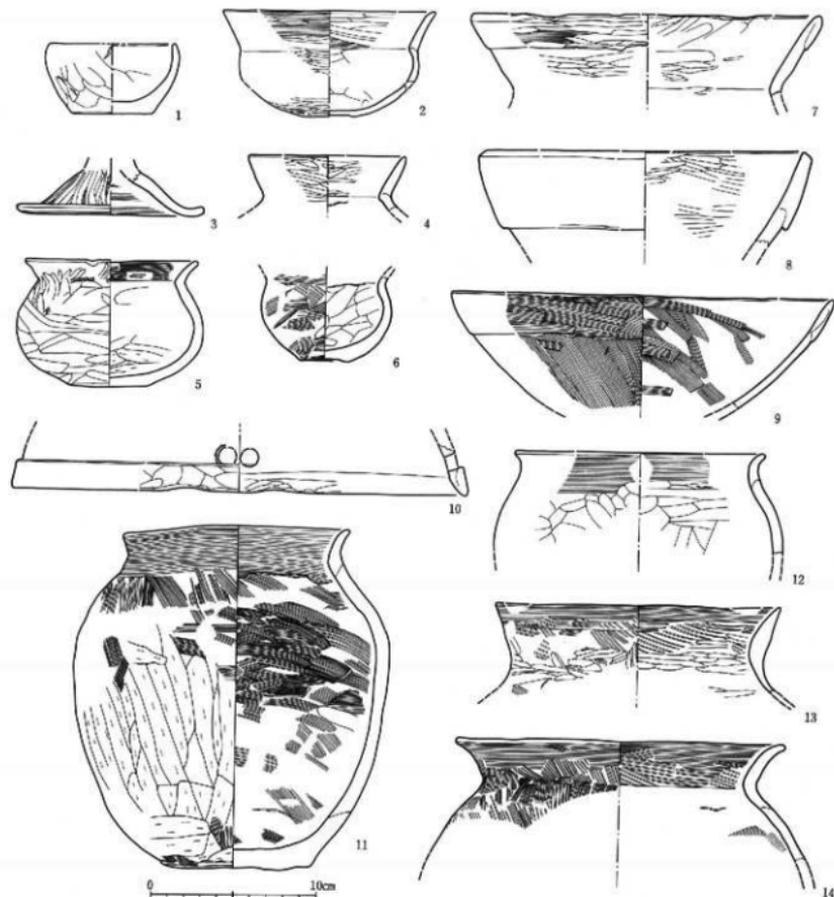
直柄横鎌(第346図1)は、鎌の中央部の破片が出土している。柁目板を横木取りして作られおり、上下両側を欠損している。幅は、残存部で52.0cmあるが、刃先に向かって徐々に狭くなっている。鎌の中央付近には着柄隆起の一部が残る。着柄隆起の位置は、中央ではなく、着柄隆起側から見てやや左に寄っている。身部の両端は、わずかに着柄隆起側に湾曲している。着柄隆起の形状は、残存部から流線型であると推定される。

鎌柄(第345図4)は、鎌との接合部から柄の基部にかけての破片である。接合部は、全長20.4cm・幅4.4cmを測る。接合部の上端の前面側には、紐掛かりの突起が造り出されている。

直柄は2点(第346図2・3)あり、どちらも芯無の丸材で、両端を欠損する。第346図3の片端は、片面が平らに削られている。

掘り棒と考えられる木製品は3点(第346図4~6)出土している。4・5は身(刃)部の破片で、後者の刃は長くかつ薄く造られている。6は柄の端部と身の片側の側面部分を欠損する。柄の断面形は、身の幅の方向に偏平な楕円形である。身部の上端は、柄から直角に張り出して明瞭な肩部を形成している。身部は、全長16.4cm・残存幅5.2cmを測り、幅の割に短い身部である。刃先は丸くなっているが、先端に鋭きはない。

鎌柄(第347図1)は、鎌身の装着部を欠損する。柄の基部側半分は丸く、装着部付近から頭部にかけては方形ないし長方形に加工されている。頭部と柄の基部は、鎌身本体が出る方に向かって張り出し、柄基部末端はさらに肥



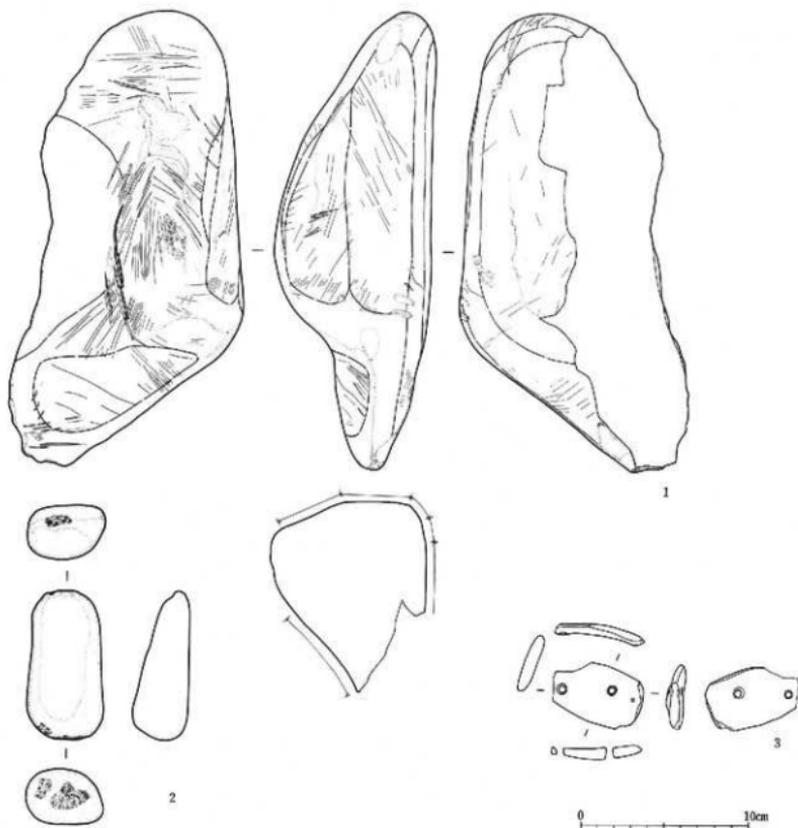
図号	器名	土質	形状	出土層	寸法			装飾・文様			分類	写真掲載			
					高さ	口径	底径	外	内	底					
1	C-134	土曜器	小型平盤三脚	V区	12層	4.3	7.6	4.8	口縁部から底面まで	口縁部から底面まで		古墳前段	231-10		
2	C-133	土曜器	皿	V区	12層	6.5	12.9	2.9	口縁部：ヨコナガのちヘラミダキ 底面：ヘラミダキ	口縁部：ヨコナガのちヘラミダキ 底面：ヘラミダキ	I	A	古墳前段		
3	C-134	土曜器	浅杯?	V区	12層	( 9.7)		11.4	口縁部：ヨコナガのちヘラミダキ	口縁部：ヨコナガ			古墳前段	233-1	
4	C-122	土曜器	皿	V区	12層	( 3.2)	9.3		口縁部：ヘラミダキ	口縁部：ヘラミダキ			古墳前段		
5	C-131	土曜器	小野菊	V区	12層	土曜No.1	7.8	10.2	4.9	口縁部：ヘラミダキ、底面：ハタメのちコナガ 底面：ヘラミダキ	口縁部：ハタメ、底面：ナダ 底面：ヘラミダキ			古墳前段	235-7
6	C-130	土曜器	小野菊	V区	12層	土曜No.5	( 5.2)	3.0	口縁部：ヨコナガ、底面部：ハタメ	外縁部：ナダ			古墳前段	237-11	
7	C-132	土曜器	皿	V区	12層		( 4.7)	21.0	口縁部：ヨコナガ、底面部：ヨコナガのちヘラミダキ 底面：ヘラミダキ	口縁部：ナダのちヘラミダキ 底面：ナダのちヘラミダキ			古墳前段	229-3	
8	C-129	土曜器	皿	V区	12層		( 6.8)	19.0	口縁部：ヘラミダキ	口縁部：ヘラミダキ			古墳前段		
9	C-126	土曜器	皿	V区	12層		( 6.9)	23.0	口縁部：ヘラミダキ	口縁部：ヘラミダキ			古墳前段	230-11	
10	C-133	土曜器	器台?	V区	12層		( 2.7)	27.3	底面部はなし、底面：ナダ、孔あり	口縁部：ナダ			古墳前段	231-8	
11	C-135	土曜器	皿	V区	12層		21.1	13.5	9.2	口縁部：ヨコナガ、底面部：ヘラミダキ	口縁部：ヨコナガ、底面部：ヘラミダキ			古墳前段	226-4
12	C-138	土曜器	皿	V区	12層		( 6.2)	14.8		口縁部：ヨコナガ、底面部：ナダ	口縁部：ヨコナガ、底面部：ナダ			古墳前段	
13	C-127	土曜器	皿	V区	12層		( 5.2)	17.0		口縁部：ハタメのちコナガ 底面：ハタメのちヘラミダキ	口縁部：ハタメのちコナガ 底面：ヘラミダキ			古墳前段	226-4
14	C-136	土曜器	皿	V区	12層		( 7.1)	19.6		口縁部：ハタメのちコナガ 底面：ヘラミダキ	口縁部：ハタメのちコナガ 底面：ヘラミダキ			古墳前段	226-5

第342図 VI区河川跡12層出土遺物 1

大する。

木鏟と考えられる木製品（第347図2）は、全長14.8cm・直径4.0cmの、両端が丸く切られた円筒形の芯持丸材である。側面の一部には、縦に長く削った加工がある。

弓と考えられる木製品（第347図3）は、残存長21.6cm・直径2.0cmの芯持丸材で、全面に細かい加工が施されている。端部は丸く削られ、端部の近くの片面にはL字形の抉りが入られている。ここでは白木の丸木弓として報告しておくが、他の用途の木製品の可能性もある。



図中 番号	発 掘 号	概 略	部 類	出 土 地 点		測 量				特 徴 ・ 備 考	素 材	時 期	写真 図版	
				地区	遺 蹟	遺 跡 番号	取上番号	全 長	幅・厚					重 量
1	K-86	石室	砥石・包石	VI区	12号		25.9	9.3	14.0	3430.0	砥石・包石、包石中央部、細線多岐	栗山竹	古墳前期	241-1
2	K-85	石室	砥石	VI区	12号		9.1	4.3	3.4	215.1	砥石	菅野原成程	古墳前期	241-3
3	K-84	石室	包石・包石	VI区	12号		5.5	4.0	0.8	21.9	包石	スレート	古墳前期	236-16

第343図 VI区河川跡12層出土遺物 2

台付き容器(第347図4)は、平面形が長方形を呈する盤状の台付き容器と考えられる。盤の部分は深さが約4cmで、器壁の立ち上がりは緩く、湾曲はない。台は、長軸方向に造り出され、下駄の歯のように2列に平行するものと考えられる。台の高さは5.0cmである。

不明品には、模状の木製品が1点(第347図5)ある。直径1.8cmの芯無の丸材で、基部を欠損するが、先端は鋭く尖っている。

材には、建築材と考えられるもの(第347図6)と、板材(第347図7、第348図1～5他L-802・814・817・820)、角材(第349図1～4他L-806)、分割材(第349図5～7、第350図1・2他L-800・801・803・804・807・808・810・815・822・826・827・828)、丸材(第350図3～5他L-812)がある。

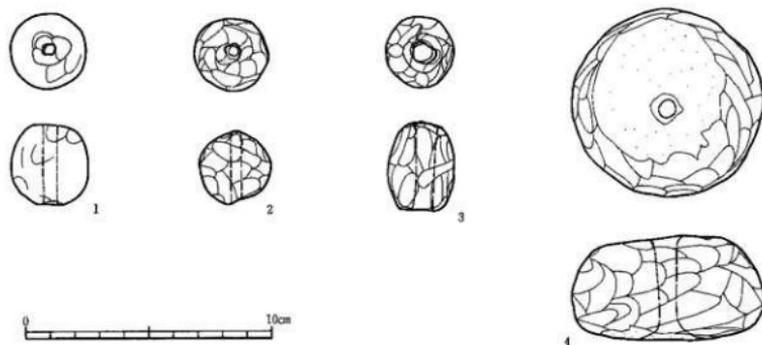
建築材は、残存長34.6cm・直径6.0cmの芯持丸材で、残存する端部は偏平な球形に削り出され、その削り込みの近くの側面には、L字形の抉りがある。

板材には、板目板と柾目板がある。板目板には、楕円形を呈し、縦線の中央が肥厚するもの(第347図7)や、全長51.7cm・幅10.2cmの材で、片方の木口が斜めに切られるもの(第348図3)、残存長33.1cm・残存幅1.6cm・厚さ0.4cmの薄く削られた板(第348図1)などがある。柾目板には、全長22.3cm・幅4.1cm・厚さ1.4cmの板材の両木口に、掘り込みを入れたもの(第348図2)などがある。

角材には、表面を削って調整しているもの(第349図1・2)と、削面だけで、特に表面調整されていないもの(第349図3・4)がある。両者とも85cm以上の長い材である。

分割材は、切断痕や加工痕の見られるもの(第349図5・6)と、削面だけのもの(第349図7、第350図1・2)がある。実測図を掲示しなかった分割材のほとんどは後者に属し、小片が多い。

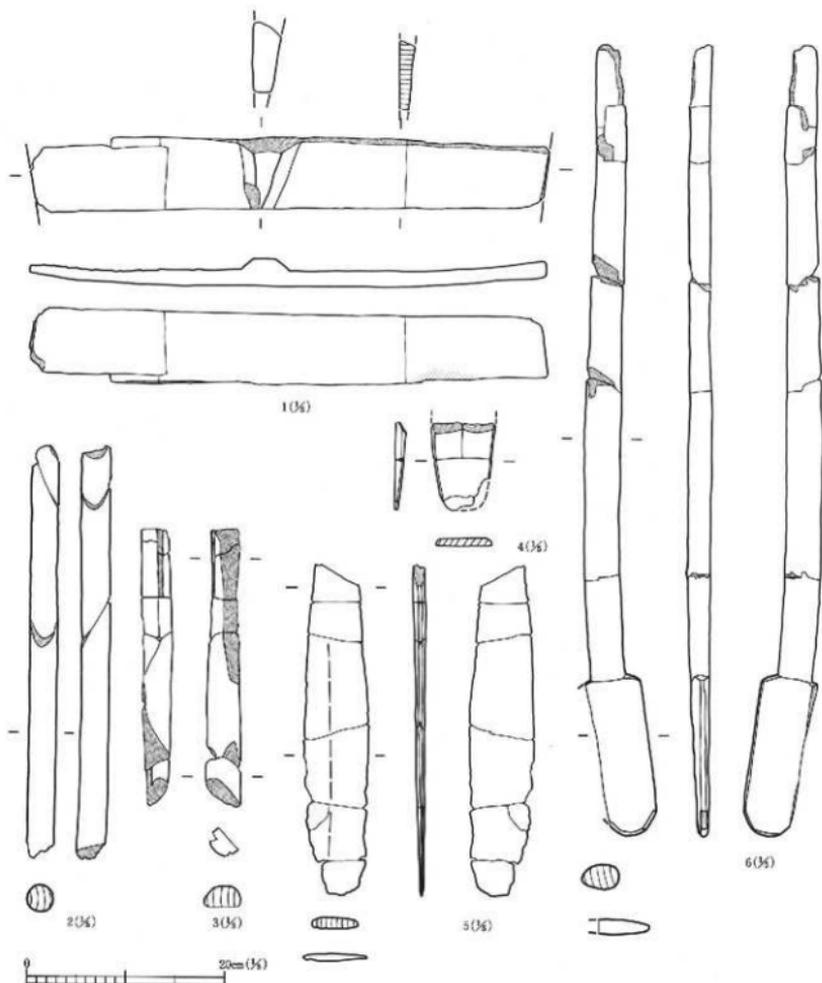
丸材は、杭先状に先端が加工されて尖っているもの(第350図3)と、切断された状態のままのもの(第350図4・5)がある。



JHP 番号	器種	器名	出土地点		法量					特徴・備考	素材	時期	写真図版
			地区	遺構	層位	取上番号	全長	幅	径				
1	P-14	土器	VI区	12a層	12a層 No.7	3.3	3.1	0.5	31.1	穿孔有、ナデ		古墳前期	341-9
2	P-13	土器	VI区	12c層	12c層 No.9	3.0	3.0	0.4	21.6	穿孔有、ナデ		古墳前期	341-10
3	P-12	土器	VI区	12b層	12b層 No.10	3.4	2.9	0.8	25.2	穿孔有、ナデ		古墳前期	341-11
4	P-11	土器	VI区	12a層	12a層	4.3	7.8	0.8	245.1	穿孔有、ナデ		古墳前期	341-12

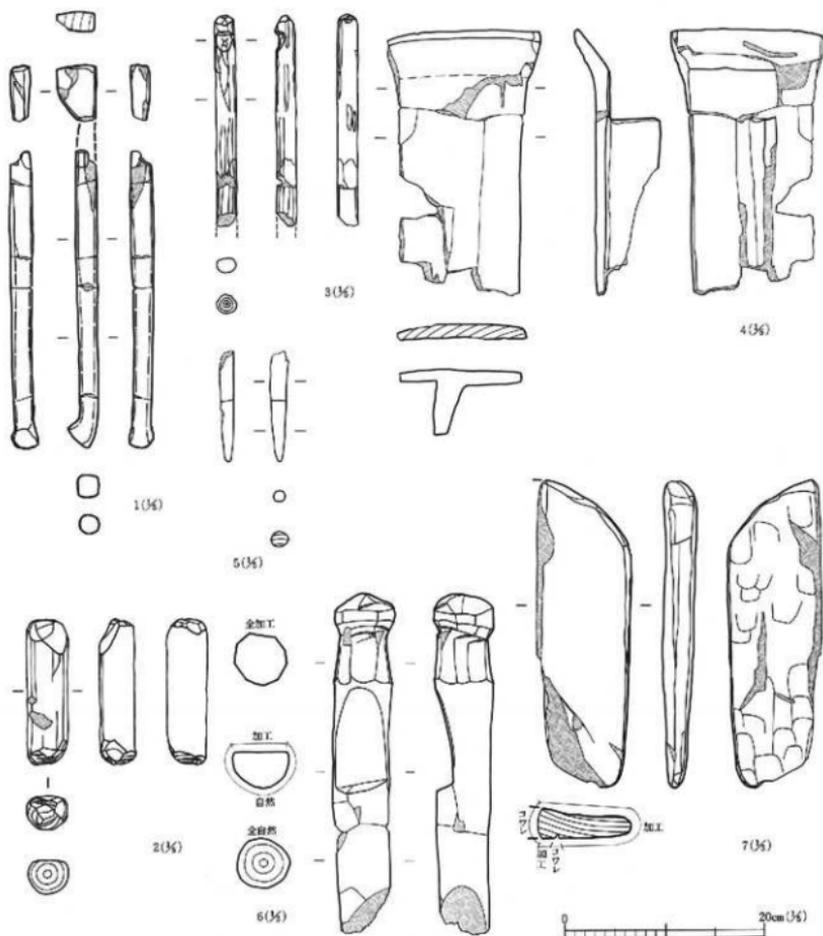
第344図 VI区河川跡12層出土遺物3





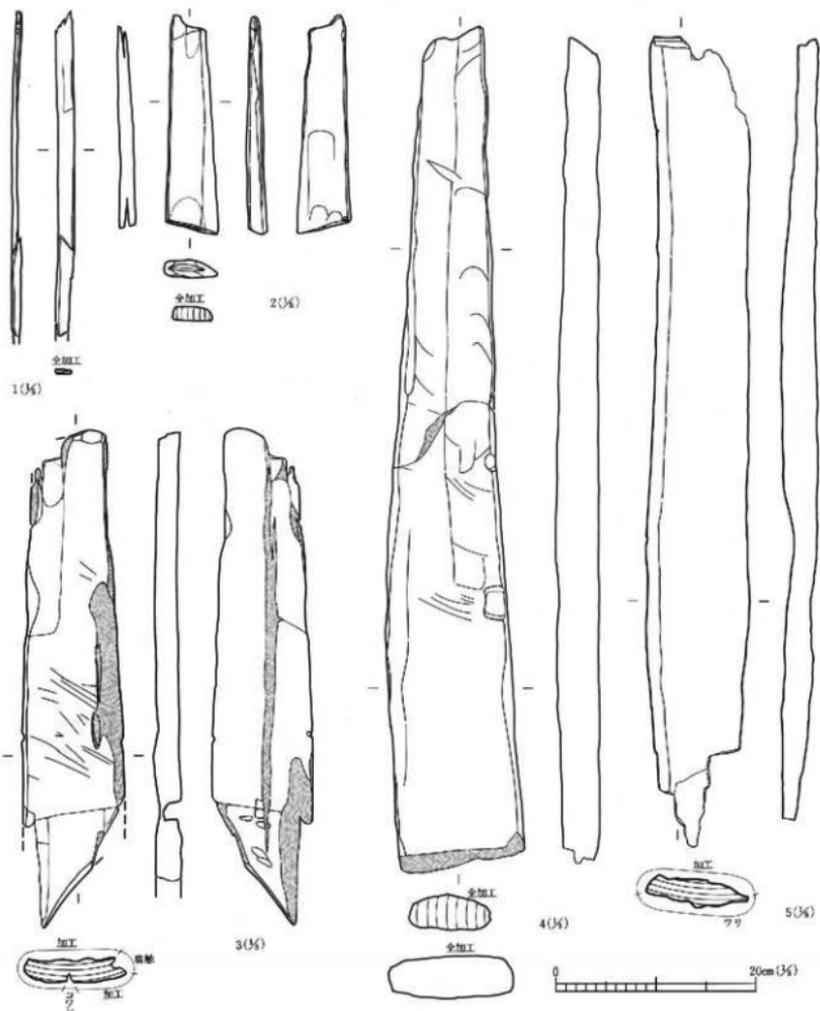
発掘 番号	種別	器種	形制 区分	取上番号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考										横 径	木取り	時 期	写真図取	
1	L-784	木製品	筒形	VI区 12c層	125木12	全 長 7.4	最大幅 32.9	最大厚 2.8	身幅編 12.3	身幅差 1.6	溝起部	新 孔	新 孔	共	流孔、中央部破片	2×24mm	組立物	法興期	276-1
2	L-783	木製品	筒形	VI区 12c層	125木16	全 長 42.2	柄 径 2.8									1×14mm	芯抜き	法興期	276-3
3	L-781	木製品	筒形	VI区 12c層	125木4	28.4	3.4									1×14mm	芯抜き	法興期	276-4
4	L-818	木製品	筒形	VI区 12b層	139材35	全 長 9.3	身幅長	身幅幅 6.4	身幅厚 1.0	柄幅長	新刃長	器底長	器口幅	器口厚	身部破片	2×24mm	紐目	法興期	276-9
5	L-784	木製品	紐目	VI区 12b層	125木15	23.8		6.6	1.0						身部破片	2×24mm	紐目	法興期	276-8
6	L-789	木製品	紐目	VI区 12b層	125木11	89.4	16.4	5.2	1.8	64.0	3.6×2.6					2×24mm	紐目	法興期	276-10

第346図 VI区河川跡12層出土木製品類2



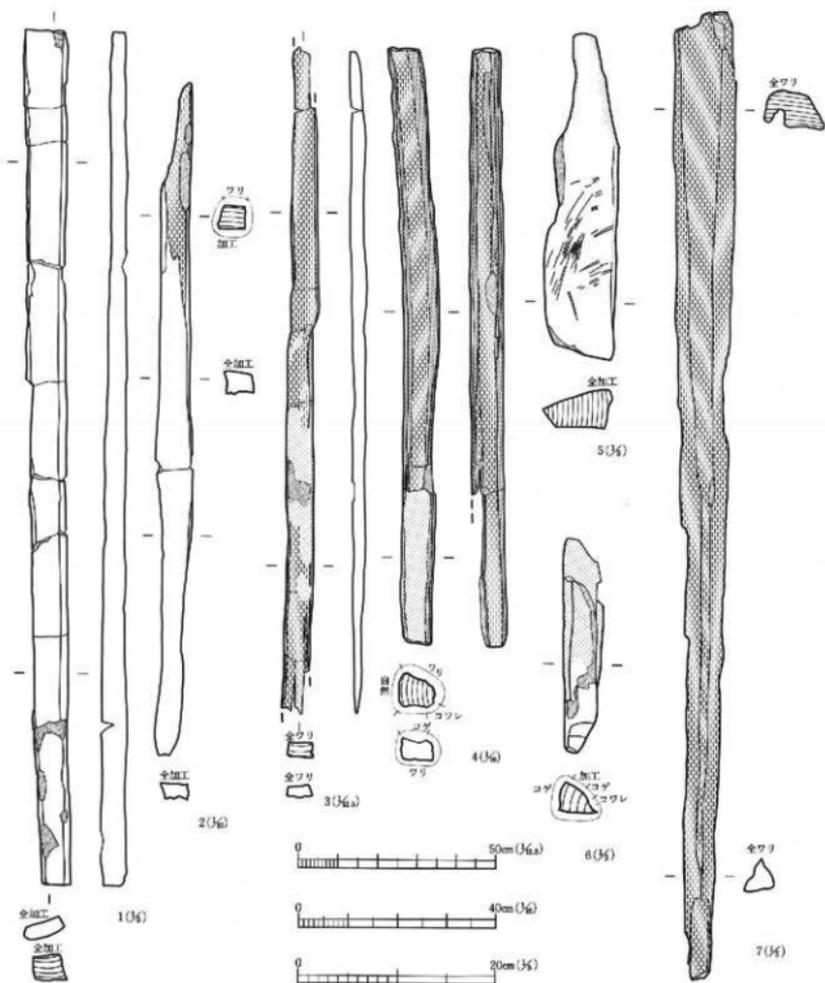
図中番号	登録号	種別	部材	産地	取上層号	法量・特徴・備考						断面	木取り	時期	写真図版		
						全長	断面長	断面幅	納底長	納底幅	特徴					備考	
1	L-791	木製品	藤柄	VI区 12層	12b-6-3	全長 36.2	断面長 5.9	断面幅 4.9	納底長 30.4	納底幅 2.2				クヌギ	芯丸	古銅器	276-11
2	L-821	木製品	木刺	VI区 12層	12c-5	全長 12	断面長 14.8	断面幅 4.9						ナギナ	芯丸	古銅器	276-6
3	L-795	木製品	弓	VI区 12層	12a-13	全長 21.6	断面長 2.0							ナギナ	芯丸	古銅器	277-9
4	L-793	木製品	弓	VI区 12層	12b-11	全長 8.5	断面長 9.6	断面幅 9.8	口径長 27.0	幅 16.4				ナギナ	木	古銅器	277-12
5	L-782	木製品	不明	VI区 12層	12b-5	全長 11.4	断面長 9.6	断面幅 1.8						ナギナ	芯丸	古銅器	272-6
6	L-766	材	建築材	VI区 12層	12c-134	全長 31.5	断面長 9.9	断面幅 9.9						ナギナ	芯丸	古銅器	322-3
7	L-825	材	板材	VI区 12層	12c-125	全長 31.2	断面長 9.4	断面幅 3.1						ナギナ	板	古銅器	225-2

第347図 VI区河川跡12層出土木製品類 3



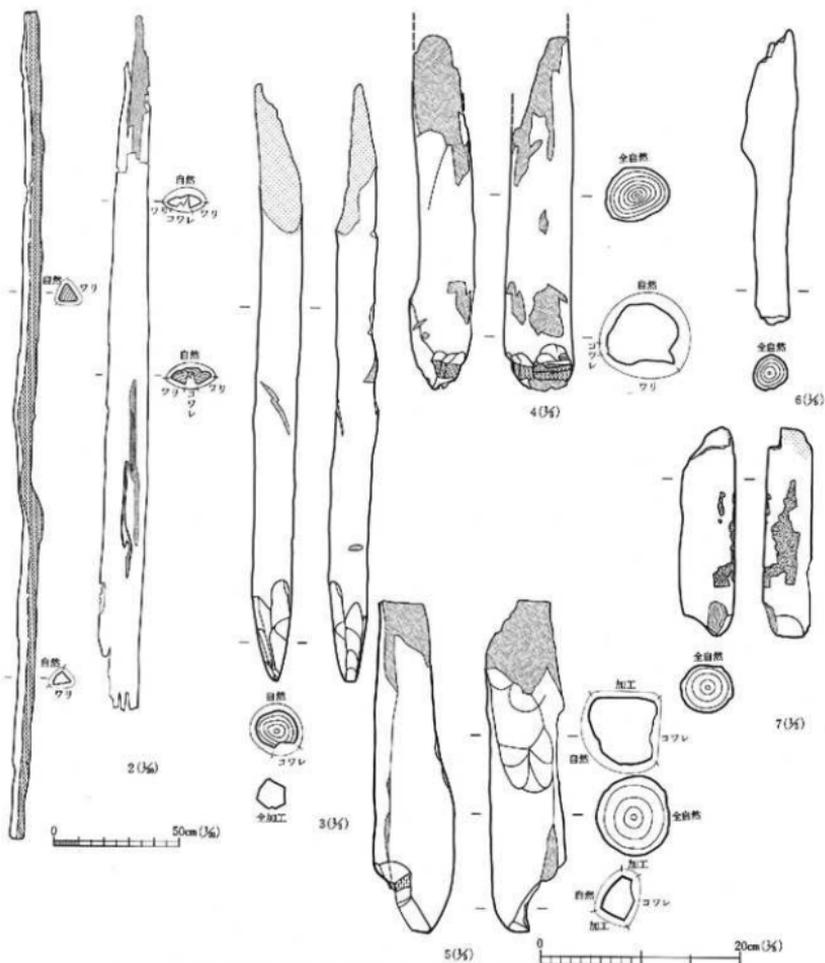
図中番号	発掘層	種別	産地	地層	取上番号	全長	軸・径	厚	注・特徴・備考	樹種	木取り	時期	写真図版	
1	L-797	杖	板	材	VI区 12a層	12a材3	全長 33.1	軸・径 1.6	厚 0.3		スギ	板目	5世紀	
2	L-830	杖	板	材	VI区 12c層	12c材16	22.3	4.1	1.4		スギ	板目	5世紀	329-1
3	L-813	杖	板	材	VI区 12b層	12b材27	51.7	10.2	2.5	ワリ	ケリ	板目	5世紀	
4	L-816	杖	板	材	VI区 12c層	12c材33	86.4	12.7	4.3		ケンボ ナシ散	板目	5世紀	
5	L-832	杖	板	材	VI区 12b層	12b材42	82.6	10.3	3.5		コナ	板目	5世紀	

第348図 VI区河川跡12層出土木製品類 4



図山 番号	図 番号	種別	器種	土器 区分	取上番号	全長 約	幅・厚 約	厚 約	出土 層	出土 時期	出土 場所	写真 図録
1	L-805	材	角材	VI区 12a層	12a材16	4.6	2.3	2.5			VI区河川跡12層出土木製品類5	
2	L-833	材	角材	VI区 12a層	12a材47	136.2	6.8	4.7			VI区河川跡12層出土木製品類5	
3	L-824	材	角材	VI区 12a層	12a材32	169.5	6.5	3.5	焼痕		VI区河川跡12層出土木製品類5	
4	L-831	材	角材	VI区 12a層	12a材2	122.2	7.2	6.8	焼痕		VI区河川跡12層出土木製品類5	
5	L-829	材	分割材	VI区 12a層	12a材45	33.9	9.8	4.0	焼痕、刃傷		VI区河川跡12層出土木製品類5	
6	L-823	材	分割材	VI区 12a層	12a材30	21.7	3.7	3.0	先端加工、焼痕		VI区河川跡12層出土木製品類5	
7	L-834	材	分割材	VI区 12a層	12a材41	98.6	6.0	4.0			VI区河川跡12層出土木製品類5	

第349図 VI区河川跡12層出土木製品類5



図中 番号	遺物 番号	種類	材質	産 区 区 区	取土層号	測定・特徴・備考				縦 横	木取り	時期	写真図版
1	L-811	杵	分類材	VI区 12b層	12b4(2)	全長 333.0	幅・厚 8.0	厚さ 7.2			コナノ節	古墳前期	
2	L-836	杵	分類材	VI区 12a層	12a付48	279.5	16.0	6.5			コナノ節	古墳前期	
3	L-796	杵	丸材	VI区 12a層	12a材1	60.6	4.3	3.8	先端加工, 多面多段, 両面		タリ	志持丸	古墳前期
4	L-799	杵	丸材	VI区 12b層	12b材4	36.0	7.0	6.1	先端加工		タリ	志持丸	古墳前期
5	L-819	杵	丸材	VI区 12b層	12b材38	33.8	7.4	8.2	先端加工		ホヱノ節	志持丸	古墳前期
6	L-805	杵	丸材	VI区 12b層	12b材2	39.0	3.4	3.6				志持丸	古墳前期
7	L-798	杵	丸材	VI区 12a層	12a材3	21.2	5.2	4.8	先端加工 2面1段, 両面付, 両面		タリ	志持丸	古墳前期

第350図 VI区河川跡12層出土木製品類6

### 13 13層検出遺構と出土遺物

#### 1) 堆積土の状況と検出遺構

13層は、河川跡の底面全体に分布するが、河川跡北岸斜面にはほとんど立ち上がらない。暗灰黄色粘土層(13a層)を主体とするが、河川跡の南半分では、この層の下に黒褐色ないしオリブ黒色の泥炭質の土壤を主体とする層(13b1~13b6層)が堆積し、南岸斜面方向にのびている。13a層の厚層は、河川中央部で約40cmあるが、両岸に向かって薄くなる。13b層は、20~30cmの厚さで堆積する。13層中には、木の枝や葉などの植物遺体を多く含み、中には断面図(第274図)にあるような巨木も出土している。

13層では、遺構は検出されていない。

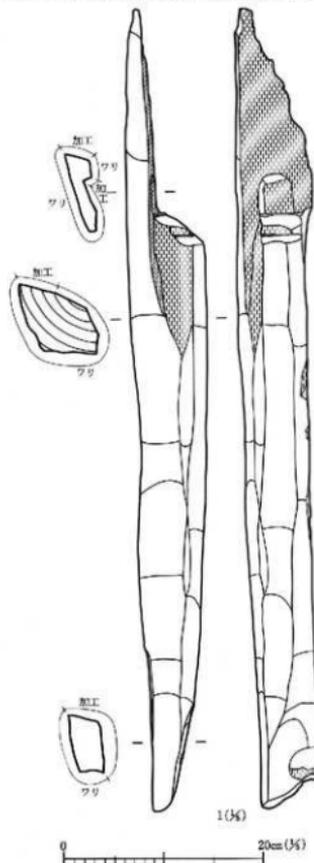
#### 2) 遺物出土状況と出土遺物

13層の遺物は、土層が厚い割には少なく、材が5点出土しているだけである。材の出土位置は、VI区西部の中央で2点が接近して出土し、あとの3点は、VI区東部の河川跡南岸寄りから比較的接近して出土している。

出土した材には、板材(第352図1・2)、分割材(第352図3・5)、丸材(第352図4)がある。板材の第352図1は、薄いミカン割材の樹芯部を除去したような材で、木表側の側面には樹皮を剥いだ際の加工跡が残る。両木口は斜めになっており、樹皮側から樹芯に向かう切断痕が残る。2は、片側の木口は1と同様に斜めになっており、樹皮側から樹芯に向かう切断痕が残る。反対の木口は、両側の主面から木目に直交して切断のための加工が行われている。この加工は、主面に対して直角に近い角度で行われ、完全に切断せずに、約1cm残したところで折り割られている。

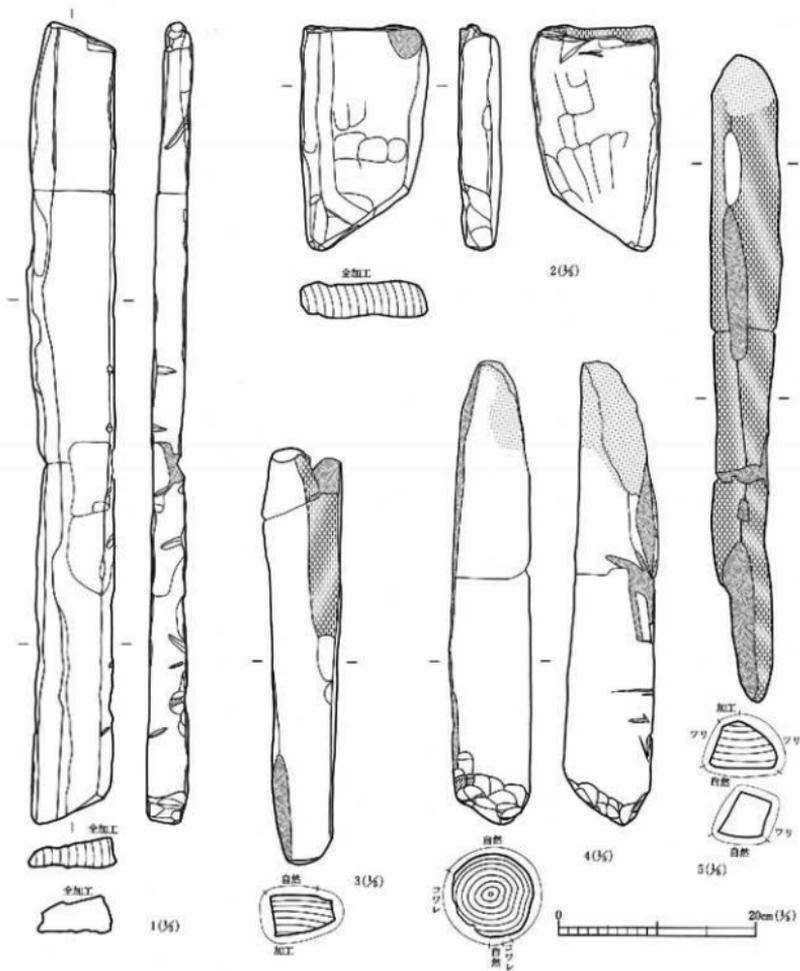
分割材は、角材状で、一部に加工が施されているもの(3)と、全面が割面のもの(5)が出土している。

丸材は、全長47.3cm・直径8.2cmの芯持丸材で、片側の木口は全周からの切断痕が残り、他方の木口は焼け焦げている。



図中 番号	図 号	類 別	材 種	区 位	取 出 層 位	取 出 層 号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考				種 類	木 取 り	時 期	写 真 回 数
1	シ 835	板	松	VI 区	12b	1	交 長 81.4	幅 7.6	厚 7.6	未 機 加 工		ナ リ	古 銅 器	

第351図 VI区河川跡12層出土木製品類7



区画番号	発掘層	種別	産地	区画	取上番号	量・特徴・備考			編織	未取り	時期	写真図版
						全長	幅・径	厚さ				
1	L-840	材	桜材	VI区 13層	13材4	81.1	8.8	3.8	先端加工			
2	L-839	材	桜材	VI区 13層	13材3	23.0	12.8	4.2		クモ形	柱目	古瀬田層 329-3
3	L-838	材	分西材	VI区 13層	13材2	42.4	6.5	4.1		ケンボ ナシ裏	柱目	古瀬田層
4	L-841	材	丸材	VI区 13層	13材5	47.3	8.2	8.5	先端加工、両面	タリ		古瀬田層
5	L-837	材	分西材	VI区 13層	13材1	66.0	6.8	4.7	熱燻	ヤマガツ	心材丸	古瀬田層

第352図 VI区河川跡13層出土木製品類

## 14 14層検出遺構と出土遺物

### 1) 堆積土の状況と検出遺構

14層は、河川跡の底面部に分布する。特に河川跡の中央部では、15層の堆積層を浸食した状況を示し、その浸食作用によって凹んだ部分に厚く堆積し、層底面は17層の砂礫層に達する。層厚は、中央部で約60cm、北岸寄りでは15cm前後、南岸寄りでは30cm前後である。土性は、黒色の粘土質泥炭で、葉状の植物遺体を多く含んでいる。

14層での検出遺構はない。

### 2) 遺物出土状況と出土遺物

14層も層厚の割に出土遺物は少なく、弥生土器の破片を除くと、VI区西部の中央西寄りと、VI区東部東寄りの河川跡中央部の2地点から、材がややまとまって出土しているだけである。

出土遺物には、弥生土器と材がある。弥生土器は頸部に列点刺突のある甕の破片(B-91)のほか、縄文またはミガキ調整された甕または壺の体部片が23点出土している。

材には、板材(第354図1~3)、角材(第354図4~6他L-853)、分割材(第354図7・8他L-842・843・844・850)がある。板材はいずれも板目板である。1は残存長74.2cm・幅6.9cmで、全面に加工が施されているほか、残存する側の端部には、両側面の2ヵ所からV字形の抉りが入れている。角材は、全て両端が欠損し全容の分かるものはないが、割面は加工されて平滑になっている。分割材は、割面だけの不整形のものばかりが出土している。

## 15 15層検出遺構と出土遺物

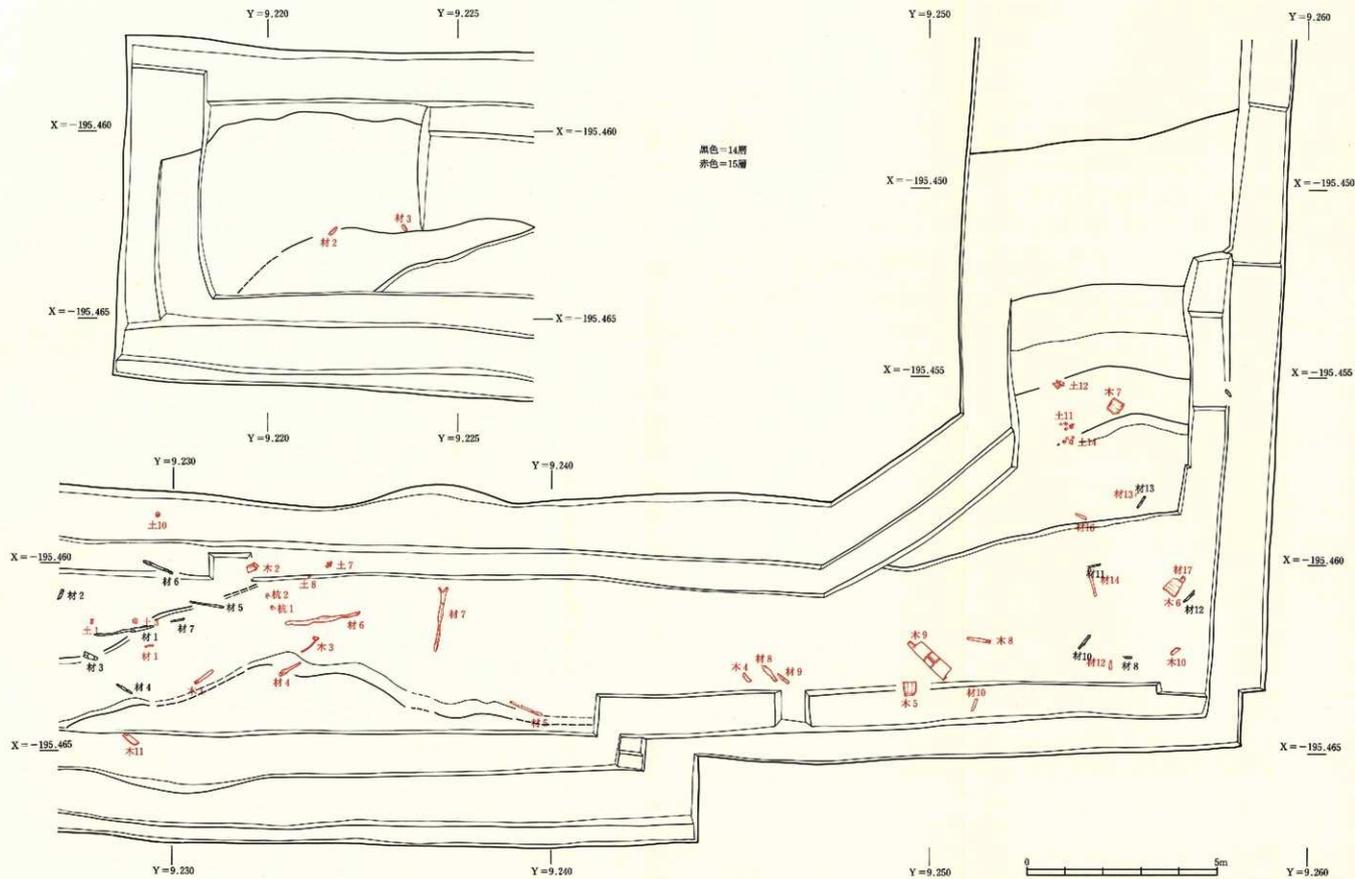
### 1) 堆積土の状況と検出遺構

15層は、14層の浸食の影響を受けている部分と、浸食の影響の少ない部分がある。河川跡の底面全体に厚く堆積しているほか、河岸斜面にも薄くではあるが部分的に分布し、分布範囲は河岸斜面の上位にも達している。15層の土性は、オリーブ黄色ないし灰オリーブ色の粘土層を主体とするが、北岸寄りを中心とし、部分的にこの層の中間に黄褐色の粘土層(15b層)が堆積している。15b層は、北岸斜面から河川跡の中央向かって傾斜しながら楔状に堆積する。15b層の存在により、VI区の15層は3層(15a層・15b層・15c層)に細分された。15b層は、VI区の中でも、場所によって層厚や土性が異なり、VII区西部の北岸斜面では層厚が50cm前後あったが、VI区東部の東壁際では層厚が3~10cmと薄くなり、土性は砂質シルトないし粗砂となる。14層の浸食の影響を受けないところで細分3層を合わせた15層の層厚は、河川跡底面部で60~70cmある。河岸斜面での層厚は10cm前後である。

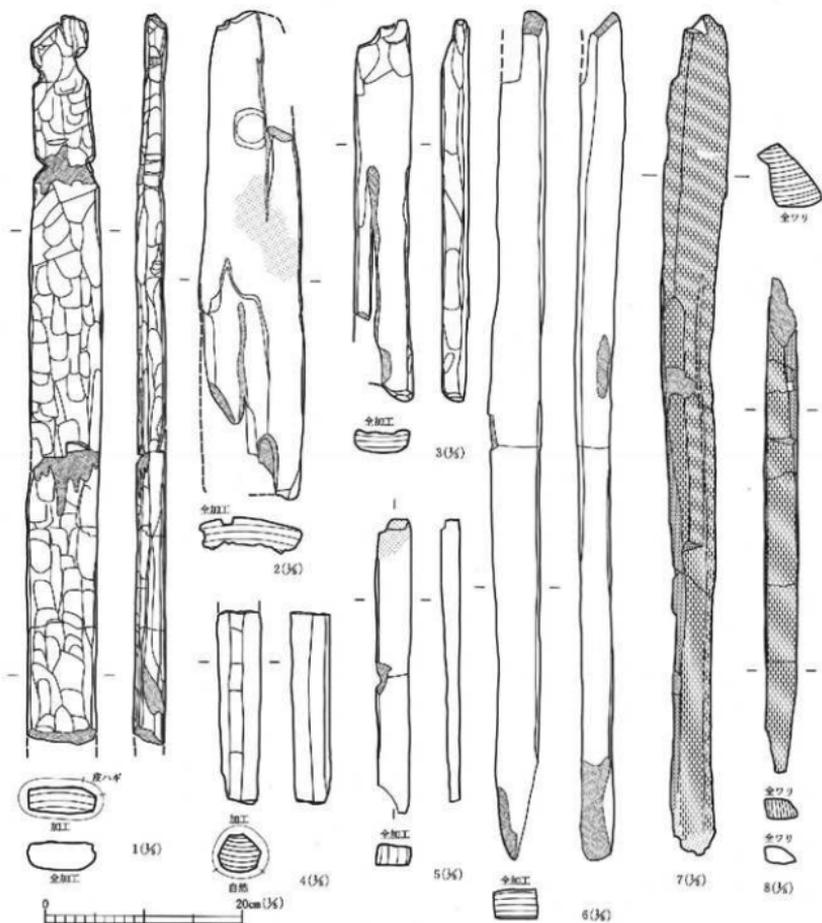
15層検出の遺構としては、杭が2本ある。

### 2) 杭 列

15層では、VI区西部の河川中央で、流路に直交する方向に並んだ2本の杭が発見されている。杭の間隔は約30cmである。杭1(第363図3)は、全長49.4cm・幅10.6cmの半截丸杭で、先端には切断痕が残っている。杭2(第363図5)は、全長23.9cm・幅5.8cm・厚さ6.5cmの芯無角杭で、全面に加工が施されて多角形になっている。先端は6面から加工されて尖っている。

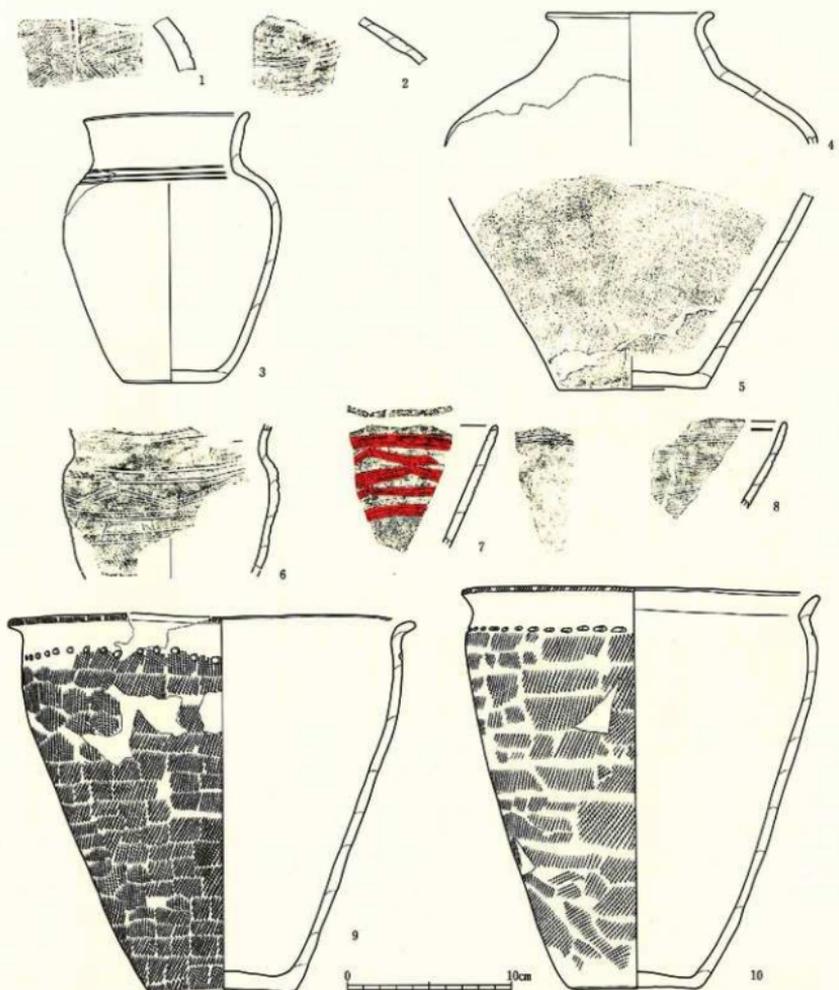


第353図 VI区14・15層遺物出土狀況(弥生時代中期)



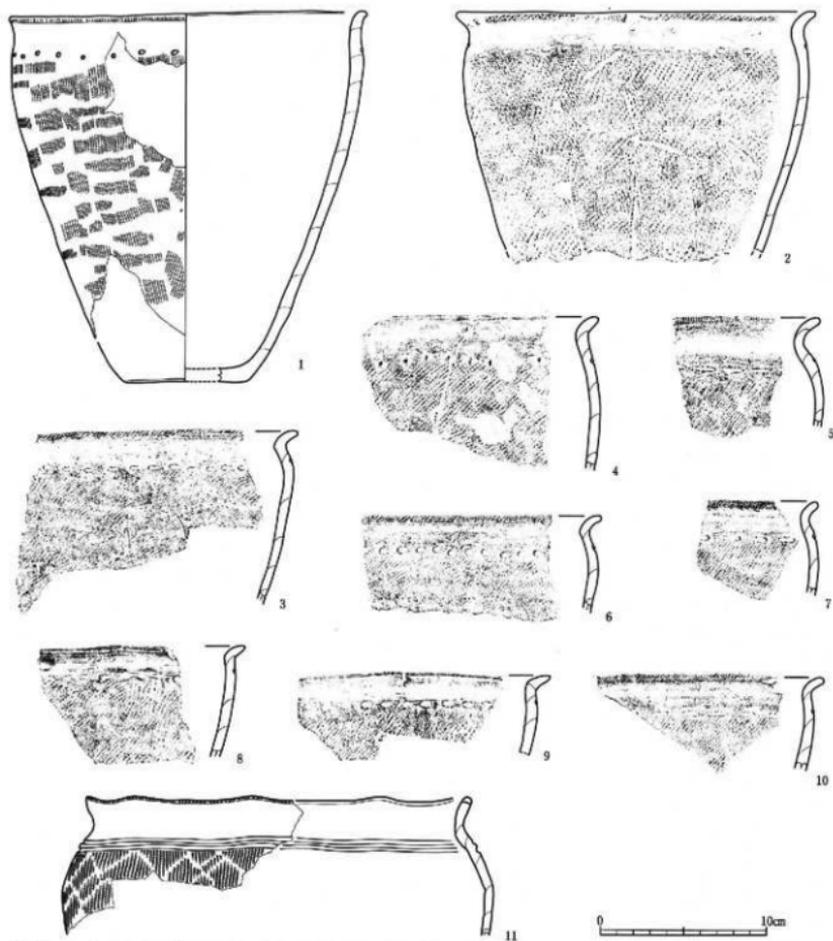
図山番号	遺物番号	種類	素材	産地	出土層	出土部寸				用途・特徴・備考	状態	未取り	時期	写真図版
						長さ	幅	厚	重さ					
1	L-854	杖	板材	VI 14 区層	14層14	全長 74.2	幅×厚 6.9	重さ 2.6		加工	未取り	弥生前期	331-8	
2	L-848	杖	板材	VI 14 区層	14層7	49.7	10.3	2.8	横溝	加工	未取り	弥生前期		
3	L-852	杖	板材	VI 14 区層	14層12	38.7	5.6	2.8		加工	未取り	弥生前期		
4	L-849	杖	内材	VI 14 区層	14層8	19.3	4.3	3.7		加工	未取り	弥生前期		
5	L-851	杖	内材	VI 14 区層	14層11	30.0	3.6	2.1	横溝	加工	未取り	弥生前期		
6	L-846	杖	内材	VI 14 区層	14層5	46.4	4.9	3.6		加工	未取り	弥生前期		
7	L-847	杖	分層材	VI 14 区層	14層6	85.4	6.5	6.3	横溝	加工	未取り	弥生前期		
8	L-845	杖	分層材	VI 14 区層	14層4	96.6	3.2	2.1		加工	未取り	弥生前期		

第354図 VI区河川跡14層出土木製品類



图号	图例	器别	出土地点		度量			特征·備考	分期	时期	写真图版
			地区	层位	取土号	口径	口径				
1	B-96	杂土片	蒙	VI区	15层						
2	B-95	杂土片	蒙	VI区	15层			地文III。		蒙古中期	172-3
3	B-114	杂土片	蒙	VI区	15c层	土層No.1, 18		平行黑纹文(3)		蒙古中期	172-6
4	B-109	杂土片	蒙	VI区	15c层	土層No.3				蒙古中期	
5	B-110	杂土片	蒙	VI区	15c层	土層No.6		地文III。		蒙古中期	
6	B-91	杂土片	蒙	VI区	15a层	土層No.6		黑底文AIV。地文I。		蒙古中期	172-5
7	B-94	杂土片	蒙	VI区	15层			黑底文AIV。地文I。		蒙古中期	172-1
8	B-92	杂土片	蒙	VI区	15层			黑底文。		蒙古中期	172-2
9	B-109	杂土片	蒙	VI区	15c层	土層No.a		列点文。		蒙古中期	172-3
10	B-108	杂土片	蒙	VI区	15c层	土層No.H		列点文。地文III。		蒙古中期	172-1

第355图 VI区河川跡15層出土遺物 1



图中 序号	登錄 序号	材质	形制	出土地点			数量		特征·编号	分期	时期	写真页数
				地区	遺址	层位	出土序号	器高				
1	B-98	bronze	片	VIIK	15a层	土器No7, 8	1	1	列点文。地文I。		春秋中期	173-2
2	B-99	bronze	片	VIIK	15a层	土器No12	1	1	列点文。地文IIIa。		春秋中期	
3	B-115	bronze	片	VIIK	15a层	土器No2a	1	1	列点文。地文IIIc。		春秋中期	172-12
4	B-100 B-101	bronze	片	VIIK	15a层 15a层		1 1	1	列点文。地文IIIc。		春秋中期	
5	B-112	bronze	片	VIIK	15a层		1	1	列点文。地文IVb。		春秋中期	172-9
6	B-102	bronze	片	VIIK	15a层	土器No7b	1	1	列点文。地文IIIc。		春秋中期	
7	B-104	bronze	片	VIIK	15a层		1	1	列点文。地文IIIc。		春秋中期	
8	B-106	bronze	片	VIIK	15a层		1	1	列点文。地文IIIc。		春秋中期	172-10
9	B-107 B-113	bronze	片	VIIK	13a层		1 1	1	列点文。地文IIIc。		春秋中期	
10	B-111	bronze	片	VIIK	15a层	土器No13	1	1	列点文。地文IIIc。		春秋中期	172-11
11	B-90	bronze	片	VIIK	15层		1	1	平行线纹文(2)。地文IIIc。		春秋中期	172-13

第356图 VI区河川跡15層出土遺物2

### 3) 遺物出土状況

15層からは、弥生土器・木製品・材などが出土している。弥生土器は、破片が全域からまばらに出土しているほか、河川跡の北岸斜面下端付近からは、1個体分またはそれに近い破片がまとまって出土している。

木製品と材は、河川跡の底面を中心に、まばらに出土しており、特にまとまりのあるところはない。

### 4) 出土遺物

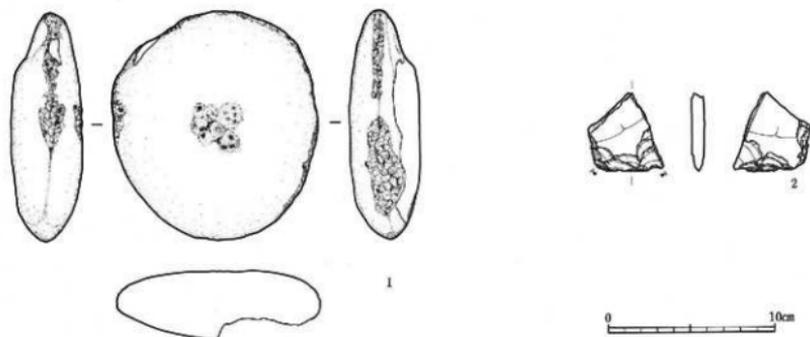
15層出土遺物には、弥生土器・石器・木製品・材がある。弥生土器には、壺・鉢・甕の器種があるが、大部分は粗製の甕が占める。高杯や蓋は出土しておらず、壺・鉢・甕の細分器種も少ない。

壺は、大型で、肩部に菱形（第355図1）や、円形（第355図2）の磨消縄文または充填縄文手法で模様が描かれるもの、無文でミガキ調整されるもの（第355図4）がある。中型の壺（第355図3）は、肩部が張り、口縁部は、直立気味にやや開いて立ち上がり、端部が外反する。体部と口縁部の境には3条の平行沈線が巡る。体部外面は全面がミガキ調整される。

鉢は、連続山形口縁で、体部外面に磨消縄文による連続山形文が描かれるもの（第355図7）と、沈線により連続山形文が描かれるもの（第355図8）がある。

精製の甕（第355図6）は、上部に張りのある体部と口縁部の境が大きく括れるもので、口縁部に2条以上の平行沈線文が描かれる。体部には、上下2段に引かれた2条の平行沈線文の間に、連続山形文が描かれている。下段の平行沈線文より下位の体部には縄文が施されている。

粗製の甕（第355図9・10、第356図1～11）は、体部上端に体部最大径があり、体部と口縁部の境がわずかに括れて口縁は外反ないし外傾する。口縁部は一般に平縁であるが、波状になるものが1点（第356図11）ある。体部と口縁部の境には、列点文が施されるものがほとんどであるが、なかには2条の平行沈線のもの（第356図11）もある。体部の地文は、縄文によるものが多いが、植物茎回転文のもの（第356図1）もある。口唇部は、縄文が施される場合が多いが、ヨコナデ調整のみのもの（第356図4・8・9）もある。



図中 番号	発掘 番号	河川 番号	器種	出土地点			法量			特徴・備考	素材	時期	写真図版		
				地区	遺構	層位	取上層号	全長	幅					厚さ	重量
1	Ⅴ-87	石巻	円・縦卵	Ⅴ区	15a層			14.0	12.5	4.2	973.5	口・片断中央、縦一側断面	安山岩	弥生中期	241-1
2	Ⅴ-88	石巻	板状石器	Ⅴ区	15a層			5.0	4.0	0.9	20.9	2面に磨部	安山岩	弥生中期	241-2

第357図 VI区河川跡15層出土遺物3

石器には、凹石1点と板状石器が1点ある。凹石(第357図1)は、直径12~14cmの偏平な縁鏃で、片面の中央に浅い凹面がある。この石の縁辺には敲打痕も観察される。板状石器(第357図2)は、端部の破片で、刃部及び端部に2次加工が観察されるほか、磨面も観察される。

木製品には、直柄広楎・泥除・斧膝柄・整杆・作業台・盤状容器がある。

直柄広楎(第358図1)は、全長32.2cm、身部長18.0cmを測る。長方形の身部の上端中央には、1度外に開いて立ち上がった後、内側に折れてさらに立ち上がり、頂部中央が凹んで、上端が2連の山形となる突起が造り出されている。身側面の上端は、側方に張り出している。前面の両肩部を結ぶ身部上端には、下駄状の突起が造り出されている。反対の後面には、頭部突起の端部から身部中央にかけて、全長の1/2の長さに舟形の着柄隆起が造り出されている。柄孔は一辺3.5cm前後の隅丸方形である。柄孔内には、柄の一部が残っている。柄の断面形は、依形に近い隅丸方形で、芯無材を削って作っている。

泥除は、未製品が5点(第358図2・3、第359図1・2、第360図1)出土している。第358図2・3は、泥除の先端部の破片で、II区IV層出土の泥除未製品L-292(第206図2)に近い製作段階の未製品と考えられる。第359図1は、丸木材の外周部を板目に割取り、木裏側に着柄隆起部を残して削り、木表側は、木目の方向に沿って、中軸線から左右の木口方向に向かって徐々に薄くなるように削った段階の未製品である。木口には切断面が残る。第359図2は、第359図1より1段階前の工程の未製品と考えられるものである。丸木材の外周部を板目材に割取った材で、木裏側には、着柄隆起部として削り残す範囲を示す刻みを入れているが、木表側は未加工のままである。木口には切断面が残っている。第360図1は、前者よりもさらに前の段階の未製品で、丸木材の外周部を板目材に割取っただけの段階のものである。木口には、木を円筒状に輪切りにした際の、樹皮側から樹芯に向かう切断面がそのまま残る。

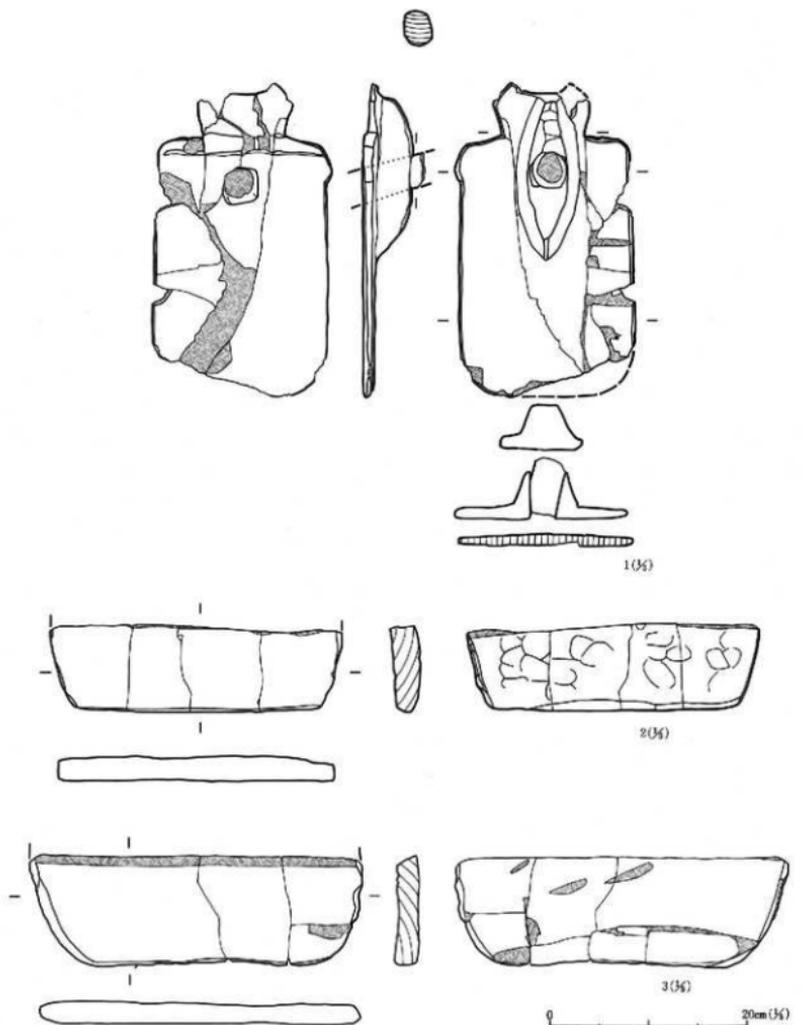
斧膝柄(第361図1)は、斧台部の石斧装着部分の先端を欠損する。II区やVIII区・IX区の斧膝柄とは樹種が異なる。また、石斧装着溝以外の造りは他に比べると粗いが、完成品と考えられる。斧台部の上面観は、先端側の広がりが長槽門形を呈す。石斧装着溝は、横断面形が半円形で、奥端部は、縦断面・横断面とも丸くなっている。斧台部と柄との境に特に細工はない。柄は、樹皮を剥いただけで削り加工はされていないが、柄の手元側2/5のあたりから、柄の下に向けて緩やかな「く」字に曲げられている。

整杆は、搦部の破片が2点(第361図2・3)出土している。2が全長約56.9cm・直径6.4cm前後、3が全長約60cm・直径6.4cm前後で、両方の握部側の端には、搦部の先端方向から外周にそって斜めに削って造られた段が2段ある。2・3は寸法や形状が類似することから、同一の整杆の搦部である可能性がある。

作業台(第360図2)は、全長27.2cm・幅12.0cm・厚さ8.7cmのミカン割材の樹芯部を割取ってきた横断面形が台形の角材で、主面の片側の中央が凹んでいる。凹み部には、何度も利器(石斧か?)の打撃を受けたような痕跡が観察される。凹み部は、樹皮側の側面には到達せず、主に樹芯側が使われたような状況である。作業台の木口は、図の右側は、ミカン割以前の樹皮側から樹芯に向かう切断面がそのまま残り、反対の木口は、ミカン割後の四方からの切断面があり、中央は折れ面となっている。

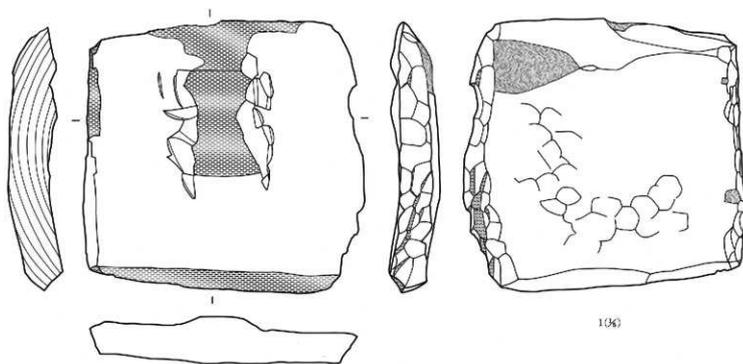
盤状容器(第360図3)は、片側の半円面が狭くなる小判形を呈する。底面は内外面とも平らで、高さは5.8cmである。側壁部は、幅の広い方の半円面は厚く作られ、狭いほうの半円面に移行するにしたがって薄くなる。広い方の半円面の側壁中央は、他の側面よりやや高くなり、その部分の外面には、断面形が円形の把手が取れたような痕跡が残る。全体として、平面形が釣鐘形の竪取り状の木製品であった可能性がある。

材には、建築材(第362図1)、板材(第362図2他L-869)、角材(第362図3他L-871)、分割材(第362図4、第363図1・2他L-866・867・872・874・881)、丸材(第363図4、第364図1)がある。建築材は、扉板の未製品である。軸部長136.0cm・扉部長110.0cm・全幅38.0cm・厚さ7.6cmを測る。軸部突起の長さは、上部が約20cm、下部

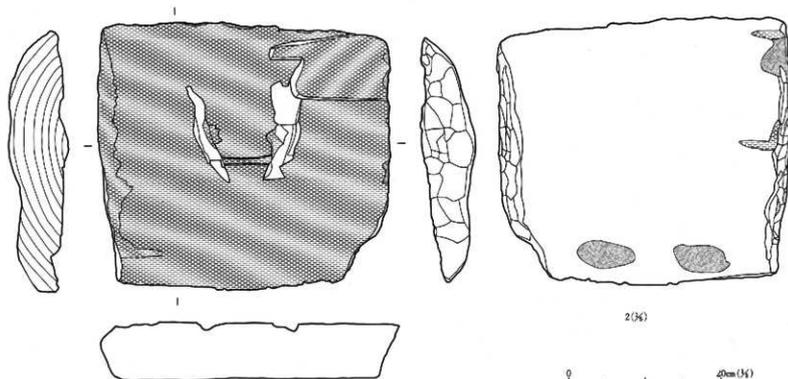


器名	番号	種類	器種	土器区	出土番号	法 製 ・ 特 徴 ・ 備 考										編 号	木取寸	時期	写真掲載
1	L-855	木製品	御座罎	VI区 15a区	15a木2	全 高 32.2	最大径 18.9	最大厚 6.4	肩部径 18.9	胴部厚 1.3	腹径部 18.8	幅 寸 3.4×3.4 3.6×3.4	柄 角 70°-72°		木製品	根 目	古物商	286-3	
2	L-857	木製品	鉢 除	VI区 15a区	15a木4	全 長 6.6	身部径 29.8	身部厚 2.6	胴部径	胴部厚	腹径部	柄 孔	紐孔間	木製品	ナメナ	製錬所	古物商	289-1	
3	L-859	木製品	鉢 除	VI区 15a区	15a木10	11.2	33.6	2.4						木製品	キハダ	製錬所	古物商	290-2	

第358図 VI区河川跡15層出土木製品類1



1(36)

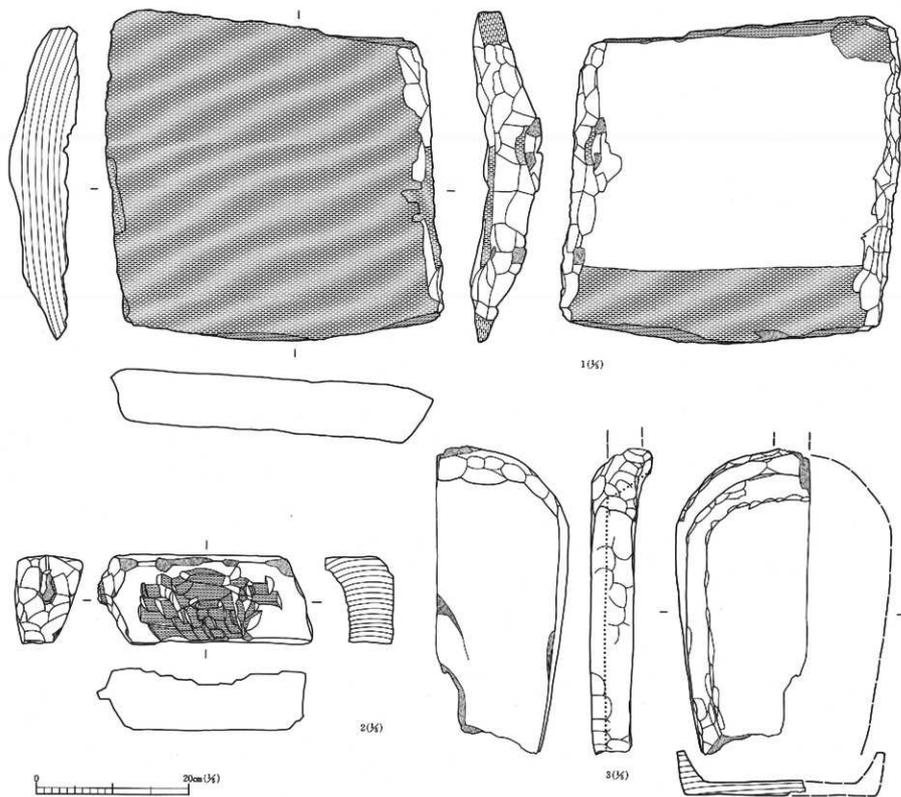


2(36)

0 20mm (5x)

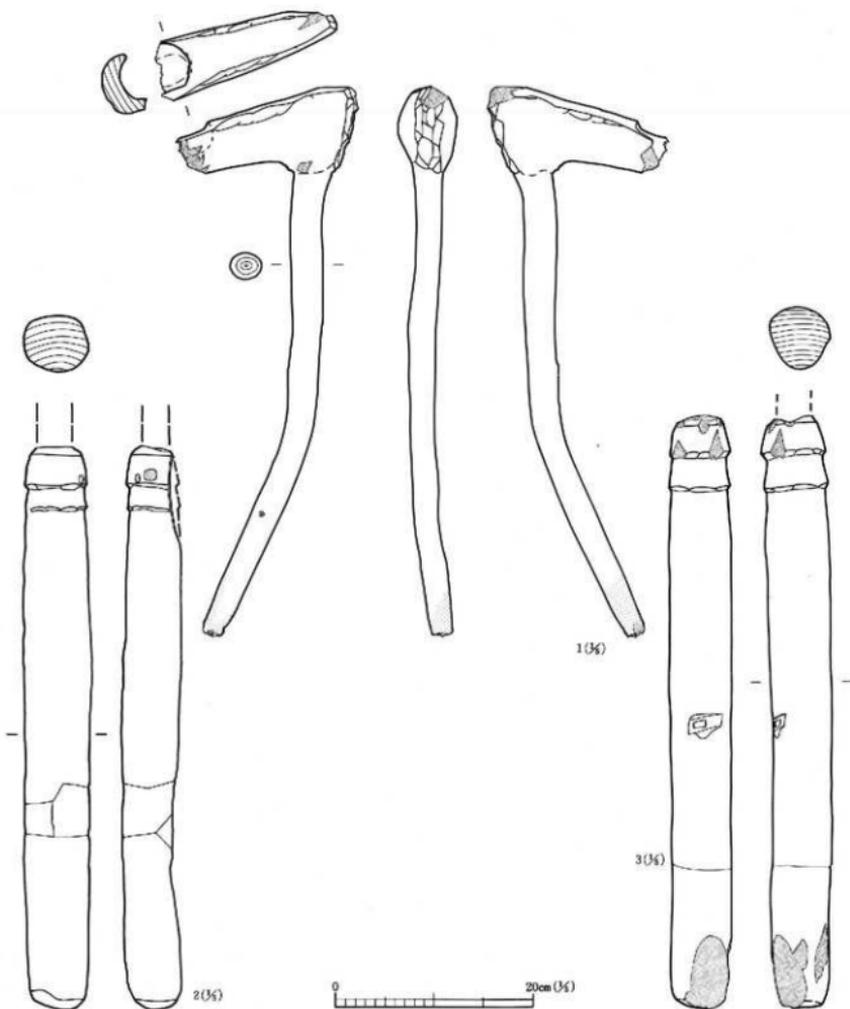
図中 番号	種別	器種	器名	出土層	出土番号	形状・特徴・備考							種類	木取分	時期	学名図版	
1	L-865	木製品	彫刻	VI 15a層	15a水7	全長 36.2	片断長 35.5	片断幅 8.5	彫削部 深さ	彫削部 幅	刺孔	刺孔間	木製品	少	9	前期	291-1
2	L-863	木製品	彫刻	VI 15a層	15a水5	35.0	30.0	7.8					木製品	少	9	前期	291-2

第359図 VI区河川跡15層出土木製品類 2



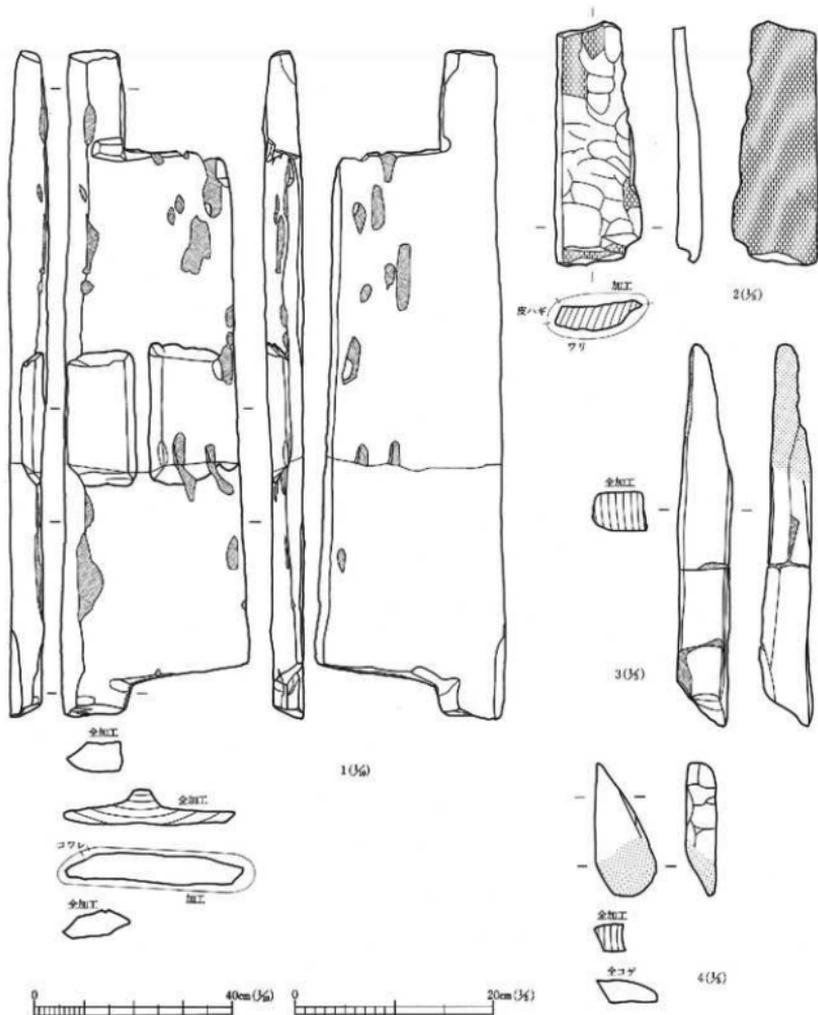
図中 番号	番号	種類	形状	寸法 縦横	取上箇所	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考										原 類	本取寸	時 期	写真図版	
						全長	全幅	厚さ	取上寸	取上幅	取上高	取上厚	取上深	取上孔	取上隙					取上量
1	L-864	木製品	刺 助	縦 15cm 横 15cm	15x8.6	全長 15.0	全幅 8.0	厚さ 0.3	取上寸 12.0	取上幅 8.0	取上高 0.7	取上厚 0.3	取上深 0.7	取上孔	取上隙	取上量	2-5	製 11	香林園	289-1
2	L-879	木製品	作臺台	縦 15cm 横 15cm	15x17	全長 17.0	全幅 12.0	厚さ 0.7	取上寸 12.0	取上幅 12.0	取上高 0.7	取上厚 0.7	取上深 0.7	取上孔	取上隙	取上量	2-4	製 10	志勲角	316-4
3	L-861	木製品	盤	縦 15cm 横 15cm	15x11	全長 11.0	全幅 8.0	厚さ 0.8	取上寸 10.5	取上幅 8.0	取上高 22.0	取上厚 0.8	取上深 22.0	取上孔	取上隙	取上量	2-5	製 10	香林園	318-4

第360図 VI区河川跡15層出土木製品類 3



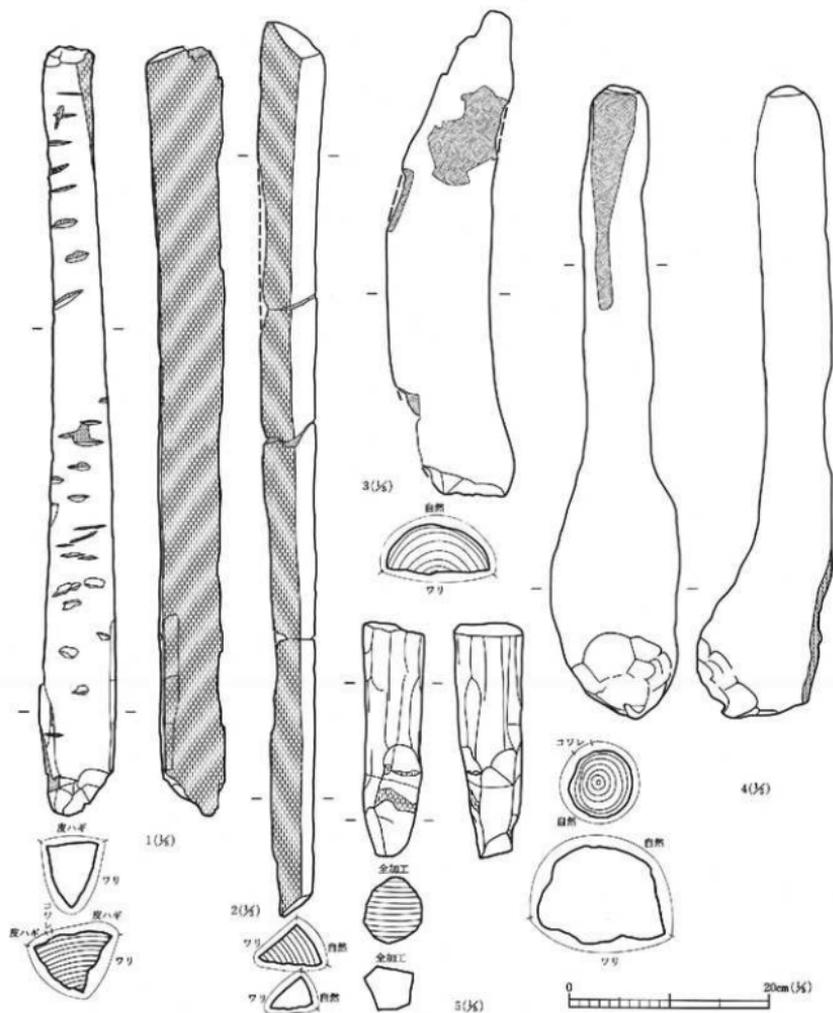
図中 番号	番号	種類	部類	地区	出土番号	測定・特徴・備考										収蔵	木取り	時期	写真図録	
						全長	片台長	片台幅	片台厚	約径長	約径幅	約径厚	刻線長	刻線幅	刻線厚					約径
1	L-860	木製品	伊達納	VI区 15c層	全長 58.2	片台長 19.5	片台幅 6.0	片台厚 4.2	約径長 48.4	約径幅 3.2	約径厚	刻線長	刻線幅	刻線厚	約径	約径	イAPV	赤松類	315-2	
2	L-856	木製品	槇井	VI区 15c層	15a木1	全長	約径長 36.9	約径幅	約径厚	約径	約径	約径	約径	約径	約径	約径	クX4層	芯薄丸	赤松類	304-7
3	L-858	木製品	槇井	VI区 15a層	15a木8		49.0	6.9-6.4									クX4層	芯薄丸	赤松類	304-6

第361図 VI区河川跡15層出土木製品類 4



出土層号	器号	種別	副種別	土層区画	取上番号	法要・特徴・備考				備注	木取り	時期	写真図版
						全長	幅・径	厚さ	その他				
1	L-852	材	板	VI区15a層	15a木9	136.0	38.8	7.6	未観察		板目	縄文前期	325-1
2	L-876	材	板	VI区15a層	15c木3	24.9	8.7	2.5			板目		
3	L-879	材	内材	VI区15a層	15a材9	38.8	5.3	4.8	先端加工・横溝		タリ	縄文前期	
4	L-873	材	分銅材	VI区15a層	15a材13	13.4	5.8	2.7	先端加工・横溝		タリ	縄文前期	

第362図 VI区河川跡15層出土木製品類 5



図中 番号	遺物 番号	種別	器種	地区	出土番号	法量・特徴・備考				樹種	未取り	形制	写真図版
1	L-882	材	分層材 VI区 15a層	15a層14	全長 28.2	幅・厚 7.5	厚 6.3	円端加工		クスノキ		楕円形	332-8
2	L-868	材	分層材 VI区 15a層	15a層5	91.1	6.1	4.1	円端加工		ヤマブキ		楕円形	
3	L-875	杖	平端杖 VI区 15a層	15a層1	全長 49.4	幅・厚 12.6	厚 5.2	先端加工		クスノキ		楕円形	
4	L-880	材	丸材 VI区 15a層	15層4	全長 64.3	幅・厚 12.8	厚 12.2			クスノキ	心材丸	楕円形	
5	L-876	杖	角杖 VI区 15a層	15a層2	全長 33.9	幅・厚 5.5	厚 6.3	先端加工 6面多角		クスノキ	2面直角	角形	

第363図 VI区河川跡15層出土木製品類6

が6cmである。軸部はまだ角張っており、扉部もまだ下方の幅が広い状態である。片面の中央には、板の中軸よりもやや軸部寄りの所に線に残して、その両側を長さ27~28cmで側面まで削っている。削り残された土手状の部分は、上面幅約3cm、下面幅約7.5cm、高さ3.5cmである。この土手状の部分は、側面から「門孔」を開ける部分と考えられる。

板材は、片面が割面、反対面が割りに削り加工の施された柾目板(第362図2)などがある。

角材には、片方の木口に切断痕があり、他方の木口は焼け焦げ、側面は加工されているもの(第362図3)などがある。

分割材には、全面が割面だけの断片のほか、先端が斜めに切断されているもの(第362図4)や、両端に樹皮側から樹芯に向かう切断痕があるミカン割材(第363図1・2)がある。1の木表面には、皮剥ぎの際の刃物の痕跡が多数残っている。1については、一定の幅と厚さがあることから、何らかの木製品の素材の可能性がある。

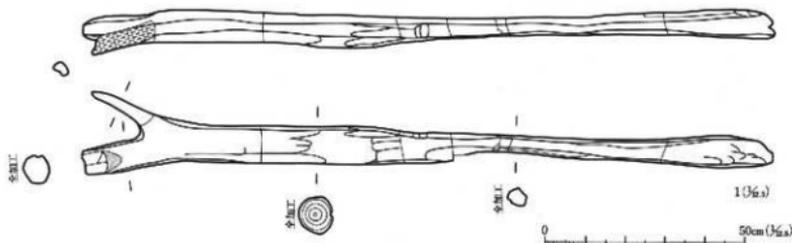
丸材は、根元側に切断痕がある心持材(第363図4)と、全長173.5cmで、片側の先端が二又に分かれたY字状の芯持材(第364図1)が出土している。後者の側面は、部分的に削り加工されている。後者については、建築材の可能性もある。

#### 注 記

注1 進藤秋輝・高野芳宏他1982 「多賀城跡 政庁本文編」宮城県教育委員会・宮城県多賀城跡調査研究所

注2 伊東信雄 1961 「陸奥国分寺跡」陸奥国分寺跡発掘調査委員会編 河北文化事業団

注3 氏家和典 1957 「東北土器器の型式分類とその編年」『歴史』第14輯 東北史学会



図中 番号	発 掘 地 点	種 別	部 類	形 状	尺 寸	出土層	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考			産 地	本 取 り	尺 寸	写 真 図 版
							全長	幅・径	厚				
1	L-877	材	丸	材	VI区 15c	15cH7	全長 173.5	幅・径 10.5	厚 5.6		キハダ	芯持丸 樹皮側	334-7

第364図 VI区河川跡15層出土木製品類7

## 第11章 VII区の遺構と出土遺物

### 第1節 調査区の位置と概要

VII区は、中在家南遺跡の立地する自然堤防の西部にあたる。この部分の自然堤防の幅は遺跡の中では最も広く、現況で30～37mある。自然堤防部は平坦な畑地となっており、標高は5.5m前後である。自然堤防の北側は水路によって画され、その北側の後背湿地への移行部は整地され、標高5.7～5.8mの宅地及び畑地となっている。南側の旧河道（河川跡）は、自然堤防に近い部分は水田となっているが、離れた所は道路となり、そのさらに南側は埋め立てられて畑地となっている。自然堤防と水田の比高差は50cm前後である。

遺跡西部にかかる区画整理街路は、東側に位置し、自然堤防上を南北に横断する街路と、西側に位置し、自然堤防上を東西に縦断する街路が、横にT字路となって接続している。調査区は、南北方向の街路に設定した区域と、東西方向の街路に設定した区域とに分かれており、前者を「A区」後者を「B区」とした。調査区の全長は東西約50m、南北22mに渡る。調査面積は両区合わせて270㎡である。B区の西半分は、幅2mの先行トレンチ調査の結果、遺構・遺物が希薄であるために、街路幅全面の調査は実施しなかった。また、B区西端より西側の畑は、植木（庭木）用の畑地として利用され、過去何度か植木の掘り起こしが行われ、50～100cmの深さに攪乱が及んでいることと、VII区西半分の状況とを考え合わせ、調査は実施しなかった。

表土の厚さは15～35cmで、暗褐色のシルトないし粘土質シルト層（I-1層）の耕作土を主体とするが、その下には部分的に黒褐色の粘土質シルトや黄褐色のシルトを含む暗褐色の粘土質シルト層（I-2層）からなる下部耕作土が分布する部分がある。A区南半部とB区の南東部には、耕作土の下に、弥生土器と石器を多量に含む遺物包含層（II層）が分布する。遺物包含層は、黒色ないし黒褐色の粘土質シルトまたはシルト質粘土で、層厚は厚い所で約25cmである。遺構検出面は、遺物包含層上層またはその下のぶい黄褐色粘土質シルト層（III層）である。

検出遺構には、方形周溝墓2基・溝跡4条（方形周溝墓の周溝を除く）・土坑2基・遺物包含層・小溝状遺構群・ピット35個がある。

### 第2節 発見遺構と出土遺物

#### I 方形周溝墓

方形周溝墓にはSD-42とした溝跡（1号方形周溝墓）と、SD-42との類似性から方形周溝墓の周溝の一部と考えられるSD-47溝跡（2号方形周溝墓）の2基がある。

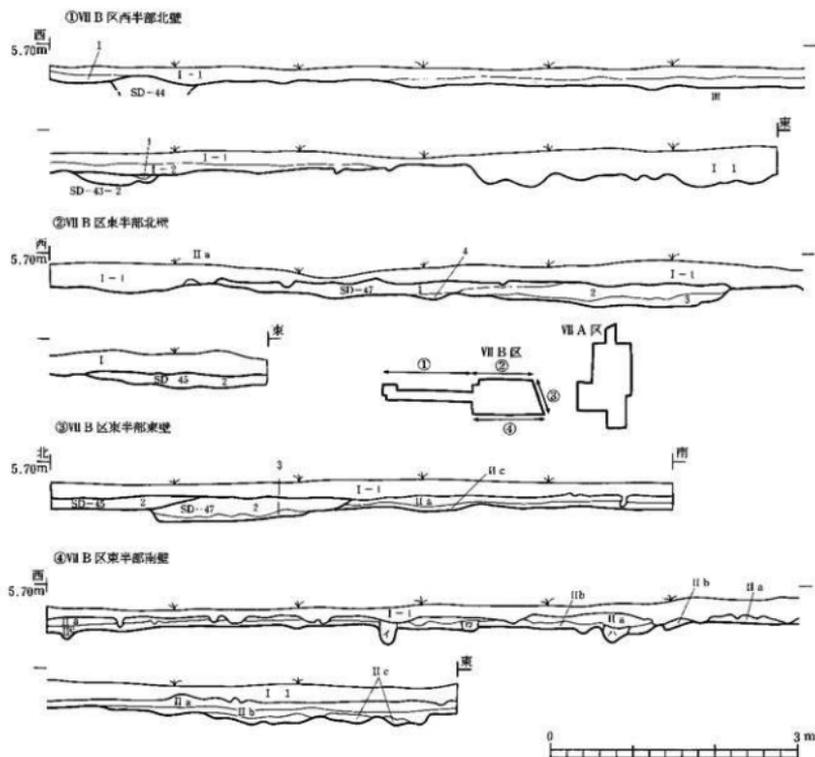
1号方形周溝墓（SD-42溝跡） A区の中央のII層上面で周溝が検出された。コーナー部分の一つを含む東半分は、調査区の外にのびている。SD-46と遺物包含層（II層）を切っている。周溝は耕作等による削平が進み、底面付近だけが残し、埋葬施設は残存しない。

周溝の壁面は、内側は直線的に掘られているのに対し、外側は出入りが大きい。このため、残存部の溝の幅は一定せず、128cm～330cmまでの差がある。周溝の方向は北西辺の内側の壁面でN-46°-E、南西辺の内側の壁面でN-44°-Wである。周溝の規模は、北東から南西方向の検出部の内側壁面間では8.2m、外側壁面間では12.2m以上、北西から南東方向の検出部の内側壁面間では7.1m、外側壁面間では11.4m以上であり、検出部の状況では北東から南西方向の軸長が、北西から南東方向の軸長より内側で約90cm、外側で90cm程長い。

周溝残存部の深さは3～20cmを測る。断面形は、浅いU字形ないし舟底形で、底面には細かな凹凸があるがほぼ平坦である。堆積土は2層に分けられ、上部は黒褐色のシルト質粘土層、下部は黒褐色の粘土層で、両層とも多量

の弥生土器片を含む。

遺物は、周溝が弥生時代に形成された遺物包含層を切って掘られているために、周溝堆積土中からの出土遺物は弥生土器片(第371図2~13他)が多い。弥生土器の装飾模様は樹形図式的特徴を示す。弥生土器片に混じって、第



層 No	土色	土質	その他
I-1	10YR2/3 暗褐色	粘土質シルト	遺跡存土(土層)
I-2	10YR2/4 暗褐色	粘土質シルト	遺存土(下部) 黄褐色シルト質や少量含む。シマリが強い。
IIa	10YR2/1 黒色	粘土質シルト	土層(弥生中期) 石礫や多量に含む。シマリ強い。
IIb	10YR4/1 黒褐色	シルト質粘土	上部(弥生土層) 石礫や多量に含む。シマリ強い。
IIc	10YR4/2 灰褐色	シルト質粘土	近い黄褐色。シルト質粘土(弥生前期)のプロックを多量に含む。
III	10YR7/2 近い黄褐色	シルト質粘土	
SD-43-1	10YR2/7 暗褐色	シルト質粘土	弥生前期シルトの大きいプロックを含む
2	10YR4/2 灰褐色	粘土	明黄褐色シルト質を多量に含む
SD-44-1	10YR4/2 灰褐色	シルト質粘土	近い黄褐色粘土質シルトのプロックを多量に含む
SD-45-2	10YR3/3 暗褐色	粘土質シルト	シマリが非常に強い
SD-46-1	10YR2/2 暗褐色	シルト質粘土	赤土質・石礫を多量に含む。シマリが強い。
3	10YR1/1 黒色	シルト質粘土	赤土質・石礫を多量に含む。シマリが強い。
4	10YR2/1 黒褐色	シルト質粘土	近い黄褐色シルト質粘土のプロックを多量に含む。
4	10YR2/2 暗褐色	シルト質粘土	近い黄褐色シルト質粘土のプロックを多量に含む。
イ	10YR2/1 黒褐色	シルト質粘土	近い黄褐色土を多量に含む。
ロ	10YR2/1 黒褐色	シルト質粘土	
ハ	10YR4/2 灰褐色	シルト質粘土	近い黄褐色土を多量に含む。

第365図 VII B 区土層断面図

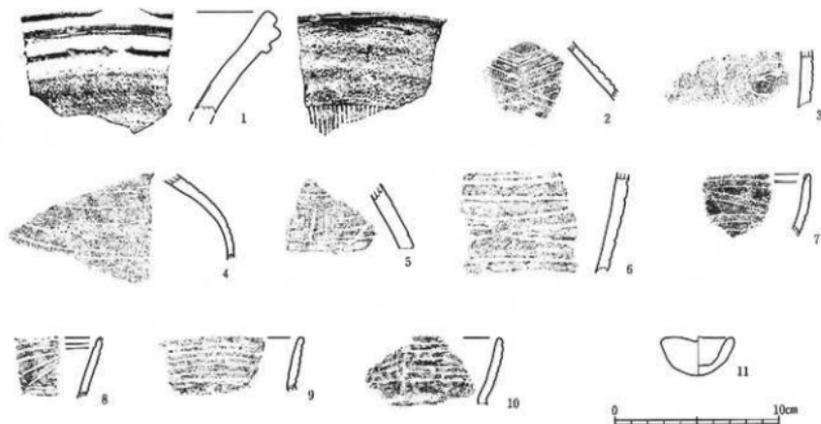


371図1に図示した土師器の鉢が、周溝の底面付近から出土している。この土師器は、上部のくびれる半球形の体部に、直立気味に立ち上がり端部がわずかに外反する口縁がつくもので、底部は欠損している。器面は、内外面とも丁寧にヘラミガキ調整されている。これと同一器形の土師器の所在遺跡については明らかでないが、宮城県色麻町色麻古墳群第11号住居跡出土の碗形土器（注1）に類似性が認められ、时期的には古墳時代前期に属するものと考えられる。

土器以外の遺物としては、石鏃（第380図1・5）、石匙（第380図13）、板状石器（第381図3）、敲石（第382図3）、石庖丁（第384図2）等の石器が出土している。

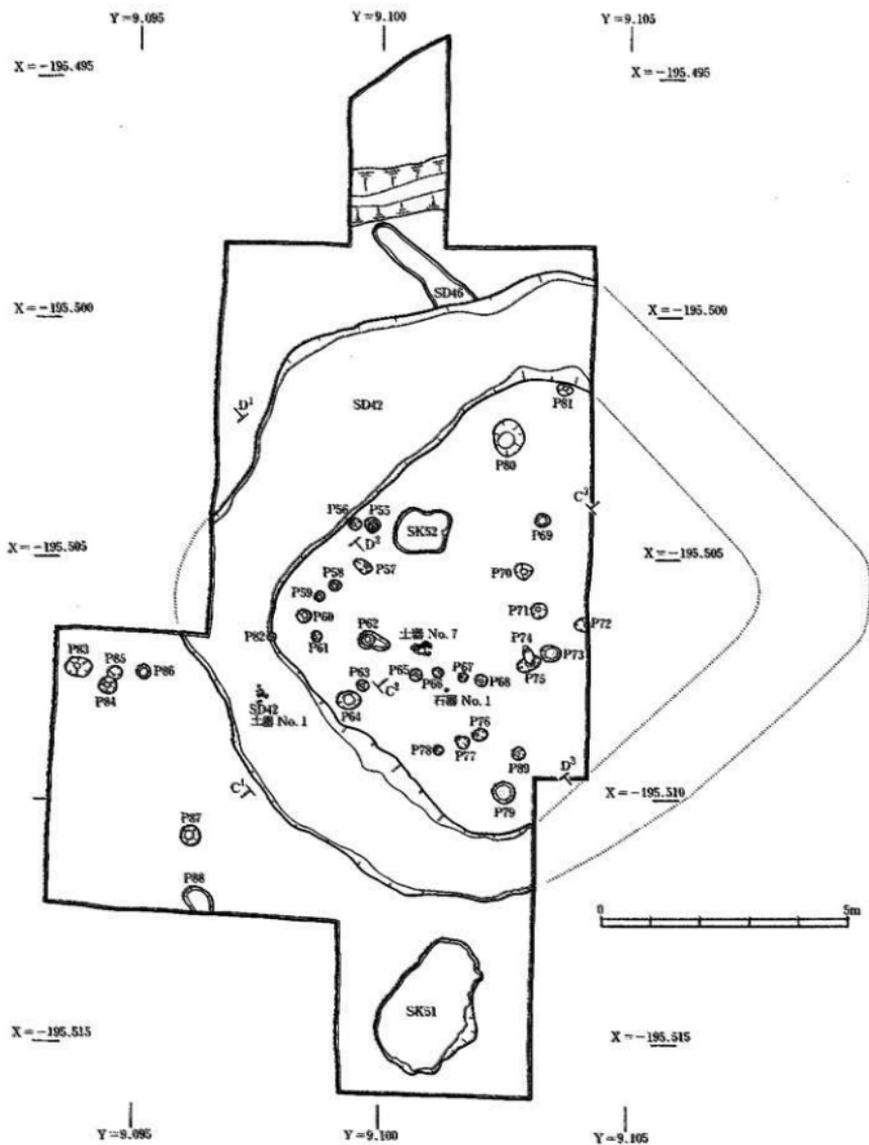
2号方形周溝墓（SD-47 溝跡） B区東部の北側、1号方形周溝墓の西側に隣接して発見された。SD-45に切れ、弥生時代の遺物包含層を切っている。1号方形周溝墓とほぼ同一の方向を向くものと考えられ、方形の周溝の南側のコーナー部分が検出されている。1号方形周溝墓と同様に耕作等による削平が進んでおり、保存状況は悪く、周溝の底面付近だけが残る。またコーナー部の北西寄りの部分は、SD-45に切られているために、周溝底面の内側と外側の壁面付近が残るだけである。

周溝の壁面は、1号方形周溝墓と同様に、内側は直線的に掘られているのに対し、外側は出入りが大きく、深さも一定していない。底面付近での溝の幅は、南西辺が南東辺より広く掘られており、それぞれの最大幅は5.0mと2.4mである。周溝の検出部での方向は、南西辺の内側の壁面でN-44°-W、南東辺の内側の壁面でN-56°-Eを示し、

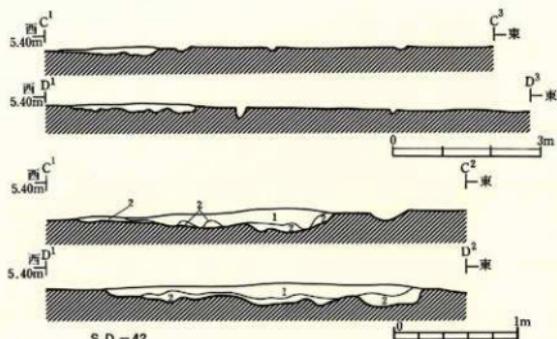


図中 番号	発掘 番号	器別	器形	出土地点				特徴・備考		分層	附溝	写真図録		
				地区	遺跡	層位	取上番号	器高	口径				底径	外面
1	I-11	附	鉢	ⅦA区		1層				ロクロ調整、敲物	ロクロ調整、敲物	ⅦA区	共	234-16
2	B-139	弥生土器	壺	ⅦA区		1層						弥生中層		174-18
3	B-138	弥生土器	壺	ⅦA区		1層						弥生中層		174-19
4	B-136	弥生土器	壺	ⅦA区		1層						弥生中層		174-20
5	B-127	弥生土器	壺	ⅦA区		1層						弥生中層		174-21
6	B-128	弥生土器	鉢	ⅦA区		1層						弥生中層		175-18
7	B-125	弥生土器	鉢	ⅦA区		1層						弥生中層		175-19
8	B-126	弥生土器	鉢	ⅦA区		1層						弥生中層		175-200
9	B-134	弥生土器	壺	ⅦA区		1層						弥生中層		177-9
10	B-127	弥生土器	壺	ⅦA区		1層						弥生中層		177-10
11	B-140	弥生土器	ミニチュア 土器	ⅦA区		1層						弥生中層		177-18

第368図 Ⅶ区I層出土土器

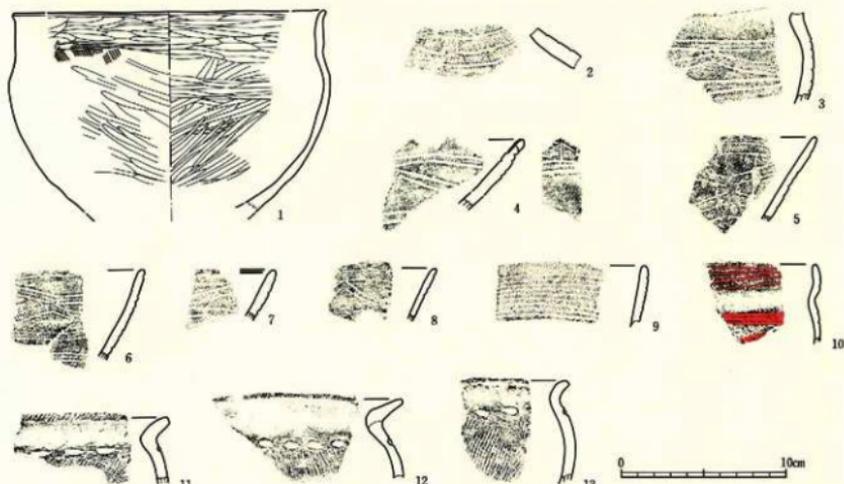


第369図 1号方形周溝遺



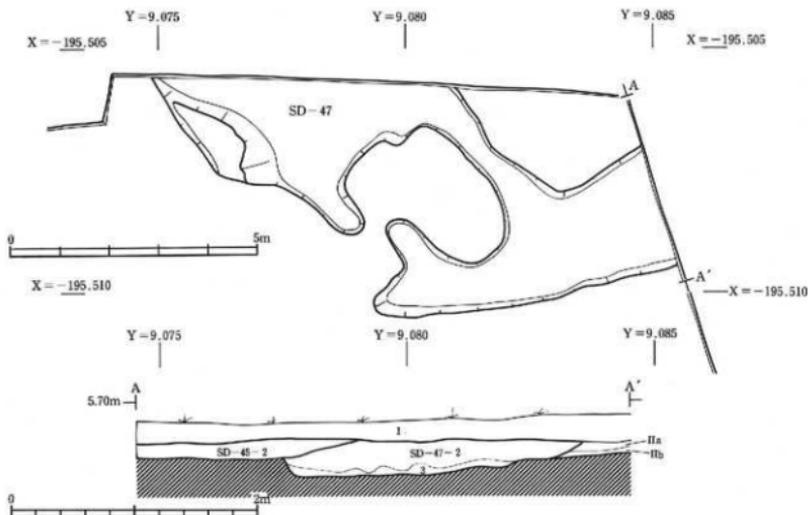
層 №	土 色	土 質	その 他
1	10YR2/2 黒褐色	シルト質粘土	灰青褐色粘土を少量混雑状に含む。 土器片を少量を含む。
2	10YR2/1 黒褐色	粘 土	灰青褐色粘土上のブロックを少量に含む。 遺物を含む。

第370図 SD-42 方形周溝墓土層断面図



図中 番号	器 種	器 類	出 土 地 点		供 量		特 徴・備 考		分 類	時 期	写 真 図 録		
			地区	遺構	層位	出土番号	部高	口径				底径	外 面
1	C-136	土師器	蘇	VAEK	SD-42		土製%1	②2	18.8	口縁ヘラミダギキ 底面ヘラミダギキ	口縁ヘラミダギキ 底面ヘラミダギキ	古瀬前期	229-2
2	B-170	弥生土器	壺	VAEK	SD-42					西向き。地文I。		弥生中期	174-13
3	B-169	弥生土器	壺	VAEK	SD-42					縦紋文。地文部C1。		弥生中期	174-14
4	B-161	弥生土器	鉢	VAEK	SD-42					縦紋文。地文I。		弥生中期	175-13
5	B-162	弥生土器	鉢	VAEK	SD-42					縦紋文A2V。地文I。		弥生中期	175-14
6	B-164	弥生土器	鉢	VAEK	SD-42					縦紋文A2V。地文I。		弥生中期	175-15
7	B-163	弥生土器	鉢	VAEK	SD-42					縦紋文。		弥生中期	175-16
8	B-165	弥生土器	鉢	VAEK	SD-42					縦紋文。地文I。		弥生中期	175-17
9	B-167	弥生土器	甕	VAEK	SD-42					平行縦紋文(②)。		弥生中期	177-5
10	B-166	弥生土器	甕	VAEK	SD-42					縦紋文。地文I。		弥生中期	177-6
11	B-173	弥生土器	壺	VAEK	SD-42					列点文。地文IVBiv。		弥生中期	
12	B-171	弥生土器	壺	VAEK	SD-42					列点文。地文IVBiv。		弥生中期	
13	B-172	弥生土器	壺	VAEK	SD-42					列点文。地文IVBiv。		弥生中期	

第371図 1号方形周溝墓(SD-42)出土土器

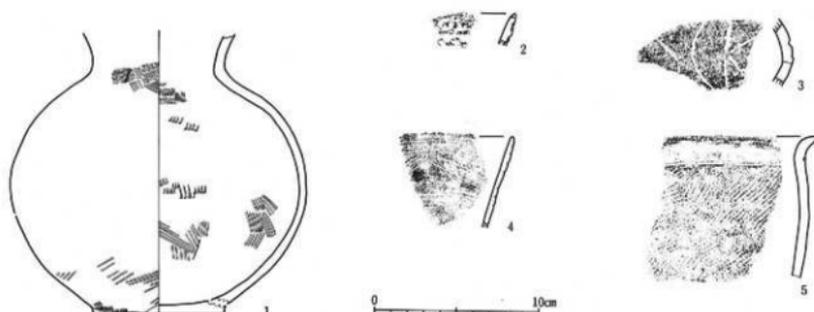


SD-45・47

層別	土色	土質	その他
1	MYR/1 褐色	シルト	凝結性土
SD45-2	MYR/1 褐色	粘土質シルト	硬まりの非常に強い
SD47-2	MYR/1 褐色	シルト質粘土	微生土層、石目を多く含む。硬まり強い。
2	MYR/1 褐色	シルト質粘土	1) MYR/1 に多い微黄色シルト質粘土のブロックを多く含む。
IIa	MYR/1 褐色	粘土質シルト	微生土層、石目を多量に含む。
IIb	MYR/1 褐色	シルト質粘土	微生土層、石目を多量に含む。

※SD-45-1・SD-47-1はV区北壁横断面断面番号。

第372図 2号方形周溝墓



区中 番号	遺物 番号	類別	形状	地区	遺跡 番号	出土層 番号	出土 高さ	方位	特徴・備考		分類	時期	所属層級
									外	内			
1	C-137	土器類	壺	V区	SD-47		(17.3)	7.8	胴部：ハナメ、体部：ハナメ 肩部：ハナメ	胴部：ハナメ、体部：ハナメ			古墳前期 220-3
2	B-124	陶器土器	壺	V区	SD-47				交互刺突文。				古墳前期 174-11
3	B-123	陶器土器	壺	V区	SD-47				刺突文。刺突1。				古墳中期 174-12
4	B-122	陶器土器	壺	V区	SD-47				刺突文。刺突1。				古墳中期 173-12
5	B-121	陶器土器	壺	V区	SD-47				刺突文。刺突2回。				古墳中期

第373図 2号方形周溝墓 (SD-47) 出土土器

南西辺の内側の壁面の方向は、1号方形周溝墓の南西壁面の方向と一致する。周溝の規模は不明であるが、検出部分の長さは、南西辺の外側が4.8m以上、内側が1.7m以上、南東辺が外側が2.7m以上、内側が1.4m以上である。周溝の残存部の深さは、深いところでは27cm程残るが、15cm以下の所が大部分である。周溝の断面形は浅い逆台形を呈し、底面は若干の凹凸はあるがほぼ平坦である。堆積土はB区の北壁断面では4層に分けられ、このうち第367図に図示したB区東壁断面位置には2・3層が分布する。4層の堆積土はいずれも黒褐色のシルト質粘土層で、1・2層には多量の弥生土器と石器を含み、下層の3・4層にはよい黄褐色のシルト質粘土のブロックを多く含んでいる。

周溝からは1号方形周溝墓と同様に弥生土器片が多量に出土（第373図2～5他）したほか、弥生土器片に混じって、第373図1に図示した土師器の壺が底面付近から出土している。この壺は体部径に比較して大きめの台状の底部を持ち、体部はやや扁平な球形を呈する。締まりのある頸部から口縁部にかけては緩やかに外反する。口縁部は欠損する。器面は、かなり荒れているが、外面は底部から頸部に至るまでハケメ調整され、内面はヘラナデ調整されている。この壺に類似する土師器は、仙台市の安久東遺跡の方形周溝墓出土土器（注2）に類例が求められ、古墳時代前期に位置付けられる。弥生土器は、柄形器式のものがほとんどであるが、中には、弥生時代後期天王山式の壺と考えられる破片（第373図2）も含まれている。

土器以外の遺物としては、石鏃（第380図4・7・9・10）、板状石器（第381図2・5）等の石器が出土している。

## 2 溝 跡

方形周溝墓の周溝を除く溝跡は、A区で1条とB区で3条の計4条が発見されている。

SD-43 溝跡 VII B区の中央寄りのIII層上面で発見された。他の遺構との重複はない。検出部の軸方向はおよそN-20°-Wである。溝の上幅は108cmで、深さは13cmを測り、断面形は舟底形を呈する。堆積土は灰黄褐色粘土1層である。遺物は、弥生土器片が5点出土している。

SD-44 溝跡 VII B区の西端のIII層上面で発見された。他の遺構との重複はないが、攪乱坑に切られている。検出部の軸方向はおよそN-58°-Eである。溝の上幅は70cmで、深さは10cmを測る。断面形は浅いU字形を呈する。堆積土は4層に分けられ、各層は連続して弧状に堆積する。遺物は弥生土器片1点と、土師器と考えられる破片が2点出土している。

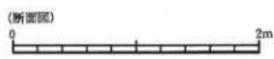
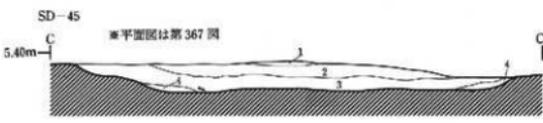
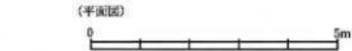
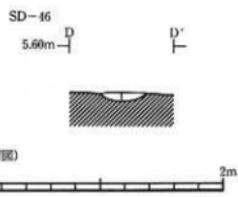
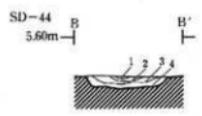
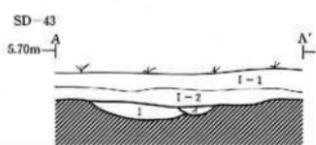
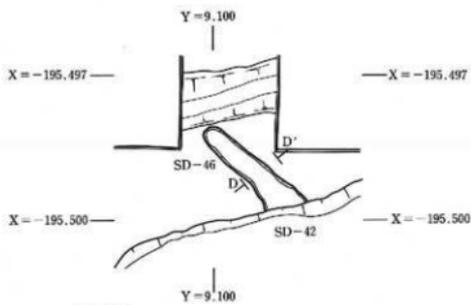
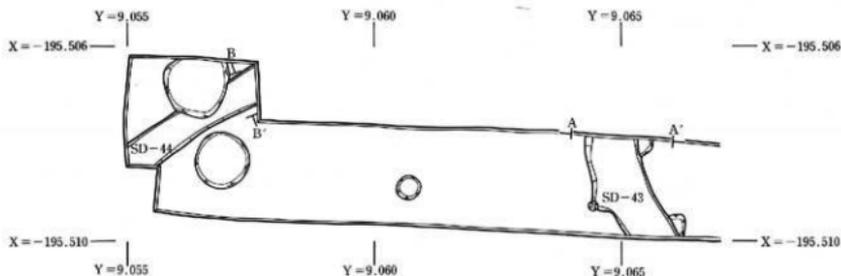
SD-45 溝跡 VII B区東部を北東から南西方向に斜めに横断し、2号方形周溝墓と弥生時代の遺物包含層を切る。検出部の軸方向はN-73°-Eである。溝の上幅は2.6～3.7mで北東側が広い。深さは23cmで、断面形は浅いU字形を呈する。底面はほぼ平坦で、底面の北東端と南西端にレベル差はない。堆積土は4層に分けられる。遺物は、各層から、多数の弥生土器片と少数の土師器片および石器の剥片が出土したほか、2層中からは施釉陶器の小片が出土している。

SD-46 溝跡 VII A区の北部のIII層上面で発見され、1号方形周溝墓に南部を切られている。北側は浅くなって立ち上がる。溝の軸方向はN-47°-Wである。溝の上幅は49～77cmで、深さは7cmである。断面形は浅い舟底形を呈する。堆積土は黒褐色粘土質シルト1層である。遺物は、弥生土器片が35点出土している。

## 3 土 坑

土坑はA区で2基検出されている。

SK-51 土坑 VII A区の南部、自然堤防の南端近くで発見された。遺物包含層を切って掘られている。平面形は南東辺に出入りのある不整な楕円形を呈し、長軸の方向はおよそN-30°-Eである。大きさは、長軸283cm・短軸190cmを測る。深さは中央部で23cmあり、北側はこれより浅い。断面形は浅い舟底形を呈する。堆積土は炭化物を含む黒



SD-43

層No	土色	土質	その他の物
1-1	10YR2/3 緑 褐色	粘土質シルト	細砂作土
1-2	10YR3/4 黄 褐色	粘土質シルト	細砂作土下部
イ	10YR2/3 赤 褐色	シルト質粘土	硬風層
1	10YR6/2 灰 黄 褐色	粘 土	10YR6/4同黄褐色シルト粒を散らした含む

SD-45

層No	土色	土質	その他の物
1	10YR4/4 黄 褐色	シルト	細作土層下部に散ら
2	10YR4/3 に近い黄褐色	粘土質シルト	
3	10YR4/2 灰 黄 褐色	粘土質シルト	酸化皮を包み込んで含む
4	10YR4/2 灰 黄 褐色	粘土質シルト	黄褐色粘土上のブロックを多く含む

SD-44

層No	土色	土質	その他の物
1	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト質粘土	
2	10YR6/3 に近い黄褐色	シルト質粘土	土層片を散ら含む
3	10YR4/2 灰 黄 褐色	シルト質粘土	
4	10YR2/4 に近い黄褐色	シルト質粘土	次第褐色シルト質粘土上のブロックを少量含む

SD-46

層No	土色	土質	その他の物
1	10YR2/3 灰 黄 褐色	粘土質シルト	に近い黄褐色粘土のブロックを含む

第374図 VII区溝跡実測図 (SD-43・44・45・46)

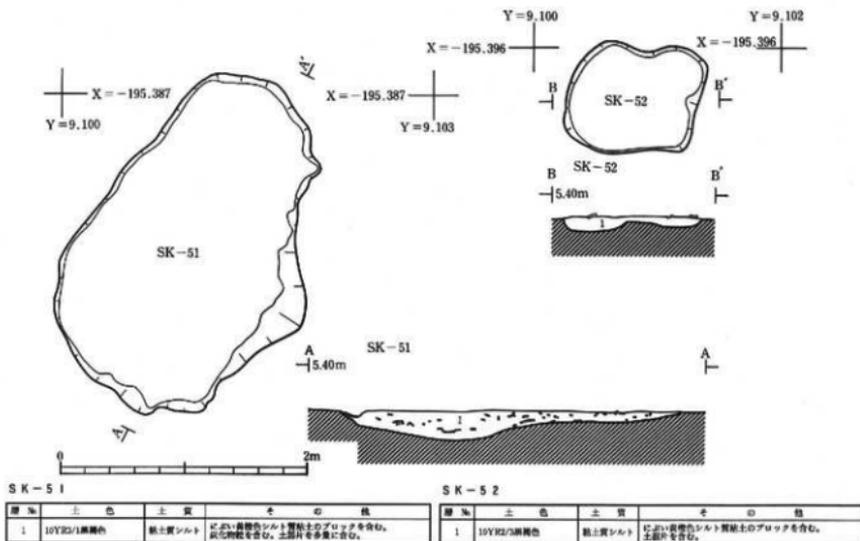
褐色の粘土質シルト1層で、層中からは上部から底面に至るまで多量の弥生土器を主とする遺物が出土している。

SK-51土坑から出土した遺物は、ほとんどが弥生土器である。接合によっても完全な形に復元できたものはない。器形としては壺・鉢・甕・蓋などがある。図化したものを第376・377図に図示した。弥生土器の大部分は、細沈線による山形文ないし連弧文およびこれに伴う磨消縄文または充填縄文などの装飾文様で、文様や器形の特徴は、Ⅷ・Ⅸ区出土の樹形罫式の土器群と共通するが、中には第376図1～3のように、口縁部に粘土帯を張り付け、口唇部に連鎖状に刺突文を付し、口縁直下には粘土紐を張り付けて、これに交互刺突をして模様を形成している弥生土器片も出土している。この土器については、2号方形周溝墓出土の破片(第373図2)とともに弥生時代後期の天王山式に位置付けられる。弥生土器以外には、石錐(第380図14)、板状石器片1点(第381図1)や石器の剥片が6点出土している。

SK-52土坑 VII A区の中央部で弥生時代に形成された遺物包含層を除去したⅢ層上面で検出された。平面形は不整な隅丸長方形を呈し、東西長軸108cm・南北短軸90cmを測る。深さは中央部で12cmあり、北西側はこれより1段浅く掘られている。東西方向の断面形は浅く、不整なU字形を呈する。堆積土は黒褐色の粘土質シルト1層である。遺物は出土していない。

#### 4 遺物包含層

遺物包含層は、A区では1号方形周溝墓の北西辺以南の調査区北部から南部に、B区ではSD-45以南の調査区南半部に分布する。Ⅶ区的位置する自然堤防にあってはその南側三分の一の地域を占める。B区の東部の包含層は西側に移行するにしたがって次第に薄くなり、B区の中央(Y=9.070km)付近を境として、これより西の地域には分布しないものと考えられる。A区の東側では、遺物包含層はさらに東方にのびていると考えられるが、Ⅶ区から約



第375図 VII A区 SK-51・52 実測図

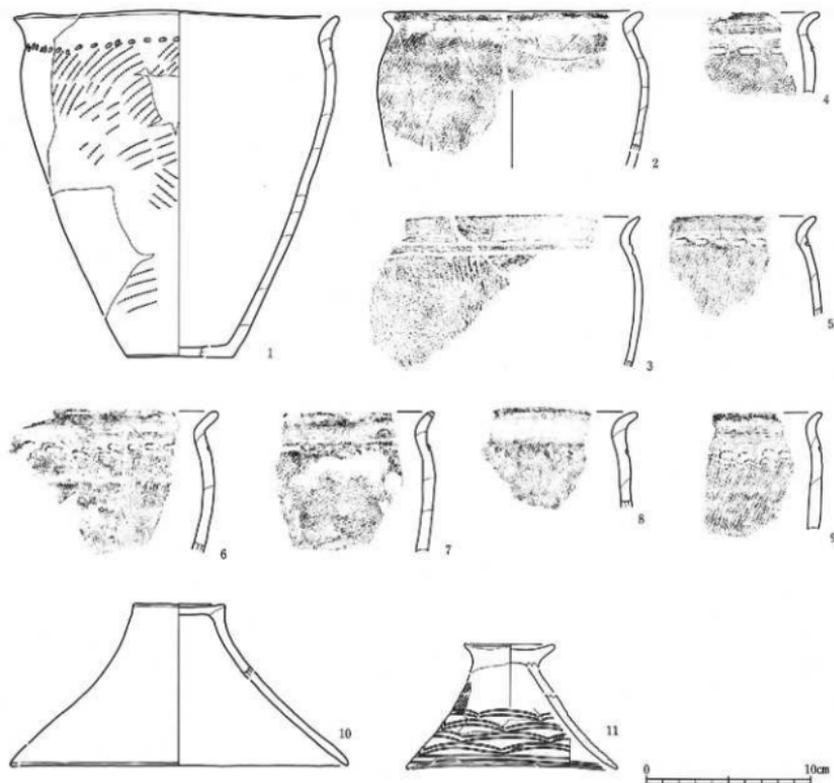


国中 番号	登録 番号	種別	産地	出土地点			数量			特徴・備考	分属時期	写真図版
				地区	遺構	層位	取上層砂	器高	口徑			
1	B-190	弥生土器	壺	VIA区	SK-51					交互斜突状の文様。地文種Ⅰ。	弥生後期	174-1
2	B-189	弥生土器	壺	VIA区	SK-51					交互斜突状の文様。地文種Ⅰ。	弥生後期	174-2
3	B-191	弥生土器	壺	VIA区	SK-51					交互斜突状の文様。地文種Ⅰ。	弥生後期	174-3
4	B-197	弥生土器	小罎	VIA区	SK-51		8.9	7.4	5.5	地文Ⅰ。	弥生中期	174-4
5	B-182	弥生土器	壺	VIA区	SK-51					地文Ⅰ。	弥生中期	174-4
6	B-193	弥生土器	壺	VIA区	SK-51		(20.4)			地文Ⅰ。	弥生中期	174-6
7	B-178	弥生土器	高洋	VIA区	SK-51					罫線文A2U。地文種Ⅰ。	弥生中期	177-12
8	B-196	弥生土器	鉢	VIA区	SK-51		7.7	9.1	4.7	地文種Ⅰ。	弥生中期	175-1
9	B-179	弥生土器	鉢	VIA区	SK-51					罫線文。	弥生中期	175-3
10	B-177	弥生土器	鉢	VIA区	SK-51					罫線文A2V。地文種Ⅰ。	弥生中期	175-4
11	B-196	弥生土器	鉢	VIA区	SK-51		(7.6)	17.8		罫線文B1V。地文種Ⅰ。	弥生中期	175-2
12	B-189	弥生土器	壺	VIA区	SK-51		(13.3)	14.2		罫線文A2V。地文種Ⅰ。	弥生中期	176-5
13	B-202	弥生土器	壺	VIA区	SK-51		(16.6)	14.0		罫線文A2V。地文種Ⅰ。	弥生中期	176-4
14	B-180	弥生土器	壺	VIA区	SK-51					平行直線文(3)。	弥生中期	177-3
15	B-181	弥生土器	壺	VIA区	SK-51					平行直線文(3)。地文マメツ。	弥生中期	177-4

第376図 VIA区SK-51出土土器1

60m離れたV区までは至っていないので、この間の自然堤防部の幅が広い部分に分布しているものと考えられる。遺物包含層の範囲は、自然堤防の南側に沿って、幅10m前後で東西50~70mの範囲に分布するものと推定される。

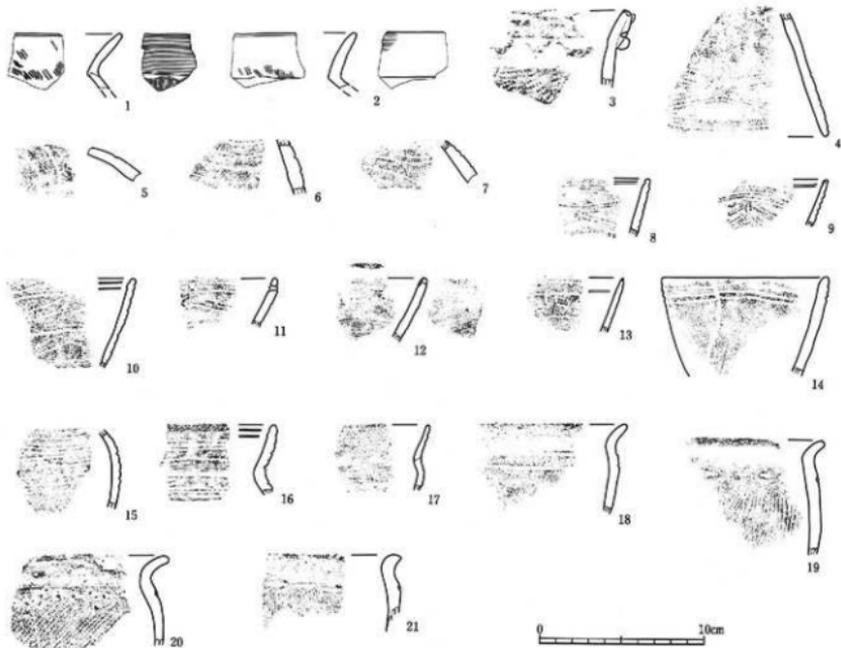
遺物包含層は、VII区の土層断面図でII層にあたり、厚さはA区の中央で25cm、B区東部南壁中央付近で5~15cmを測る。包含層はa層・b層・c層の3層に細分された。a層は、締まりの強い黒色の粘土質シルトで、弥生土器と石器を多量に含む。b層は、黒褐色ないし褐灰色のシルト質粘土層で、弥生土器と石器を多量に含む。c層は、



図中 番号	登録 番号	種別	器種	出土地点			法量			特徴・備考	分類	時期	写真図版
				地区	遺構	層位	取上げ層	器高	口径				
1	B-201	弥生土器	甕	VIA区	SK-51			21.2	19.5	6.6	列点文。地文IVAiv。	弥生中期	176-6
2	B-192	弥生土器	甕	VIA区	SK-51			(9.6)	15.6		地文IIIciii。	弥生中期	176-2
3	B-194	弥生土器	甕	VIA区	SK-51						平行的線文(7)。地文IIIi。	弥生中期	
4	B-184	弥生土器	甕	VIA区	SK-51						列点文。地文IIIcii。	弥生中期	
5	B-185	弥生土器	甕	VIA区	SK-51						列点文。地文IIi。	弥生中期	
6	B-186	弥生土器	甕	VIA区	SK-51						列点文。地文IIIi。	弥生中期	
7	B-185	弥生土器	甕	VIA区	SK-51						列点文。地文IIIi。	弥生中期	
8	B-187	弥生土器	甕	VIA区	SK-51						列点文。地文IIi。	弥生中期	
9	B-188	弥生土器	甕	VIA区	SK-51						列点文。地文IIIcii。	弥生中期	
10	B-195	弥生土器	甕	VIA区	SK-51			9.9	20.3	5.4		弥生中期	177-13
11	B-200	弥生土器	甕	VIA区	SK-51			7.6	12.7	5.5	斜線文AZU。地文IIIi。	弥生中期	177-14

第377図 VII A区 SK-51 出土土器 2

黒褐色ないし灰黄褐色のシルト質粘土または粘土質シルト層で、地山起源のにおい黄褐色のシルト質粘土のブロックを多く含む。これらの遺物包含層については、土層を除去する過程において第385図に示したような小溝状遺構群が検出されていることや、出土する土器は細片が多く、一括廃棄された状態で出土する土器が少ないことから、遺



同中 層時	登録 番号	種類	標形	出土地点		出土層位	取上番号	高さ	口径	直径	特徴・備考		分類	時期	写真図版
				地区	遺構						内面	外面			
1	C-142	土器類	壺	VIIA区	IIb層						口縁ハケメ 口縁コナデ				古墳前期
2	C-143	土器類	壺	VIIA区	IIc層						口縁ハケメ 口縁コナデ?				古墳前期
3	B-130	弥生土器	壺	VIIIB区	II層						交互明瞭の文様。地文種I。 同心円文or地文。地文I。				弥生中期 174-7
4	B-152	弥生土器	高杯	VIIA区	IIb層						磨滅文A2L。地文組C。地文I。				弥生中期 177-11
5	B-149	弥生土器	壺	VIIA区	IIa層						同心円文or地文。地文I。				弥生中期 174-8
6	B-148	弥生土器	壺	VIIA区	IIa層						内面文。地文種I。				弥生中期 174-9
7	B-160	弥生土器	壺	VIIA区	IIc層						磨滅文。地文I。				弥生中期 174-10
8	B-147	弥生土器	鉢	VIIA区	IIa層						磨滅文。地文種I。				弥生中期 175-5
9	B-146	弥生土器	鉢	VIIA区	IIa層						磨滅文。地文種I。				弥生中期 175-6
10	B-155	弥生土器	鉢	VIIA区	IIb層						磨滅文。地文種I。				弥生中期 175-7
11	B-153	弥生土器	鉢	VIIA区	IIb層						磨滅文。地文種I。				弥生中期 175-8
12	B-154	弥生土器	鉢	VIIA区	IIb層						磨滅文。地文種I。				弥生中期 175-9
13	B-150	弥生土器	鉢	VIIA区	IIc層						内面文。地文種I。				弥生中期 175-10
14	B-156	弥生土器	鉢	VIIA区	IIb層	(5.2)	9.8				平行直線文(3)。地文種I。				弥生中期 175-11
15	B-133	弥生土器	壺	VIIIB区	II層										弥生中期 177-1
16	B-131	弥生土器	壺	VIIIB区	II層										弥生中期 177-2
17	B-132	弥生土器	壺	VIIIB区	II層						平行直線文(3)。				弥生中期 177-8
18	B-157	弥生土器	壺	VIIA区	IIb層						平行直線文(2)。地文IVC1。				弥生中期
19	B-154	弥生土器	壺	VIIIB区	IIb層						列点文。地文I。				弥生中期
20	B-129	弥生土器	壺	VIIIB区	II層						列点文。地文IIC。地文I。				弥生中期
21	B-128	弥生土器	壺	VIIIB区	II層						列点文。地文I。				弥生中期

第378図 VII区遺物包含層(II層)出土土器1

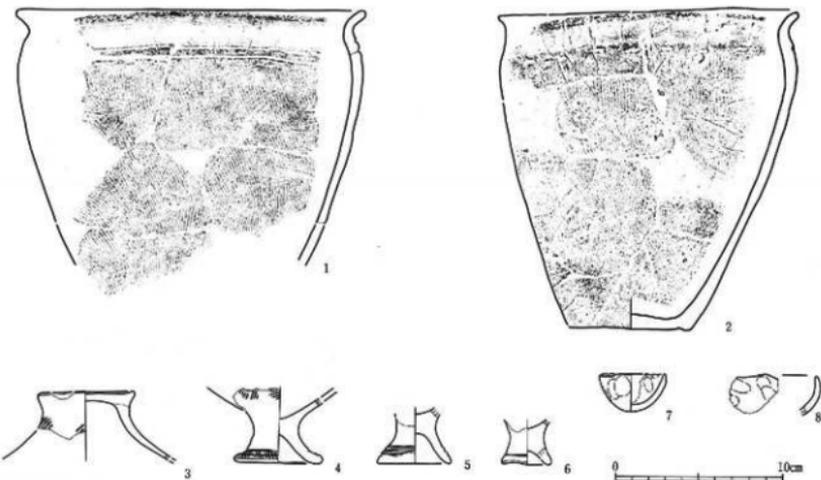
物包含層の形成後、古い時代からの攪乱を受けているものと判断される。

出土遺物は、弥生土器と石器が主体を占めるが、土師器も数点出土している。弥生土器は、SD-47 溝跡(2号方形周溝墓)やSK-51土坑等と同様に、細沈線による山形文ないし連弧文・方形区画文およびこれに伴う磨消縄文または充填縄文などの装飾文様や、平行沈線文の土器が主体を占め、文様や器形の特徴は、Ⅷ・Ⅸ区出土の弥生時代中期樹形罎式の土器群と共通するもの(第378図4~21、第379図1~8)がほとんどであるが、後期天王山式の土器片(第378図3)も1点出土している。弥生土器は、ほとんどが小破片であるために器形全体の明らかなものは少ないが、器種としては、樹形罎式の土器には高坏・壺・鉢・甕・蓋・ミニチュア土器など、各種の器形が揃っている。これに対して、天王山式の土器は、甕と考えられる器種の破片だけが出土している。

石器は、石鏃(第380図2・3・6・11・12)、二次加工のある剝片(第380図16)、板状石器(第381図4・8~10)、石鎌(第381図7)、敲石(第382図2・4)、磨石(第382図5~7)、石庖丁(第383図1~4、第384図1)のほか、剝片も多数出土している。石庖丁には、未製品も含まれている。

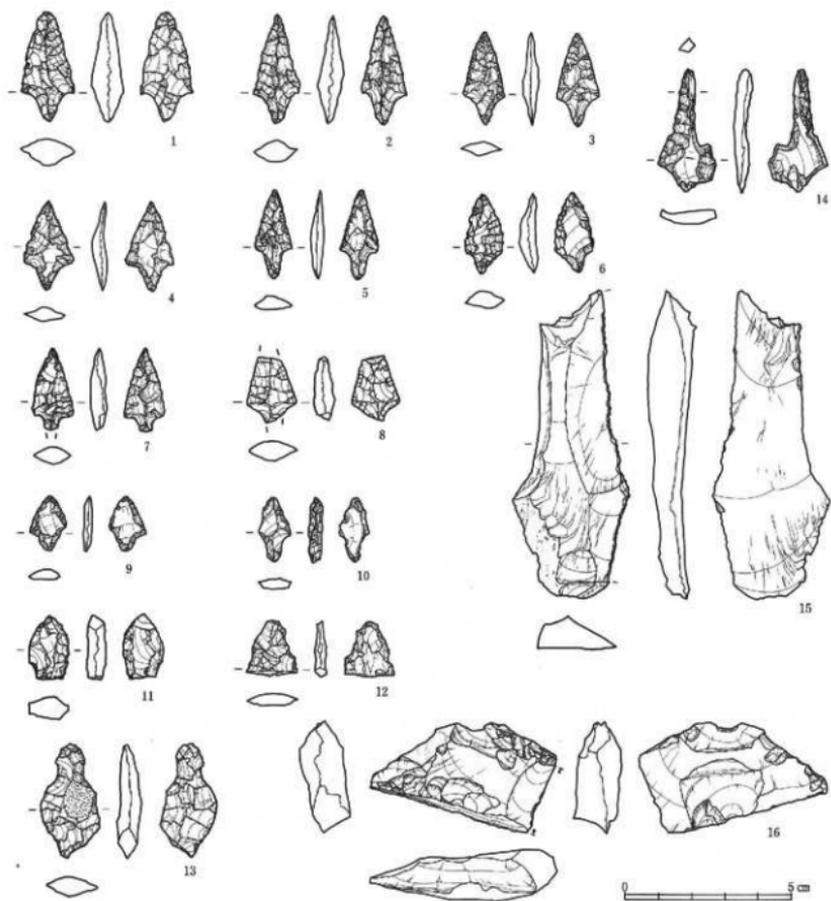
土師器は、第378図1・2に図示した甕の体部上端から口縁部にかけての破片のほか、体部片が数点出土している。2点の甕片は、器壁が薄作りで、体部上端が強く括れ、口縁は外反する。体部上端と口縁の境は「く字」に折れて、内面は角がついて稜が形成されている。口縁部の調整は、内面はヨコナデ調整されているが、外面は細かなハケメ調整が残る。时期的には、古墳時代前期の塩釜式期に相当するものと考えられる。

堆積状況や出土遺物から、Ⅶ区の遺物包含層については、弥生時代中期の樹形罎式期に形成され、その後弥生時代後期から古墳時代前期にかけて最初の攪乱を受けたものと理解される。



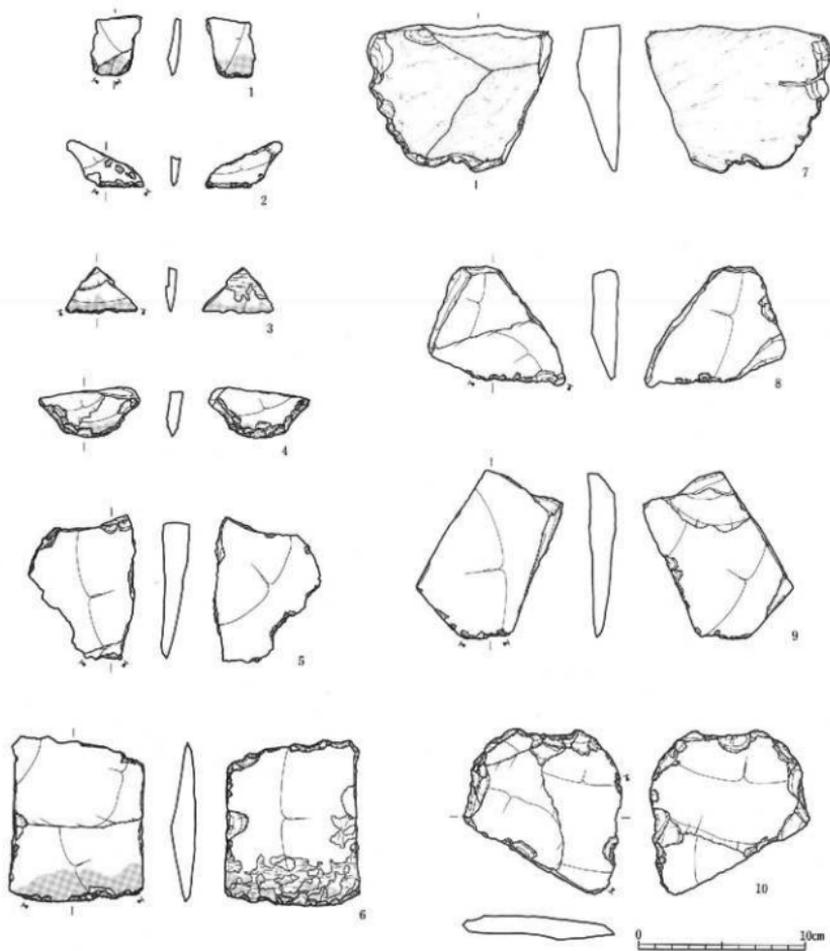
図中 番号	発 見 地	種 別	形 態	出 土 地 点				法 量		特 徴・備 考	分 類	時 期	写 真 図 版	
				区 画	遺 構	層 位	取 上 層 号	高 度	口 径 底 径					
1	B-118 B-119	弥生土器	甕	ⅧB区	日輪			(15.6)	21.0	平行直線文、地文IVDr.		弥生中期		
2	B-120	弥生土器	甕	ⅧB区	日輪			19.8	17.8	7.4	列点文、地文Ⅷ1.		弥生中期	176-3
3	B-151	弥生土器	蓋	ⅧA区	日輪			(4.2)		5.6			弥生中期	
4	B-150	弥生土器	ミニチュア土器	ⅧA区	日輪			(4.8)		5.4	平行直線文(2)、地文Ⅷ1.		弥生中期	177-15
5	B-144	弥生土器	ミニチュア高坏	ⅧB区	日輪			(3.4)		4.4	平行直線文(1)、		弥生中期	177-16
6	B-145	弥生土器	ミニチュア高坏	ⅧB区	日輪			(2.7)		3.0	直線文。		弥生中期	
7	B-141	弥生土器	ミニチュア土器	ⅧA区	日輪								弥生中期	177-17
8	B-142	弥生土器	ミニチュア土器	ⅧA区	日輪			2.3		3.9			弥生中期	

第379図 Ⅶ区遺物包含層(II層)出土土器2



区中 番号	登録 番号	種別	材質	出土 地点	法 量	重 量	特 徴・備 考	製 材	時 期	写真 回数	
				地区 連 携 層 位 取上番号	全長	幅・厚 寸					
1	K-109	石鏃	石鏃	YBKS SD-42	3.3	1.5 0.8	2.5		玉	期	242-12
2	K-117	石鏃	石鏃	YBKS II層	3.3	1.3 0.7	1.7		玉	期	242-15
3	K-99	石鏃	石鏃	YBKS IIa層	2.8	1.3 0.5	1.0		黒曜石	期	242-18
4	K-125	石鏃	石鏃	YBKS SD-47	2.7	1.4 0.4	1.0		黒曜石	期	242-3
5	K-108	石鏃	石鏃	YBKS SD-42	2.7	1.1 0.4	0.7				
6	K-116	石鏃	石鏃	YBKS II層	2.4	1.1 0.5	1.1		石灰質山部質 燧石	期	242-8
7	K-126	石鏃	石鏃	YBKS SD-47	2.5	1.2 0.5	1.1		玉	期	242-4
8	K-107	石鏃	石鏃	YBKS 小溝H	2.0	1.4 0.6	1.2		玉	期	242-28
9	K-124	石鏃	石鏃	YBKS SD-47	1.6	1.1 0.2	0.3		珪化燧石	期	242-20
10	K-127	石鏃	石鏃?	YBKS SD-47	1.9	0.8 0.4	0.5		玉	期	242-22
11	K-102	石鏃	石鏃?	YBKS IIb層	1.9	1.2 0.6	1.4		黒曜石	期	243-23
12	K-101	石鏃	石鏃	YBKS IIa層	1.6	1.5 0.4	0.8		玉	期	243-21
13	K-110	石鏃	石鏃	YBKS SD-42 埋土	3.4	1.5 0.6	2.6		玉	期	244-11
14	K-105	石鏃	石鏃	YBKS SR-21 I層	3.7	1.6 0.4	1.9		黒曜石	期	244-1
15	K-88	石鏃	不定形石鏃	YBKS I層	9.3	3.4 1.3	29.7	縁部割傷あり、2次加工あり	黒曜石	期	245-6
16	K-97	石鏃	不定形石鏃	YBKS IIa層	5.0	2.9 1.3	18.2	2次加工あり	黒曜石	期	246-4

第380図 VII区出土石器 1



図中 番号	石種 番号	類別	器種	出土地点		度量				特徴・備考	素材	時期	写真掲載	
				地区	遺跡名	位置	取上層	全長	幅・底					厚さ
1	K-105	石器	板状石器	Ⅴ区	SK-51			4.3	3.4	0.8	9.6	下部縁側面に光沢面	安山岩	258-2
2	K-128	石器	板状石器	Ⅴ区	SD-47			5.2	2.1	0.6	5.8	尖部片、下部縁側面に光沢面、光沢面	安山岩	258-3
3	K-111	石器	板状石器	Ⅴ区	SD-42			3.5	3.4	0.6	5.7	下部縁側面に光沢面、b面に磨面	安山岩	258-4
4	K-98	石器	板状石器	Ⅴ区		目土層		6.0	3.0	0.8	17.6	下部縁側面に光沢面、下部縁一部に磨面	安山岩	258-5
5	K-129	石器	板状石器	Ⅴ区	SD-47			9.0	6.7	1.6	75.4	下部縁側面に光沢面、磨面の2次加工	安山岩	258-6
6	K-99	石器	板状石器	Ⅴ区		目土層		11.9	10.9	1.6	173.5	下部縁側面に光沢面、b面に磨面	安山岩	258-10
7	K-95	石器	石斧?	Ⅴ区		目土層		9.0	11.2	2.5	293.8		安山岩	259-3
8	K-101	石器	板状石器	Ⅴ区		目土層		9.4	6.6	1.7	99.1	尖部2次加工	安山岩	258-7
9	K-118	石器	板状石器	Ⅴ区		目土層		10.4	8.0	1.8	158.7		安山岩	258-8
10	K-120	石器	板状石器	Ⅴ区		目土層		11.3	9.4	1.3	164.4	下部2次加工、板縁縁部磨面	安山岩	258-9

第381図 VII区出土石器 2

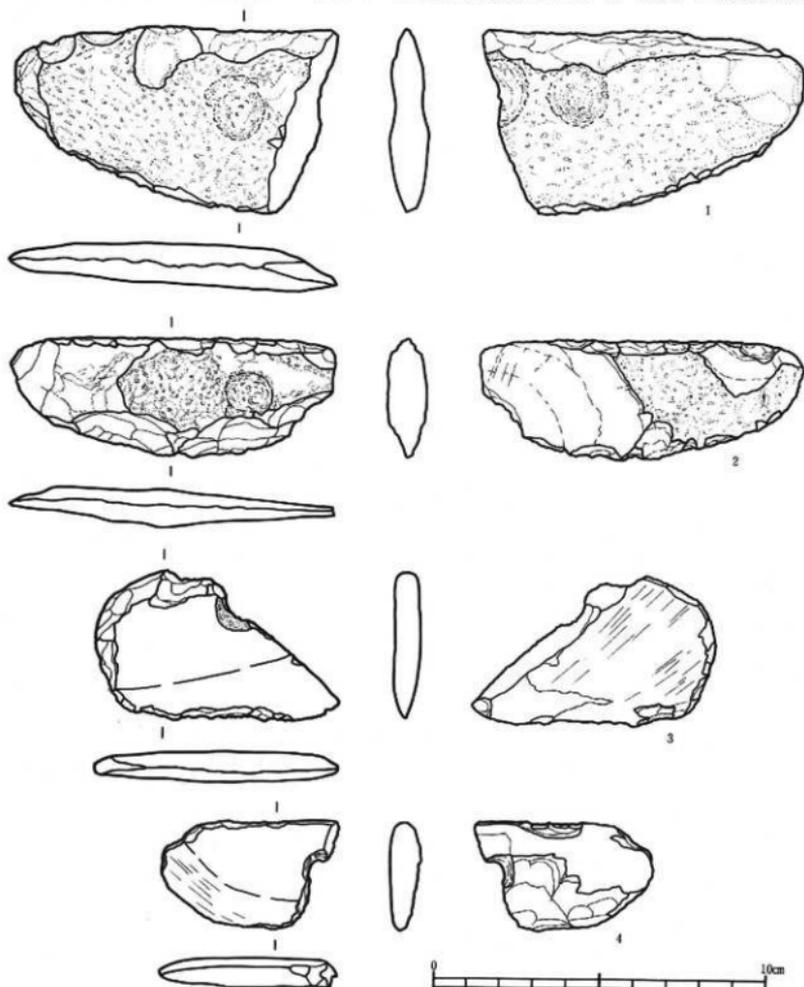


図中 番号	発掘 番号	種類	産地	出土地点			法量			特徴・備考	素材	時期	写真図版		
				地区	遺跡	層位	地上番号	全長	幅・底 厚さ					重量	
1	K-91	石器	野田産石	野田		I層		16.8	5.7	4.2	547.3	底一面(反対面)両側面、四一面、 裏一面	石炭安山岩	弥生	259-6
2	K-104	石器	産石	野田		IIb層		10.8	7.1	4.3	429.5	底一面	火山噴出物(安山岩)野田産	弥生	262-1
3	K-114	石器	産石	野田		SD-42		6.7	6.1	4.2	214.9	側面体の破石	埼玉石炭安山岩野田産	弥生	262-5
4	K-96	石器	産石	野田		IIa層		11.2	5.7	4.6	326.4	底一面、一端、ワレている	石炭安山岩	弥生	262-2
5	K-123	石器	産石	野田		II層		7.4	7.7	3.1	236.2	底一面、両側は加工されている、ワレ ている	安山岩	弥生	260-12
6	K-103	石器	産石	野田		IIb層		4.9	4.2	1.3	29.9	片一面	砂	弥生	260-13
7	K-122	石器	産石	野田		II層		12.7	9.7	4.6	603.4	底一面	砂	弥生	260-11

第382図 VII区出土石器 3

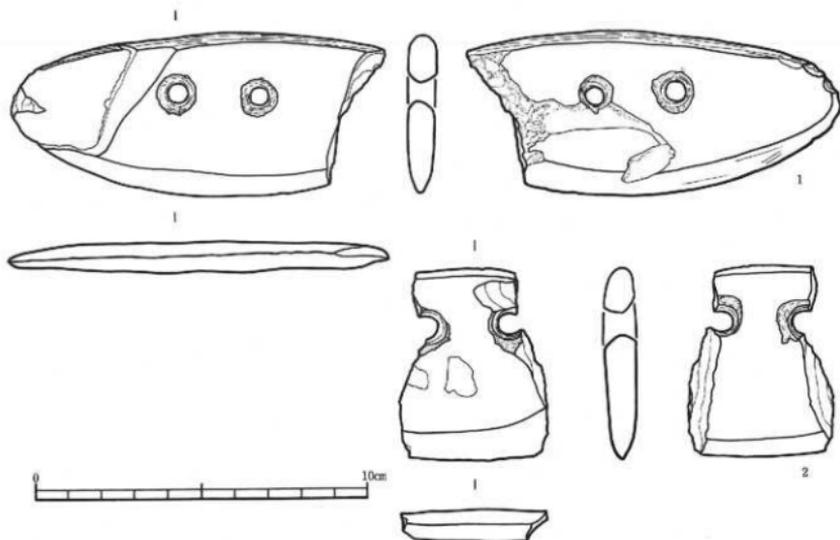
## 5 小溝状遺構群

遺物包含層の除去過程で発見されたが、遺構の明確な輪郭はⅢ層上面で検出された。1号方形周溝墓の区画内  
 だけ検出された。遺構の範囲は、南北7.5m東西4.5mである。遺物包含層及びSK-52を切る。1号方形周溝墓と



図中 番号	発 掘 番号	種類	産地	出土地点		測定				特徴・備考	素材	時期	写真図版
				地区	遺構	層位	取上番号	全長	幅・厚				
1	K-93	石鏃	石砥丁	ⅢA区	Ⅲa層	9.4	5.7	12.0	86.7	未製品	網罟母片岩	弥生	248-2
2	K-94	石鏃	石砥丁	ⅢA区	Ⅲa層	9.7	3.7	12.0	42.5	未製品	網罟母片岩	弥生	248-3
3	K-118	石鏃	石砥丁	ⅢB区	Ⅲb層	7.2	4.6	9.0	35.2	未製品	網罟母片岩	弥生	248-4
4	K-92	石鏃	石砥丁	ⅢA区	Ⅲa層	5.1	3.4	2.0	18.7		網罟母片岩	弥生	247-5

第383図 VII区出土石器 4

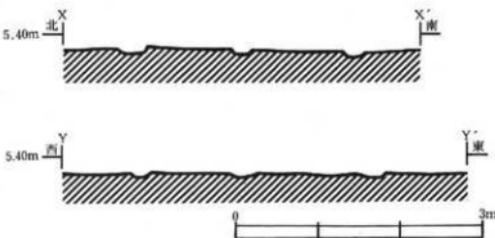


図号	分類番号	種別	器種	出土地点			計量				特徴・備考	素材	時期	写真図版	
				地区	遺跡	層位	取上番号	全長	幅	厚さ					重量
1	K-100	石器	石槌丁	IBAKI		埋土	15a3層 25a1	11.1	5.0	0.9	74.2				
2	K-112	石器	石槌丁	IBAKI	SD-42	埋土		5.3	5.5	1.0	37.4		磨製片岩	弥生	

第384図 VII区出土石器 5

の直接の重複関係はないが、周溝の堆積土上面に小溝状遺構の輪郭が及ばないことから方形周溝墓の方が新しい遺構であると考えられる。

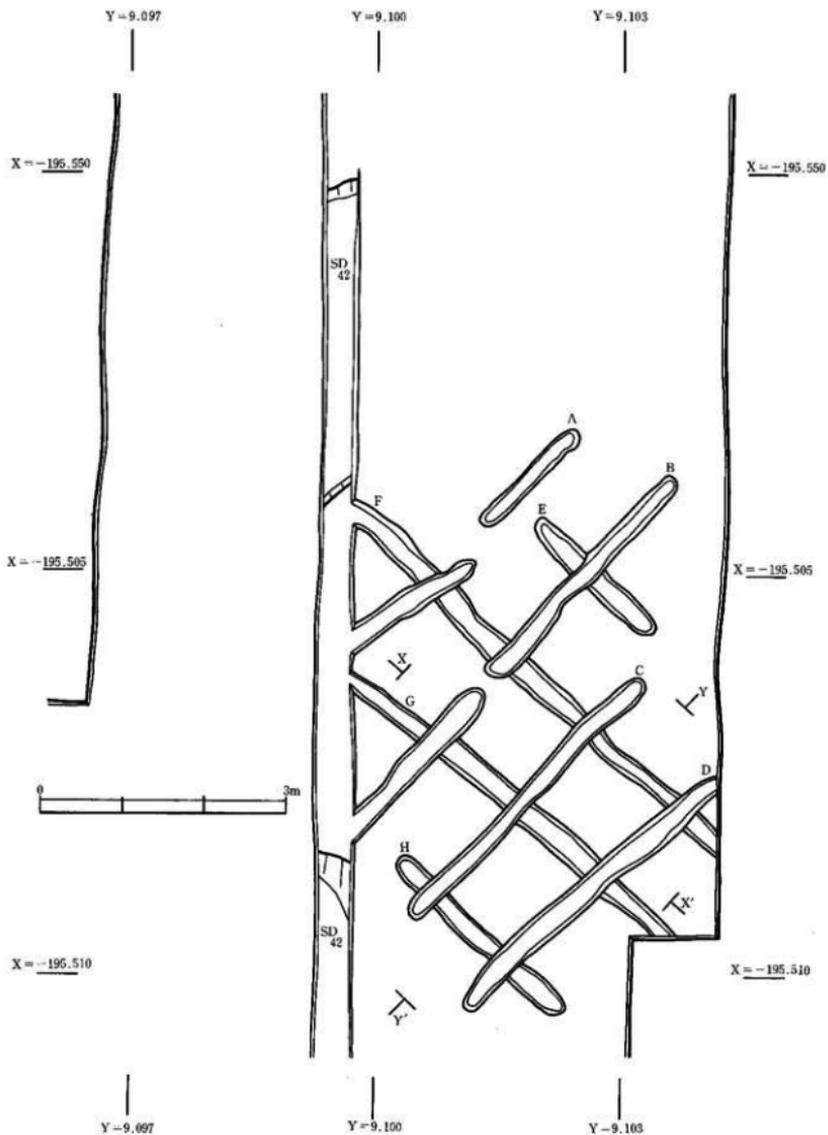
小溝状遺構群は軸方向によって2群に分けられる、第1群は第386図のA～Dの4条で、北東から南西方向を向くものである。第2群は第385図のE～Hの4条で、北西から南東方向を向くもので、両群は互いに直交する。両群には重複関係があり、第1群が第2群



第385図 小溝状遺構断面図

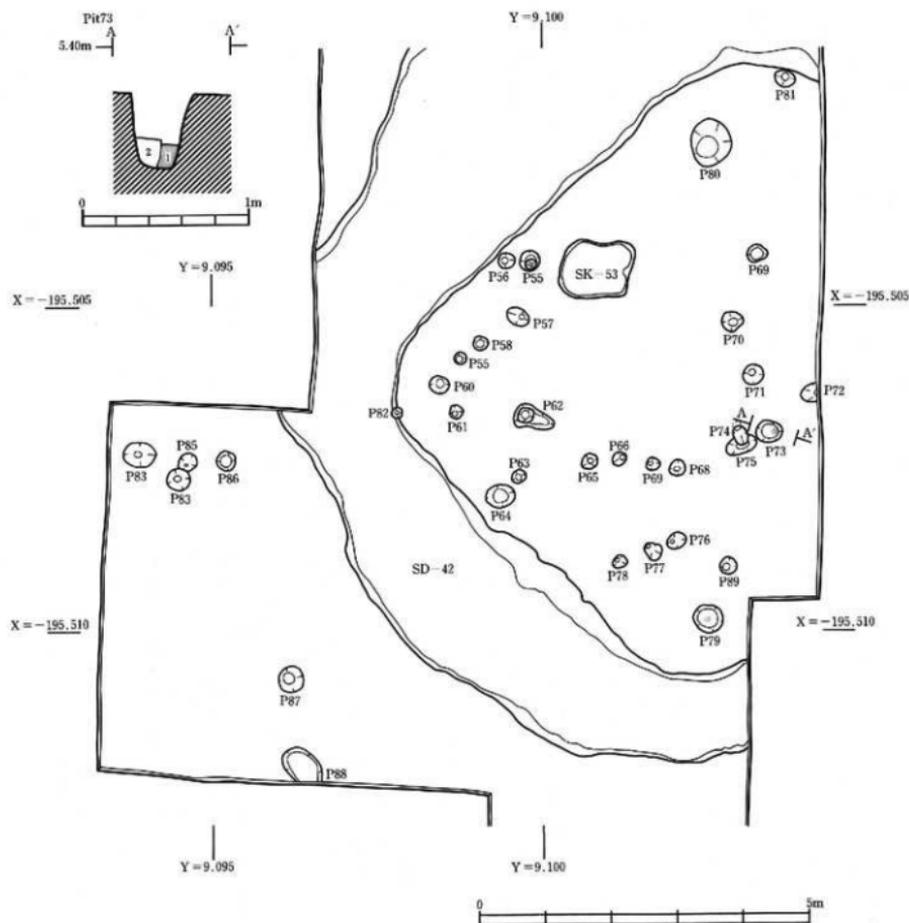
第5表 小溝状遺構群計測表

遺構番号	方 向	溝幅(平均)	深 さ	溝検跡までの距離	隣接溝との中心距離
A	N-44°-E	20-32 (25)	3~4	A~B 107-123	A~B 124
B	N-42°-E	18-45 (26)	2~3.5	B~C 98-112	B~C 130
C	N-43°-E	23-27 (24)	4~5	C~D 96-127	C~D 125-136(138)
D	N-38°-E	24-34 (31)			
E	N-43°-W	27-30 (30)	4~5	E~F 113-114	E~F 136-141(140)
F	N-46°-W	18-35 (30)	2~6	F~G 100-125	F~G 127-150(139)
G	N-49°-W	20-31 (30)	3~5	G~H 119-127	G~H 137-136(140)
H	N-38°-W	20-31 (26)	3~7		



第386図 小溝状遺構群

切っている。第1群の方向はN-42°~48°-Eで、各溝の中心の間隔はA-124-B-130-C-136-D(cm)である。第2群の方向はN-45°~49°-Wで、各溝の中心の間隔はE-140-F-139-G-146-H(cm)である。溝の上面の幅は第1・2群とも18~46cmの範囲にあり、平均的な幅は24~31cmである。溝の深さは、検出面から2~7cmである。第1群と第2群の小溝状遺構群を比較すると、方向は異なるが、溝の幅と間隔には類似性が認められる。



Pit73

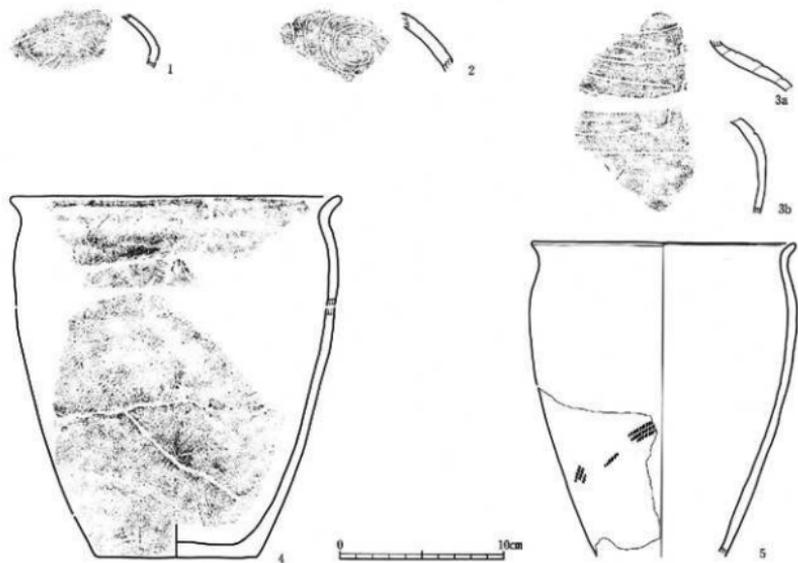
層 号	土 色	土 質	そ の 他
1	11YR7/1 灰褐色	粘 土	磁石粉や多量を含む (鉄塊附)
2	10YR7/3 赤い黄褐色	粘 土	少量の炭化物に少量の土器片を含む (磁石付埋土)

第387図 Ⅲ層上面検出ビット実測図

しかも両群はほぼ直角に交差していることを考慮すると、一定の計画のもとに同一の人物あるいは集団によって掘削されたことが推定される。

遺物は、弥生土器及び弥生土器と思われる破片（第388図1他）が多数出土しているほか、石鏝（第380図8）や石器の剥片が出土している。明確に土師器と認識できる土器片はない。

VII区検出のこのような小規模な溝が群をなして構成される遺構は、仙台市内では六反田遺跡（注3）・南小泉遺跡（注4）・下ノ内浦遺跡（注5）・下ノ内遺跡（注6）・山口遺跡（注7）・富沢遺跡（注8）など、沖積地に立地する古墳時代から平安時代にかけての遺跡で発見され、その遺跡数は20カ所を超えている（注9）。遺構の性格としては「畝の畝を作る際の掘削痕跡」ないし「畝を起耕（天地返し）した際の痕跡」など、畝跡に関係する遺構の可能性が考えられていたが（注10）、1994年に下ノ内浦遺跡において、畝跡が畝の高まりとして検出され、その下層から「小溝状遺構群」が検出されたことから、「小溝状遺構群」が「畝跡の耕作痕跡」で有ることがはじめて確認された（注11）。したがって、本遺跡の小溝状遺構群も畝跡の耕作痕跡と考えられる。小溝状遺構群の形成時期は、弥生時代後期の土器片が出土した基本層2層の遺物包含層を切り、古墳時代前期の方形周溝墓より新しいことから、弥生時代後期以降古墳時代前期以前と考えられる。さらに、中在家南遺跡では弥生時代後期の遺物の出土が極めて少ないことを考慮すると、小溝状遺構群は古墳時代前期に形成された可能性の方がより高いものと推定される。



図中 番号	登録 番号	種類	形状	出土 地点	出土 層位	出土 番号	高さ	口径	直径	特徴・備考	分類	時期	写真図版
1	B-178	弥生土器	片	VEA区 4南西						施文、施文Ⅰ。		弥生中層	174-15
2	B-175	弥生土器	片	VEA区 P172						施文、施文Ⅰ。		弥生中層	176-16
3	B-174	弥生土器	片	VEA区 P173						施文Ⅰ、施文Ⅱ。		弥生中層	174-17
4	B-116	弥生土器	甕	VEA区	田堀	土層1B	(20.2)	20.0	9.8	施文Ⅰ。		弥生中層	176-1
5	B-117	弥生土器	甕	VEA区	田堀	土層1A	(19.1)	16.0		施文マメツ。		弥生中層	

第388図 小溝状遺構群ビット・III層上面出土土器

## 6 ビット

Ⅶ区のビットは、Ⅱ層の遺物包含層を除去したⅢ層上面で検出された。A区では中央部に集中し、特に方形周溝墓の区画内に多く分布する。B区では調査区の西部南端で数個検出されているが、南壁にかかるビットはⅡa層及びⅡb層からの掘り込みである。A区のビットについてもⅡ層から掘り込まれたものも存在した可能性があるが、調査では確認できなかった。

A区のビットは35個あるが、このうち柱痕跡を検出できたのはP73とP79の2個だけである。相互関係は不明である。また、他のビットについても相互関係・性格等は不明である。

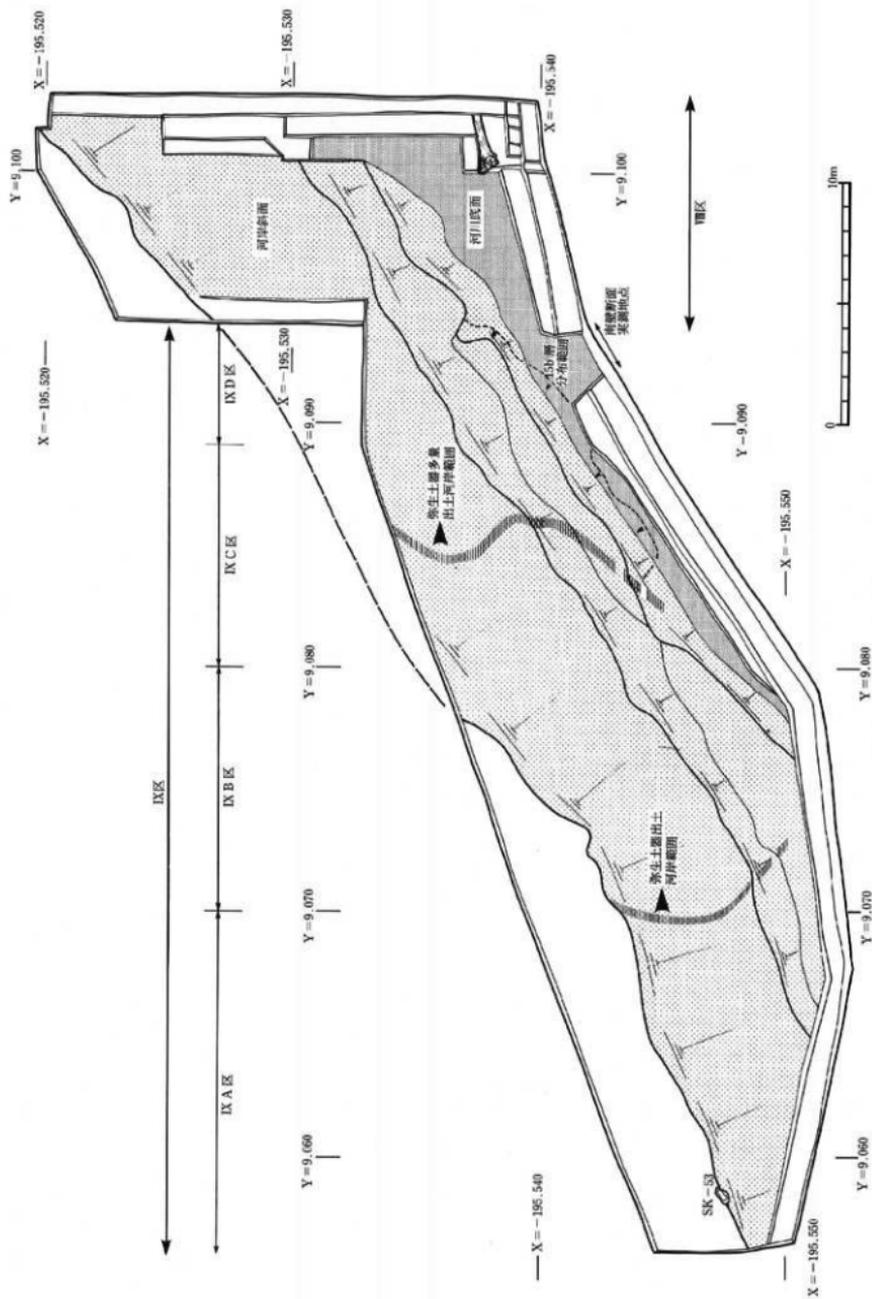
ビットからの出土遺物は、第388図2・3の弥生土器片のほか、各ビットから数点から数十点の弥生土器片が出土している。弥生土器以外には、P59・P60・P64から石器の剥片が各1点出土している。

## 7 その他の出土遺物

これまでに述べた遺物のほかに、Ⅶ区の1層(表土)中からは、多数の弥生土器片(第368図2~11)が出土しているほか、陶器の鏝鉢(第368図1)や、二次加工のある剥片(第380図15)、板状石器(第381図6)、磨石・凹石・敲石として使用された礫石器(第382図1)がある。また、1号方形周溝墓の周溝(SD-42)で区画された内側部分のⅢ層上面からは、弥生土器の甕の大型の破片(第388図4・5)が出土している。

### 注 記

- 注1 古川一明1983:「色麻古墳群」『宮城県営園場整備等関連遺跡詳細分布調査報告書(昭和57年度)』宮城県文化財調査報告書第95集
- 注2 土岐山 武1980:「安久東遺跡」『東北新幹線関係遺跡調査報告書』宮城県文化財調査報告書第72集
- 注3 田中則和1981:「六反田遺跡発掘調査報告書」仙台市文化財調査報告書第34集
- 佐藤 洋1987:「六反田遺跡」仙台市文化財調査報告書第102集
- 注4 結城慎一・工藤哲司1978:「南小泉遺跡発掘調査報告書」仙台市文化財調査報告書第13集
- 工藤哲司1983:「南小泉遺跡」仙台市文化財調査報告書第52集
- 注5 佐藤甲二1993:「下ノ内浦遺跡 第4次発掘調査報告書」仙台市文化財調査報告書第173集
- 神成浩志1995:「下ノ内浦遺跡 第5次発掘調査報告書」仙台市文化財調査報告書第202集
- 注6 藤原信彦1982:「下ノ内遺跡」『仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報』仙台市文化財調査報告書第40集
- 注7 中富 洋1991:「山口遺跡 第9次・10次発掘調査報告書」仙台市文化財調査報告書第151集
- 注8 工藤哲司1988:「富沢遺跡 24次調査富沢中学校地区 発掘調査報告書」仙台市文化財調査報告書第113集
- 注9 佐藤甲二1994:「仙台市城の水田跡・畠跡・小溝状遺構群」『第5回東日本の水田を考える会 資料集』
- 注10 注3に同じ P.186
- 注11 佐藤甲二1993:「下ノ内浦遺跡 第4次発掘調査報告書」仙台市文化財調査報告書第173集



第389図 VII・IX区河川跡実測図

## 第12章 VIII区・IX区の遺構と出土遺物

### 第1節 調査区の位置と概要

VIII・IX区は、中在家南遺跡の西部の河川跡にかかる調査区で、現状は標高4.9m前後の水田である。VIII・IX区の北側の自然堤防は、標高が5.5mで、現況の幅は30～35mある。自然堤防の中央を東西方向に縦断したVIII区の調査では、その東部において弥生時代中期の遺物包含層が検出されたことは前記したとおりである。VIII・IX区付近の水田は、現在幅が10～25mで東西にのびているが、かつては、水田の南側を通る道路や、その南側の畑地も水田であったという。VIII区の東部の水田は、南北幅が約40mあることから、元の水田の幅は40m前後あったものと推定される。IX区の西端から約50m西側で自然堤防は途切れ、その西側には仙台東郊条里跡となっている水田が広がっている。旧地形の復元図では、VIII区・II区・VIII区・IX区と続いてきた河川跡（旧河道）は、中在家南遺跡の立地する自然堤防が西側で途切れるところを巻くように北側に大きく蛇行することが確認されている。

VIII区は、区画整理街路荒井線（幅12m）と、これに自然堤防上でVII A区として調査を行った南北方向の6m街路が、南にのびて区画整理街路荒井線と接続する部分の水田にかかる範囲に設定した南北に長い調査区で、南北約21m・東西約9m・面積195㎡である。IX区は、VIII区の西にのびる区画整理街路荒井線に設定した東西に長い調査区で、南北6～15m・東西約39m・面積475㎡である。IX区は、VII B区と平行するような位置関係にある。VIII区とIX区は、当初は独立した調査区となっていたが、VIII区・IX区とも多量の遺物が出土したことから、両区の間（IX D区）の調査も行い、連続した調査区となった。なお、IX区については、第389図のように、西からIX A区・IX B区・IX C区・IX D区に分けて調査を行った。

VIII区・IX区では、調査区の北部で河川跡の北岸（泥炭質土壌堆積層の北岸）が検出されている（第389図）が、この北岸から現在畑地となっている自然堤防面の立ち上がりまでの距離は、VIII区で6m、IX区で15m前後で、この間がII区と同じようにテラス状になっている。

VIII・IX区の表土は、褐灰色の粘土からなる水田耕作土である。耕作土を除去した面で、泥炭質土壌堆積層と砂質土壌堆積層の境が検出された。調査は、泥炭質土壌堆積層についてのみ行い、砂質土壌堆積層については、VIII区の東壁の際を、土層観察のために一部分深掘りしただけである。

VIII区の調査は、泥炭質土壌堆積層の2層から15層まで手掘りして1層ずつ除去しながら調査した。その結果、VIII区の2層から9層までの堆積層は、若干の土器の細片や数点の石器が出土するだけで、II区やIII区のように多数の遺物が各層から出土するような堆積状況とはなっていなかった。そこで、IX区の調査に際しては、1層から9層までの堆積層はバックホーによる除去を行った。

### 第2節 河岸部検出遺構

VIII・IX区の泥炭質土壌堆積層の河岸線から調査区の北壁までの間の河岸部は、河川跡にかかわる堆積層である砂質土壌堆積層にあたる。VIII・IX区の河岸部では、IX区で土坑が1基検出されている。

SK-53土坑 IX区の西端部の河岸線上で発見された。遺構の上部には、9層以降の河川堆積土（泥炭質土壌堆積層）が被っている。平面形は不整な長楕円形で、長軸方向は北東から南西方向である。大きさは、長軸77cm・短軸35cm・深さ8cmを測る。断面形は浅いU字形を呈する。堆積土は、黒褐色土のブロックを含むにぶい黄褐色のシルト質粘土層1層である。堆積土中からは、弥生土器の壺の体部片が出土している。

## 第3節 河川跡堆積土中の遺構と遺物

### 1 河川跡の概要

中在家南遺跡Ⅷ・Ⅸ区は、Ⅷ区の南側に位置し、両調査区内では、北東から南西方向にのびている河川跡の北岸から中央部にかけての部分が発出された。河川跡の南半部は、現街路及び区画整理事業対象範囲外であるために調査は行われていない。河川跡の検出部の最大幅は約15mであるが、未調査部を含めたⅧ・Ⅸ区の河川幅は、押口遺跡や中在家南遺跡Ⅱ区・Ⅲ区の調査成果から、20m以上あるものと推定される。河川跡の現地表面からの深さは、2.8mである。押口遺跡Ⅱ区や中在家南遺跡Ⅱ区・Ⅵ区の底面のレベル差は10cm前後である。断面形は、河川跡の上部はほど広がる舟底形を呈する。

河川跡の堆積土（泥炭質土壌堆積層）は、15層を除くと緩やかな弧状に堆積し、大きな乱れはない。15層は後述するように、細別層の変化と、砂質土壌堆積層（16層）との関係で込み入った堆積層となっている。また、Ⅷ区北岸の16層上面では、地割れの痕跡も検出されている（第391図の二層に相当）。

### 2 2層検出遺構と出土遺物

#### 1) 堆積土の状況と検出遺構

2層は、Ⅷ区では河川の中央部に分布するが、河岸斜面の上部から岸面にかけては、現水田に伴う耕作土に吸収されたために存在していない。黒褐色の粘土層を基調とし、土色の若干の差異によって上下2層に分けられるが、Ⅱ区・Ⅵ区の2層と同様に、共に水田耕作土層と考えられる。

2層では、遺構は検出されていない。

#### 2) 遺物出土状況と出土遺物

2層の調査を行ったⅧ区からの出土遺物は少なく、土師器と見られる磨滅した土器片2点、回転切り底の須恵器の坏片1点、石葱丁の未製品の断片と考えられる石器片1点が出土しているだけである。石葱丁の未製品は、全面が剝離面の状態のものである（第395図6）。

### 3 3層検出遺構と出土遺物

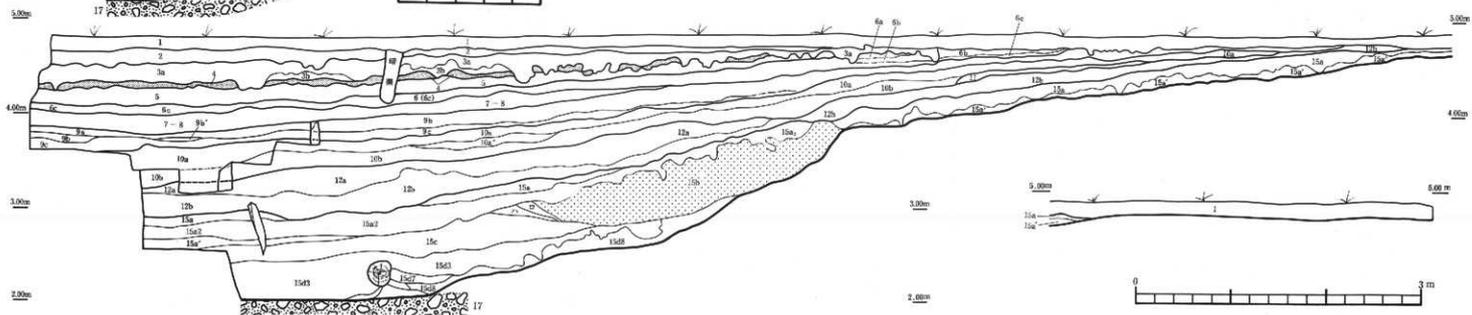
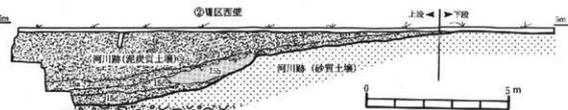
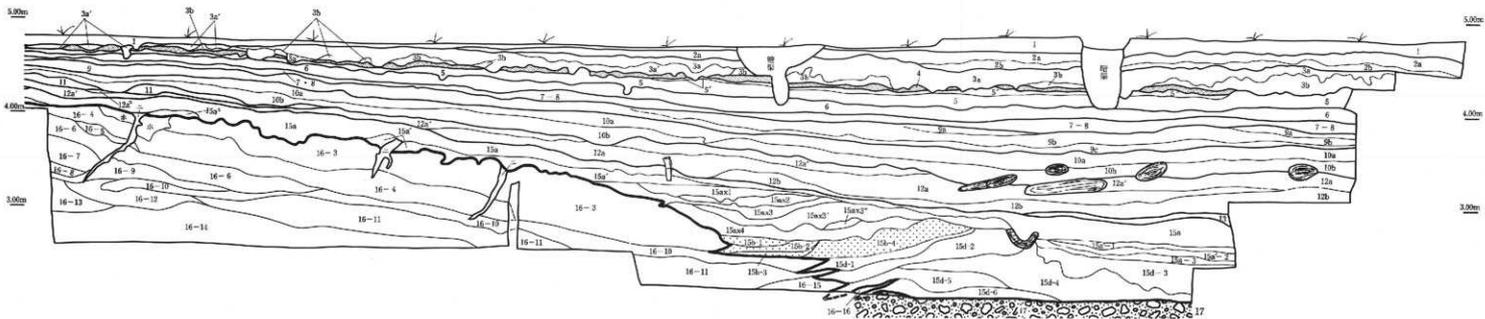
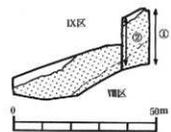
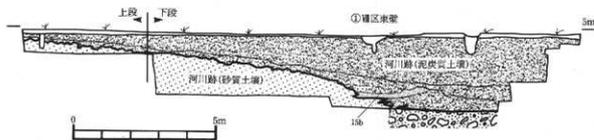
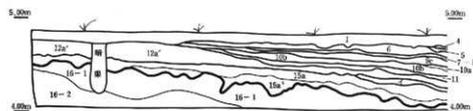
#### 1) 堆積土の状況と検出遺構

3層は、水田耕作土となっている黒色の泥炭質粘土層（3a層）と、その母材になった自然堆積層の黒褐色の泥炭質粘土層（3b層）に分けられる。3a層は、河川跡の中央部から河岸斜面の中程にかけて分布するが、河岸付近は、現水田の耕作による削平を受けている。層の下面は、耕作の掘削による大小の凹凸があり、深い所は5層や6層に達している。3a層の層厚は、河川跡の中央で20～25cmで、岸に寄るにしたがって削平を受けて徐々に薄くなっている。

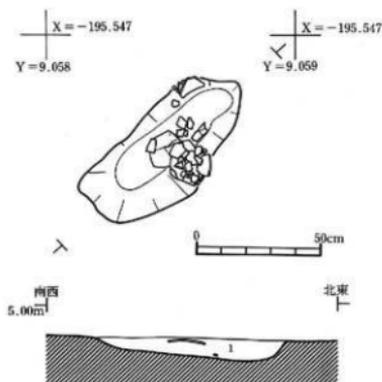
3b層は、河川跡の中央付近を中心に、3a層の水田耕作による掘削の影響の少なかったところに残存する。層厚は、河川跡の中央部では5～15cmであるが、Ⅷ区の東壁付近では20cm前後の厚さがある。

3層に関係する遺構としては、3a層水田の畦畔痕跡（疑似畦畔B）が発出されている。（第393図）





第391图 VI区東壁・西壁土層断面図



遺跡	土の色	土質	その特徴
1	11YR5/1に近い黄褐色	シルト質粘土	黄褐色土のブロックを少量含む。

第392図 SK-53 実測図

## 2) 水田跡

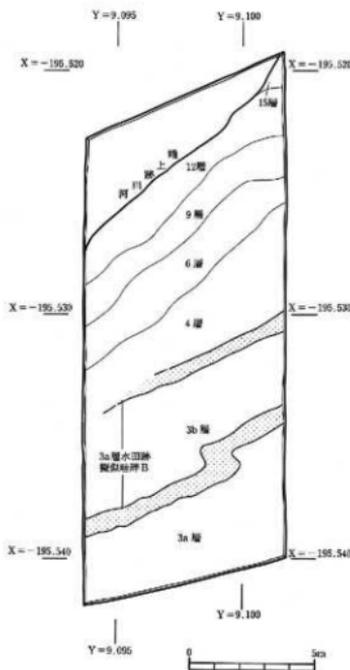
3a層水田に伴う遺構としては、3b層上面で、3a層水田の耕作の影響の少ない3b層が、帯状の畦群痕跡として2条検出されている。2条の畦群はともに河川跡の中央付近に位置し、流路と同じ方向に並んでのびている。北側の畦群痕跡は、幅40cm前後で、畦群の北側は4層となっている。

南側の畦群は、検出部の中央でクランク状に折れ曲がっている。畦群痕跡の幅は60～75cmである。畦群痕跡の南側は、3a層の堆積が1段深くなっている。南北両畦群痕跡の間隔は、東部で2.7m、西部で3.7mである。

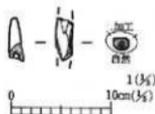
## 3) 遺物出土状況と出土遺物

3層も出土遺物は少なく、土器器1点と石器1点及び材が1点出土しているだけである。土器器はロクロを使用していない鉢の破片で、内面は黒色処理されている。石器は、石鎌である。不定型な剝片の一端を加工調整して鎌部を作り出したものであるが、先端部は折れて欠損している(第395図2)。

材は、両端を欠損する芯持の丸材で、一部に削り加工がある(第394図1)。

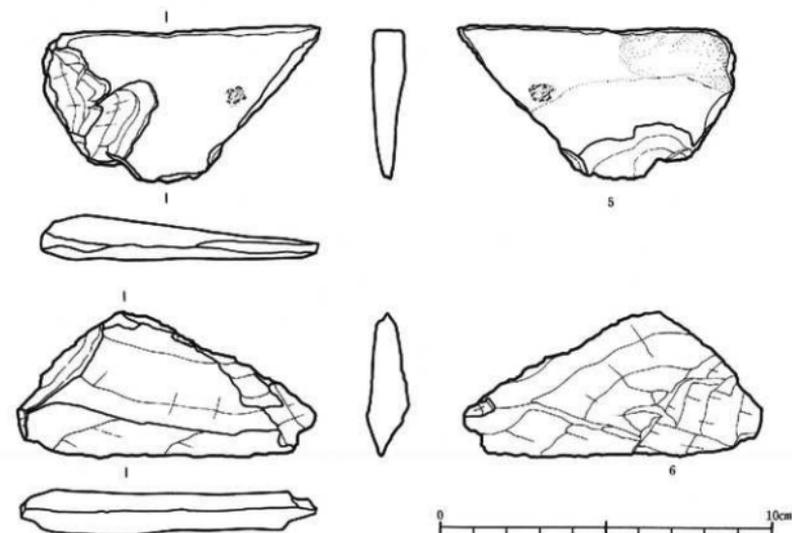


第393図 VII区3a層水田跡実測図



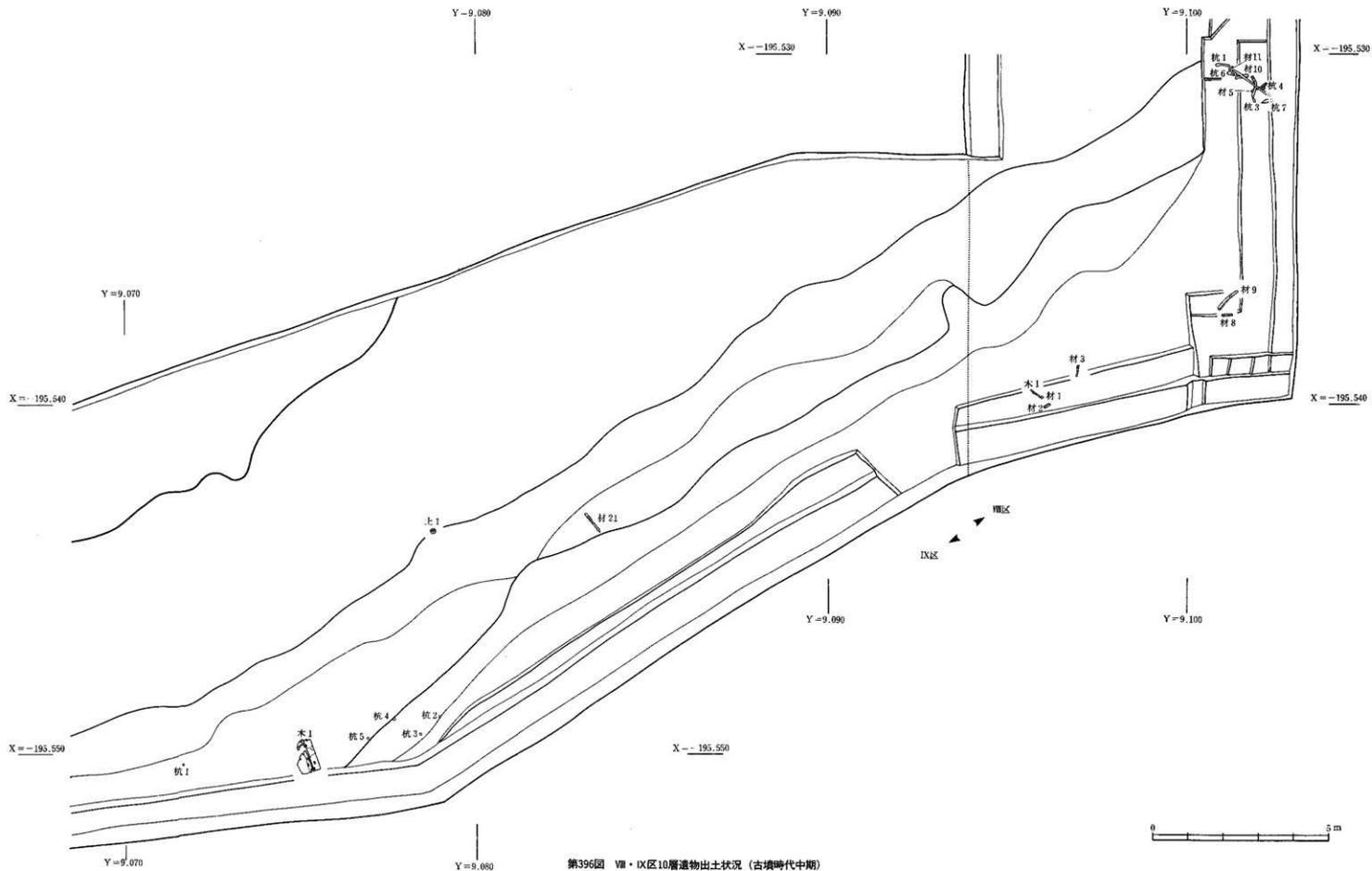
図中番号	遺物番号	種類	材料	遺物区分	出土番号	法量・特徴・備考				断面	半取り	時差	写真図取
1	L-930	材	丸材	埋蔵	3a層1	全長	幅	厚	長さ				
						4.4	1.5	1.2					芯持丸

第394図 VII・IX区河川跡3層出土木製品類



图中 序号	类别	器名	地区	遗址	层位	出土层号	度量			重量	特征·备注	材质	时期	写真图版
							全长	径·径	厚·高					
1	K-132	石磨	石磨	Ⅱ区	1层	取上卷号	2.0	1.2	0.5	0.7		页岩	243-4	
2	K-135	石磨	石磨	Ⅱ区	3a层		3.4	2.5	0.7	6.2	磨尖刃形	页岩	244-6	
3	K-133	石磨	砾石	Ⅱ区	1层		2.9	2.3	1.0	21.1	磨一周面，两面磨	石英岩山岩	262-11	
4	K-173	石磨	砾石	Ⅱ区	1层		10.7	6.1	4.8	515.7	石磨底部全磨石以施用，磨一一周	石英岩山岩	260-10	
5	K-131	石磨	石磨丁	Ⅱ区	1层		6.2	4.5	1.2	31.7	未制品	砾岩	249-1	
6	K-134	石磨	石磨丁	Ⅱ区	2层		8.6	4.3	1.2	30.3	未制品	砾岩片岩	249-2	

第395图 VII·Ⅱ区河川跡1·2·3层出土遗物



第396图 VII·IX区10层遺物出土状况(古墳時代中期)

#### 4 4～9層検出遺構と出土遺物

##### 1) 堆積土の状況と検出遺構

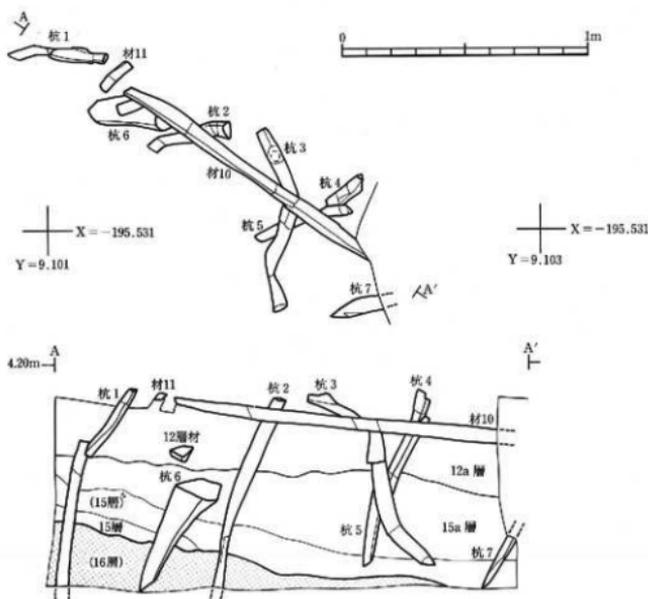
4層の灰白色火山灰層は、3a層水田の耕作による攪乱を受けているが、河岸近くを除く河川跡全体に分布している。層厚は5cm前後である。

5層は、黒褐色の泥炭層で、河岸近くを除く河川跡全体に分布する。河川跡中央の5層上部は粘土分が多くなって（5'層）。中央部の層厚は20cm前後である。

6層は、黒褐色の泥炭質粘土を基調とするが、間に暗褐色の泥炭質粘土層（6b層）を挟む部分があり、この層によって6a層・6b層・6c層の3層に細分される。6層の分布範囲の大部分は6c層が占める。層厚は10～15cmである。

II区やVI区では、6層と9層の間は、7層（オリーブ褐色から灰オリーブ色の粘土層）と8層（黒色からオリーブ黒色の粘土層）が区別できたが、VIII・IX区では、6層と9層の間に挟まれた土層を2層に区分することは困難であった。そこで、VIII・IX区の6層と9層間の土層は、他地区との土層関係が分かるように「7～8層」と命名して調査した。7～8層は、オリーブ黒色の泥炭質粘土層で、河川跡のほぼ全体に分布する。層厚は10cm前後である。

9層は、河川跡の中央部から河岸斜面の上部まで広く分布し、河川跡の中央部では4層に細分される。河岸斜面の上部では細分は困難である。細分層を合わせた9層の層厚は、河川中央で20～25cmである。



第397図 VII区河川跡10層枕列実測図

## 2) 遺物出土状況と出土遺物

Ⅷ・Ⅸ区の4層から9層までの間の土層中からは、全く遺物は出土しなかった。

## 5 10層検出遺構と出土遺物

### 1) 堆積土の状況と検出遺構

Ⅷ・Ⅸ区の10層は、黒褐色を呈する土層で、河川跡全体に分布する。土質は上部が未分解の植物遺体を含む粘土層(10a層)で、下部は泥炭質粘土層(10b層)である。層厚は、上下合わせて河川跡中央で30cm前後である。

遺構としては杭列が検出されている。

### 2) 杭 列

10層の杭は、Ⅷ区の東壁際で列状に並ぶ7本の杭と、Ⅸ区の西部(ⅨB区)で不規則に散らばる5本の杭がある(第396図)。Ⅷ区の7本の杭のうち杭6は、Ⅷ区10層杭1～5を検出中に15層で発見されたもので、他の10層の杭とは時期を異にする。また、Ⅸ区の杭5は、木編状木製品が立った状態で埋まったものと判断された。

Ⅷ区10層の6本の杭は、河川跡の北側河岸斜面の中程に位置し、10層材10の北東側に、河川の流路に直交するように並んでいる。杭列の全長は検出部分で約2mあり、調査区外の河川跡中央に向かってのびている。6本の杭のうち、杭1～杭2～杭3(杭4)～杭7は、約120cm・約115cm・約110cmの近似する間隔で並び、いずれも河岸から川底方向にやや傾いて刺さっている(第397図)。また、これら5本の杭には、角杭ないし割杭が使用されているという共通性が認められる。6本のうち杭3は、他の杭と傾きが異なり、杭材としては芯持丸材が使用されている。

Ⅷ区10層の杭材は、杭1が、全長98.5cmの断面形が四角形の角杭で、側面は全て割り面のままである。先端は、四面のうちの1面が左右2列に分けて削られており、幅はあるが鋭く尖っている(第401図1)。杭2は、多角形の割杭で、側面の一部に加工がある。先端は、割り面が三角形になった部分をそのまま利用している(第401図3)。杭3は、全長114.2cmの芯持の丸杭で、表面が焦げている。杭の先端は、対面する2面からの切断面がそのまま利用されている(第401図5)。杭4は、全長35.9cmの角杭で、先端は折れ面である。杭5の上部の破片の可能性もある(第400図6)。杭5は、全長71.3cmの角杭で、先端は平坦に加工され、さらに先端部の1面を全体的に削って段差がついている(第401図2)。杭7は、取り上げなかったため細部は不明である。

Ⅸ区の杭は、杭1がB区の西部に、杭2～杭5の4本がB区の東部にややまとまって存在する。杭2～杭5の相互関係は不明である。Ⅸ区の杭材は、杭1が、全長100.6cmの側面に加工のある板状の角材で、先端は両側面から加工されて尖っている(第402図1)。杭2は、全長26.3cmの芯持丸杭で、先端は焦げているが、加工したような痕跡が残る(第402図2)。杭3は、全長20.0cmの芯持丸杭で、先端は焦げている(第402図3)。杭4は、全長16.1cmの芯持丸杭で、先端は3面から切断されて尖っている(第402図4)。

Ⅷ区10層杭6として取り上げた15層の杭は、半裁丸杭で、半裁した際に尖って割れた方を杭の先としている。

### 3) 遺物出土状況と出土遺物

Ⅷ・Ⅸ区の10層も、2層から9層と同様に、層厚の割に出土遺物が少なく、土器と木製品類などがまばらに出土しているに過ぎない。出土位置は、河岸斜面の下位から河川跡中央にかけての部分からがほとんどで、河岸斜面からの遺物は少ない。

出土遺物には、土師器・石器・木製品・材がある。土師器は、第398図に図示した葺(1・2)と高杯(3)・小型手握ね土器(4)のほか、破片が11点出土している。1の葺は、底部が小さな平底で、偏平な体部に径の広い外

反する口縁が付く。2の葺は、上げ底気味の底部で、体部はやや扁平な球形を呈し、頸部は強く萎む。口縁部は欠損する。3の高杯は、中空の脚筒部の中央がやや膨らみ、脚筒部と脚蓋部の境は外に強く折れ、脚蓋部は広がっている。4の小型手捏ね土器は、丸底の底部から頸部にかけて丸みをもって立ち上がり、肩部に張りをもつ。口縁部は欠損する。1～3の土師器は、南小泉式ないし引田式（注1）に属し、古墳時代中期に位置付けられるものと考えられる。

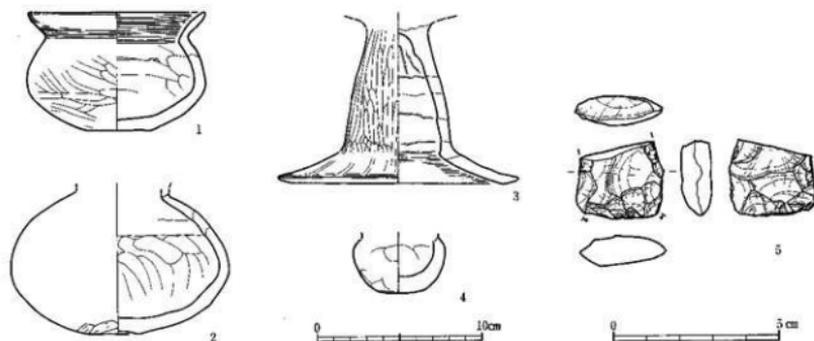
石器は、石笥の刃部の破片が1点出土している（第398図5）。

木製品としては、農具直柄と木錘状木製品が出土している。農具直柄（第399図1）は、全長30.6cm・直径2.2cmの芯無丸材である。残存部の片側が他方より細くなっている。

木錘状木製品（第399図2）は、全長16.0・直径6.0cmの芯持丸材で、両端は中央がわずかに尖るが、平坦に加工されている。

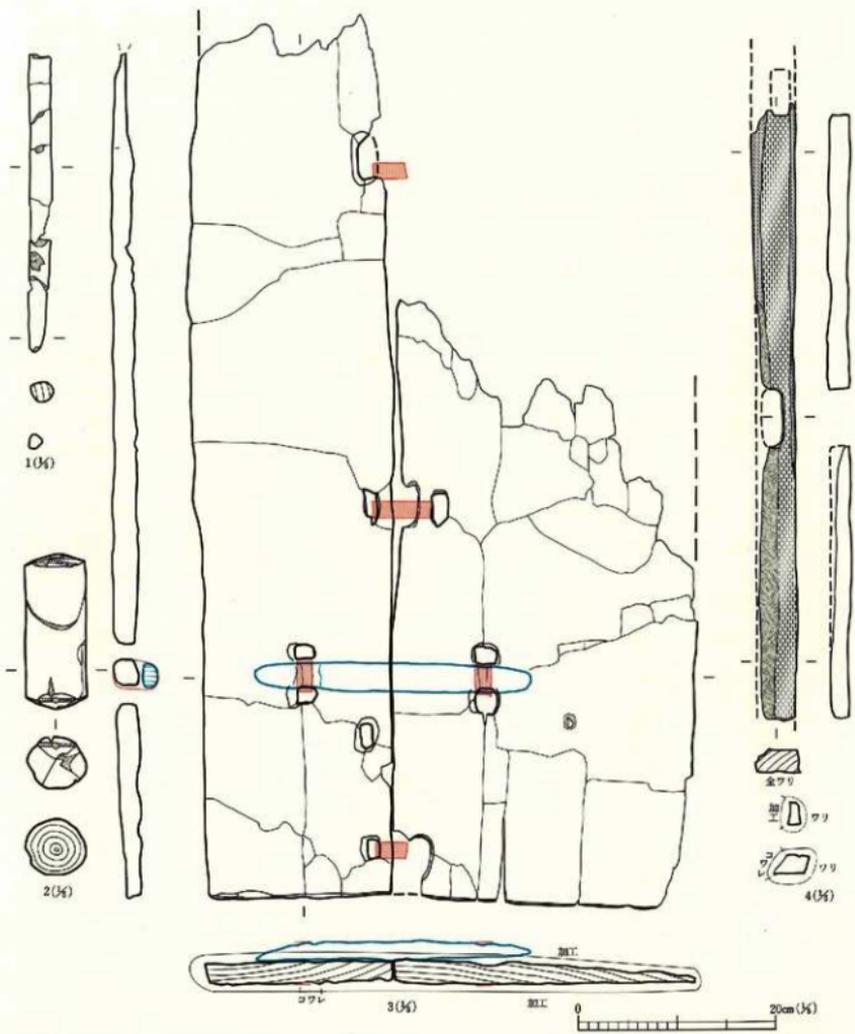
材には、板壁の可能性のある複合材（第399図3）、ホゾ穴のある建築材（第399図4）、板材（第400図1他L-888）、角材（第400図2～4他L-892・895・898）、分割材（第400図5他L-889・890・893・899）がある。板壁の可能性のある複合材は、幅約20cmと幅約30cmの板目板材を、樹皮紐と横木を使って横に組合せたもので、残存長は90.8cm、厚さ2.6cmである。側面を合わせた側の縁辺には、残存部で3箇所に対になる長方形の孔が開けられている。孔の間隔は34～35cmである。孔と孔を縦じた樹皮紐は、幅約1.5cmで、素材は椴の樹皮と観察される。横木の位置は、短辺が残存する木口から1番目と2番目に開けられた縁辺の接合孔の中間に配置されている。横木の材は、全長28.2cm、幅2.9cm、中央部の厚さ1.8cmの断面形が半円形の芯無材である。横木の端部は、中央部分より薄く作られている。左右の板材には、横木の上下に1対の孔が開けられ、横木と板材に樹皮紐を巻いて固定している。孔の位置は、板の側面から7～8cmのところである。横木を固定した樹皮紐の幅は約1.5cmである。側面の固定と横木の固定のための樹皮紐は二重程度に巻かれていることは確認できるが、紐の端部の固定方法は不明である。

建築材は、残存長が63.1cmの厚板状の角材で、幅の広い面を貫通する長方形（または方形）と考えられる孔が2カ



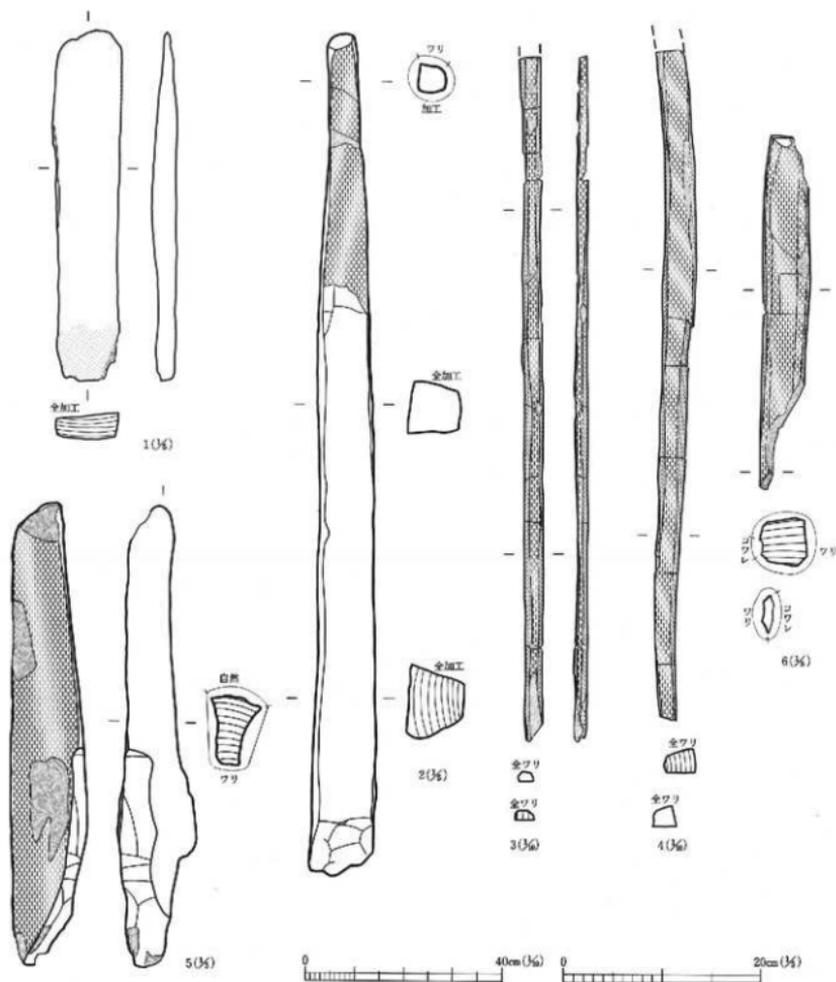
図中 番号	図 番号	種別	形状	出土地点		法量		特徴・備考		分類	時期	写真図版	
				地区	遺構	取上番号	長さ	口径	直径				内面
1	C-141	土師器	壺	IX区	10層	土師No.2	7.3	10.6	3.9	1) 脚部コナダ、体部ヘラミガキ	1) 脚部コナダ 体部コナダ	古墳中期	203-1
2	C-140	土師器	壺	IX区	10層	土師No.1	8.7	3.0	体部コナダ、体部ヘラミガキ	体部コナダ	古墳中期	230-5	
3	C-138	土師器	高杯	IX区	10層	(C.7)	9.9	14.6	脚部コナダ、体部ヘラミガキ	脚部コナダ 体部コナダ 体部コナダ	古墳中期	231-5	
4	C-139	土師器	小型手捏ね土器	IX区	11層	(C.7)	(C.7)		体部コナダ	体部コナダ	古墳中期	231-14	
図中 番号	図 番号	種別	形状	地区	遺構	取上番号	長さ	口径	直径	特徴・備考	分類	時期	写真図版
5	K-136	石器	石笥	IX区	10層	取上番号	2.3	2.6	0.8	7.0	下縁欠損	頁岩	244-13

第398図 VI・IX区河川跡10層出土遺物



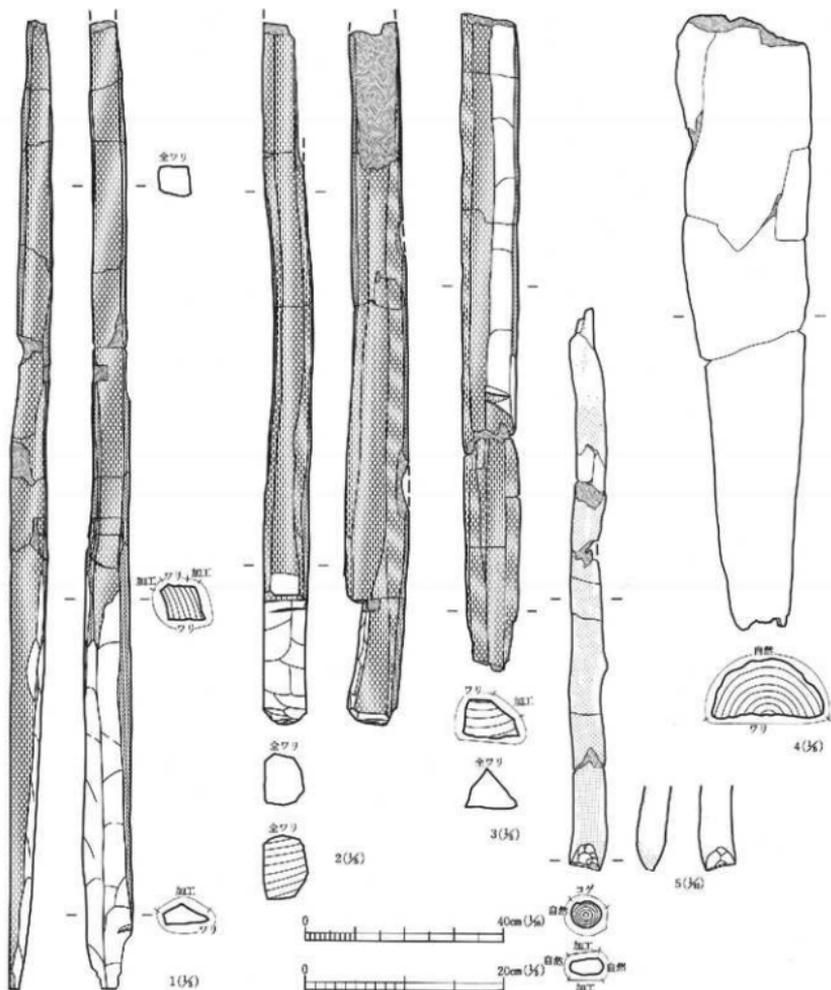
図中 番号	登録 番号	種別	種類	数量	取上 番号	法量・特徴・備考	修理	木取り	時期	写真 図版	
1	L-887	木製品	鏡面野	10木1	全長 30.6 幅 2.2			ツク4階	志原丸	5編中層	268-5
2	L-1061	木製品	木 脚	10a根5	全長 16.0 幅・厚 6.5	同層加工		4(1)2階	志原丸	5編中層	268-14
3	L-1063	材	塗黒材 板	10木1	全長 30.8 幅・厚 49.6 厚さ 2.5	混合材、板層皮端とツメギ階の榫木で孔を綴じる。		ケヤキ	板 目	5編中層	322-2
4	L-1066	材	塗黒材	10材1	63.1 4.5 2.3	穿孔		ニハ肌	志原丸	5編中層	

第399図 VIII・IX区河川跡10層出土木製品類 1



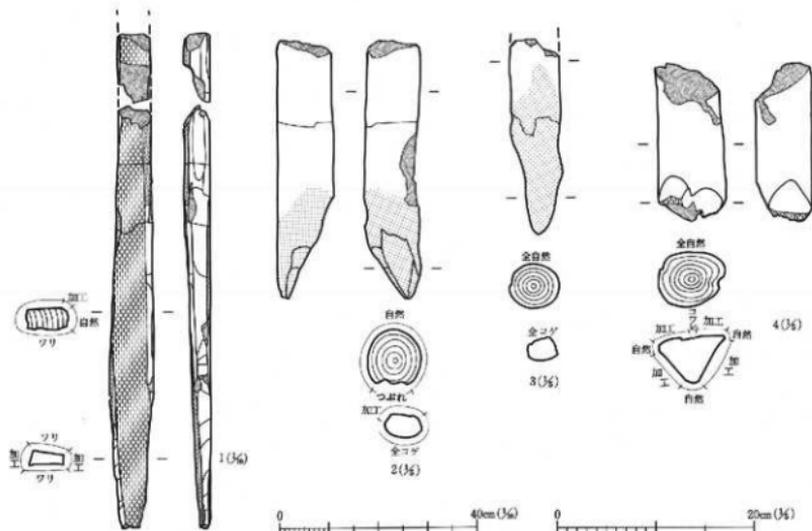
図内 番号	発掘 番号	種別	素材	産地 区分	取上番号	法量・特徴・備考				樹種	木取り	時期	写真図版
						全長	幅・径	厚	状態				
1	L-894	材	桜材	10村7	全長 25.5	幅・径 9.4	厚 2.3	状態		板目	古墳中層		
2	L-896	材	角材	10村9	85.9	6.3	7.5	先端加工		タリ	古墳中層		
3	L-891	材	角材	10村4	139.2	4.4	2.8			クス材	古墳中層		
4	L-897	材	角材	10村10	136.2	6.6	5.0			クス材	古墳中層		
5	L-900	材	分銅材	13村13	47.0	7.8	7.8	先端加工		ナツ材	古墳中層		
6	L-904	杖	角杖	10村4	全長 35.9	幅・径 4.7	厚 4.9	先端加工 アケ		クス材	芯 板	古墳中層	

第400図 VII・IX区河川跡10層出土木製品類 2



図中 番号	器 種	形 制	土 質	土 色	取上 番号	法 象 ・ 特 徴 ・ 備 考					備 考	木 取 り	時 期	写 真 回 数
1	L-901	瓶	角 16	区 区	10枚1	金 98.5	網・條 4.8	厚 3.7	半輪加工 2面手役			クマ40	志 美	古橋4組
2	L-905	瓶	角 16	区 区	10枚5	71.3	4.5	6.3				クマ40	志 美	古橋4組
3	L-902	瓶	羽 16	区 区	10枚2	66.9	6.6	3.5	なし			クマ40	志 美	古橋4組
4	L-906	瓶	半 16	区 区	10枚6	62.5	11.3	6.0	なし			クマ40	志 美	古橋4組
5	L-903	瓶	丸 16	区 区	10枚3	114.2	6.0	5.4	2面手役 横紋			クマ40	志 美	古橋4組

第401図 VII・IX区河川跡10層出土土製品類3



図中番号	発掘番号	種類	形状	断面形状	出土層	取上番号	全長	幅・厚	厚	加工	注意・特徴・備考	種類	木取り	時期	写真図版
1	L-1057	板	角板	IX区 IX区	10a1		100.5	幅・厚 8.2	厚 4.1	先端加工 4面多段		ケンボ ケンボ	芯材丸 無	5世紀	
2	L-1058	板	丸板	IX区 IX区	10a板2		25.3	5.4	5.5	3面2段	側面	ハンソ 全削	芯材丸	5世紀	
3	L-1059	板	丸板	IX区 IX区	10a板3		20.0	5.0	4.6		側面	ハンソ 全削	芯材丸	5世紀	
4	L-1060	板	丸板	IX区 IX区	10a板4		16.1	6.7	5.4	3面1段		ハンソ 全削	芯材丸	5世紀	

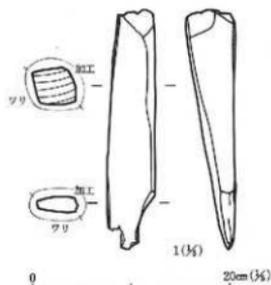
第402図 VII・IX区河川跡10層出土木製品類 4

所に確認できる。

板材には、第400図1のような片方の端部が焼け焦げた板目板などがある。

角材には、片方の先端に切断痕があり、側面が削り加工されているもの（第400図2）と、長い材であるが、削り面だけのもの（第400図3・4）などがある。

分割材は、第400図5のように、ミカン割状を呈し、先端に切断痕のあるものと、削り面だけの破片がある。



図中番号	発掘番号	種類	形状	断面形状	出土層	取上番号	全長	幅・厚	厚	加工	注意・特徴・備考	種類	木取り	時期	写真図版
1	L-302	材	分割材	IX区 IX区	11材2		24.4	幅・厚 4.3	厚 3.7			キツク		5世紀	

第403図 VII・IX区河川跡11層出土木製品類

## 6 11層検出遺構と出土遺物

### 1) 堆積土の状況と検出遺構

11層は、黒色の粘土質泥炭層で、河岸斜面の上位にのみ分布する。層厚は2～5cm程の薄い堆積層である。11層にかかわる遺構は検出されていない。

### 2) 遺物出土状況と出土遺物

11層からの出土遺物も少なく、第403図1に図示した全長24.4cmの分割材1点と、表面が風化して人工のものかどうか不明の心無材が1点出土しているだけである。

## 7 12層検出遺構と出土遺物

### 1) 堆積土の状況と検出遺構

VIII-X区の12層は、黒褐色の粘土質泥炭層(12a層)と、暗灰黄色の粘土質泥炭層(12b層)に大きく分けられる。12a層は、河川跡の中央から河岸斜面の上位にかけて分布し、層厚は厚いところで25～30cmある。VIII区西部の北岸斜面では、12a層の土質は粘土分が強い土層(12a<sub>1</sub>層)に変化し、河岸斜面の上位にまで堆積する。12b層は、VIII区東部では河川跡中央部にだけに分布するが、VIII区西部では河川中央から河岸斜面の上位まで広く分布している。12b層の層厚は、VIII区河川跡中央の東部で20cm前後、西部で30cm前後である。12a層・12b層とも、層中に多量の木片を含んでいる。

12層に関係する遺構としては、12b層において、VIII区で3本と、IXD区で4本の杭が発見されている。

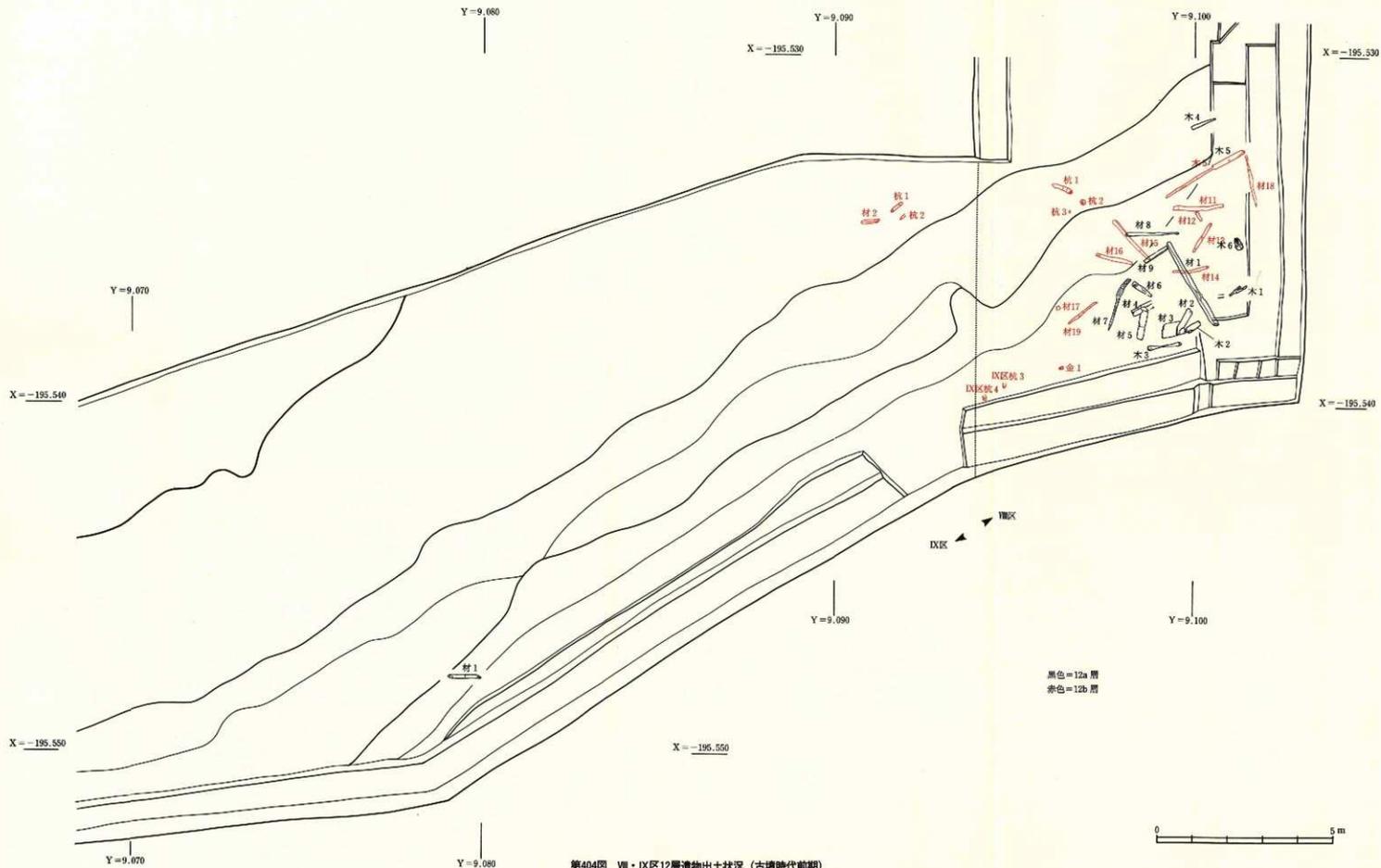
### 2) 杭 列

VIII区の杭は、北岸斜面の下位に三角形の配置関係を成るように接近して存在する(第404図)。杭1-杭2の間が約90cm、杭2-杭3の間が約45cm、杭3-杭1の間が約85cmである。杭材としては、杭1が全長89.1cmの芯持丸杭で、先端には表皮近くが多面からの割が施されている(第413図5)。杭2は、全長103.8cmの丸杭に近い割杭で、先端には、直角に接する2面に割が施されている(第413図1)。杭3は、全長89.0cmの芯持の丸杭で、対面する2面から切断のためと考えられる加工が施されている(第413図4)。以上のようにVIII区の杭は、丸杭を基調とする長い杭で構成される共通点が認められる。

IXD区の杭は、北岸斜面の上位に2本(杭1・杭2)と、その下の河川中央付近に2本(杭3・杭4)の4本の杭がある。杭1・杭2は、流路に直交するように約40cmの間隔で並び、杭3・杭4は、河川跡の流路に平行して約75cmの間隔で並んでいる。杭材は、杭1が全長84.8cmの芯持の割杭で、全面に削り加工が施されている(第412図6)。杭2は、全長18.2cmの芯持丸杭で、先端に1面からの切断痕がある(第413図3)。杭3は、全長104.4cmのミカン割状の割杭で、表面には樹皮を剥いだ際の加工痕があるほか、両端にも加工痕がある(第412図5)。杭4は、全長100.0cmの半載丸杭で、断面に削り加工が施されているほか、先端も加工されて尖っている(第413図2)。

### 3) 遺物出土状況

VIII-X区の12層の出土遺物は、土器類は少ないが、木製品や材が多数出土している。木製品や材は、第404図のようにVIII区に偏って出土しており、IX区からはIXB区の12a層において材が1点出土しているだけである。VIII区からの出土遺物も、VIII区の東側2/3の河川跡の底面付近に集中し、遺物出土範囲はかなり限定的である。12層にあって



第404图 VII·IX区12层遗物出土状况(古墳時代前期)

は、12a層・12b層の両層から同じような割合で遺物が出土しているが、木製品は12a層からの出土量が多い。

#### 4) 出土遺物

VII・IX区12層出土遺物には、弥生土器・土師器・石器・金属製品・木製品・材がある。弥生土器は、第405図2～4のような釜・鉢・蓋などの破片が出土している。土師器は、壺または甕の体部と考えられる破片が6点出土している。

石器には、石鏃(第405図5)板状石器(第405図6)と凹石(第406図1)がある。板状石器は、全長24.2cm・幅15.2cmあり、刃部とその対面に2次加工があり、両面の刃部寄りには擦り面がある。凹石は、厚みのある扁平な円礫で、両面の中央に凹面があるほか、側面には敲打痕が観察される。

金属製品としては、鉄斧が1点出土している(第405図1)。いわゆる袋状鉄斧で、全長12.5cm・刃部幅6.4cmを測り、刃先は緩い弧状となっている。袋部の折り返しは、両端が狭くなって上下とも広く開いており、折り返しの両端は密着していない。袋部に対しての刃の位置は、折り返しの端部側に寄っている。形鑑からは横斧として使用されたものと考えられる。

木製品としては、直柄広鋏・膝柄二又鋏・一木平鋸・竪杵・打棒・槨がある。

直柄広鋏(第407図1)は、全長31.4cm・身部幅18.8cmを測る。平坦な頂部から側面が、全長の2/3のところまで八字状に広がり、そこから先は平行にのびてやや丸みのある刃先となる。後面には、全長の2/3の長さの流線型の着柄隆起が造り出され、さらに隆起の先端には、平面形態の変換点に対応して身部を横断する断面形が台形の隆帯が造り出され、着柄隆起と逆T字状に接続している。着柄孔は円形である。身部を横断する隆帯の両端は身部の側面よりわずかに突出している。頂部の両端は欠損するが、残存部の形状から両方に直径1.5cm前後の円孔が開けられていたことが分かる。

膝柄二又鋏(第407図2)は、全長56.8cmで、左側の歯の側面と先端側の半分を欠損する。軸部は断面形が楕円形の棒状を呈する。軸部と身部の境は直角を外に折れてから八字に開く。身部は楕円形を呈し、中央のスリットは柳葉状である。軸部の先端は、後面の身部側から削られて、紐掛かりの段が形成されている。身部の厚さを調整するための削り込みは、前面側の身部上端付近から行われている。

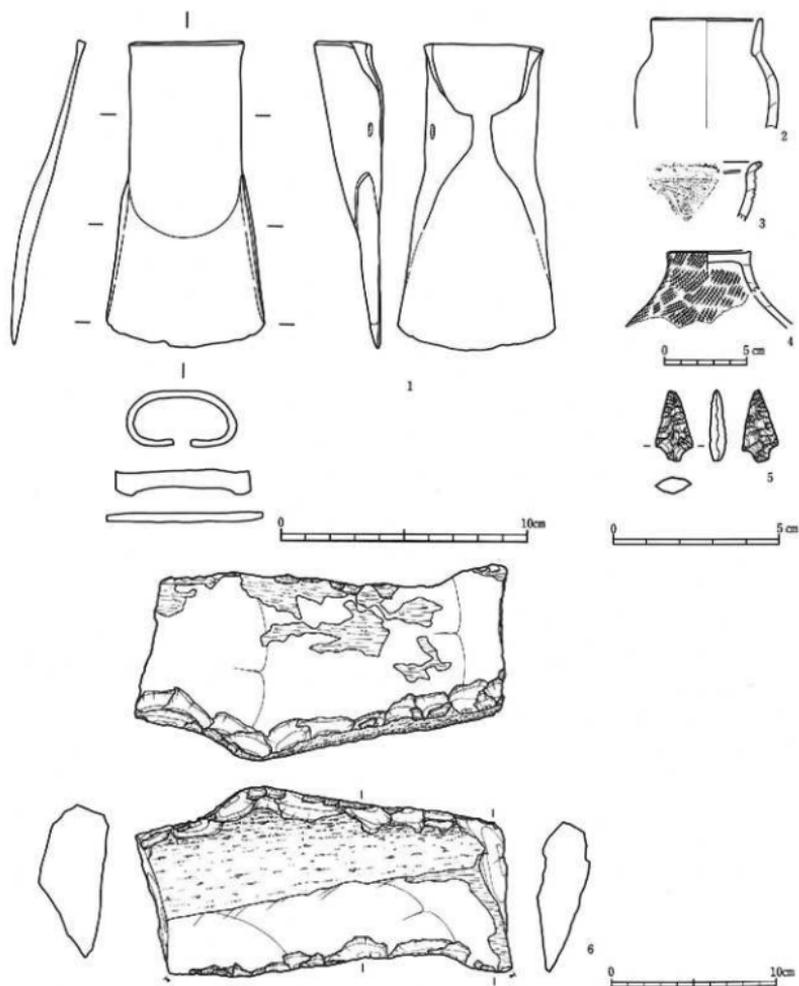
一木平鋸(第407図3)は、柄部を約9cmだけ残す身部の破片である。身部の平面形態は、刃先の方がやや狭くなる長方形を呈し、身部の上下・左右に湾曲は認められない。柄と身部は、直角に接続するが、柄は身部の縦中軸上ではなく、片側にやや寄っている。また、身部の片面の上部には、柄の太さに対応した緩やかな盛り上がりがある。身部の両面には、身部の中軸に対して斜め方向に刃物の刃先の痕跡が多数観察される。

竪杵(第408図1)は、全長92.2cmで、芯無材から作られている。搦部は、長い円錐形を呈し、握部にかけて徐々に細くなり、搦部と握部との境は不明瞭である。搦部の先端は、片方は半球形に丸くなり、他方は縁辺以外は平坦になっている。

打棒(第408図2)は、残存長69.2cmの芯無材から作られた筧状の木製品で、柄部は一部が残る。柄部から身部にかけては徐々に広がる。身部は、長さ38cm前後・幅6.6cm前後で、先端の幅がわずかに広い。身部の断面形は楕円形を呈するが、片面の湾曲が強く、湾曲が強い面から弱い面にわずかな反りもある。身部の先端に鋭さはなく、切断痕が残る。

槨(第408図3)は、木製品と考えられるものである。全長260.4cmあり、身部の木取りは板目である。柄の長さは158.8cmで、断面形はまだ方形のままである。柄と身部の境は角がついている。身部は、先がやや狭くなる長方形を呈し、長さ101.6cm・幅14.0cmである。

材には、建築材と考えられるもの(第409図1・2、第410図1・2)、板材(第411図1)、角材(第411図2～4)



序号	类别	器名	出土地点		度量				特殊说明	年代	写真图版		
			地区	墓群	层位	取土编号	全长	幅				厚	重量
1	N-7	金属饰品	陕西	扶风	159		17.5	4.4	2.8	155.0		340-7	
5	N-159	石	陕西	扶风	159		2.1	1.8	4.4	5.7		343-12	
4	N-174	石	陕西	扶风	159		24.2	15.2	4.3	139.2	磨一洞窟	256-1	
序号	类别	器名	地区	墓群	层位	取土编号	器高	口径	器径		特殊说明	年代	写真图版
2	B-204	陶生土器	陕西	扶风	159		16.7	4.4					
3	B-303	陶生土器	陕西	扶风	159					陶文印1。			
4	B-511	陶生土器	陕西	扶风	159		14.80			陶文印C10。			

第405图 VII·IX区河川跡12層出土遺物 1

他L-921)、分割材(第411図5、第412図1・2他L-917・920・923・924・938・1062)、半裁丸材(第412図3)、丸材(第412図4)がある。建築材第409図1は、全長81.4cm・幅35.8cmの長方形の板目の板材である。全面が綺麗に整形され、中央には縦4.5cm・横3.0cmの長方形の孔が開いている。第409図2は、全長62.6cm・最大幅12.2cmの板目の厚板である。片方の側面は大きく抉られている。片方の木口は側面から3段の階段状に切られている。第410図1・2は共に台形を呈する板目板で、1が上辺約45cm・底辺約69cm・高さ約37cm、2が上辺約62cm・底辺が推定約90cm・高さ約18cmで、後者の底辺の端部は上辺に向かって反っている。1の凹部には布目状の圧痕が観察される。

板材は、全長10.0cm、幅7.9cmの木取りがナナメの板片が出土している。

角材は、先端に切断痕がある以外は、側面は割面だけである。断面形が方形の芯無材(第411図3)と、多角形に割られた芯無材で、先端と側面の一部に加工があるもの(第411図2)、短い多角形の芯無材で、片方の木口は平坦に、他方の木口は2方向から削られて尖っているもの(第411図4)などがある。

分割材は、ミカン割状のもの(第411図5)と、ミカン割材からさらに分割された樹芯部の破片と考えられるもの(第412図2)などがある。

半裁丸材は、全長が101.7cmで、片方の端部は芯持丸材のまま残り、先端は杭先状に加工されて尖っている。

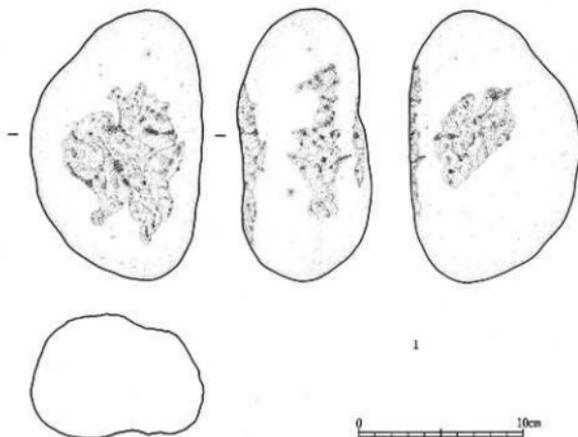
丸材は、全長70.9cmで、先端には切断のためと観察される加工が3面から施されている。

## 8 13層・14層検出遺構と出土遺物

### 1) 堆積土の状況と検出遺構

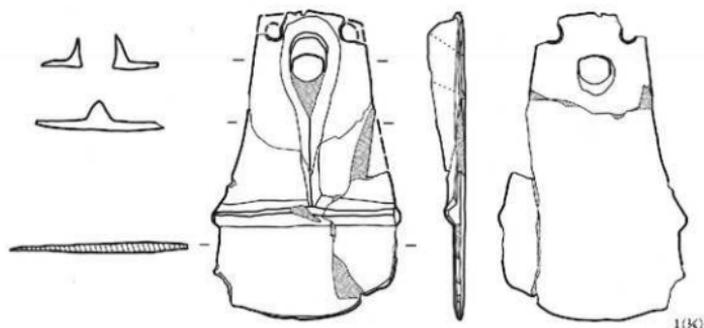
13層に対応する土層は、Ⅷ区東部の河川跡の底面付近に部分的に分布している。層厚は、Ⅷ区東壁で5cm前後である。13層に関係する遺構は検出されていない。

Ⅷ・Ⅸ区では、14層に対応すると考えられる土層は不明瞭である。砂粒と腐食土を含む黒褐色の土層について、

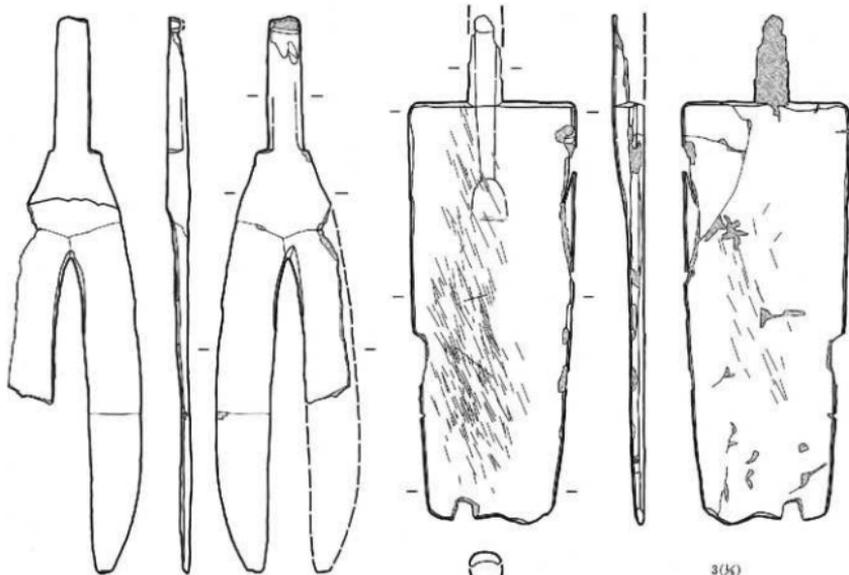


図中 番号	登録 番号	類別	原料	出土遺構		測定			特徴・備考	素材	時期	写真図版
				地区	遺構番号	全長	幅・径	厚さ				
1	K-13a	石壁	Ⅷ・Ⅸ区	Ⅷ区	13a	88.6	10.4	0.1	1656.0	出→河川跡、層→片削面	堂山跡	256-9

第406図 Ⅷ・Ⅸ区河川跡12層出土遺物 2



130



304

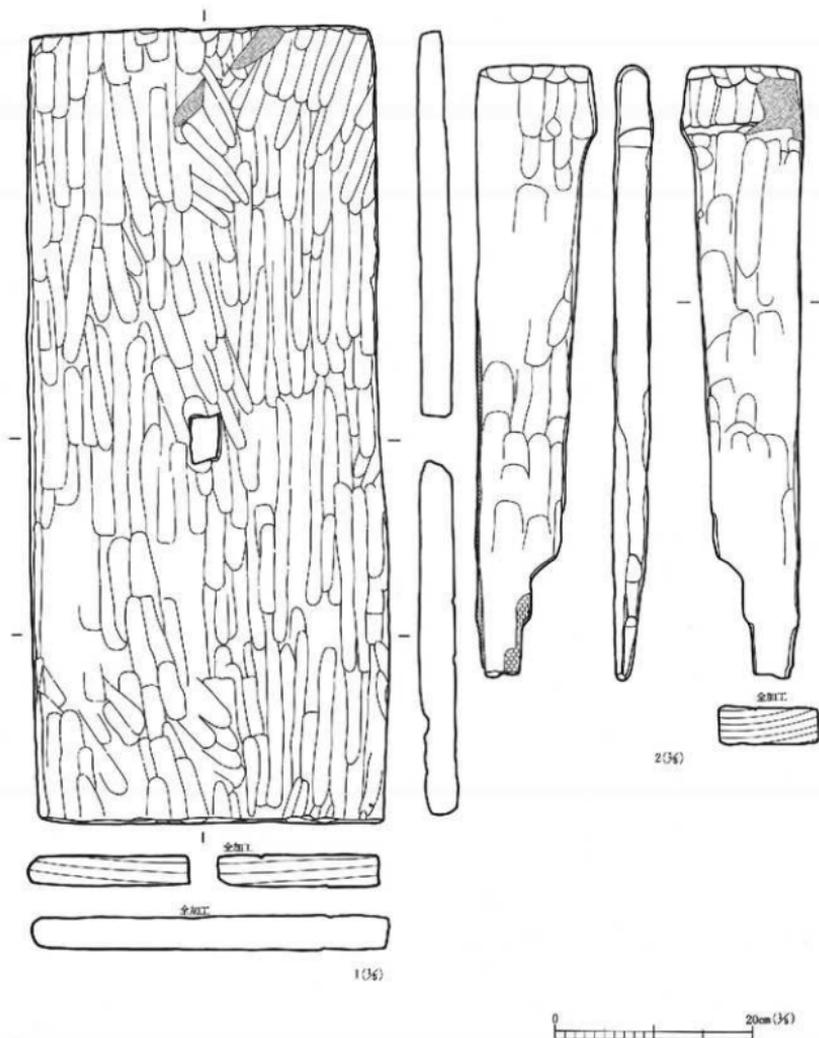
204



国中 番号	器 番号	材 質	器 種	出 土 区 域	取 上 部 号	法 景 ・ 特 徴 ・ 備 考										層 種	木 取 り	時 期	写 真 回 数
						全 長	最大幅	軸大径	身幅	身厚	軸孔径	軸孔長	軸孔厚	軸孔深	脚径				
1	L-911	木製品	竪形棒	Ⅱ区	12a-木6	31.4	18.8	3.5	19.4	1.0	19.4	4.0x3.5	2.0			クサヤ	新 目	古銅器	272-9
2	L-907	木製品	竪形棒	Ⅱ区	12a-木1	36.8	12.4	12.4	2.4	0.8	13.6	3.6	2.0			クサヤ	新 目	古銅器	274-2
3	L-908	木製品	一平軸	Ⅱ区	12a-木2	52.0	43.2	16.8	1.2	1.2	3.4	3.4			クサヤ	新 目	古銅器	275-2	

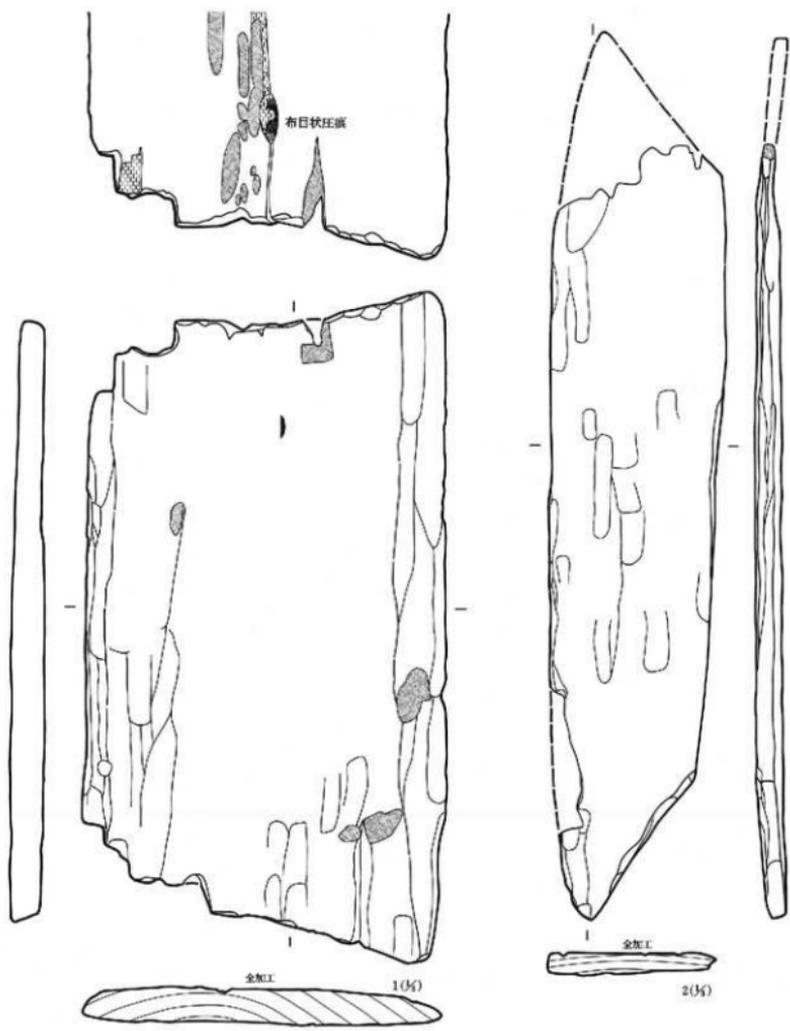
第407図 VII・IX区河川跡12層出土木製品類1





図中 番号	発 掘 地	種 別	器 種	出 土 区 域	取上層号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考				樹 種	木取方	時 期	写 真 回 数
1	L-914	杖	櫛形杖	Ⅱ区 12a	12a層4	全長 81.4	幅・厚 35.8 3.4	穿孔		ケヤキ	板目	古銅器	323-2
2	L-916	杖	櫛形杖	Ⅱ区 12a	12a層6	62.6	12.2	3.6		ケヤキ	板目	古銅器	323-3

第409図 VII・IX区河川跡12層出土木製品類3

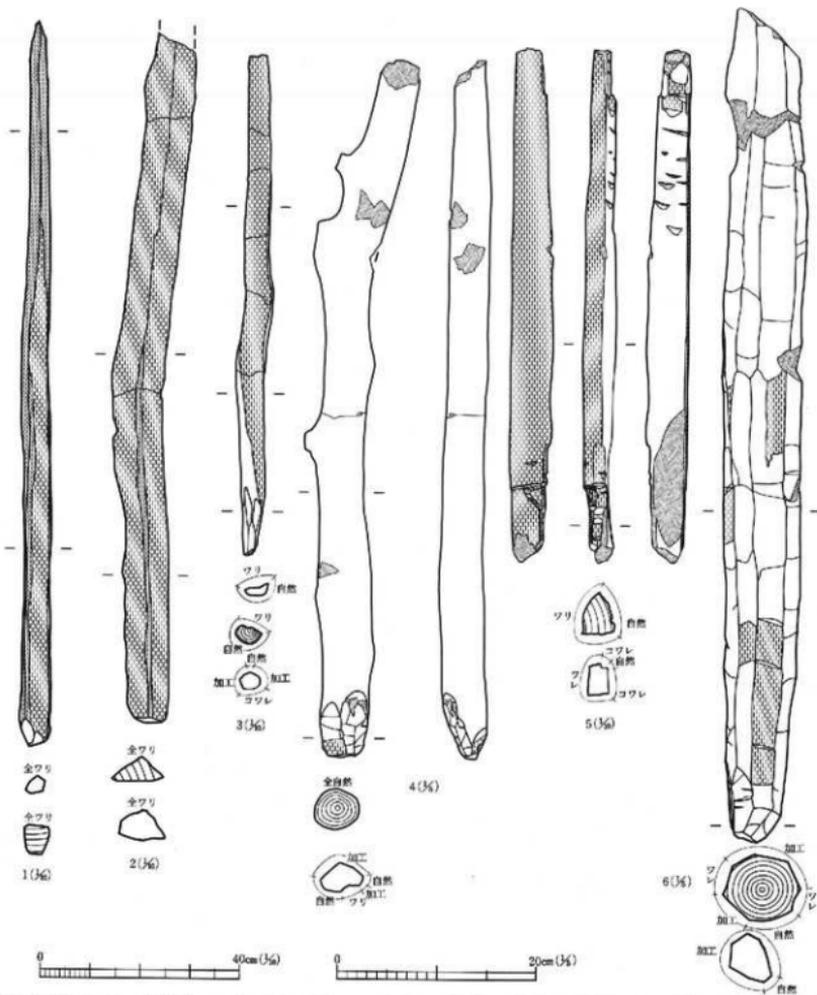


0 20cm (3%)

区出 土品 番号	種別	素材	漆層	形状	取上箇所	全長	幅・厚	厚さ	質量・特徴・備考	断面	本取寸	断面	写真図版
1	L-914	材	漆面材	楕円	12材3	89.8	幅・厚 39.6 3.5	2.5	伊北内面に布目状印痕	断面	取寸	断面	254-1
2	L-913	材	楕円材	楕円	12材3	29.2	17.6	2.6		断面	取寸	断面	253-1

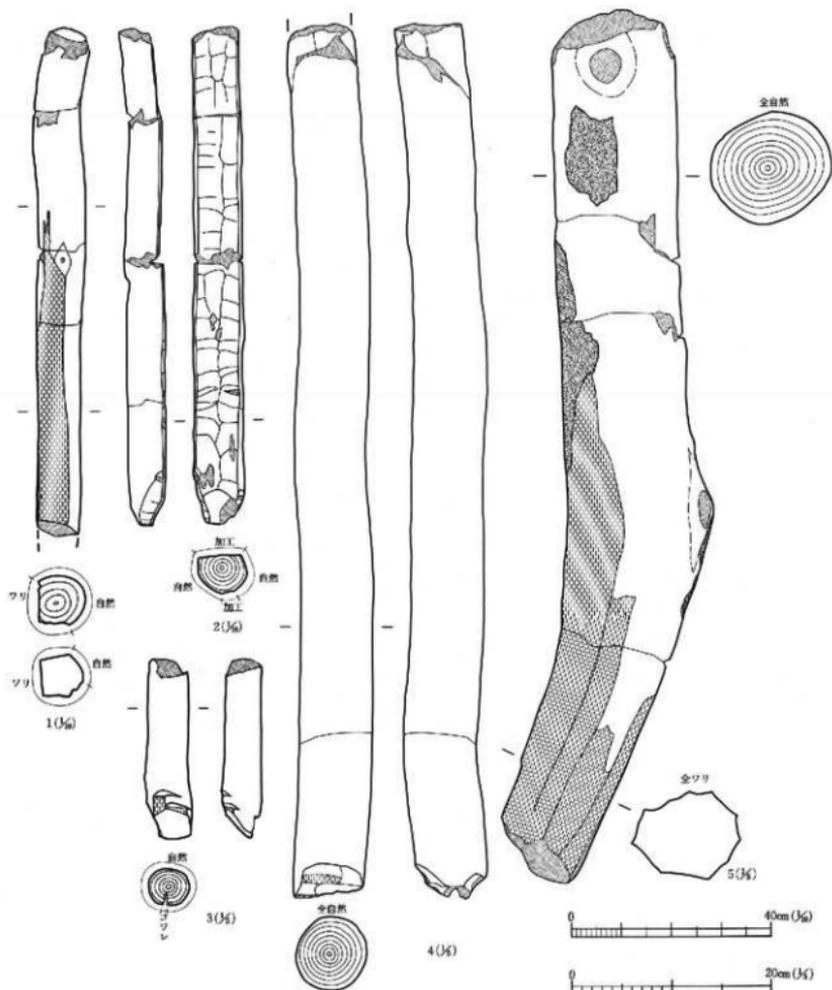
第410図 VII・I区河川跡12層出土木製品類4





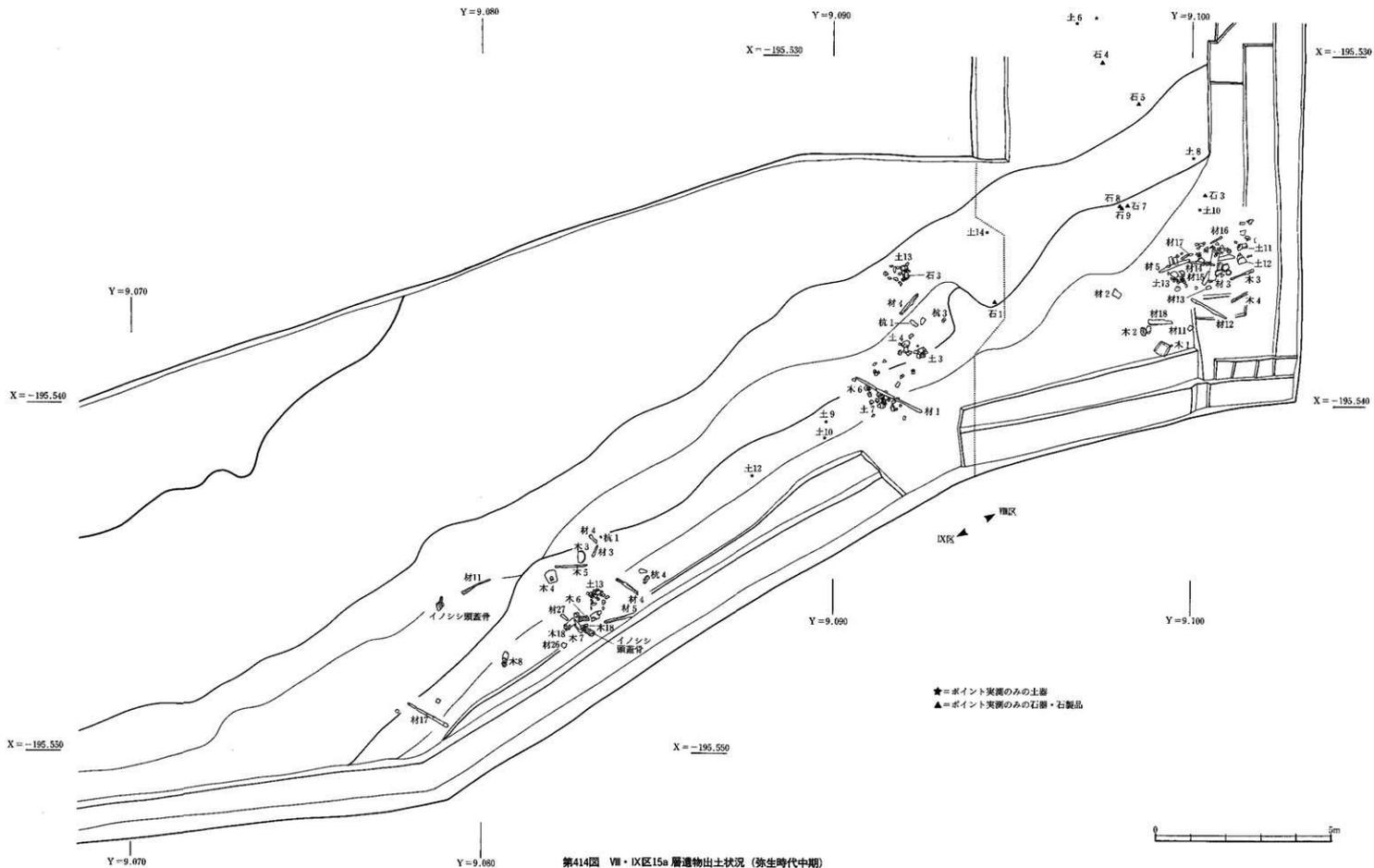
図山 番号	図 番	図 種	部 類	部 類	部 類	取上番号	計 量 ・ 特 徴 ・ 備 考				備 考	木取り	時 期	写真図版
1	L-935	材	分銅材	種別	12a材8	全長 147.5	幅・厚 5.5	厚さ 5.8		先端加工、4層1段		クワ	古墳期	
2	L-936	材	分銅材	種別	12a材11	149.2	19.4	5.8				クワ	古墳期	
3	L-925	材	分銅材	種別	12a材19	101.7	5.3	3.7		先端加工、多層多段		クワ	古墳期	
4	L-922	材	丸材	種別	12b材14	79.5	4.0	4.1		先端加工、3層多段		クワ	古墳期	
5	L-1066	杖	杖	種別	12b杖3	全長 164.4	幅・厚 6.8	厚さ 6.8		先端加工、2層多段 直は平杖		クワ	古墳期	330-9
6	L-1064	杖	杖	種別	12b杖1	84.8	7.6	6.7		先端加工、4層7段		クワ	古墳期	330-8

第412図 VII・IX区河川跡12層出土木製品類6

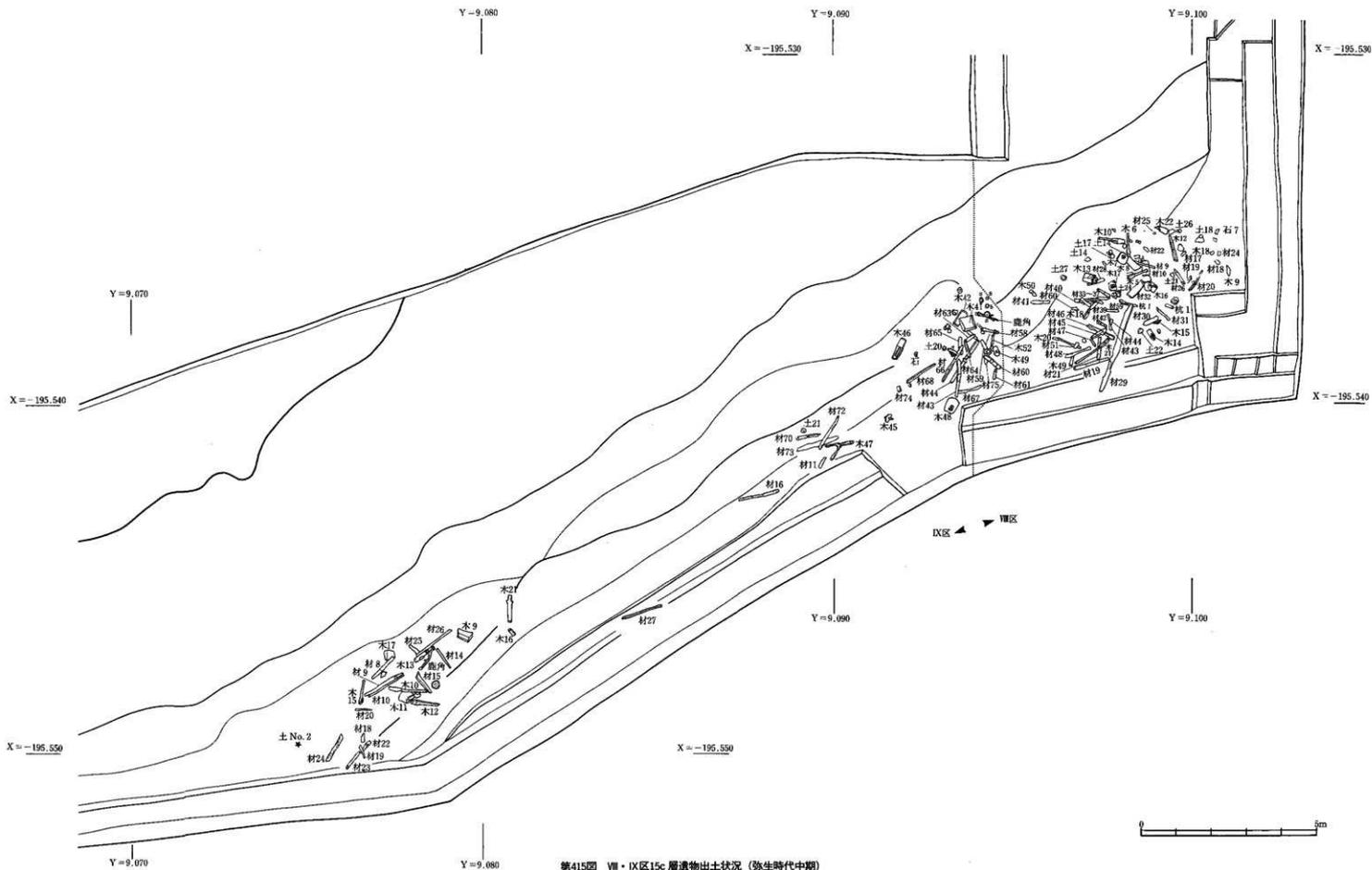


区画番号	発掘番号	層	遺物種	出土層	出土番号	法量・寸法・備考					備 考	未取り	時期	写真回数	
1	L-928	坑	筒 杖	Ⅻ区 層12	128坑2	全長 102.8	幅・径 9.4	厚さ 10.1	先端加工 ナシ			エー791	志持丸	古墳群	
2	L-1062	坑	字線杖	Ⅻ区 層12	128坑4	100.0	9.8	8.7	先端加工 5面半段			ハシノ楕	志持丸	古墳群	339-11
3	L-1065	坑	丸 杖	Ⅻ区 層12	128坑2	18.2	4.2	3.7	1面1段			ヤシノ楕	志持丸	古墳群	
4	L-929	坑	丸 杖	Ⅻ区 層12	128坑3	89.0	7.2	7.5	2面2段				志持丸	古墳群	339-12
5	L-927	坑	丸 杖	Ⅻ区 層12	128坑1	89.1	12.3	11.5		側皮付		エー791	志持丸	古墳群	

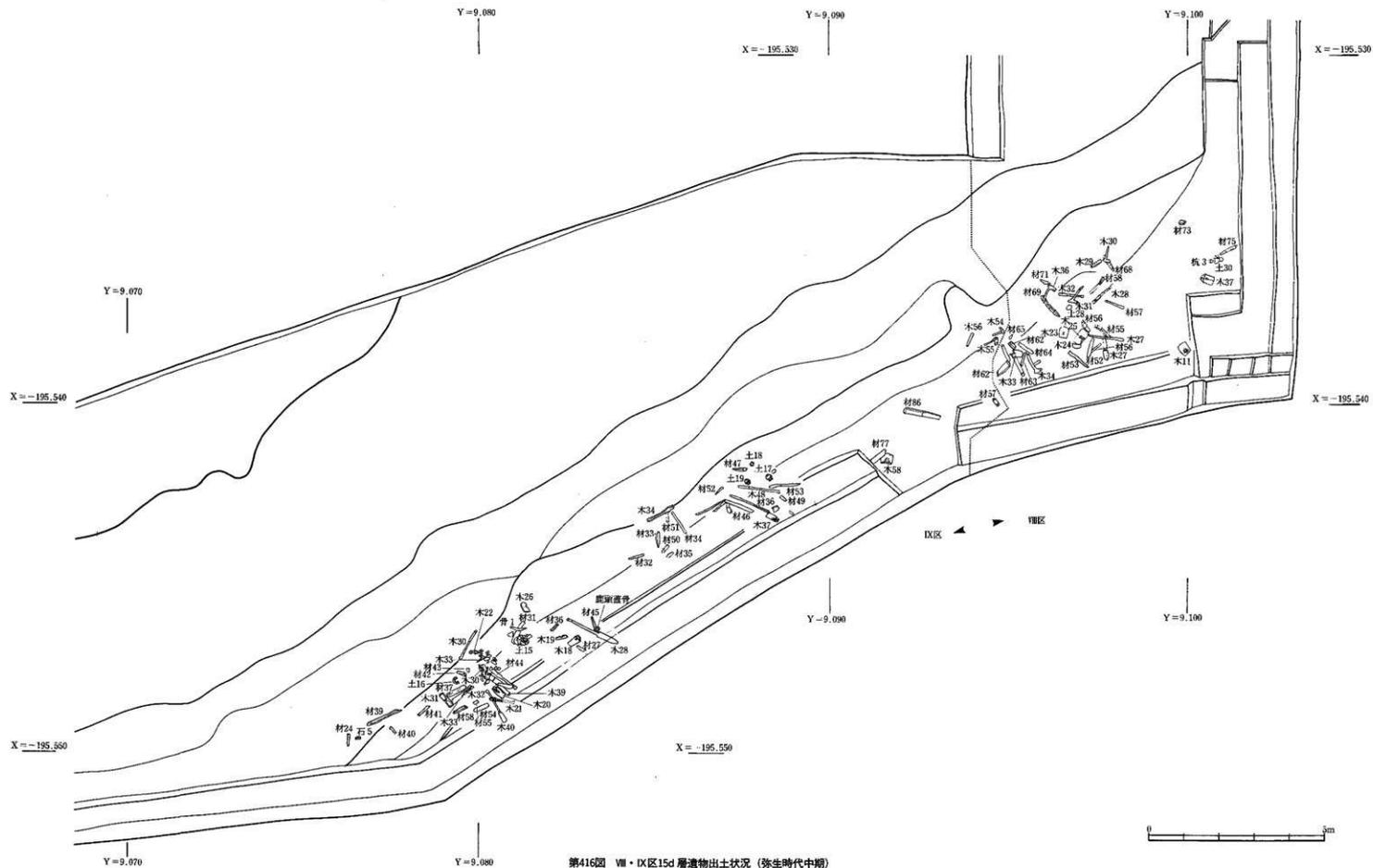
第413図 VII・IX区河川跡12層出土木製品類7



第414図 VII・IX区15a 層遺物出土状況 (弥生時代中期)



第415图 VII·IX区15c 层遺物出土状况 (弥生時代中期)



第416図 VII・IX区15d層遺物出土状況(弥生時代中期)

14層として遺物を取り上げているが、最終的な土層観察では15層との区分はできず、15層に吸収した。

## 2) 遺物出土状況と出土遺物

13層からは、弥生土器片が多数出土しているが、それ以外の遺物は出土していない。

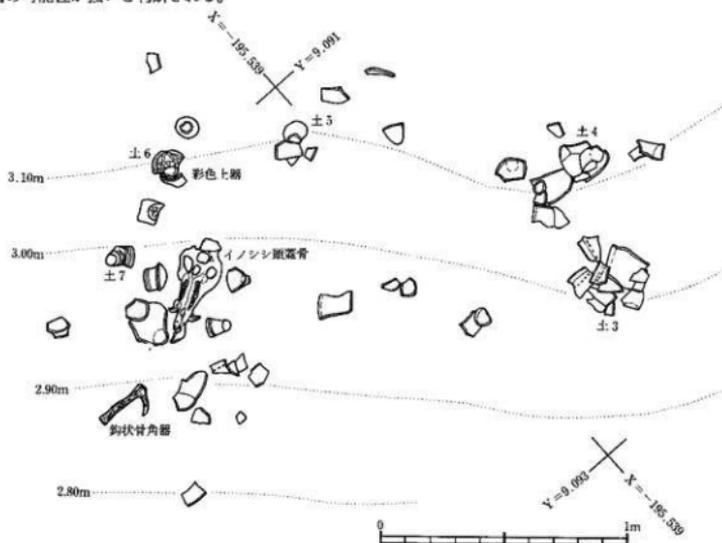
14層として取り上げた遺物は、そのうちの多数の破片が当初から15層として取り上げた遺物と接合し、14層とした土層を15層に吸収したと整合した。

## 9 15層検出遺構と出土遺物

### 1) 堆積土の状況と検出遺構

VII・IX区の15層は、大きく15a層・15b層・15c層・15d層の4層に分けられる。15層全体の層厚は河川跡の中央部では90cm前後である。河川斜面の中段から上の堆積層は急に薄くなり、層厚は20cm前後となるが、15層自体は河岸斜面の上端まで存在する。

15a層は、15層の上部に位置する黒色の泥炭質粘土を基調とする土層で、北岸斜面の下位では15b層を覆って堆積する。15a層中からは、多量の土器や石器・木製品・骨角器などの遺物が出土している。河岸斜面の15a層、特に15a'層や15a''層については、当時の地表面として、植物根の攪乱や二次的堆積等の作用による土性の変化を受けているために、河川中央部の15a層から連続する土層なのか、15a層より下位の15c層や15d層に連なる土層なのか、区別・認定することはできなかった。また、15a層の中には、15ax1～x4層のように、炭片・貝殻・骨・土器等を多量に含む層が部分的に分布しているところがある。このような地層については、生活残滓を一括廃棄したために形成された土層の可能性が高いと判断される。



第174図 IX D区15a層イノシシ頭蓋骨及び周辺遺物出土状況

15b層は、オリブ灰色から暗緑色の粘土層で、砂の薄い層を綿状に含んでいる。河川跡の北岸斜面の下部にのみ分布し、河川跡の中央には分布していない。層厚は、場所によって異なるが、厚いところでは50cmある。上下の土層に比べると色調は明るく、締まりが強い土層である。15b層の上下層からは、土器・木製品など多量の遺物が出土しているのに対し、15b層は、土器片等がわずかに出土するだけで、ほとんど遺物は含まれていない。15b層の成因については、堆積状況や遺物出土状況から、急激な土砂の運搬・堆積作用によって形成された土層と考えられる。河川中央に15b層が存在しない理由としては、当初から北岸に偏向した堆積をしたか、中央に堆積したとしても、その部分が後に水流による浸食を受けて流出したものと推察される。

15c層は、15b層の下に位置するオリブ黒色の粘土質砂層で、河川跡底面に比較的広く分布し、Ⅷ区西壁付近では20～30cmの層厚がある。層中からは、炭や貝殻・骨角などとともに土器・木製品など多量の遺物が出土している。15c層は、分布範囲が比較的大きいことと植物遺体の含まれる量が比較的小さいこと以外、15d層との差は少ない。

15d層は、河川跡の底面に分布する。オリブ黒色のシルト質粘土ないし粘土を基調とする土層であるが、色調や土質の違いによって細かく分けられ、複雑な堆積状況を示している。層厚は、河川跡の中央部で50～80cmある。層中からは、木製品や土器などが多量に出土している。

Ⅷ・Ⅸ区の遺構としては、Ⅷ区で3本・Ⅸ区で4本の杭が出土している。

## 2) 杭列

Ⅷ区の杭は、杭1と杭2が15c層で、杭3が15d層で検出されている。3本とも河川跡の中央付近に位置している。杭1と杭2の間隔は、約120cmであるが、相互関係は不明である。杭材は、杭1・杭2・杭3とも丸杭で、全長はそれぞれ74.3cm・63.0cm・20.8cmで、折れ面が先端となっている(第568図6・5・9)。

Ⅸ区の杭は、C区中央の河岸斜面下位に2本(杭1・杭2)と、B区中央の河岸斜面下位に2本(杭3・杭4)に分かれて存在する。杭1・杭2は、流路に直交して約180cmの間隔で並び、杭3・杭4は、流路と平行して約110cmの間隔で並び、どちらも相互関係があるかどうか不明である。杭材は、杭1・杭2が丸杭で、全長はそれぞれ17.2cmと21.2cmである。杭2の先端には、切断面と考えられる加工がある(第568図7・8)。杭3・杭4は共に割杭で、全長はそれぞれ46.8cmと50.6cmである。杭3が全面が割面となっているのに対して、杭4の割面は1面である(第568図3・4)。また、杭4の先端部は心持の丸材のままで、端部には切断面が残っている。

## 3) 遺物出土状況

Ⅷ・Ⅸ区の遺物出土状況は、遺物出土量については調査区の東部と西部で、遺物内容については河川跡の河岸斜面の上位・中位と下位・底部と異なっている。遺物出土量は、Ⅷ区からⅨD区・ⅨC区にかけての地域から多量に出土し、特にⅧ区の河岸斜面の上位から中位にかけての河岸斜面からは、斜面を覆うほどの弥生土器が出土している。斜面に散在する弥生土器の量は、調査区の西部に寄るに従って徐々に少なくなり、ⅨB区西部付近まではわずかに散在するが、ⅨA区の河岸斜面ではほとんど出土していない(第389図)。

出土遺物の内容は、河岸斜上位から中位にかけての部分は、土器を主体とし、これに石器が混じっている。これに対して河岸斜下位から底面にかけての部分からは、土器とともに木製品・材・骨角器が多量に出土しているほか、貝殻や骨等の動物遺存体や植物遺存体などの自然遺物も多量に出土している。調査区内の位置の東西による出土遺物量の違いについては、近接の自然堤防上における空間利用の差が考えられ、出土位置の上下による遺物の違いについては、本来の存在位置の差に起因するものと、水位の違いによる保存状態の差に起因するものがあると考えられる。

遺物出土状況を15層の大別層位毎に比較すると、15a層・15c層・15d層については、出土の集中地点のまとまり

に多少の違いはあるが、量的には大きな差はなく、いずれの層からも土器と木製品・材を主とする多くの遺物が出土している(第414~416図)。15b層については、先に記したように土器片等がわずかに出土しているだけであり、他の15a層・15c層・15d層とは遺物出土状況に大きな違いが認められ、堆積環境が全く異なっていたことが推定される。また、15a層・15c層・15d層の各層の遺物は、特定の細分層や層の上下に並ぶというような傾向性は認められず、15b層を除いて15d層の底面部から15a層の上部まで連続的に出土している。

土器の出土状況についてみると、河岸斜面上位から中位にかけての土器は、小形のものには完形に近いものもあるが、大部分は比較的小きな破片で、表面は風化が進んで荒れており、色調はぶい黄褐色からぶい黄褐色を呈する。これに対して河岸斜面下位から底面にかけての土器は、完形に近いものや、潰れた状態で一括出土しているものも多い。また、出土した土器片は、15a層から15d層の破片が相互に接合する場合や、他の細分地区との間で接合するものも多く、廃棄されてから出土地点に至るまでの間に移動があったことを示している。このため出土層位の差をそのまま年代差に結びつけることはできないものと判断される。また、後述するように、15層出土の土器は、数点の個体を除くと全て弥生時代中期の椀形二式の範疇に位置づけられるもので、型的には大きな差異は認められないようである。したがって、15層の堆積期間も長期に渡るものではなく、土器の1型式程度の期間内に埋没した可能性が高い。

木製品と材の出土状況は、第414~416図の通り、土器よりも西側の地域からでも多数出土している。出土地区は、Ⅷ区が多く5割近くを占め、IX B・IX C・IX D区は、各区とも全体の1.5~2割程度の出土量である。木製品・材は、層位による出土量を比較すると、15c層が特に多く5割以上を占め、次いで15d層が約3割である。15a層は約1割に過ぎない。各層とも出土地点には疎密が認められる。出土した木製品には完成品(破損品を含む)と未製品があるが、その分布には特に傾向性はなく、両者が混じり合って出土している。未製品の出土地点に関しては、特に施設的なものは検出されていない。

骨角器と動物遺存体は、IX B区より東側の調査区から出土しているが、貝殻や骨片は、IX C区東部からⅧ区の間での出土量が多い。特にIX D区の河岸斜面下位の15a層では、カキを主体とする貝殻類が、貝塚の堆積土層のようにまとまって出土している。骨角器の出土地区を見ると、IX D区が圧倒的に多く、全体の出土点数の7割以上を占めている。骨角器の出土層位は、15a層が5割近くを占め、上層ほど出土点数が多くなる。

石器は、やはりIX D区からの出土点数が多く約5割を占め、その両側のⅧ区やIX C区からも比較的多く出土している。石器の出土層位は、河岸部斜面の上位から中位で取り上げたものを15a層に位置付けると、層位が新しくなるに従って出土量が増え、15a層の石器は全体の半数近くを占めている。

木製品・石器・骨角器の地区別・層位別集計表は、第8部第9章にある。

#### 4) 出土遺物

Ⅷ・IX区の河川跡15層からの出土遺物には、弥生土器・石器・石製品・木製品・材・土製品・骨角器、その他自然遺物がある。自然遺物については、第7・8部の分析と考察で主に取り扱う。

##### ① 弥生土器

弥生土器は、先に述べたように河岸斜面から底面にいたるまで、多量に出土している。このうち641点について図化した(第418図~第490図)。器種には、壺・高杯・鉢・甕・蓋・その他小型品がある。弥生土器の詳細な分析については後述することとし、ここではそれぞれの器種の概要について簡単に記述する。

壺には、小型・中型・大型の別がある。小型のものには肩部を中心とする部位に装飾文様のあるものが多いが、特に法量の小さいものは、地文またはミガキ調整だけのものが一般的である。文様意匠は、沈線による山形文が主体となり、稀に磨酒縄文(植物茎回転文)や充填縄文(植物茎回転文)による山形文や平行沈線文・錯形文・円文・

方形区画文などのものもある(第418図～第419図1～11)。中型品は、頸部が比較的短く丸く湾曲しているものと、頸部が発達して長頸となっているものがあり、前者は裝飾性に乏しく、後者は肩部から口縁にかけて裝飾模様が施されている。文様意匠は、前者には、体部と頸部の境に平行沈線の引かれるものや、綾絡文など、単純な模様に限られている。これに対して後者は、磨消縄文(植物茎回転文)や充填縄文(植物茎回転文)による工字文と鋸形文が多様され、この他に同心円文・方形区画文などのものもある(第419図12～13、第420図～第423図、第424図1・3～6)。大型の壺は、肩部に強い張りを持ち、体部と頸部の境がしまり、内傾しながら直線的にやや長く立ち上がった頸部に、強く外傾する口縁部が付く。体部には縄文ないし植物茎回転文の地文が施され、肩部上半から口縁部にかけてミガキ調整されるものが多い。その他の大型の壺には、なで肩のものや頸部が直立するもの・直立する頸部の上端に隆帯が巡るもの、肩部に裝飾文様のあるものがある。裝飾の施される大型壺は少ないが、文様意匠としては、磨消縄文(植物茎回転文)や充填縄文(植物茎回転文)による連結方形区画文・工字文・菱形文・鋸歯状文・渦巻き文・同心円文などがあり、模様の種類は多い(第424図2・7、第425図～第440図)。

高杯は、内湾気味に立ち上がる半球形の坏部に、円錐台形の中空の脚部が付き、坏部高と脚部高はほぼ等しく、脚部径は坏部径の1/2程度である。口縁部は、数単位の山形突起のある口縁・波状口縁・刻み口縁などがある。外面の裝飾は、坏部上半と脚部下半に施され、坏部下半から脚部上半の間は無文でミガキ調整されている。口縁部の内面は、1条ないし2条の沈線が巡り、山形突起の部分には縦に沈線状の刻みが入られている(第441図～第444図)。裝飾文様の意匠は、山形文ないし連弧文が主体となり、稀に方形区画文や工字文などがみられる。高杯の中には、口縁部が外反するもの(第441図10)や、底部から口縁部まで直線的に広がるもの(第442図2・4・6・8)、口縁部がS字状に屈曲するもの(第443図4)がある。また、文様意匠や坏部径に比して脚部径が小さい点で、他と異なる高杯(第443図3・5・6)も出土している。

鉢は、カップ状の小型の鉢と、いわゆる播鉢状の中型の鉢がある。小型の鉢は、底径を1とした場合、口径は2ないしそれ以下となるものが一般的で、体部の立ち上がり角度が比較的急に作られている。口縁部は、単純な平縁のものが一般的であるが、稀に連続山形口縁のものも存在する。外部は裝飾のあるもの・縄文または植物茎回転文の地文だけのもの・ミガキ調整によるものがある。裝飾の文様意匠は、4～8条の平行沈線文と山形文ないし連弧文がある(第445図～第446図1～6)。中型の鉢は、底径を1とした場合、口径は2以上になるものが一般的で、体部の立ち上がり角度は、小型の鉢に比較して緩やかである。中型の鉢の口縁部は、多少内湾や外反する場合もあるが、底部から続いてほぼ直線的に広がるものと、頸部が括れて体部上端から口縁部にかけてS字状に屈曲するものがある。口縁部は、山形突起のあるもの・波状口縁のもの・刻み口縁などの裝飾の施されたものと、平縁口縁のものが半々くらい存在する。無文の中型の鉢は少なく、体部上半に裝飾が施され、体部下半は地文が残る場合が一般的である。裝飾の文様意匠は、山形文ないし連弧文が主体を占め、稀に平行沈線文や工字文・鋸形文のものがある(第446図7～19、第447～451図)。

甕は、粗製の深鉢形の甕(第452図～第474図1・2)と、肩部から口縁部にかけて裝飾の施された精製の甕(第474図3～10、第475図～第478図1～7)がある。粗製の甕は、底部から口縁部に向かって広がりが立ち上がり、体部の上端がわずかに括れ、口縁部は外反する。体部には、縄文ないし植物茎回転文による地文が施される。体部と口縁部の境は、2条沈線・3条沈線・列点刺突文・綾絡文などで区画されている。口縁部はヨコナゲ調整され、口唇部には、体部の地文同様の施文がなされているものも多い。なお、稀に体部外面がミガキ調整されるものやハケメ調整されるもの、体部と口縁部の境の区画施文がないものもある。粗製の甕は、容量において小型(第452図)・中型(第453図～第473図1)・大型(第473図2～4、第474図1～2)の3種類があり、中型の甕が大部分を占める。精製の甕は、鉢形に開きながら立ち上がった体部の上端が括れ、口縁部は比較的幅が広く、内湾気味に立ち上がるものが一般的である。口縁部は基本的に平縁である。裝飾文様帯は口縁部と体部上半に分かれ、その中間の括れ部

は無文でミガキ調整されている。口縁部の模様意匠と体部の模様意匠は、同一の場合と別の場合がある。体部の模様意匠が山形文（ないし連弧文）の場合に関して見ると、口縁部は平行沈線文となるものが多く、体部の模様意匠が平行沈線文の場合は、口縁部も平行沈線文となっている。精製壺の模様意匠には、山形文（ないし連弧文）・平行沈線文・工字文がある。壺の種類には上記の2種類の他に、大型で特殊な形態の壺も何点か出土している（第478図8・9、第479図）。

蓋は、平坦な天井部から体部が傘状に開く円錐台形を呈する器形が基本となっている。体部の下半は、直線的に開くもの・反り上がるもの・内湾するものがあるが、いずれの場合も端部は平縁である。つまみ部は、高さのあるリング状のもの・低いリング状のもの・天井部の縁辺を外方に張り出させたもの・特につまみを作り出さないものなど様々な形態がある。外面は、模様の施されるものと地文だけのものがある。模様があるものは、つまみ部と、体部下半に施される。つまみ部に模様が施されるのは、リング状のつまみをもつものだけで、模様意匠としては2条ないし3条の平行沈線文である。体部下半の模様意匠は、山形文（ないし連弧文）と平行沈線文がある。蓋は、大きさによって小型（第482図～第485図）・中型（第486図）・大型（第487図～第490図1～4）の3器種に分けられる。小型のものは、ほとんどの個体に装飾文様がある。中形になると装飾文様のあるものは少なくなり、大型の蓋は地文だけになる。

弥生土器には、この他に分類不明のものとミニチュア土器がある（第490図5～17）。

なお、弥生土器の装飾文様としては、上に記載した沈線文や磨消縄文・充墳縄文といった土器の表面を凹ませて付けた模様の他に、図中に示したように「赤色顔料」による沈線文・磨消縄文・充墳縄文の塗りつぶしや、独立した縦線（帯）文などの装飾も多用されている。

## ②石器

石器には、石鏃・石錐・スクレイパー・不定型石器・微細剝離のある剝片・楔形石器（ピエス・エスキュー）・石核・板状石器・石鎌・凹石・磨石・敲石・砥石・石庵丁・太型始刃石斧・肩平片刃石斧・盤形石斧・環状石斧などがある。

石鏃は、VIII-X区の上層（14層として取り上げたものを含む）から42点出土し、出土石器中最も多い（第491図1・3～16・第492図・第493図1～3・5～8）。石鏃の形態としては、有茎のものが全体の90%近くを占める。無茎形態のものには、まだ全体の作りが厚いもの（第491図1、第493図5・8）や、2次加工の進んでいないもの（第493図7）があるので、有茎鏃の未製品が含まれている可能性が考えられる。また、主要面に湾曲のあるもの（第493図6）も、未製品ないし別の用途が考えられる。したがって、石鏃は、基本的に有茎鏃であったと理解される。有茎鏃の身部は、二等辺三角形を基調とし、側縁部が直線的なものが一般的であるが、側縁部が外湾するもの（第419図7など）や内湾するもの（第492図1など）もある。茎部は、身部と茎部の間に段差がついて境が明確なものと、身部と茎部の境が不明瞭で、全体の形状が菱形を呈するものがある。なお、第492図8に図示した石鏃には、茎部に笹竹類で作られた矢柄の一部と、鏃を固定するために巻かれた、桜の樹皮が素材と考えられる細い紙が巻かれている。笹竹類の矢柄内部は、中空ではなく木質の物質が挿入されている。また第493図3に図示した石鏃の茎部にはターレット状の物質が付着している。

石錐は、7点出土している。形態としては、不定形な剝片の一端を加工調整して錐部を作るもの（第493図4・9・11・12）、細い棒状に加工されたもの（第493図10）、細長い錐部に丁寧に加工されたつまみが形成されているもの（第493図13）がある。つまみが形成されているものには、錐部の反対側にも突起が形成されている。

スクレイパーは、1点出土している（第494図1）。形態は、縦に長い台形を呈する。剝片の両側面は、両面から連続的に調整され、角度の鈍い刃部が形成されている。

不定型石器は、9点出土している。この類には、剝片の縁辺を調整してやや形を整え、側面に刃部を形成したも

の(第494図6・7など)と、剥片のもと形状をほとんど変えず、側面に調整を加えただけのもの(第494図4・9など)がある。

微細剥離のある剥片は、7点出土している(第495図1~7)。これらの石器は、小型の剥片の鋭い縁面に微細な剥離が認められるもので、剥片の形態は様々である。

楔形石器(ピエス・エスキュー)は2点出土している(第495図8・9)。2点とも全長は3.0cm前後である。8は、平面形が方形を呈し、縦断面形は凸レンズ状となっている。9は、平面形が五角形を呈し、両極打法に特徴的な剥離痕が認められ、片側の刃部には連続的な微細剥離が観察される。

石核は2点出土している(第496図1・2)。1は、全長10.9cmの自然面を多く残す石核で、作業面は4面に認められる。2は、平らな自然面を一部に残すが、剥離作業が進んだ段階の石核である。剥離作業は多方向から行われている。

板状石器は、14点出土している(第497図、第498図、第499図1)。完形に近いものと破片となったものがある。石材は、安山岩の摂理に沿って割れた大型の剥片を利用しているものがほとんどであるが、円礫からの剥片を素材としたもの(第499図1)もある。刃部には、調整加工や光沢が観察できる。また、刃部付近およびそれ以外の部分に磨面のあるもの(第497図2、第498図1・7)がある。

石鏃と考えられる石器は、2点出土している(第499図2・3)。どちらも破損している。板状石器に類似する安山岩を素材とするが、板状石器に比べて厚く、刃部は全体に鈍角である。刃部の剥離面は磨滅し、光沢は認められない。

凹石・磨石・敲石は、1個の石材で、先端や側面が敲石として、平坦面が磨石や凹石として多用途に使用されているものが多い(第499図4・5、第500図、第501図)。単独の凹石としては第502図1・2があり、単独の磨石としては第502図3・4・6がある。単独の敲石には、直径6.0cmから9.2cmの球形を呈し、全面に敲打痕が認められるもの(第503図1~4)と、剥離面を有する石核状の石材の剥離面や、剥離によってできた稜線に沿って敲打痕が認められるもの(第503図5~7、第504図6)、自然礫の先端や角・側面に敲打痕が認められるもの(第503図8、第504図1~5)、折れた太型給刃石斧の折れ面に敲打痕が認められるもの(第505図1)などがある。なお、第500図1の凹石と磨石の兼用石器は、凹部の内面とその周囲約5cmの範囲が焼けて黒く変色している。

砥石と考えられる石器は、いずれも砂岩製で、大小の破片が7点出土している(第505図2~8)。両面が砥面となって中央が磨り減っているもの(第505図5・6)は、砥石と考えて間違いないと思われるが、片面が凹面となり、反対面が凸面となるもの(第505図2)については石皿の破片の可能性も考えられる。

石冠丁は3点出土している(第506図1~3)。いずれも中央部付近で割れているが、平面形態は刃部・背部とも緩やかに外湾して偏平な木葉形を呈するものである。組穴は、両面から穿孔され、孔の間隔は中心で1が約2.3cm、2が1.9cmである。1・3は両面とも丁寧に研磨されているが、2には敲打痕がわずかに残っている。

太型給刃石斧は、破片が3点出土している(第506図4、第507図)。第506図4は、基部の破片で両端を欠損する。主面は、片面は敲打痕とその後の研磨痕が残るが、反対面は表面が剥離している。第507図1は、太型給刃石斧の側面の破片で両端を欠損する。第507図2は、太型給刃石斧の刃部の破片で、片側の側面を欠損する。両主面及び側面とも丁寧に研磨されているが、刃部中央は刃こぼれしている。第508図1・2は共に石斧の基部の破片である。1の側面と主面の境には、明瞭な稜が形成されているので、扁平片刃石斧の基部の可能性もある。

扁平片刃石斧は6点出土しており、刃部幅により大型・中型・小型の3種類に分類できる。大型は刃部幅が6cmを越すもので、1点出土している(第508図3)。中型は刃部幅が5~4cmのもので3点出土している(第509図1・2、第510図1)、小型は刃部幅が3cm以下のもので1点出土している(第510図2)。第510図3は、中型の扁平片刃石斧の基部片と考えられる。大型の扁平片刃石斧は、刃部幅が基部幅より広く、主面と側面の境には明瞭な稜が形

成され、斧身はやや厚い。中型の扁平片刃石斧も、大型と同様に刃部幅が基部幅よりも広い。主面と側面の境は、大型に比べるとやや不明瞭な稜となる。斧身は、やや厚いもの(第509図1)と薄手のもの(第509図2、第510図1)がある。小型の扁平片刃石斧は、刃部幅が基部幅より狭く作られている。基部は左右の厚さがかなり違っているが、刃部は均一な厚さに加工されて製品化されている。中型・小型の基部には、研磨の後もその前工程に係る剝離調整や敲打による大小の凹面が残っている。

鱗片石斧は、先端部の破片が1点出土している(第510図5)。斧身の主面と側面の境には、稜が認められ、全体が丁寧に研磨されている。刃部は、幅1.3cmで斧身本体よりやや狭く作られている。主面からの刃先にかけての刃面の研磨は、図の右主面からは緩やかな弧状(曲刃)に、左主面からは角がつくよう(直刃)に研がれている。両主面の刃部には、刃に直交するような擦痕が観察される。

環状石斧は、ほぼ中央で半分に割れた破片が1点出土している(第511図1)。直径は13.3cmで、孔径は約2cmである。主面は、両面が対称ではなく、図の右側面が孔端部から縁辺部まで緩やかに外湾しているのに対して、左側面は孔端部の周囲がわずかに盛り上がり、縁辺部に向かってやや内湾してのびて刃部に至る。また孔部も、右側面側からは浅く、左側面側からは深く開口されている。刃部は所々に刃こぼれが認められ、孔部の内面の両端部には炭化物状の物質が付着している。

### ③石製品

石製品としては、碧玉製の管玉が1点出土している(第510図6)。直径1.0cm・長さ2.0cmの製品で、両端から穿孔されている。各孔は、片方が深く、他方が極端に浅く開けられている。

### ④木製品類

木製品には、直柄広鎌・直柄狭鎌・泥除・一木鋤・農具直柄・打棒・整杆・臼・不明農具・斧直柄・斧膝柄・櫛・弓・棍棒状木製品・容器類・斧直柄状木製品、材、杭などの種類がある。各種類には、製作工程の様々な段階の未製品も多く存在する。

直柄広鎌は、破片を含めて10点が出土している(第512図～第515図、第516図1・2)。10点の直柄広鎌は、イ、後面に着柄隆起の残るものは、全て形の整ったやや細長い舟形を呈し、隆起部の長さは、全長の1/2程度である。ロ、柄孔は方形ないし隅丸方形を呈する。ハ、刃部の先端の平面は緩やかに外湾する。ニ、身部前半の厚さは、0.6cm～1.2cm、平均1cm前後で比較的薄く作られている。という共通性あり、a、舟形隆起の頂部は、平坦で握に向かってやや広がるもの(第512図1・2ほか)と、隆起部全体が鎌の頂部から身部中央の隆起の付け根まで湾曲しているもの(第515図1他)がある。b、鎌の前面が、柄孔の上に低い段がつくもの、柄孔の上に明瞭な段差のつくもの、及び柄孔の上に下駄の歯状の突起(以下「下駄状突起」と呼ぶ)がつくものがある。という点では形態的な相違が認められる。

第512図1は、頂部が強く、刃部が緩く外湾し、側面が直線的に平行する釣鐘形の直柄広鎌である。前面側は、柄孔の上部に軽い段差がつくれ、この段差から2～3cm上からは鎌の頂部に向かって緩やかに傾斜している。

第512図2は、側面が刃部から上部に向かってやや狭まり、柄孔の脇が突出するように張出して半円形の頭部につながる。前面側の柄孔の上部には、1cm近い段差が作り出されて上部が高くなっている。

第513図1・2、第514図1・2の4点は、長方形を基調とする平面形態で、前面側に作られた下駄状突起より上の身部中央には、頂部に切れ込みのある王冠状の突出部が作り出されている。また、下駄状突起を上端とする肩部の両端は、外に張り出しており、保存状態の良いものはさらにその張り出し部の上下に刺状の突起が存在する。

第515図1・2、第516図2の3点は、身部中央より刃部の幅が広い台形を基調とする平面形態で、前記の直柄広鎌と同様に、前面側に作られた下駄状突起より上の身部中央には、王冠状の突出部が作り出され、下駄状突起を上端とする肩部の両端は張り出し、張り出し部に上下に刺状の突起が存在する。この3点の王冠状の突出部は、側面の

角が2段になっている点において前4点と異なる。王冠状の突出部をもつ鍔の着柄隆起の上端は、切れ込みの端と一致する。

第514図1は、左側面が4cm前後の幅で欠損しているが、欠損後も使用している。また、第515図1の肩部中央の刃先寄りのところには、割れ目の両側に1対の孔を開け補修をしている。

直柄鉄鍔は、完成品2点(第516図3、第517図1)と、未製品が12点(第517図2、第518図～第523図)出土している。完成品の第516図3は、刃部が平坦で、頂部は丸くなり、平面形は釣鐘形を呈する。着柄隆起は、鍔の全長の1/2の長さで舟形を呈し、肩部の中央やや上に位置する。着柄隆起の上端は、肩部の上端に達せず約7cm離れている。前面側の着柄孔の上には、約1cmの段が作られて高くなっている。第517図1は、刃部・頂部ともに丸みがあり、平面形は楕円形を呈す。頂部付近の側面には軽い段がある。後面には上端から全長の1/2の長さの舟形の着柄隆起が作られ、前面の柄孔の上には段差がついて上部が高くなっている。段から頂部までの前面の中央は長軸に沿って高くなり、稜を形成する。また、段差部分の側面は抉られてやや狭くなっている。鍔の先端部は、左側面よりも右側面の方が減っている。柄孔内には、長軸3.6cm・短軸3.1cmの楕円形に近い隅丸長方形の柄の一部が残っている。完成品の肩部の厚さは、1.4cmと1.6cmで、直柄鉄鍔と比較するとやや厚く作られている。

直柄鉄鍔未製品の第517図2は、全長が62.0cmある長い鍔で、ほぼ出来上がっているが、着柄孔は未貫通で、着柄隆起部側から柄孔が掘られている。側面は、第517図1と同様に着柄孔の両側が抉られて狭くなっている。前面は、着柄孔上部に当たる部分が盛り上がり、完成品と同様に段差が付けられる可能性が考えられる。第518図1・2は、やや幅が広い未製品である。明瞭性には欠けるが、着柄隆起が舟形に形作られ、両面とも加工が進んで一定の厚さまで削られている。1の刃部の木口と2の頂部の小口は、両主面から加工されているが、1の頂部側の木口は、丸太材を筒状に切断した際の樹皮側から樹芯に向かう切断痕がそのまま残り、斜めになっている。2の刃部側の木口は、1の頂部と同様に斜めに尖った木口の先端の一部を切断し、鈍角ではあるが鋭先状に加工している。木口の形状により、1は台形、2は台形の平面形を呈する。第519図1は、前2点(第518図1・2)と同程度に加工が進んでいるが、着柄隆起の形状は長方形を呈する。頂部の木口は、樹皮側から樹芯に向かう斜めの切断痕が残り、平面形は台形を呈する。第519図2は、縦に半分に割れた直柄鉄鍔の未製品である。両木口は主面方向から加工され、平面形は長方形を呈すると考えられる。後面側の着柄隆起は粗く舟形に作られているが、前面側は粗割りされただけで、削り加工による厚さの調整はなされていない。第520図1は、両木口は両主面から加工されている。刃部は直線的になっており、平面形は長方形を呈する。両主面の加工は粗く、着柄隆起は方形のままであるが、厚さの調整はかなり進んでいる。第520図2は、まだかなりの厚さがあり、左の側面には樹皮剥ぎの加工痕跡の残る未製品であるが、着柄隆起に当たる部分は、この段階から既に粗割りによって長方形に作り出されている。頂部の木口は、樹皮側から樹芯に向かう斜めの切断痕が残り、平面形は台形状を呈する。刃部の木口は、両主面からの加工によって縦断面が山形になり、先端面は細い折れ面となっている。第521図1は、直柄鉄鍔でも幅の狭いものである。両木口は主面方向から加工され、平面形は長方形を呈する。両主面とも削り加工されているが、割面も多く残り、厚さの調整加工は十分に行われていない。着柄隆起は方形である。両側面は一部削り加工されているが、割面も残る。第521図2は、平面形が長方形を呈し、木口は両主面から加工されている。主面は両方とも割面がほとんどであるが、後面側の中央付近には抉り加工が入られ、抉りから下半部はさらに割られて厚さの調整が行われている。上半部は、ミカン割材のままである。第522図1は、平面形は略長方形を呈する。右側面には、樹皮剥ぎの加工痕が残り、前面はミカン割面のままである。後面は、中央付近に抉り加工をして、下半部は肩部が薄くなるように広く平らな割を入れ、上半部は着柄隆起部が高く残るように、樹皮側の面を斜めに割っている。頂部の木口は、両主面から加工されている。刃部の木口は、樹芯側の半分は、樹皮側から樹芯に向かう切断痕が残り、樹皮側の半分は両主面から加工され、切断部の先が切り落とされている。第522図2は、平面形が台形を呈し、両主面が割面で、側面の一方

は樹皮剥ぎの痕跡が残るミカン割材である。第522図1や第523図1の存在から、直柄狭楕の未製品と考えられる。木口面は、一方は、樹皮側から樹芯に向かう斜めの切断面である。他方は、樹皮側から樹芯に向かう斜めの切断面が樹皮側の一部にあるが、基本的には両主面からの加工面となっている。第523図1は、2連の直柄狭楕の未製品である。両主面は、一部を除きミカン割の際の割面で、片方の側面は樹皮剥ぎの加工痕が残る。樹芯部分は削り取られている。両端の木口は、長軸に対して水平になるように加工されている。材の中央には、両主面と樹皮剥ぎ面の3方から挟りが入られ、2分割しようとする意図が伺われる。中央の挟りから図の下に当たる半部には、片主面の中央よりやや上に、樹皮側から1/2の幅のところまで挟りが入られている。さらにこの挟りから木口までの部分に割を入れ、身部を薄くしている。

第516図4は、直柄狭楕または直柄狭楕の未製品の着柄隆起部の破片である。

泥除は、完成品6点(第524図、第525図1~3)と、未製品およびその破片が13点(第525図4、第526図~第531図)出土している。完成品は、全て破片である。第524図1は、柄の一部が装着された状態で出土した。前面から見て右側の頭部と身部の下半部を欠損する。全体に後面が窪むように湾曲する。後面には、釣鐘を縦に半分に切ったような形状の着柄隆起が、頭部に向かって口を開いて作り出されている。着柄隆起に対応する前面は、楕円形の孔が開いているだけで、特に細工はなく、緩やかな曲面となっている。残存する頂部の端には、円い小孔が開けられている。頂部の小孔は、欠損する側にも存在したと考えられ、その間隔は15.5cm前後と推定される。柄は、断面が長軸2.7cm・端軸2.1cmの楕円形を呈する削り出しの芯無材である。長さは約19cmが残る。第524図2は、身部の着柄隆起の上部と隆起より下の身部を欠損する。頂部の幅は19.4cmで、両隅には小孔が穿たれ、その間隔は、16.2cmである。頂部から下は幅が広がり、残存下端の幅は26.6cmを測る。残存する下端には、割れ面に沿って着柄隆起の左右に2個づつ4個の補修用と考えられる小孔が開けられている。着柄孔は隅丸長方形である。第524図3は、泥除の下半部の破片である。残存部は、頂部側から下部に向かって幅が広がり、先端部との角でその幅は28.0cmを測る。身部の先端は、下方に外湾して張り出し、端部は後面側に約2cm程突出するように削り出されている。突出部の厚さは約1cmである。第525図1・2も泥除の下半部の破片で、1の端部は後面側にわずかに肥厚し、2の端部は後面側にわずかに湾曲し、割れ面の右側には、補修用と考えられる小孔が1つ開けられている。第525図3は、着柄孔付近の破片で、着柄隆起は欠損する。残存部の幅は29.0cmを測る。

泥除の未製品は、完成品に近いものから原材と考えられるものまで各種出土している。第525図4・第526図~第528図・第529図1の8点は、外形や着柄隆起部がほぼ出来上がり、逆三角形に整形された着柄隆起には、断面形が隅丸長方形の着柄孔が開けられた段階のものである。後面は、窪むように加工されているが、まだ全体に作りが厚い。また、完成品に見られる頂部両端の小孔は開けられていない。第529図2・第530図1は、外形をある程度整え、後面は着柄隆起部を残して削り出した段階の未製品で、着柄隆起に着柄孔は開けられていない。前述の段階のものと比べると、幅が広かったり長さが長く、全体の作りも厚い。第530図2は、この段階の身部下下部の破片である。第531図1は、外形は原材と同様に方形のまま、両側面(木口)には、原木を輪切りにした際の切断面がそのまま残るが、後面には着柄隆起を削りと削りによって逆台形に作り出し、前面側は、縦の中軸線を中心に左右に削り込んで、厚さと湾曲の調整を行っている。第531図2は、外形は原材と同様に方形で、後面には木取りしたときの割面がそのまま残り、着柄隆起は未だ形成されておらず、両側面(木口)には、原木の切断痕がそのまま残る。前面側は、中軸線を中心に左右に削り込みが行われている。

鋤は、ほぼ完形のもの1点出土している(第532図1)。全長は155.4cmと長く、柄部長97.4cm・身部長58.0cm・身部幅14.0cmを測る。柄部の断面形は、幅広の隅丸長方形で、端部は左右に突出している。身部は、細長い舌状を呈し、上下・左右の湾曲は認められず、平板な作りとなっている。

農具直柄と考えられる木製品は1点出土している(第532図2)。全長41.8cm、直径2.6cmの芯付丸材で、全面に加

工が及び両端は丸く調整されている。湾曲が認められる。

握り棒は、柄がわずかに残る身部の破片が1点出土している(第532図3)。剖面と加工痕が残る未製品で、身部は、長さ29.0cm・幅5.6cmを測る。基部側から刃部に向かって徐々に薄くなるように調整され、先端は既に尖っている。身部の木目は板目となっている。

打棒は、完成品4点(第533図、第534図1)と、未製品9点(第534図2～3、第535図～第537図)が出土している。第533図1は、全長116.6cm・身部長35.6cm・身部幅7.1cmである。身部は長楕円形を呈し、片側の中央部が中軸線上に稜を形成するように強く削り込まれ、その上下両端は肥大している。特に先端側は、低く横に長い半球状に盛り上がっている。(以下、打棒の身部については、肥大部の形成されている側を「前面」、反対側を「後面」と呼ぶ。)後面は、緩やかな曲面に仕上げられ、両側面は丸くなっている。身部は、全体的に前面側が内湾するように緩やかに反っており、身部両側面は、中央部が僅かに括れている。柄は、丸く削られ、末端部は肥大している。身部の側面から後面の表面は、使用によるものと判断される磨減が生じ、滑らかになっている。第533図2は、全長102.0cm・身部長28.0cm・身部幅6.4cmを測る。柄の身部側の先端は肥厚し、特に両側面は八字状に広がる。柄部と身部の境には両側面から挟りが入っている。柄の基部は肥大する。身部は、先端に向かってやや幅が広がり、端部は前面側に肥大して盛り上がっている。先端以外の身部前面はほぼ平らで、後面と両側面は丸くなっている。後面と側面はやや磨減している。第533図3は、身部の先端部を欠損するが、残存部の平面形態は第533図1に類似している。ただし、前者のように前面の中央に稜が形成されず、後面と同様の緩やかな曲面となっている。また、本品には、前2点のように身部から柄部につながる湾曲は認められない。第534図1は、全長99.4cm・身部長29.6cm・身部幅5.6cmを測る。平面形態は、第533図1に類似し、前面には前者と同様に中央に稜が形成されているが、身部の基部側は肥厚していない。身部は、柄との境から先端に向かってそのまま徐々に薄く削られ、先端部だけが前面側に肥大している。表面には、加工痕が比較的良く残っているので、あまり使い込まれていないことが考えられる。

打棒の未製品も、各種の製作段階のものが出土している。第534図2は、柄の中央付近は丸く削られているが、柄の基部と先端部は多角形の状態である。身部は、木表側は先端部を除いて強く削り込み、木裏側は柄と段差ができないように平らに加工している。加工の状況から、木表側が前面となるものと判断される。側面から後面の側辺部には、削面が残り、身部の先端には、材の切筋痕が残る。第534図3は、柄の断面形は方形のままで、木表面は樹皮剥ぎ痕が残るが、端部には突出部が作り出されている。また、両側面と木裏の削面は削られ、幅と厚さが同じくなるように調整されている。身部は、両主面の中央部がわずかに削られているだけで、あまり加工は進んでいない。先端部には、原材段階の切筋痕がそのまま残る。第535図1・2は、柄部と身部の境に側面から挟りを入れ、柄部の側面を削裂いて細くした段階の未製品である。挟り付近の側面に削り加工がわずかに観察されるだけで、木表は樹皮剥ぎ面、側面と木裏は削面、両端は切断面のままである。第536図1・2及び第537図1は、柄部と身部の境となる部分の側面に挟りを入れただけの段階の未製品である。木表は樹皮剥ぎ面、側面と木裏は削面、両端は切断面のままである。第536図1には樹皮も残っている。第537図2・3は、樹皮を剥いだ丸材を半裁した段階の未製品で、木表は樹皮剥ぎ面、側面と木裏は削面、両端は切断面となっている。2には、木表の一部に削り加工が施されている。第538図1は、先端の片面が肥大し両面に丸みのあることから、打棒の身部の破片と考えられる。

整片は、搦部の破片が3点(第538図2～4)と未製品が1点(第538図5)出土している。第538図2は、搦部の破片である。全長は52.0cm、直径は約8cmである。搦部の先端は平坦で、握り部との境は急に細くなって明瞭に分かれる。握り部側の端には、二重に平行して巡る低い隆帯が作り出されている。第538図3は、搦部の破片で、全長49.0cm、直径約7.6cmを測る。搦部の先端は丸く加工されている。搦部と握り部との境は、2と同様に細くなって明瞭に分かれる。握り部側の端には、低い段が等間隔に連続して4段形成されている。第538図4は、搦部の破片で全長41.6cm、直径約7.5cmを測る。搦部の先端は丸く磨り減っている。握り部側の端は、粗く再加工されている。整片

未製品の第538図5は、芯無の分割材を、円形に近い多角形に削り出している。全長151.6cm、直径約7.3cmを測る。片方の先端(実測図上)は、半球形に削り出しているが、反対の端部は切断面がそのまま残る。中央付近は、握り部として握部より細く削られているが、握り部中央は、握部と同じ太さで帯状に残されている。

白(第539図1)は、全体の1/3程の破片である。口縁部は残存するが、底部は欠損する。残存部の側面観は逆台形を呈し、内面は、直線的な斜面の摺鉢状の形態で、表面は磨耗している。口径は約46cmに復元され、器高は約27cm残存する。器壁の厚さは口唇付近で5.5cm、底部付近で9cmである。木取りは横木取りで、半裁丸材の樹皮側から削り抜いて器部を形成している。

不明農具とした木製品は、1点出土している(第539図2)。籠状の形態を呈する未製品で、全長は71.2cmを測る。両主面は、割面のままである。側面の中程には挟り加工が施され、挟りから片方の両側面が削取られて細くなっている。細い方が柄で、幅の広いほうが身部と想定される。身部の先端には、切断面と考えられる樹皮側から樹芯に向かう加工痕がある。柄部の先端は折れている。本品の用途としては、鎌や櫛などが考えられる。

斧直柄は、完成品3点(第540図、第541図1)、未製品9点(第541図2、第542図～第548図1)及び破片3点(第548図2～4)がある。第540図1は、全長73.6cm・頭部長25.6cm・柄部長48.0cmを測る。頭部と柄部の境は段がついて明瞭に区別される。柄部は、断面形が円形で、頭部との境から基部に向かって徐々に細くなり、基端部は肥大する。頭部は、中央に段差がついて中央から先の上下両面は平らに削られている。段から先の頭部の側面観は、扇形にやや広がっている。頭部先端は、上面側が突き出るように加工されている。石斧の挿入孔は、頭部の中央よりやや先に位置し、下面は縦軸5.0cm・横軸4.0cmの隅丸長方形を呈するが、上面は縦軸3.6cm・横軸3.1cmの長円形を呈す。第540図2は、全長73.2cm・頭部長21.8cm・柄部長51.2cmを測る。頭部と柄部の境には、不明瞭であるがわずかな段がある。柄部は、断面形が円形を呈し、頭部との境から基部に向かって徐々に細くなり、基端部は算盤玉のような形態で強く肥大する。頭部は上下両面が欠損しているが、上面側の中央には段差がついて、中央から先が1段低くなるように加工されている。石斧の挿入孔は、頭部の中央よりやや先に位置し、孔の中央付近で縦軸4.9cm・横軸3.3cmの隅丸長方形を呈する。第541図1は、全長70.8cm・頭部長20.0cm・柄部長51.0cmを測る。前2点の斧直柄と比較すると、頭部の割合が小さい。頭部と柄部の境は、段がついて区別される。柄部は、断面径が円形で、頭部側より基部側がわずかに細くなり、基端部は肥大する。頭部は、中央より柄部に近いところに段差がついて、段から先の上下両面は平らに削られているが、側面から見ると段から先は扇形にやや広がっている。頭部先端は、上面側がわずかに突き出ている。石斧の挿入孔は、頭部の中央よりやや先に位置し、下面は縦軸5.4cm・横軸3.8cm、上面は縦軸4.2cm・横軸2.8cmの隅丸長方形を呈する。

斧直柄未製品の第541図2と第542図1は、それぞれ全長67.2cmと73.6cmを測る。頭部は、石斧挿入孔が開けられ、孔から先の頭部の上下両面は平らに加工されて頭部の先端も丸く加工されているが、柄部は、まだ断面が方形ないし多角形のままで、基端部は膨らみはあるが整形はされていない。第542図2は、柄部の先半分が平らに加工されて段がつき、その段の先に石斧挿入孔が開けられているが、頭部先端には材の切断面が残っている。柄部は、基端部を太く削り残して細く加工しているが、断面形は方形のままである。第543図1と第544図1は、頭部の先端半分の上下両面を平らに加工しているが、石斧挿入孔は未開孔である。頭部の先端や柄の基端部には、切断面が残る。柄部は、全面加工されているが、断面形は方形で、基端部に特に意識された調整はない。第545図1は、前2点と類似する段階の未製品であるが、上下面や両側面には、割面や樹皮剥き面が部分的に残存している点と、頭部と下面の平坦部の形成面が狭い点と、前者よりも前段階の工程の可能性がある。第546図1と第547図1は、頭部の元半部の上下面に突出部が形成され、突出部から先の上下面には平坦面ができているが、他の上下面や両側面は、割面ないし樹皮剥き面が大部分で、削り加工は部分的に行われているに過ぎない段階の未製品である。第548図1は、頭部と柄部の境が区別されているが、一部を除いて表面は全て割面ないし樹皮剥き面のままで、頭部の先端側と元半部と

の区別はなく、また上下両面に平坦面は形成されていない。頸部及び基部部には切断痕がそのまま残る。第548図2は斧直柄頭部左側面の破片である。先端側と元半部との間に段をもち、段から先の側面は、先端に向かって扇形に広がる。第548図3は、柄部の基部の肥大部片である。第548図4は、柄部の半分からの基部の肥大部分にかけての破片である。

斧膝柄は、小型のものと大型のものが出土している。小型のものは、完成品が2点(第549図1・2)と未製品が4点(第549図3、第550図)ある。大型のものは、未製品が4点(第551図、第552図1)出土している。第549図1は、小型の完成品であるが、柄部の基部側と斧台部の先端の一部を欠損する。柄部は、斧台部の上部部に約57°で接続する。小型の斧膝柄の斧台部と柄部との接続部には、II区出土の大型の斧膝柄(第223図2、第224図1)のような段差の付けられる細工はなく、柄部から斧台部に滑らかに移行している。柄部は、枝を利用した丸材であるが、表面は削って調整されている。斧台部は、全長16.0cmで、断面形はやや偏平な円形である。斧台部の先端の後面には、長さ4.1cm・幅約2.5cm・深さ0.6cmの石斧装着溝が彫られている。装着溝の横断面の底面は、緩やかに湾曲している。また、装着溝が彫られた斧台部の前半部には、側面から前面にかけて幅約2.6~3.0cmの紐掛かりの溝が彫られている。第549図2は、1と同じく柄部が斧台部の上部部に接続する小型の斧膝柄で、柄部と斧台の角度は約63°である。斧台部の石斧装着溝の先端と柄部の先を欠損する。斧台部の横断面形は7角形に加工され、後面の中央には長軸に沿って縁が形成されている。石斧装着溝は、底面幅2.3cm・残存長4.3cmを測る。装着溝のある斧台部の側面から前面にかけては、紐掛かりの溝が彫られている。

小型の斧膝柄未製品の第549図3は、比較的幹が細く、斧台部となる幹と柄部となる枝の太さに、差のない材からなる未製品である。柄部は基部を欠損しているが、残存部には加工痕が観察される。斧台部は、両端に切断痕が残る。先端は両側面から、上端は全周からの加工により切断されている。斧台部の後面に当たる面は、直径の1/3~1/4が削り取られて平らになっている。第550図1も、比較的幹が細く、斧台部と握り部の太さに差のない材からなる未製品である。柄部の残存部には、削り加工が認められる。斧台部は、先端側が両側面からの加工で、上端は全周からの加工によって切断されている。斧台部の後面に削りが入れられておらず、丸木のままである。第550図2・3は、斧台部と柄部の太さの差の大きい材からなる未製品である。2の斧台部や柄部には未だ樹皮が付着している。柄部は、基部を欠損する。柄の残存部に加工痕は認められない。斧台部は、両端とも全周からの加工で切断され、さらに斧台部の後面は直径の1/2のところから縦に割られている。3は2に類似する。

大型の斧膝柄未製品の第551図1・2は、斧台部となる部分と柄部となる部分の太さの差の大きい材からなる未製品である。柄部は、小型の斧膝柄未製品に比べると斧台の中央寄りに取りついている。柄部には、樹皮や節・小枝の一部が残っている。2点の斧台部は、小型の斧膝柄未製品の第550図2・3と同様に、両端とも全周からの加工で切断され、さらに斧台部の後面は直径の1/2のところから縦に割られている。第551図3は、第551図1・2と同じ様な未製品と考えられるが、柄部と斧台部の先端を欠損している。第552図1は、斧台部と柄部の太さの差の小さい材からなる未製品で、斧台部の上端を欠損する。斧台部の先端は全周から切断されているが、後面に割りは入れられていない。柄部の先端は、平坦に切り落とされている。

櫛は、完成品が2点(第552図2、第553図1)出土している。第552図2は、身部の大部分を欠損している。残存長116.8cm・柄部長94.0cmを測る。柄の断面形は円形で、直径は3.2cm前後でほぼ均一である。柄の先端には、縦約9cm・横約9cmで、両側面が凹んだ偏平な糸巻状の握りが付いている。身部は、柄の片面に寄り、柄部との境からは、身部の中央に向かって内湾しながら広がる。身部は、片面が緩やかな凹面になるように作られている。身部の縦軸に沿った中央部の前後両面は、背骨状に削り残されて高くなっている。また、身部の上部縁辺は、柄部との境から肩部にかけて凹面側に盛り上がりしている。第553図1の櫛は、柄部の上半から握り部を欠損する。柄はやや偏平な隅丸方形で、身側側がやや太くなっている。身部は、柄の片面に寄って取り付け、平面形は長楕円形を呈す。

長さは40.0cm、幅は10.2cmを測り、柄との境から先端に向かって薄く加工されている。身部は、長軸方向・端軸方向共に、柄の片面に寄った方が凸面となるように湾曲しており、凹面の縦軸上には、柄部との境から身部の中央付近にかけて背骨状の隆起部が削り残されている。また、凸面の縦軸上には、身部の先端近くから柄の下端にかけて、加工の際に稜が形成されている。

弓は、片半部を欠損するものが1点出土している(第553図2)。白木の丸木弓で、残存長は89.2cmある。弓幹の直径は中央付近で約2cmである。残存する弓幹を側面から見ると緩やかな湾曲があり、さらに子細に観察すると頸側2/3と、破損部側1/3とでは湾曲の方向が逆になっていることが認められる。残存する引は、全周から削られて円錐状に丸く尖っている。

棍棒状木製品は、1点出土している(第553図3)。残存する片側の端が、幅・厚きとも大きく、細い方は先端を欠損する。残存部は、長さ41.6cm・幅5.0cm・厚さ6.6cmを測り、断面形は、太い方は丸みのある二等辺三角形を呈し細い方は長円形を呈する。表面は全体が丁寧に加工され、滑らかに仕上げられている。

容器類は、完全な形のものはなく、その破片と考えられるものが3点出土している(第553図4、第554図1・2)。第553図4は、箱型容器の把手の可能性がある。第554図1は、浅い盤状容器、第554図2は、方形の盤状容器の一部と考えられる。

斧直柄状木製品は、未製品が3点出土している(第554図4、第555図1・2)。Ⅱ区河川跡15層出土の漆塗斧直柄状木製品(第225図2)との関係は不明である。第554図4は、全長57.2cm・握り部長42.2cm・頭部長15.0cmを測る。握り部は、断面形はまだ方形で、端部は偏平な球形に作り出している。頭部は、握り部の長軸方向と同方向に長軸を有する偏平な球形を呈す。頭部の側面は先端ほどやや広がる。頭部の上下両面は、平らになるように加工されている。両平坦面の大きさは、同一ではなく、片側が広がっている。頭部の先端には突起が作り出されている。全体の加工は、非常に細かく丁寧である。第555図1・2は、前記の未製品よりも前の加工段階の未製品で、握り部・頭部とも角張っている。全長は、それぞれ53.2cmと62.4cmである。1の握り部の端は、わずかに肥大するだけで、突帯は作り出されていない。2の握り部の先端は、削り残されて肥大しており、木口には切断痕が斜めに残っている。頭部の先端には、既に突起が作り出されており、第554図4の突起が削り残しであったり、逆に第554図4の段階に突起が継承されることは、第555図1・2の段階の突起が、斧直柄状木製品を頭合わせの2連状態で途中まで作製し、この段階で分断したものでないことを示している。

第554図3は、用途不明の木製品である。半裁された丸材の両端に加工痕がある。

材には、建築材(第555図3、第556図)、板材(第557図～第560図他L-993・1013・1153・1158・1181・1182)、角材(第561図～第562図他L-979・1010・1029・1051・1160・1177)、分割材(第563図～第566図他L-977・978・982・985・987・989・995・996・1002・1005・1009・1012・1014・1015・1018・1020・1021・1023・1025・1027・1030・1034・1035・1038・1041・1042・1044・1045・1048・1049・1050・1134・1135・1136・1141・1143・1146・1151・1154・1157・1159・1164・1165・1166・1170・1173・1175・1176・1186・1187・1190・1192・1193・1199)、半裁丸材(第567図1～3)、丸材(第567図4～6他L-1155)、その他の材(第568図1・2他L-1040)がある。

建築材の第555図3は、梯子板で、下端から2段分の破片である。幅が20.0cmの板目板材で、木表に踏段を作っている。残存長は82.8cmある。踏段の出は3cm前後と小さく、角も丸く磨耗している。段と段の間の長さは、先端から1段目の間が約38cm、1段目と2段目の間が約44cmである。第556図1は、木の又を利用したY字状を呈する材で、全長は81.2cmを測る。幹の先端は逆円錐形に調整され、上端付近には、幅5～6cmの溝状の握り込みが巡っている。枝部は、先端は全周から切断されており、対面する内側の面には割が入れられて、太さまたは間隔が調整されている。第556図2は、全長87.6cm・幅12.2cm・厚さ2.4cmの柁目板材である。片側の側面の両端は、木口に向かって徐々に幅が狭くなるように加工されている。木口は、狭く加工されている側面に向かって広がるように斜めに加工され

ている。

板材には、柾目板・板目板及びナナメの木取りの板材がある。柾目板には、それ自体が製作の目的物とは考えられないが、一定の形態とそれに伴う諸要素の類似する破片と、形態の個別的な材がある。一定の形態を備えた破片としては、3種類に分けられる。第557図2～4の柾目板は、イ、木口は、木目に対して片方が直交し、他方は斜めになっており、平面形は2直角の台形を呈する。ロ、横断面形は長方形を呈する。ハ、両主面は、大部分を割面が占める。ニ、斜めの木口には、樹皮側から樹芯に向かう加工痕（切斷痕）がある。ホ、平らな側の木口は、両主面から（及び側面から）の加工により切斷されている。ヘ、幅は18cmから22cm、厚さは2.7～5.1cmの平らな板材である。ト、素材の樹種は、クスギ節である。という共通性が認められる。第558図1～3の柾目板には、イ、平面形は方形を呈し、断面形は長方形を基調とする。ロ、両主面の大部分を割面が占める。ハ、木口は、両主面又は片方の主面からの加工により切斷されている。ニ、幅は12cmから19cm、厚さは2.5～5.7cmくらいを基調とする平らな板材である。ホ、素材の樹種は、クスギ節である。という共通性が認められる。第558図4～7・第559図1～8は、イ、全長は8.0cm～19.0cm、幅3.7cm～9.6cmの不整形を呈する。ロ、横断面形は、不整な凸レンズ状を呈し、縦断面形は両端とも尖った楔状を呈する。ハ、両面は割面がほとんどを占め、削り状の加工痕跡があるものはその痕跡が端部にだけ認められる。ニ、素材の樹種は、クスギ節を主体（クリやカエデ属もある。）とする。という共通性がある。3種の柾目板片の性格については、後に考察する（第8部・第7章・第7節・4）。

個別的な柾目板には、第559図10、第560図1～4・6がある。いずれも「割り」によって一定の幅と厚さに整形されているが、断面形態はミカン割り状を呈し、片側の厚さが厚くなっているものが多い。

板目板は、木製品や建築材を除くとほとんどなく、柾目板に比べると極端に少ない。第560図5に図示したものは、全長35.1cm・幅11.3cmの楕円形を呈するものである。周辺が丁寧に整形されているので、木製品に関係する遺物の可能性もある。

木目がナナメの板材は、2点出土している。第557図1は、幅3.5cm・厚さ1.1cm前後・残存長29.9cmの細長い板材で、中軸上の3箇所に、直径3mm前後の円孔が開けられている。第559図9は、全長64.7cm・幅11.4cm・厚さ2.6cm前後の板材で、やや幅の広い方の木口は斜めになっており、樹皮側から樹芯に向かう切斷痕が残る。反対の木口は、片側の主面から切斷されている。

角材は、10cm前後の短いものと50～60cm程度のもので、1mを超える長いものが出土している。第561図1は、全長10.8cm・幅7.0cm・厚さ5.5cmで、片方の木口は全周から加工されて円錐状に、反対の木口は1方向から加工されて斜めの加工面となっている。第561図2は、全長8.2cm・幅4.4cm・厚さ3.9cmで、木口は両方とも全周から加工されて円錐状に尖っている。短い角材は、木口以外の面はすべて割面となっている。50cm程度ないしそれ以上の角材は、両端に切斷痕が残る、長さの特定できるもの（第561図4～6）と、片端または両端を欠損しているために、本来の長さの分からないものがある。側面は、割面ないし樹皮剥ぎ面だけのもの（第561図4・7、第562図1・2）と、側面の一部が削り調整されているもの（第561図3・5・6、第562図3～5）とがある。

分割材には、木表が樹皮剥ぎ面で他の側面が割面からなり、横断面形が扇形のミカン割材（第563図1・4、第564図2・4、第565図1～4・6）と、ミカン割材の樹芯部を割取り、横断面形が台形の割材（第563図2・3・5、第564図1・3、第565図5）のような一定の形態を呈するものと、割面や加工痕・切斷面をもつが、形態的には不統一な材（第566図1～7他多数）とがある。前2者には、両木口に切斷痕が残る、材の長さを特定できるものが多数含まれている。これらの中には、木製品や建築材の原材も含まれているものと考えられる。後者の分割材は、切斷面を除くとあまり加工は進んでいない。後者のなかには、端部が焼け焦げたものがある。

半裁丸材は、3点出土している。第567図1は、全長59.3cm・直径9.4cmで両端に切斷痕があるが、片方の端部（実測図下側）は、割面側からも切斷のための加工が施されているので、半裁された段階でもっと長い材であった可

能性がある。第567図2は、全長47.8cm・直径4.6cmの材で、両端に切断痕がある。第567図3は、両端を欠損する半裁丸材で、残存長42.5cm・直径6.1cmを測る。

丸材は4点出土している。第567図4と6は、それぞれ全長109.3cm・直径約5cmと全長62.6cm・直径約2.5cmを測り、片方の先端はともに杭先状に加工されている。第567図5は、全長42.0cm・直径約6cmの丸木材で、両方の木口は、全周からの加工で切断されている。

#### ④土製品

VIII・IX区15層出土の土製品としては、スプーン状土製品と腕輪状土製品がある。スプーン状土製品は、破片が2点(第569図1・2)ある。1は、柄の端部と握り部の大部分を欠損する。残存長6.2cm・柄部幅1.4cm・柄部厚1.3cm・握り部残存幅2.6cmを測る。表面は、全面ナデ調整されている。2は、柄部を欠損する握り部の破片で、半球形を呈し口縁部は内湾する。握り部は、縦4.2cm・横3.8cm・深さ2.7cmを測る。表面は、全面ナデ調整されているが、器面には細かな凹凸がある。

腕輪状土製品は、破片が6点(第569図3～7)出土している。このうち2個体は同一遺物の破片と判断された(7)。径は、外径で6.0cm～9.8cmのものまでであるが、湾曲の仕方が不均等であるので、正円ではなく長円径である可能性はある。幅は、2.5cm～2.8cmの比較的狭いもの(3～6)と、4cmとやや広いもの(7)がある。表面の調整は、内外面ともナデ調整によるもの(3・4)と、内外面ともミガキ調整によるもの(5)、及び内外面ミガキ調整のうえ外面に数条の平行沈線が走るもの(6・7)がある。なお、5については、片側の側縁の一部が張り出していた可能性はある。

#### ⑤骨角器

骨角器は、牙齒製品も含めて、調査および土壌洗浄によって84点出土している。骨角器の種類としては、漁猟刺突具・刺突具・ヘラ・頸状鹿角製品・装飾品・骨角器未製品・その他加工痕のある骨角がある。

漁猟刺突具は、主に漁労・狩猟に際して柄につけて使用されたと考えられるもので、先端から基部まで一定の形態に調整されているものである。この類の骨角器は、細長い針状のもの16点(第570図1～16)と、やや扁平な棒状のもの6点(第570図17～18、第571図1～4)がある。前者には、完全な形のまま残るものはない。哺乳類の骨幹を丁寧に加工して作られ、断面形は円形を呈し、表面には光沢もある。太さは直径0.2cmから0.5cmのものまでであるが、直径が3mm以下の細いもの(第570図1～7)と、直径が4mmを越すやや太いもの(第570図8～16)がある。細い方の残存長は、長いもので6.8cm(5)ある。太い方の残存長は長いもので10.7cm(14)ある。出土した細長い針状の漁猟刺突具の部位としては、先端を含む破片が7点、中程の部分の破片が7点、基部の破片が2点で、基部の破片の占める割合が低い。なお、第570図13は焼けている。

やや扁平な棒状の漁猟刺突具は、多様な形態をもち定型性に欠ける。第570図18は、全長10.4cm・最大幅0.6cmを測る。基部付近に最大幅があり、そこから先端へ向かって徐々に細くなる。また基部部に向かって細くなって両端とも尖る。全体として細長い柳葉状を呈する。第570図17も、これに類する形態と考えられるが、基部部は丸くなっている。第571図1は、漁猟刺突具の先端部の破片である。幅0.7cm・厚さ0.5cmのやや扁平な作りで、先端から約2cmのところから細くなり尖っている。第571図2は、漁猟刺突具の縦に割れた破片である。基部には、主面及び側面から削り込んで段差が作られ、基部が形成されている。第571図3は、基部に抉りのある無茎籬を細長くしたような形態のものである。全長は7.6cmあり、中央付近の断面形は隅丸長方形を呈する。二股の端部よりも狭端部が磨耗し、光沢があるので、狭端部が先端と考えられる。先端以外の表面には、加工の際の擦痕が観察される。第571図4は、エイの尾棘を利用した全長6.3cmの刺突具で、基部は両側面から削られて幅が狭くなっている。1～3は哺乳類の骨を素材とする。

刺突具は、先端は加工されて尖っているが、基部ないし柄部は、素材を形成するための加工以外ほとんど未加

工の状態にある製品である(第571図5～11、第572図1)。刺突具の素材は、そのまま形態に反映し、3種類に分けられる。第571図5は、鹿角の枝角の先端を利用したもので、部分的に横方向の研磨痕跡が観察されるが、形状が大きく変更されていない。先端に鋭さはなく、半球状に丸く磨滅し、縦方向の擦痕が観察される。第571図6～8の3点は、哺乳類の骨幹を利用したもので、棒状に削り取った骨幹の片方の先端を研磨して作製されており、先端部は鋭く尖っている。基部は断面がそのまま残っている。先端の形状は、丸く長いもの(6・8)と、多角形やや短いもの(7)がある。第571図9～11・第572図1の4点は、鹿の尺骨の近位端付近を利用したもので、近位端を握り部とし、遠位端側に刺突部を作り出している。刺突部は、前縁に形成されているものと後縁に形成されているもの両方がある。刺突部の長さは比較的短く、2cm前後である。先端の形状は、ヘラのようにやや幅のあるものと、錐の先のように細い多角形のものがある。

ヘラは、先端部の断面形が扁平な楕円形または円形に近いもので、刺突具のように鋭さのないものである(第572図2～8、第573図1～4)。素材の違いによって分類すると、3種類に分けられる。第572図2は、鹿の尺骨の近位端を利用したもので、先端は扁平で刃部は丸い。第572図3～8・第573図1～3の9点は、鹿角ないし哺乳類の骨幹を線に割ったものを素材とし、その先端を研磨して作製されたものである。鹿角を素材とする場合は、側面が側面だけで無調整のもの(第572図5・6)と、側面全体が調整されているもの(第573図1)がある。骨幹を利用したヘラは、剝離調整(第572図4他)や研磨調整(第572図3他)して形態を整えている。この類のヘラの先端は、扁平なものや丸いものがあり、一つの製品の両端でその両方を兼備しているもの(第572図4)も存在している。第573図4は、断面形が蒲葺形の骨をそのまま素材とし、その先端を研磨して作製している。先端は磨耗し、表面には横方向の擦痕が広い範囲に観察される。

弓状鹿角製品は、8点出土している(第573図5～12)。形態としては、長円錐形を呈して内面に盲孔の開く形態のもの(5～11)と、貫通孔をもつ円筒形のもの(12)がある。第573図5は、下端部を欠損する。残存部の上半は研磨によって尖り、下半は溝状に削られた握り込みが3重に巡る。6は、5に類似する形態で、先端の欠損部には鼠の咬痕が残る。下端は溝状の削り込みのところから欠損する。7は、弓状鹿角製品の上部の破片で、側面から見ると湾曲している。残存部中央付近の側面は、鼠によって齧られて欠損している。残存する先端は細い突起状に削られ、下半部は2段の中膨らみになるように加工されている。8は、細長い棒状を呈し、緩い湾曲がつくように削られている。残存部の下端は、溝状の削り込みのところから欠損し、残存部中央のやや下には、擦切りによって浅い溝状の握り込みを形成している。9は、弓状鹿角製品の下半分の破片で、残存上部は片側にわずかに反りをもつ。基部の周辺と残存部上端は、突帯状に削り出されている。残存部上端は細く削られて、5～8のような先端部へと続くものと考えられる。内面には口径1.3cm・深さ2.7cmの円錐形の盲孔が開けられている。10は9に類似する形態であるが、基部は突帯状に盛り上がり、わずかに肥大するだけである。また、残存部上端も突帯は巡らず、側面の左右に半円盤状の突起が削り出されている。11は、5の溝状に削られた握り込みの中間の破片と考えられる。

貫通孔をもつ円筒形の形状鹿角製品は、「浮袋の口」と呼ばれる形態のもので、全長2.0cm・直径1.9cmを測る。外面の中央には、溝状の削り込みが一条巡る。内面には、口径1.2～1.3cmの貫通孔が開けられ、両端の口径には差はない。

装飾品として分類した牙齒製品を含む骨角器は9点出土しており、種類としては髪飾り状のもの(第574図1・2)、穿孔品類(第574図3～7)、垂れ飾り類(第574図8～9)がある。第574図1は、両端が尖り全面に光沢をもつ細い棒状の製品で全長17.9cm、最大径0.6cmを測る。片側の端部がより細く加工されている。太い方の端部も丁寧に加工研磨され光沢があることから、漁猟刺突具ではなく、髪飾り状の装飾品と考えられる。2も同様の機能が考えられる鹿角製品で、全長15.2cm・最大幅0.7cm・厚さ0.5cmを測り、断面形はやや扁平である。片側の先端は尖っているが、反対の端部は、現状の幅よりも大きな直径の孔が両面から開けられた痕跡が残り、丸く挟まれたような形態

を呈する。

穿孔品類の3は、リング状を呈するイノシシの犬歯製品で、長径1.2cm・短径0.9cm・厚さ0.3cmの素材に、直径0.5cmの円孔を両側から開けている。4は、全長1.5cm・幅1.0cm・厚さ0.3cmで、依形を呈するイノシシの下顎犬歯製の素材に2孔を開け、さらに片側の側面にはV字の切れ込みを2カ所に入れている。5は、全長2.5cm・幅1.3cm・厚さ0.4cmで、4と同様に依形を呈するが、素材は鹿角である。縦軸にそって2孔を開け、さらに両側面にV字の切れ込みを3カ所ずつ入れている。孔の縁には紐擦れが観察でき、凸面側(実測図左面)は、両孔に近い内側の部分が磨減し、平坦面側(実測図右面)は、両孔とも製品の端に寄った部分が磨減している。したがって、この製品には、平坦面側の端部方向から紐が来て、平坦面側から凸面側へ抜け、凸面の中央を通って隣の孔の凸面側に行き、孔を滑って再び平坦面側へ出て、反対の端部方向に紐がのびていたものと解釈される。6は、残存長4.3cm・最大幅1.4cm厚さ0.6cmの骨製品で、中軸に沿って3カ所に穿孔されている。中央と一部欠損する孔の周辺と内面にはタール状の物質が付着している。7も6と同形製の製品で、残存長6.0cm・最大幅1.8cm厚さ0.6cmを測る。穿孔は2カ所である。6にタール状の物質が付着していることから、6・7については、装飾品以外の用途の可能性もある。

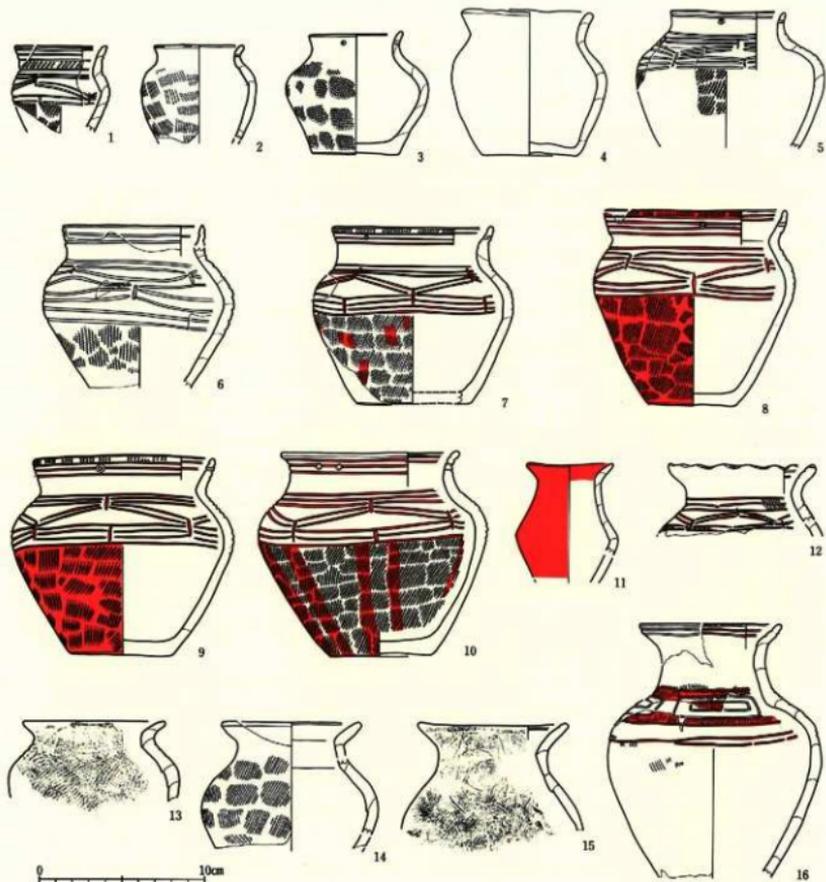
垂れ飾り類の8は、弧状を呈するイノシシの大歯先端部を素材とした製品で、全長7.8cm・幅1.5cm・厚さ0.6cmを測る。両端部には各1孔が開けられている。両方の孔は、製品全体の弧の内側に近い先端部が開けられている。孔には紐擦れができて磨耗している。実測図の左側の表面には、エナメル質が残り光沢が美しい。9は、イノシシの大歯基部を素材とした製品で、片側を欠損するが、弧状に湾曲する。幅は2.2cmを測る。残存する端部は斜めに切断されたうえ研磨されている。端部の内側に寄った部分に1孔が開けられている。

骨角器未製品は、側面に連続的な剝離痕跡や研磨痕跡など加工意図の認められる骨材で、形態としては6.3cm～17.5cmの細長い棒状を呈する(第574図10～12、第575図1～5)。素材は、鹿の中足骨ないし中手骨である。剝離作業は骨材の外側から内側側面に向かって行われるのが一般的傾向(第574図11～12、第575図1～5)であるが、両面に剝離作業の行われているもの(第574図10)もある。第574図11には、両側の破砕断面に剝離作業の後に研磨作業が行われており、骨角器の製作工程を示している。

加工品は、上記以外の研磨痕跡のある破片、切断痕跡のある破片、加工痕跡のある破片をこの類に一括した(第575図6～9、第576図1～9、第577図1)。第575図6は、骨の外表面に粗い研磨痕跡の残る破片で、破砕断面に研磨痕跡は観察できない。ヘラ状骨角器の先端部の破片と考えられる。第575図7は、偏平な骨の片端に、両平坦面からの擦切り痕跡がある。第575図8・9は、鹿の尺骨近位端付近の破片で、遠位端側に両平坦面からの擦切り痕跡があり、9には、擦切り加工に先行する研磨痕跡と穿孔がある。第576図1～3は、周囲が完全に残る鹿角で、片側の端部には全周からの擦切り痕跡があり、反対の端部は壊れた不整面となっている。第576図4は、鹿の中手骨で、片端が研磨され、さらに多方向からの擦切り痕跡がある。第576図5・6は、破砕した鹿角で、残存する端部には多方向からの擦切り痕跡が残る。第576図7～9は、鹿角の先端部の破片で、表面に横位方向の浅い擦切り痕跡状の擦痕が観察される。7・8の近位端は壊れた不整面となっており、9の近位端には、多方向からの擦切り痕跡がある。第577図1は、2本の枝角のある鹿角である。近位端は折れ面、遠位端は約1cmの間隔の上下2段の擦切り痕跡のところで折れている。上位の枝角は折れ、下位の枝角には下面に浅い擦切り痕跡がある。下位の枝角は、基部を除いて全体的に滑らかになっているが、研磨痕跡や使用による擦痕は観察できないことから、現生の鹿角の先端に見られるのと同様の磨耗により、滑らかになったものと判断される。

VIII-X区15層出土の骨角器には、上記したものの以外に、骨角器の可能性のあるものが2点出土している(第577図2～3)。2は、哺乳類の比較的太い骨端から骨幹の破砕片である。鋭い割れ口の一部に微細な剝離痕が観察できるので、この部分を刃部として利器に使用した可能性が考えられる。3は、残存長16.6cm・幅5.8cm・厚さ2.7cmの厚板状の骨で、片側の主面にはもとの外表面が残るが、他の面は多孔質の面である。素材はクジラの骨と考えられる。

(本文P627へ続く)



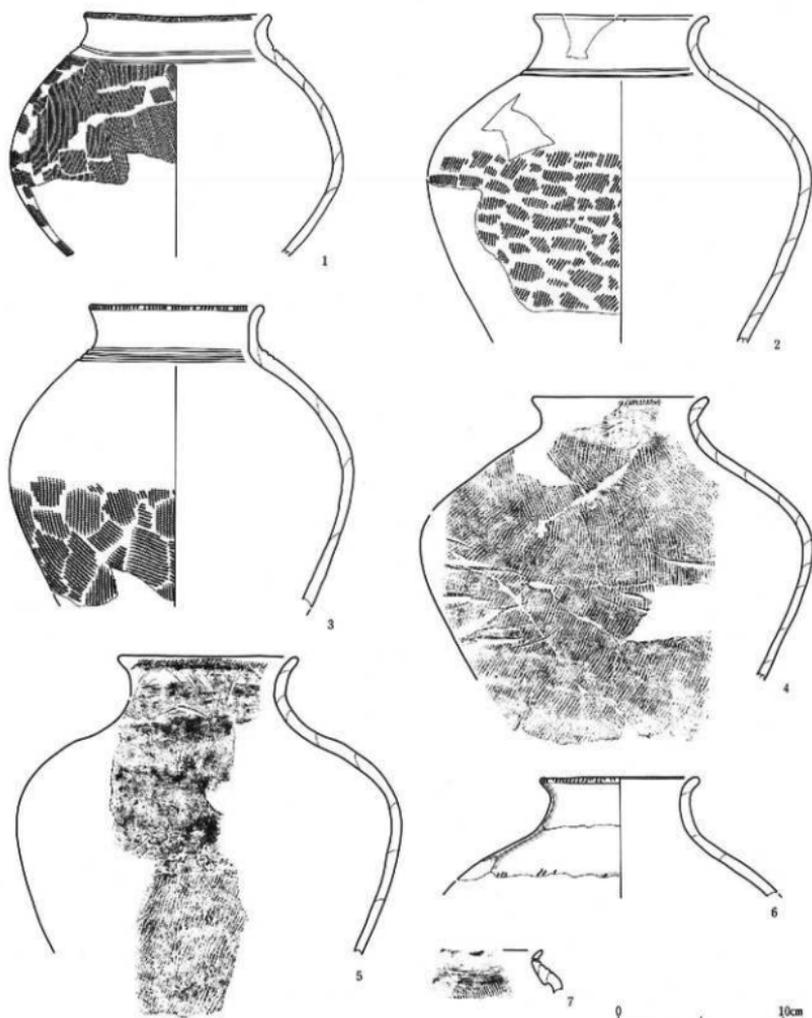
国中 序号	纹饰 番号	类别	窑址	出土地点			度量			特征·图考	分期 时期	写真图版	
				地区	遗址	层位	取土番号	器高	口径				底径
1	B-316	夹生土器	壹	VRCS	河内郡	15a层		(5.5)	5.6	麻纹文B1V, 地文DIII, 孔7。	A2a i	弥生中期	178-1
2	B-608	夹生土器	壹	DXCS	河内郡	15d层		(6.0)	5.5	地文I。孔1-7。	A2ai	弥生中期	
3	B-312	夹生土器	壹	VRCS	河内郡	15a层	土器No.4	7.4	5.8	5.3 地文DIII, 孔1-1。	A2ai	弥生中期	178-2
4	B-313	夹生土器	壹	VRCS	河内郡	15d层		8.9	7.9	5.8 孔4。	A2ai	弥生中期	178-3
5	B-484	夹生土器	壹	DXHS	河内郡	15d层		(8.5)	7.6	麻纹文B1V(4), 地文DIII, 孔1-7。	A2ai	弥生中期	178-4
6	B-606	夹生土器	壹	DXBS	河内郡	15d层		(10.0)	8.5	麻纹文B1U(4), 地文DIII, 孔7。	A2avi	弥生中期	178-5
7	B-607	夹生土器	壹	DXCS	河内郡	15d层		11.0	9.8	7.0 麻纹文B1V(4), 地文DIII, 孔1-1。	A2avi	弥生中期	178-6
8	B-611	夹生土器	壹	DXDS	河内郡	15a层	土器No.10	12.2	11.1	5.3 麻纹文B1V(4), 地文DIII, 孔1-1。	A2avi	弥生中期	178-7
9	B-584	夹生土器	壹	DXDS	河内郡	15c层		12.3	11.0	6.2 麻纹文B1V(4), 地文DIII, 孔1-1。	A2avi	弥生中期	178-8
10	B-585	夹生土器	壹	DXDS	河内郡	15a层	土器No.9	12.6	10.9	6.1 麻纹文B1V(4), 地文DIII, 孔2-2。	A2ai	弥生中期	178-9
11	B-608	夹生土器	壹	DXCS	河内郡	15a层		(7.3)	5.2		A1av	弥生中期	178-10
12	B-588	夹生土器	壹	DXDS	河内郡	13c层		(4.4)	9.0	麻纹文A1V(5), 磨研or光观, 地文I。	A1ai	弥生中期	178-11
13	B-315	夹生土器	壹	VRCS	河内郡	15a层		(4.7)	8.4	地文I。	A1ai	弥生中期	
14	B-314	夹生土器	壹	VRCS	河内郡	15c层		(7.7)	8.5	地文I。	A1av	弥生中期	178-12
15	B-289	夹生土器	壹	VRCS	河内郡	11-15a层		(6.5)	9.2	地文DIII。	A1av	弥生中期	
16	B-665	夹生土器	壹	DB-CE	河内郡	13-15层		(15.5)	8.6	四角文(4), 光观。	A1av	弥生中期	178-13

第418图 VII·IX区河川跡15層出土夹生土器 1



器中 番号	器名	類別	出土 地点	出土器号	口径	底径	特征・備考	分類	時期	写真版	
1	B-585	弥生土器	IX区	河川跡 15a-56	(11.4)	10.0	地文目1。	A1aiv	弥生中期	179-1	
2	B-262	弥生土器	IX区	河川跡 15a-57	12.4	10.6	5.9 編彩文(7)。光澤。地文1。	A1aiv	弥生中期	179-2	
3	B-717	弥生土器	IX区	河川跡 15a-58	( 9.2)		平行波線文(2)。	B1	弥生中期		
4	B-495	弥生土器	IX区	河川跡 15a-59	土器No.12	( 6.9)	4.3		A1a	弥生中期	
5	B-496	弥生土器	IX区	河川跡 15a-60	( 5.9)		4.4		A1a	弥生中期	
6	B-807	弥生土器	IX区	河川跡 15a-61	土器No.5	( 7.9)	4.8		A1a	弥生中期	
7	B-318	弥生土器	IX区	河川跡 15a-62	( 8.9)		5.4		A1a	弥生中期	
8	B-605	弥生土器	IX区	河川跡 15a-63	(12.2)		6.0	地文目C1。	A1a	弥生中期	179-3
9	B-799	弥生土器	IX区	河川跡 15a-64	( 7.6)			地文目C1。	A1a	弥生中期	
10	B-568	弥生土器	IX区	河川跡 15a-65	( 5.0)		3.9	地文目。編彩了。	A	弥生中期	
11	B-825	弥生土器	IX区	河川跡 15a-66	( 5.1)		5.0	同心円文7。光澤。地文目1。	B1	弥生中期	179-4
12	B-446	弥生土器	IX区	河川跡 15a-67	( 7.3)		11.8	四角文(4)。	B1a1	弥生中期	179-5
13	B-558	弥生土器	IX区	河川跡 15a-68	(11.4)		8.4	平行波線文(2)。地文目C1。	A1a1	弥生中期	179-6

第1919图 VII-X区河川跡15層出土弥生土器 2



图中 序号	登錄 种	类别	材质	出土地点				度量			特征·备注	分期	所属	写真图号
				地区	遗址	层位	取土番号	口径	口径	口径				
1	B-455	弥生土器	磁	IXC区	河川跡	IIc-3a層		(14.9)	11.5		平行直線文(2)。地文1。	B1a1	弥生中期	179-7
2	B-456	弥生土器	磁	IXC区	河川跡	IIc-3a層		(20.0)	10.7		平行直線文(2)。地文IIIa。	B1a1	弥生中期	179-8
3	B-473	弥生土器	磁	彌区	河川跡	15層	土器No.7	(16.4)	10.6		平行直線文(3)。地文I。	B1a1	弥生中期	180-1
4	B-487	弥生土器	磁	彌区	河川跡	IIc-3a層		(17.3)	10.7		地文1。	B1a1	弥生中期	
5	B-487	弥生土器	磁	IXC·D	河川跡	13a層		(18.2)	11.0		地文I。	B1a1	弥生中期	
6	B-716	弥生土器	磁	IXC区	河川跡	IIc-3a層		(7.1)	9.5		地文I。	B1a1	弥生中期	
7	B-317	弥生土器	磁	彌区	河川跡	13a層					平行直線文(3)。地文1。孔1-7。	B1a1	弥生中期	

第420图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器 3



图种	序号	器别	窑别	出土地点			度量		特征·備考	分期	时期	所属层位			
				地区	墓葬	层位	取土层号	口径					器深		
1	B-710	弥生土器	曹	IXB-C区	河川跡	15a-5層		(8.5)	11.2			地文IVBiv。	BIai	弥生中期	180-2
2	B-669	弥生土器	曹	IXB-C区	河川跡	15a-5層		(23.9)	22.7				BIai	弥生中期	180-3
3	B-722	弥生土器	曹	IXB-C区	河川跡	15a-5層		(5.4)	11.0				BIai	弥生中期	
4	B-465	弥生土器	曹	IX区	河川跡	15a層	土器No.31	(4.7)	12.5				BIaiii	弥生中期	
5	B-462	弥生土器	曹	IXB区	河川跡	15a層		(4.6)	10.4				BIaiii	弥生中期	
6	B-628	弥生土器	曹	IXB区	河川跡	15a層		(5.7)	8.0			地文I。	BIaii	弥生中期	
7	B-460	弥生土器	曹	IXB区	河川跡	15a層	土器No.6	(6.4)	9.2			器内文(?)、光澤、地文I。	BIaii	弥生中期	
8	B-642	弥生土器	曹	IXB区	河川跡	15a-5層		24.3	11.1	7.5		器内文3段(4)、光澤、地文IVBiv。	BIaiiv	弥生中期	180-4
9	B-683	弥生土器	曹	IX-C区	河川跡	15c-5層	土器No.15	27.5	10.4	9.6		地文I。	BIaiiv	弥生中期	180-5

第421图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器 4



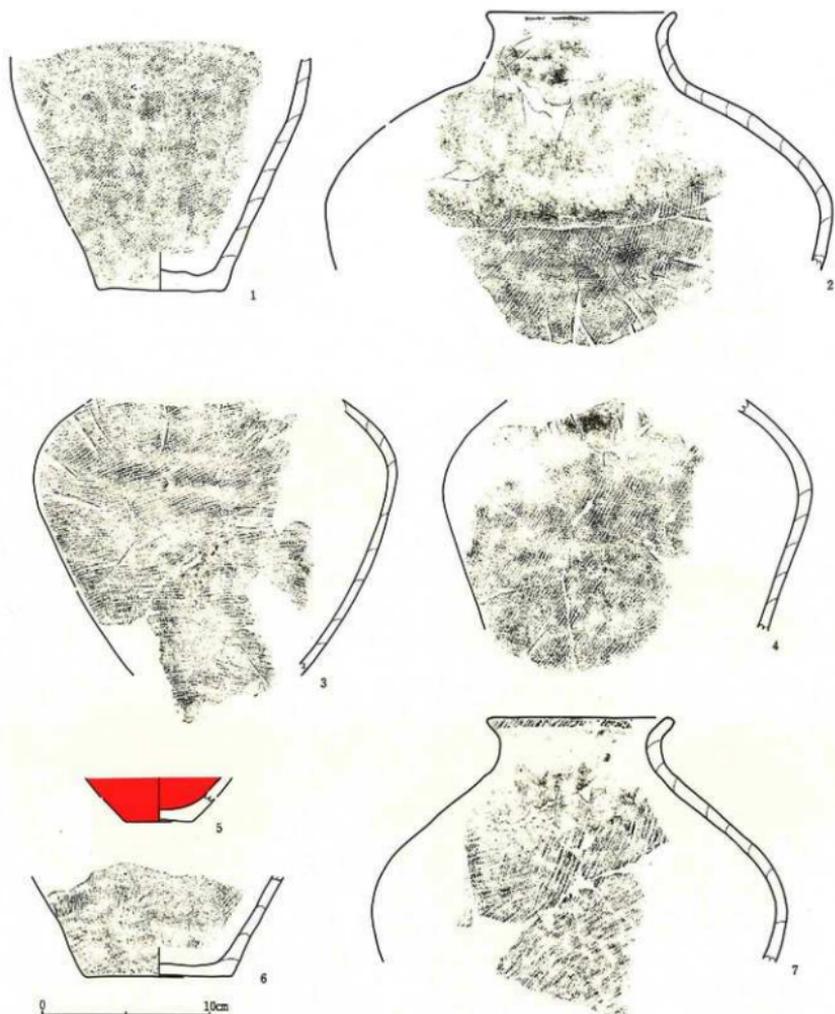
图中 序号	器物 编号	类别	窑群	出土 地点	地层 位	出土 编号	口径	底 径	高	特 殊 · 饰 考	分 组	时 期	写 真 图 版
1	B-700	夹生土器	灰	IX56区	河川阶	154层	( 4.9)	9.8		地文 I。	A1aiv	夹生中期	
2	B-468	夹生土器	黑	VM区	河川阶	14层 15a层	( 4.6)	12.2			B1aiv	夹生中期	
3	B-720	夹生土器	灰	IX56区	河川阶	15c层	( 6.6)	12.7		地文 I。	B1aiv	夹生中期	
4	B-711	夹生土器	灰	IXC区	河川阶	10e-10f层	(10.4)	9.4			B1aiv	夹生中期	
5	B-723	夹生土器	灰	IXC区	河川阶	15c层	(13.9)			地文带 II。	B1	夹生中期	
6	B-550	夹生土器	黑	IXC区	河川阶	15d层	( 7.9)	7.5	3.8	四角文 2 横 (3)。光斑。地文 III C。	A1biv	夹生中期	181-1
7	B-796	夹生土器	黑	IXC区	河川阶	15d层	( 9.4)	9.0			A1biv	夹生中期	181-2
8	B-797	夹生土器	灰	IXC4区	河川阶	15a层	( 3.6)	6.8			A1biv	夹生中期	
9	B-266	夹生土器	灰	VM区	河川阶	15c层	( 4.5)			斜纹文 7 (4)。光斑。地文 I。	A1biv	夹生中期	
10	B-708	夹生土器	黑	VM区 IXDX区	河川阶	10-10a层	( 8.3)	8.6			A1biv	夹生中期	181-3
11	B-263	夹生土器	黑	VM区	河川阶	14层	(12.5)		6.5	四角文 3 横 (4)。光斑。地文带 I。	A1b	夹生中期	181-4
12	B-645	夹生土器	灰	IX56区	河川阶	154层	(10.4)			四角文 3 横 (6)。光斑。地文 III C。	A1b	夹生中期	181-5
13	B-265	夹生土器	灰	VM区	河川阶	15a层	( 8.2)			斜纹文 (4)。光斑。地文 III C。	A1b	夹生中期	181-6

第422图 VII·IX区河川阶15层出土夹生土器 5



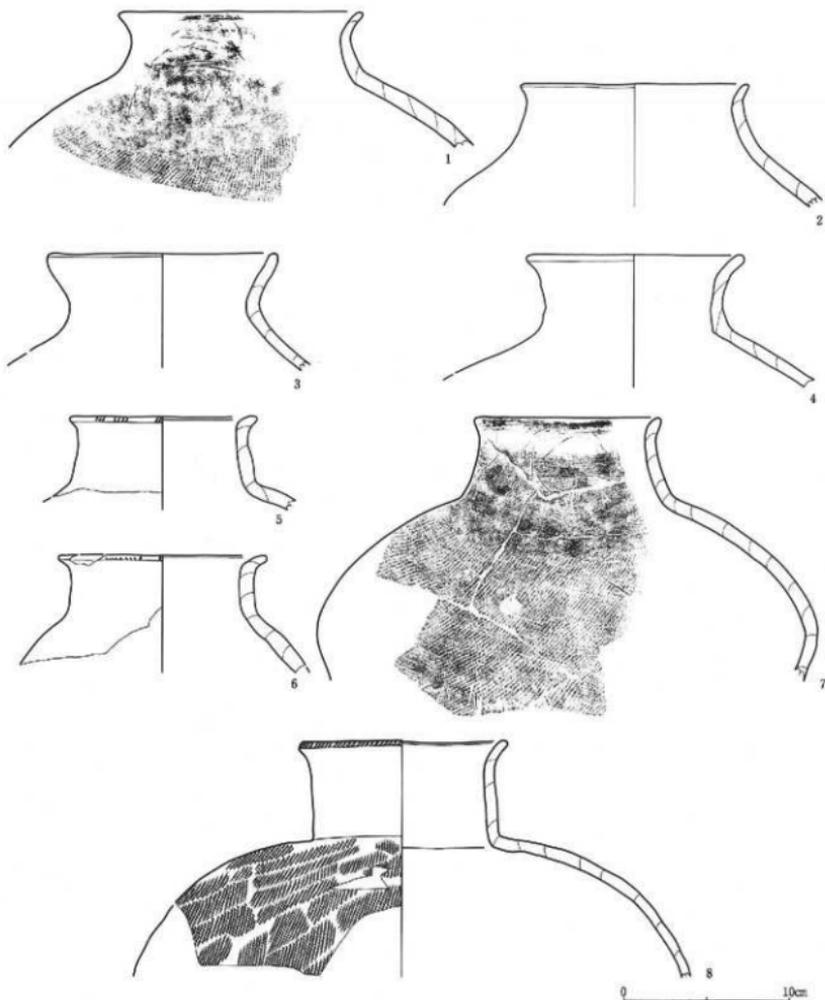
区中 编号	登錄 番号	器别	器形	出土地点			度量			特征・備考	分期	时期	写真图版
				地区	遺積	层位	取上番号	器高	口径				
1	B-267	弥生土器	甕	埤区	河川跡	2a-10層	(6.0)			編野文(3)。充積。地文暗1。	A1b	弥生中期	
2	B-647	弥生土器	甕	IXD区	河川跡	15a層	(11.3)	6.5		平行波線文(2)。地文暗1。	B1	弥生中期	181-7
3	B-635	弥生土器	甕	IXD区	河川跡	2a-10層	(11.1)	6.5		編文(8)。波線。地文暗A出。	B1	弥生中期	181-8
4	B-625	弥生土器	甕	IXB区	河川跡	15c層	(5.6)			波和角文(?)。充積。地文1。	B1	弥生中期	182-1
5	B-640	弥生土器	甕	IXB区	河川跡	15c層	(16.0)	5.8		編野文(4)。充積。地文1。	B1	弥生中期	182-2
6	B-631	弥生土器	甕	IXCB区	河川跡	15c層	(12.1)	6.5		編野文(?)。充積。地文暗1。	A1	弥生中期	182-3
7	B-476	弥生土器	甕	埤区	河川跡	11-15a層	(15.4)			地文暗1。	B1	弥生中期	
8	B-663	弥生土器	甕	IXA-C区	河川跡	15a層	(12.3)	6.6		地文1。	B1	弥生中期	

第423图 VII・IX区河川跡15層出土弥生土器 6



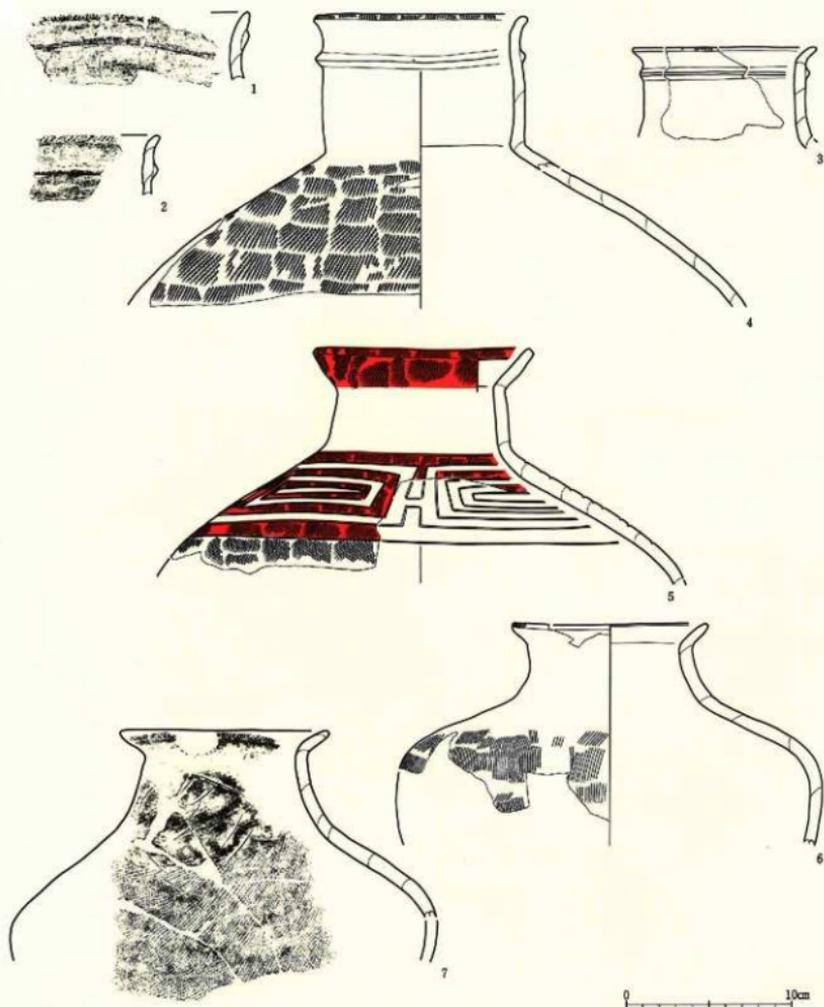
图中 序号	窑址 编号	材质	器形	出土地点			度量			纹饰·装饰	分期	时期	写真图版	
				地区	遗址	层位	取土编号	器高	口径					底径
1	B-712	夹生土器	碗	IX区	河川跡	15a層		(14.3)		7.5	地文肌C <sub>II</sub>	B1	弥生中期	
2	B-696	夹生土器	碗	IX区	河川跡	15a-6層		(15.8)	11.4		地文肌C <sub>II</sub>	CIaiv	弥生中期	182-4
3	B-677	夹生土器	碗	IX区	河川跡	15a-6層		(16.9)			地文IVBiv	B1	弥生中期	
4	B-363	夹生土器	碗	IX区	河川跡	15a-5c層	土器No.9	(14.1)			地文肌C <sub>II</sub>	B1	弥生中期	
5	B-796	夹生土器	碗	IX区	河川跡	15a-4層		(2.7)		4.8		B2	弥生中期	
6	B-375	夹生土器	碗	IX区	河川跡	15a層		(6.1)		8.8	地文IVBiv <sub>a</sub>	B1	弥生中期	
7	B-692	夹生土器	碗	IX区	河川跡	15a層		(15.0)	11.2		地文肌B <sub>II</sub>	B1ai	弥生中期	182-5

第424图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器 7



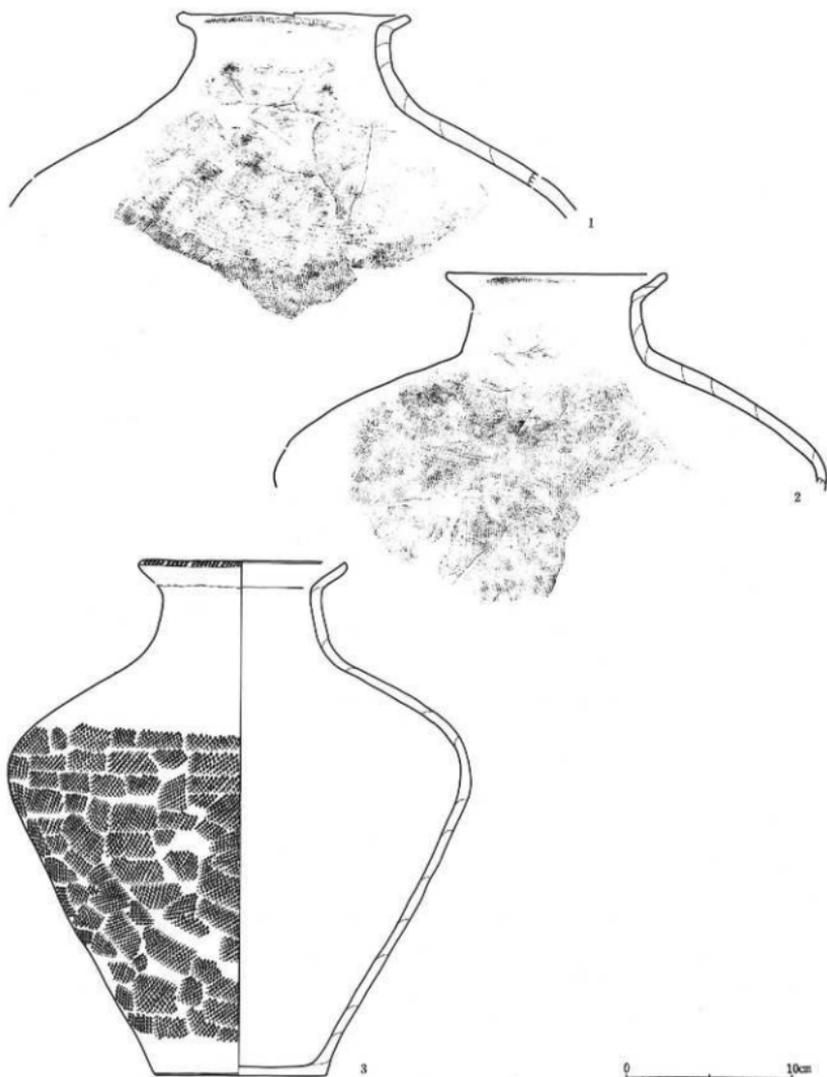
图中 番号	登錄 番号	類別	編號	出土地点			度量			特徴・備考	分期	時期	写真 図版
				地区	遺跡	層位	取上げ時	器高	口径				
1	B-474	弥生土器	Ⅱ	堺区	河川跡	15層		(8.4)	14.8	地文印C位。	Clay	弥生中期	
2	B-470	弥生土器	Ⅱ	堺区	河川跡	15層		(7.1)	13.8		Clay	弥生中期	
3	B-726	弥生土器	Ⅱ	DCC区	河川跡	16-15層		(7.1)	13.6		Blai	弥生中期	
4	B-713	弥生土器	Ⅱ	DX区	河川跡	16-15層		(7.5)	13.1		Blav	弥生中期	
5	B-461	弥生土器	Ⅱ	堺区	河川跡	15層	土器No.1	(8.7)	11.3		Blav	弥生中期	
6	B-469	弥生土器	Ⅱ	堺区	河川跡	15層		(7.1)	12.5		Blav	弥生中期	
7	B-467	弥生土器	Ⅱ	DX-D区	河川跡	16-15層		(11.2)	11.3	地文印C位。	Clay	弥生中期	183-1
8	B-463	弥生土器	Ⅱ	DX-D区	河川跡	15層		(14.5)	12.6	地文印I。	Clay	弥生中期	183-2

第425图 VIII・IX区河川跡15層出土弥生土器8



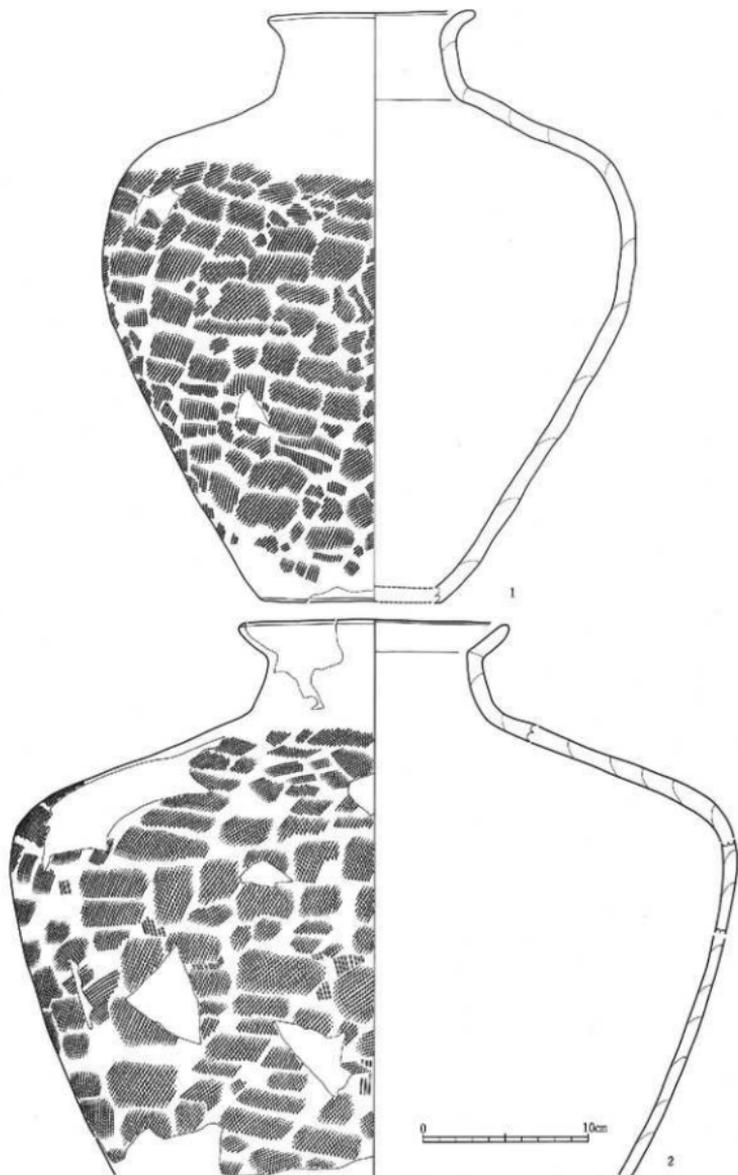
图中 序号	墓葬 序号	窑别	窑制	出土地点		法量		特征·備考	分期	时期	写真图版
			地区	遗址	取土编号	器高	口径				
1	B-630	张生土窑	窑	DC4区	河川跡	12a-5号		舞臺文、地文I。	ClaiII	张生中群	183-3
2	B-472	张生土窑	窑	YH区	河川跡	15a-1号		舞臺文、地文II。	ClaiII	张生中群	
3	B-471	张生土窑	窑	YH区	河川跡	15a-2号	(5.5)	舞臺文、地文III。	ClaiII	张生中群	
4	B-656	张生土窑	窑	IX区	河川跡	2a-15号	(17.9)	舞臺文、地文IVBw。	ClaiII	张生中群	183-4
5	B-651	张生土窑	窑	DX区	河川跡	1a-5a号	(13.5)	舞臺文(5)、无盖、地文IIB山。	ClaiIv	张生中群	184-1
6	B-640	张生土窑	窑	DX区	河川跡	1a-5a号	(13.6)	地文I。	BlaiV	张生中群	185-1
7	B-696	张生土窑	窑	DX区	河川跡	15c-1号	(14.9)	地文IVDv。	BlaiV	张生中群	

第426图 VII·IX区河川跡15層出土张生土器 9



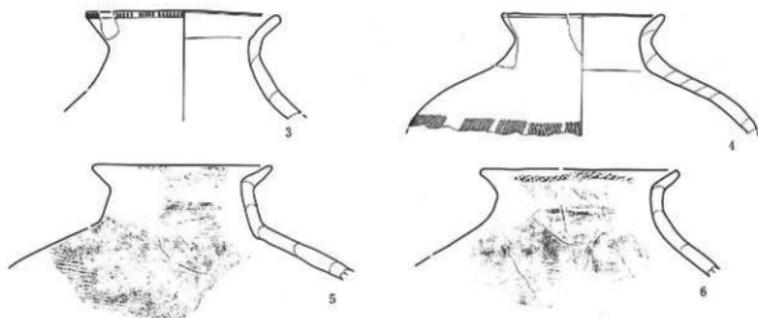
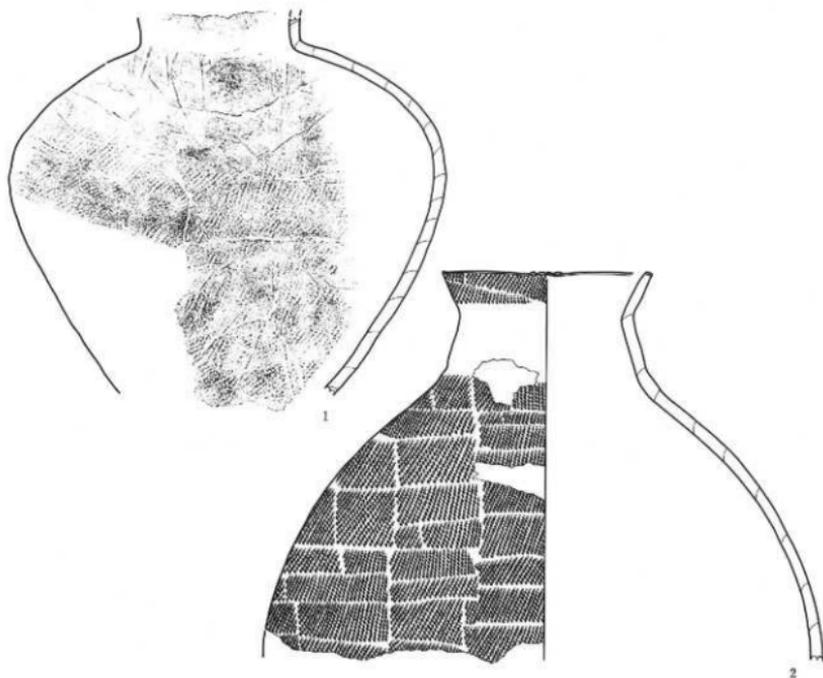
图中 序号	器物 编号	形制	材质	出土地点				度量			特征·备注	分期	时期	写真图版
				地区	遗址	层位	取土层号	器高	口径	直径				
1	B-477	夹生土器	夹	铜川	同州城	24层 25-26层		(12.0)	14.0		地文I。	ClaIv	夹生中期	
2	B-479	夹生土器	夹	铜川	同州城	15c层	上壁No.18	(12.2)	13.2		地文I。	ClaIv	夹生中期	
3	B-654	夹生土器	夹	延安	延川	2a-2b层		31.5	12.5	10.4	地文III。	BlaIv	夹生中期	184-2

第427图 VII·IX区河川跡15層出土夹生土器10



国中 遗址 番号	器别	器種	出土地点			法 器			特 徴 ・ 備 考	分 類 時 期	写真図版		
			地区	墓 所	层位	出土番号	器 高	口 径				底 径	
1	B-663	弥生土器	豫区 DIC-29	河川跡	第15c 15c層		36.1	12.4	11.0	施文IVBiv.	Clair	弥生中期	186-2
2	B-688	弥生中前期	豫区 DIC-29	河川跡	第15c 15c層	(34.1)		16.2		施文IIIc.	Clair	弥生中前期	186-1

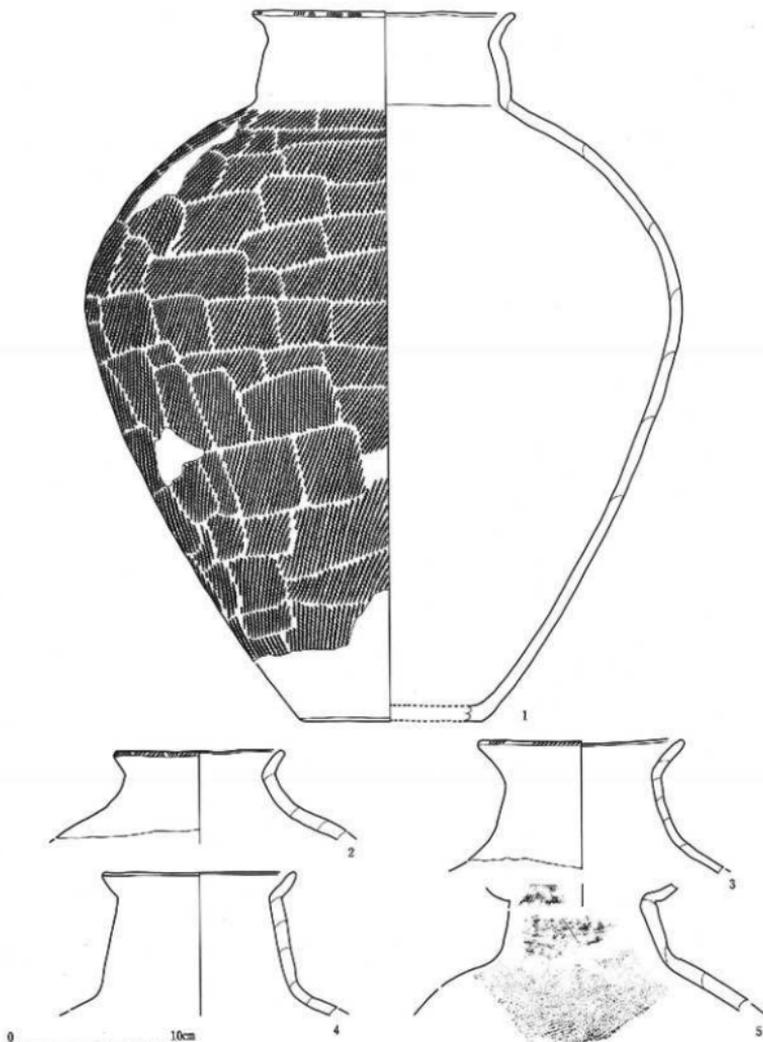
第428图 VII・IX区河川跡15層出土弥生土器11



0 10cm

图中 序号	标本 编号	材质	器形	出土地点				度量			特征·备注	分期	时期	写真图版	
				地区	墓葬	层位	出土层号	器高	口径	底径					
1	B-600	夹	IXC区	河川跡	15a层	(22.2)						洗文IVCiii。	B1	弥生中期	
2	B-360	夹	IXC区	河川跡	14-15a层	(23.8)	12.8					洗文IVBiv。	Claiiv	弥生中期	
3	B-700	夹	IXC区	河川跡	15a层	(6.1)	11.8					地文I。	Claiiv	弥生中期	
4	B-718	夹	IXC区	河川跡	15层	(7.4)	9.8					地文I。	Claiiv	弥生中期	
5	B-728	夹	IXC区	河川跡	15c层	(6.8)	10.9					地文II。	Claiiv	弥生中期	
6	B-725	夹	IXC区	河川跡	15a-15b层	(6.9)	12.0					地文I。	Claiiv	弥生中期	

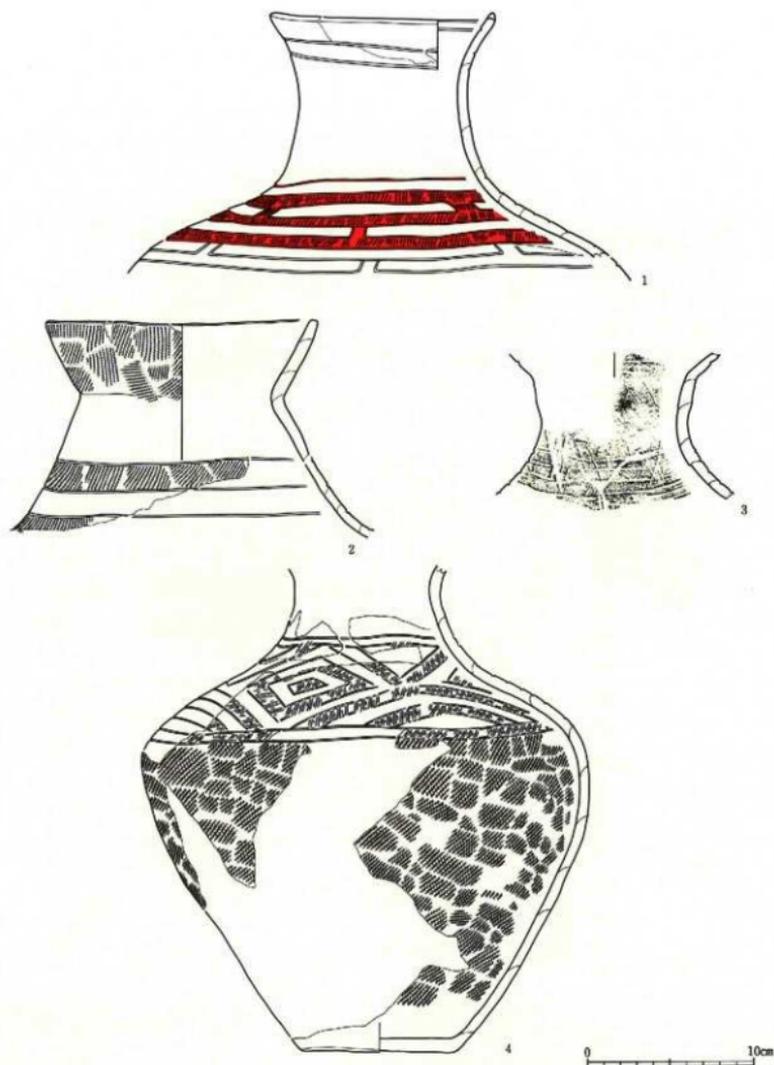
第429图 VIII·IX区河川跡15層出土弥生土器12



图中 序号	墓葬 编号	类别	器类	地区	区西	层位	出土层号	器高	口径	口径	口径	特征·备注	分期	时期	写真图版
1	B-666	弥生土器	甕	IX区	河川跡	15c層	土層No.2	33.5	15.8	11.5	地文IV Aiv。	Clair	弥生中期	187-1	
2	B-724	弥生土器	甕	IX区	河川跡	15a-16層		( 5.7)	10.4		地文VII。	Blair	弥生中期		
3	B-463	弥生土器	甕	VIII区	河川跡	15c層		( 8.2)	12.4			Blair	弥生中期		
4	B-721	弥生土器	甕	IX区	河川跡	15c層	土層No.13	( 8.7)	11.8			Clair	弥生中期		
5	B-475	弥生土器	甕	VIII区	河川跡	15層	土層No.2	( 7.8)			地文IIIc。	Clair	弥生中期		

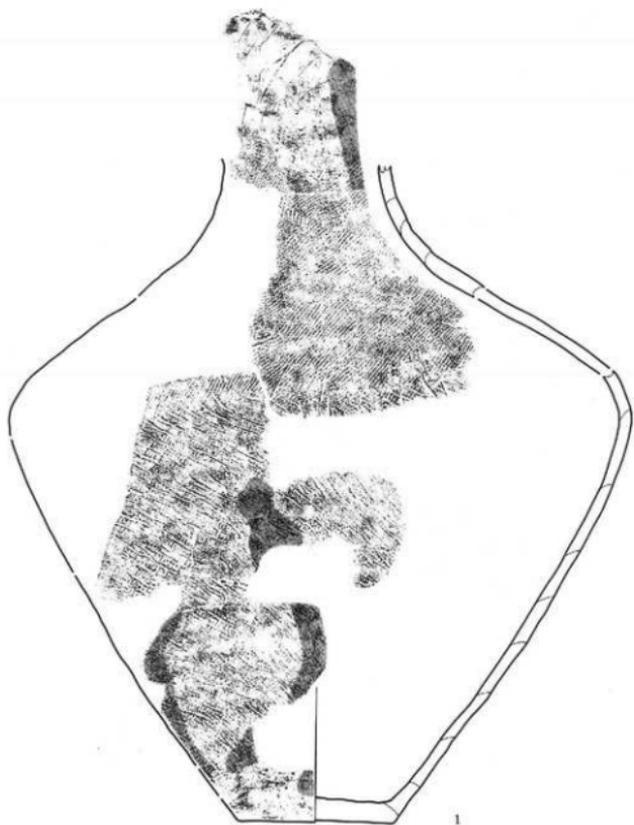
第430图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器13





图中 序号	器物 名称	类别	窑址	出土地点		度量		特征·备注	分期	时期	所属层位	
				地区	墓葬	层位	取土层号					瓶高
1	B-606	夹生土器	窑	IX区 IX区B	河川跡	5a-5b層	(35.0)	13.5	四角文4線(4)。光素。地文IIICh。	Clay	夹生中期	188-1
2	B-644	夹生土器	窑	IX区B	河川跡	5a-5b層	(32.3)	16.4	光素。地文IVBiv。	Clay	夹生中期	188-2
3	B-714	夹生土器	窑	IX区B	河川跡	5a層	(8.6)		四角文2線(?)。光素。地文I。	Blay	夹生中期	
4	B-639	夹生土器	窑	IX区C	河川跡	5a-5b層	(29.9)	9.5	重疊彩文(4)。光素。地文IIICh。	Blz	夹生中期	188-3

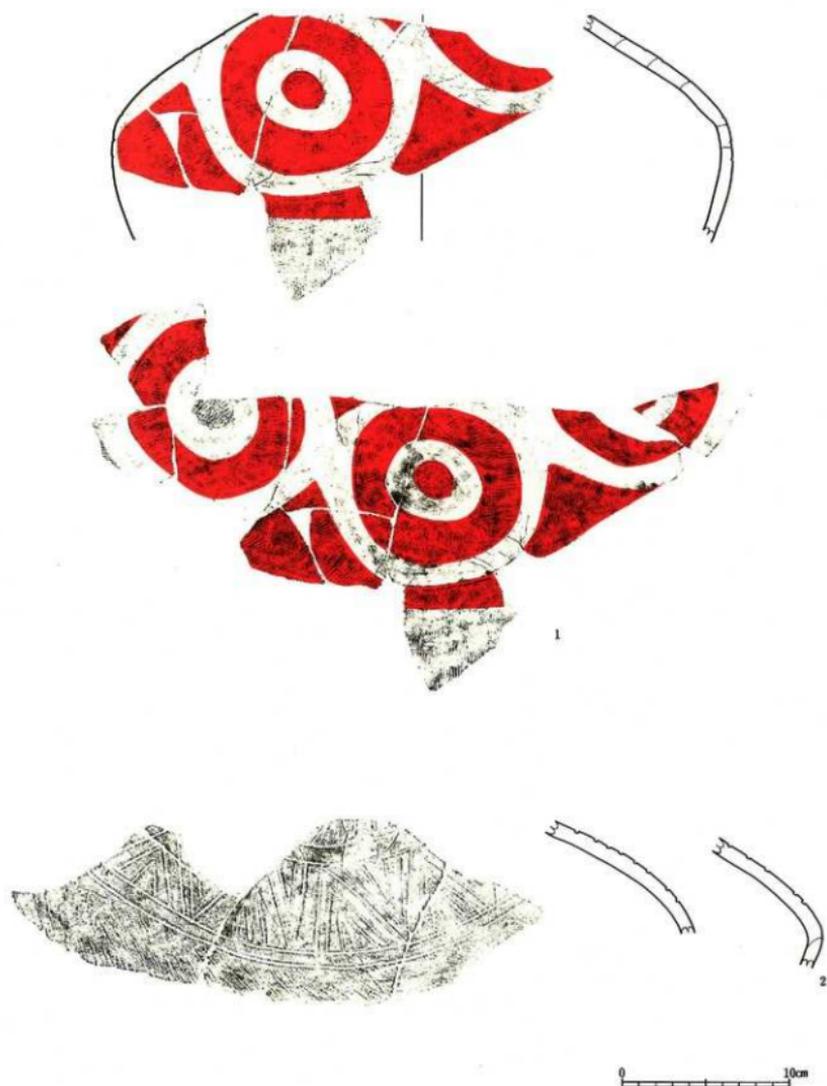
第432图 VII·IX区河川跡15層出土夹生土器15



0 10cm

国中 番号	発跡 番号	類別	群種	出土地点			法量			特徴・備考	分期	時期	写真図根
				地区	遺構	層位	取上番号	器高	口径				
1	B-414	弥生土器	甕	河川跡	15a層		(40.0)		9.3	施文印C出。	C1	弥生中期	189-1
2	B-723	弥生土器	甕	IXC区	河川跡	15b-15c				西内文(?)。施文1。	C1	弥生中期	189-2

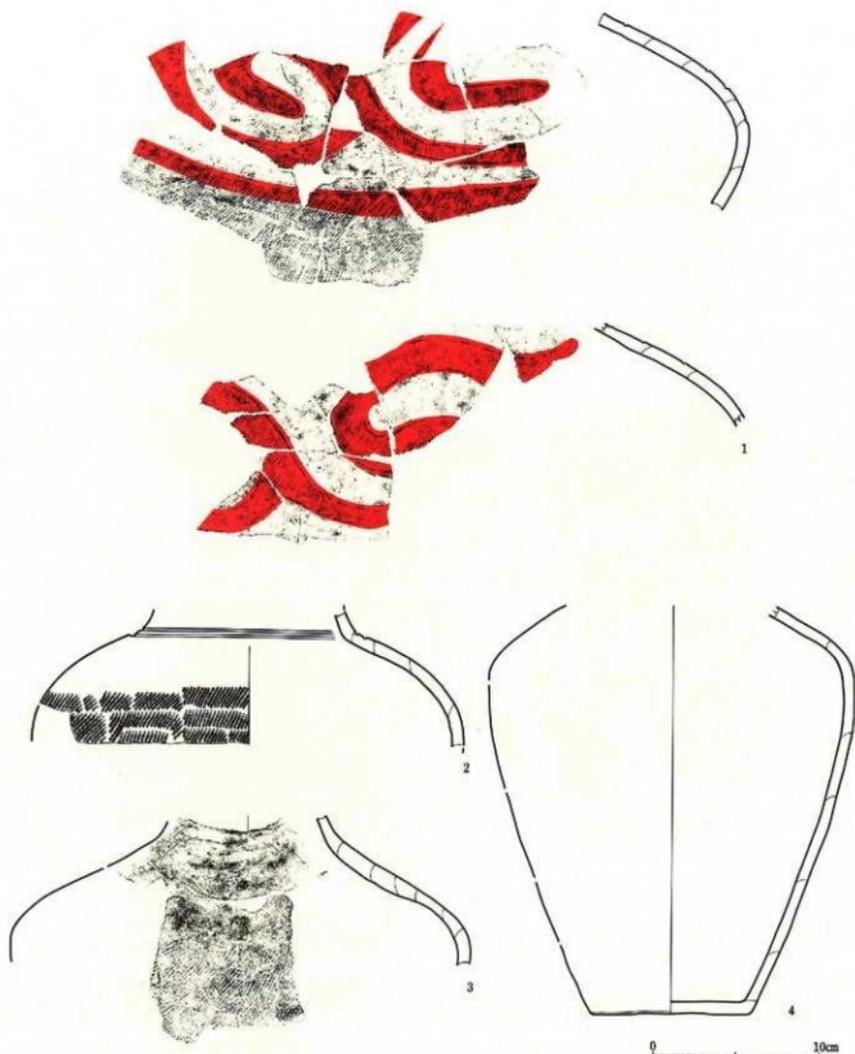
第433图 VII・IX区河川跡15層出土弥生土器16



0 10cm

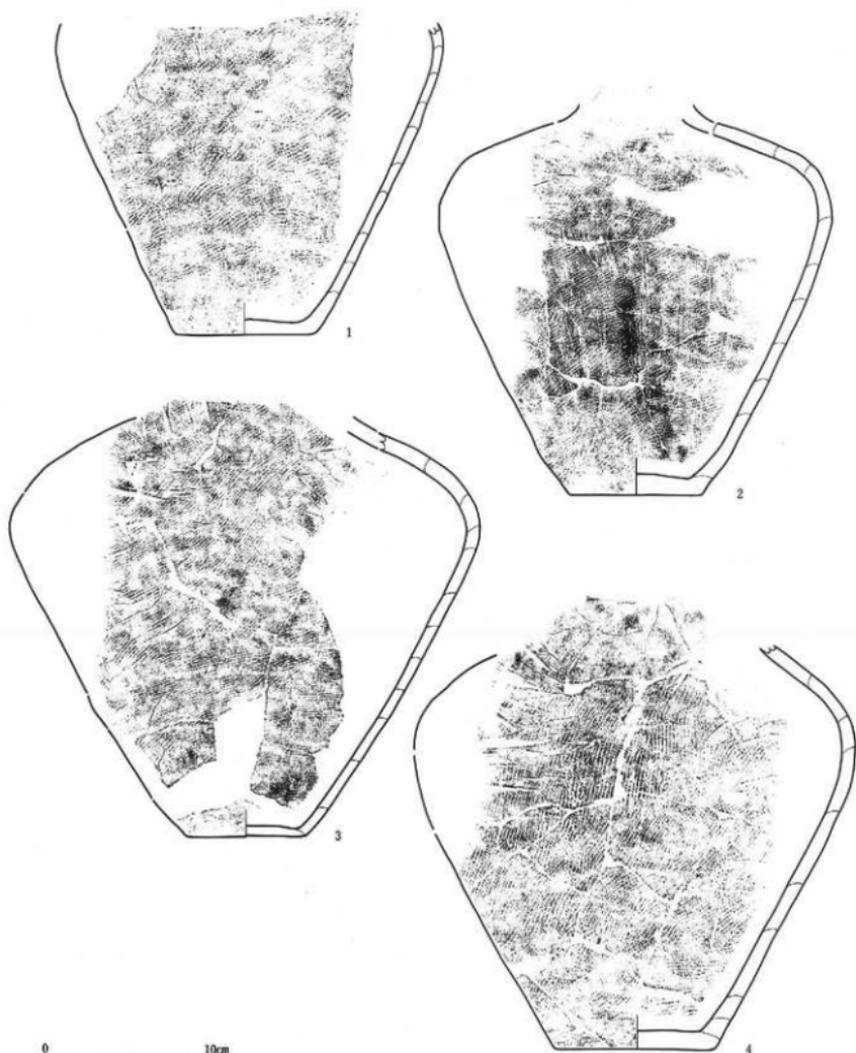
图中 序号	纹样 编号	类别	时期	出土地点			度量			特征·备注	分期	时期	写真图版		
				地区	遗址	层位	取土层号	器高	口径					底径	
1	B-380	彩陶片	新石器时代	豫西	河川跡	Ⅱa层		(13.7)				同心円文(6)。光沢・地文印Cm。	C1	新石器时代	190-1
2	B-379	彩陶片	新石器时代	豫西	河川跡	Ⅱa层						重山形文(?)。光沢。地文1。	C1	新石器时代	190-2

第434图 VII·IX区河川跡15層出土彩陶片17



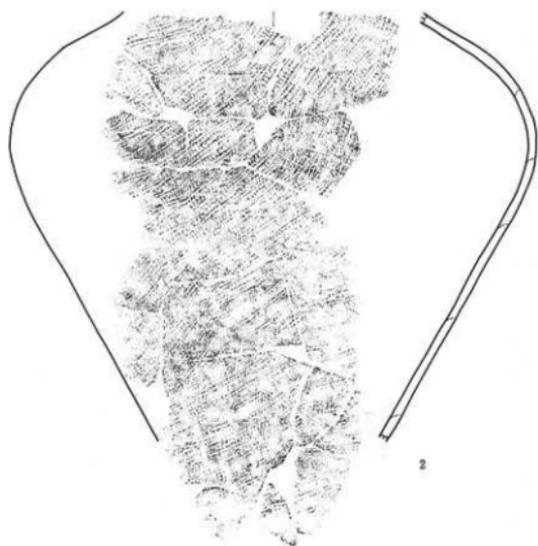
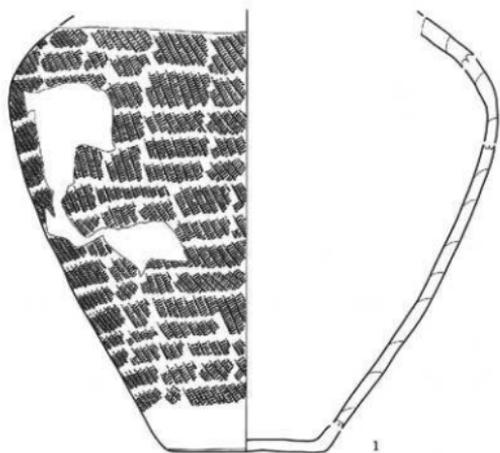
器中 器种	器 编 号	器 别	器 种	出 土 地 点		器 量			特 款 · 编 号	分 类	时 期	耳 实 图 表	
				地 区	通 属	附 位	出土番号	器 高					口 径
1	B-576	弥生土器	壶	Ⅷ区	河川跡	15cm				调文(?)。定城。调文IVBiv。	C1	弥生中期	190-3
2	B-715	弥生土器	壶	Ⅷ区	河川跡	12cm	(8.1)			调文部CIII。	III	弥生中期	
3	B-460	弥生土器	壶	Ⅷ区	河川跡	15cm	(9.0)			调文部CIII。	C1	弥生中期	
4	B-382	弥生土器	壶	Ⅷ区	河川跡	15cm	(8.0)	9.6			III	弥生中期	

第435图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器18



国中 编号	登錄 番号	类别	名称	出土地点		出 处		特 征 · 備 考		分 类	时 期	写真 図版	
				地区	遗址	层位	出土番号	口径	口径				
1	B-366	弥生土器	釜	广岛	河川跡	15a層		(19.1)	8.4	地文肌CⅡ。	B1	弥生中期	
2	B-383	弥生土器	釜	广岛	河川跡	15a-5a層		(23.5)	7.9	地文肌CⅡ。	B1	弥生中期	
3	D-664	弥生土器	釜	广岛 DXX区	河川跡	15a-5a層		(25.7)	7.0	地文肌CⅡ。	B1	弥生中期	
4	B-699	弥生土器	釜	DXX-C区	河川跡	15b-5a層		(24.6)	9.5	地文肌CⅡ。	B1	弥生中期	191-1

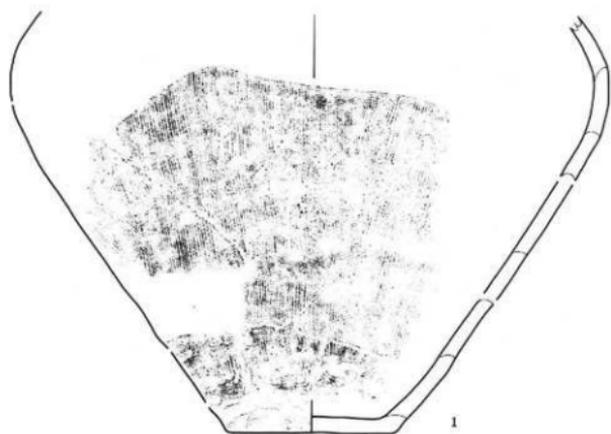
第436图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器19



0 10cm

国中 番号	発掘 番号	種類	器種	出土地点			寸法		特徴・備考	分類	時期	写真図版	
				地区	遺構	層位	取上番号	器高					口径
1	B-219	弥生土器	甕	Ⅷ区	内川跡	5a北層	(26.8)		9.5	地文Ⅷ1。	C1	弥生中期	192-1
2	B-261	弥生土器	甕	Ⅷ区	内川跡	5a北層	(26.3)			地文Ⅷ1。	C1	弥生中期	

第437図 Ⅷ・Ⅸ区河川跡15層出土弥生土器20



1

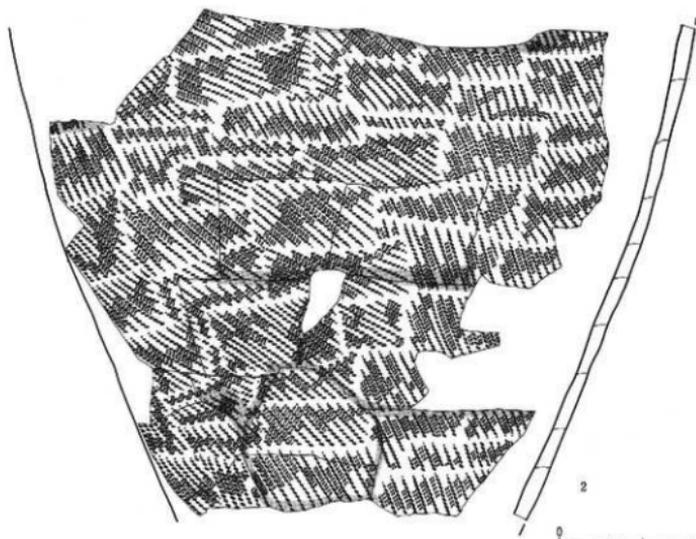
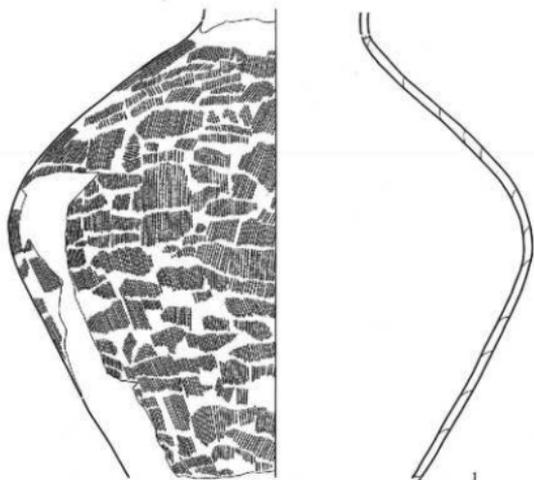


2

0 10cm

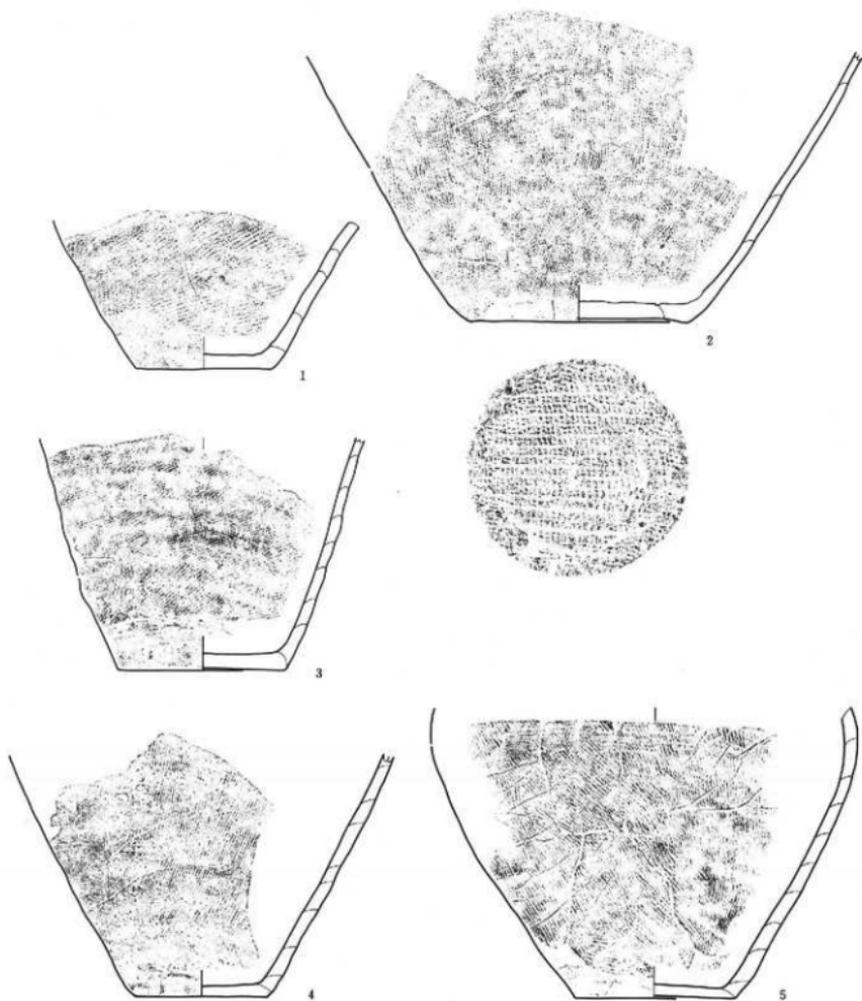
国中 序号	登录 番号	類別	时期	出土地点			数量			特征・備考	分期	时期	写真 位置		
				地区	遗址	层位	出土番号	数量	口径					底径	
1	Ts-302	弥生土器	前期	埼玉区	河川跡	15-6層	上層No.3	28.7		19.1		浅土I。	C1	弥生中期	
2	B-381	弥生土器	前期	埼玉区	河川跡	15-4層		34.2				浅土IIa。	C1	弥生中期	

第438图 VII・IX区河川跡15層出土弥生土器21



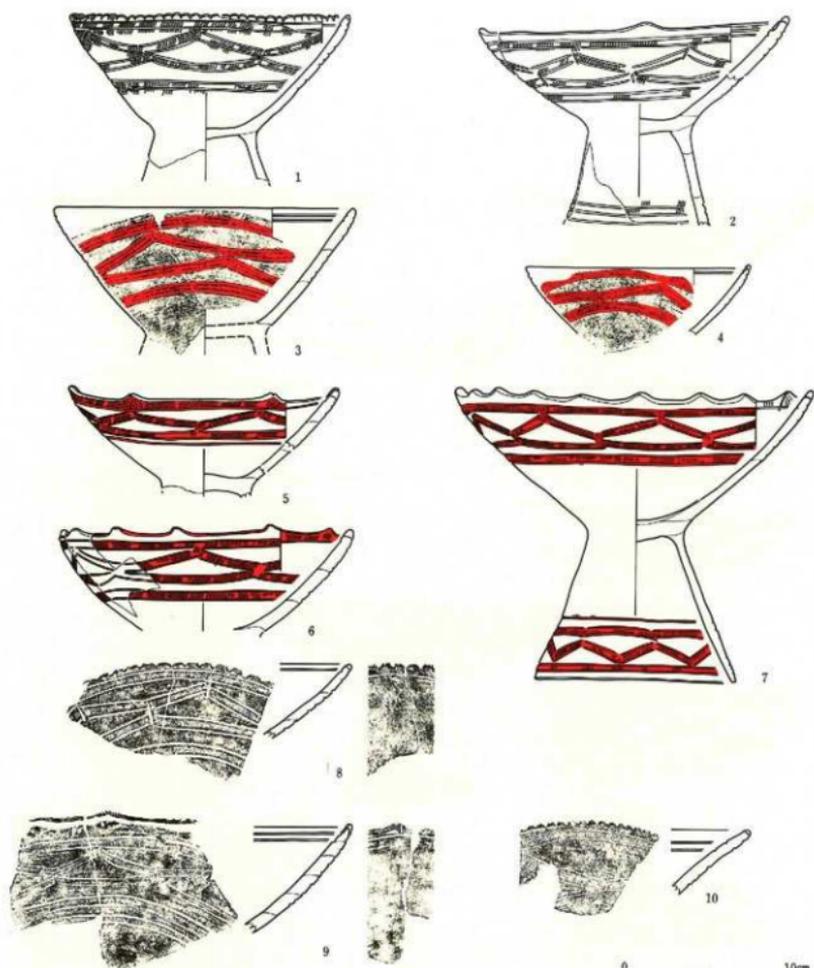
国中 番号	登錄 番号	類別	詳細	出土地点				法量		特徴・備考	分 類	時期	写真図版
				地区	通稱	塚名	取上番号	器高	口径				
1	B-649	弥生土器	ⅡB-C区	河川跡	14層 2a-5a		CP.8)			地文Ⅰ。	C1	弥生中期	191-2
2	B-437	弥生土器	Ⅱ区	河川跡	14層 2a-5a		(31.5)			地文Ⅰ。	C1	弥生中期	192-2

第439図 VII・Ⅸ区河川跡15層出土弥生土器22



室中 序号	登錄 番号	類別	器種	出土地点			法量		特徴・備考	分類	時期	写真図版
				地区	墓坑	位置	取上番号	高さ				
1	B-367	祭生土器	甕	河川区	15層	土層No.7	(9.0)	8.9	地文田Cl <sub>10</sub>	Cl	祭生中期	
2	B-368	祭生土器	甕	河川区	15層		(16.0)	13.2	地文田IV, 越前朝代祝	Cl	祭生中期	
3	B-369	祭生土器	甕	河川区	15c層		(14.5)	16.1	地文田Cl <sub>10</sub>	Cl	祭生中期	
4	B-440	祭生土器	甕	河川区	15c層		(14.8)	8.0	地文I <sub>1</sub>	Cl	祭生中期	
5	B-261	祭生土器	甕	IX区	河川区	15a層	(18.0)	9.6	地文I <sub>1</sub>	BII	祭生中期	

第440図 VII・IX区河川跡15層出土祭生土器23



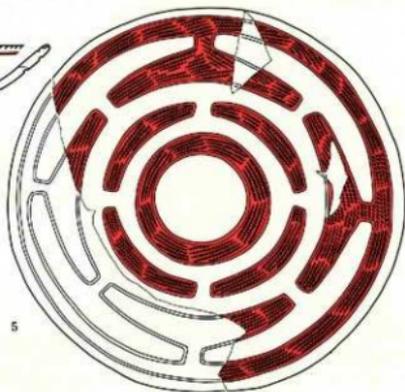
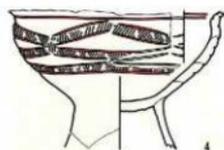
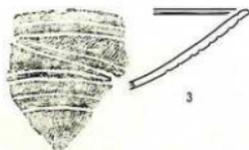
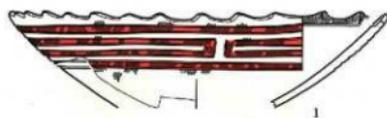
序号	器物号	类别	形制	出土地点	层位	取土层号	器高	口径	器径	重量	特征·备注	分期	时期	所属层位
1	B-207	夹生土胎	高环	VR区	河川跡	15層	土胎№11 (10.2)	16.7			螺旋文A1V(6)。光澤。地文僅1。	IA1	新石器中期	183-1
2	B-483	夹生土胎	高环	VR区	河川跡	15c層	(11.8)	18.6			螺旋文A1V(6)。磨光。地文僅1。	IA1	新石器中期	183-2
3	B-221	夹生土胎	高环	VR区	河川跡	15c層	(7.2)	17.8			螺旋文A1V(7)。光澤。地文1。	IA	新石器中期	
4	B-787	夹生土胎	高环	DXD区	河川跡	15a層	(4.4)	13.4			螺旋文A1V(7)。光澤。地文僅1。孔7。	IA	新石器中期	
5	B-413	夹生土胎	高环	DXD-G区	河川跡	15a層	(6.0)	16.2			螺旋文A1V(6)。光澤。地文僅1。	IA	新石器中期	193-2
6	B-519	夹生土胎	高环	DXD区	河川跡	15a層	(6.0)	17.6			螺旋文A1V(6)。光澤。地文僅1。	IA	新石器中期	193-4
7	B-481	夹生土胎	高环	VR区	河川跡	15a層	土胎№30	17.1	21.6	12.1	螺旋文A1V(9)。磨光。地文1。	IA1	新石器中期	183-5
8	B-200	夹生土胎	高环	VR区	河川跡	15層					螺旋文A1V(7)。光澤。地文僅1。	IA	新石器中期	
9	B-788	夹生土胎	高环	DXD区	河川跡	15c層					螺旋文A1V(7)。光澤。地文1。	IA	新石器中期	
10	B-222	夹生土胎	高环	VR区	河川跡	15c-2層					螺旋文A1V(7)。光澤。地文僅1。	IB	新石器中期	

第441图 VII·IX区河川跡15層出土夹生土器24



队中 器号	器类	形制	出土地点	数量	口径	底径	高度	重量	特征·备注	分期	时期	写真图版
1 B-545	夹生土钵	高环	IXD区	河川路 15a层	1	(7.8)	18.1		肩纹A2V(7)。光面。地文田A面。	IA	夹生中器	193-6
2 B-486	夹生土钵	高环	环区	河川路 15a层	1	(6.8)	18.5		肩纹A2U(7)。光面。地文田C面。	IB	夹生中器	
3 B-482	夹生土钵	高环	环区	河川路 15a层	1	14.4	20.6	11.0	肩纹A2V(8)。光面。地文理1。	IA1	夹生中器	193-8
4 B-513	夹生土钵	高环	IXB区	河川路 15a层	1	(8.0)	14.8		肩纹A2V(8)。光面。地文理1。	IB	夹生中器	193-7
5 B-637	夹生土钵	高环	IXD区	河川路 15a层	1	(14.1)	21.9		肩纹A2V(8)。光面。地文田C1。	IA1	夹生中器	194-1
6 B-612	夹生土钵	高环	IXB区	河川路 15a层	1	(8.0)	17.1		肩纹A2U(8)。光面。地文理1。	IB	夹生中器	193-1
7 B-485	夹生土钵	高环	环区	河川路 15a层	1	(7.8)	20.5		肩纹A1U(7)。光面。地文田C面。	IA	夹生中器	
8 B-298	夹生土钵	高环	环区	河川路 15a-15b层	1	16.0	18.4	11.5	肩纹A2V(7)。光面。地文理1。	IB1	夹生中器	194-2
9 B-516	夹生土钵	高环	IXD区	河川路 15a层	1	(12.5)	17.6		肩纹B1U(8)。	IA1	夹生中器	194-3
10 B-792	夹生土钵	高环	IXD区	河川路 15a-15b层	1				肩纹A2U(7)。光面。地文田C面。孔?。	IA	夹生中器	

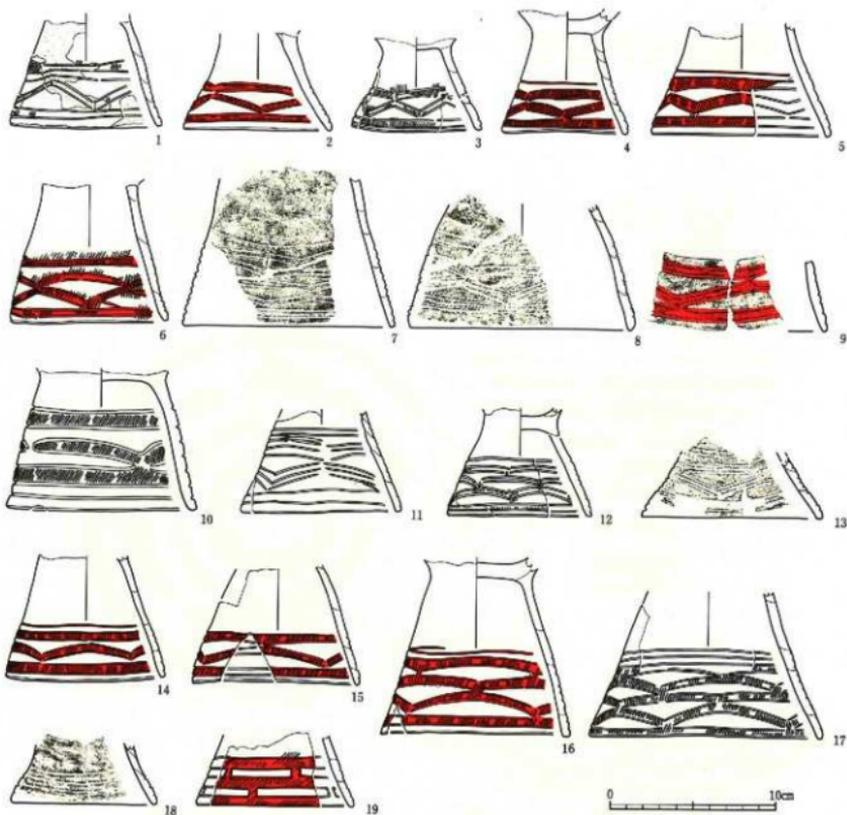
第442图 VII·IX区河川路15层出土夹生土器25



0 10cm

图中 序号	登錄 号	类别	形制	出土地点			度量			特征·备注	分期	时期	写真图版			
				地区	墓葬	层位	出土编号	器高	口径					器径		
1	B-206	张生土器	高环	YXC区	河川桥	上城 15c-15d		(5.8)	22.8				四角叉(4)。完整。地文埋1。	IA	张生中期	195-2
2	B-790	张生土器	高环	YXC区	河川桥	15c-15d							四角叉(7)。完整。地文埋C出。乳2-7。	IA	张生中期	195-3
3	B-850	张生土器	高环	YXC区	河川桥	15c-15d							完整。漆文。磨擦。乳完整。地文埋1。	IA	张生中期	195-3
4	B-614	张生土器	高环	YXC区	河川桥	15c-15d		(8.1)					扁似文2V(5)。完整。地文埋1。	IIA	张生中期	195-4
5	B-630	张生土器	高环	YXC区	河川桥	15c-15d		14.5	23.7	6.3			「工」字纹扁似文(4)。完整。地文埋2。乳射纹。	IB2	张生中期	194-4
6	B-480	张生土器	高环	YXC区	河川桥	15c-15d		17.6	25.8	8.3			扁似文+四角叉(3)。完整。地文埋1。	II B	张生中期	194-5

第443图 VII·IX区河川桥15层出土张生土器26



图中 序号	登记 编号	类别	形制	出土地点	数量	口径	高度	重量	特征·编号	分期	时期	写真图版
1	B-268	夹生土胎	高环	郫县 西川路 14号	1	(7.0)	8.2	克重。地文I。			夹生中期	
2	B-546	夹生土胎	高环	DXC区 西川路 15a层	1	(5.9)	8.9	克重。地文I。			夹生中期	195-5
3	B-514	夹生土胎	高环	DXC区 西川路 15a层	1	(5.8)	7.9	磨痕。地文I。			夹生中期	
4	B-515	夹生土胎	高环	DXC区 西川路 15a层	1	(7.5)	7.6	克重。地文IIA。			夹生中期	195-6
5	B-517	夹生土胎	高环	DXC区 西川路 15a层	1	(6.9)	10.4	克重。地文III。			夹生中期	195-7
6	B-484	夹生土胎	高环	YBC区 西川路 15a层	1	(8.6)	9.5	克重。地文III。			夹生中期	195-8
7	B-793	夹生土胎	高环	DXC区 西川路 15a层	1	(9.1)	12.6	克重。地文I。			夹生中期	
8	B-848	夹生土胎	高环	YBC区 西川路 15a层	1	(7.6)	13.4	磨痕。地文I。			夹生中期	
9	B-785	夹生土胎	高环	DXC区 西川路 15a层	1			克重。地文III。			夹生中期	
10	B-613	夹生土胎	高环	DXC区 西川路 15a层	1	(8.7)	11.5	克重。地文III。			夹生中期	195-9
11	B-547	夹生土胎	高环	DXC区 西川路 15c层	1	(6.3)	9.6				夹生中期	
12	B-211	夹生土胎	高环	YBC区 西川路 15c层	1	(6.7)	8.6	磨痕或光面。地文I。			夹生中期	195-10
13	B-251	夹生土胎	高环	YBC区 西川路 15a层	1	(4.0)	10.8	窄环。地文I。			夹生中期	
14	B-618	夹生土胎	高环	DXC区 西川路 15c层	1	(7.8)	9.7	克重。地文III。			夹生中期	195-11
15	B-487	夹生土胎	高环	YBC区 西川路 15a层	1	(7.0)	10.8	光面。地文I。			夹生中期	195-12
16	B-518	夹生土胎	高环	DXC区 西川路 15a层	1	(10.9)	11.4	克重。地文III。			夹生中期	195-13
17	B-616	夹生土胎	高环	DXC区 西川路 15a层	1	(8.9)	14.1	克重。地文III。			夹生中期	195-14
18	B-794	夹生土胎	高环	YBC区 西川路 15a层	1	(3.6)	8.8				夹生中期	
19	B-826	夹生土胎	高环	EKX区 西川路 15a层	1	(4.3)	9.4	克重。地文I。			夹生中期	195-16

第444图 VII·IX区河川路15层出土夹生土器27



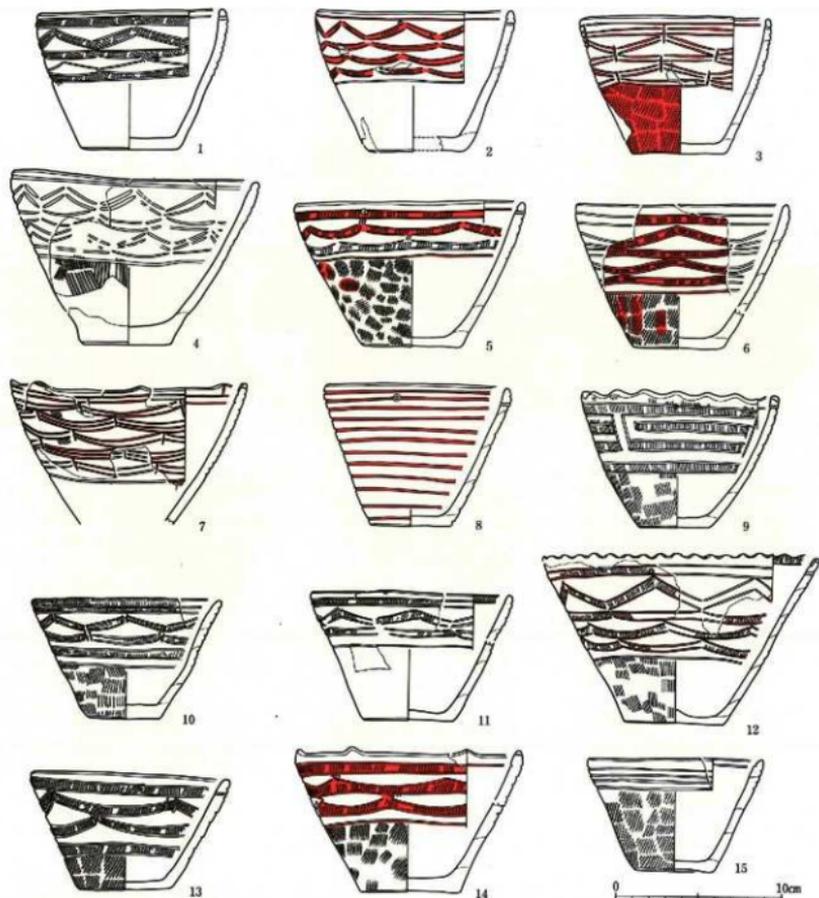
国中 番号	登録 番号	類別	器種	地区	通稱	器位	出土番号	口径	底径	高さ	特 徴・備 考	分期	時期	写真図版
1	B-328	弥生土器	鉢	堺区	河川跡	15c層		3.3	6.2	3.4	孔7。	IA1	弥生中期	
2	B-619	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15a-3層		5.3	8.8	3.6	磨滅文A2V(7)、光斑。地文1。孔7。	IA1	弥生中期	196-1
3	B-555	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15c層		5.5	9.7	4.8	磨滅文A2V(5)、磨滅or光斑。地文H1C。孔7。	IA2	弥生中期	196-2
4	B-323	弥生土器	鉢	堺区	河川跡	15d層		5.2	9.4	3.8	地文IV1。孔7。	IA2	弥生中期	196-3
5	B-639	弥生土器	鉢	XB・C・DX区	河川跡	15a-4層		6.8	9.3	3.8	磨滅文B2U(6)。孔7。	IA1	弥生中期	196-4
6	B-598	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15a層		5.8	9.2	4.4	平行直線文(4)。地文H1C。孔7。	IA1	弥生中期	196-5
7	B-623	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15a層		5.1	7.2	4.6	平行直線文(5)。地文H1C。孔1-7。	IA1	弥生中期	196-6
8	B-590	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15c層		6.5	8.4	4.2	平行直線文(4)。地文H1A。孔1-1。	IA1	弥生中期	196-7
9	B-530	弥生土器	鉢	堺区	河川跡	15a層	土層No5	5.5	8.3	4.3	地文H1C。孔7。漆部木目肌。	IA1	弥生中期	196-8
10	B-551	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15a-2層		6.0	8.8	4.4	地文H1C。孔7。	IA1	弥生中期	196-9
11	B-586	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15a層		5.5	8.0	5.4	地文1。	IA1	弥生中期	196-10
12	B-569	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15c-2層		6.3	8.5	5.7	地文H1C。孔7。	IA1	弥生中期	196-11
13	B-526	弥生土器	鉢	堺区	河川跡	15c層		4.7	6.8	3.4	孔7。	IA1	弥生中期	196-12
14	B-626	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15a層		5.3	8.0	2.8	孔7。	IA1	弥生中期	196-13
15	B-625	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15c層		6.0	8.6	3.8	孔7。	IA1	弥生中期	196-14
16	B-587	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15a層		5.8	8.6	4.6	磨滅文A2V(5)、磨滅。地文H1C。孔7。	IA2	弥生中期	196-15
17	B-324	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15d層		(5.8)	8.5		磨滅文A2U(7)。光斑。地文H1C。孔7。	IA2	弥生中期	
18	B-548	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15a-5層		6.8	9.4	5.2	平行直線文(5)。地文H1C。孔1-7。	IA2	弥生中期	196-16
19	B-322	弥生土器	鉢	堺区	河川跡	15a-15層		6.9	9.4	4.4	地文H1C。孔1-7。	IA2	弥生中期	196-17
20	B-725	弥生土器	鉢	堺区	河川跡	15c層	土層No16	6.0	9.1	3.5	磨滅文A2V(5)、磨滅。地文1。孔1-7。	IA3	弥生中期	196-18
21	B-570	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15c層		6.4	10.1	4.7	孔7。	IA3	弥生中期	196-19
22	B-557	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15a層		5.9	6.9	3.9	平行直線文(5)。地文H1C。孔7。	IA1	弥生中期	196-20
23	B-581	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15c層		6.8	8.5	4.7	平行直線文(7)。地文H1C。孔1-7。	IA1	弥生中期	197-1
24	B-582	弥生土器	鉢	DX区	河川跡	15a-3層		7.1	8.7	4.8	平行直線文(4)。地文1。孔1-7。	IA1	弥生中期	197-2
25	B-521	弥生土器	鉢	堺区	河川跡	15a-15層		6.5	7.4	4.9	地文H1C。孔7。	IA1	弥生中期	197-3

第445図 VII・IX区河川跡15層出土弥生土器28



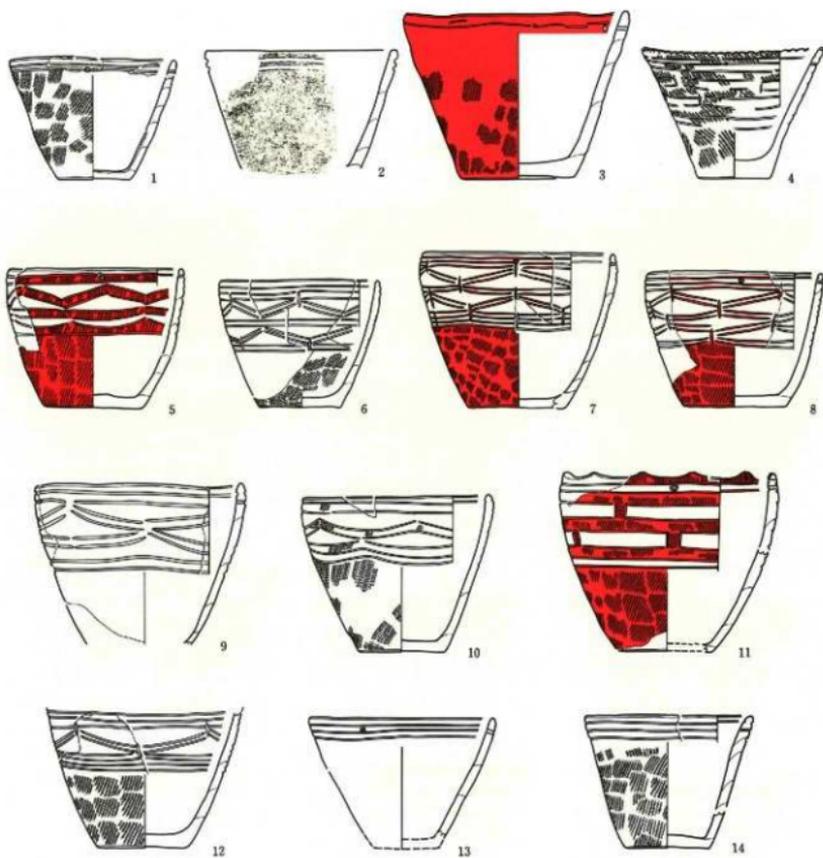
图号	纹饰	器类	窑址	地区	窑名	层位	出土器物	口径	底径	高	特征、备注	分期	窑址	写图版
1	B-566	张生土器	钵	IXC区	河川跡	15c层		5.4	6.8	4.3	孔1-7。	IA2	张生中期	197-4
2	B-556	张生土器	钵	IXD区	河川跡	15a层		5.9	6.9	4.1	地文1。孔7。	IA2	张生中期	197-5
3	B-319	张生土器	钵	VIIC区	河川跡	15c层	土器No.8	5.9	6.9	4.5	斜线文BU(6)。孔1-7。腹部:重刻角文	IA3	张生中期	197-6
4	B-232	张生土器	钵	VIIC区	河川跡	15c层		(3.7)		8.1	垂直角文? (4)。光面。地文1。孔7。	IA	张生中期	
5	B-279	张生土器	钵	IXD区	河川跡	15a层		(4.7)	9.8		平行重刻文(8)。地文C面。孔7。	IA	张生中期	
6	B-327	张生土器	钵	VIIC区	河川跡	15a层		(4.9)	7.0		孔7。	IA	张生中期	
7	B-219	张生土器	钵	VIIC区	河川跡	15a-15b		7.1	14.6	5.6	斜线文AIV(6)。磨滑or光面。地文D/C1。孔7。	IB1	张生中期	197-7
8	B-245	张生土器	钵	VIIC区	河川跡	15a层		(6.4)	11.4		斜线文BUV(7)。地文D/C面。孔7。	IB1	张生中期	
9	B-235	张生土器	钵	VIIC区	河川跡	15a层		8.0	13.4	4.4	斜线文AV(8)。磨滑or光面。地文D1。孔7。	IB2	张生中期	
10	B-217	张生土器	钵	VIIC区	河川跡	15-15a层	土器No.2	8.1	15.0	5.4	斜线文AIV(6)。磨滑。地文1。孔7。	IB2	张生中期	197-8
11	B-784	张生土器	钵	IXD区	河川跡	15a-15b		7.3	12.6	5.2	斜线文AV(8)。光面。地文D/C面。孔7。	IB2	张生中期	
12	B-596	张生土器	钵	IXC区	河川跡	15a-15b		9.1	16.1	5.2	斜线文A2V(5)。磨滑or光面。地文D1。孔1-7。	IB2	张生中期	197-9
13	B-552	张生土器	钵	IXD区	河川跡	15c层		7.3	12.7	5.3	斜线文BUV(8)。地文D1。孔7。	IB2	张生中期	197-10
14	B-577	张生土器	钵	VIIC区	河川跡	15c-15a层		7.8	13.5	5.1	斜线文BU(5)。地文C面。孔1-7。	IB2	张生中期	197-11
15	B-488	张生土器	钵	IXD区	河川跡	15a层		7.2	14.0	4.8	斜线文BUV(7)。地文C1。孔1-7。	IB2	张生中期	197-12
16	B-237	张生土器	钵	VIIC区	河川跡	15d层		6.9	11.9	4.3	孔7。	IB2	张生中期	
17	B-829	张生土器	钵	IXD区	河川跡	15a-15b		(6.1)	11.2		孔7。	IB2	张生中期	
18	B-224	张生土器	钵	VIIC区	河川跡	15c层		7.2	10.5	5.4	斜线文A2V(5)。光面。地文D/C面。孔1-7。	IB1	张生中期	197-13
19	B-567	张生土器	钵	IXB区	河川跡	15a-15b		8.7	11.2	5.2	斜线文AV(6)。光面。地文D/C面。孔1-7。	IB1	张生中期	197-14

第446图 VII·IX区河川跡15层出土张生土器29



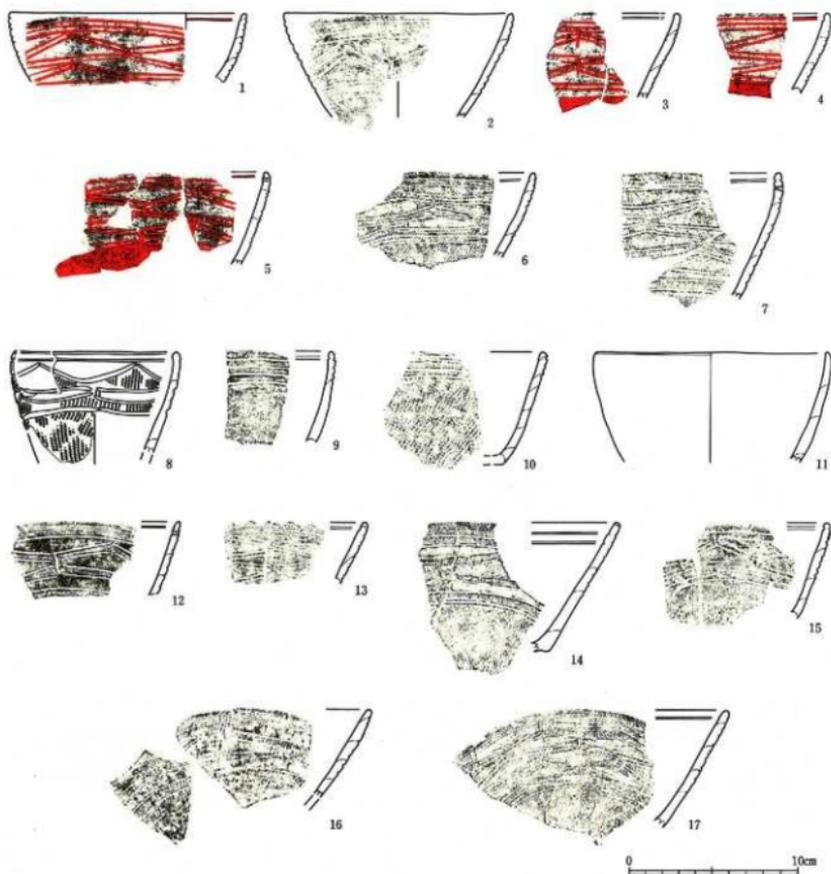
图中 器号	器类 器号	形制	地区	出土地点		度量			特征·备注	分期	时期	写真图版		
				遗址	层位	器高	口径	底径						
1	B-563	弥生土器	群	IXD6E	河川跡	15c層		8.5	11.0	5.6	肩紋文A2V(6), 无綫。地文田CⅢ, 孔1-7。	I B1	弥生中期	197-15
2	B-489	弥生土器	群	IXD6E	河川跡	15a-15c層		8.7	12.0	5.8	肩紋文A2V(7), 磨削or无綫。地文I。	I B1	弥生中期	198-1
3	B-229	弥生土器	群	ⅧC区	河川跡	14層 15-15a層		8.6	11.5	5.6	肩紋文B1V(5), 地文ⅧB, 孔1-1。	I B1	弥生中期	198-2
4	B-492	弥生土器	群	IXD-6E	河川跡	15c層		10.7	14.8	6.3	肩紋文B2V(7), 孔7。	I B1	弥生中期	198-3
5	B-579	弥生土器	群	IXD6E	河川跡	15c層		8.9	14.0	6.0	肩紋文A2U(7), 无綫。地文田CⅢ, 孔1-1	I B1	弥生中期	198-4
6	B-228	弥生土器	群	ⅧC区	河川跡	15c層		8.9	12.8	5.9	肩紋文A2U(7), 无綫。地文田, 孔7。	I B1	弥生中期	198-5
7	B-218	弥生土器	群	ⅧC区	河川跡	15c層	(6, 2)	14.2			肩紋文A1U(6), 磨削or无綫。地文I, 孔7。	I B1	弥生中期	198-6
8	B-227	弥生土器	群	ⅧC区	河川跡	15c層		8.7	11.2	4.8	平行直綫文(12), 孔1-7。	I B1	弥生中期	198-7
9	B-576	弥生土器	群	IXD6E	河川跡	15c層		8.5	11.8	4.4	四角文(4), 无綫。地文I, 孔2-。	I B1	弥生中期	198-8
10	B-564	弥生土器	群	IXD-6E	河川跡	15a層		7.4	11.4	4.4	肩紋文A1V(7), 地文I, 孔7。	I B2	弥生中期	198-9
11	B-226	弥生土器	群	ⅧC区	河川跡	14層 15-15a層		8.0	12.1	5.3	肩紋文A2V(7), 无綫。地文ⅧB, 孔7。	I B2	弥生中期	198-10
12	B-578	弥生土器	群	IXD-6E	河川跡	15c層		10.3	16.5	6.2	肩紋文A2V(7), 无綫。地文I, 孔1-1。	I B2	弥生中期	198-11
13	B-561	弥生土器	群	IXD6E	河川跡	15a層		7.2	11.7	5.5	肩紋文A1U(6), 无綫。地文田B, 孔1-7。	I B2	弥生中期	198-12
14	B-563	弥生土器	群	IXD-6E	河川跡	15c層		8.8	13.4	6.0	肩紋文A2U(8), 磨削or无綫。地文田CⅢ, 孔7。	I B2	弥生中期	198-1
15	B-240	弥生土器	群	ⅧC区	河川跡	15層	土群No.6	7.0	10.6	4.9	平行直綫文(4), 地文田CⅢ, 孔7。	I B2	弥生中期	199-2

第447图 Ⅷ·Ⅸ区河川跡15層出土弥生土器30



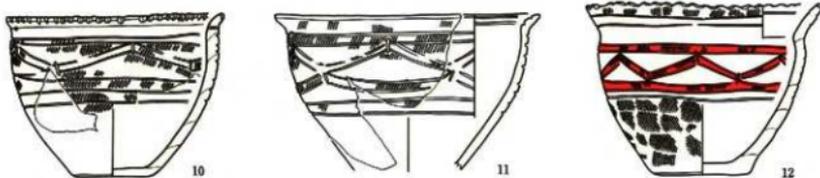
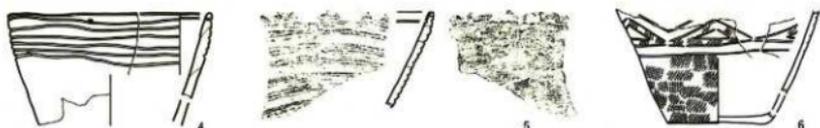
图号	发掘号	类别	形制	出土地点			度量			特征·备注	分期	时期	所属国别	
				地区	墓葬	层位	出土层号	壁厚	口径					直径
1	B-554	仰光土器	钵	IXC区	河川阶	15a-29	土器№13	7.6	10.0	4.3	平行直纹文(2)。地文IIC区。孔1-	I B2	仰光中期	199-3
2	B-628	仰光土器	钵	IXC区	河川阶	15a-30	(7.2)	11.5		平行直纹文(1)。孔7。	I B2	仰光中期	199-4	
3	B-492	仰光土器	钵	IXC区	河川阶	15a-30		16.1	13.2	6.9	平行直纹文(1)。地文IIC区。孔1-7。	I B2	仰光中期	199-5
4	B-549	仰光土器	钵	IXC区	河川阶	15a-29		8.0	10.9	4.3	四角文2段(3)。磨面。地文IIC区。孔1-1。	I B3	仰光中期	199-5
5	B-223	仰光土器	钵	IXC区	河川阶	14层	15a-30	8.6	10.6	6.1	磨纹A2V(6)。磨面。地文IIC区。孔1-7。	I B1	仰光中期	199-6
6	B-565	仰光土器	钵	IXC区	河川阶	15a-34		7.9	9.8	5.1	磨纹B1V(7)。地文IIC区。孔7。	I B1	仰光中期	199-7
7	B-600	仰光土器	钵	IXC区	河川阶	15a-34		9.5	11.6	5.9	磨纹B1V(5)。地文IIC区。孔1-7。	I B1	仰光中期	199-8
8	B-603	仰光土器	钵	IXC区	河川阶	15a-34		8.4	10.5	6.2	磨纹B1V(7)。地文IIC区。孔1-7。	I B1	仰光中期	199-9
9	B-588	仰光土器	钵	IXC区	河川阶	15a-29	(9.9)	12.6			磨纹B2V(7)。孔1-7。	I B1	仰光中期	199-10
10	B-237	仰光土器	钵	IXC区	河川阶	15a-30	土器№3	9.7	11.3	5.1	磨纹A2U(5)。磨面。地文IIC区。孔7。	I B1	仰光中期	199-11
11	B-599	仰光土器	钵	IXC区	河川阶	15a-30		10.6	12.8	6.0	四角文2段(5)。完整。地文IIC区。孔1-7。	I B1	仰光中期	199-12
12	B-490	仰光土器	钵	IXC区	河川阶	15a-29	(8.7)			5.7	磨纹B1V(7)。地文IIC区。孔7。	I B2	仰光中期	199-12
13	B-236	仰光土器	钵	IXC区	河川阶	14层	15a-30	(7.3)	11.0		平行直纹文(2)。孔1-1。	I B2	仰光中期	199-12
14	B-567	仰光土器	钵	IXC区	河川阶	15a-30		8.2	10.2	5.1	平行直纹文(2)。地文IIC区。孔1-7。	I B3	仰光中期	200-1

第448图 VIII·IX区河川阶15层出土仰光土器31



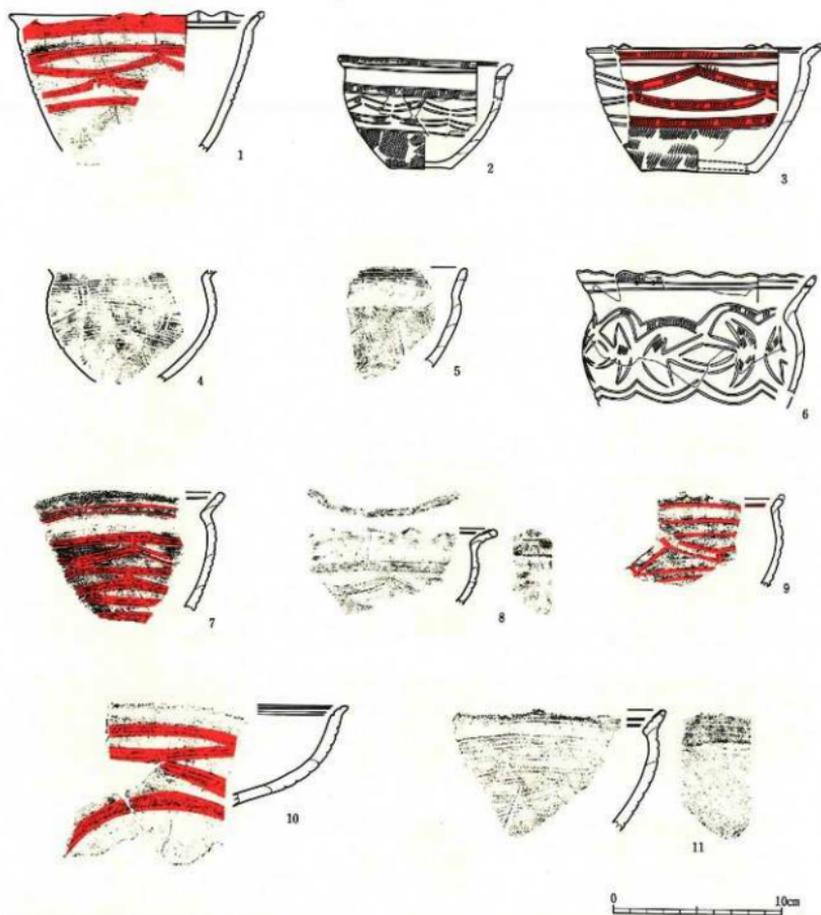
图号	纹饰	器形	窑别	窑址	出土地点			出土层位	出土编号	度量		特征·编号	分期	时期	写真版
					地区	墓葬	层位			口径	底径				
1	B-781	弥生土器	钵	堺区 IXDK	河川跡	15a-5a		(4.3)	14.7	螺旋文BIV(?)。孔7。		1B	弥生中期		
2	B-780	弥生土器	钵	堺区 IXDK	河川跡	15a-5a		(6.4)	13.8	螺旋文BIV(?)。地文埋1。孔7。		1B	弥生中期		
3	B-231	弥生土器	钵	堺区	河川跡	15a-5a				螺旋文BIV(?)。地文埋C。孔7。		1B	弥生中期		
4	B-220	弥生土器	钵	堺区	河川跡	14a				螺旋文BIV or BIV(?)。地文埋1。孔7。		1B	弥生中期		
5	B-325	弥生土器	钵	堺区	河川跡	15a-5a				螺旋文BIV(?)。地文埋1。孔1-7。		1B	弥生中期		
6	B-828	弥生土器	钵	IXDK	河川跡	15a-5a				螺旋文AZU(?)。充施。地文埋C。孔7。		1B	弥生中期		
7	B-782	弥生土器	钵	IXDK	河川跡	15a-5a		(6.9)	10.0	三角文(?)。磨治。地文埋1。孔7。		1B	弥生中期	200-2	
8	B-499	弥生土器	钵	IXDK	河川跡	15a-5a				平行波線文(A)。地文埋1。孔7。		1B	弥生中期		
9	B-243	弥生土器	钵	堺区	河川跡	15a-5a				平行波線文(A)。地文埋1。孔7。		1B	弥生中期		
10	B-244	弥生土器	钵	堺区	河川跡	15a-5a		(7.7)	14.0	孔7。		1B	弥生中期		
11	B-849	弥生土器	钵	堺区	河川跡	15a-5a				螺旋文AIV(?)。磨治or充施。地文埋1。孔1-7。		1B	弥生中期		
12	B-786	弥生土器	钵	IXDK	河川跡	15a-5a				螺旋文AIV(?)。磨治or充施。地文埋1。孔7。		1B	弥生中期		
13	B-247	弥生土器	钵	堺区	河川跡	15a-5a				螺旋文AIV(?)。磨治or充施。地文埋1。孔7。		1B	弥生中期		
14	B-241	弥生土器	钵	堺区	河川跡	B-10a				螺旋文AIV(?)。磨治。地文埋1。孔7。		1B	弥生中期		
15	B-627	弥生土器	钵	IXDK	河川跡	15a-5a				螺旋文BIV(?)。地文埋1。孔7。		1B	弥生中期		
16	B-256	弥生土器	钵	堺区	河川跡	15a-5a				螺旋文AIV(?)。充施。地文埋1。孔7。		1B	弥生中期		
17	B-246	弥生土器	钵	堺区	河川跡	15a-5a				螺旋文AIV(?)。充施。地文埋A。孔7。		1B	弥生中期		

第449图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器32



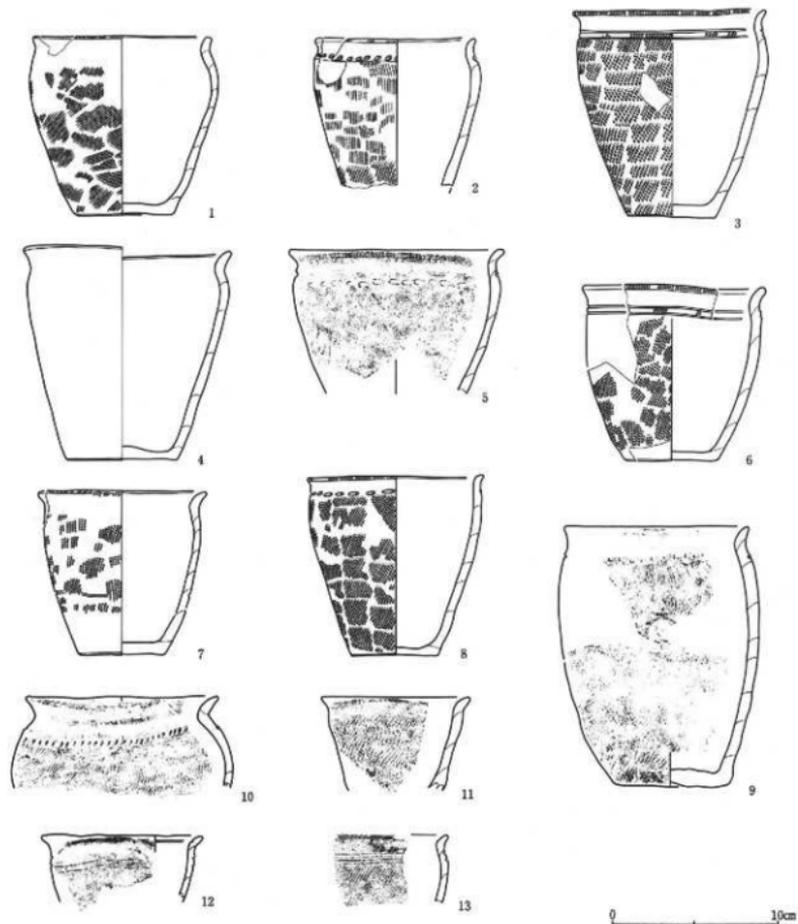
图中 序号	登錄 番号	類別	器種	出土地点		法量			特徴・備考	分類	時期	写真回数		
				地区	遺積	層位	取上番号	斷高					口径	底径
1	B-827	弥生土器	鉢	DXDE	河川跡	15a層				磨滅文A10(7)。変現。地文D13出。孔7。	I B	弥生中期		
2	B-777	弥生土器	鉢	DXDE	河川跡	15a層				磨滅文A10(7)。変現。地文V18。孔7。	I B	弥生中期		
3	B-261	弥生土器	鉢	VMC	河川跡	15c層		( 6.9)	12.3	磨滅文(7)。孔1-7。 平行直線文(3)。孔1-7。	I B	弥生中期		
4	B-253	弥生土器	鉢	VMC	河川跡	15a層				凹角文(7)。変現。地文1。孔7。	I B	弥生中期		
6	B-238	弥生土器	鉢	VMC	河川跡	15a層		( 7.0)	6.2	三角文(6)。変現。地文D13出。孔7。	I B	弥生中期	200-3	
7	B-249	弥生土器	鉢	VMC	河川跡	15-15a層				磨滅文A10(7)。磨滅。地文1。孔7。	I B	弥生中期		
8	B-767	弥生土器	鉢	DXDE	河川跡	15c層				磨滅文A10(7)。変現。地文V11。孔7。	I B	弥生中期		
9	B-229	弥生土器	鉢	VMC	河川跡	15c層		( 6.4)	9.9	平行直線文(3)。地文D13。孔7。	I B	弥生中期		
10	B-254	弥生土器	鉢	VMC DXDE	河川跡	15c層		9.8	13.2	5.0	磨滅文A10(5)。磨滅。地文V11。孔1-7。	II B1	弥生中期	200-4
11	B-589	弥生土器	鉢	VMC DXDE	河川跡	15a-15b層		( 9.6)	16.0		磨滅文A10(6)。変現。地文V11。孔7。	II B1	弥生中期	200-5
12	B-253	弥生土器	鉢	VMC	河川跡	15c層	土層No27	10.7	14.3	6.0	磨滅文A10(7)。変現。地文D13出。孔7。	II B1	弥生中期	200-6

第450图 VII・IX区河川跡15層出土弥生土器33



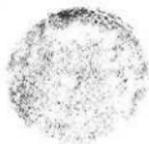
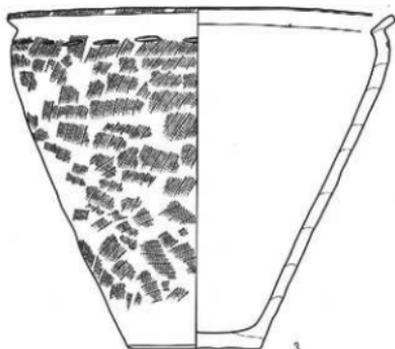
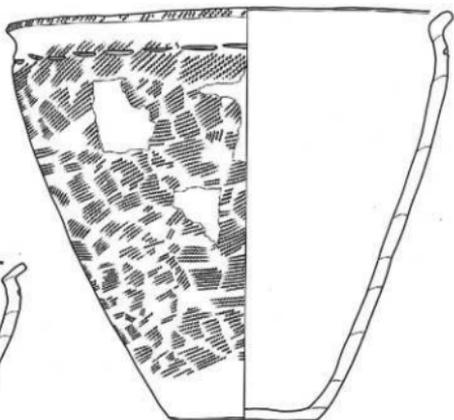
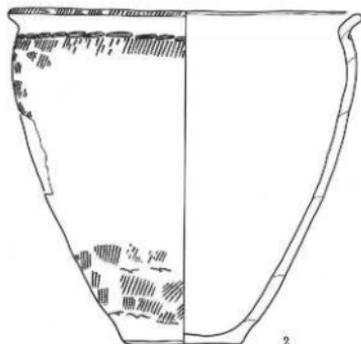
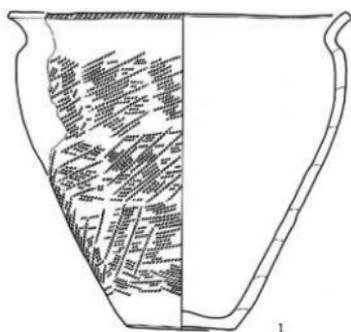
图中 器物 序号	登錄 番号	類別	器種	出土地点			度量			特徵・備考	分類	時期	写真回数	
				地区	墓群	墓位	出土番号	器高	口径					底直径
1	B-259	弥生土器	钵	Ⅷ区	河川跡	15a-5a層		(8.5)	15.6		螺旋文A1V(?)、扇形or変扇。地文田C1、孔?。	II B1	弥生中期	
2	B-256	弥生土器	钵	Ⅷ区	河川跡	15a-5a層		6.7	10.6	3.7	扇状文A2V(?)、无翼。地文田C画。孔1-。	II B1	弥生中期	200-7
3	B-627	弥生土器	钵	IX区	河川跡	15a-5a層		7.8	14.2	6.8	扇状文A2V(?)、无翼。地文田C画。孔?。	II B1	弥生中期	200-8
4	B-257	弥生土器	钵	Ⅷ区	河川跡	15a-5a層		(7.11)			扇状文B1V(?)、孔?。	II B2	弥生中期	
5	B-229	弥生土器	钵	Ⅷ区	河川跡	15a層					孔?。	II B1	弥生中期	
6	B-264	弥生土器	钵	Ⅷ区	河川跡	15a層		(8.4)	14.4		扇状文(?)、无翼。地文田1、孔2-?。	II B2	弥生中期	200-9
7	B-783	弥生土器	钵	IX区	河川跡	15a層					扇状文A1V(?)、无翼。地文田1、孔?。	II B1	弥生中期	
8	B-258	弥生土器	钵	IX区	河川跡	15a層					扇状文A2V(?)、无翼。地文田1、孔?。	II B1	弥生中期	
9	B-791	弥生土器	钵	IX区	河川跡	15a層					扇状文B1U(?)、孔?。	II B1	弥生中期	
10	B-789	弥生土器	钵	IX区	河川跡	15a-5a層					扇状文A2U(?)、无翼。地文田C画。孔?。	II B1	弥生中期	
11	B-260	弥生土器	钵	Ⅷ区	河川跡	15a層					扇状文+扇状文V1b(?)、无翼。地文田C画。孔?。	II B1	弥生中期	200-10

第451图 Ⅷ・Ⅸ区河川跡15層出土弥生土器34



图号	序号	类别	窑址	出土地点	器高	口径	底径	特征·备注	分期	时期	写真图例
1	B-560	张生土器	变	DX区 河川跡 15c層	11.0	10.7	5.9	地文田VCa。	1A	张生中期	201-1
2	B-567	张生土器	变	DX区 河川跡 15c-15層	( 9.3)	9.6		列点文。地文1。	1A	张生中期	201-2
3	B-495	张生土器	变	DC-DE 河川跡 15a-15層	12.6	11.6	5.3	地文田Cii。	1A	张生中期	201-3
4	B-763	张生土器	变	DX区 河川跡 15a層	13.2	12.5	6.6		1A	张生中期	
5	B-832	张生土器	变	DX区 河川跡 15c層	( 8.8)	12.8		列点文。地文1。	1A	张生中期	
6	B-617	张生土器	变	DX区 河川跡 15b-15層	10.8	10.9	5.7	地文田Cii。	1A	张生中期	201-4
7	B-333	张生土器	变	DE区 河川跡 15c層	10.1	10.1	3.2	地文田I。	1A	张生中期	201-5
8	B-332	张生土器	变	DE区 河川跡 14層 15a層	11.0	10.8	5.3	列点文。地文1。	1A	张生中期	201-6
9	B-451	张生土器	变	DE区 河川跡 15c層	16.0	11.1	7.0	列点文。地文1。	1A	张生中期	
10	B-205	张生土器	变	DE区 河川跡 14層	( 5.1)	11.6		列点文。地文田Cii。	1A	张生中期	201-7
11	B-334	张生土器	变	DE区 河川跡 15a層	( 5.7)	9.0		地文田Cii。	1A	张生中期	
12	B-778	张生土器	变	DC-DE 河川跡 15c-15層	( 4.1)	9.7		平行线纹文(2)。	1A	张生中期	
13	B-235	张生土器	变	DE区 河川跡 15c-15層				地文田Cii。	1A	张生中期	

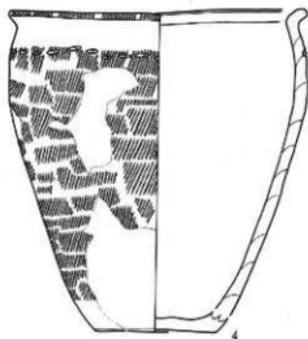
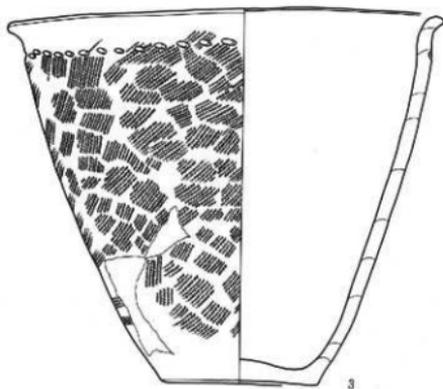
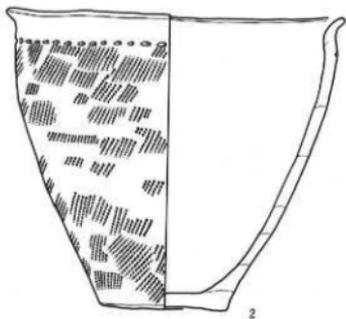
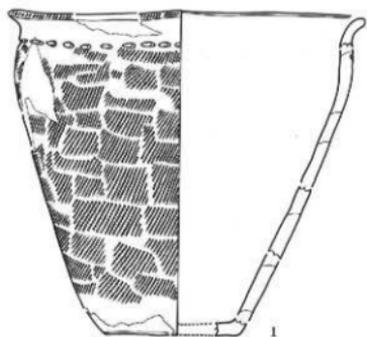
第452图 VII·IX区河川跡15層出土张生土器35



0 10cm

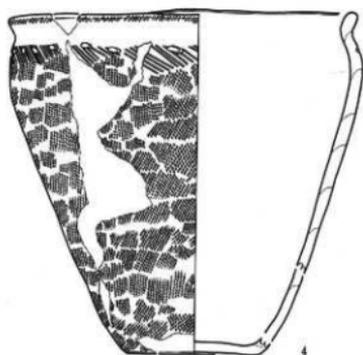
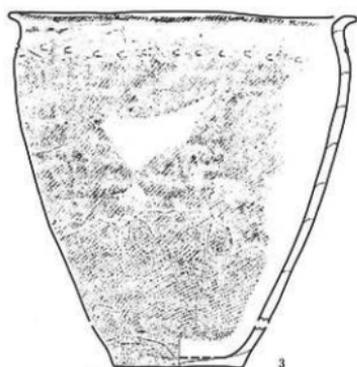
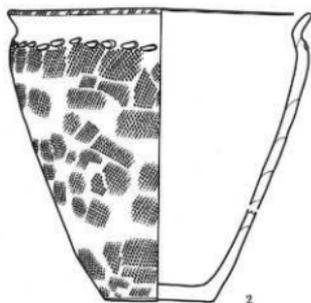
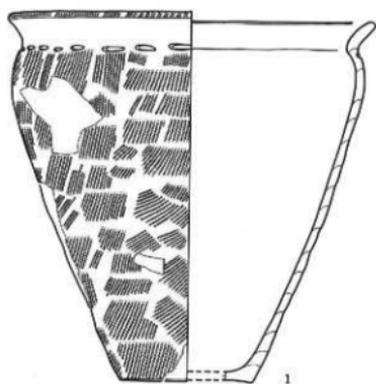
编中 器号	器类	器别	地区	遗址	层位	出土层号	口径	口径	口径	特征·备注	分期	时期	写真图版
1	B-341	弥生土器	筑前区	河川跡	15a層	土器No.12	19.5	20.6	6.5	地文IV Aa。	I B	弥生中期	201-8
2	B-672	弥生土器	筑前区	河川跡	15a層		20.4	21.4	6.8	列点文。地文I。	I B	弥生中期	201-9
3	B-667	弥生土器	筑前区	河川跡	15a層		20.9	22.4	8.0	列点文。地文IV Biv。	I B	弥生中期	202-1
4	B-342	弥生土器	筑前区	河川跡	15層 15a層		25.3	26.9	9.0	列点文。地文IIIa。底面織布文。	I B	弥生中期	202-2

第453图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器36



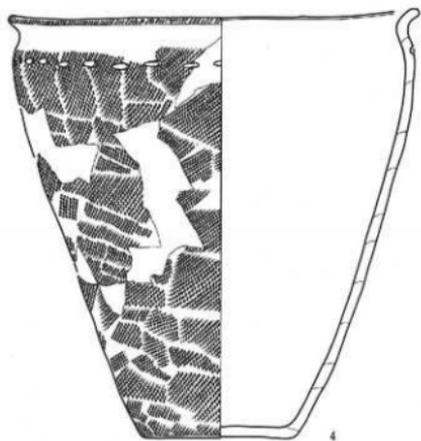
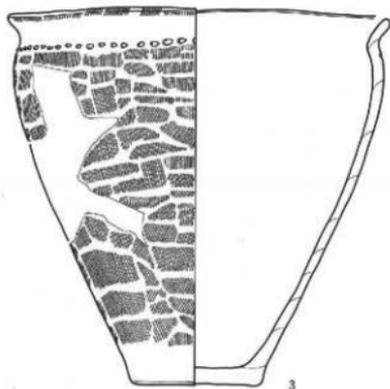
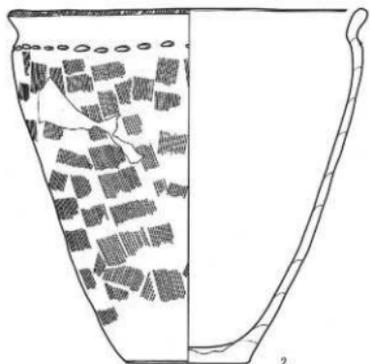
図中 番号	発 掘 番 号	形 別	形 類	出 土 地 点			法 量			特 徴・備 考	分 期	時 期	写 真 図 録	
				地 区	遺 構	層 位	取 上 層 号	身 高	口 径					底 径
1	B-683	弥生土器	甕	IXB区	河川跡	15c層	土器No.24	19.9	21.3	8.4	列点文。地文埋1。	I B	弥生中期	202-3
2	B-204	弥生土器	甕	埋区	河川跡	15c層	土器No.24	18.0	20.5	7.6	列点文。地文埋CⅡ。	I B	弥生中期	202-4
3	B-684	弥生土器	甕	IXB区	河川跡	15c層		22.9	26.2	9.5	列点文。地文埋CⅠ。	I B	弥生中期	203-1
4	B-687	弥生土器	甕	IXC区	河川跡	15a-15c層		19.8	18.0	7.8	列点文。地文埋CⅠ。	I B	弥生中期	203-2

第454图 VIII・IX区河川跡15層出土弥生土器37



图中 器物 序号	器类	窑址	出土地点			度量			纹饰·备注	分期	时期	写真页数	
			地区	墓葬	层位	出土序号	器高	口径					底径
1	B-392	弥生土器	濑户内	河川跡	15c層		22.7	22.0	8.6	列点文。地文IVBiv。	I B	弥生中期	203-3
2	B-390	弥生土器	濑户内	河川跡	15c-16層		18.0	18.3	6.5	列点文。地文IVCiii。	I B	弥生中期	203-4
3	B-328	弥生土器	濑户内	河川跡	15c層		21.8	21.0	8.6	列点文。地文IVCiii。	I B	弥生中期	
4	B-679	弥生土器	濑户内	河川跡	15a層		20.8	20.9	8.6	列点文。地文IVCiii。	I B	弥生中期	204-1

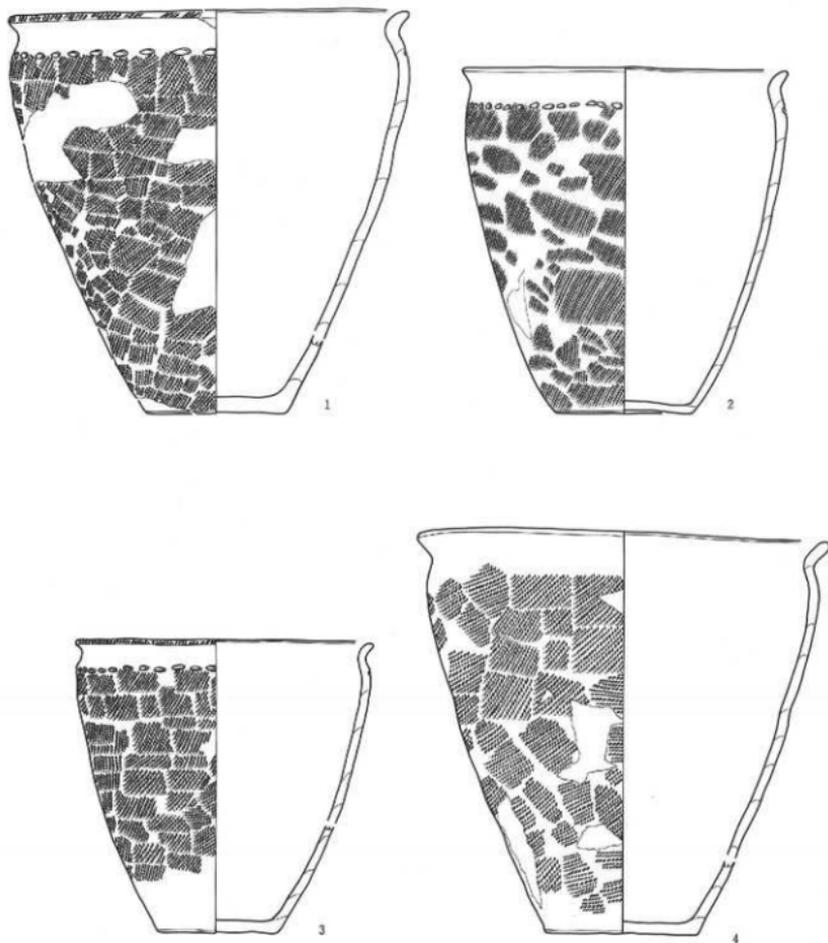
第455图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器38



0 10cm

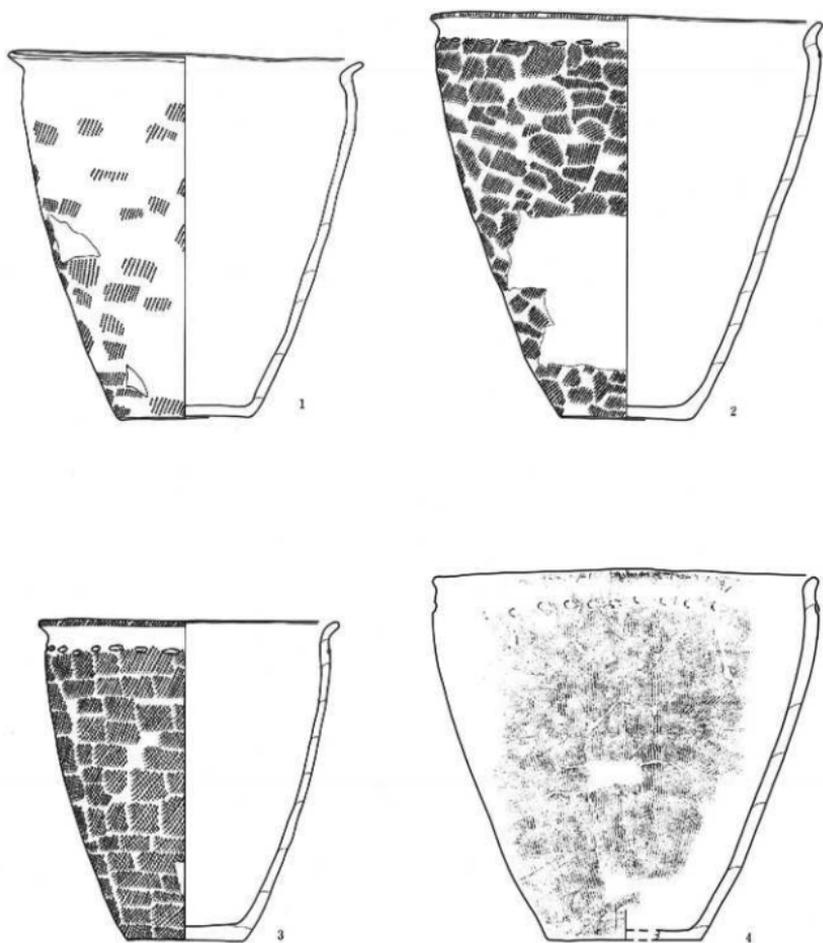
序号	登记号	类别	器名	出土地点			度量			特征·保存	分期	时期	写真图版	
				地区	遗址	层位	取土层号	器高	口径					壁厚
1	B-751	弥生土器	壶	IX区	河川跡	15a-5層		22.7	22.0	7.1	列点文、地文I。	1B	弥生中期	
2	B-298	弥生土器	壶	IX区	河川跡	15a-5層		21.8	21.6	7.4	列点文、地文I。	1B	弥生中期	204-1
3	B-652	弥生土器	壶	IX区	河川跡	15a-5層		23.0	23.0	8.0	列点文、地文I。	1B	弥生中期	204-2
4	B-680	弥生土器	壶	IX区	河川跡	15a層		25.8	24.7	9.2	列点文、地文III。	1B	弥生中期	204-3

第456图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器39



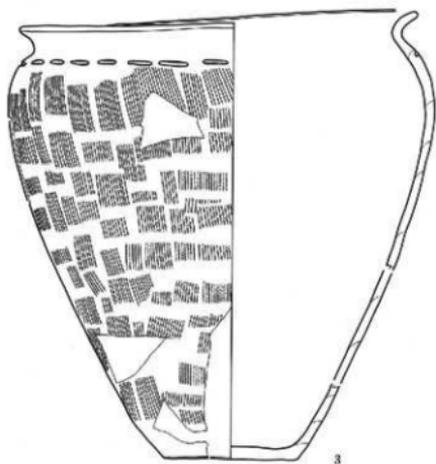
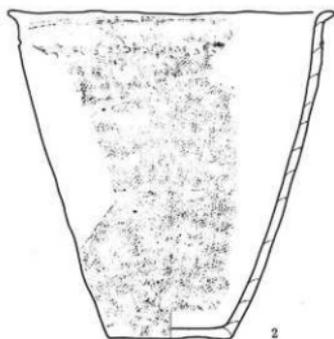
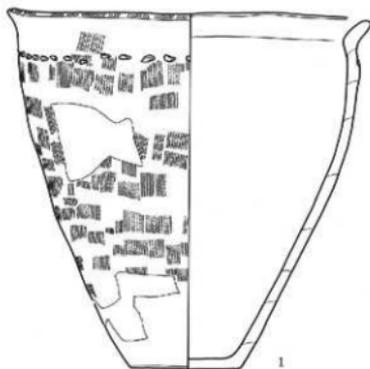
区中 番号	数量 番号	类别	原料	出土地点			径 寸			特 徴 ・ 備 考	分 期	时 期	写真 図版	
				地 区	道 筋	层 位	取上番号	高	口 径					底 径
1	B-306	弥生土器	罌	国区 IX区	河川跡	1a-5層		24.6	24.0	8.5	列点文。地文田C1a。	IB	弥生中期	205-1
2	B-659	弥生土器	罌	国区 IX区	河川跡	1a層	土器No.4	21.3	19.5	8.0	列点文。地文田C1a。	IB	弥生中期	205-2
3	B-658	弥生土器	罌	国区 IX区	河川跡	1a-5層		18.0	17.8	7.2	列点文。地文田C1a。	IB	弥生中期	205-3
4	B-327	弥生土器	罌	国区 IX区	河川跡	1a層		24.7	24.7	9.1	地文田C1a。	IB	弥生中期	205-4

第457图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器40



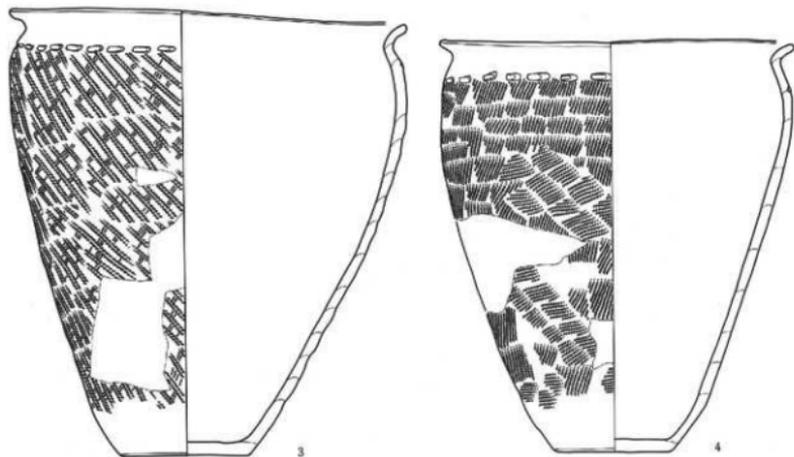
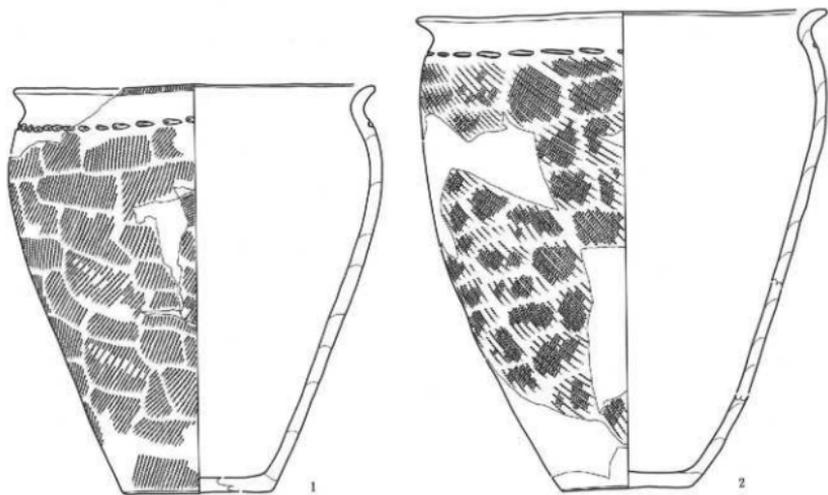
图号	图例	出土地点	度量			特征·备注	分期	时期	写真图版			
			口径	口径	口径							
1	B-336	豫东土器	豫东	河内县	1a-168	22.5	21.4	7.9	列点无, 地文I。	1B	豫东中晚	206-1
2	B-668	豫东土器	豫东	河内县	1a-168	24.7	23.5	8.1	列点无, 地文II。	1B	豫东中晚	206-2
3	B-383	豫东土器	豫东	河内县	1a-168	19.7	18.1	7.6	列点无, 地文I。	1B	豫东中晚	206-3
4	B-384	豫东土器	豫东	河内县	1a-168	22.7	23.2	9.2	列点无, 地文I。	1B	豫东中晚	

第458图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器41



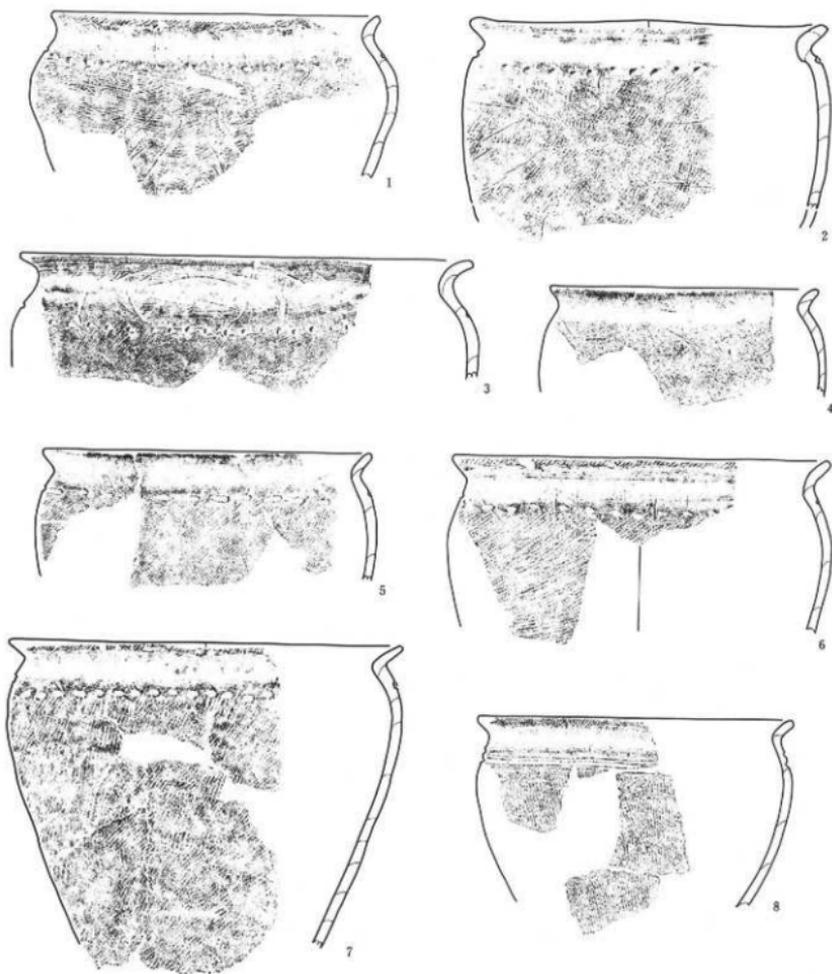
编中 序号	编号	类别	时期	出土地点			度量			特征·备注	分期	时期	写真图版	
				前区	后区	层位	取土层种	身高	口径					底径
1	B-397	弥生土器	弥生	河川跡	15a層		取土層种	22.1	21.9	6.8	列点文。地文I。	I B	弥生中期	206-4
2	B-404	弥生土器	弥生	DAC区	河川跡	15a層		20.0	19.6	7.4	列点文。地文D区。	I B	弥生中期	
3	B-346	弥生土器	弥生	DAC区	河川跡	14層 16-18層		27.3	23.9	8.0	列点文。地文I。	I B	弥生中期	207-1
4	B-703	弥生土器	弥生	DAC区	河川跡	13c層		26.5	21.2	9.6	列点文。地文D区。	I B	弥生中期	

第459图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器42



标本 序号	登錄 号	種類	形制	出土地点			度量			特征·備考	分期	时期	写真图版	
				地区	层位	层长	双上缘特	器高	口径					胎壁
1	B-682	弥生土器	甕	DCHK	河川跡	2a-2b層		25.1	23.6	8.9	列点文。地文IVBiv。	1B	弥生中期	267-2
2	B-340	弥生土器	甕	YBZ	河川跡	13-14層 12-15層		29.2	24.6	7.9	列点文。地文VIi。	1B	弥生中期	267-3
3	B-671	弥生土器	甕	YBZ IX区	河川跡	B-15層		27.6	23.9	7.7	列点文。地文VIe。	1B	弥生中期	268-1
4	B-685	弥生土器	甕	IXB C-15a	河川跡	B-15層		30.4	23.2	7.2	列点文。地文IIIH。	1B	弥生中期	268-2

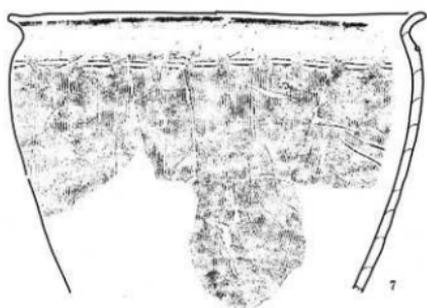
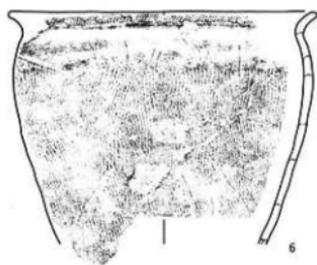
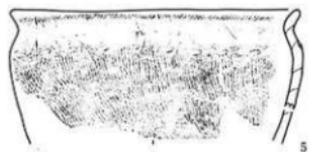
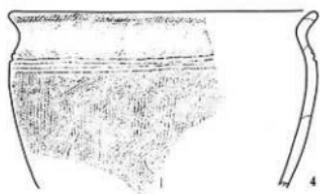
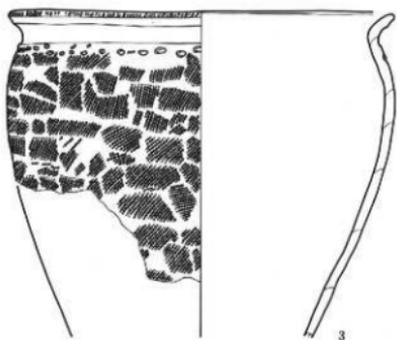
第460图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器43



0 10cm

同种 器物 序号	纹饰 类别	器型	出土地点			度量			特征·附考	分期	时期	写真图版
			地区	遗址	层位	出土层位	胎高	口径				
1	B-750	弥生土器	IXC区	河川跡	15層		( 9.8)	19.7	列点文。地文田C <sub>2</sub> 。	1B	弥生中期	
2	B-740	弥生土器	IXC区	河川跡	15層		(12.0)	21.5	列点文。地文田B <sub>1</sub> 。	1B	弥生中期	
3	B-840	弥生土器	IXD区	河川跡	15c層		( 7.1)	27.4	列点文。地文IVB <sub>iv</sub> 。	1B	弥生中期	
4	B-843	弥生土器	IXD区	河川跡	15a層		( 6.5)	16.2	地文D <sub>1</sub> 。	1B	弥生中期	
5	B-748	弥生土器	IXC区	河川跡	18a層	土層No.25	( 7.8)	19.8	列点文。地文田C <sub>1</sub> 。	1B	弥生中期	
6	B-291	弥生土器	IXE区	河川跡	15c層		(16.6)	22.6	列点文。地文田A <sub>3</sub> 。	1B	弥生中期	
7	B-695	弥生土器	IXA区	河川跡	18a層		(18.6)	23.7	列点文。地文IVD <sub>iv</sub> 。	1B	弥生中期	
8	B-248	弥生土器	IXE区	河川跡	15a層		(11.0)	18.8	地文田C <sub>2</sub> 。	1B	弥生中期	

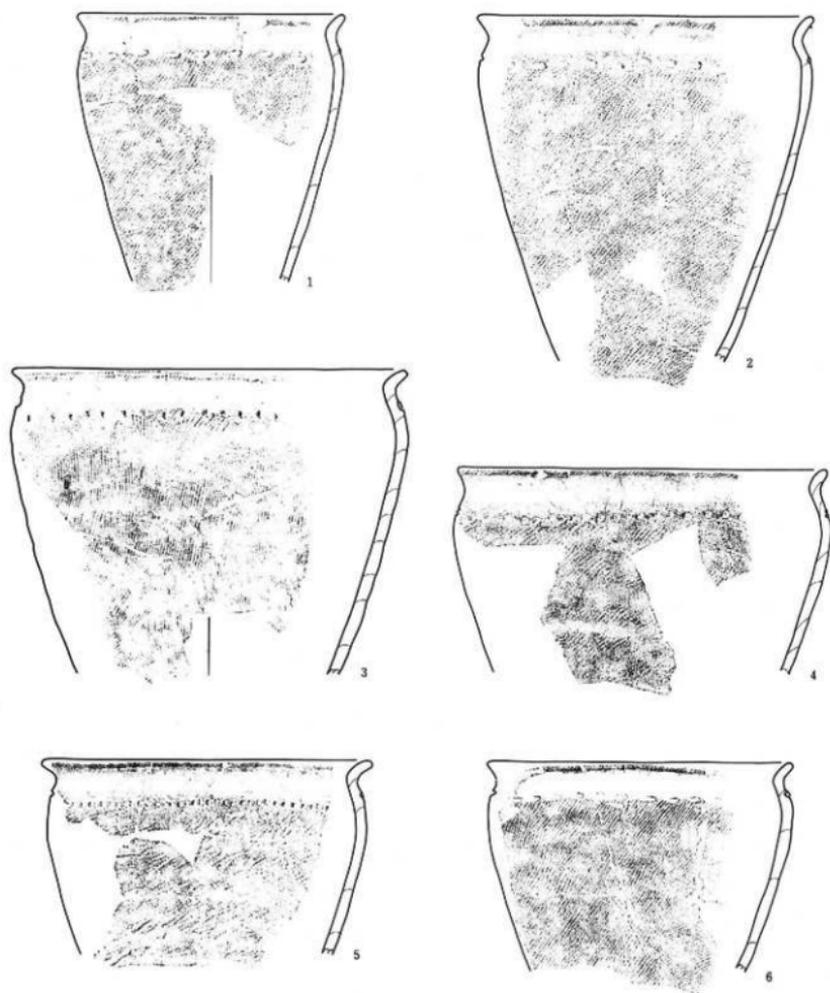
第461图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器44



0 10cm

图中 序号	登记 号	窑别	窑址	出土地点			度量			特征·备注	分期	时期	写真图版
				地区	遗址	层位	口径	底径	高度				
1	B-385	狄生土器	樊	豫区	河川跡	Ⅱa-5層	(11.5)	17.0		列点文。地文ⅡCⅡ。	1B	狄生中期	
2	B-745	狄生土器	樊	豫区	河川跡	Ⅱa層	(11.2)	19.6		列点文。地文ⅡCⅡ。	1B	狄生中期	
3	B-609	狄生土器	樊	豫区	河川跡	Ⅱa-5層	(26.6)	23.2		列点文。地文ⅡCⅠ。	1B	狄生中期	206-3
4	B-702	狄生土器	樊	豫区	河川跡	Ⅱa-5層	(18.8)	18.6		地文ⅡCⅡ。	1B	狄生中期	206-4
5	B-706	狄生土器	樊	豫区	河川跡	Ⅱa-5層	(8.2)	17.4		列点文。地文ⅡCⅡ。	1B	狄生中期	
6	B-744	狄生土器	樊	豫区	河川跡	Ⅱa-5層	(14.2)	18.8		列点文。地文ⅡCⅡ。	1B	狄生中期	
7	B-586	狄生土器	樊	豫区	河川跡	Ⅱa-5層	(17.0)	25.1		列点文。地文Ⅰ。	1B	狄生中期	

第462图 VIII·狄区河川跡15層出土狄生土器45



0 10cm

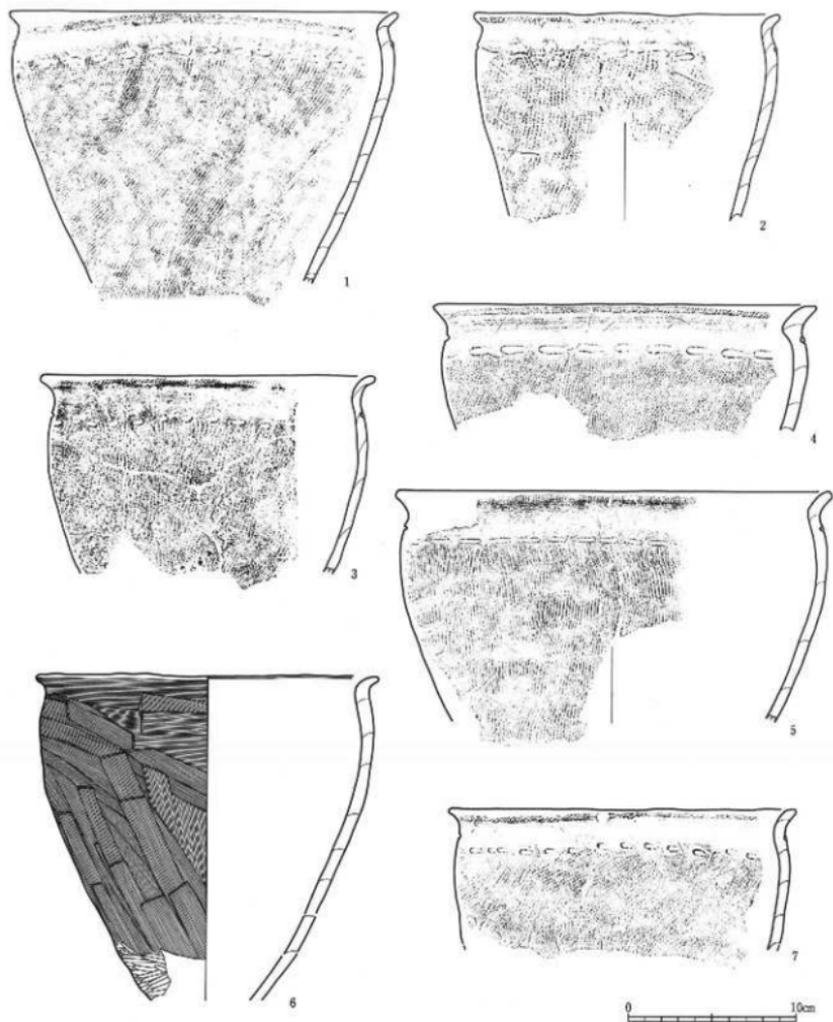
編中 番号	発見 番号	類別	器種	出土地点		法量		特徴・備考	分類	時期	写真図版	
				地区	遺跡名	層位	取上番号					器高
1	B-753	弥生土器	壶	DD区	河川跡	15a層	(16.4)	26.1	列点文。地文Bc ii。	1B	弥生中期	
2	B-752	弥生土器	壶	BA・CR	河川跡	15層 1a-1d層	(21.1)	26.2	列点文。地文Bc ii。	1B	弥生中期	
3	B-673	弥生土器	壶	BB・CE	河川跡	15a層	(18.7)	23.8	列点文。地文I。	1B	弥生中期	
4	B-344	弥生土器	壶	WE区	河川跡	14層 15a層	(12.50)	22.0	列点文。地文Bc iii。	1B	弥生中期	
5	B-747	弥生土器	壶	DC区	河川跡	10a-10b層	(11.30)	29.0	列点文。地文I。	1B	弥生中期	
6	B-735	弥生土器	壶	DD区	河川跡	15a-15b層	(12.40)	35.4	列点文。地文Bc ii。	1B	弥生中期	

第463图 VII・IX区河川跡15層出土弥生土器46



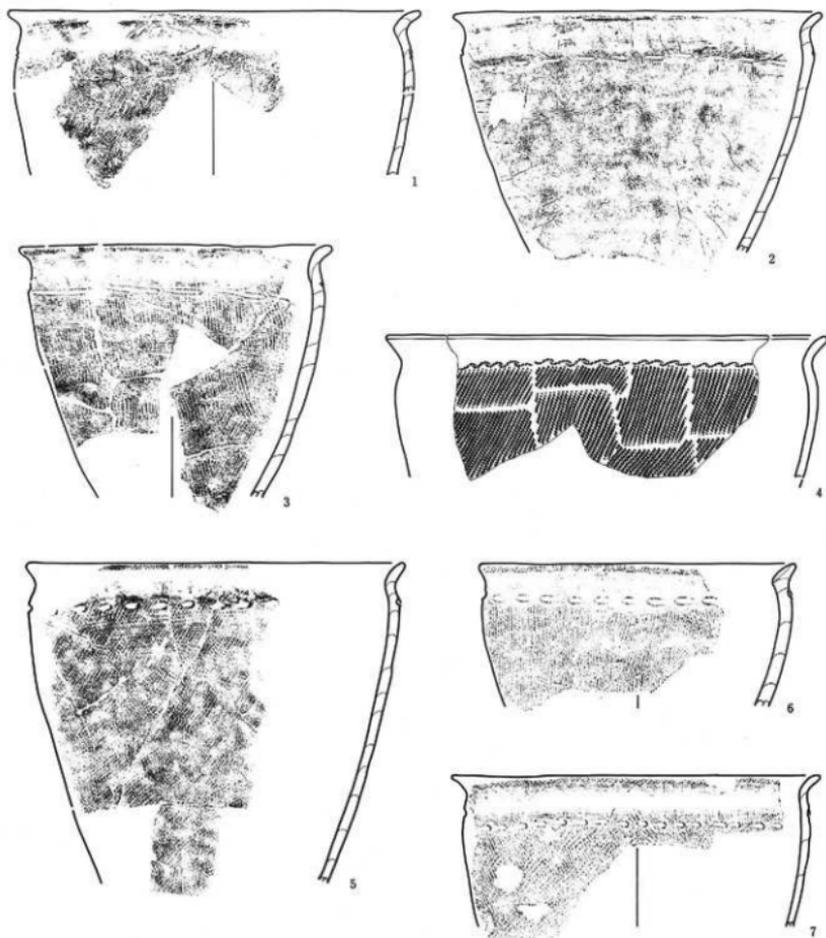
图中 序号	登记 编号	类别	窑别	地区	墓葬	部位	出土编号	墓高	口径	底径	特征·备注	分期	时期	与高凉墩
1	B-705	赤朱土胎	窑	EXDK	河川路	3a-5a腹	(7.0)	21.0			粗文田CⅡ。	1B	张生中墓	200-1
2	B-681	赤朱土胎	窑	LXCG	河川路	3a-5a腹	(13.7)	19.8			粗文田CⅡ。	1B	张生中墓	200-2
2	B-746	赤朱土胎	窑	DB-CZ	河川路	3a-5a腹	(11.7)	21.6			列点文, 地文Ⅰ。	1B	张生中墓	
4	B-410	赤朱土胎	窑	YDK	河川路	3a-5a腹	(6.0)	19.6			列点文, 地文Ⅰ。	1B	张生中墓	200-3
5	B-675	赤朱土胎	窑	EXBK	河川路	3a-5a腹	(13.6)	17.2			列点文, 地文Ⅱ。	1B	张生中墓	
6	B-421	赤朱土胎	窑	YDK	河川路	3a-5a腹	(6.3)	20.0			列点文, 地文Ⅰ。	1B	张生中墓	
7	B-749	赤朱土胎	窑	LXCG	河川路	3a-5a腹	(6.6)	16.4			列点文, 地文Ⅰ。	1B	张生中墓	
8	B-759	赤朱土胎	窑	DC-10E	河川路	3a-5a腹	(11.1)	24.8			列点文, 地文Ⅱ。	1B	张生中墓	
9	B-841	赤朱土胎	窑	EXDK	河川路	3a-5a腹	(12.2)	20.6			列点文, 地文田AⅡ。	1B	张生中墓	

第464图 VII·IX区河川路15层出土弥生土器47



编中 器号	类 别	形 制	出 土 层 位	出 土 层 位	高 度	口 径	底 径	特 征 · 考 索	分 类	时 期	写 真 照 片
1	B-765	弥生土器	奈良	IX区 河川跡 15a層	取土跡特	(16.7)	23.2	列点文。地文即CIII。	IB	弥生中期	
2	B-662	弥生土器	奈良	IX区 河川跡 15a層		(12.4)	18.4	列点文。地文即CIII。	IB	弥生中期	
3	B-424	弥生土器	奈良	IX区 河川跡 15c層		(12.1)	20.2	列点文。地文即I。	IB	弥生中期	
4	B-732	弥生土器	奈良	IX区 河川跡 15c層		( 7.7)	23.0	列点文。地文即BIII。	IB	弥生中期	
5	B-727	弥生土器	奈良	IX区 河川跡 15c層	土層No.2	(14.3)	26.0	列点文。地文I。	IB	弥生中期	
6	B-339	弥生土器	奈良	IX区 河川跡 15a-15b層		(19.8)	29.6		IB	弥生中期	209-5
7	B-732	弥生土器	奈良	IX区 河川跡 15a-15b層		( 8.6)	29.8	列点文。地文即AIII。	IB	弥生中期	

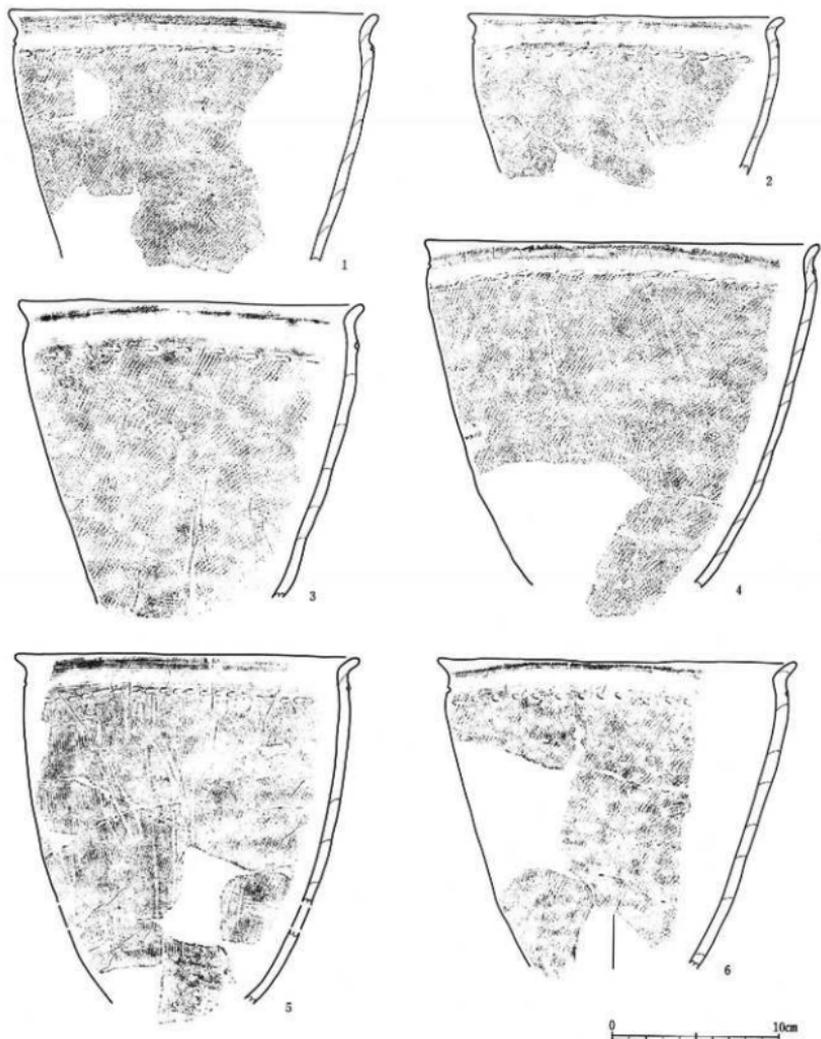
第465图 VIII·IX区河川跡15層出土弥生土器48



0 10cm

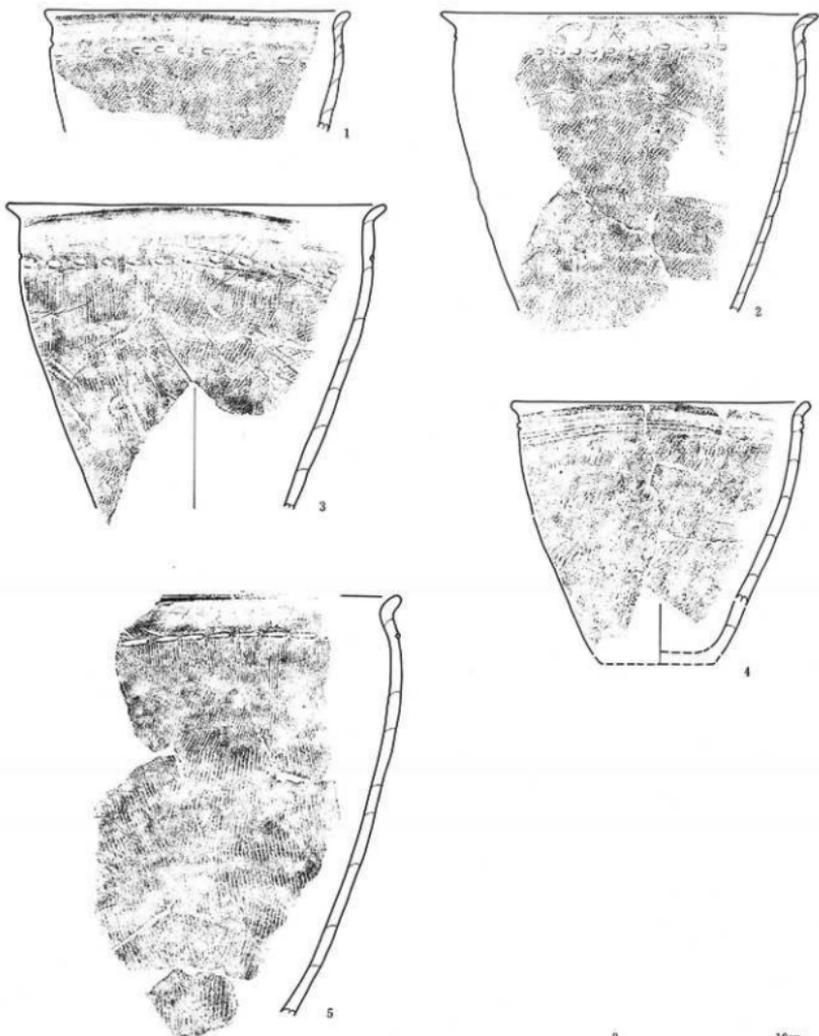
图中器号	器类	窑址	地区	遗址	层位	出土器号	器高	口径	底径	特征·图考	分期	时期	写真图版
1	B-741	夹生土器	淮	DC-IV	河川跡	5a-6層	(10.0)	24.8		列点文、地文III。	1B	弥生中期	
2	B-739	夹生土器	淮	DCB区	河川跡	5c-6層	(14.0)	22.2		列点文、地文I。	1B	弥生中期	
3	B-345	夹生土器	淮	VI区	河川跡	14層 15a-16層	(15.0)	18.7		列点文、地文I。	1B	弥生中期	
4	B-831	夹生土器	淮	IX区	河川跡	15b層	( 8.7)	26.4		地文III。	1B	弥生中期	209-4
5	B-660	夹生土器	淮	DC-IV	河川跡	15a層	(19.6)	22.7		列点文、地文III。	1B	弥生中期	
6	B-734	夹生土器	淮	DD区	河川跡	15c層	( 8.8)	19.1		列点文、地文IVB。	1B	弥生中期	
7	B-731	夹生土器	淮	DCB区	河川跡	15a-16層	( 9.2)	22.2		列点文、地文III。	1B	弥生中期	

第466图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器49



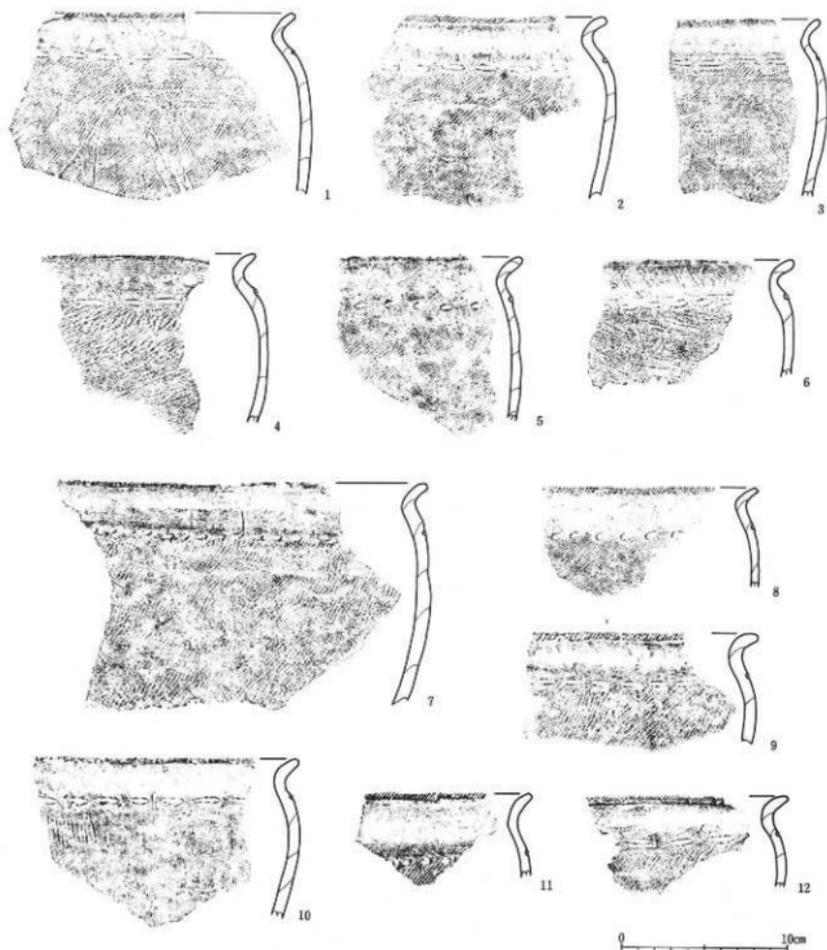
图号	序号	类别	器形	出土地点			度量			纹饰·器考	分期	时期	写真图版
				地区	道	遗址	出土层位	取土层号	口径				
1	B-247	弥生土器	壶	福冈	阿苏郡	15a层	(45.2)	22.2		列点文。地文田C出。	1B	弥生中期	
2	B-281	弥生土器	壶	茨·高	河川部	15a层	(9.5)	19.0		列点文。地文田C出。	1B	弥生中期	
3	B-289	弥生土器	壶	福冈	阿苏郡	15a层	(18.4)	20.7		列点文。地文田C出。	1B	弥生中期	
4	B-243	弥生土器	壶	福冈	阿苏郡	15a层	(21.2)	23.8		列点文。地文田C出。	1B	弥生中期	
5	B-754	弥生土器	壶	茨·高	河川部	15a层	(21.3)	20.8		列点文。地文1。	1B	弥生中期	
6	B-743	弥生土器	壶	茨·高	河川部	15a层	(18.8)	21.5		列点文。地文田C1。	1B	弥生中期	

第467图 VII·IX区河川部15层出土弥生土器50



国中 番号	器名	類別	部類	出土地点			法量		特徴・備考	分期	時期	写真図版
				地区	層位	取上番号	高さ	口径				
1	B-844	弥生土器	甕	IXD区	河川跡 15a層		(7.4)	18.3	列点文。地文用C位。	I B	弥生中期	
2	B-861	弥生土器	甕	IXC-D区	河川跡 15a-6層		(18.3)	22.6	列点文。地文用C位。	I B	弥生中期	
3	B-798	弥生土器	甕	IXC-D区	河川跡 15a-6層		(18.7)	22.8	列点文。地文1。	I B	弥生中期	
4	B-758	弥生土器	甕	IXD区	河川跡 15a層		(15.5)	19.6	地文用1。	I B	弥生中期	図9-6
5	B-742	弥生土器	甕	IXC-D区	河川跡 15a-6層		(24.3)		列点文。地文1。	I B	弥生中期	

第468图 VII・IX区河川跡15層出土弥生土器51



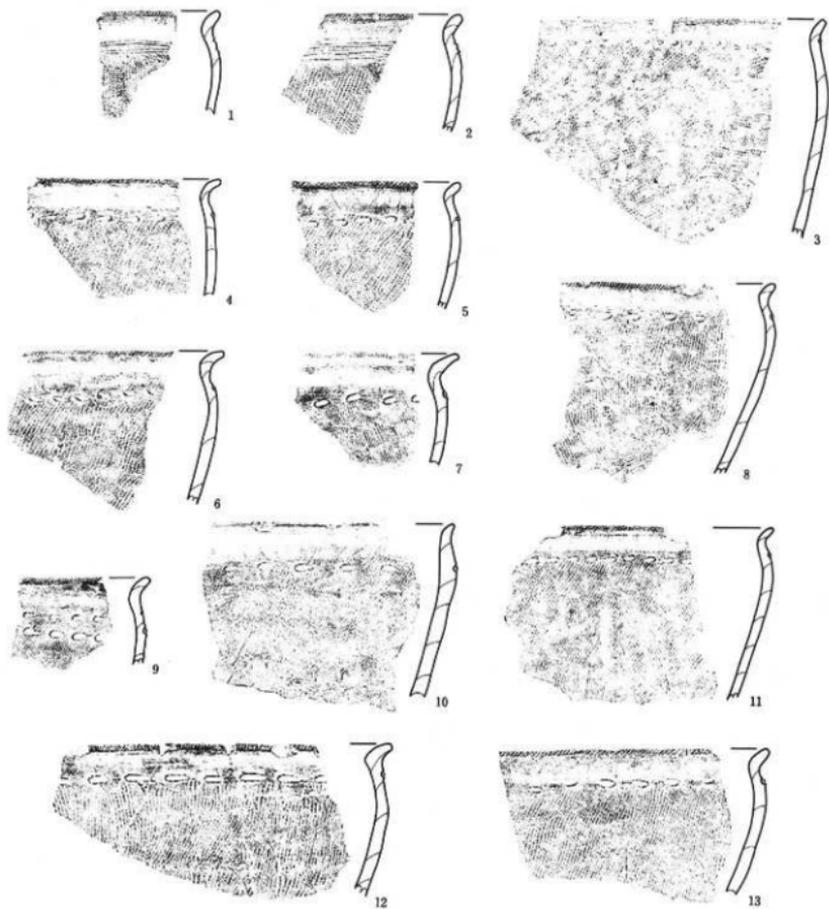
图中 器物 序号	类别	器别	出土地点		数量		特征·备注	分期	时期	写真图版
			地区	遗址	层位	出土层位				
1	B-413	夹灰土器	襄阳区	河川跡	15a層		列点文、地文田Cm。	1B	弥生中期	
2	B-406	夹灰土器	襄阳区	河川跡	15a層		列点文、地文田Cm。	1B	弥生中期	
3	B-412	夹灰土器	襄阳区	河川跡	15層		列点文、地文田Cm。	1B	弥生中期	
4	B-414	弥生土器	襄阳区	河川跡	15b-15c層		列点文、地文田Acm。	1B	弥生中期	
5	B-430	弥生土器	襄阳区	河川跡	15c層		列点文、地文田Cm。	1B	弥生中期	
6	B-441	弥生土器	襄阳区	河川跡	15a層		列点文、地文田Cm。	1B	弥生中期	
7	B-454	弥生土器	襄阳区	河川跡	15層		列点文、地文田Cm。	1B	弥生中期	
8	B-420	弥生土器	襄阳区	河川跡	15a層		列点文、地文田Cm。	1B	弥生中期	
9	B-402	弥生土器	襄阳区	河川跡	15-15a層		列点文、地文田Cm。	1B	弥生中期	
10	B-403	弥生土器	襄阳区	河川跡	15層		列点文、地文田Cm。	1B	弥生中期	
11	B-407	弥生土器	襄阳区	河川跡	15b層		列点文、地文田Cm。	1B	弥生中期	
12	B-420	弥生土器	襄阳区	河川跡	15a層		列点文、地文田Cm。	1B	弥生中期	

第469图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器52



图中 器物 序号	纹饰	器别	窑址	出土地点			度量		纹饰·纹样	分期	时期	写真图版
				地区	遗址	层位	取土部位	口径				
1	B-427	弥生土器	斐	西川	河川	15c层			列点文、地文Ⅱ。	I B	弥生中期	
2	B-432	弥生土器	斐	西川	河川	15c层			地文Ⅱ。	I B	弥生中期	
3	B-416	弥生土器	斐	西川	河川	15层			列点文、地文ⅢC组。	I B	弥生中期	
4	B-431	弥生土器	斐	西川	河川	15c层			地文ⅢC组。	I B	弥生中期	
5	B-756	弥生土器	斐	70C-40E	西川	15c-16层			列点文、地文I。	I B	弥生中期	
6	B-417	弥生土器	斐	西川	河川	15层 15a层			列点文、地文ⅢC组。	I B	弥生中期	
7	B-404	弥生土器	斐	西川	河川	15层			列点文、地文ⅢA组。	I B	弥生中期	
8	B-411	弥生土器	斐	西川	河川	15层			列点文、地文ⅣB组。	I B	弥生中期	
9	B-436	弥生土器	斐	西川	河川	15c层			列点文、地文Ⅱ。	I B	弥生中期	
10	B-408	弥生土器	斐	西川	河川	15层			列点文、地文ⅢC组。	I B	弥生中期	
11	B-422	弥生土器	斐	西川	河川	15a-16层			列点文、地文I。	I B	弥生中期	
12	B-409	弥生土器	斐	西川	河川	15层			列点文、地文I。	I B	弥生中期	

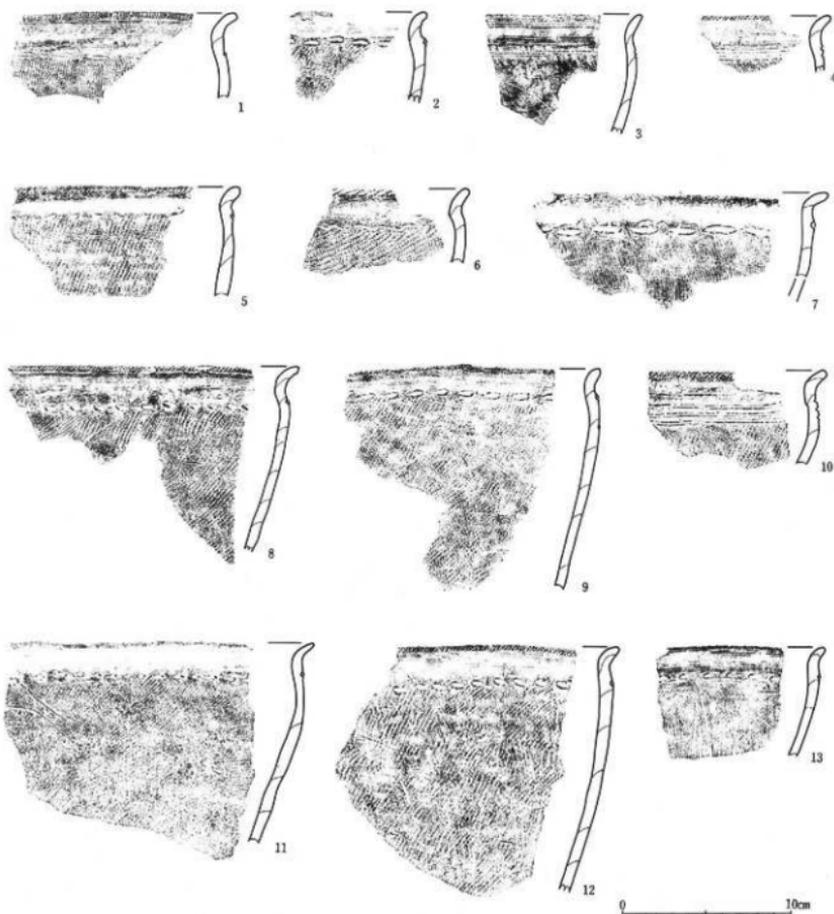
第470图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器53



0 10cm

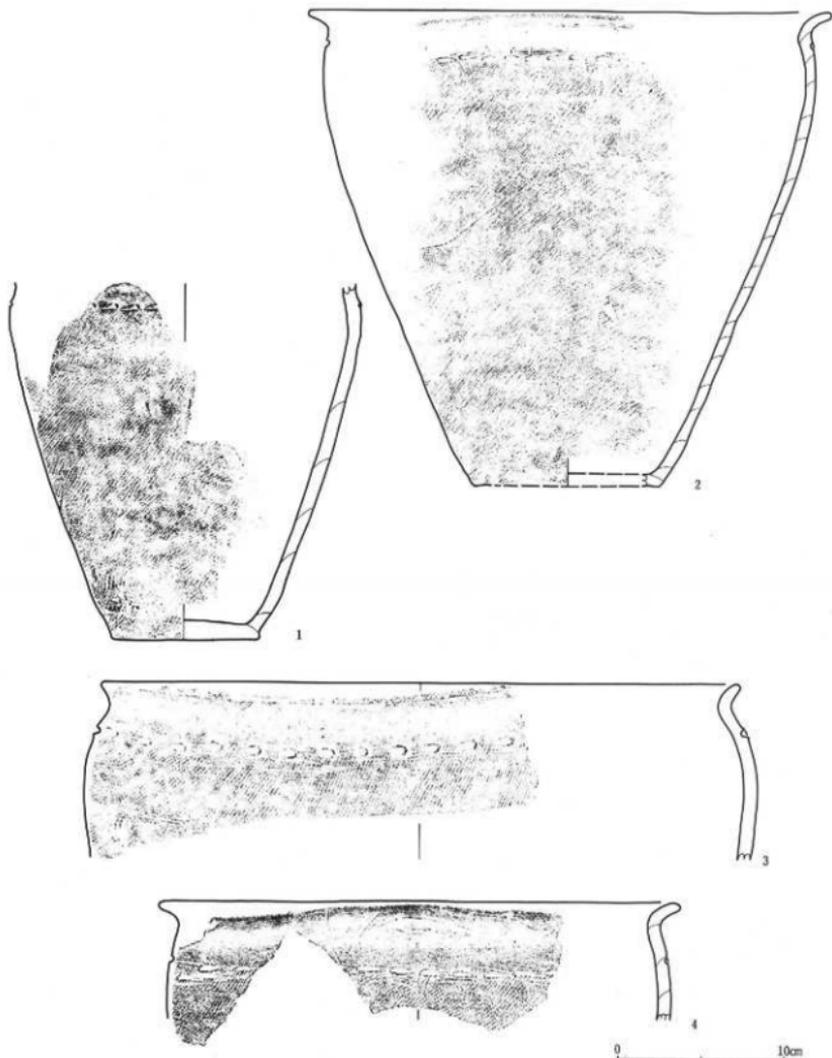
层中 序号	纹饰	器别	器料	出土地点	层位	取土层号	器高	口径	口径	口径	特征、图案	分期	时期	写真图版
1	B-429	夹生土器	泥	Ⅱ区	河川跡	15c層					地文Ⅱ。	ⅠB	仰光中期	
2	B-853	夹生土器	泥	EXⅡB区	河川跡	15層					地文Ⅱ。	ⅠB	仰光中期	
3	B-305	夹生土器	泥	Ⅱ区	河川跡	15c層					列点文。地文ⅡC。	ⅠB	仰光中期	
4	B-405	夹生土器	泥	Ⅱ区	河川跡	15a層					列点文。地文ⅡB。	ⅠB	仰光中期	
5	B-419	夹生土器	泥	Ⅱ区	河川跡	15b層					列点文。地文ⅡC。	ⅠB	仰光中期	
6	B-426	夹生土器	泥	Ⅱ区	河川跡	15c層					列点文。地文ⅡC。	ⅠB	仰光中期	
7	B-428	夹生土器	泥	Ⅱ区	河川跡	15c層					列点文。地文Ⅰ。	ⅠB	仰光中期	
8	B-433	夹生土器	泥	Ⅱ区	河川跡	15a層					列点文。地文ⅡC。	ⅠB	仰光中期	
9	B-432	夹生土器	泥	Ⅱ区	河川跡	15c層					列点文。地文ⅡC。	ⅠB	仰光中期	
10	B-440	夹生土器	泥	Ⅱ区	河川跡	15a層					列点文。地文ⅡC。	ⅠB	仰光中期	209-7
11	B-790	夹生土器	泥	EXⅡC区	河川跡	15a層					列点文。地文ⅡC。	ⅠB	仰光中期	
12	B-842	夹生土器	泥	EXⅡC区	河川跡	15a層					列点文。地文ⅡC。	ⅠB	仰光中期	
13	B-846	夹生土器	泥	EXⅡC区	河川跡	15a層					列点文。地文ⅡC。	ⅠB	仰光中期	

第471图 VII·IX区河川跡15層出土夹生土器54



图中 序号	编号	级别	剖面	地区	遗址	层位	取土层号	器高	口径	口径	特征·备注	分期	时期	写真图版
1	B-438	弥生土器	弥生区	河川跡	15a層						列点文。地文I。	I B	弥生中期	
2	B-453	弥生土器	弥生IXB区	河川跡	15c層		(5.6)	21.1			列点文。地文I。	I B	弥生中期	209-8
3	B-436	弥生土器	弥生IXC区	河川跡	15c層							I B	弥生中期	
4	B-400	弥生土器	弥生IX区	河川跡	15a層						地文I。	I B	弥生中期	
5	B-401	弥生土器	弥生IX区	河川跡	15層	土器No.2					列点文。地文I。	I B	弥生中期	
6	B-418	弥生土器	弥生IX区	河川跡	15+16層						地文I。	I B	弥生中期	209-9
7	B-423	弥生土器	弥生IX区	河川跡	15c層						列点文。地文I。	I B	弥生中期	
8	B-434	弥生土器	弥生IX区	河川跡	15c層						列点文。地文I及C。	I B	弥生中期	
9	B-435	弥生土器	弥生IX区	河川跡	15c層						列点文。地文I及C。	I B	弥生中期	
10	B-439	弥生土器	弥生IX区	河川跡	15a層						列点文。	I B	弥生中期	209-10
11	B-442	弥生土器	弥生IX区	河川跡	15d層						列点文。地文I及C。	I B	弥生中期	
12	B-430	弥生土器	弥生IX区	河川跡	15c層	土器No.13					列点文。地文I及C。	I C	弥生中期	
13	B-264	弥生土器	弥生IX区	河川跡	15a層						列点文。地文I及A。	I B	弥生中期	

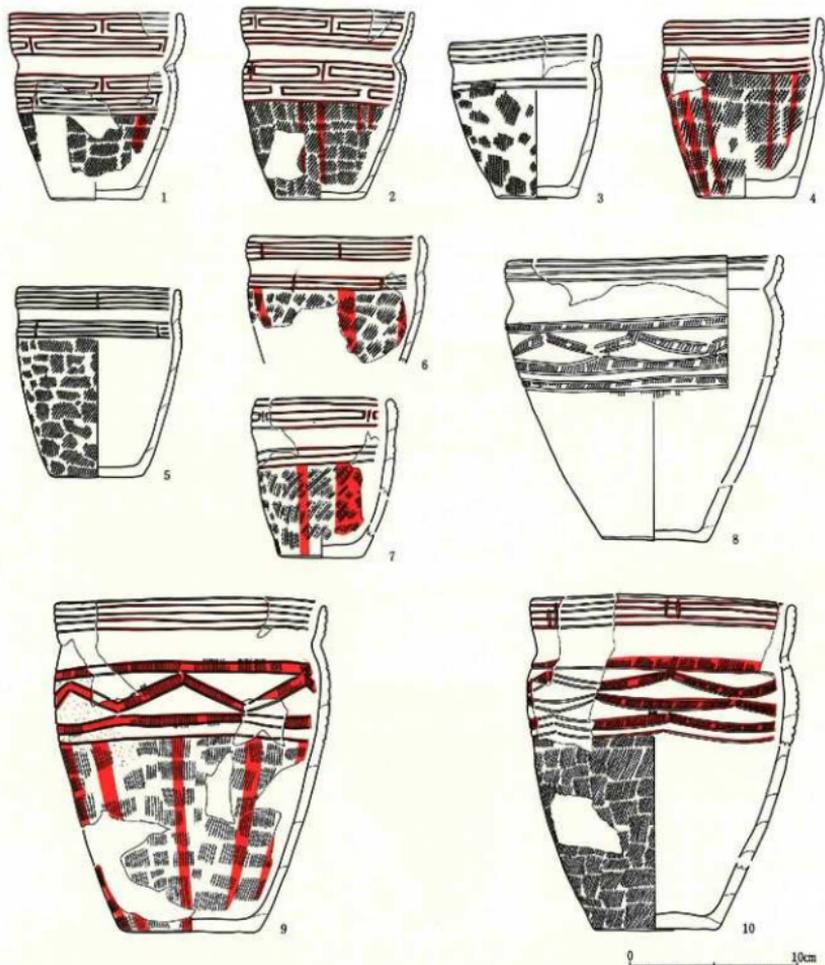
第472图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器55



国中 编号	器物 名称	类别	材质	出土地点	层位	取土层号	器高	口径	底径	重量	特点、备注	分期	时期	写真图版
1	B-388	赤生土器	栗	河川区	河川跡	2c-16層	(21.8)		8.7		列点文。地文TCaH。	1B	弥生中期	
2	B-389	赤生土器	栗	河川区	河川跡	14層 15-16層	29.1	31.5	11.0		列点文。地文TVB4r。	1C	弥生中期	
3	B-757	弥生土器	栗	IXC区	河川跡	15a層	(19.8)	39.4			列点文。地文山C6a。	1C	弥生中期	
4	B-415	弥生土器	栗	IXC区	河川跡	B-15層	(7.2)	31.4			列点文。地文山C6a。	1C	弥生中期	

第473图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器56





编 号	器 种	类 别	形 制	出 土 地 点	层 位	高 度	口 径	底 径	特 征 · 考 考	分 类	时 期	学 界 所 见
1	B-502	彩陶+黑陶	圆口瓶	河川路	15a层	11.5	10.4	5.4	工字文黑2(4)。地文即C1。	II A1a	彩陶中期	210-7
2	B-603	彩陶土器	类	河川路	15a-5层	11.7	10.3	5.2	工字文黑(5)。地文即C1a。	II A1a	彩陶中期	210-8
3	B-601	彩陶土器	类	河川路	15a层	10.1	9.2	4.9	平行条带文(2)。地文即C1。	II A1b	彩陶中期	210-9
4	B-216	彩陶土器	类	河川路	15a层	10.9	9.3	5.9	平行条带文(3)。地文即C1。	II A1b	彩陶中期	210-10
5	B-604	彩陶土器	类	河川路	15a层	11.6	10.0	5.7	平行条带文(4)+黑纹。地文即C1。	II A1b	彩陶中期	210-11
6	B-592	彩陶土器	类	河川路	15a层	7.80	10.4		平行条带文(3)+黑纹。地文即C1。	II A1b	彩陶中期	
7	B-491	彩陶土器	类	河川路	15a层	9.8	8.0	5.1	平行条带文(4)。地文即C1。	II A1b	彩陶中期	210-12
8	B-212	彩陶土器	类	河川路	15a层	17.5	16.7	6.3	黑纹AZV(6)。充底。地文即C1。	II B1a	彩陶中期	211-1
9	B-213	彩陶土器	类	河川路	15a-15b层	20.4	16.4	8.5	黑纹AZV(6)。充底。地文I。	II B1a	彩陶中期	211-2
10	B-202	彩陶土器	类	河川路	15a-5层	20.5	16.0	7.4	黑纹AZV(6)。充底。地文即C1。	II B1a	彩陶中期	211-3

第475图 VII·IX区河川路15层出土彩陶土器58



图号	序号	类别	形制	出土地点		度量			特征·说明	分期	时期	写真图版		
				地区	遗址	层位	取土编号	口径					口径	底径
1	B-446	夹生土钵	钵	豫定	河内县	14层 B-15a层		(18.9)	14.8		阴纹A2V(8)。表黑。地文I。	II B1a	张生中陶	211-4
2	B-356	夹生土钵	钵	豫定	河内县	14层 B-15a层		(7.3)	13.6		平行直纹文(4)。地文I。	II B1a	张生中陶	
3	B-629	夹生土钵	钵	DC-DB	河内县	15a层		(8.3)	12.5		平行直纹文(4)。地文I。	II A1a	张生中陶	
4	B-776	夹生土钵	钵	DC-DB	河内县	15a层		(10.6)	13.0		平行直纹文(4)。地文I。	II B1a	张生中陶	
5	B-215	夹生土钵	钵	豫定	河内县	14层 B-15a层		(13.0)	14.0		平行直纹文(4)。地文I。	II B1a	张生中陶	
6	B-676	夹生土钵	钵	豫定	河内县	14层 B-15a层		(12.4)	13.4		平行直纹文(3)。地文I。	II B1a	张生中陶	211-5
7	B-606	夹生土钵	钵	DC-DB	河内县	15a层		(10.5)	14.4		平行直纹文(4)。地文I。	II B1a	张生中陶	211-6
8	B-355	夹生土钵	钵	豫定	河内县	14层 B-15a层		(12.2)	17.3		平行直纹文(4)。地文I。	II B1a	张生中陶	
9	B-353	夹生土钵	钵	豫定	河内县	14层 B-15a层		(21.4)	17.7		平行直纹文(4)。地文I。	II B1a	张生中陶	212-1
10	B-354	夹生土钵	钵	豫定	河内县	14层 B-15a层		14.9	11.4	6.8	平行直纹文(4)+垂线。地文I。	II A1a	张生中陶	212-2
11	B-678	夹生土钵	钵	DC-DB	河内县	15a层		(7.0)	13.0		平行直纹文(4)+垂线。地文I。	II B1a	张生中陶	

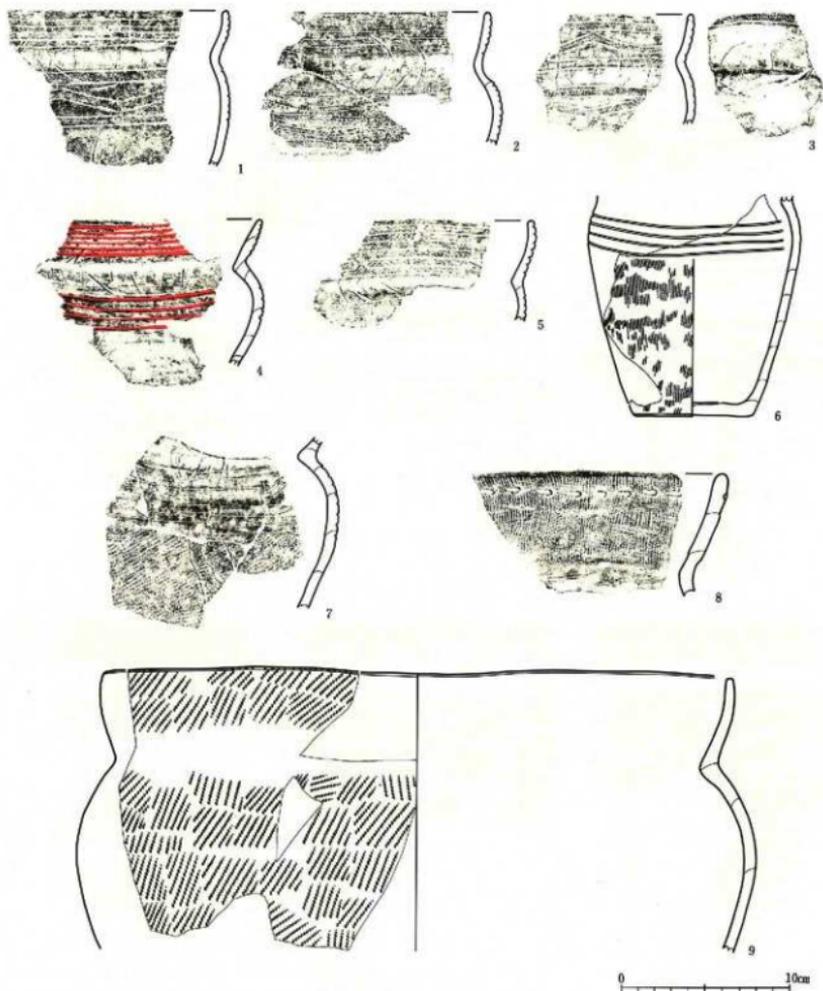
第476图 VII - IX区河川跡15層出土夹生土器59



0 10cm

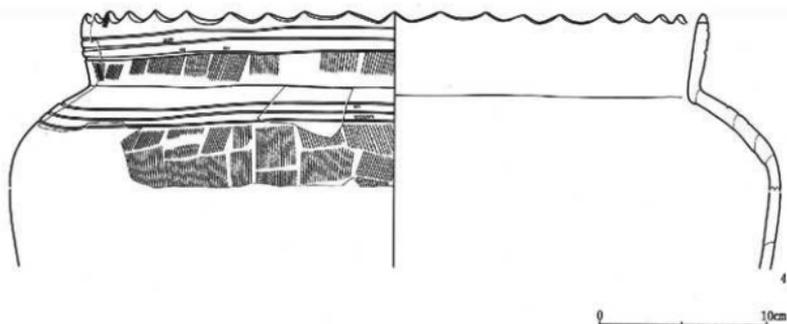
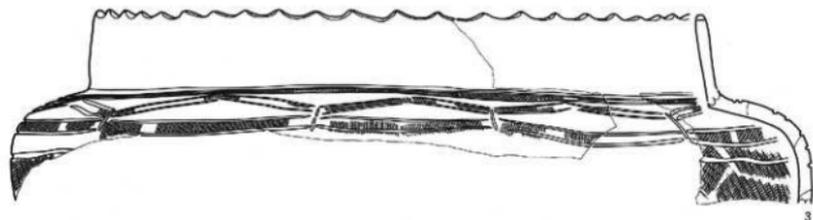
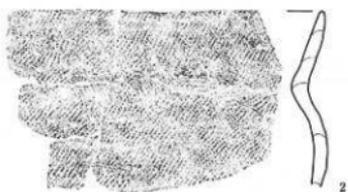
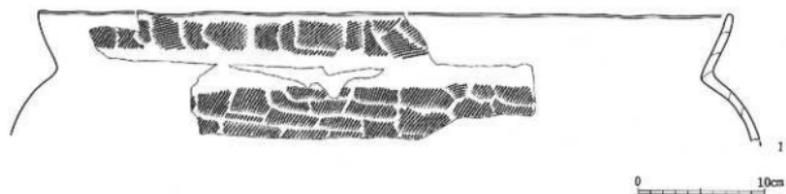
图中 番号	登録 番号	類別	時期	出土地点			測量			特徴・備考	分期	時期	写真掲載
				地区	遺跡	部位	出土層号	標高	口径				
1	B-214	弥生土器	豊	VRc	河川跡	15c層		(16.7)	13.0	螺旋文A1V(7)。変型。地文III。	II B1b	弥生中期	212-3
2	B-590	弥生土器	豊	IXRc	河川跡	15c層		(15.0)	14.8	螺旋文A2V(7)。変型。地文IIIc。	II B1b	弥生中期	212-4
3	B-638	弥生土器	豊	IXRc	河川跡	15c層		20.4	14.7	7.8 螺旋文A1V(7)。地文I。	II B1b	弥生中期	212-5
4	B-679	弥生土器	豊	IXRc	河川跡	15a-16層		(14.6)	15.4	平行直線文(2)。地文I。	II B1b	弥生中期	212-6
5	B-364	弥生土器	豊	VRc	河川跡	15c層		(18.3)	13.8	文字文風2型(7)。地文III。	II B1b	弥生中期	212-2
6	B-634	弥生土器	豊	IXc	河川跡	13a-16層		18.5	13.4	6.4 螺旋文A1V(8)。変型。地文IIIc。	II B2c	弥生中期	213-1
7	B-591	弥生土器	豊	IXRc	河川跡	15c層		(12.4)	14.0	螺旋文A1V(8)。変型。地文IIIc。	II B2c	弥生中期	213-2
8	B-775	弥生土器	豊	IXRc	河川跡	15c層		( 6.5)	13.8	平行直線文(3)。	II B2a	弥生中期	
9	B-365	弥生土器	豊	VRc	河川跡	15a層		( 9.1)	15.1	平行直線文(1)。地文マメツ。	II B2c	弥生中期	

第477図 VII・IX区河川跡15層出土弥生土器60



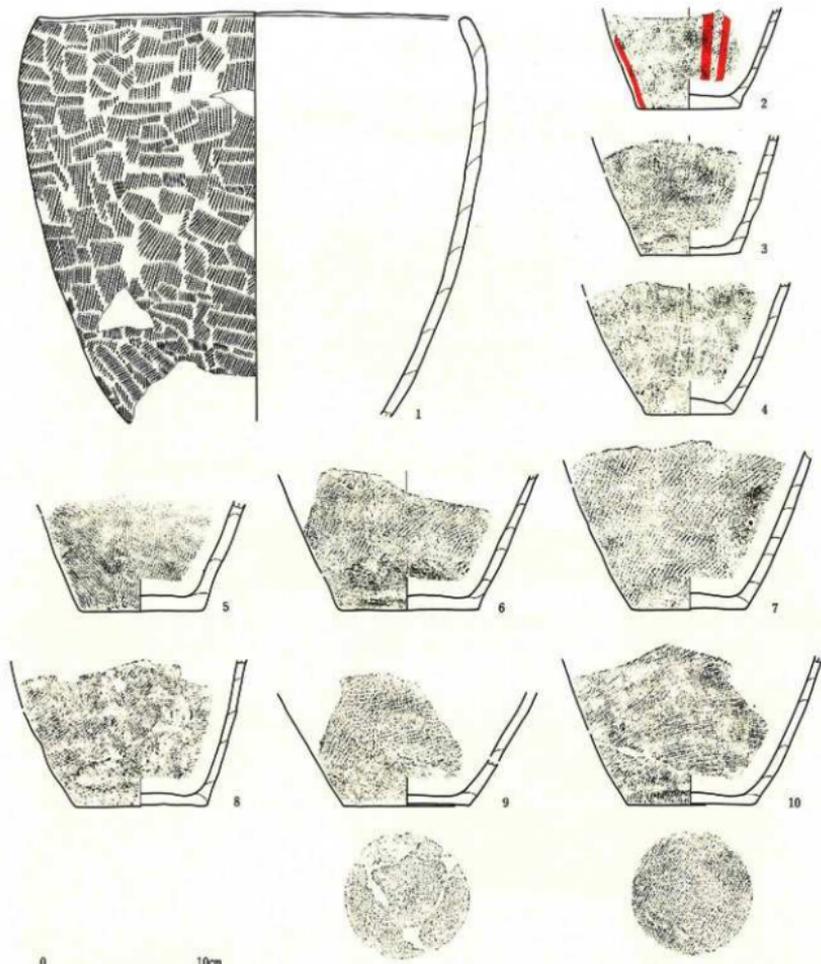
国中 番号	発掘 番号	種類	器種	出土地点			坑 壙			特徴・備考	分期 時期	写真掲載	
				地区	遺構	層位	取上げ番号	深 高	口 径				底 径
1	B-779	弥生土器	甕	IXB区	河川跡	15a層				扇状文A2V(7)。光沢。地文Ⅰ。	II B1a	弥生中期	
2	B-773	弥生土器	甕	IXB-IXC区	河川跡	15c層				扇状文A2U(7)。光沢。地文Ⅰ。	II B1a	弥生中期	
3	B-774	弥生土器	甕	IXC区	河川跡	15c層				扇状文A2U(7)。光沢。地文Ⅰ。	II B1a	弥生中期	
4	B-337	弥生土器	甕	IXC区	河川跡	15a層				平行直線文(4)。地文Ⅰ。	II B1c	弥生中期	
5	B-771	弥生土器	甕	IXD区	河川跡	15a層				平行直線文(7)。	II B1a	弥生中期	
6	B-985	弥生土器	甕	IXD区	河川跡	15c層	(13.5)		7.1	平行直線文(4)。地文Ⅰ。	II B	弥生中期	
7	B-772	弥生土器	甕	IXB区	河川跡	15c層				扇状文2線(7)。地文Ⅰ。	II B	弥生中期	213-4
8	B-443	弥生土器	甕	IXC区	河川跡	15c層				地文Ⅰ。	II C	弥生中期	213-5
9	B-377	弥生土器	甕	IXC区	河川跡	15a層	(17.0)	38.0		地文IVB(4)。	II C1a	弥生中期	214-2

第478图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器61



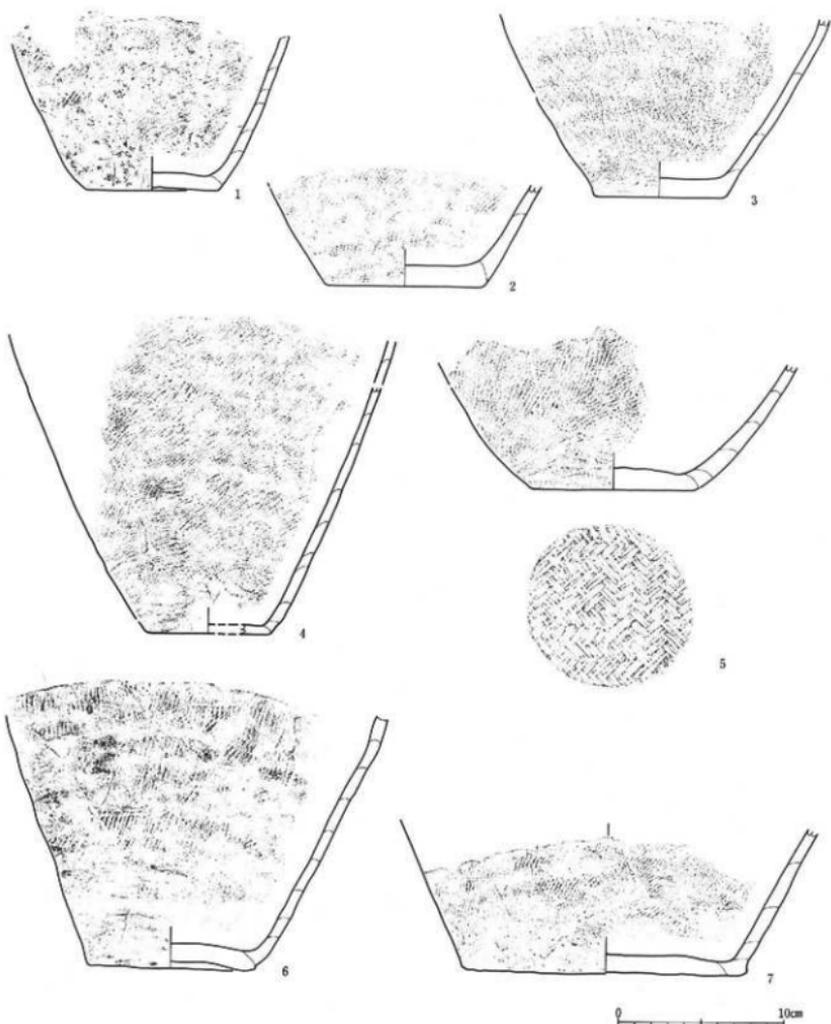
图中 序号	器物 编号	类别	质地	出土地点		度量		特征·备注	分期	时期	写真图版			
				地区	墓葬	部位	出土序号					身高	口径	
1	B-458	夹生土器	夹	Ⅷ区	河川跡	3a-56号		(19.0)	56.0		地文田C <sub>10</sub> 。	II C <sub>10</sub>	弥生中期	
2	B-351	夹生土器	夹	Ⅷ区	河川跡	3a-55号					地文田C <sub>10</sub> 。	II C <sub>10</sub>	弥生中期	
3	B-350	夹生土器	夹	Ⅷ区	河川跡	14号 3a-15号		(11.6)	36.8		解部文A1V(7)。无调。地文V11。	III A	弥生中期	213-6
4	B-326	夹生土器	夹	Ⅷ区	河川跡	15号		(15.6)	37.5		平行线调文(3)。地文1。	III B	弥生中期	213-7

第479图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器62



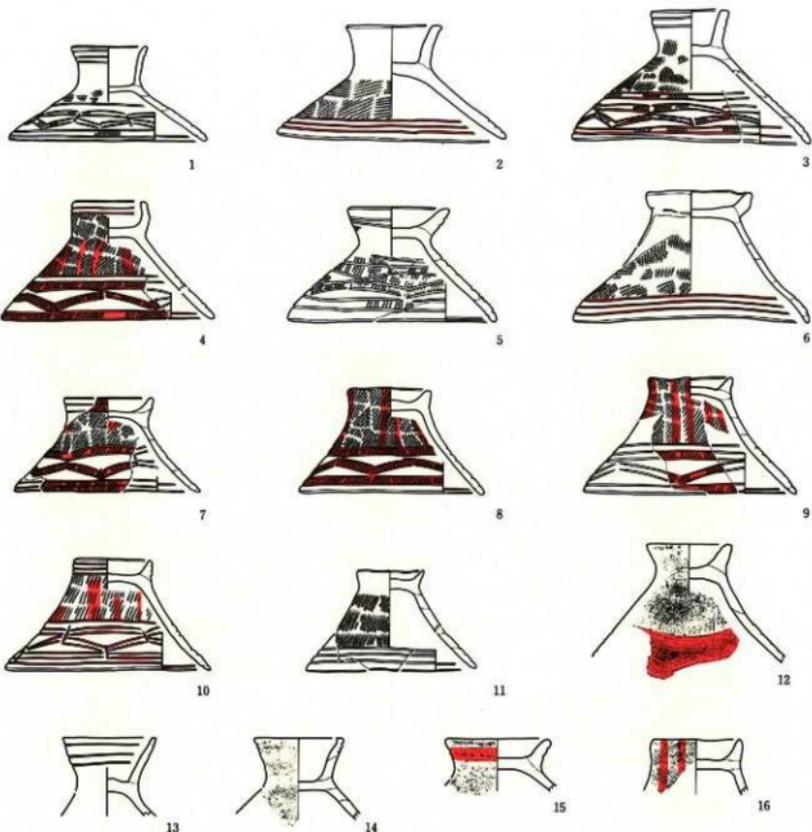
图中 编号	纹饰 编号	类别	窑别	出土地点			度量		特征·备注	分期	窑址	写从图版
				地区	流域	层位	取土编号	器高				
1	B-943	杂类土器	窑群	DC-DG	河川阶	10-3层	(25.1)	26.1	地文即C <sub>1</sub> 。	IV	杂类中器	214-1
2	B-447	杂类土器	窑群	Ⅱ区	河川阶	15层	(6.2)	6.2	地文即I。		杂类中器	
3	B-448	杂类土器	窑群	Ⅱ区	河川阶	15层	(7.3)	6.0	地文IVBiv。		杂类中器	
4	B-372	杂类土器	窑群	Ⅱ区	河川阶	15层	(8.0)	5.4	地文I。		杂类中器	
5	B-371	杂类土器	窑群	Ⅱ区	河川阶	15层	(6.3)	7.6	地文即C <sub>1</sub> 出。		杂类中器	
6	B-374	杂类土器	窑群	Ⅱ区	河川阶	15层	(8.3)	8.4	地文即A <sub>1</sub> 出。		杂类中器	
7	B-430	杂类土器	窑群	Ⅱ区	河川阶	15层	(9.2)	6.9	地文即C <sub>1</sub> 出。		杂类中器	
8	B-449	杂类土器	窑群	Ⅱ区	河川阶	15层	(8.5)	8.0	地文即I。		杂类中器	
9	B-373	杂类土器	窑群	Ⅱ区	河川阶	15-16层	(6.8)	7.6	地文即I。		杂类中器	
10	B-852	杂类土器	窑群	Ⅱ区	河川阶	15层	(8.9)	7.6	地文IVBiv。底部缘布纹。		杂类中器	

第480图 VII·IX区河川阶15层出土杂类土器63



图中 器号	器名	材质	器类	出土地点		数量		特 殊 · 附 考	分 期	时 期	写 真 图 版
				地 区	墓 群 位 置	取 土 层 号	数 量				
1	B-445	弥生土质	灰褐色	河川跡	12-14層	( 9.5)	8.1	地文IIIc <sub>III</sub>		弥生中期	
2	B-378	弥生土质	灰褐色	河川跡	15層	( 6.3)	9.5	地文IIIc <sub>III</sub>		弥生中期	
3	B-728	弥生土质	灰褐色	河川跡	15c層	[11.1]	8.0	地文VI 1		弥生中期	
4	B-720	弥生土质	灰褐色	河川跡	15c層	[18.1]	7.4	地文IVBiv		弥生中期	214-3
5	B-720	弥生土质	灰褐色	河川跡	15c層	( 7.6)	9.7	地文IVBiv	原始时代	弥生中期	
6	B-287	弥生土质	灰褐色	河川跡	14層	(15.5)	10.0	地文 1		弥生中期	
7	B-704	弥生土质	灰褐色	河川跡	15c層	( 9.2)	17.1	地文IIIc <sub>III</sub>		弥生中期	

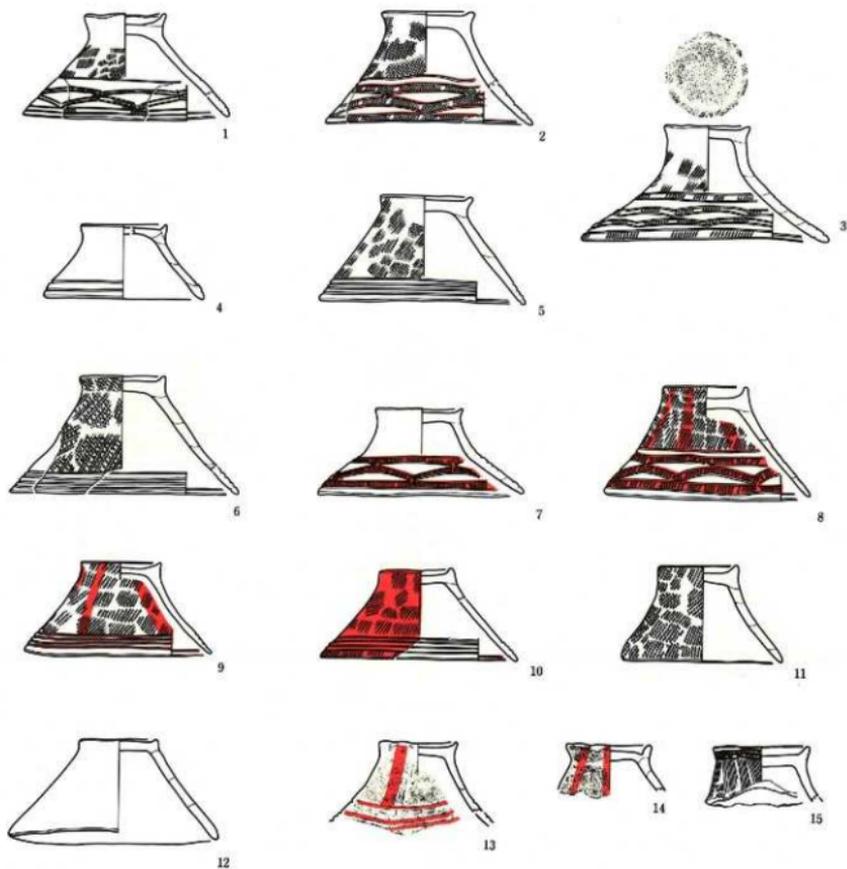
第481图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器64



0 10cm

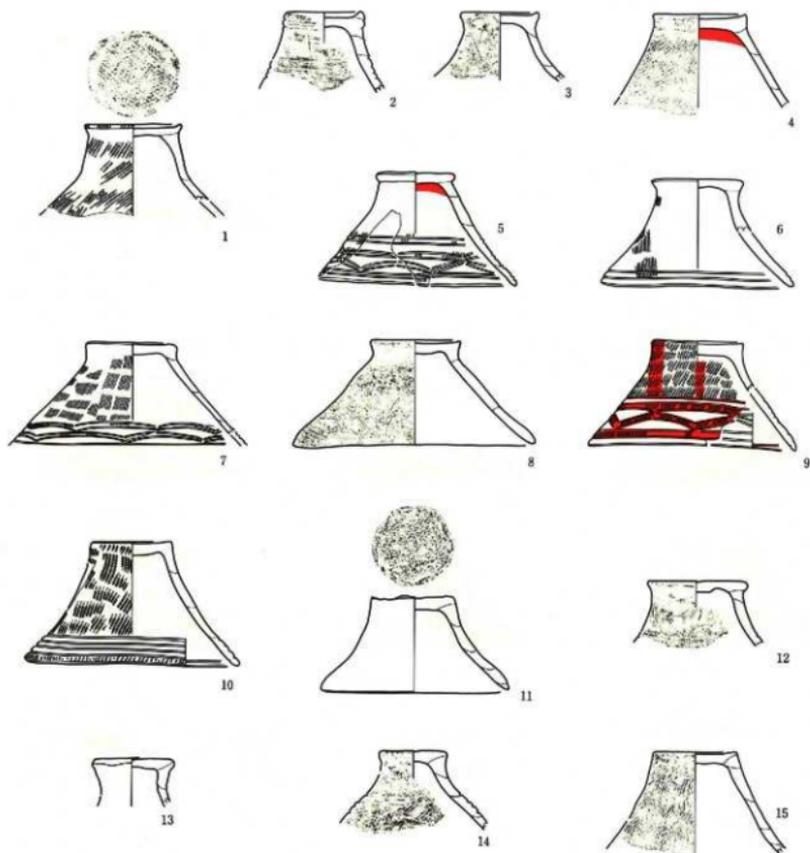
图中 序号	登錄 番号	類別	時期	出土地点			法量			特徴・備考	分属	時期	写真図版	
				地区	遺跡	层位	取上番号	高さ	口径					底径
1	B-274	弥生土器	盖	ⅡB区	河川跡	15a層		5.9	11.9	4.4	磨破文A1V(9)。実履。地文Ⅰ。	A1a	弥生中期	215-1
2	B-306	弥生土器	蓋	ⅡB区	河川跡	15c層		6.9	13.7	5.6	平行直線文(3)。地文ⅡCIII。	A1a	弥生中期	215-2
3	B-394	弥生土器	蓋	ⅡB区	河川跡	15c層		8.1	14.3	4.3	磨破文A1V(8)。磨破or実履。地文Ⅰ。	A1a	弥生中期	215-3
4	B-543	弥生土器	蓋	ⅡB区	河川跡	15c層		7.4	12.9	4.4	磨破文A2V(8)。実履。地文ⅡCIII。	A1a	弥生中期	215-4
5	B-528	弥生土器	蓋	ⅡB区	河川跡	15a-15b層		7.1	12.6	6.1	磨破文A2V(4)。実履。地文ⅡC I。	A1a	弥生中期	215-5
6	B-573	弥生土器	蓋	ⅡB区	河川跡	15a-15b層		8.2	14.2	6.5	平行直線文(3)。地文ⅡCIII。	A1a	弥生中期	215-6
7	B-535	弥生土器	蓋	ⅡB区	河川跡	15a層		5.8	11.2	5.4	磨破文A1V(8)。地文ⅡCIII。	A1a	弥生中期	215-7
8	B-504	弥生土器	蓋	ⅡB区	河川跡	15a層	土器No.6	6.5	11.2	5.1	磨破文A2V(5)。実履。地文ⅡCIII。	A1b	弥生中期	215-8
9	B-536	弥生土器	蓋	ⅡB区	河川跡	15a-15b層		7.2	12.9	5.1	磨破文A2V(7)。実履。地文ⅡCIII。	A1b	弥生中期	
10	B-531	弥生土器	蓋	ⅡB区	河川跡	15a層		7.0	12.4	4.7	磨破文B1V(7)。磨文Ⅰ。	A1b	弥生中期	215-9
11	B-539	弥生土器	蓋	ⅡB区	河川跡	15a層		6.3	10.5	4.1	平行直線文(3)。地文ⅡC I。	A1b	弥生中期	215-10
12	B-611	弥生土器	蓋	ⅡB区	河川跡	15c層		(7.3)		5.2	磨破文A2V(7)。磨破。地文 I。	A1a	弥生中期	
13	B-284	弥生土器	蓋	ⅡB区	河川跡	15a層		(4.8)		5.4	地文 I。	A1a	弥生中期	
14	B-282	弥生土器	蓋	ⅡB区	河川跡	15a層		(4.4)		5.4	地文 I。	A1a	弥生中期	
15	B-281	弥生土器	蓋	ⅡB区	河川跡	15a-15b層		(2.9)		4.2	地文 I。	A1b	弥生中期	
16	B-622	弥生土器	蓋	ⅡA区	河川跡	15層		(3.3)		5.4	地文ⅡCIII。	A1b	弥生中期	

第482图 ⅡB·ⅡC区河川跡15層出土弥生土器65



图号	登錄 番号	類別	窑址	出土地点			法 量			特 殊 · 備 考	分 類	時 期	年 代 断 代
				地区	遺 址	層 位	取土番号	器 高	口 徑				
1	B-307	弥生土器	ⅧB区	河川跡	13層	土器No.9	6.6	12.4	5.6	螺旋文A1V(8)。光澤。地文I。	A2a	弥生中期	215-11
2	B-532	弥生土器	ⅧC区	河川跡	15c層	土器No.13	7.0	12.4	0.6	螺旋文A2U(6)。光澤。地文II C。	A2a	弥生中期	215-12
3	B-533	弥生土器	ⅧC区	河川跡	15c-5a層		6.9	15.0	5.3	螺旋文A2U(9)。磨削or光澤。地文VII。大并板蓋合使。	A2a	弥生中期	215-13
4	B-847	弥生土器	ⅧB区	河川跡	15c層		4.6	9.6	5.2	平行直線文(2)。	A1a	弥生中期	215-14
5	B-522	弥生土器	ⅧD区	河川跡	15a層		6.5	12.5	5.6	平行直線文(4)。地文II C。	A2a	弥生中期	215-15
6	B-297	弥生土器	ⅧB区	河川跡	15a層		7.3	13.8	5.2	平行直線文(4)。地文VII。	A2a	弥生中期	216-1
7	B-297	弥生土器	ⅧB区 DIX区	河川跡	15c層		5.4	12.4	5.3	螺旋文A1U(6)。磨削。地文I。	A2a	弥生中期	216-2
8	B-534	弥生土器	ⅧC区 DIX区	河川跡	15c-5a層		7.9	12.4	5.0	螺旋文A2U(7)。光澤。地文II C。	A2a	弥生中期	216-3
9	B-537	弥生土器	ⅧB区 DIX区	河川跡	15c-5a層		5.8	11.3	4.8	平行直線文(4)。地文II C。	A2a	弥生中期	216-4
10	B-522	弥生土器	ⅧD区	河川跡	15a層		5.7	12.0	4.5	平行直線文(4)。地文II C。	A2a	弥生中期	216-5
11	B-538	弥生土器	ⅧC区	河川跡	15c層		6.0	9.8	4.9	地文II C。	A2a	弥生中期	216-6
12	B-302	弥生土器	ⅧB区	河川跡	14層 15a層		6.7	12.7	5.0		A2a	弥生中期	216-7
13	B-510	弥生土器	ⅧB区	河川跡	15c層		(5.1)		4.8	磨削(?)。磨削or光澤。地文VII。	A2a	弥生中期	
14	B-511	弥生土器	ⅧB区	河川跡	15c層		(2.9)		5.2	地文VII。	A2a	弥生中期	
15	B-542	弥生土器	ⅧD区	河川跡	15a層		(3.5)		5.9	地文I。	A2a	弥生中期	216-8

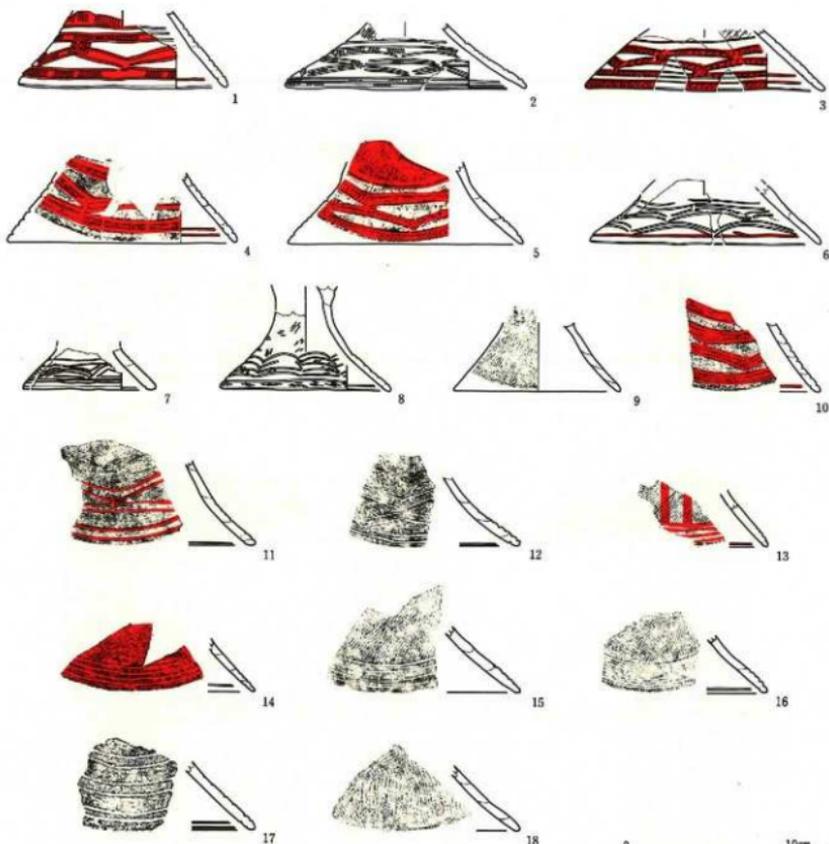
第483图 Ⅷ·Ⅸ区河川跡15層出土弥生土器66



0 10cm

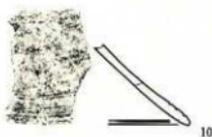
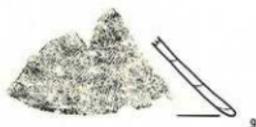
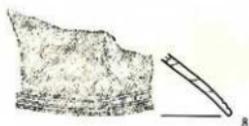
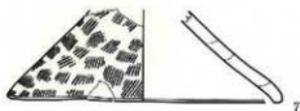
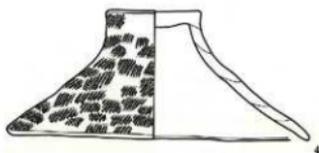
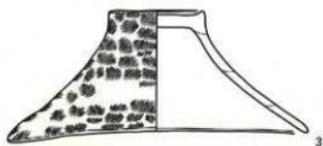
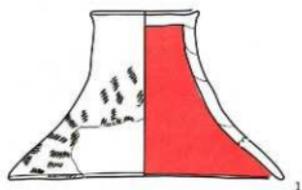
编中 序号	器 名·号	器 类	器 形	出土地点		度量			特征·备注		分期	时期	写真图版	
				地区	墓葬	层位	出土序号	器高	口径	底径				特征·备注
1	B-540	祭牛土器	簋	IX区	河川跡	15c層	土器No.13	(5.6)		5.8	地文田C。天井部織布痕。	A2a	祭牛中期	
2	B-293	祭牛土器	簋	IX区	河川跡	15a層		(4.9)		4.6	縹泥文(?)	A2a	祭牛中期	
3	B-293	祭牛土器	簋	IX区	河川跡	15a層		(3.9)		4.6	地文田A。B。	A2a	祭牛中期	
4	B-293	祭牛土器	簋	IX区	河川跡	15c層		(5.4)		5.6	地文田I。	A2a	祭牛中期	
5	B-270	祭牛土器	簋	IX区	河川跡	16a-9層		6.9	12.0	4.7	縹泥文AZV(7)。光曜。地文I。	A2a	祭牛中期	216-9
6	B-296	祭牛土器	簋	IX区	河川跡	15a層		6.6	11.5	5.3	平行縹泥文(7)。地文I。	A2a	祭牛中期	216-10
7	B-524	祭牛土器	簋	IX区	河川跡	15a層		(6.4)		5.3	縹泥文AZU(7)。縹泥or光曜。地文I。	A2a	祭牛中期	
8	B-265	祭牛土器	簋	IX区	河川跡	15a層		6.4	14.6	5.4	地文田I。	A2a	祭牛中期	
9	B-575	祭牛土器	簋	IX区	河川跡	15c層		6.4	12.5	5.5	縹泥文AZV(6)。光曜。地文田C。B。	A2a	祭牛中期	216-11
10	B-529	祭牛土器	簋	IX区	河川跡	15a層		7.7	12.9	4.8	平行縹泥文(4)。縹泥田C。B。	A2a	祭牛中期	216-12
11	B-632	祭牛土器	簋	IX区	河川跡	15a層		5.8	11.3	4.3	天井部織布痕。	A2a	祭牛中期	216-13
12	B-298	祭牛土器	簋	IX区	河川跡	15a層		(3.7)		5.4	地文I。	A2a	祭牛中期	
13	B-295	祭牛土器	簋	IX区	河川跡	15c層		(2.9)		4.6	地文I。	A2a	祭牛中期	
14	B-280	祭牛土器	簋	IX区	河川跡	15a層		(4.4)		4.1	縹泥文(?)。光曜。地文田I。	A2a	祭牛中期	
15	B-292	祭牛土器	簋	IX区	河川跡	15c層		(6.3)		6.0	地文田C。B。	A2a	祭牛中期	

第484图 VII·IX区河川跡15層出土祭牛土器67



図中番号	器种	器形	出土地点	高さ	口径	底径	特徴・備考	分類	時期	写真図版
1	B-422	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層	(4.4)	12.6		扉紋文AZV(S)。完藏。地文田CⅡ。	A	弥生中期	216-14
2	B-525	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層	(4.1)	14.5		扉紋文AZV(O)。完藏。地文Ⅰ。	A	弥生中期	217-1
3	B-273	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層	(3.8)	14.6		扉紋文AIV(O)。完藏。地文IVBⅡ。	A	弥生中期	217-2
4	B-630	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層	(4.3)	13.9		扉紋文AZU(O)。完藏。地文Ⅰ。	A	弥生中期	
5	B-279	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層	(5.0)	14.1		扉紋文AZU(O)。完藏。地文田CⅠ。	A	弥生中期	
6	B-421	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層	(3.8)	13.9		扉紋文BZU(O)。	A	弥生中期	
7	B-766	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層	(2.6)	8.0		扉紋文BZV(O)。	A	弥生中期	
8	B-271	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層	(6.6)	16.5		逆羽文(O)。完藏。地文Ⅰ。	A	弥生中期	
9	B-631	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15層		9.9		地文田CⅡ。	A	弥生中期	
10	B-630	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層				扉紋文AZU(O)。完藏。地文田CⅡ。	A	弥生中期	
11	B-816	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層				扉紋文B1U(O)。	A	弥生中期	
12	B-819	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層				扉紋文BZV(O)。	A	弥生中期	
13	B-818	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層				平行直線文(O)。地文田CⅡ。	A	弥生中期	
14	B-769	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層				平行直線文(O)。	A	弥生中期	
15	B-278	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層				平行直線文(O)。地文Ⅰ。	A	弥生中期	
16	B-817	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層				平行直線文(O)。地文田CⅡ。	A	弥生中期	
17	B-242	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層				逆羽文(O)。完藏。地文Ⅰ。	A	弥生中期	
18	B-438	弥生土器	高 ⅠⅠⅠⅠ 河川跡 15a層				地文Ⅰ。	A	弥生中期	

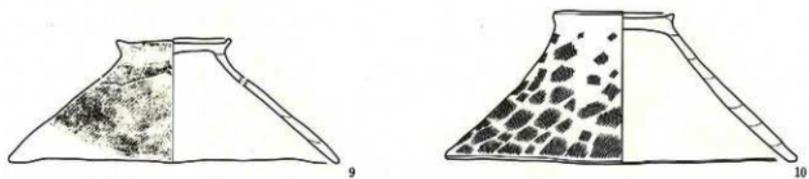
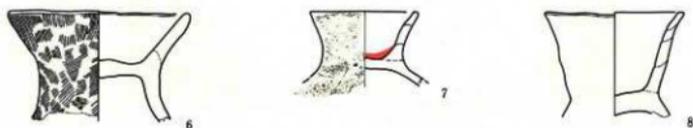
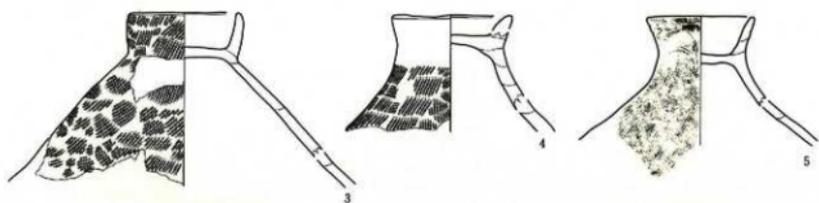
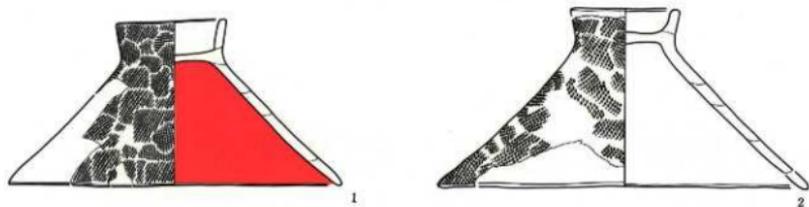
第485図 VII・IX区河川跡15層出土弥生土器68



0 10cm

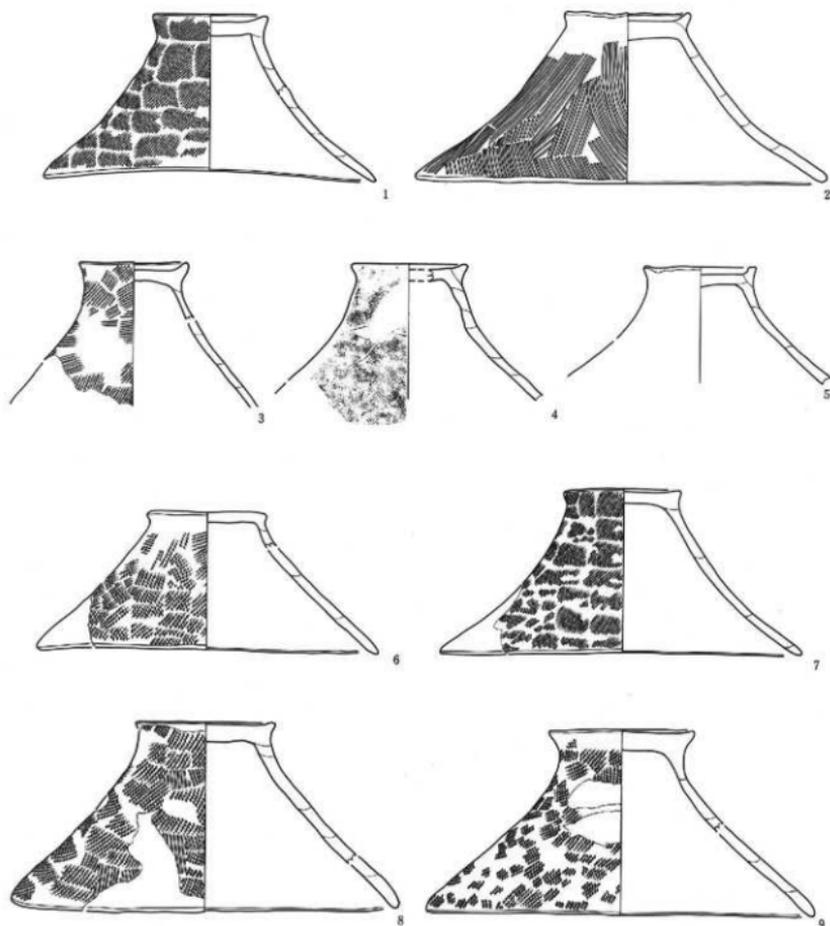
图号	纹饰号	类别	器种	出土地点			度量			特征·说明	分期	时期	写真图版	
				地区	遗址	层位	出土顺序	口径	口径					高度
1	B-260	夹生土器	盖	YB区	河川跡	15a-1a層		16.4	16.6	6.5	地文田Civ.	B2a	弥生中期	217-4
2	B-268	夹生土器	盖	YB区	河川跡	15c層		8.5	17.4	5.6	地文田Civ. 平行直線文(C). 地文田Cii.	B2a	弥生中期	217-5
3	B-610	夹生土器	盖	YB区	河川跡	15c-5層		7.4	18.2	5.5	地文田Cii.	B2a	弥生中期	217-6
4	B-572	夹生土器	盖	3C-3E	河川跡	15c-5層		7.9	19.2	5.6	地文田Cii.	B22	弥生中期	217-7
5	B-272	夹生土器	盖	YB区	河川跡	14層 15a-1a層		(4.8)	17.4		繩紋文AIV(8). 磨滑. 地文1.	B	弥生中期	217-8
6	B-248	夹生土器	盖	YB区	河川跡	15a層		(3.1)	16.0		繩紋文AIV(7). 无滑. 地文1.	B	弥生中期	
7	B-571	夹生土器	盖	3D-C6	河川跡	15a-2層		(5.6)	16.6		地文1.	B	弥生中期	217-9
8	B-276	夹生土器	盖	YB区	河川跡	15a層					平行直線文(2). 地文田A田.	B	弥生中期	
9	B-614	夹生土器	盖	EXTD区	河川跡	15a層					地文田Cii.	B	弥生中期	
10	B-252	夹生土器	盖	YB区	河川跡	15a層					平行直線文(C).	B	弥生中期	

第486图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器69



图号	纹饰号	类别	器形	出土地点			度量			特征·备注	分期	时期	写真图版	
				地区	遗址	层位	取土编号	器高	口径					底径
1	B-544	彩陶片	高	DC-006	河川跡	Ba-16層		19.3	20.6	6.7	地文ⅢC <sub>11</sub>	C1a	弥生中期	218-1
2	B-305	彩陶片	高	Ⅱ区	河川跡	154層		11.1	22.3	6.4	地文ⅢC <sub>11</sub>	C1d	弥生中期	218-2
3	B-520	彩陶片	器	IX区	河川跡	15a層		(19.7)		6.6	地文ⅢC <sub>11</sub>	C1a	弥生中期	218-4
4	B-521	彩陶片	器	IX区	河川跡	15a層		(7.1)		7.3	地文ⅢC <sub>11</sub>	C1d	弥生中期	
5	B-309	彩陶片	器	Ⅱ区	河川跡	154層		(7.9)		6.5	地文ⅢC <sub>11</sub>	C1a	弥生中期	
6	B-511	彩陶片	高	IX区	河川跡	15c層		(8.0)		11.0	地文Ⅰ	C1a	弥生中期	218-3
7	B-294	彩陶片	器	Ⅱ区	河川跡	15c層		(4.4)		6.6	地文Ⅰ	C1a	弥生中期	
8	D-210	彩陶片	器	Ⅱ区	河川跡	15層		(6.4)		8.4		C1a	弥生中期	
9	B-301	彩陶片	器	Ⅱ区	河川跡	15a層		7.6	20.6	7.0	地文ⅢC <sub>11</sub>	C2a	弥生中期	
10	B-512	彩陶片	器	IX区	河川跡	15a層		9.4	21.2	7.1	地文ⅢC <sub>11</sub>	C2a	弥生中期	218-5

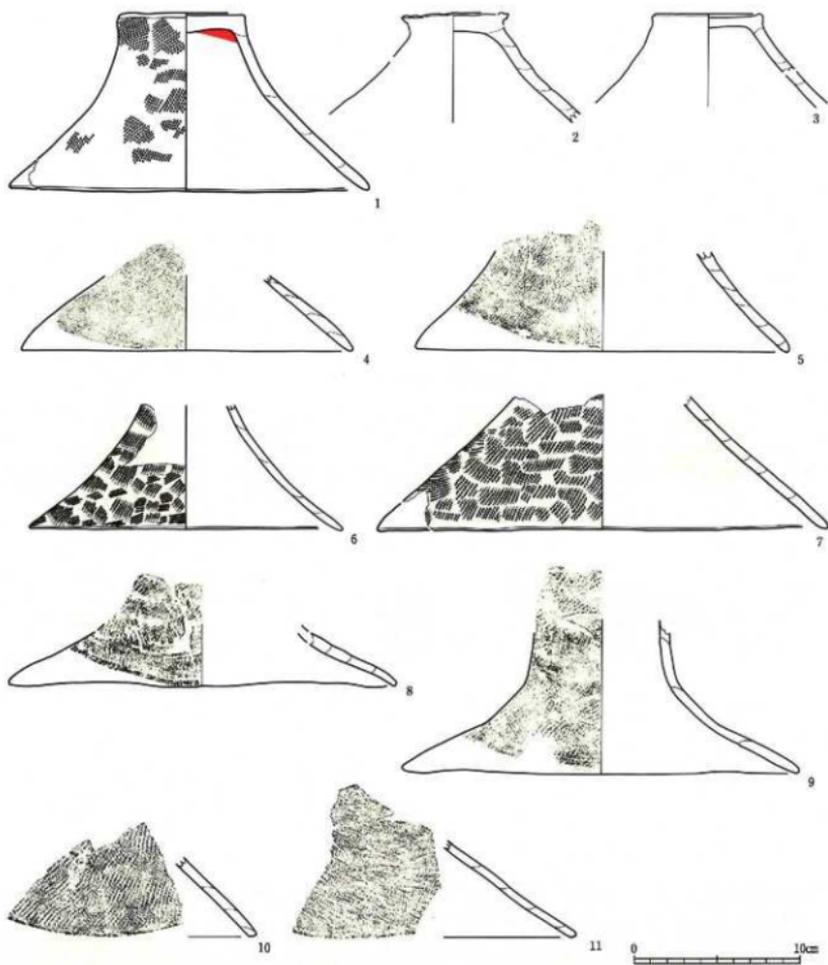
第487图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器70



0 10cm

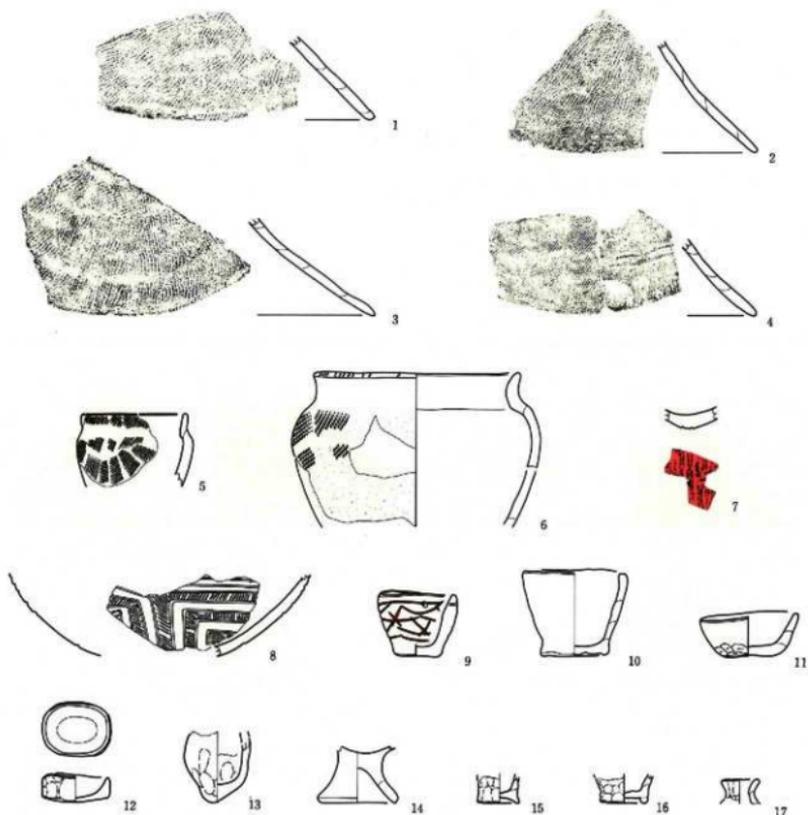
器中 序号	纹 饰 号	器 别	器 形	出 土 地 点			测 量			特 殊 · 备 考	分 类	时 期	写 真 反 取	
				地 区	渠 桥	层 位	取 土 层 号	高	口 径					底 径
1	B-600	弥生土器	盖	IXD区	河川跡	15a層		10.2	20.0	6.8	地文图I。	C2e	弥生中期	218-6
2	B-304	弥生土器	器	VIK区	河川跡	15a層		10.5	24.8	7.6		C2e	弥生中期	218-7
3	B-541	弥生土器	器	IXD区	河川跡	15c層	( 8.7)			6.6	地文图C1。	C2e	弥生中期	
4	B-275	弥生土器	器	VIK区	河川跡	14+15層	( 8.3)			7.6	地文I。	C2e	弥生中期	
5	Ti-633	弥生土器	盖	横式 IXD-C D区	河川跡	12+13層	( 5.8)			6.7		C2e	弥生中期	
6	B-299	弥生土器	器	VIK区	河川跡	15a層		8.5	20.8	7.2	地文图I。	C2f	弥生中期	219-1
7	B-595	弥生土器	器	VIK区	河川跡	15+16層		10.3	21.7	7.2	地文图C1。	C2f	弥生中期	219-2
8	Ti-630	弥生土器	盖	IXD区	河川跡	15c層		11.8	23.5	8.4	地文图C1。	C2f	弥生中期	219-3
9	B-288	弥生土器	盖	VIK区	河川跡	14層 15+16層		11.4	23.4	8.7	地文图C1。	C2f	弥生中期	219-4

第488图 VII·IX区河川跡15層出土弥生土器71



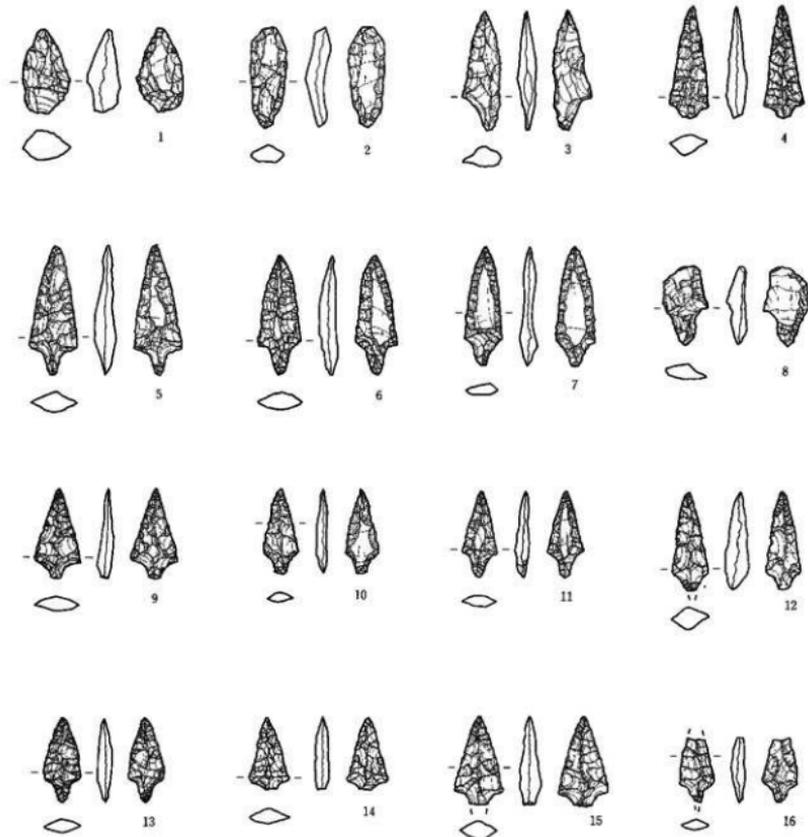
图中 序号	器 号	类别	形制	出土地点			器量			特征·编号	分期	时期	写真图版	
				地区	遗址	层位	出土层特	胎高	口径					底径
1	B-526	夹生土器	盘	DOC区	河川群	1a-5a层		19.9	21.7	7.8	地文田C <sub>II</sub> 。	C2#	夹生中期	219-5
2	B-291	夹生土器	盘	DOC区	河川群	1a-5a层	(6.7)			6.8		C2#	夹生中期	
3	B-308	夹生土器	盘	DOC区	河川群	15a层	(5.7)			6.7		C2#	夹生中期	
4	B-768	夹生土器	盘	DOC区	河川群	15a层	(4.5)		20.0		地文田C <sub>III</sub> 。	C	夹生中期	
5	B-412	夹生中期	盘	DB-C区	河川群	1a-5a层	(6.1)		22.4		地文田C <sub>II</sub> 。	C	夹生中期	
6	B-509	夹生土器	盘	DOC区	河川群	1a-5a层	(7.7)		18.8		地文田C <sub>II</sub> 。	C	夹生中期	219-6
7	B-516	夹生土器	盘	S-BAE	河川群	1a-5a层	(8.30)		27.2		地文田C <sub>III</sub> 。	C	夹生中期	219-7
8	B-300	夹生土器	盘	DOC区	河川群	15a层	(3.3)		23.2		地文上。	C	夹生中期	
9	B-303	夹生土器	盘	DOC区	河川群	14层 1a-5a层	(6.4)		24.0		地文田C <sub>III</sub> 。	C	夹生中期	
10	B-415	夹生土器	盘	DOC区	河川群	13c层					地文田C <sub>II</sub> 。	C	夹生中期	
11	B-290	夹生土器	盘	DOC区	河川群	13a层					地文田I。	C	夹生中期	

第489图 VIII·IX区河川群15层出土夹生土器72



国中 番号	発 掘 号	層 名	土器	出土地点		計量			特 徴・備 考	分 類	時 期	写真図版	
				地区	通称	段上番号	器高	口径					底径
1	B-411	弥生土器	甕	DXDK	河川跡	15a5層				地文印C出。	C	弥生中期	
2	B-413	弥生土器	甕	DXK	河川跡	15c層				地文印C出。	C	弥生中期	
3	B-277	弥生土器	甕	VMK	河川跡	15a層				地文印C出。	C	弥生中期	
4	B-821	弥生土器	甕	DA-CK	河川跡	15a層				地文印C出。	C	弥生中期	
5	B-809	弥生土器	イの壺口片	DXDK	河川跡	15c層	( 4.5)	6.4		地文FVC 1。	1A	弥生中期	
6	B-586	弥生土器	イの壺口片	DXK	河川跡	15a-3層	( 9.5)	12.4		地文印 1。	1A	弥生中期	220-1
7	B-231	弥生土器	イの壺口片	VMK	河川跡	14層				器角又了。地文印 1。		弥生中期	220-2
8	B-824	弥生中期	イの壺口片	DXCK	河川跡	15c層	( 5.2)			器三内文了。器底、地文印 1。		弥生中期	220-3
9	B-497	弥生土器	15f-7層	DXDK	河川跡	15a層	土器No 1	4.6	4.7	2.8		孔 1-1。	220-4
10	B-491	弥生土器	15f-7層	DXCK	河川跡	15c層		5.3	6.0	3.9			220-5
11	B-496	弥生土器	15f-7層	DXDK	河川跡	15a層	土器No 8	2.7	5.8	3.3			220-6
12	B-405	弥生土器	15f-7層	DXCK	河川跡	15a層		1.7	4.0	4.1			220-7
13	B-320	弥生土器	15f-7層	VMK	河川跡	15a層		( 4.3)				弥生中期	220-8
14	B-802	弥生土器	15f-7層	DXCK	河川跡	15c層		( 3.5)		4.9		弥生中期	
15	B-404	弥生土器	15f-7層	DXDK	河川跡	15a層		( 1.8)		2.5		弥生中期	
16	B-403	弥生土器	15f-7層	DXDK	河川跡	15a層		( 1.7)		2.9		弥生中期	
17	B-401	弥生土器	15f-7層	DXDK	河川跡	15c層		( 1.5)		2.3		弥生中期	

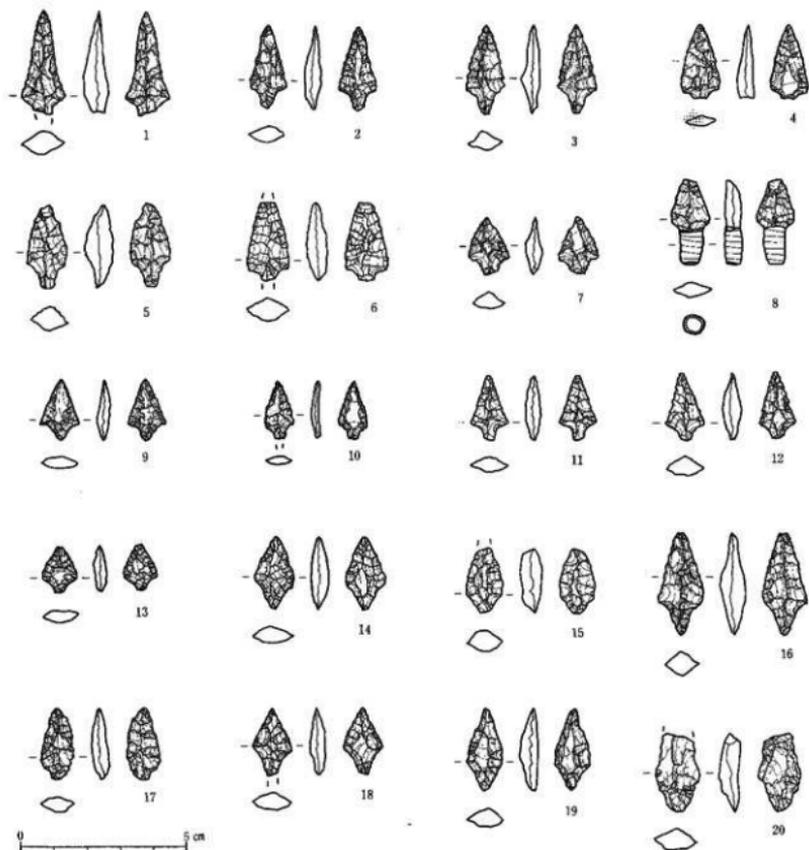
第490図 VII・IX区河川跡15層出土弥生土器73



0 5 cm

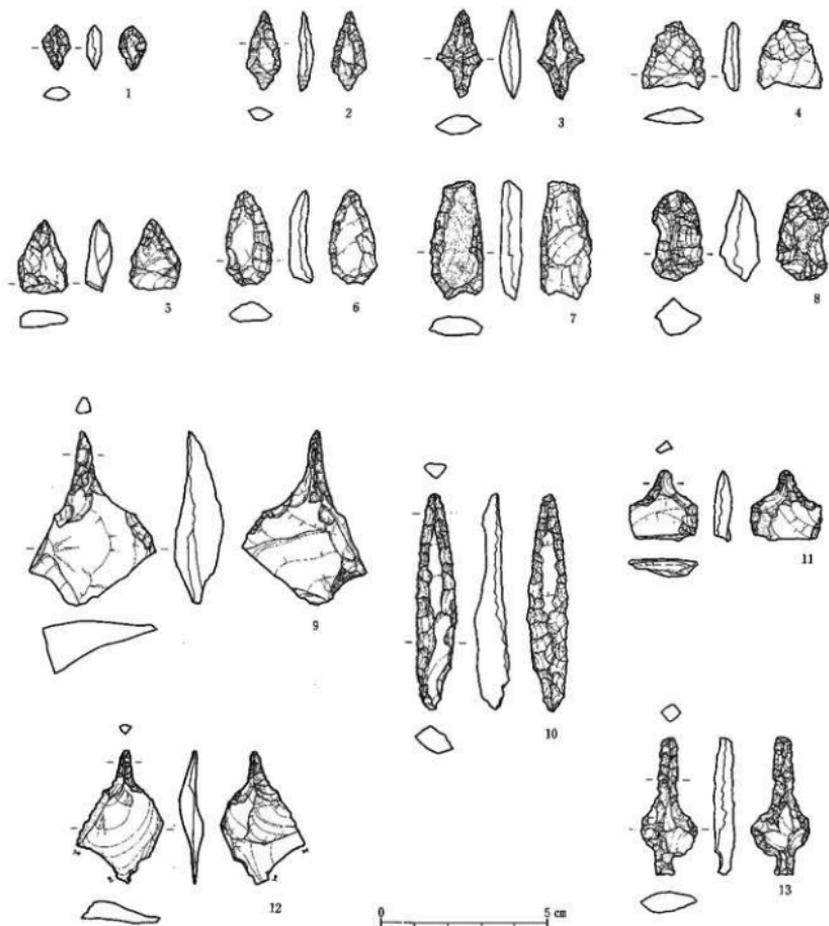
图中 序号	编号	形制	材质	出土地点			度量				特征·说明	窑材	时期	写真图版
				地区	层位	层位	全长	宽·厚	重量					
1	K-140	石箭	石	Ⅱ区	14层		2.5	1.4	0.9	3.2	黄	砂	新石器	243-20
2	K-141	石箭	石	Ⅱ区	14层		3.0	1.0	0.6	2.5	石黄	砂	新石器	244-9
3	K-146	石箭	石	Ⅱ区	15层		3.6	1.1	0.5	1.6	灰	砂	新石器	242-8
4	K-156	石箭	石	Ⅱ区	15层		3.3	1.1	0.5	1.3	灰	砂	新石器	242-9
5	K-167	石箭	石	Ⅱ区	15a层		3.8	1.4	0.5	2.1	灰	砂	新石器	242-11
6	K-137	石箭	石	Ⅱ区	15a层		3.6	1.2	0.4	1.7	灰	砂	新石器	242-13
7	K-232	石箭	石	Ⅱ区	15a层		3.5	1.1	0.4	1.7	灰	砂	新石器	242-10
8	K-261	石箭	石	Ⅱ区	15a层		3.3	1.3	0.4	1.7	灰	砂	新石器	243-25
9	K-139	石箭	石	Ⅱ区	14层		2.7	1.4	0.4	0.9	灰	砂	新石器	242-5
10	K-167	石箭	石	Ⅱ区	15层		3.5	0.9	0.3	0.7	灰	砂	新石器	243-1
11	K-168	石箭	石	Ⅱ区	15a层		2.5	1.0	0.3	0.6	灰	砂	新石器	243-9
12	K-177	石箭	石	Ⅱ区	15层		2.9	1.0	0.6	1.3	灰	砂	新石器	242-7
13	K-178	石箭	石	Ⅱ区	15层		2.5	1.0	0.3	0.8	黑	砂	新石器	243-7
14	K-188	石箭	石	Ⅱ区	15a层		2.1	1.3	0.4	0.8	黑	砂	新石器	243-3
15	K-194	石箭	石	Ⅱ区	15a层		2.7	1.4	0.6	1.6	黑	砂	新石器	242-16
16	K-227	石箭	石	Ⅱ区	15a层		1.9	1.0	0.3	0.7	灰	砂	新石器	243-25

第491图 Ⅷ·Ⅸ区河川跡14層出土石器·15層出土石器1



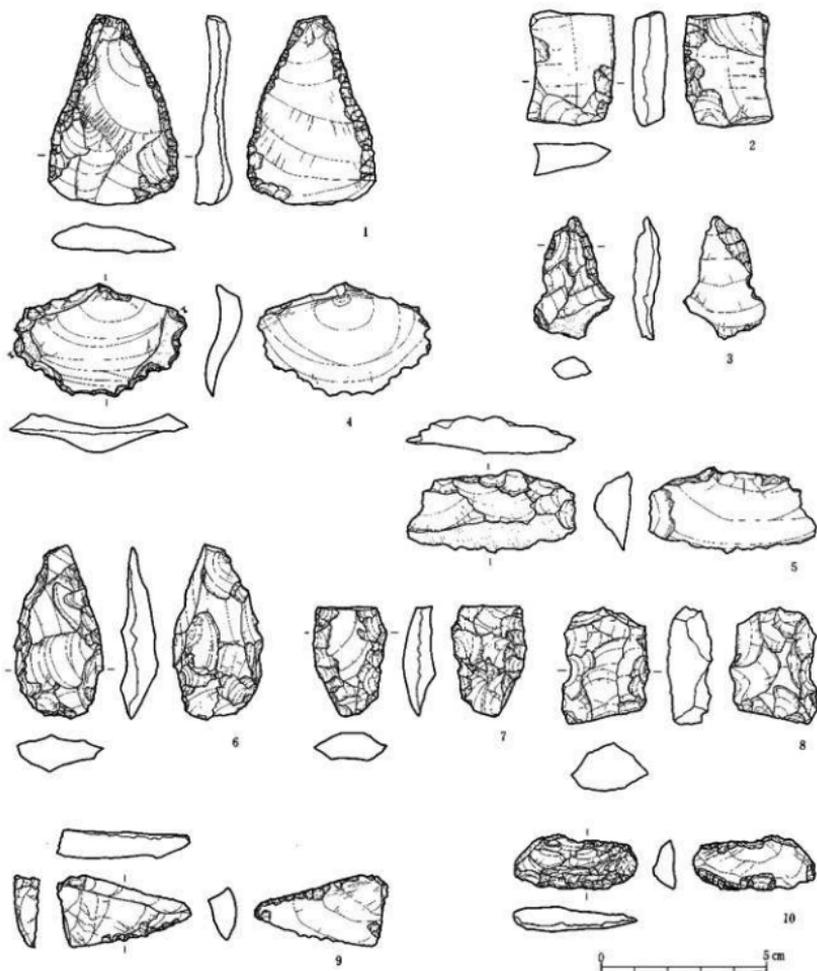
图中 序号	器 名	质地	形制	数量	出土地点			度量			特征·器考	石材	时期	所属层位	
					层位	层位	层位	全长	柄·厚	厚·全					
1	K-233 石镞	石	石镞	15c	15c	15c	3.1	1.3	0.7	1.8	基部欠缘	瓦	新牛中期	242-17	
2	K-233 石镞	石	石镞	15c	15c	15c	2.5	1.0	0.5	0.9		瓦	新牛中期	242-6	
3	K-241 石镞	石	石镞	15a	15a	15a	2.6	1.1	0.5	0.8		瓦	新牛中期	243-16	
4	K-272 石镞	石	石镞	15a	15a	15a	2.2	1.1	0.4	0.8	基部欠缘	滑	瓦	新牛中期	242-26
5	K-273 石镞	石	石镞	15a	15a	15a	2.5	1.1	0.7	1.4		瓦	新牛中期	243-15	
6	K-275 石镞	石	石镞	15a	15a	15a	2.6	1.1	0.5	1.4	尖端带·基部欠缘	瓦	新牛中期	243-14	
7	K-185 石镞	石	石镞	15a	15a	15a	1.6	1.2	0.3	0.6	基部欠缘	瓦	新牛中期	242-24	
8	K-210 石镞	石	石镞	15c	15c	15c	2.4	1.0	0.3	1.1	尖端·缺残存	瓦	新牛中期	242-1	
9	K-215 石镞	石	石镞	15c	15c	15c	1.8	1.1	0.3	0.5		瓦	新牛中期	243-6	
10	K-268 石镞	石	石镞	15a	15a	15a	1.7	0.8	0.2	0.3		瓦	石	新牛中期	242-23
11	K-269 石镞	石	石镞	15a	15a	15a	1.9	1.0	0.4	0.5		瓦	石	新牛中期	242-27
12	K-270 石镞	石	石镞	15a	15a	15a	1.9	1.0	0.5	0.7		瓦	新牛中期	243-11	
13	K-148 石镞	石	石镞	15a	15a	15a	1.3	0.9	0.3	0.3		瓦	新牛中期	242-19	
14	K-136 石镞	石	石镞	15a	15a	15a	2.1	1.1	0.5	0.9		瓦	石	新牛中期	243-17
15	K-130 石镞	石	石镞	15a	15a	15a	1.9	1.0	0.6	1.1		瓦	新牛中期	243-19	
16	K-189 石镞	石	石镞	15a	15a	15a	3.0	1.3	0.7	2.1		瓦	新牛中期	242-14	
17	K-192 石镞	石	石镞	15a	15a	15a	2.1	0.9	0.5	1.0	基部欠缘	瓦	新牛中期	243-18	
18	K-190 石镞	石	石镞	15a	15a	15a	1.9	1.1	0.5	0.7		瓦	新牛中期	243-5	
19	K-211 石镞	石	石镞	15c	15c	15c	2.4	1.0	0.5	0.9		瓦	石	新牛中期	243-13
20	K-260 石镞	石	石镞	15a	15a	15a	2.3	1.2	0.5	1.7	基部点	瓦	新牛中期	243-24	

第492图 VIII·IX区河川跡15层出土石器 2



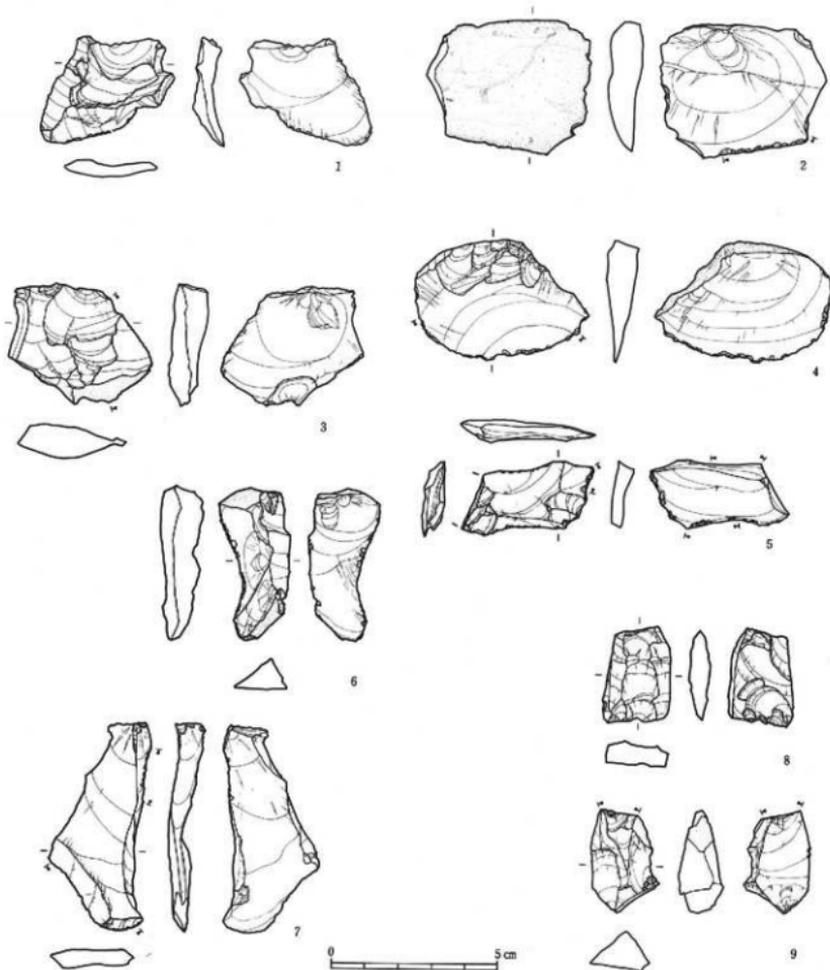
図中 番号	番号	種類	群属	出土地点		測定				特徴・備考	素材	時期	採集回数
				遺跡	層位	長さ	幅	厚さ	重量				
1	K-267	石鏃	心鏃	TK1	15a層	1.3	0.7	0.3	0.4		頁	弥生中期	242-21
2	K-271	石鏃	石鏃	TK1c	15a層	2.3	1.6	0.3	0.6		頁	弥生中期	243-16
3	K-274	石鏃	石鏃	TK1c	15a層	2.6	1.3	0.6	1.3		頁	弥生中期	243-2
4	K-279	石鏃	石鏃	TK1c	15a層	1.9	1.7	0.4	1.3	2次加工あり	玉	弥生中期	244-7
5	K-486	石鏃	石鏃	TK2c	15a層	2.1	1.3	0.5	1.8		頁	弥生中期	243-22
6	K-213	石鏃	石鏃	TK1c	15c層	3.8	1.2	0.6	2.2		頁	弥生中期	244-8
7	K-226	石鏃	心鏃	TK1c	15c層	3.5	1.4	0.6	4.2		安山岩	弥生中期	245-8
8	K-146	石鏃	石鏃	TK1	15層	2.6	1.4	1.0	3.3	基部欠損	玉	弥生中期	243-26
9	K-167	石鏃	石鏃	TK1c	15a層	5.3	3.2	1.4	14.7		流紋岩	弥生中期	244-2
10	K-261	石鏃	心鏃	TK1c	15a層	6.5	1.1	0.8	5.6		流紋岩	弥生中期	244-10
11	K-199	石鏃	石鏃	TK1c	15a層	2.1	2.0	0.4	1.9	基部欠損	頁	弥生中期	244-4
12	K-212	石鏃	石鏃	TK1c	15c層	4.0	2.4	0.3	3.7	基部中央欠損	頁	弥生中期	244-5
13	K-240	石鏃	石鏃	TK1c	15d層	4.1	1.6	0.6	2.9	先端欠損	頁	弥生中期	244-3

第493図 VII・IX区河川跡15層出土石器3



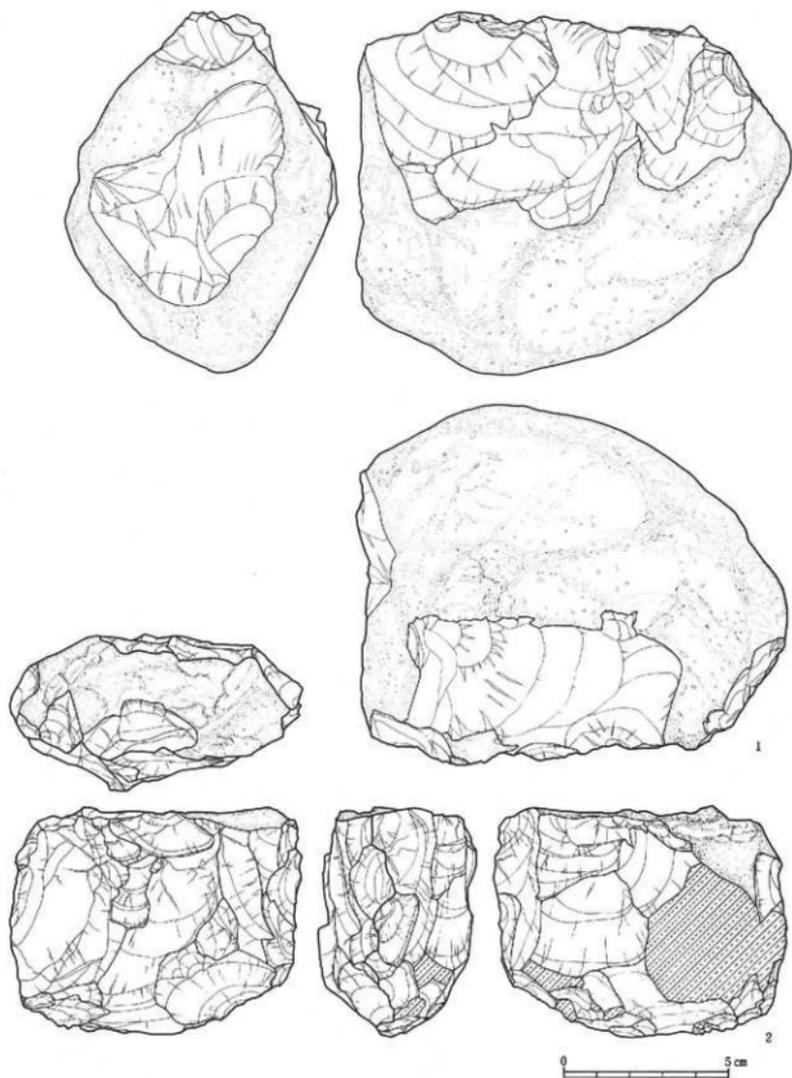
国中 番号	登録 番号	類別	群 属	出 土 地 点		尺 寸				特 徴 ・ 備 考	素 材	時 期	写 真 図 録	
				地区	遺 跡 層 位	取 出 番 号	全 長	幅 ・ 径	厚 さ					重 量
1	K-184	石 器	大ケルマ	IX区	15層		5.7	3.8	0.4	17.8	両側面に2次加工あり	頁	弥生中期	244-14
2	K-258	石 器	穴部石環	DX区	15a層		2.5	3.4	0.9	7.7		頁	弥生中期	245-10
3	K-278	石 器	穴部石環	DX区	15a層		3.7	2.1	0.6	4.4	2次加工あり	燧 山 質	弥生中期	245-2
4	K-286	石 器	穴部石環	DX区	15a層		3.2	5.1	0.4	11.6		頁	弥生中期	245-11
5	K-296	石 器	穴部石環	DX区	15a層		5.9	2.3	0.9	10.9		頁	弥生中期	245-1
6	K-278	石 器	穴部石環	DX区	15a層		5.2	2.3	1.0	11.8	2次加工あり	物 化 層 灰 石	弥生中期	245-3
7	K-147	石 器	小定規石環	IX区	15層		3.2	2.0	1.1	7.0	先端加工	燧 石	弥生中期	245-9
8	K-285	石 器	穴部石環	DX区	15a層		3.4	2.5	12.7	13.1	2次加工あり	燧 石	弥生中期	245-7
9	K-259	石 器	穴部石環	DX区	15a層		4.0	2.1	0.8	6.8	折ってから使用(切痕・剥離の痕)	燧 石	弥生中期	245-5
10	K-192	石 器	穴部石環	DX区	15a層		3.6	1.6	0.6	4.7	両側面に2次加工あり	頁	弥 生 中 期	246-4

第494図 VII・IX区河川跡15層出土石器4



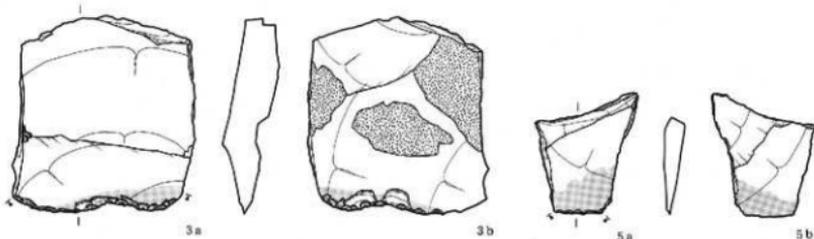
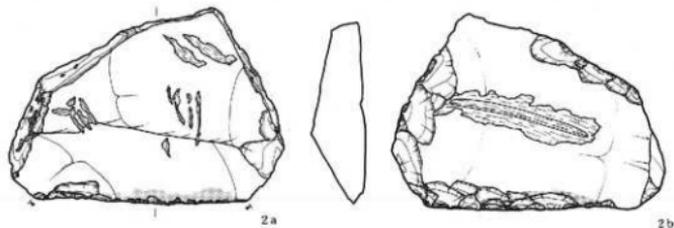
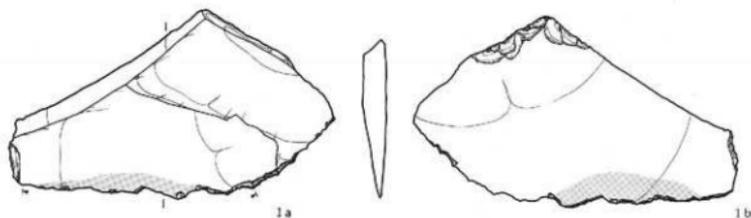
図中 番号	種別	種類	出土地点		法量				特徴・備考	素材	時期	写真図版				
			地区	遺跡名	位	取上番号	全長	幅・厚					厚さ	重量		
1	K-298	石鏃	削片	DKR	SX-b	15a層		3.0	3.1	0.6	5.5	縁面・後面割縁あり	頁	期	弥生中期	246-3
2	K-294	石鏃	削片	DKR		15a層		4.0	4.0	0.7	21.5	縁面割縁あり	頁	期	弥生中期	246-9
3	K-216	石鏃	削片	DKR		15a層		3.5	4.1	0.7	14.1	縁面割縁あり	頁	期	弥生中期	246-5
4	K-227	石鏃	削片	DKR		15a層		3.5	5.3	0.3	12.7	背面割縁あり	頁	期	弥生中期	246-7
5	K-143	石鏃	削片	推定	SX-a	15層		4.0	2.1	0.7	5.7	後面割縁あり	頁	期	弥生中期	246-6
6	K-190	石鏃	削片	DKR		15a層		4.6	1.9	1.2	9.5	縁面・後面割縁あり	頁	期	弥生中期	246-2
7	K-263	石鏃	削片	DKR		15a層		6.3	2.5	0.6	9.2	縁面割縁あり	頁	期	弥生中期	246-8
8	K-283	石鏃	横形石鏃	DKR		15a層		3.9	1.9	0.6	5.0		頁	期	弥生中期	244-12
9	K-282	石鏃	横形石鏃	DKR		15c層		3.1	1.9	1.1	6.7		頁	期	弥生中期	243-1

第495図 VII・IX区河川跡15層出土石器5



图号	编号	说明	形制	出土地点		度量				特征·备注	材质	时期	序号图版	
				地区	层位	层位	取土层号	全长	轴·厚					厚·宽
1	K-202	石核	石核	0086	15a层			10.9	12.8	7.2	1233.3		野生中期	254-1
2	K-164	石核	石核	0086	15a层			6.8	8.8	4.7	349.2		野生中期	255-1

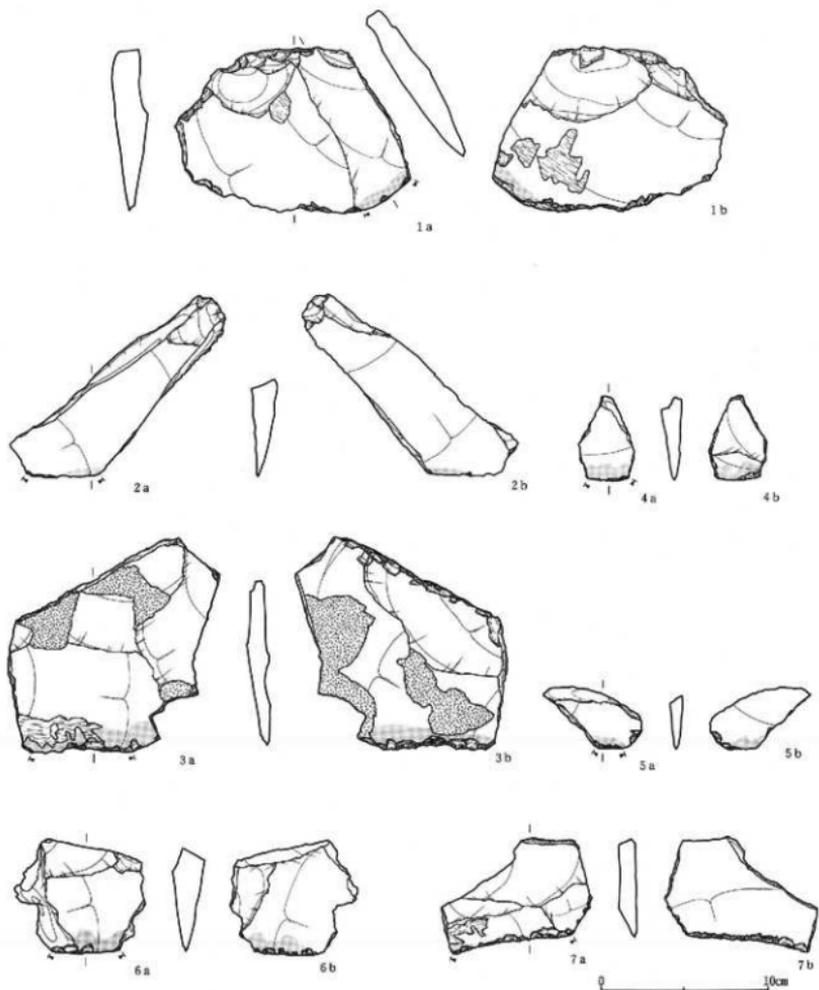
第496图 VII·IX区河川跡15層出土石器 6



0 10cm

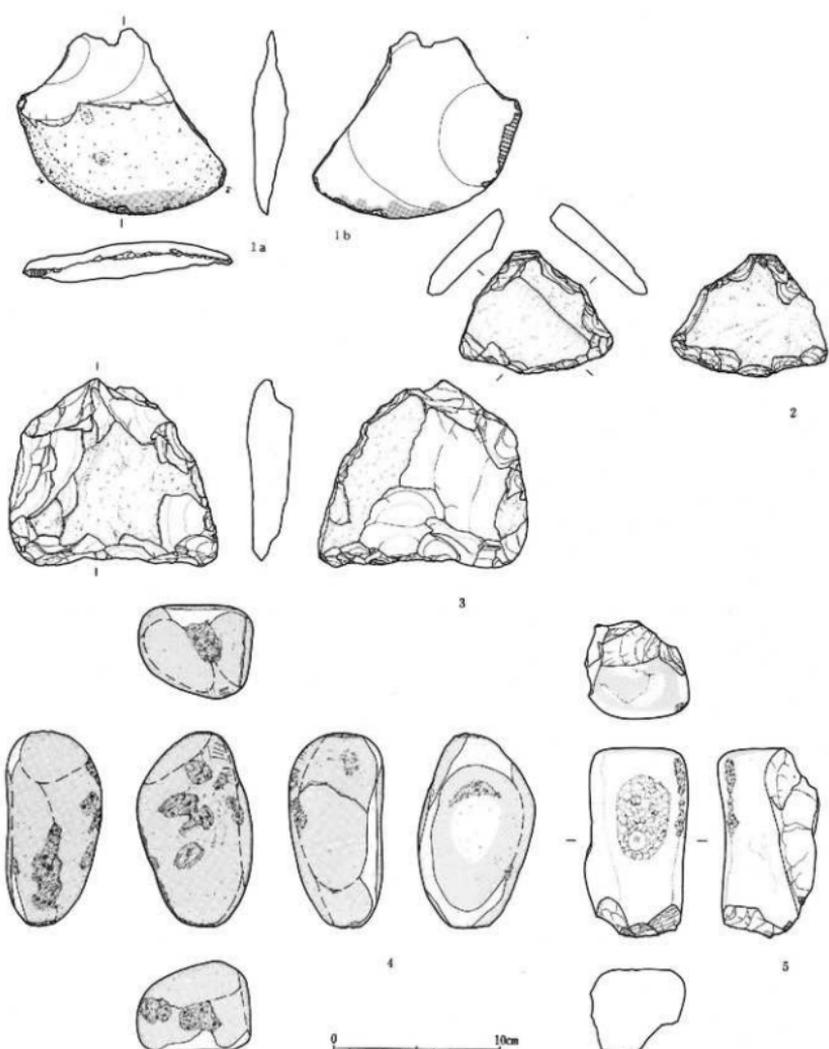
館中 番号	発 見 地	層 位	土 層	出 土 層 位	取 上 量 号	法 量				特 徴 ・ 備 考	石 材	時 期	写 真 図 版
						全 長	幅・ 径	厚 さ	重 量				
1	K-181	石層	板状石層	ⅡC区	15層 石No.4	19.6	12.9	1.7	204.1	下側斜面に光沢面露出、部分的に二次加工あり	安山岩	弥生中期	256-1
2	K-238	石層	板状石層	ⅡC区	15c層	16.5	12.9	3.5	756.6	下側斜面に尖状面、b面に磨面、a面割線に刻行痕あり	安山岩	弥生中期	256-2
3	K-255	石層	板状石層	ⅡB区	15d層	14.2	13.2	2.6	495.9	下側斜面に光沢面、b面に受熱痕あり	安山岩	弥生中期	256-3
4	K-165	石層	板状石層	ⅡB区	15層 石No.5	12.3	9.2	1.2	144.4	下側斜面に光沢面あり	安山岩	弥生中期	256-4
5	K-153	石層	板状石層	ⅡB区	15層	8.7	6.5	1.3	5.9	下側斜面に尖状面露出、刃部に微細割線あり	安山岩	弥生中期	256-5
6	K-169	石層	板状石層	ⅡB区	15c層	6.7	4.7	0.8	21.6	下側斜面に光沢面露出、刃部に微細割線あり	安山岩	弥生中期	256-6

第497図 Ⅱ・Ⅲ区河川跡15層出土石器7



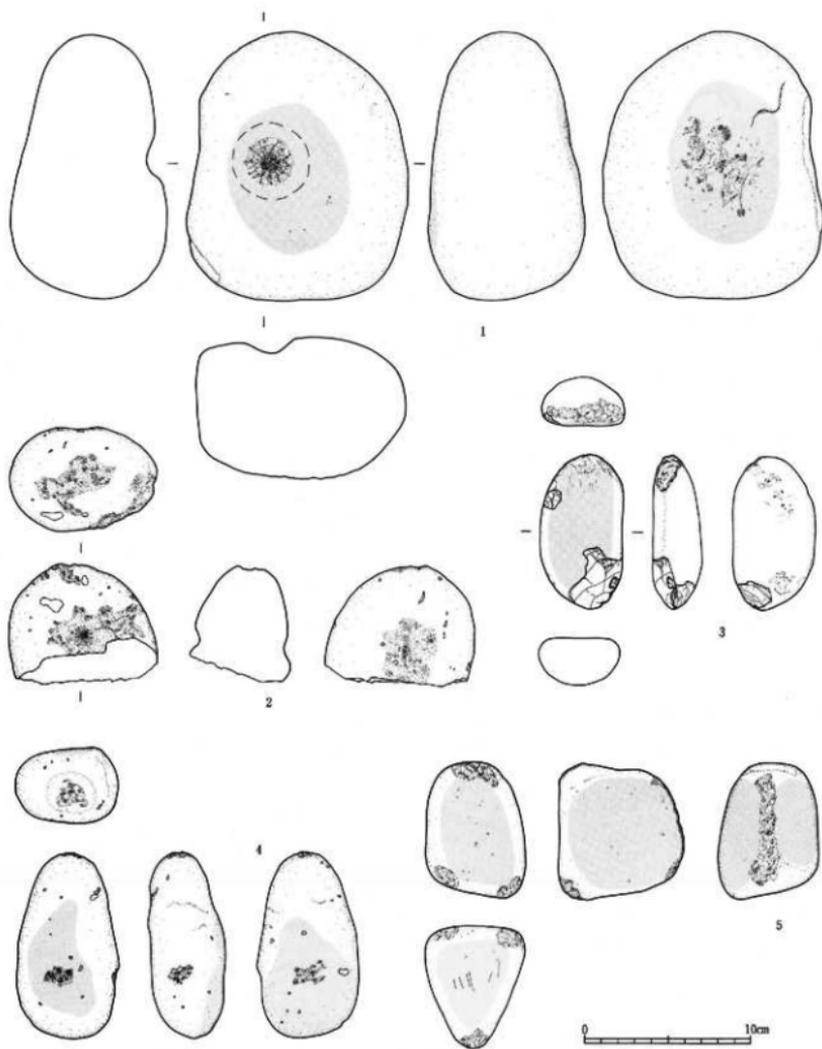
図中 番号	発 掘 番号	種類	器 種	出土地点			法 量				特 徴・備 考	原 材	時 期	写真 図限	
				地区	遺 構	層 位	取 上 層 特	全 長	幅・ 径	厚 さ					重 量
1	K-220	石器	板状石器	DC区		15a層		14.5	10.5	2.0	323.2	下側縁両面に欠状面。磨一箇面、2次加工あり	安山岩	弥生中期	257-1
2	K-242	石器	板状石器	DE区		15a層	石No.5	15.5	5.8	1.9	156.1	下側縁両面に欠状面。2次加工あり	安山岩	弥生中期	257-2
3	K-244	石器	板状石器	DC区		15a層		15.9	11.3	1.5	243.3	下側縁両面に欠状面。磨一箇面、2次加工あり。両面に欠状面あり	安山岩	弥生中期	257-3
4	K-142	石器	板状石器	DE区		15層		5.3	3.2	1.2	18.2	下側縁両面に欠状面。刃部に2次加工。魚鱗状縁面あり	安山岩	弥生中期	257-4
5	K-209	石器	板状石器	DE区		15a層		4.5	3.1	0.8	15.6	下側縁両面に欠状面。刃部に2次加工。魚鱗状縁面あり	安山岩	弥生中期	257-5
6	K-182	石器	板状石器	DE区		15a層		8.0	7.5	1.9	192.3	下側縁両面に欠状面。刃部に2次加工あり	安山岩	弥生中期	257-6
7	K-196	石器	板状石器	DC区		15a層		10.1	6.5	1.4	77.2	下側縁両面に欠状面。刃部に2次加工あり。磨一箇面	安山岩	弥生中期	257-7

第498図 VI・IX区河川跡15層出土石器 8



図中 番号	発 掘 番 号	所 出 地 区	器 種	出土地点		測 量				特 徴 ・ 備 考	原 材	時 期	写真図版	
				通 信 番 号	取 上 層 号	全 長	幅 ・ 径	厚 さ	重 量					
1	K-237	石巻	板状石鏟	DR区		15c層	13.3	11.0	2.1	389.5	片鏟2号作成。下部縁部面に光沢面。 *片鏟3号鏟との形似あり	塩賀藏沢群	弥生中期	257-8
2	K-257	石巻	石鏟	DR区		15a層	8.6	9.3	1.6	149.2		安山岩	弥生中期	259-1
3	K-256	石巻	石鏟	DR区		15層	11.5	12.5	2.8	424.5		安山岩	弥生中期	259-2
4	K-206	石巻	磨・凹・磨石	DR区		15a層	12.0	7.0	5.7	696.1	磨一全面、凹一片面、磨一両面、 片鏟型、凹磨	安山岩	弥生中期	259-5
5	K-171	石巻	磨・凹石	DR区		15C層	11.6	6.0	6.0	614.2	磨一両面、凹一片面、磨一片面、片鏟型	安山岩	弥生中期	259-10

第499図 VII・I区河川跡15層出土石器9



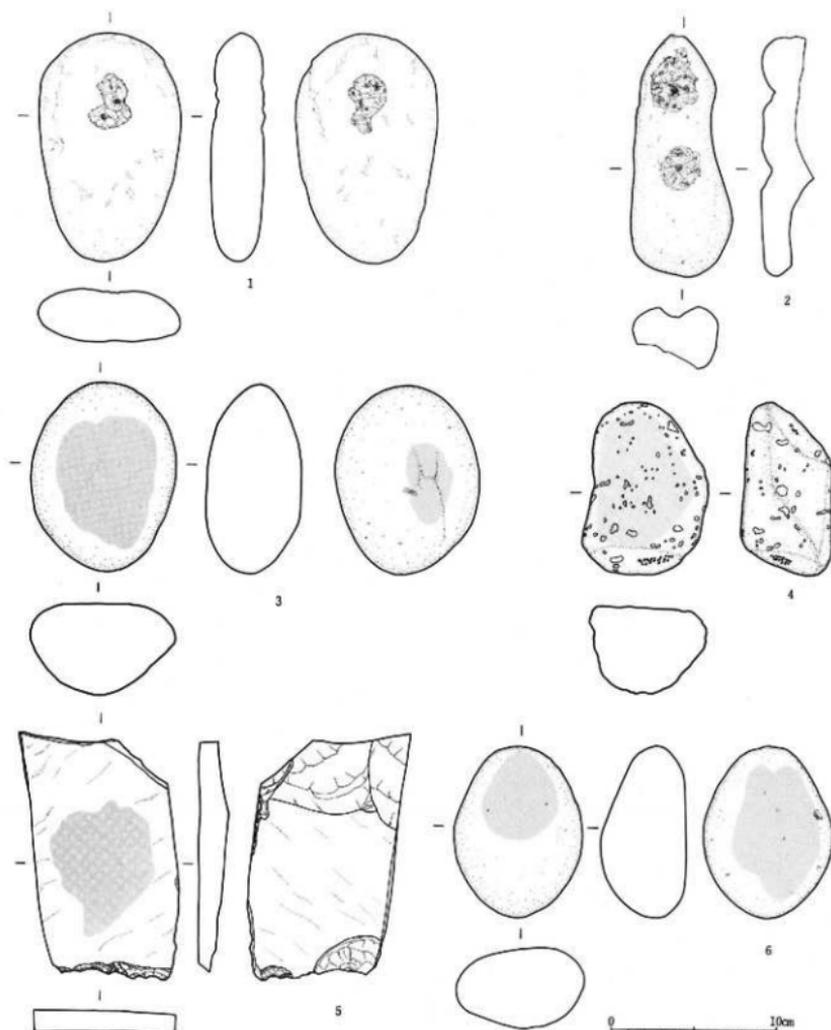
器中 番号	器種 番号	器別	材質	出土地点		法量				特徴・備考	素材	時期	写真図版		
				地区	段標	層位	取上順序	全長	幅・径					厚さ	重量
1	K-235	石鏃	黒山巖石	国取		15c層	石No.6	16.5	13.3	9.6	3336.0	鏃一片部、凹部、片部中央残っている。 基部一片部(文刺痕)	石美安山岩	弥生中期	259-4
2	K-235	石鏃	門、礫石	国取		15c層		7.4	9.6	6.5	372.6	門一両部、鏃一柄、割れている	安山岩	弥生中期	259-7
3	K-239	石鏃	礫、礫石	国取		15d層		9.5	4.5	3.0	222.2	鏃一柄、鏃一柄	石美安山岩?	弥生中期	259-11
4	K-248	石鏃	礫、礫石	国取		15d層		11.5	6.2	4.7	439.8	鏃一両部、鏃一両部、片部部、一端		弥生中期	259-12
5	K-222	石鏃	礫、礫石	国取		15b層		8.4	6.1	7.5	545.1	鏃一片部、刃部部、一柄、一両部、一柄	安山岩	弥生中期	259-13

第500図 VII・IX区河川跡15層出土石器10



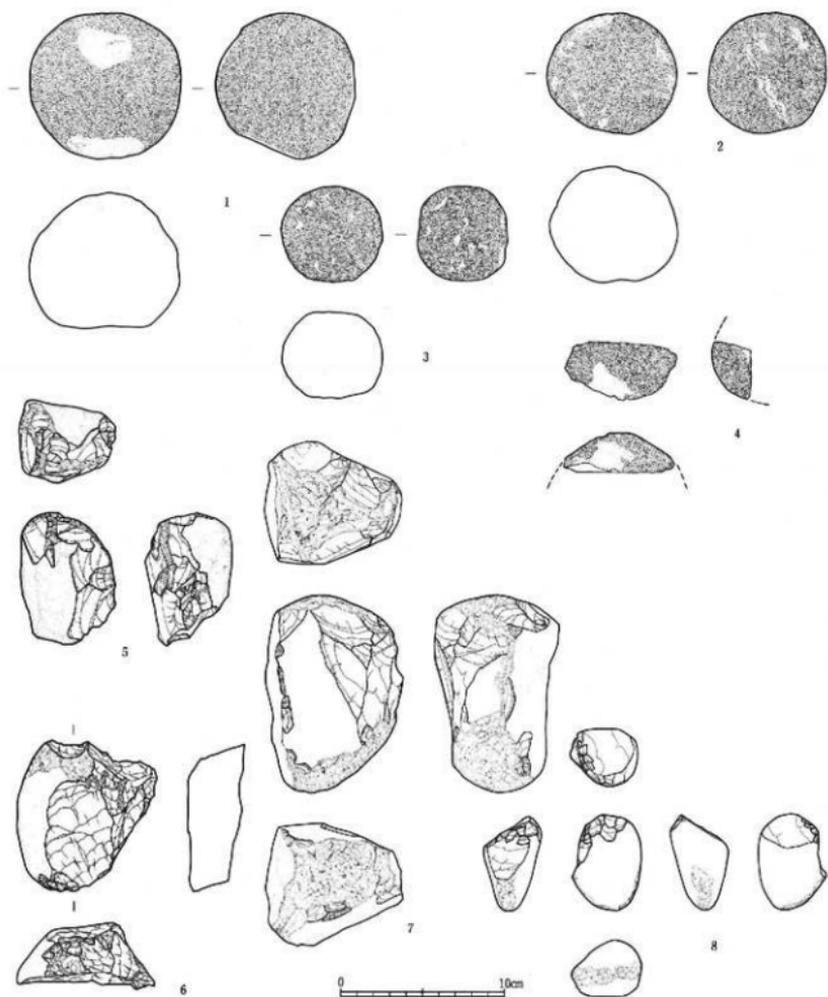
図中 番号	分類 番号	種類	出土地点			法量				特徴・備考	素材	時期	写真図版	
			地区	遺構	層位	取上番号	全長	幅・径	厚さ					重量
1	K-204	石鏃	四・塚石	303K	15a層		8.7	9.1	5.5	603.9	凹・凹面、股一両側面、一端、装けている	石炭安山岩	弥生中期	259-8
2	K-204	石鏃	塚石	303K	15c層		9.9	5.6	5.0	343.4	股一片面、両端	石炭安山岩	弥生中期	261-5
3	K-207	石鏃	塚石	303K	15a層		17.3	10.5	11.4	2380.0	条痕あり、装けている	石炭安山岩	弥生中期	262-12
4	K-224	石鏃	野・塚石	105K	15c層		12.9	8.8	5.5	930.8	野一両面、股一両面、両側面、一端	安山岩	弥生中期	260-1
5	K-221	石鏃	野・塚石	105K	15b層		10.2	5.8	7.2	619.7	野一片側面、一端、股一片面	石炭安山岩	弥生中期	260-2

第501図 VII・IX区河川跡15層出土石器11



図中 番号	図例	器種	出土地点			法 量			特 徴 ・ 備 考	素材	時期	写真図版	
			地区	遺 跡	層 位	取上番号	全 長	幅・厚					重量
1	K-282	石錐 凹石	IX区	15層		14.1	8.6	3.2	528.0	凹一両面	安山岩	弥生中期	260-3
2	K-205	石錐 凹石	IX区	15a層		14.9	6.1	3.8	211.9	凹一片面	石炭系山背岩 凝灰岩	弥生中期	260-4
3	K-219	石錐 凹石	IX区	13a層		11.6	8.8	5.7	809.0	凹一両面、焼けている	安山岩	弥生中期	260-6
4	K-243	石錐 凹石	IX区	15a層		10.6	7.0	5.6	354.8	凹一片面	雄化石灰岩(海)	弥生中期	260-7
5	K-246	石錐 凹石	IX区	15a層		15.2	9.8	1.8	377.0	凹一片面	安山岩	弥生中期	260-8
6	K-203	石錐 凹石	IX区	15a層		10.5	7.8	5.1	556.7	凹一両面	安山岩	弥生中期	260-9

第502図 VII・IX区河川跡15層出土石器12



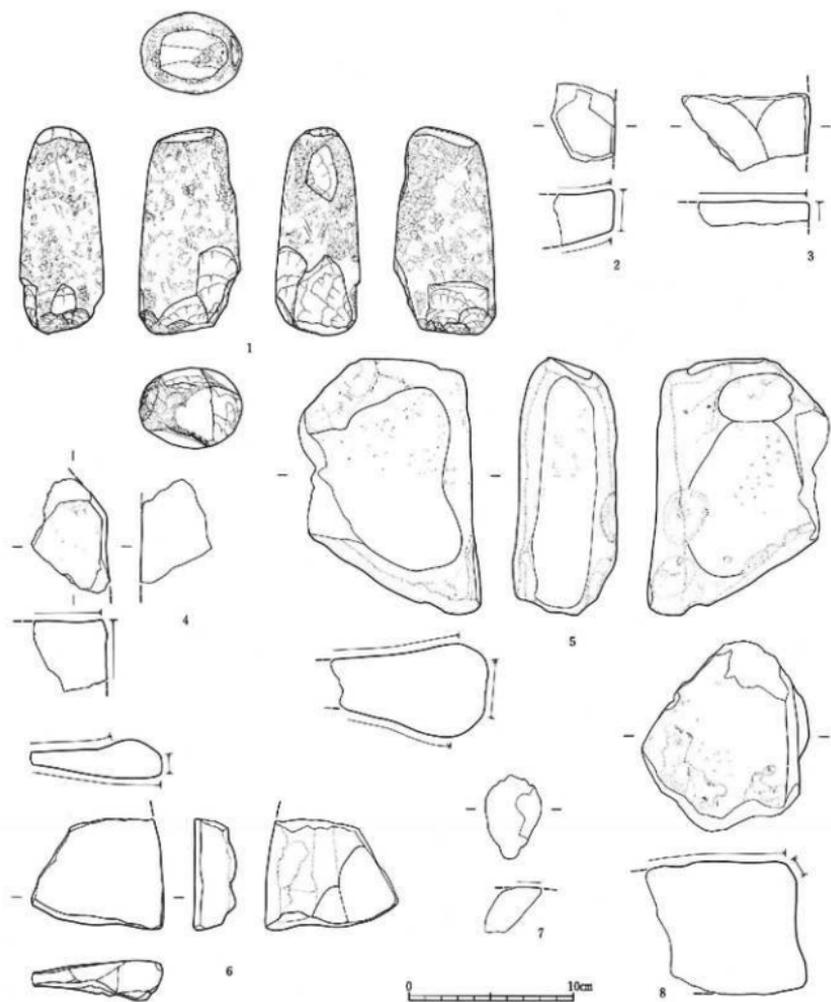
図中 番号	発 見 番号	種類	群 類	出土地点			測定				特徴・備考	素材	時期	写真図版	
				地区	遺跡	層位	取上形跡	全長	幅・径	厚さ					重量
1	K-252	石器	礫石	IXIX		15c層		9.0	9.2	8.3	927.6	多面体の礫石	石炭山山頂層 灰岩	弥生中期	261-1
2	K-250	石器	礫石	IXIX		15c層	石No.2	7.4	7.7	7.2	526.7	多面体の礫石	石炭山山頂層 灰岩	弥生中期	261-2
3	K-251	石器	礫石	IXIX		15c層		5.8	6.9	5.4	269.3	多面体の礫石	石炭山山頂層 灰岩	弥生中期	261-3
4	K-265	石器	礫石	IXIX		15層		3.6	6.7	2.4	36.3	多面体の礫石の破片	玄武岩	弥生中期	261-4
5	K-283	石器	礫石	IXIX		15層		7.5	5.7	5.3	262.7	破一片面、一端、片側面、右側を欠損	凝灰質頁岩	弥生中期	261-11
6	K-284	石器	礫石	IXIX		15層		9.3	8.3	3.3	320.0	破一片面、一端	安山岩	弥生中期	261-6
7	K-249	石器	礫石	IXIX		15a層		12.1	8.2	7.6	934.3	破一片面、片側面	砂岩(安山岩) (砂岩)	弥生中期	261-7
8	K-218	石器	礫石	IXIX		15a層		5.9	4.3	3.5	98.2	破一片面、下面	安山岩	弥生中期	261-8

第503図 VII・IX区河川跡15層出土石器13



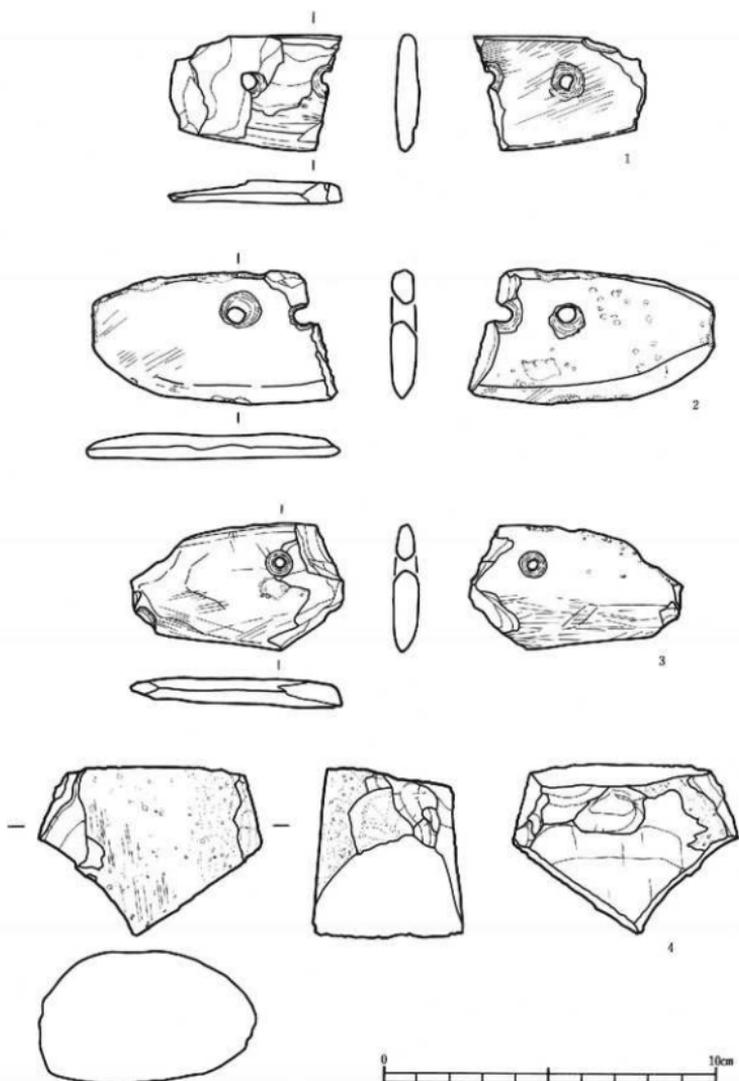
图中 序号	器 名	材质	出土 层位	出土 地点	法			数量	特征·备注	原料	时期	写真图版
					全长	口径	厚度					
1	K-247	石磨	磨石	154磨	8.4	8.5	5.3	531.5	磨一河磨面、一磨	石磨安山岩	晚生中期	261-9
2	K-163	石磨	磨石	154磨	10.5	8.5	4.2	368.9	磨一河磨	砂页岩	晚生中期	261-10
3	K-253	石磨	磨石	154磨	11.3	8.7	4.7	414.8	磨一河磨	安山岩	晚生中期	260-5
4	K-223	石磨	磨石	154磨	9.3	8.8	3.8	292.6	磨一河磨	石磨安山岩	晚生中期	261-12
5	K-236	石磨	磨石	154磨	9.1	6.8	5.5	414.5	磨一河	安山岩	晚生中期	261-13
6	K-264	石磨	磨石	154磨	13.5	8.8	4.4	657.6	磨一河磨面、片磨	砂页岩	晚生中期	261-14

第504图 VII·一区河川跡15層出土石器14



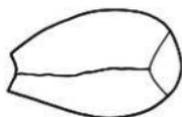
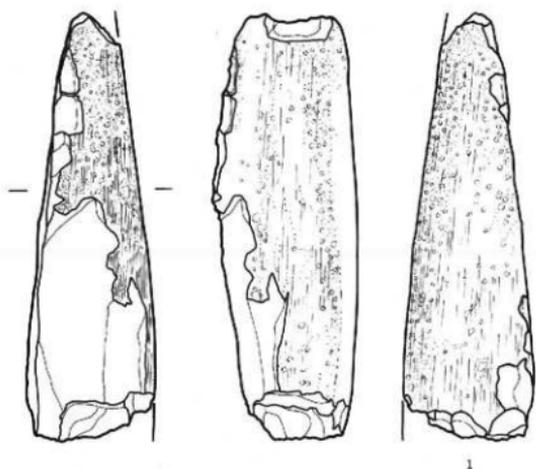
図中 番号	分類 番号	形別	部類	出土地点		法量				特徴・備考	素材	時期	写真図版	
				地区	遺構 層位	取上番号	全長	幅・径	厚さ					重量
1	K-172	石器	礫石	ⅡB区	15c層	石№10	12.7	6.2	5.0	601.4	石片基部を礫石に転用。縦一断面	砂	弥生中期	261-15
2	K-191	石器	礫石	ⅡB区	15a層		4.3	3.8	3.0	79.2	底一片部、側面は加工されている。	砂	弥生中期	262-4
3	K-200	石器	礫石	ⅡB区	15a層		4.7	7.8	1.6	76.9	底一片部、側面は加工されている。	砂	弥生中期	262-5
4	K-245	石器	礫石	ⅡB区	15c層		7.0	4.6	4.3	151.2	底一片部、側面は加工されている。	砂	弥生中期	262-6
5	K-182	石器	礫石	ⅡB区	15層		15.8	10.1	6.2	1346.0	底一面側、側面は加工されている。	砂	弥生中期	262-8
6	K-144	石器	礫石	ⅡB区	15層		6.8	8.6	2.4	152.7	底一面側、側面は加工されている。	砂	弥生中期	262-7
7	K-170	石器	礫石	ⅡB区	15c層		5.2	3.4	2.8	36.5	底一片部、火ハネ	砂	弥生中期	262-10
8	K-201	石器	礫石	ⅡB区	15a層		11.8	10.2	8.2	1120.0	底一片部	砂	弥生中期	262-9

第505図 VII・IX区河川跡15層出土石器15



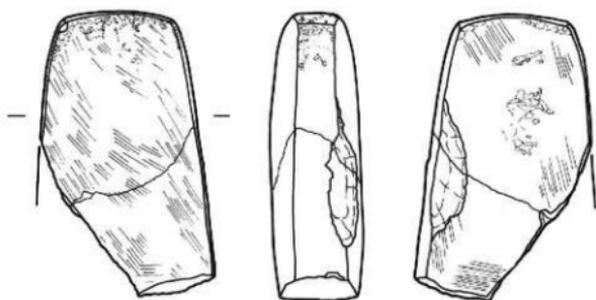
组中 序号	层 编号	材质	器 种	出土地点			量				特征·备注	质地	时期	写真图版
				地区	层位	层上序号	全长	宽·厚	厚·重	重量				
1	K-154	石质	石靶子	湖北	15层		5.9	3.5	6.7	24.4	扁薄欠圆	细砂岩	仰光中晚	247-2
2	K-176	石质	石靶子	湖北	15层上		7.3	4.9	6.7	39.1	一面欠圆, 刃部光滑亦刃	细砂岩	仰光中晚	248-1
3	K-217	石质	石靶子	湖北	15b层		6.2	3.7	8.8	36.0		细砂岩	仰光中晚	247-4
4	K-161	石质	大型磨石 石	湖北	15a层上		3.0	6.6	4.4	187.9	磨厚版片	安山岩	仰光中晚	250-5

第506图 VII·IX区河川跡15層出土石器16

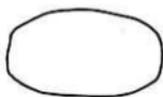


国中 番号	登録 号	種類	器種	出土地点				測 量				特徴・備考	素材	時期	写真図版
				地区	遺 跡	層 位	取上層位	全長	幅・径	厚 寸	重量				
1	K-183	石器	水原地区 大塚	IX区	13層		13.0	3.6	4.5	328.5	溝部破片	玄 武 岩	弥生中期	251-2	
2	K-145	石器	水原地区 大塚	VIII区	110層		6.1	4.3	3.3	56.5	刃部破片	粘 板 岩	弥生中期	252-1	

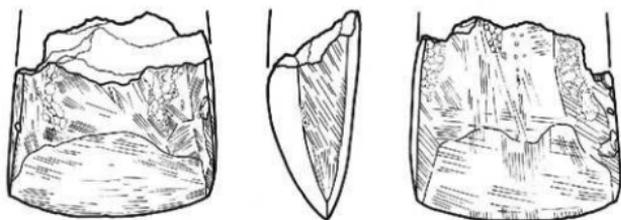
第507図 VII・IX区河川跡15層出土石器17



1



2

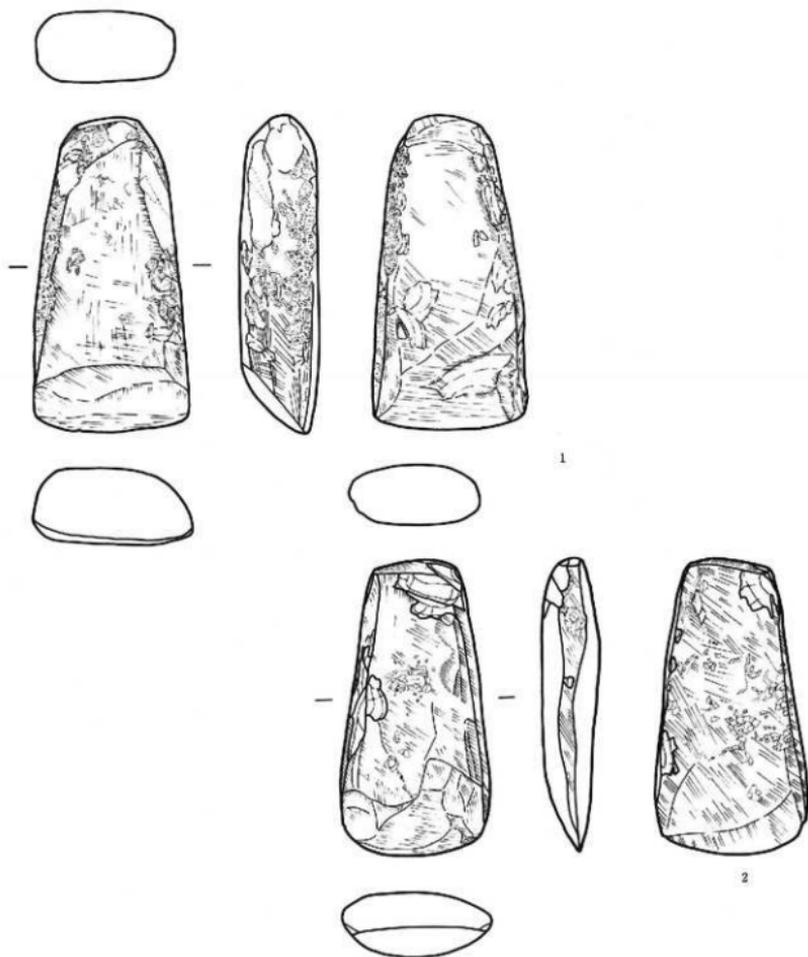


3



区中 番号	番号	類別	器種	出土地点		度量				特徴・備考	素材	時期	写真図版	
				地区	遺跡名	出土層位	全長	幅・厚	厚さ					重量
1	K-150 K-160	石群	石斧	Ⅱ区	15層		8.7	4.7	2.7	204.2		砂岩	弥生中期	251-1
2	K-179	石群	石斧	Ⅱ区	15層		3.2	4.6	3.0	61.4		砂質凝灰岩	弥生中期	251-2
3	K-149	石群	磨平片刃石	Ⅱ区	15層		6.2	6.2	2.4	146.1		角閃岩	弥生中期	252-2

第508図 VII・IX区河川跡15層出土石器18



国中 番号	登録 番号	種別	器種	出土地点			法量				特徴・備考	素材	時期	写真図版
				地区	遺跡	層位	取上番号	全長	幅・径	厚さ				
1	K-195	石器	藤平片万 石	DE区	15a層		9.7	4.6	2.2	181.8		粘板岩	弥生中期	252-3
2	K-151	石器	藤平片万 石	DE区	15層		9.0	4.5	1.8	106.2		粘板岩	弥生中期	245-3

第509図 VII・IX区河川跡15層出土石器19



図中 番号	登録 番号	種類	時期	出土地点		計量				特徴・備考	素材	時期	収蔵施設		
				地区	遺構	層位	取上番号	全長	幅					厚	重量
1	K-132	石器	縄文時代 前期	Ⅱ区	溝	16層		7.8	4.4	1.4	72.8		粘板岩	弥生中期	250-3
2	K-228	石器	縄文時代 前期	Ⅱ区	溝	15c層		5.1	3.0	1.3	28.3	刃部磨研	粘板岩	弥生中期	250-1
3	K-229	石器	縄文時代 前期	Ⅱ区	溝	15c層		4.8	3.3	1.6	44.0	刃部欠損	玄灰岩	弥生中期	250-4
4	K-166	石器	縄文時代 前期	Ⅱ区	溝	15a層		1.8	2.2	0.3	1.8		砂	弥生中期	250-2
5	K-214	石器	縄文時代 前期	Ⅱ区	溝	15c層	石No.3	6.1	2.0	1.7	30.9	破片	砂質頁岩	弥生中期	253-2
6	K-155	玉器	弥生時代 前期	Ⅱ区	溝	15層	石No.1	2.0	1.0	1.0	3.1	両方向から磨たれている。孔にずれが生じている。孔径0.3cm	磨玉	弥生中期	262-13

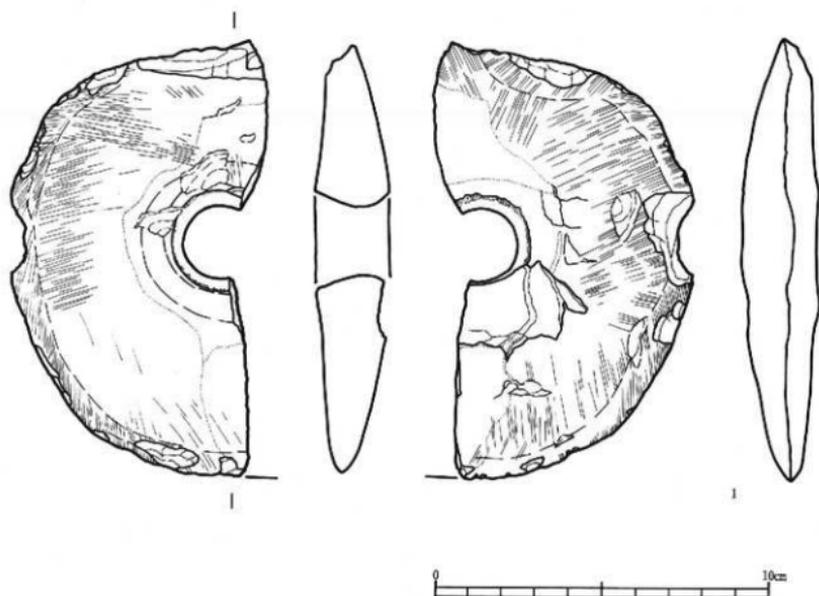
第510図 VII・IX区河川跡15層出土石器20

幅の広い方の先端から約10cmの側面には、1対の凹部があり、これが人為的な挟りであるとする、当該品も骨角器としての位置付けが可能である。

#### ⑥自然遺物

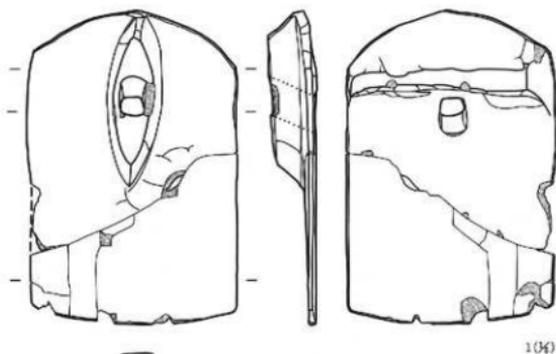
種実・花粉等の植物遺存体や骨角器以外にも動物遺存体については、第7部の自然科学的分析や第8部の考察において取り扱うが、ここではこれらの分析・考察で取り上げられなかったもののうち、人工遺物の可能性のある植物遺存体について報告する。

写真図版352の1～3は、木の樹皮で、年輪と平行幅に1.5～3cm・厚さ1～2mmに割されたもので、薄い帯状になっている。素材は、現在工芸に使用されている板皮と良く似ており、現在でもやや弾力がある。1は螺旋状に巻かれた状態のもので、直径は2.5cmである。幅は中央部で2cm弱、外周部で1cm程である。2は幅が1.5～3cmで、中央部は板状に延びているが、両端部は螺旋状になっている。3は東ねられていたかのように繋がって出土したが、取り上げの際に土圧で折れた部分から壊れている。現在でも各破片は出土時のように輪状に湾曲している。幅は1～2.5cmである。3点以外にも同様の樹皮の破片は数点出土している。これらの樹皮は、幅や厚さが類似し、樹種も同じである事や、他の樹種の樹皮が一定の形態で出土していないことを考慮すると、「紐」として細工に利用するための原材料またはその断片である可能性が高いものと考えられる。

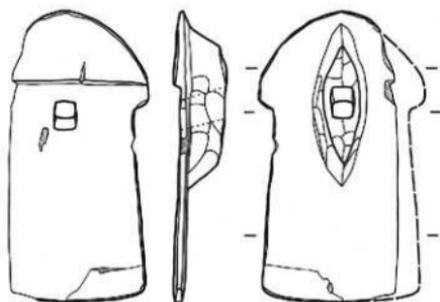
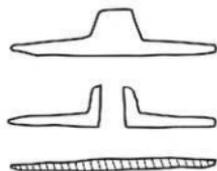


図中 番号	発掘 番号	種類	形態	出土地点			測定			特徴・備考	素材	時期	写真図版	
				地区	遺構	層位	取上番号	全長	幅・径					厚さ
1	長236	石器	螺旋状石片	四原	15c層		13.3	7.7	2.2	258.8	孔距推定約3.6cm	玄武期	弥生中期	253-1

第511図 VII・IX区河川跡15層出土石器21



136)

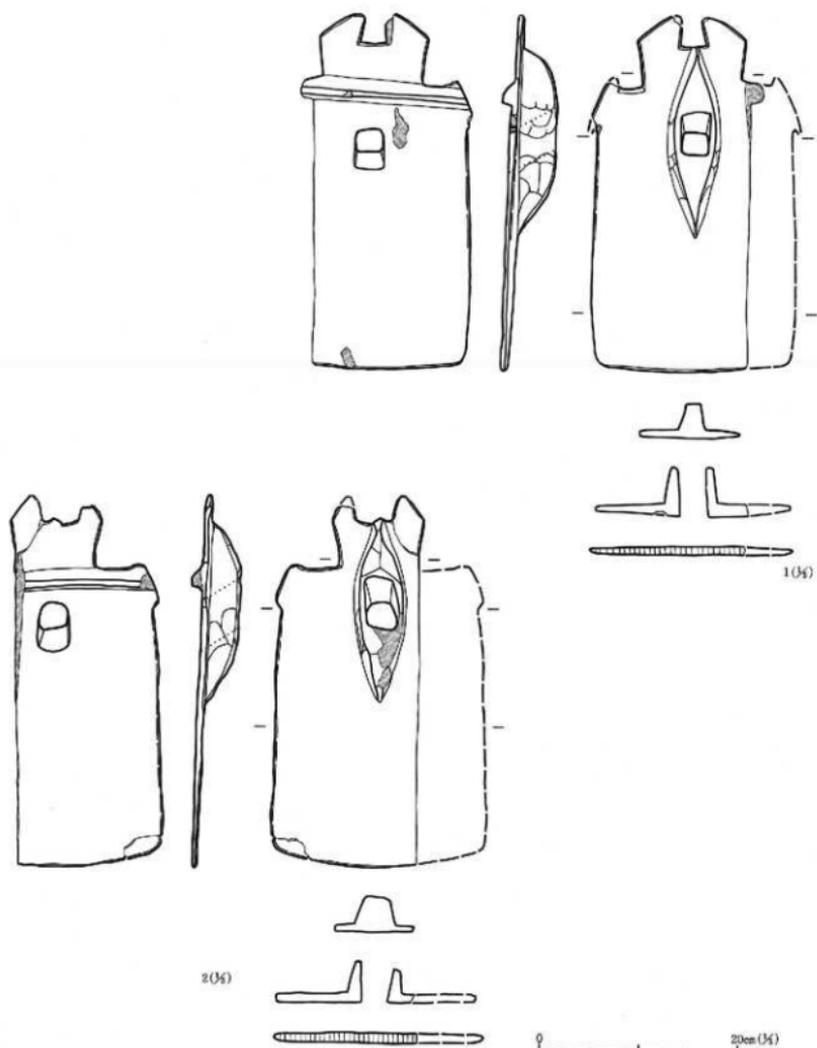


236)



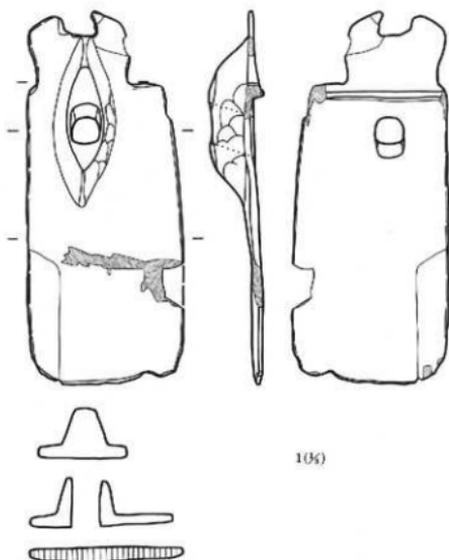
図中 番号	発掘 番号	種別	器種	出 土 区 域	出土層号	取上番号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考										樹 種	木取り	時期	写真図版	
							全 長	最 大 幅	最 大 厚	身 前 幅	身 前 厚	輪 郭 高	内 孔 上 径	内 孔 下 径	備 考						
1	I-943	木製品	漆器類	Ⅱ区 15	15c-4本11c		全 長 32.9	最 大 幅 20.4	最 大 厚 4.9	身 前 幅 20.4	身 前 厚 0.9	輪 郭 高 17.4	内 孔 上 径 3.9×2.7	内 孔 下 径 3.8×2.6			ツタ	榎	目	釘付編	286-1
2	L-1072	木製品	漆器類	Ⅱ区 15c	15c-木49		29.8	13.6	5.2	13.4	1.2	16.6	2.0×2.4	2.8×2.0			ツタ	榎	目	釘付編	286-2

第512図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類1

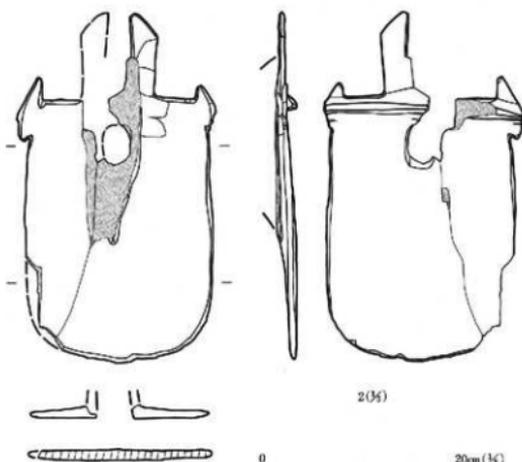


図中 番号	墓 番号	墳 形	形 制	材 質	区 区 名	取上 番号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考							測 量	木 取 り	時 期	写 真 回 数	
							全 長	総 大 径	最 大 径	身 前 幅	身 前 厚	輪 加 幅	柄 ノ コ ノ 長 × 幅 × 厚					柄 ノ 長 × 幅
1	L-1009	木製墳	竪形坑	INCE 15c層	15c木18		36.2	10.6	5.4	15.6	9.8	19.6	3.4×2.2 4.8×3.2	約 62-62		ナカ橋 堀 目	新井田	287-2
2	L-1008	木製墳	竪形坑	INCE 15c層	15c木37		38.0	14.8	5.0	14.8	8.6	18.6	3.2×2.4 5.6×3.2	54-52		ナカ橋 堀 目	新井田	287-1

第513図 VII・I区河川跡15層出土木製品類 2



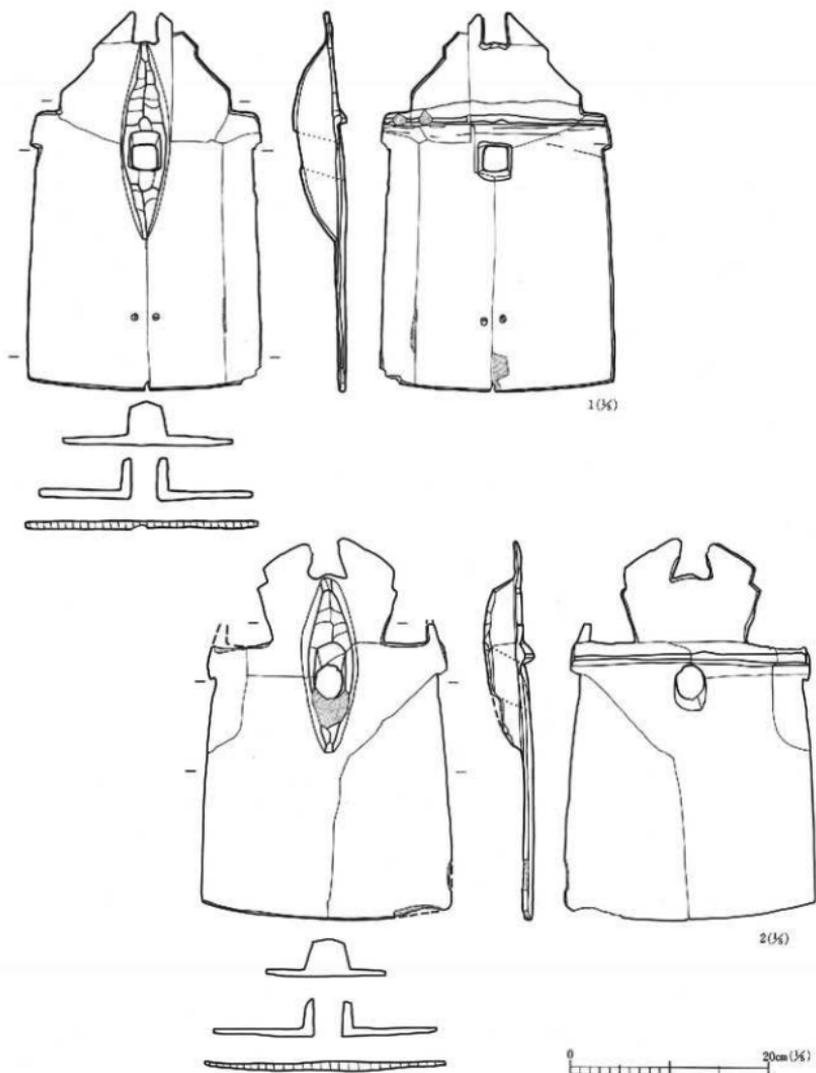
106)



236)

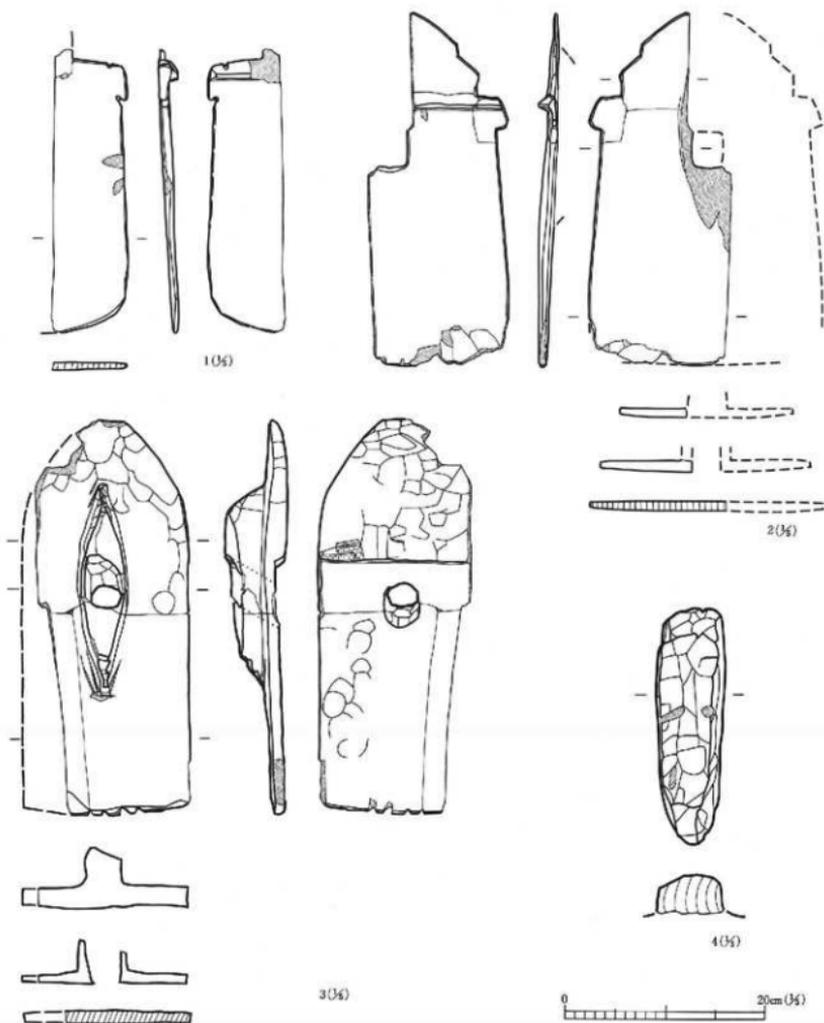
図山 番号	図 番号	種別	物種	通 期	出土 位置	法量・特徴・備考										種類	木取り	時期	写真 図版
						全 長	最大 径	最大 厚	身 幅	身 厚	脚 幅	脚 厚	脚 径	脚 厚	脚 径				
1	L-101	木製品	銅製器	IX世紀 154層	15cA30	32.2	13.2	0.6	15.2	1.2	17.4	4.0×3.0	4.0×2.8			クサキ	榎目	和州期	287-3
2	L-941	木製品	銅製器	IX世紀 15層	15cB33	35.6	23.0	2.0	18.8	0.8						クサキ	榎目	筑前期	286-4

第514図 VIII・IX区河川跡15層出土木製品類3



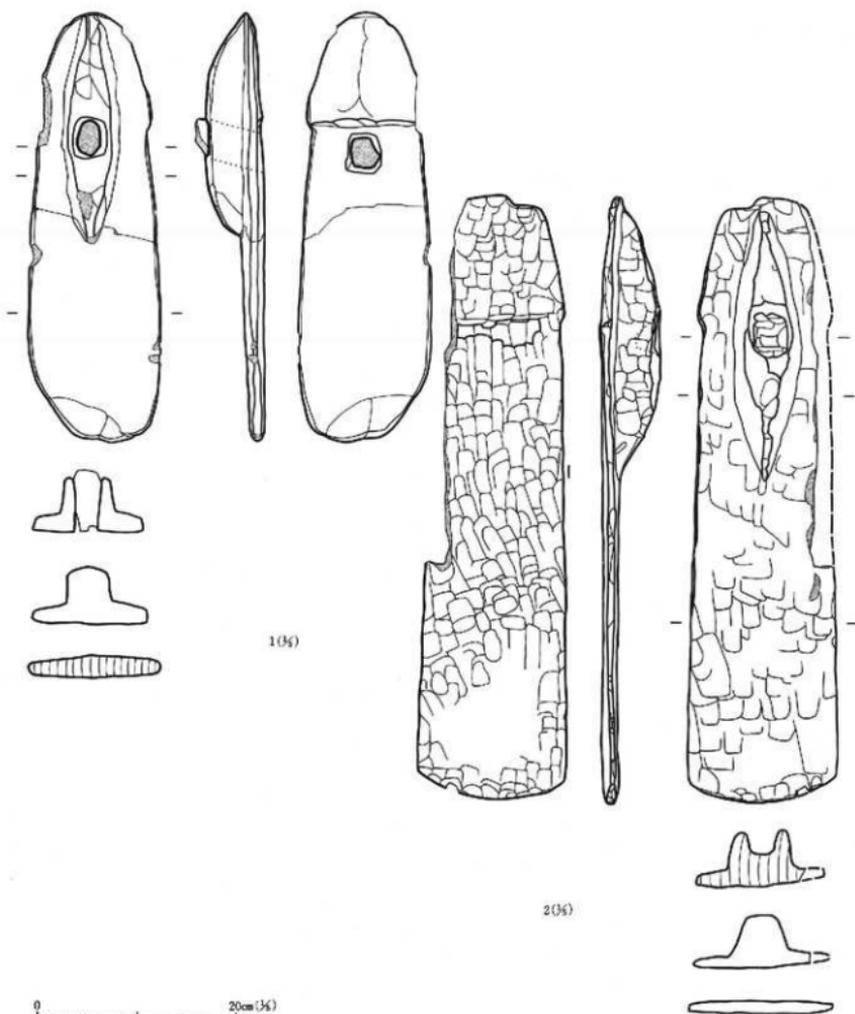
国中 番号	器 番号	器 型	器 種	出 土 区 域	取 上 部 号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考							附 属	木 取 り	時 期	写 真 図 説		
						全 長	最大 幅	最大 深	心 厚 度	身 厚 度	納 孔 幅	納 孔 高					補 修 孔	
1	L-944	木箱	片形	区 15	15c木37	39.2	22.8	5.6	22.8	0.8	20.2	4.0×3.2 3.8×3.2	57-77	補修孔	クヌ	証	日 有	288-1
2	L-945	木箱	片形	区 15	15c木13	38.8	23.6	4.8	23.6	1.0	17.6	5.0×3.2 4.6×3.2	57-68		クヌ	証	日 有	288-3

第515図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類4



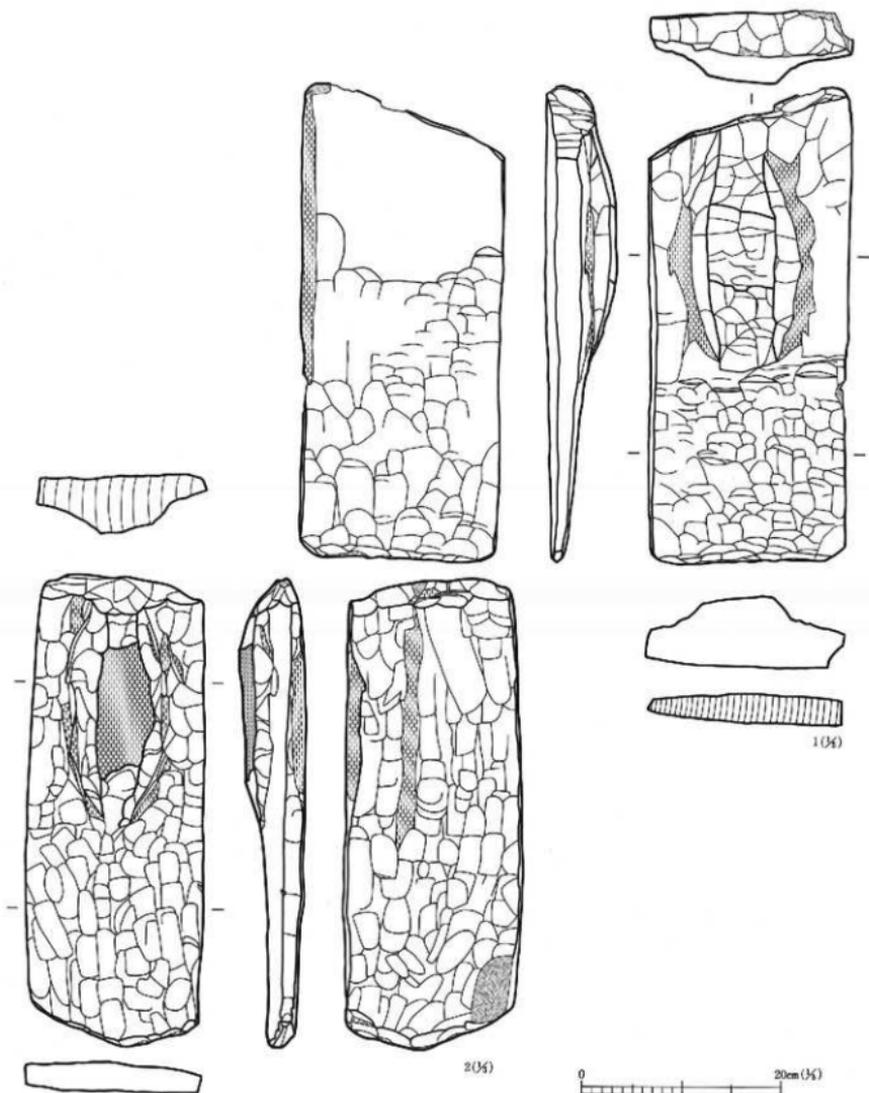
図山 番号	発 掘 層	種 類	材 種	取上番号	出 土 ・ 特 徴 ・ 考 考										樹 種	木取り	時 期	写 真 回 数			
					全 長	最大幅	最大厚	身幅	身厚	端高	端高	内 孔	斜 角								
1	L-109	木製品	杉	EXC15 156層	154木23	28.8	7.6	2.0	7.6	0.6								クマケ	板 目	寺内層	289-2
2	L-942	木製品	桐	EX15 156層	15c-2木22	36.0	13.8	2.0	13.8	1.2								クマケ	板 目	自由村層	287-4
3	L-1073	木製品	桐	EXC15 156層	15a木5	40.4	15.2	6.2	12.6	1.4	21.6	4.8×3.6 4.4×3.4	57°-53°					クマケ	板 目	自由村層	283-2
4	L-1168	木製品	杉	EXC15 156層	15d木57	23.9	7.0	4.0										未製品	板 目	有申層	282-2

第516図 VIII・IX区河川跡15層出土木製品類 5



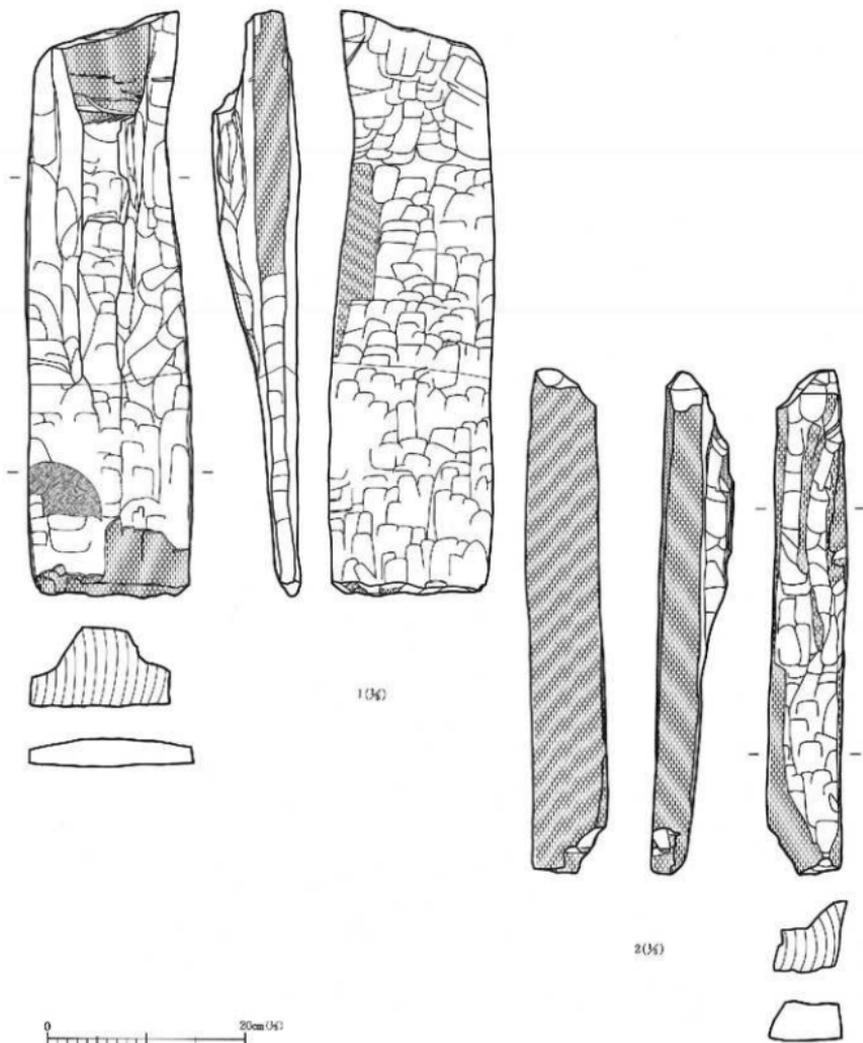
第517图 VII·IX区河川跡15層出土木製品類 6

図号	器種	種別	用途	産地	取上番号	法量・特徴・備考							樹種	採取地	時期	写真回数
						全長	最大径	最大厚	身幅	身厚	脚径	柄径				
1	L-946	木製品	調理用	Ⅱc	1と14	44.0	13.2	6.0	13.2	1.6	23.2	3.0×2.3 4.0×3.2	杉	クマケ	笹目	283-4
2	L-1124	木製品	調理用	Ⅱc	1と15	62.0	14.6	5.6	14.6	1.6	27.6	4.0×3.4	米製品	クマケ	笹目	282-4



国中 番号	発 掘 番 号	種 別	材 種	用 途	区 区 名	取 上 番 号	注 意 特 徴 考										密 着	木 取 り	経 路	写 真 図 数
1	L-961	木製品	榿	区 区 名	15c木8	全 長 48.4	最大幅 20.6	最大厚 7.2	身部幅 20.6	身部厚 1.8	底辺厚	側 孔	側 溝	未製品	ナメ	鉋	目	透切	281-4	
2	L-1076	木製品	榿	区 区 名	15c木42	48.0	18.8	6.4	18.0	2.8				未製品	ナメ	鉋	目	透切	281-3	

第518図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類7

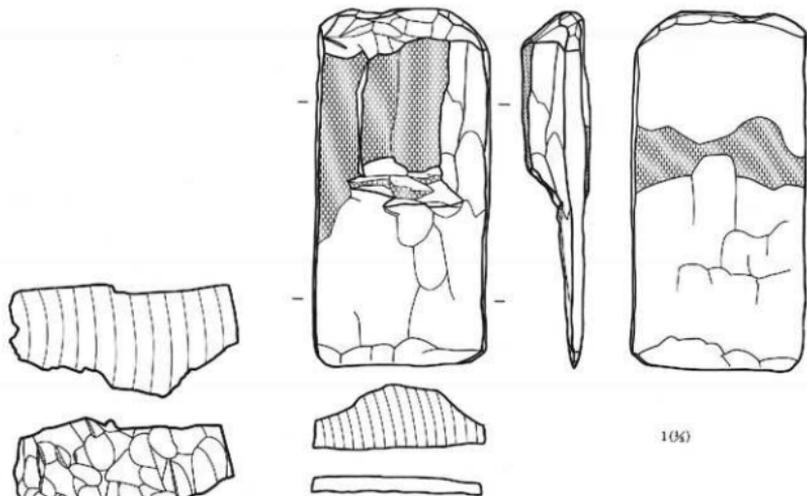


134)

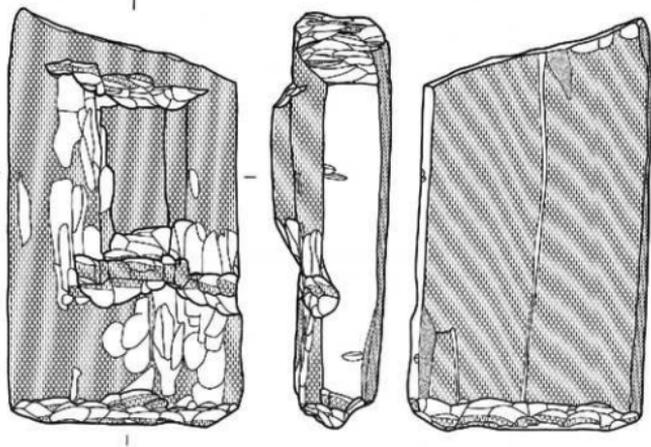
2(3)

図中 番号	番号	種別	部類	遺 址 区 位	取上番号	全 長	最大幅	最大厚	身幅	身厚	取厚	側孔	柄	列	未製品	埋 藏	木取り	時 期	写 真 図 版	
1	L-1074	木製品	漆器類	IX区 15c層	15c木46	60.0	16.6	8.6	18.5	2.6					未製品	IX区 15c層	榎	目	保内期	280-3
2	L-1118	木製品	漆器類	IX区 15c層	15c木29	51.6	7.4	7.2							未製品	IX区 15c層	榎	目	保内期	281-2

第519図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類 8



106

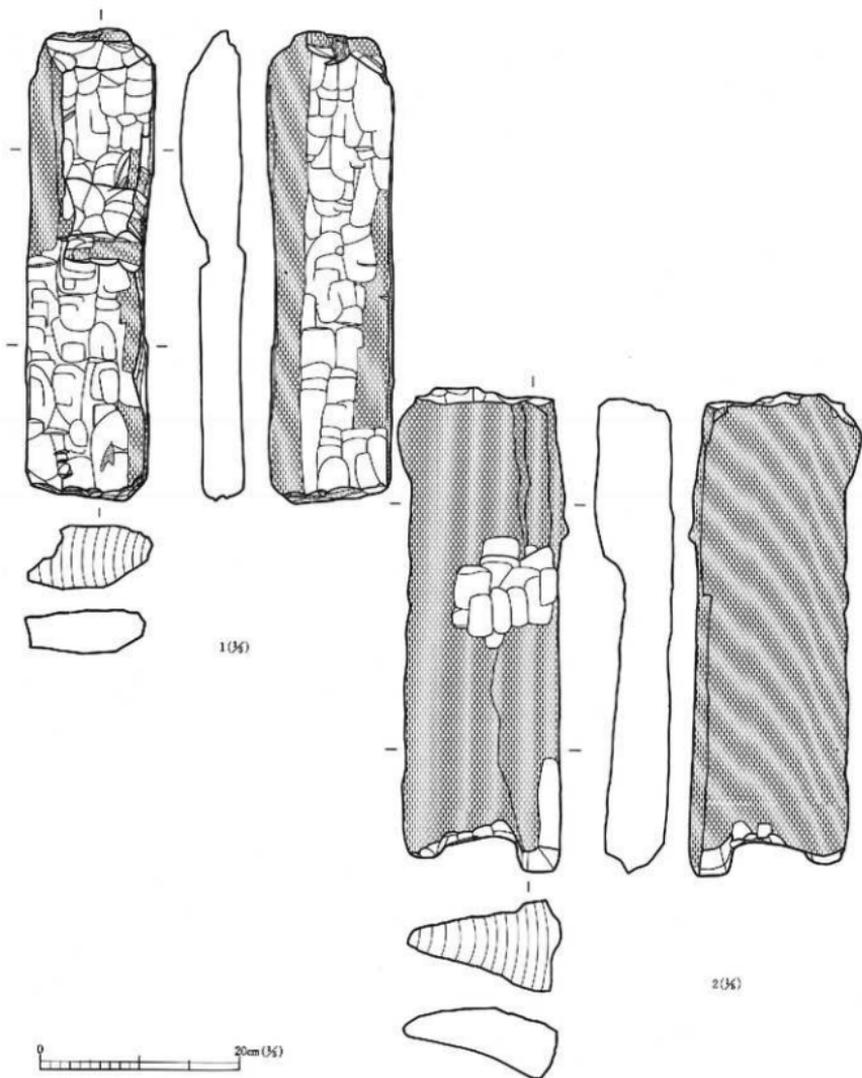


206



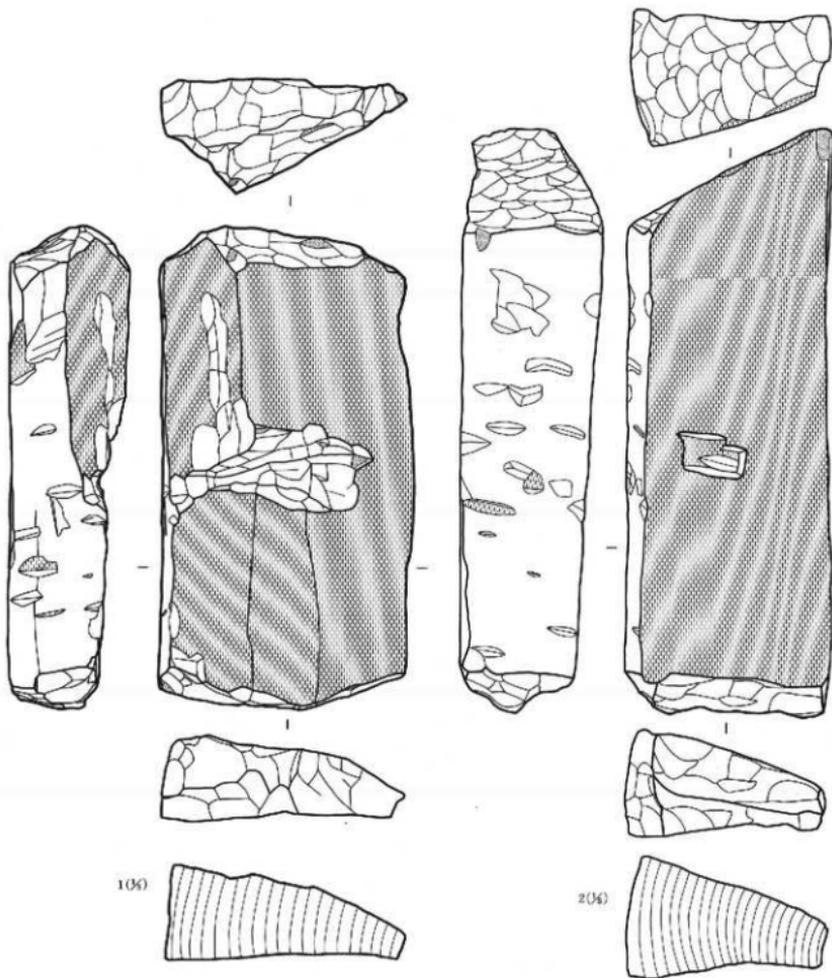
図中 番号	品名	種別	器種	用途 区分	取上場所	法量・特徴・備考										産地	未取引	時期	写真図版	
						全長	最大幅	最大厚	身厚幅	厚削厚	幅削厚	柄孔	柄角	未製品						
1	L-947	木製品	割物盤	埋 15 区 25	15c-1米15	36.2	17.4	6.8	17.4	1.4						未製品	夕34管	柱目	米中層	280-2
2	L-1126	木製品	割物盤	埋 15 区 25	15c米9	42.8	22.6	12.0	22.6	8.4	18.8					未製品	夕34管	柱目	米中層	280-1

第520図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類9



区画番号	遺物番号	種類	部類	地層区画	取上番号	測定・特徴・備考								縦横	木収り	時期	写真図版		
						全長	最大幅	最大厚	身付幅	厚底厚	幅配厚	柄孔	折角					未製品	
1	L-1075	木製品	副埋物	IXd区15d層	15d木31	48.2	12.6	6.9	12.6	4.0					未製品	2×40	任意	取付簡	281-1
2	L-1185	木製品	副埋物	IXd区15d層	15dH62	49.4	17.2	9.2							未製品	2×40	1.0:縦	別付簡	279-3

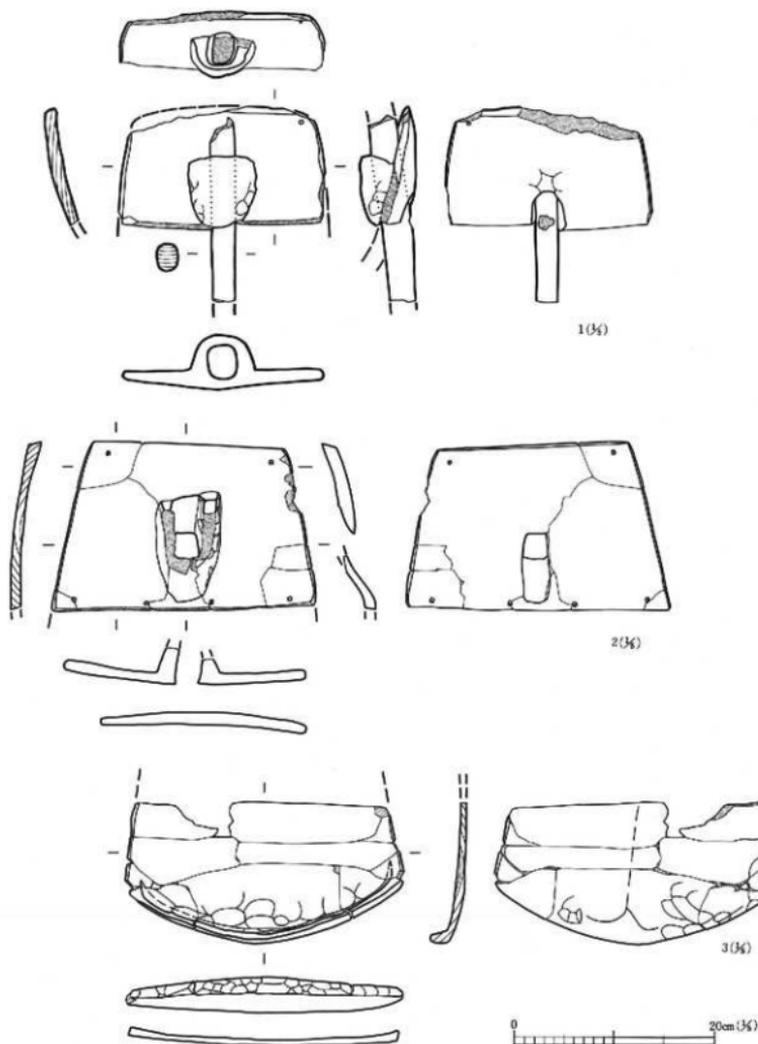
第521図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類10



品目 番号	分類	種別	用途	形状	取上部位	測定・特徴・備考										樹種	木取り 時期	時期	写真図版	
						全長	最大幅	最大厚	身幅	身厚	距底厚	新孔	角	木製品						
1	L-979	木製品	漆師職	楕圓形	15 段	取上部分	49.6	24.8	11.6								杉材	1650	室町時代	279-2
2	L-1008	木製品	漆師職	楕圓形	15 段	11c~11d部	59.6	30.6	14.0								杉材	1650	室町時代	279-1

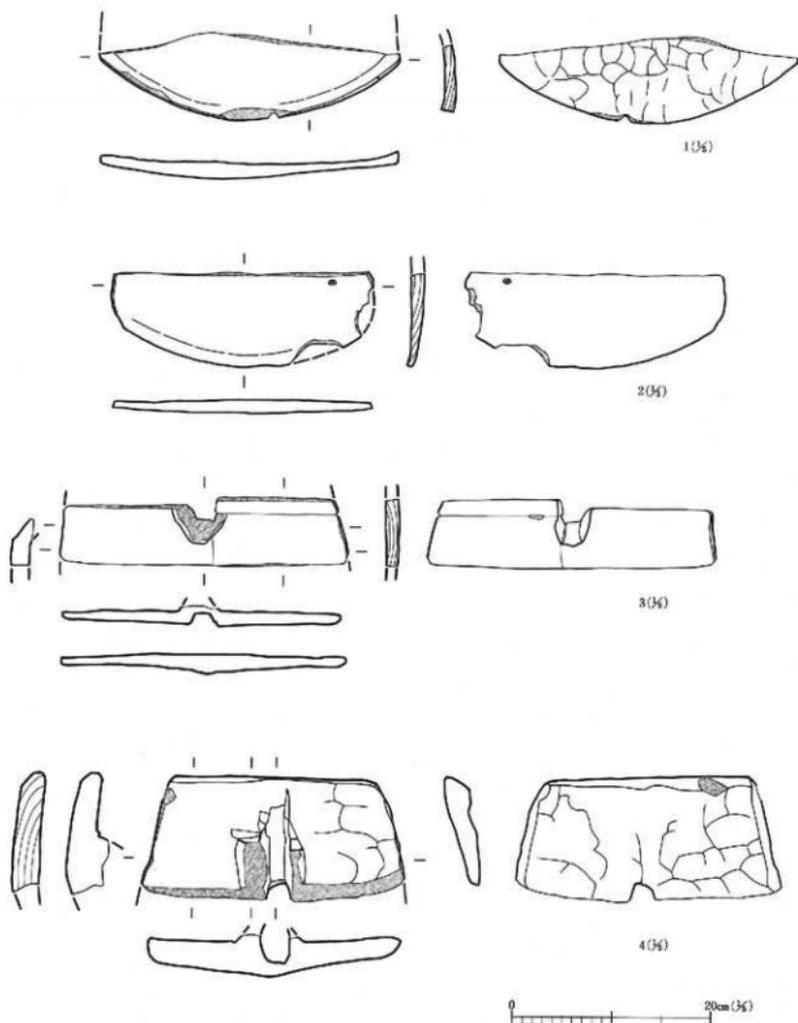
第522図 VIII・IX区河川跡15層出土木製品類11





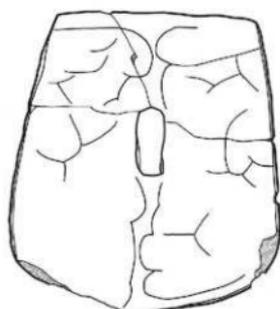
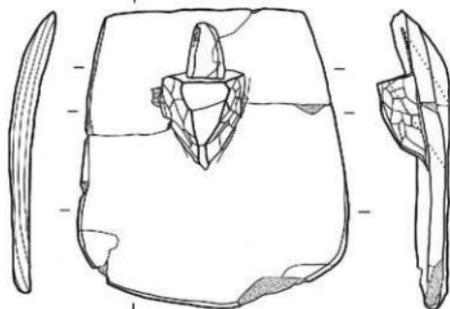
出土 層号	登録 番号	類別	形制	透 属	取上番号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考								製 材	木 取 方	時 期	写 真 附 属
1	L-1079	木製品	匙 匙	XXIX 15層	15c木45	全 長 12.4	身 部 長 29.9	身 部 厚 1.0	握 部 長 14.9	握 部 厚 1.2	握 部 底 7.2	柄 孔 3.2×2.8	握 部 底 16.2	ク リ	板目材	古墳期	296-5
2	L-940	木製品	花 形	IX 15層	15c木47	17.4	26.6	1.2	19.4	1.2	11.8	3.8×2.4	16.2	ク リ	板目材	古墳期	296-4
3	L-939	木製品	匙 匙	IX 15層	15木2	14.8	27.6	0.8						ク リ	板目材	古墳期	297-1

第524図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類13

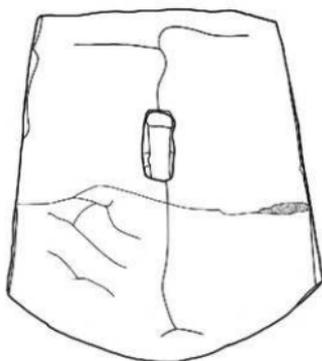
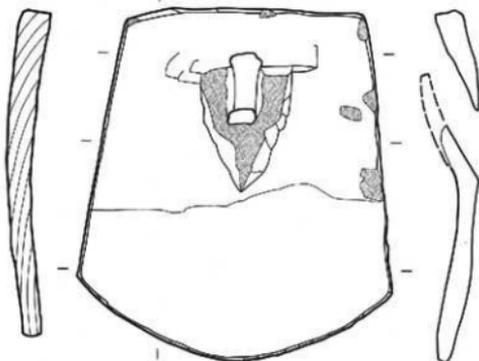
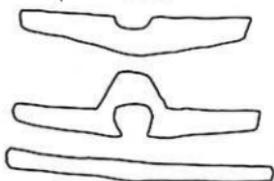


発掘 番号	登録 番号	種別	材質	用途	出 土 区 域	取上番号	計 測 ・ 特 徴 ・ 備 考								縦 横	未取り	研 磨	写真掲載	
							全 高	全 長	身 幅	口 幅	口 厚	口 底 厚	口 底 径	側 孔					底 孔
1	L-949	木製鉢	漆 塗	器 皿	IX区 15層	15c木9	全 高 8.8	全 長 29.6	身 幅 1.6							タリ	埋藏木	須田洋史	297-2
2	L-950	木製盆	漆 塗	器 皿	IX区 15層	15c木24	9.6	26.2	1.6							タリ	埋藏木	須田洋史	297-3
3	L-1089	木製盆	泥 塗	器 皿	IX区 15c層	15c木19	7.0	29.0	1.8							タリ	埋藏木	須田洋史	297-5
4	L-1078	木製鉢	刷 漆	器 皿	IX区 15a層	15a木6	12.6	26.2		21.8	2.2					タリ	埋藏木	須田洋史	297-4

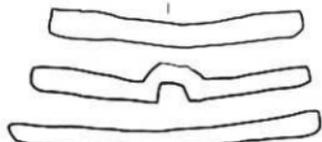
第525図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類14



1(36)

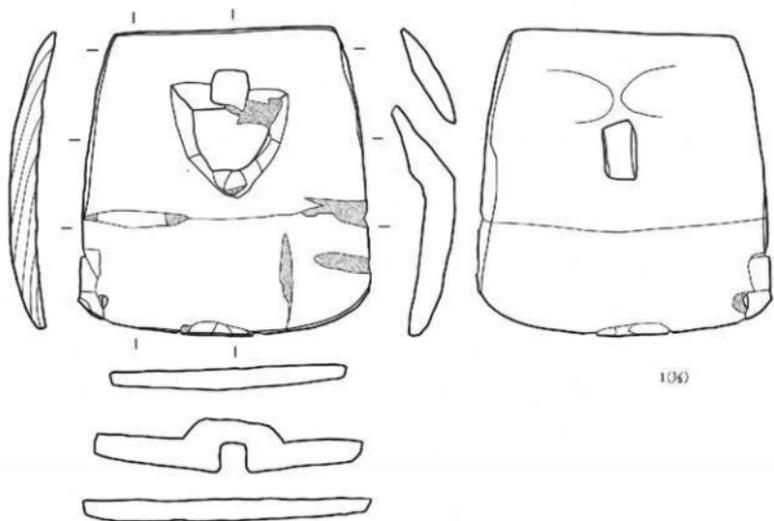


2(36)

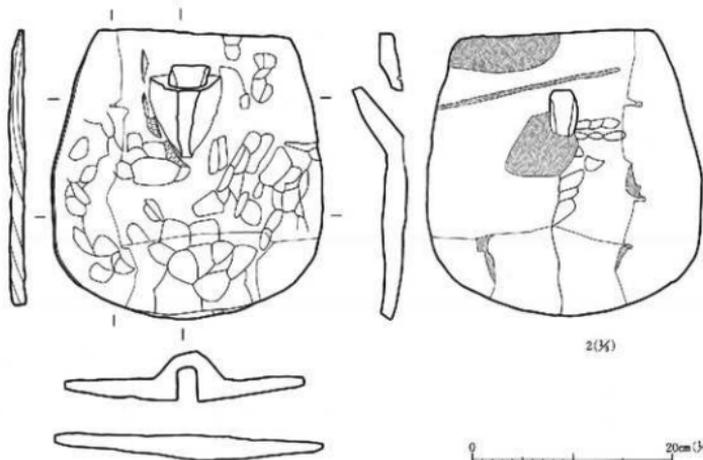


国中 遺跡	発掘 番号	類別	用途	器種 分類	出土層 区画	取上番号	測定・特徴・備考						樹種	木取の 時期	写真図版		
							全長	孔径	孔径厚	孔径	孔径	孔径					
1	L-973	木製品	器蓋	木製品	15c木7		30.6	26.8	1.8	20.2	1.8	10.2	3.8×2.8	未製品	タリ	新石器	295-2
2	L-1892	木製品	器蓋	木製品	15a木4		36.9	31.4	2.9	24.0	2.6	12.8	3.2×1.9	未製品	タリ	新石器	294-3

第526図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類15



106)

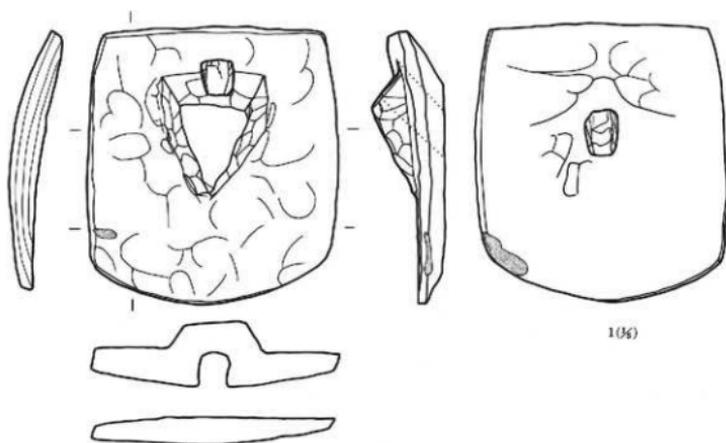


236)

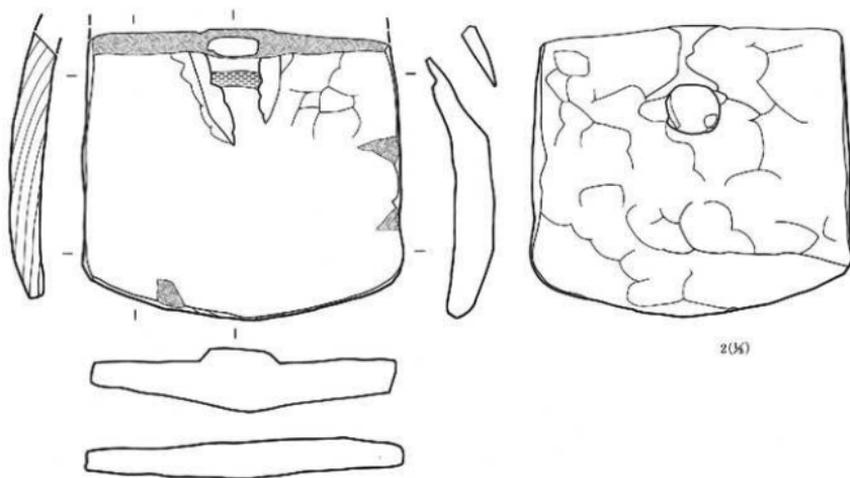
0 20cm (36)

区山 番号	登録 番号	種類	器種	地区 位置	次上番号	器量・特徴・備考								樹種	水取り	時期	写真版 掲載
						全長	肩部幅	身体幅	胴部幅	胴部厚	底径厚	内径	総孔径				
1	L-972	木製品	甕	Ⅷ区 15層	15c木11	31.2	29.8	2.9	22.4	2.2	11.8	1.0×2.4	米製品	ク	縄文時代	294-1	
2	L-107	木製品	甕	Ⅷ区 15層	15c木17	29.2	27.2	1.4	19.8	1.6	8.4	2.2×1.8	米製品	ク	縄文時代	296-3	

第527図 Ⅷ・Ⅸ区河川跡15層出土木製品類16



136)

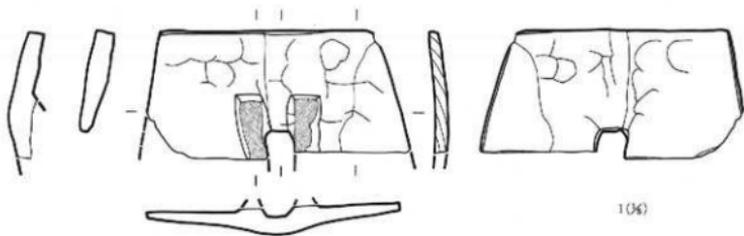


236)

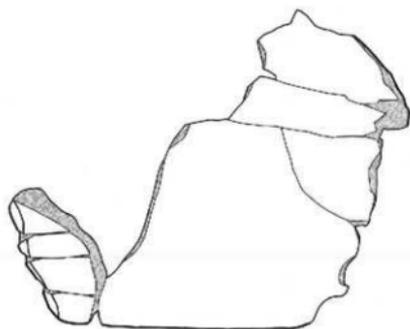


国中 番号	番号	種類	器種	透層 層位	区画 番号	取上番号	法量・特徴・備考							窯爐	木灰口	時期	写真図版	
							全長	口径	身径	底径	胎厚	取厚	取径					取孔
1	L-974	木製品	形跡	15	15	15d木23	29.4	24.8	2.2	22.0	1.8	13.8	3.6x2.3	取孔深	未製品	タリ	新渡戸	294-2
2	L-186	木製品	形跡	15d	15d	15cA58	29.8	32.9	2.8			3.4x4.8		未製品	タリ	新渡戸	295-1	

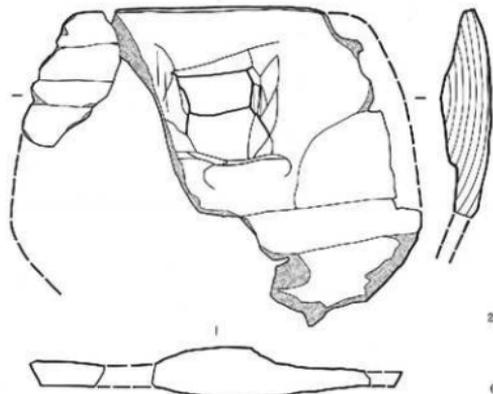
第528図 VII - Ⅰ区河川跡15層出土木製品類17



1(36)



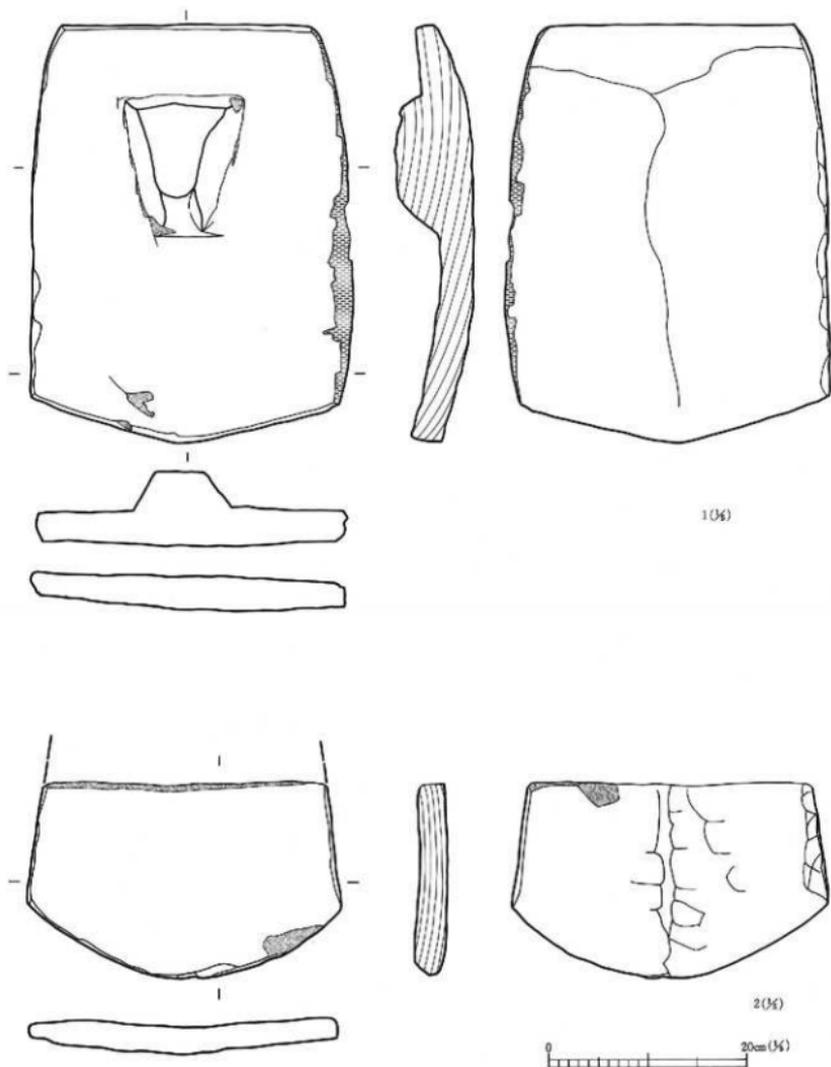
2(36)



0 20cm (3/4)

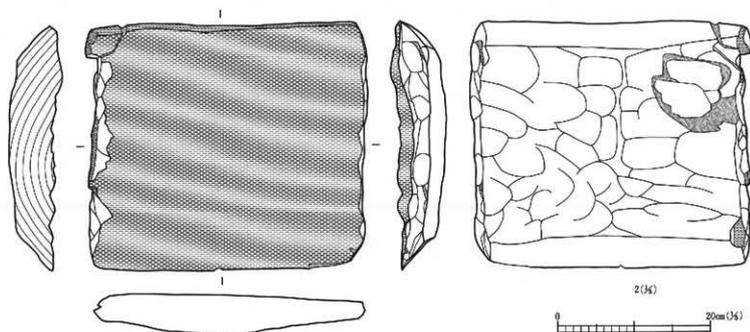
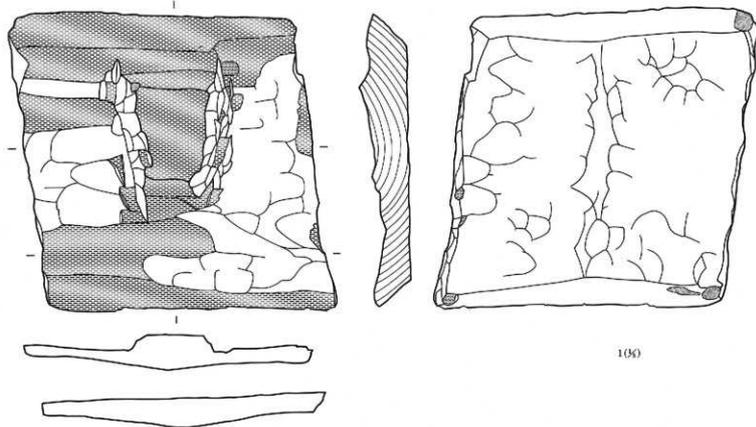
国中 番号	発 掘 場 所	種 別	器 種	形 式	区 区	次上番号	注 記 ・ 特 徴 ・ 備 考										標 本	木取り 時期	写真図版
							全 長	身 部 長	身 部 厚	握 部 長	握 部 厚	握 部 幅	握 部 深	握 部 底	割 孔	底 子 調			
1	L-1081	木製品	柄 鐙	15c木25	15c木25	15c木25	全 長 13.2	身 部 長 5.4	身 部 厚 2.6	握 部 長 21.4	握 部 厚 1.9					未製品	ク リ	縄 文 期	296-1
2	T-971	木製品	柄 鐙	15c木25	15c木25	15c木25	全 長 32.0	身 部 長 36.0	身 部 厚 5.2							未製品	ク リ	縄 文 期	293-3

第529図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類18



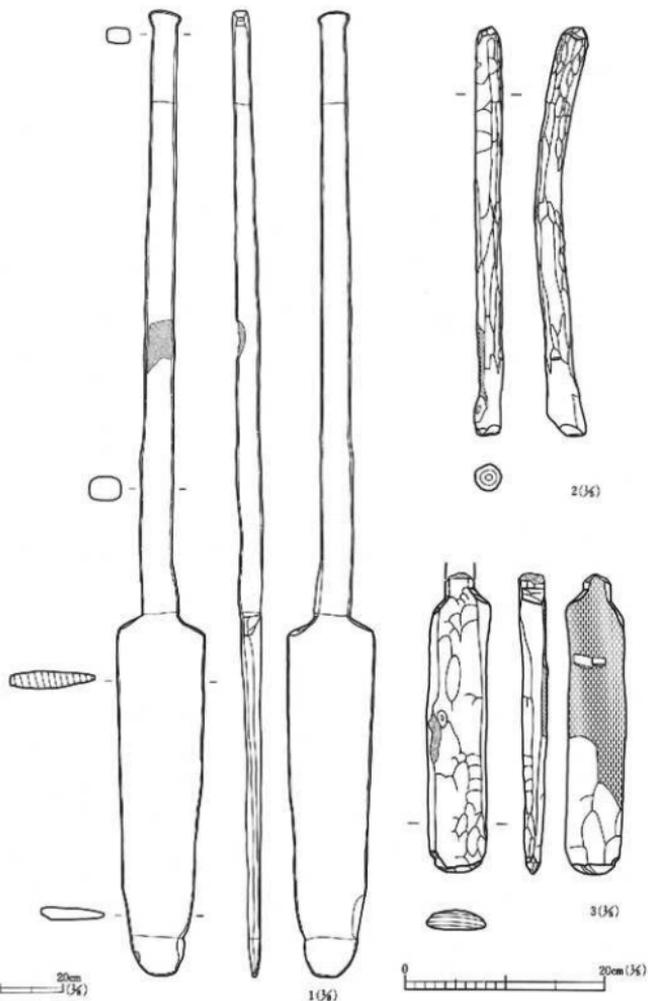
図中 番号	発掘 番号	種類	器種	出土 位置	取上番号	測定・特徴・備考						樹種	未取〇	時期	写真図版		
						全長	孔径幅	孔径厚	開口幅	開口厚	底径厚					釘孔	紐孔間
1	L-1038	木製品	瓦跡	IVD区 15c層	15c本-6	42.4	32.4	3.0	開口幅 25.0	開口厚 2.2	底径厚 14.4			木製品	ク	縄跡本 穴付層	292-1
2	L-1128	木製品	瓦跡	IVC区 15c層	15c本-3	19.2	31.2	2.8						木製品	ク	瓦跡本 穴付層	297-7

第530図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類19



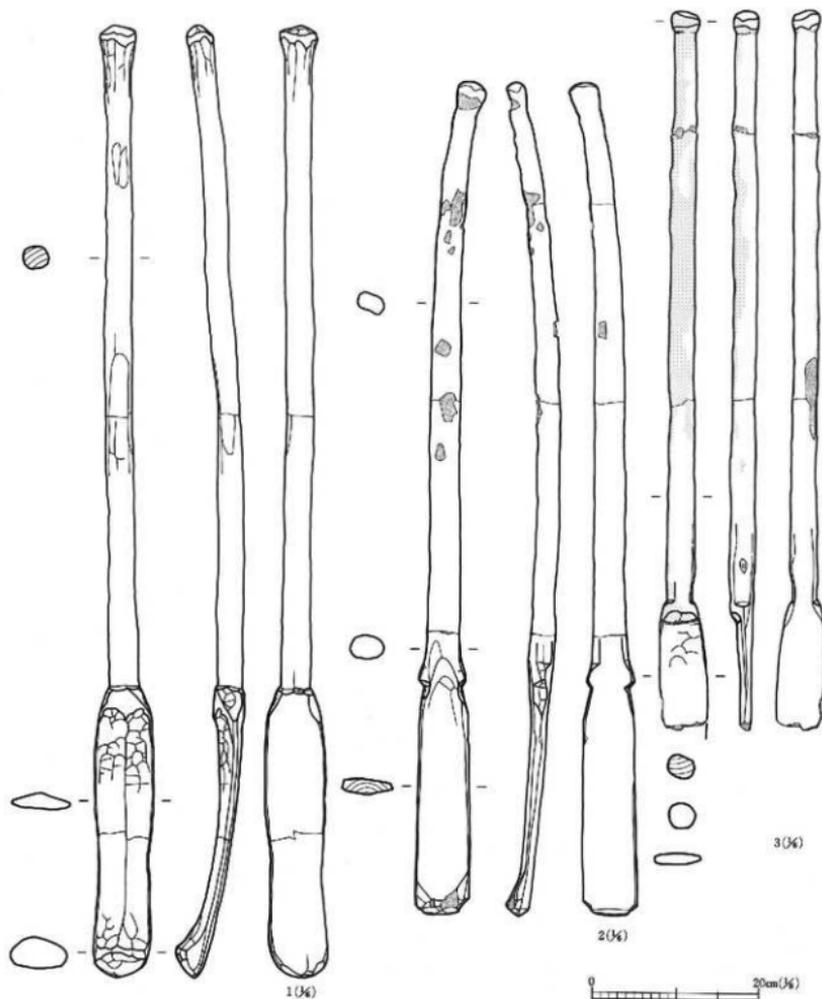
図号	番号	種別	遺物	出土層中	度量・特徴・備考							材質	木部寸	計測	写真記録					
					全長	幅	厚	重量	表面	裏面	形状					その他				
1	L-1084	木製品	板	IV区 15c層	15c-41	全長 28.3	幅 28.0	厚 0.4							木製品	少	9	板跡	板付板	291-2
2	L-973	木製品	板	跡	15c-1	32.4	26.4	6.0							木製品	少	9	板跡	板付板	290-1

第531図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類20



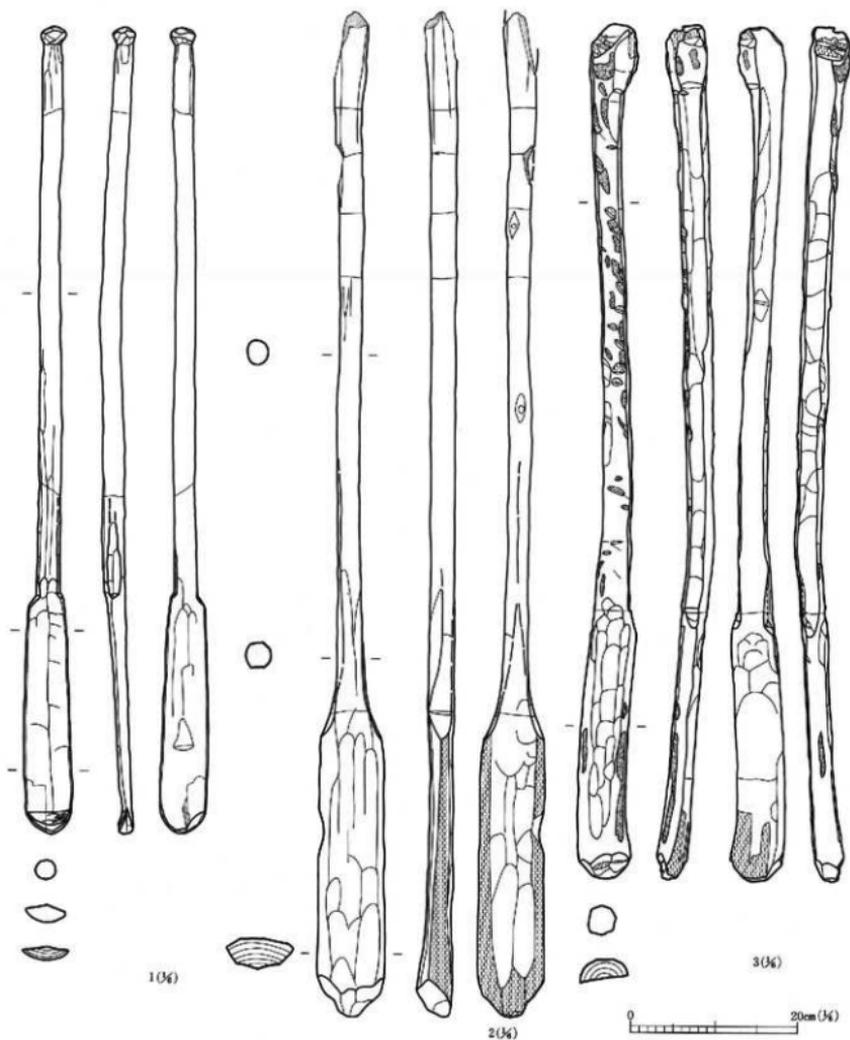
品目 番号	分類 番号	種別	用途 区分	取上場所	品目・特徴・備考								樹種	木取り 時期	写真図版			
					全長	身部長	身厚	柄部長	柄径	握部径	握部厚	握部幅						
1	L-110	木製品	一般用	DCC 15d層	15d木38	155.4	58.6	14.0	1.6	97.4	4.8×3.8	2.8	5.0	クスノキ	証目	須田山	298-1	
2	L-108	木製品	農具用	DDG 15c層	15c木32	全長 41.8	柄径 2.6							クスノキ	志持丸	須田山	298-2	
3	L-120	木製品	籠り棒	DXB 15d層	15d木38	全長 20.6	身部長 29.0	身厚 5.6	柄径 1.8	柄径長 1.6	先端径 2.8	先端幅 5.6	1.6	未製品	クスノキ	板目	須田山	298-3

第532図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類21



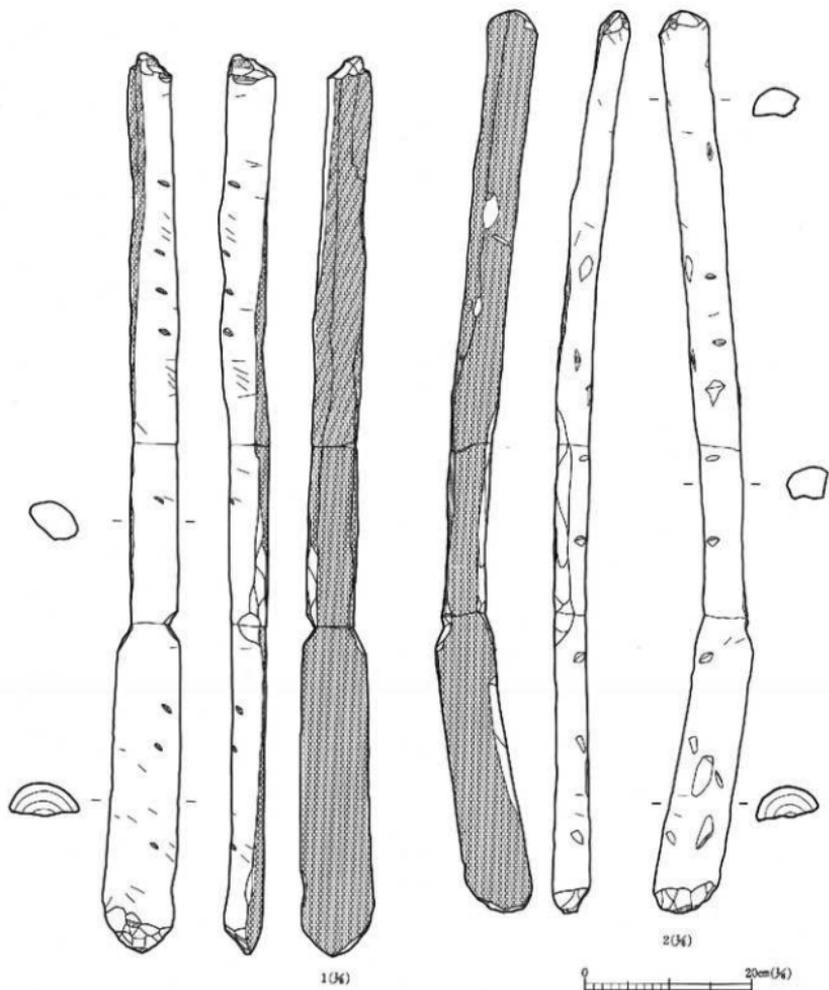
図中 番号	遺 号	種 別	器 種	編 年 区 画	出土層号	注 記・特 徴・備 考							樹 種	木取り	時 期	写真図版		
1	L-982	木製品	打棒	Ⅱc	15c-821	全長 116.6	身幅 25.6	身幅幅 7.1	身幅厚 2.0	柄幅長 81.0	柄幅厚 3.0	先端山 6.6	先端幅 4.0		クスノキ	芯無	弥生前期	302-4
2	L-983	木製品	打棒	Ⅱc	15c-826	102.0	28.0	6.4	1.6	74.0	3.8×2.8	6.6	2.8		クスノキ	芯無	弥生前期	303-1
3	L-984	木製品	打棒	Ⅱc	15c-1201	88.0	15.8	5.8	1.8	72.2	3.2			楡	クスノキ	芯無	弥生前期	302-2

第533図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類22



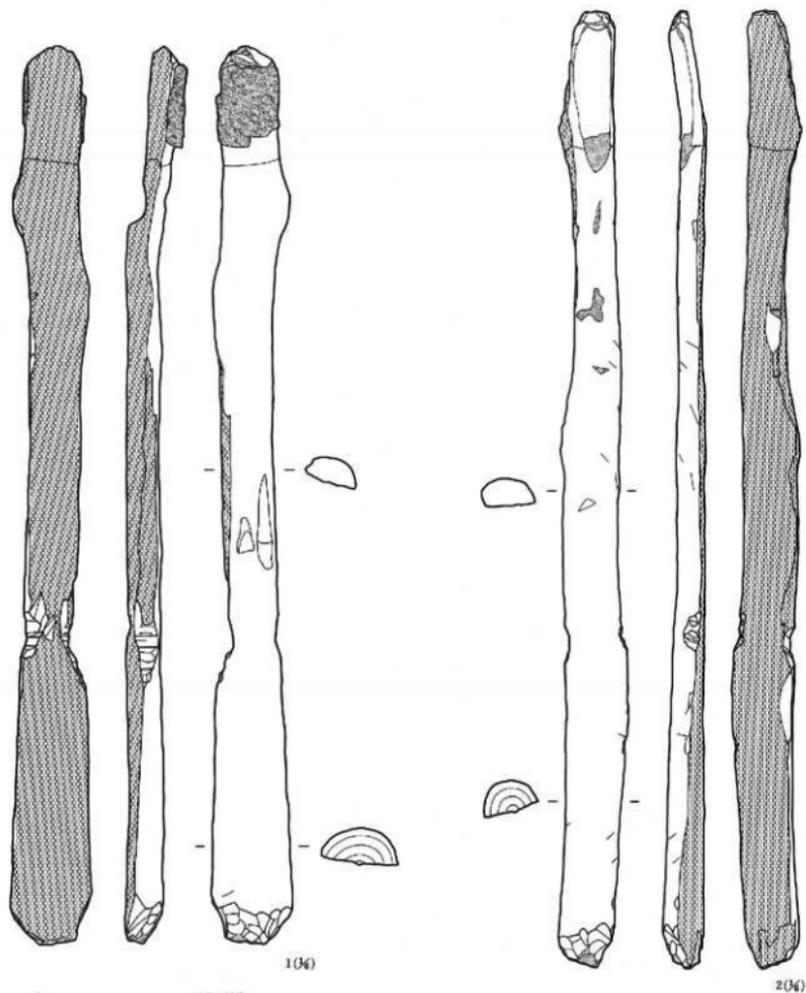
図中番号	発掘番号	類別	器名	用途	取上姿勢	測量・特徴・備考								素材	木取り	時期	写真図版	
1	L-1123	木製品	打棒	330C 15c層	15c木39	全長 99.4	身部長 29.6	身部幅 5.8	身部厚 2.2	柄部長 69.4	柄部幅 2.6	先端径 5.4	先端厚 1.8		コナツ材	芯 髄	羽付根	303-2
2	L-1086	木製品	打棒	330C 15d層	15d木36	123.0	37.0	7.8	2.8	86.0	2.8	8.0	4.2	木製品	クス材	芯 髄	羽付根	302-3
3	L-1106	木製品	打棒	330C 15d層	15d木40	104.8	33.0	5.6	2.8	71.8	3.4	6.4	3.6	木製品 断面は、断面付 根皮部を削	クス材	半取丸	羽付根	302-1

第534図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類23



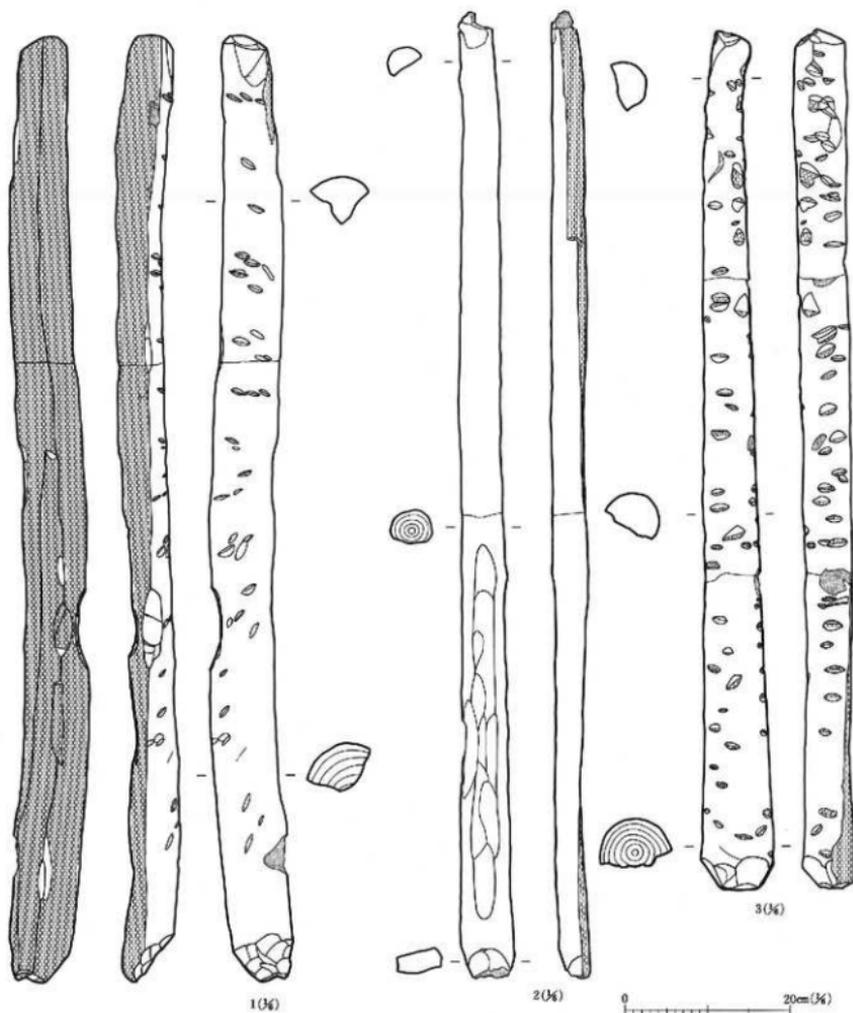
図中 番号	登録 番号	種別	副種	漆層 区分	取上番号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考								産 地	木取り 時期	写真図版		
						全 長	身幅高	身幅底	身幅厚	刺距長	刺距径	糸端全	糸端厚				糸製法、編み刺す法	クマノ節
1	L-1097	木製品	打棒	XXXX 15c層	15cK43	119.8	40.2	8.4	3.8	70.0	2.8×4.6	8.5	4.4	糸製法、編み刺す法	クマノ節	平截法	別冊順	300-2
2	L-1119	木製品	打棒	XXXX 15c層	15cK10	110.6	36.6	7.4	4.0	74.0	5.2×4.0			糸製法、編み刺す法	クマノ節	平截法	別冊順	301-1

第535図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類24



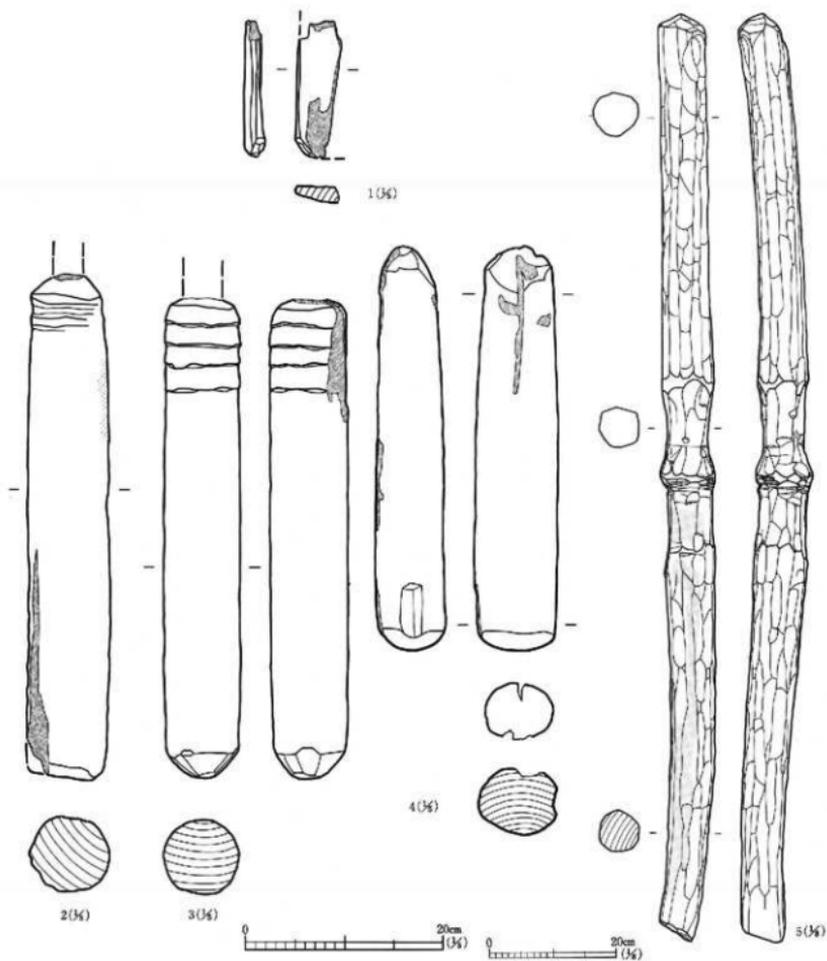
国中 番号	区 番号	種 別	器 類	遺 跡	取 付	測 量 - 特 徴 - 備 考								規 模	本 次 9	時 期	写 真 図 庫	
						取 上 部 号	全 長	身 部 長	身 部 幅	身 部 厚	柄 部 長	柄 部 幅	先 端 口					先 端 厚
1	L-113	木製品	打棒	KXIC 15c層	15dH44	全長 109.8	身部長 36.4	身部幅 9.5	身部厚 4.2	柄部長 72.4	柄部幅 6.4×4.6	先端口 9.0	先端厚 4.4	未製品。樹皮付	ナメ樹	手取丸	物付層	299-1
2	L-112	木製品	打棒	OXC 15c層	15cH9	117.6	40.4	7.8	4.6	76.6	6.6×3.4	6.2	4.6	未製品	ナメ樹	手取丸	別付層	299-3

第536図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類25



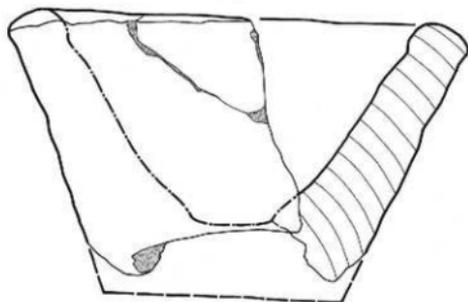
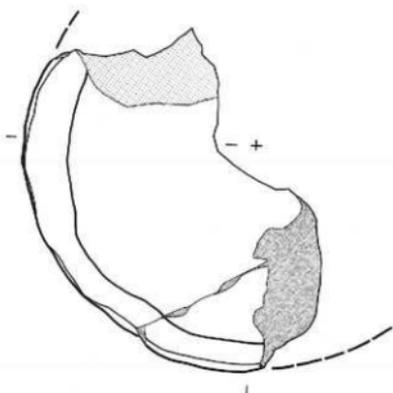
国中 番号	区 番号	種 別	部 類	形 態	取 出 区 位	出土番号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考						素 地	本取り	時 期	写真図版			
1	L-1120	木製品	打 鉢	ACCS 15c	IX区	15c材19	全 長 116.0	身幅長 41.2	身幅幅 7.8	身幅厚 3.5	刺張り長 74.0	刺張り厚 7.6×3.5	丸線印	丸線印	未製品、漆皮剥ぎ残	クヌケ	ミナト朝	須賀野	299-2
2	L-1108	木製品	打 鉢	ACCS 15c	IX区	15c材27	118.8	6.4	4.2					未製品	クヌケ	平鏡丸	須賀野	298-5	
3	L-954	木製品	打 鉢	ACCS 15c	IX区	15c 18c29	105.2	9.0	6.0					未製品、漆皮剥ぎ残	クヌケ	平鏡丸	須賀野	298-4	

第537図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類26

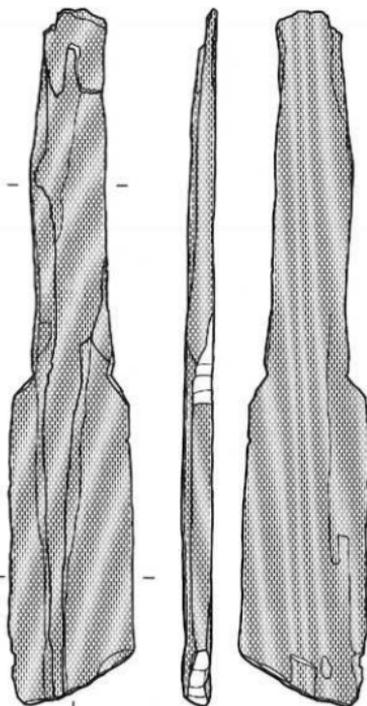


図山 番号	器名	材質	種類	出土 位置	出土層号	測量・特徴・備考						樹種	木取り	時期	写真図版		
						全長	身部長	身幅	身厚	柄部長	柄厚					先端径	先端厚
1	L-1138	木製品	打棒?	DCHC 15c層	15c-材7	13.9	身部長 5.4	身幅 4.4	身厚 1.6	柄部長	柄厚	先端径 3.4	先端厚 2.0	クスノキ	木取り	後白銅	304-3
2	L-1098	木製品	簪	DTRG 15c層	15c-830	52.0	身部長 52.0	身幅 7.6	身厚 7.8					クスノキ	芯丸丸	後白銅	305-2
3	L-1088	木製品	簪	DCHC 15c層	15c-113	49.0	身部長 49.0	身幅 7.6	身厚 7.8					クスノキ	芯丸丸	後白銅	305-1
4	L-962	木製品	簪	層15 15c層	15c-229	41.6	身部長 41.6	身幅 8.0	身厚 7.0					クスノキ	芯丸丸	後白銅	304-4
5	L-1128	木製品	簪	DDG 15c層	15c-44	131.6	身部長 64.2	身幅 61.8	身厚 7.4	23.4	6.8	未測定	測定	クスノキ	芯丸	後白銅	303-3

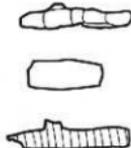
第538図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類27



106)



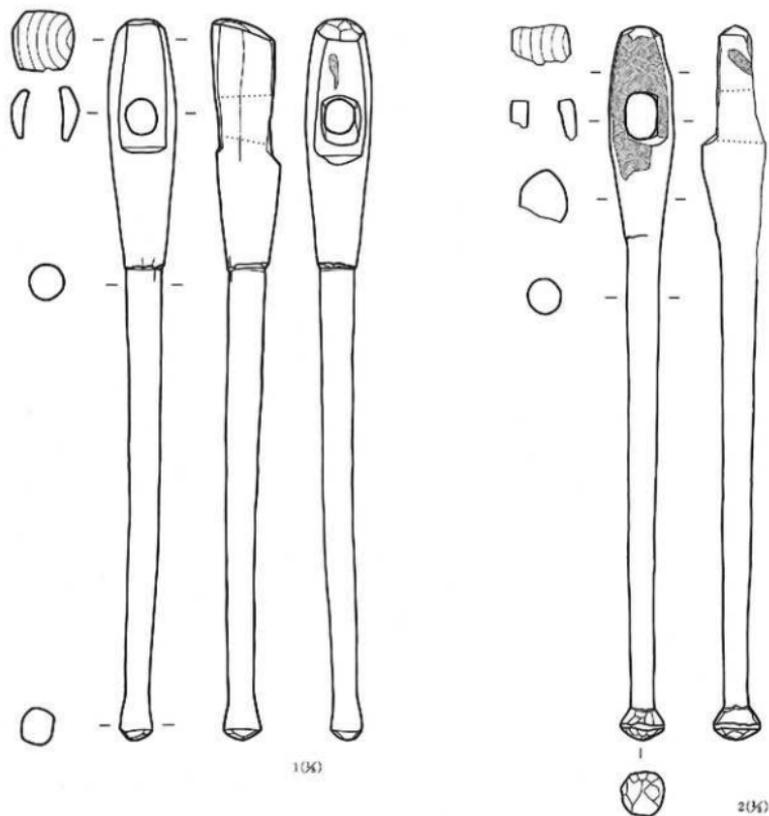
2(36)



0 20cm (36)

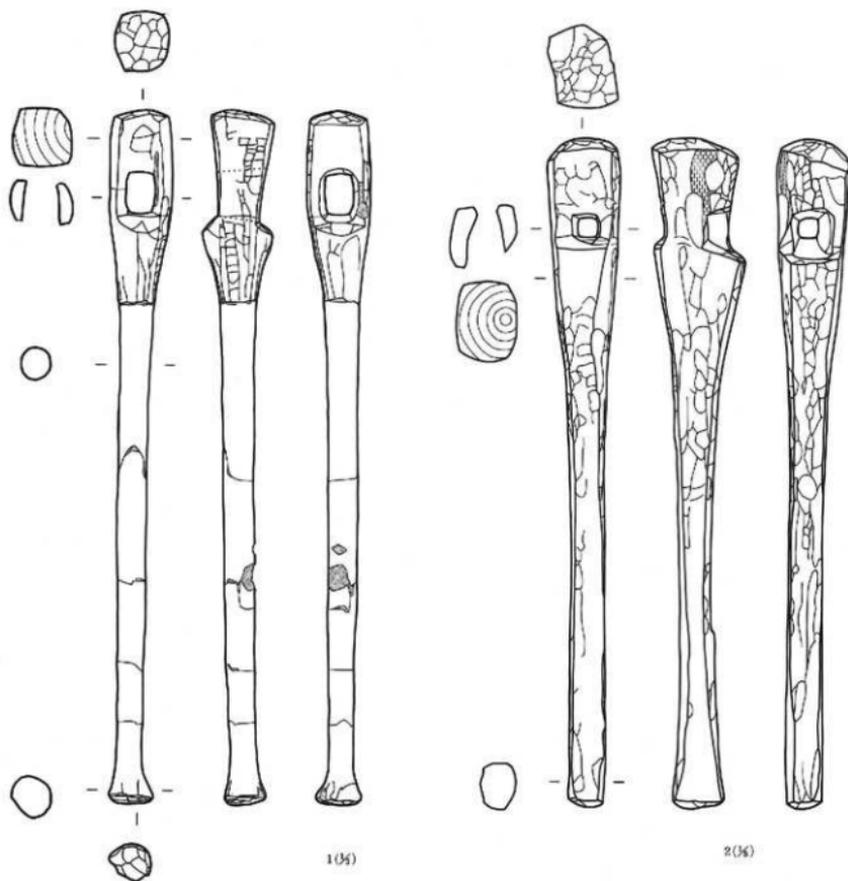
発掘 位置	遺物 番号	種別	材料	出土 位置	取上層位	測定・特徴・備考								撮影 方法	木取り 時期	写真 図録		
1	L-1127	木製品	杉	IX区 15c層	15c-411	幅	口	背	厚さ	山幅	形状							
						27.0	46.2	24.0	5.9									
2	L-1111	木製品	杉	IX区 15d層	15d-333	全長	身長	身幅	厚さ	新形長	新形幅	厚さ	備考					
						71.2	32.8	12.4	3.2	37.4	7.4×2.5							

第539図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類28



図中番号	番号	類別	部類	遺跡名	出土層号	品名・特徴・備考								素材	本取寸	時期	写真図版	
1	L-960	木製品	押通柄	溝田遺跡	15木3	全長 72.6	幅器具 25.5	淵底幅 6.5	淵底厚 6.6/3.4	刺底長 46.0	刺底径 3.0	刺底孔 3.0X1.0	総入角 78°-88°		ツブシ	芯刻	刻通柄	310-2
2	L-1117	木製品	押通柄	IX区156	156木21	73.2	21.8	6.6	4.6	51.2	3.0		87°-87°		ツブシ	芯刻	刻通柄	311-2

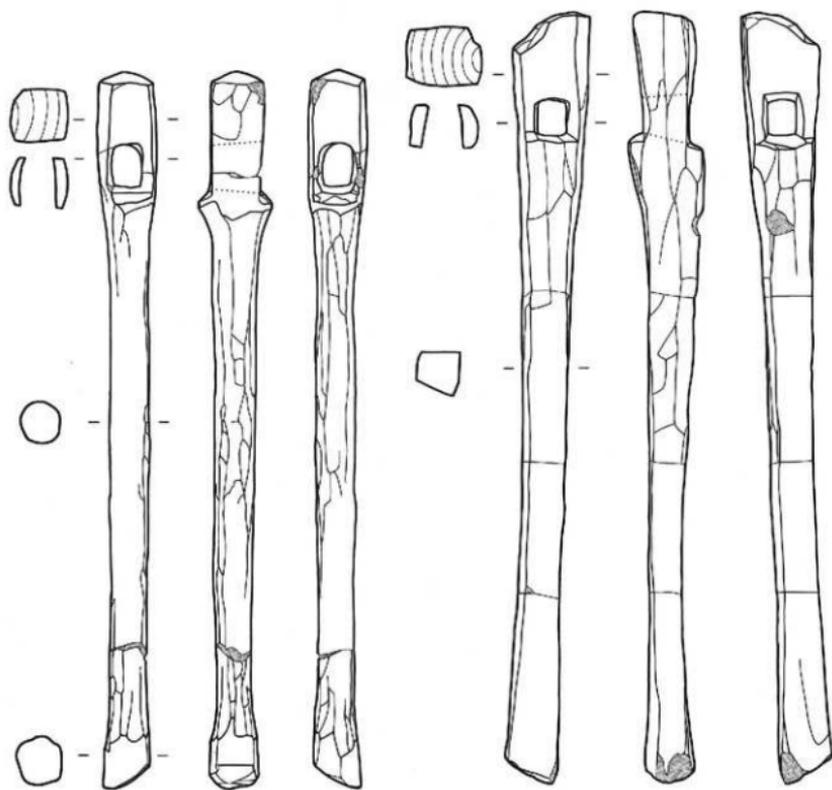
第540図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類29



0 20cm (34)

国中 番号	登録 番号	種別	器種	区 別	取上箇所	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考										輪 径	木取り	時 期	写真図版
						全 長	胴部長	胴幅	胴厚	柄部長	柄幅	握部径	握部角						
1	L-100	木製品	押酒筒	IX B 15c 器	15c 木10	79.5	20.0	6.2	6.4×4.3	43.8	3.4 × 3.4	2.8×2.8 2.3×2.3	握部径 4.2×2.8 5.4×2.8	握部角 52°-52°		クヌギ	芯 無	独出簡	311-1
2	L-969	木製品	押酒筒	IX B 15c 器	15c 木6	68.3	23.4	7.4	8.2×6.2	43.8	3.4 × 3.4	2.8×2.8 2.3×2.3		79°-82°	木製品	クヌギ	芯 持	独出簡	300-1

第541図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類30



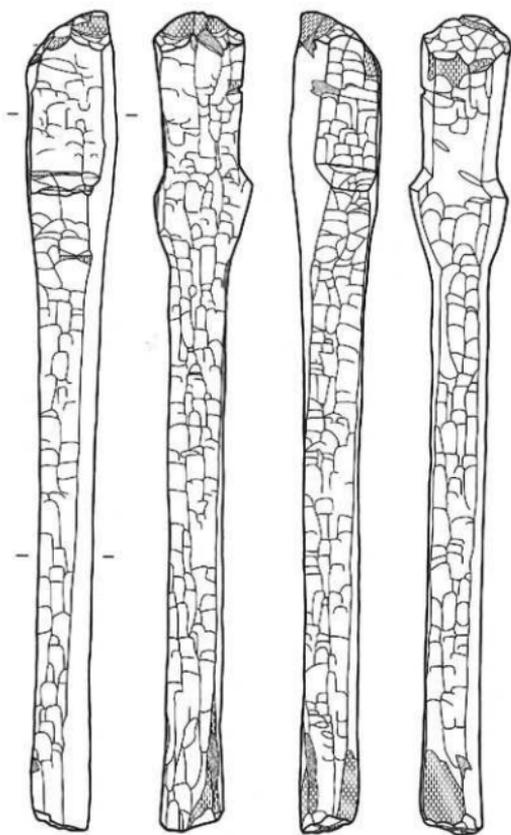
1(34)

2(34)

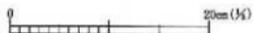
0 20cm (34)

区中 番号	発 掘 番 号	部 別	部 類	透 視 図	取上部位	測 量 ・ 特 徴 ・ 備 考										産 産	木 取 方	時 期	写 真 回 数
1	L-559	木製品	葬儀具	Ⅷ 15 層	15d木32	全 長 75.6	胴部長 15.2	胴部幅 5.6	胴部厚 5.4	胴部長 35.0	胴部厚 2.8×3.8	溝幅 4.4×3.3 5.2×4.0	挿入角 85°-95°	未製品	クマ郡	志 賀	角作期	300-3	
2	L-658	木製品	葬儀具	Ⅷ 15 層	15d木28	78.8	22.8	7.6	6.0×4.6	59.0	4.2×3.4	3.8×2.4 5.4×4.2	75°-85°	未製品	クマ郡	志 賀	角作期	300-2	

第542図 Ⅷ・Ⅸ区河川跡15層出土木製品類31

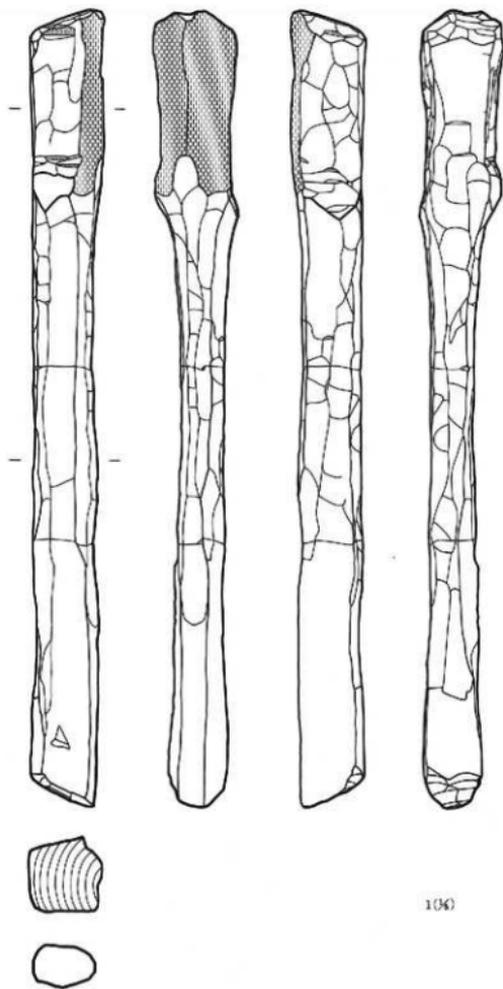


1(3)



区中 品号	番号	類別	器種	形制 寸法	出土層中	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考						産 地	水取方	特 異	写真回数			
1	L-1114	木製品	沖渡針	EXC区 150横	15d木3d	全 長 84.0	頭部長 27.2	頭部幅 9.0	頭部厚 8.8-7.4	柄部長 36.6	柄部厚 3.4-3.1	鑿り孔	挿入角	水取点	クマ川	芯 無	表付層	300-1

第543図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類32

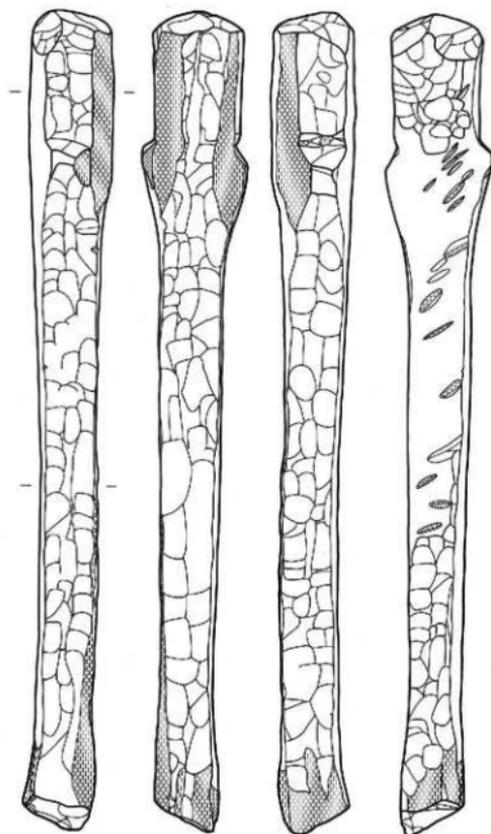


1(34)

0 20cm (1/4)

図中 番号	品名	種別	材質	地区	出土番号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考						複製	未取り	時期	写真図版		
						全長	原長	取部径	取部厚	射部径	射部厚					製法	挿入角
1	L-957	木製品	杉皮	15	15c木12	81.6	25.6	7.2	2.4×5.8	36.0	8.2×4.8						

第544図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類33

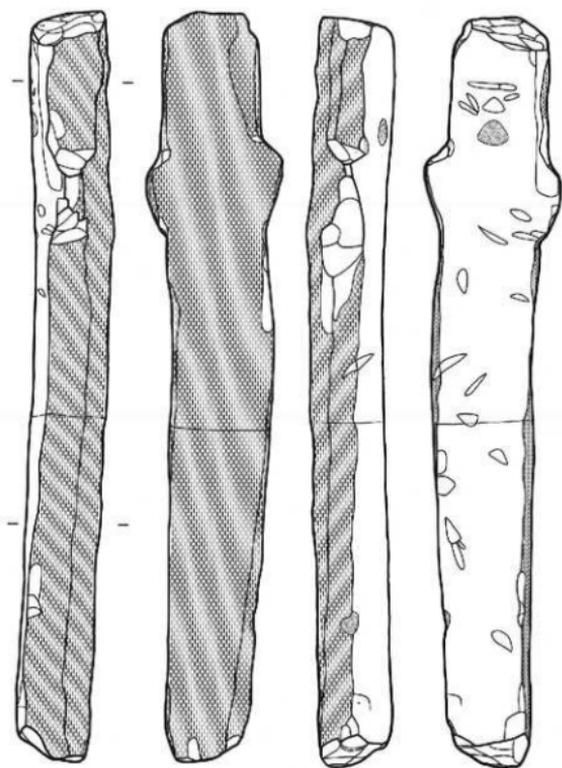


1(34)

0 20cm (34)

図中 番号	発 掘 層	種 別	出 土 部 位	取上層号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考							備 考	時 期	写真図版			
					全 長	胴部長	柄部長	胴部厚	柄部厚	筒径	筒径差				備考		
1	L-1113	木製品	葬儀所	15c木12	89.8	25.6	8.4	7.0-8.4	58.2	6.0-8.0			赤銅呂、埋没影が濃	ナメク	志 麻	弥生前期	307-3

第545図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類34

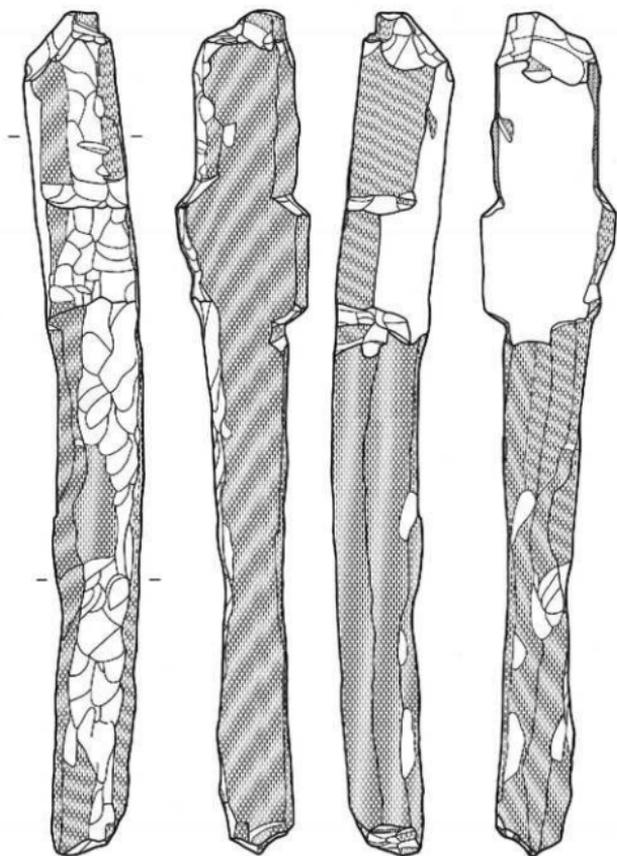


1(34)



図号	品名	種別	製造地	出土位置	取上層位	測定・特徴・備考					樹種	木取り	時期	写真図版						
1	L-1117	木製品	丹波西	DACEE 15c層	15c層E1	全長	胴部長	穂先長	総長さ	内径長	筒径径	筒径径	筒径径	挿入角	重量品、穂先削り痕	2×400	志保	強田照	306-2	
						79.3	24.6	7.8	9.6-11.4	32.8	7.5	20.8								

第546図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類35

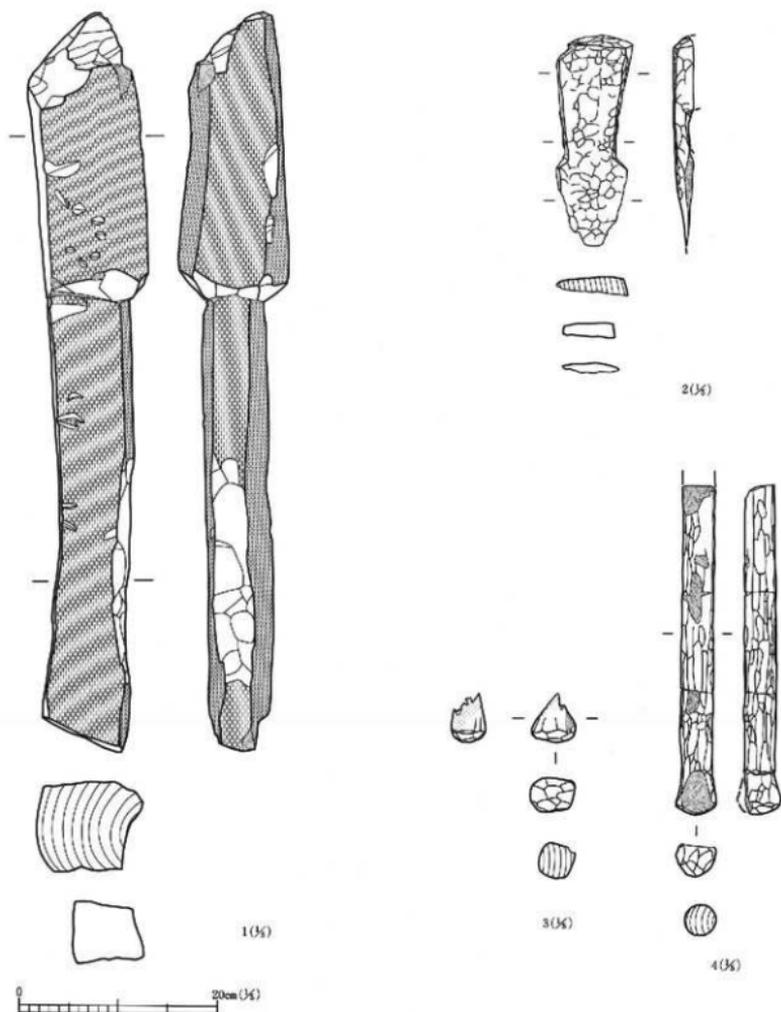


1(36)

0 20cm(3/4)

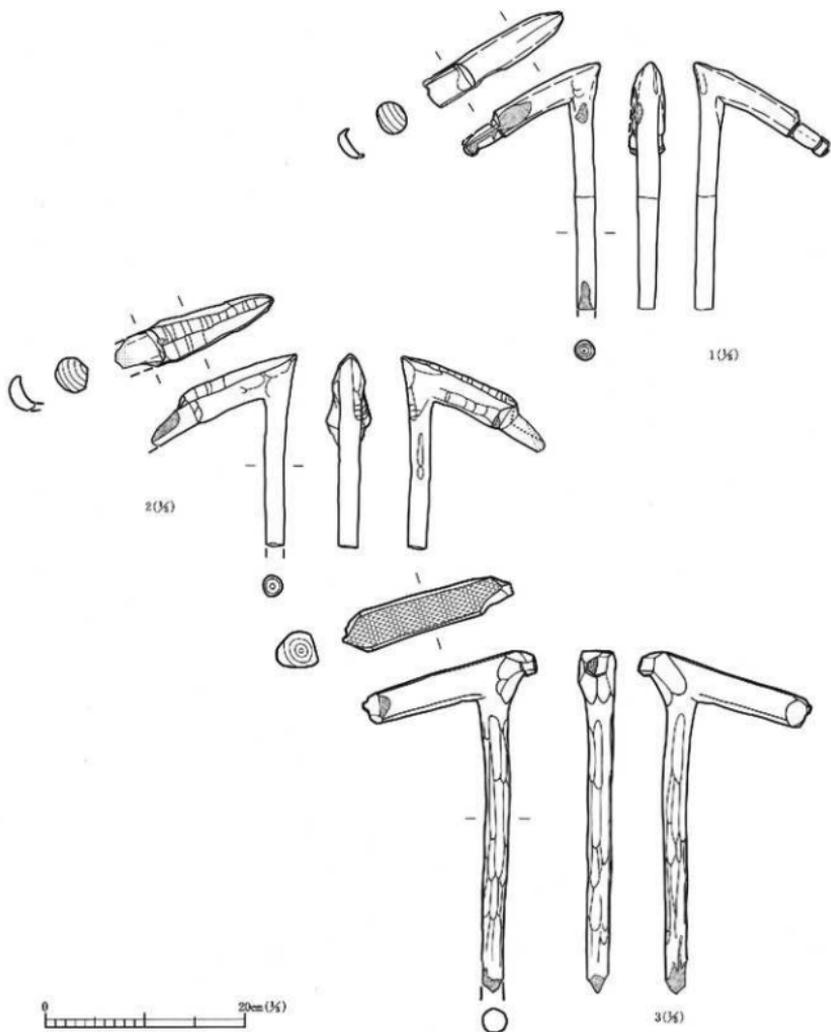
国中 番号	空 番	器 形	形 制	器 類	出 土 区 位	取 上 番 号	注 意 点 ・ 特 徴 ・ 備 考							樹 種	木 取 方	時 期	写 真 図 解	
							全 長	胴 長	透 孔 長	透 孔 径	新 透 孔 径	新 透 孔 長	表 層 孔 径					挿 入 角
1	L-1115	木製品	矛頭部	片断	IX区 15号	15号木25	全長 86.4	胴長 32.2	透孔長 9.4	透孔径 3.0-3.6	新透孔 径 4.6	新透孔 長 8.7-7.8	表層孔	挿入角	未製成	ナラ	志保	別冊 307-1

第547図 VIII・IX区河川跡15層出土木製品類36



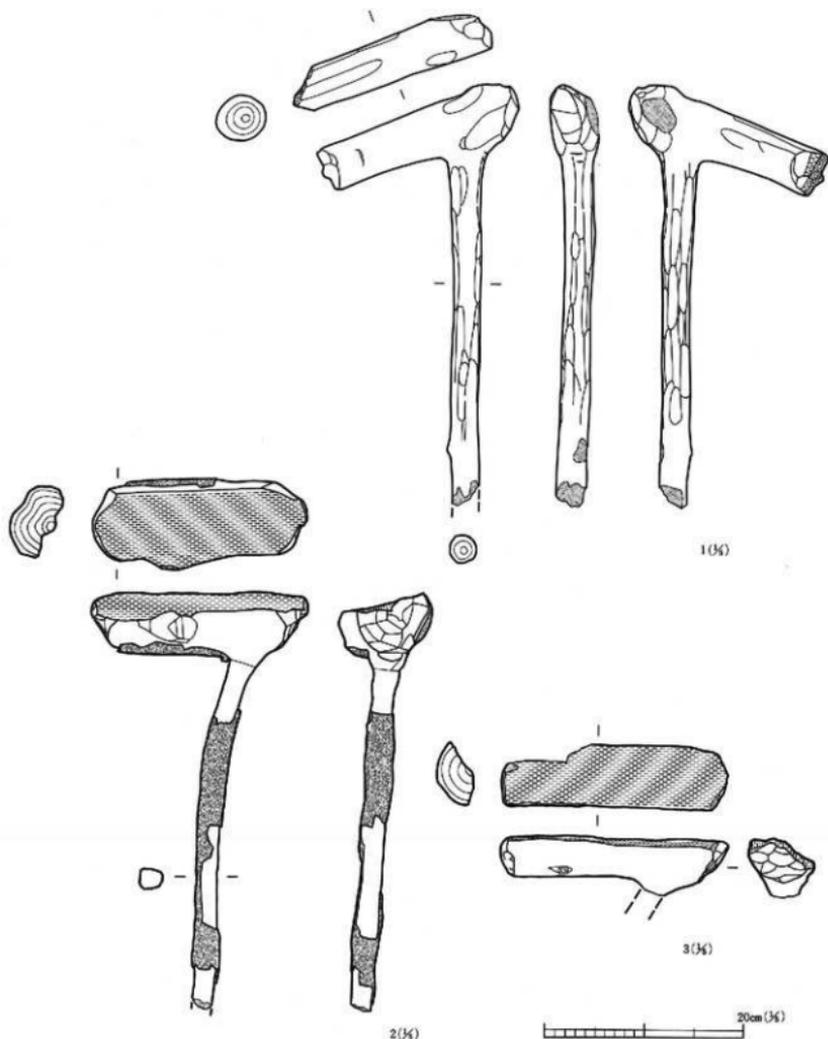
国中 番号	番号	種別	器種	遺址 区画	取上番号	法量・特徴・備考						断面	木取り	材質	写真 図番		
						全長	最大径	最細径	断面厚	断面長	断面径					表面孔	挿入角
1	L-997	木製品	片断物	第15 区画	15d本27	24.6	直径 29.6	11.8	断面厚 11.0	断面長 46.8	断面径 7.3×8.4	表面孔	挿入角	木製品	ナラ	芯丸	別冊 306-1
2	L-1180	木製品	片断物	EXD6 15c区	15c本50	21.6	21.6	2.8	7.2×5.1					深部包埋破片	クス木	芯丸	別冊 307-5
3	L-1180	木製品	片断物	EXD6 15c区	15c本2	全長 5.0	径 4.0×3.4			繊維・砂塵等付着片					クス木	芯丸	別冊 307-6
4	L-1180	木製品	片断物	EXD7 15d区	15d本32	全長 34.0	断面径 34.0	断面厚 35.0	断面長 35.0	断面径 3.8×3.8	表面孔	挿入角		断面破片	クス木	芯丸	別冊 307-4

第548図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類37



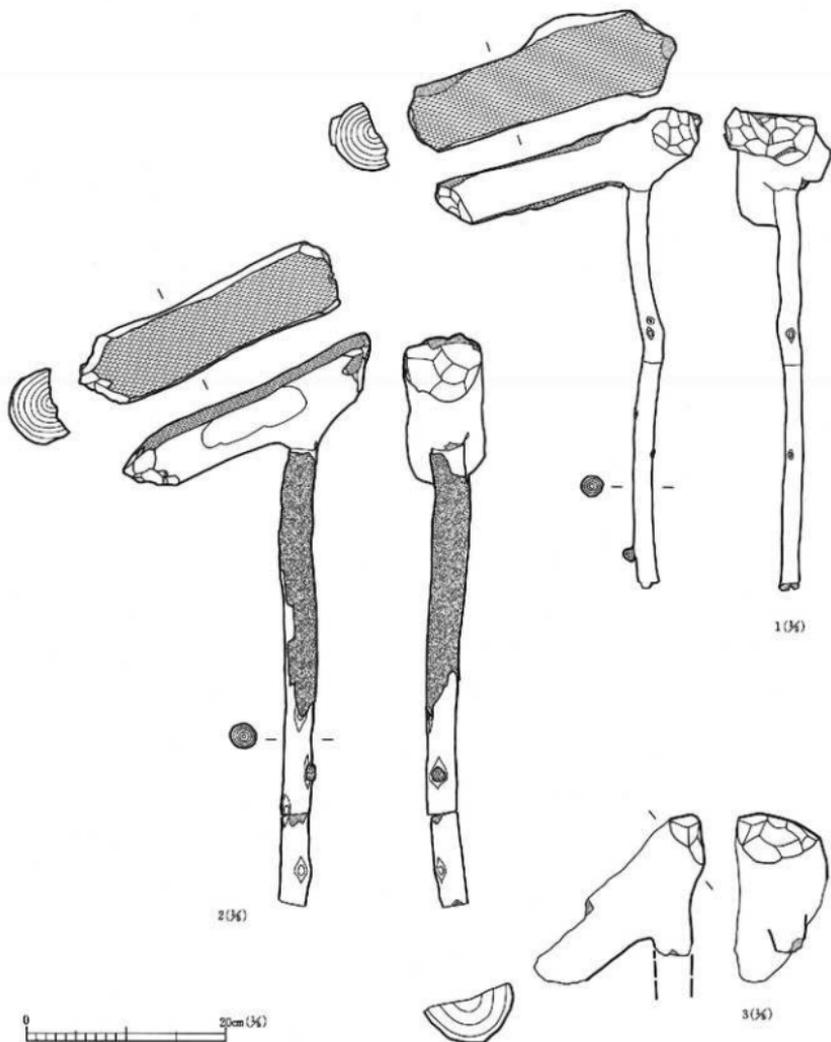
图中 序号	器 号	器 别	器 理	地 层	取 上 面 号	法 量 · 特 征 · 说 明										漆 色	木 取 心	特 别	考 古 图 录
						全 长	厚 台 长	厚 台 幅	厚 台 厚	柄 部 长	柄 部 厚	握 柄 长	握 柄 幅	握 柄 厚	柄 角				
1	L-110	木製品	片断形	IX层 154层	15d木29	25.2	16.8	3.4	2.9	20.8	2.6	4.1	3.6	1.3		无取心	漆色	216-2	
2	L-110	木製品	片断形	IX层 154层	15d木30	19.6	16.8	4.6	3.6	14.8	2.6	4.3			63°	残皮	无取心	216-1	
3	L-110	木製品	片断形	IX层 154层	15d木54	35.2	17.8	4.2	3.6	29.4	2.4				72°	残皮	有取心	313-6	

第549图 VII·IX区河川跡15層出土木製品類38



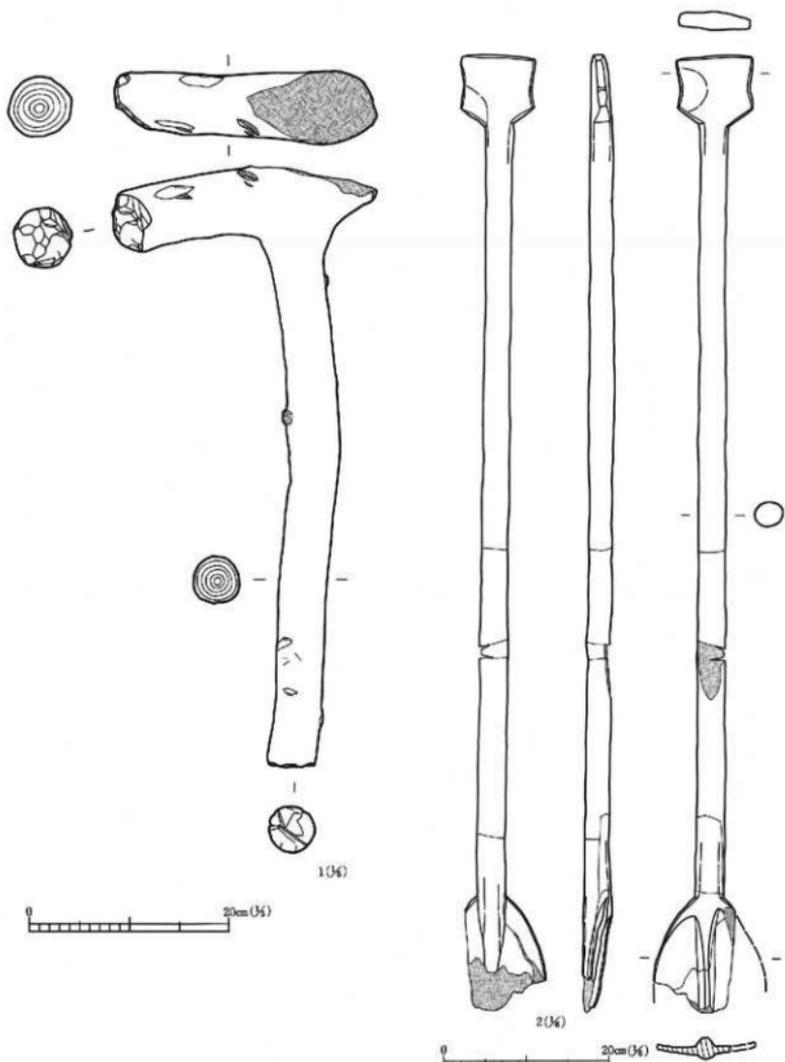
区出 番号	発 掘 号	材 別	形 種	通 号	区 ID	取上番号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考										表 面	木 目	特 長	写真図版	
							全 長	沖台長	沖台幅	沖台厚	納底径	納底厚	装身長	装身幅	装身厚	納底 径					装身 材
1	L-1104	木製品	沖藤柄	DXDK 15d	15d	木55	43.2	21.0	4.8	4.8	35.2	3.0						クヌギ	羽田時期	312-1	
2	L-964	木製品	沖藤柄	種 15	区 55	15d	42.7	21.6	9.2	6.2	35.4	2.2					72	敷石 木製	クヌギ	羽田時期	313-3
3	L-965	木製品	沖藤柄	種 15	区 55	15c	6.0	22.6	6.4	4.2								木製	クヌギ	羽田時期	313-4

第550図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類39



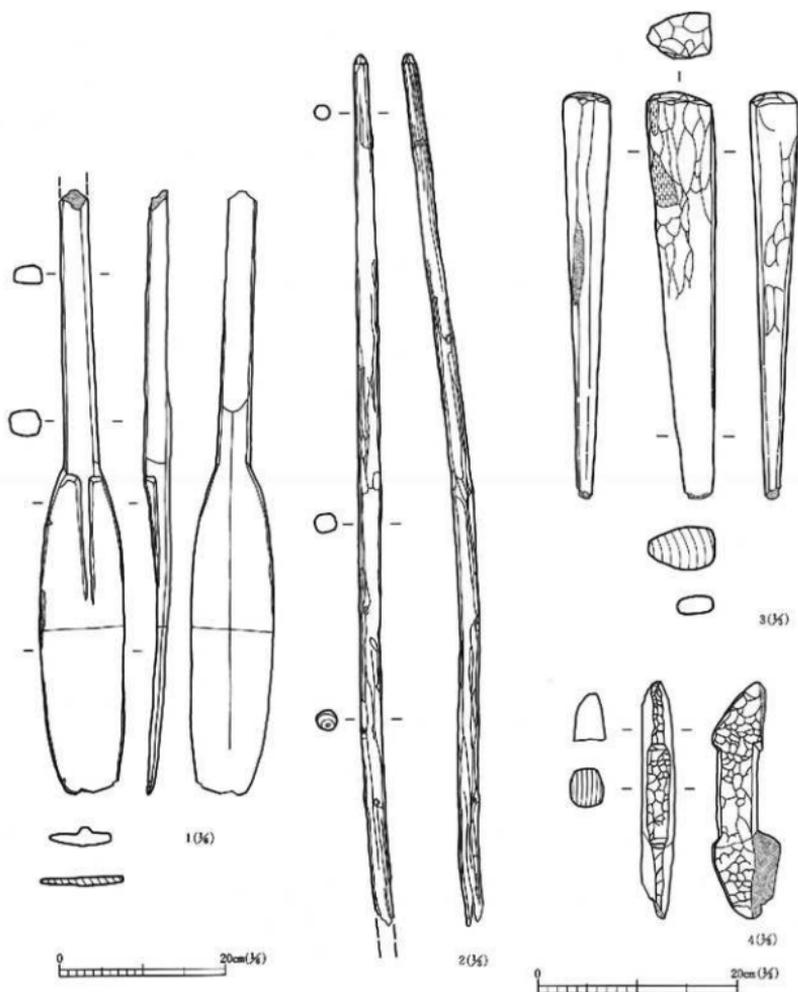
図内 番号	発 掘 地 点	器 種	器 名	区 別	取上番号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考								材質	木取り	時期	所属施設			
						全 長	弁台長	弁台幅	弁台厚	柄部長	柄部径	握部径	握部長					握部幅	握部厚	約内径
1	L-966	木製品	斧頭柄	Ⅷ 15 区 層	15d木36	49.2	27.8	7.8	3.2	49.8	2.2					63	櫟材	タノ形	弥生前期	313-2
2	L-963	木製品	斧頭柄	Ⅷ 15 区 層	15木31	89.0	28.2	7.4	6.0	46.6	2.6					63	櫟材	タノ形	弥生前期	313-1
3	L-967	木製品	斧頭柄	Ⅷ 15 区 層	15c木38	11.8	22.7	8.6	6.6	3.6	3.8					63	櫟材	タノ形	弥生前期	316-2

第551図 Ⅷ・Ⅸ区河川跡15層出土木製品類40



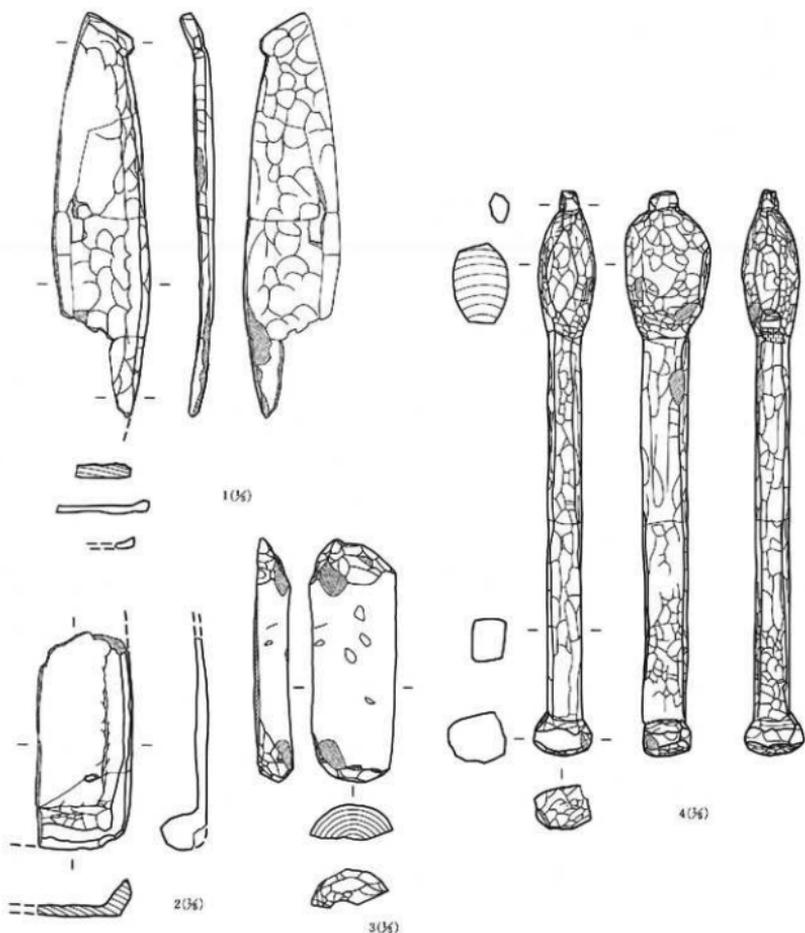
NCH 番号	遺物 番号	種類	器種	造 期	出 土 区 域	取上番号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考										備 考	木取り	時 期	写真図版		
							全 長	平均長	平均幅	平均厚	柄部長	柄部厚	装束長	装束幅	装束厚	柄内 径					製作 年	
1	L-906	木製品	神懸柄	縄 15	区 15	15d本34	全 長 81.6	平均長 20.4	平均幅 8.0	平均厚 6.4	柄部長 33.4	柄部厚 4.6	装束長	装束幅	装束厚				クヌギ		無物(断)	311-3
2	L-1123	木製品	櫛	EXIX 15c層	区 15c	13c本60	全 長 116.8	平均長 14.6	平均幅 9.2	柄部長 94.0	柄部厚 3.2	装束長 8.8	装束幅 9.2						クヌギ	任目	無物(断)	316-6

第552図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類41



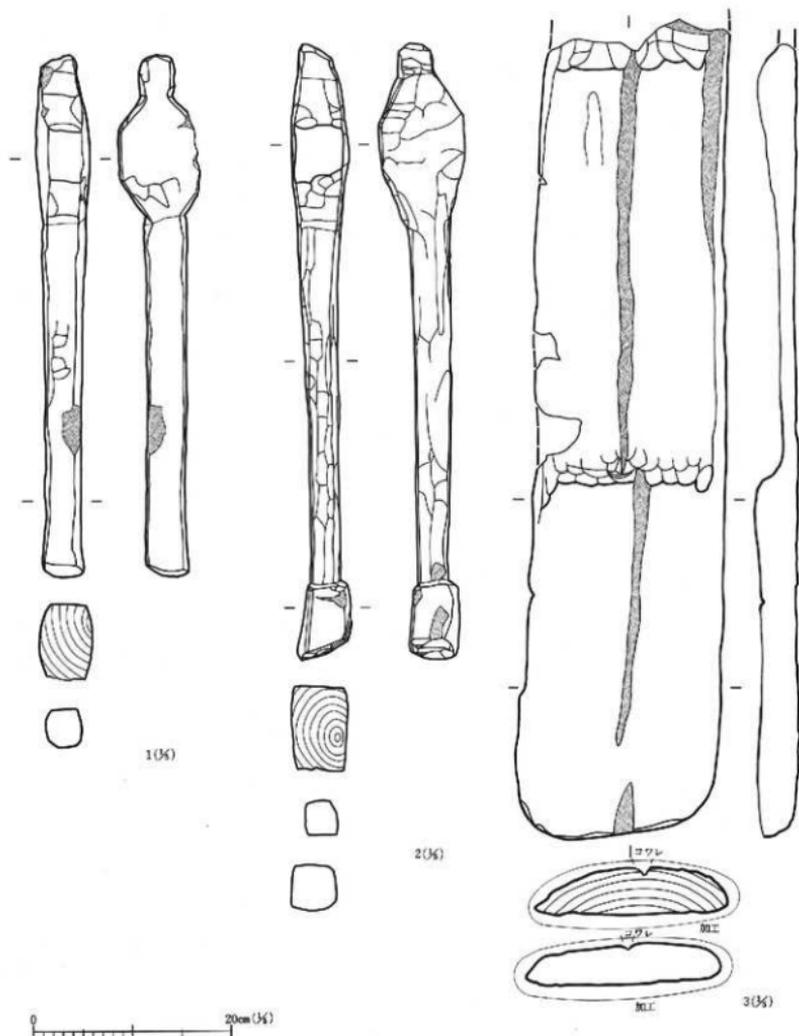
品名 番号	数量	材質	種類	形状	取上面抄	測量・特徴・備考								用途	木取り	時期	写真図版		
						全長	身部長	身幅	身厚	柄部長	柄幅	握部長	握部幅						
1	L-948	木製品	櫛	15c木10	15c木10	74.9	40.0	10.2		1.0	34.0	2.6×3.8			クサケ	延	羽	羽付櫛	316-5
2	L-1132	木製品	弓	15c木5	15c木5	全長 80.2	幅 2.0	厚 2.0							クサケ	芯持丸	羽付櫛	317-1	
3	L-1092	木製品	羽付櫛 木製品	DDDS 15c櫛	15d木56	41.6	5.0	6.6							クサケ	芯持丸	羽付櫛	317-2	
4	L-1095	木製品	羽付櫛	DDDS 15c櫛	15d木22	24.2	3.4	6.8							クサケ	櫛付	羽付櫛	318-5	

第553図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類42



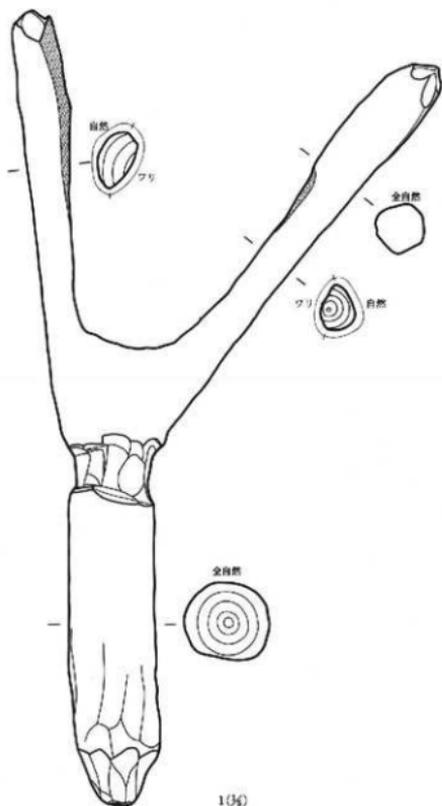
図中番号	遺物番号	種類	形状	素材	出土層号	測量 - 特徴 - 備考								画像	木取方	時期	写真図号							
1	L-1102	木製品	容器	EXC-2 15a層	18a-6-7	長さ	口径 (内・外)	底径 (内・外)										トナノキ	縄文期	有明期	318-7			
2	L-1106	木製品	盤	EXC-2 15a層	15a-616	長さ	4.4	22.2	9.4									トナノキ	縄文期	有明期	318-6			
3	L-1804	木製品	小皿	EXC-2 15a層	15d-87	全長	24.5	幅	5.6	厚	2.6									トナノキ	縄文期	有明期	318-10	
4	L-1801	木製品	羽根状 木製品	EXC-2 15c層	15c-833	全長	87.2	調整長	15.6	調整幅	5.8	調整厚	9.4	調整高	42.2	調整孔	3.4×4.6	挿入角	木製品			杉	有明期	319-3

第554図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類43

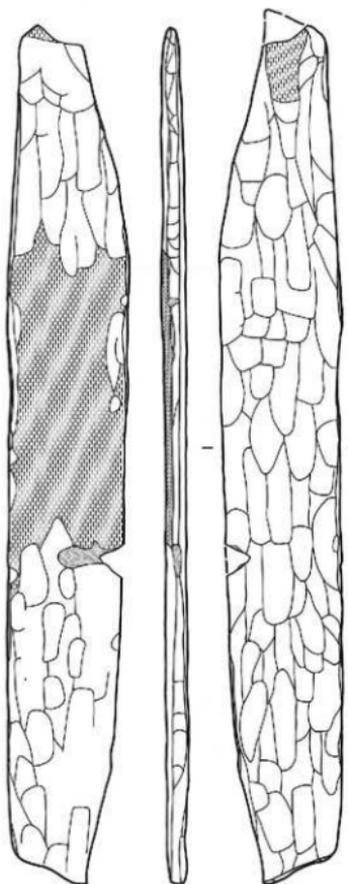


図記 番号	品 名	種別	材質	用途	取上番号	法量・特徴・備考							副種	木取り	時期	写真図庫		
						全長	最大径	頭部径	頸部径	胴部径	柄部径	柄部厚					尻部厚	尻部孔
1	L-955	木製品	朽蝕した 木製品	埋	15木4	53.2	16.4	5.4	8.2	36.8	3.6×4.0				非製品			319-1
2	L-956	木製品	朽蝕した 木製品	埋	15木5	62.4	18.8	5.5	6.6	43.6	2.8×3.4				非製品			319-2
3	L-983	材	結核材	埋	15材7	全長 82.8	幅・径 20.0	厚さ 4.8	柄字板							キハダ	板目	316-2

第555図 VIII・IX区河川跡15層出土木製品類44



134

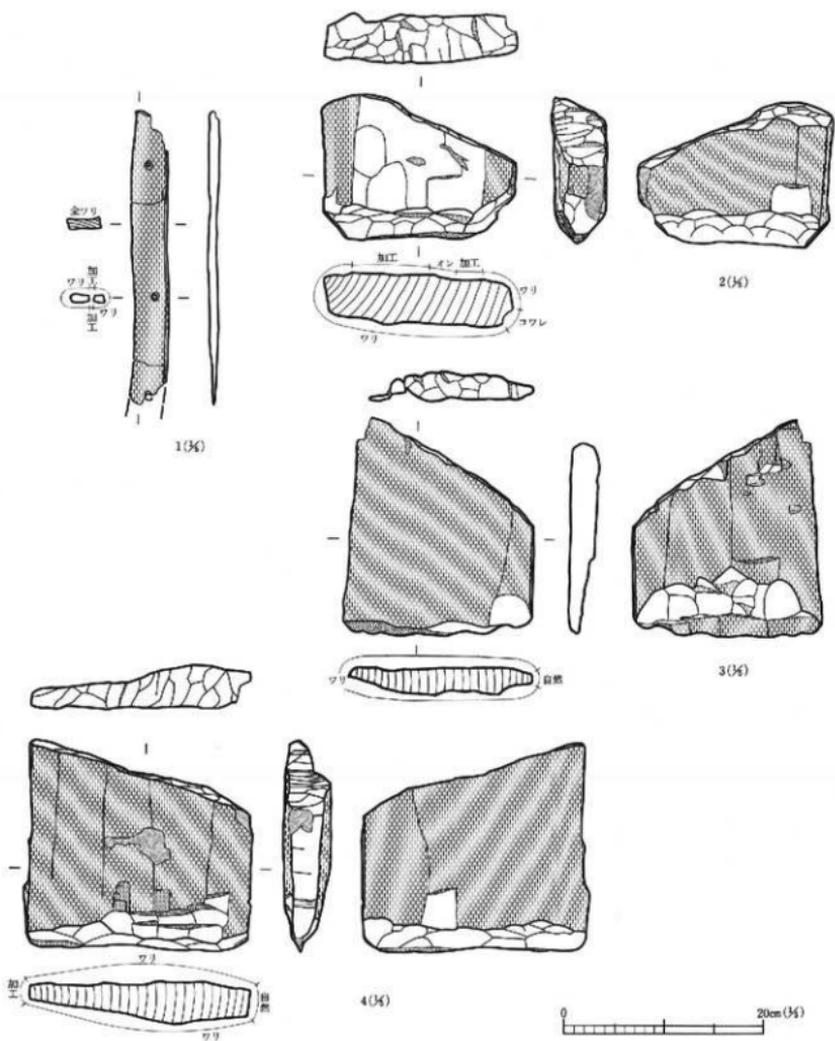


234



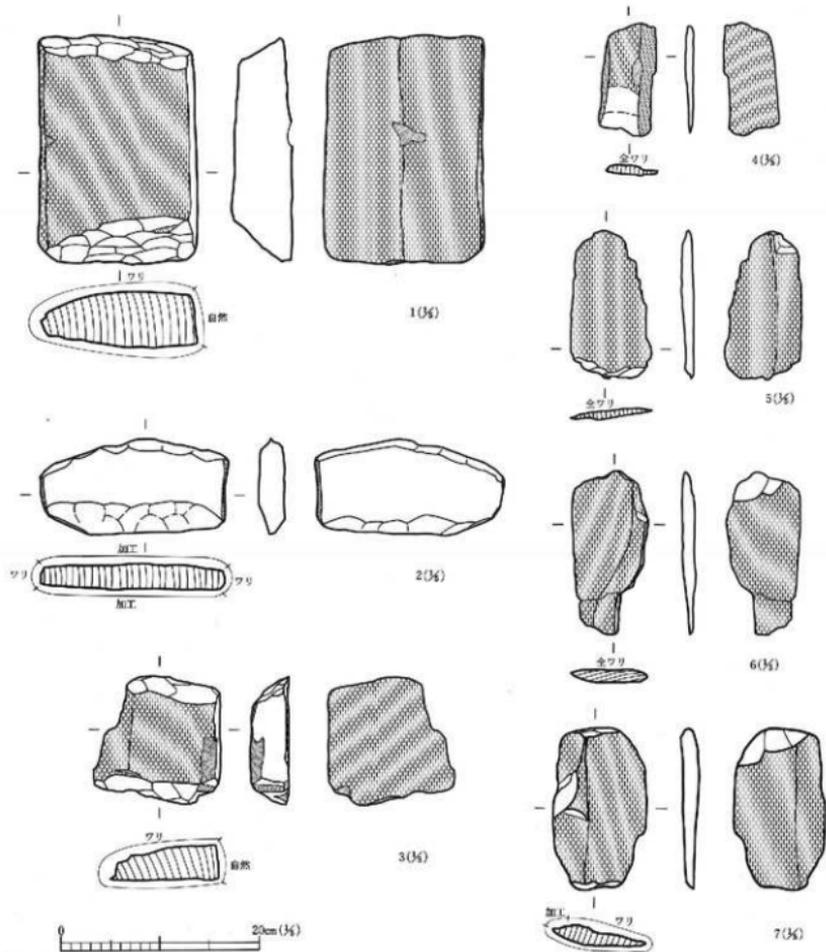
図中 番号	図 番号	種類	部材	出土 層位	出土番号	法 尺・特 徴・備 考				樹 種	木取り 時期	写真 図版	
1	L-1130	杖	建築材	DDK 15c層	15c未47	全長 81.8	幅・厚 8.6 8.6				キハダ	志保丸 御坊層	306-1
2	L-1137	杖	建築材	DDK 15c層	15c材75	87.6	12.2 2.4				椎目	角内層	306-2

第556図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類45



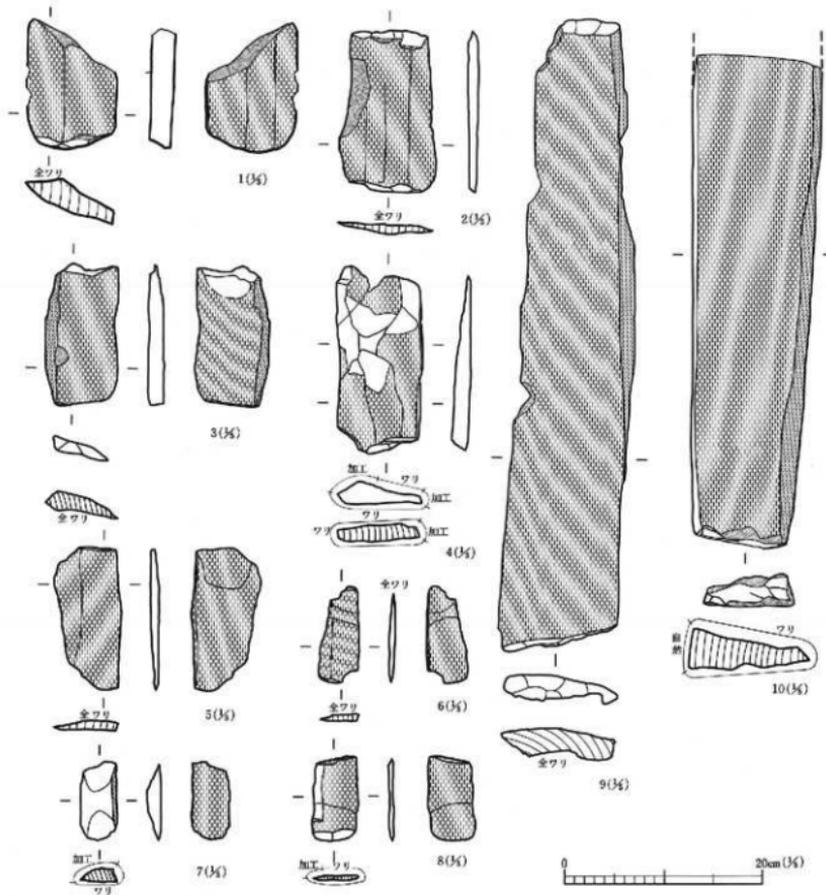
図中 番号	発掘 番号	種類	器種	出土 位置	取上番号				法量・特徴・備考				層位	木取り	時期	写真掲載
					全	長	幅・厚	厚	径	加工	特徴	備考				
1	L-1113	材	板材	IXB区 150層	150#24	29.9	3.5	1.1		穿孔			おののこ	ナナメ	後古墳	
2	L-1047	材	板材	IXB区 150層	150#73	14.9	19.0	5.1		両端加工			クヌギ類	径目	後古墳	330-3
3	L-1179	材	板材	IXB区 150層	150#56	22.2	18.4	2.7		両端加工			クヌギ類	径目	後古墳	330-4
4	L-980	材	板材	IXB区 150層	15#2	21.6	22.0	4.4		両端加工			クヌギ類	径目	後古墳	330-2

第557図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類46



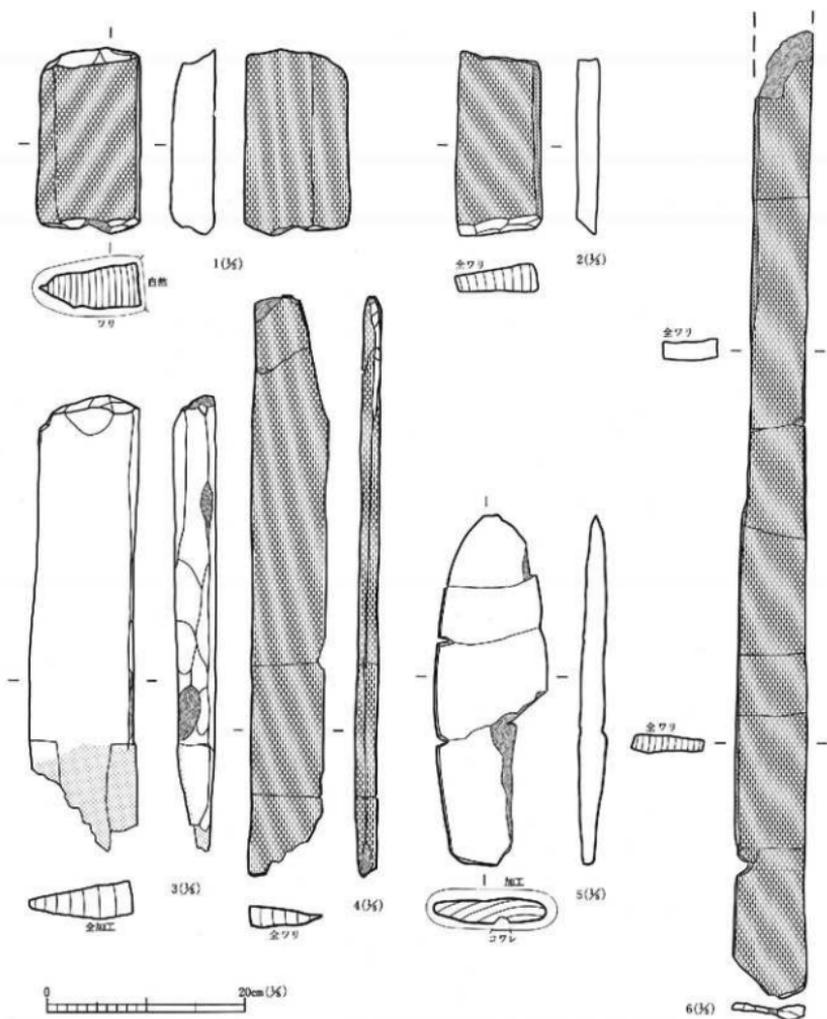
図中 番号	品 番号	種 類	材 質	種 類	区 分	取上番号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考				断面	本取の	時期	写真図版
1	L-1007	杖	板材	ⅡC 15層	15cF82	全長 23.5	幅・厚 15.7	厚さ 5.7	両端加工	クスノキ	紐目	後中層	329-8	
2	L-1006	杖	板材	ⅡC 15層	15dF35	9.8	18.6	2.5	両端加工	クスノキ	紐目	後中層	329-9	
3	L-1182	杖	板材	ⅡC 15層	15cF26	13.1	12.8	3.6	両端加工	クスノキ	紐目	後中層	330-10	
4	L-1107	杖	板材	ⅡB/F 15層	15dF43	11.5	5.1	0.8		クスノキ	紐目	後中層		
5	L-1128	杖	板材	ⅡC 15層	15dF55	15.1	7.8	1.2		クスノキ	紐目	後中層	331-3	
6	L-998	杖	板材	ⅡB/F 15層	15dF22	16.6	7.5	1.3		クリ	ナナメ	後中層	331-7	
7	L-1209	杖	板材	ⅡC 15層	15c-2F51	16.4	9.2	1.8	両端加工	クスノキ	紐目	後中層	331-5	

第558図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類47



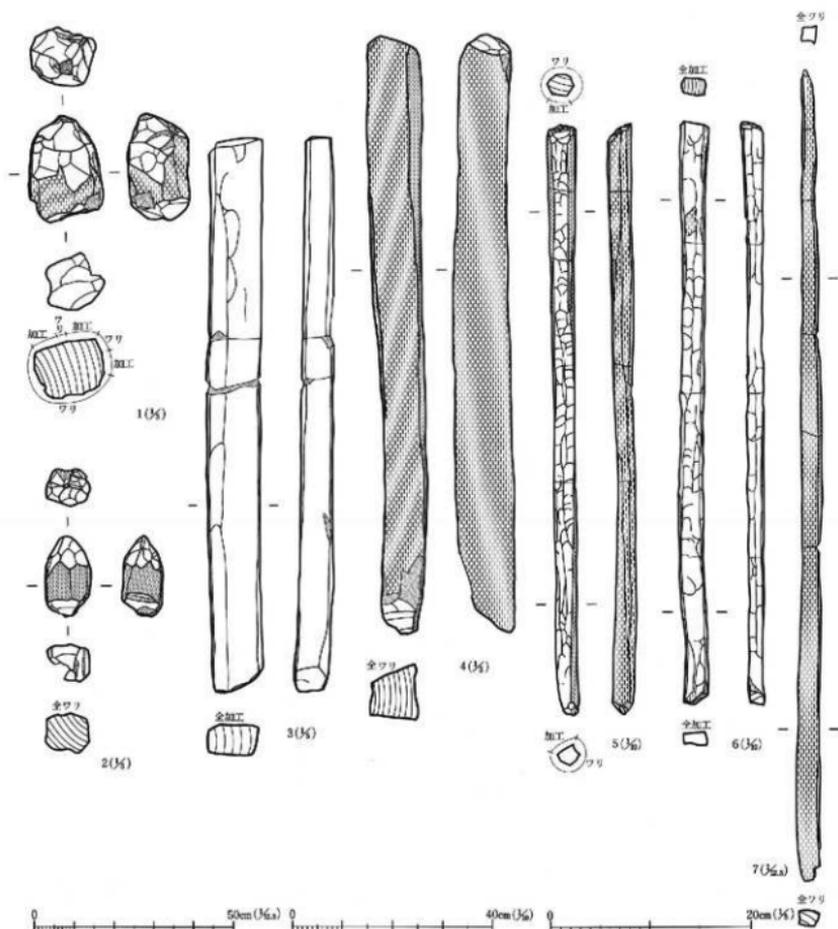
図中 番号	発 掘 場 所	層 位	器 種	材 質	地 区	出 土 層 位	取 上 番 号	法 量 ・ 特 徴 ・ 備 考					製 法	木 次 元	時 期	写 真 図 像
1	L-106	材	板	材	種 15 区 15	15cF72	全長 15.1	幅・厚 8.5 2.8	5	先端加工		クマ4	板 目	後円橋	331-6	
2	L-990	材	板	材	種 15 区 15	15cF13	16.5	9.5	1.0	両端加工		クマ4	板 目	後円橋	331-1	
3	L-1145	材	板	材	種 15 区 15	EXBIS 15cF18	14.4	7.3	1.9	両端加工		クマ4	板 目	後円橋		
4	L-984	材	板	材	種 15 区 15	15cF8	19.0	8.5	1.6	先端加工		クマ4	板 目	後円橋		
5	L-994	材	板	材	種 15 区 15	15cF18	14.5	6.5	0.9			クマ4	板 目	後円橋	331-2	
6	L-989	材	板	材	種 15 区 15	15cF23	9.8	3.9	0.7			クマ4	板 目	後円橋	331-4	
7	L-1097	材	板	材	種 15 区 15	EXDZ 15cF51	8.0	3.7	1.5			クマ4	板 目	後円橋		
8	L-976	材	板	材	種 15 区 15	15c	8.5	4.4	0.4	両端加工		クマ4	板 目	後円橋		
9	L-1116	材	板	材	種 15 区 15	EXCS 15cF31	64.7	11.4	2.5	両端加工		クマ4	板 目	後円橋		
10	L-1108	材	板	材	種 15 区 15	EXDZ 15cF76	50.5	12.8	4.1	先端加工		クマ4	板 目	後円橋		

第559図 VIII・IX区河川跡15層出土木製品類48



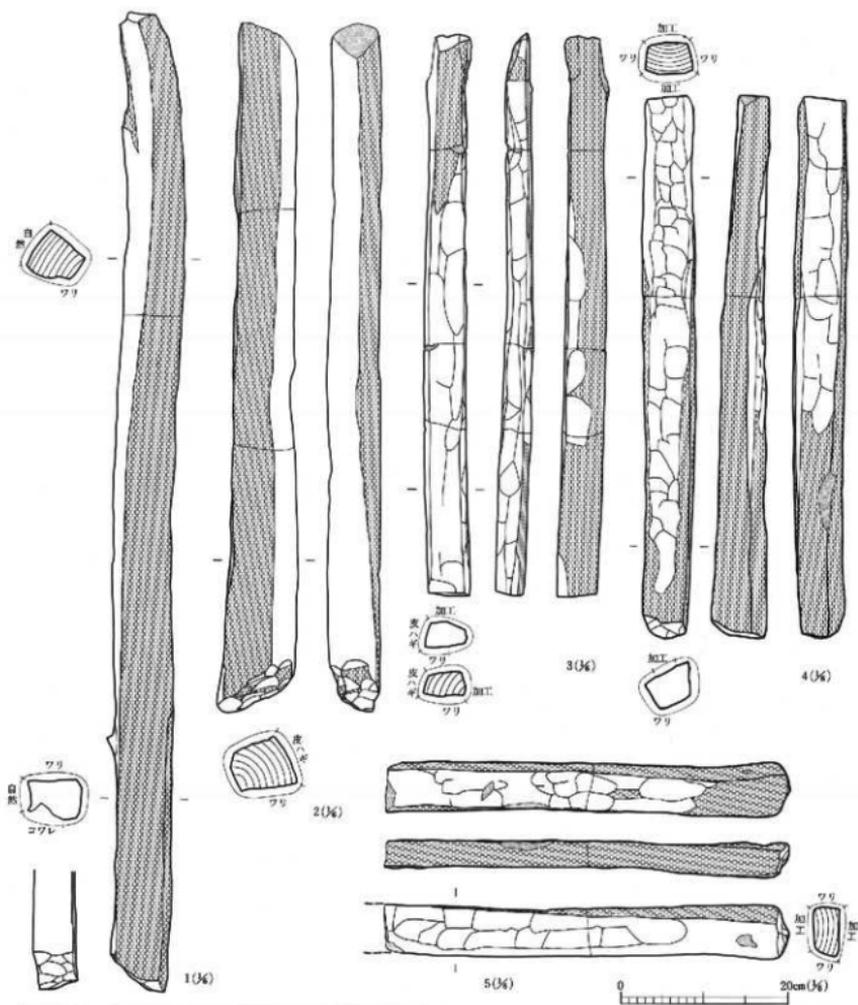
図中 番号	登録 番号	種別	素材	産地	形状	取上番号	法量・特徴・備考				種類	木取り	時期	写真図説		
1	L-988	杖	板材	15 区 層	15材11	全長 19.0	幅・径 10.7	厚さ 4.4	内編加工。				クヌギ	縦目	弥生前期	
2	L-1136	杖	板材	EXD 15c 区 層	15c材74	18.9	8.4	2.9	内編加工。				クヌギ	縦目	弥生前期	
3	L-1006	杖	板材	15 区 層	15c-18材30	66.3	10.5	3.4	先端加工。焼痕				クヌギ	縦目	弥生前期	
4	L-1001	杖	板材	15 区 層	15d材57	68.9	7.1	2.1					クヌギ	縦目	弥生前期	
5	L-1001	杖	板材	15 区 層	15d材56	35.6	11.3	2.4					クヌギ	縦目	弥生前期	
6	L-1183	杖	板材	EXD 15c 区 層	15c材60	88.6	7.3	1.9	先端加工。				クヌギ	縦目	弥生前期	

第560図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類49



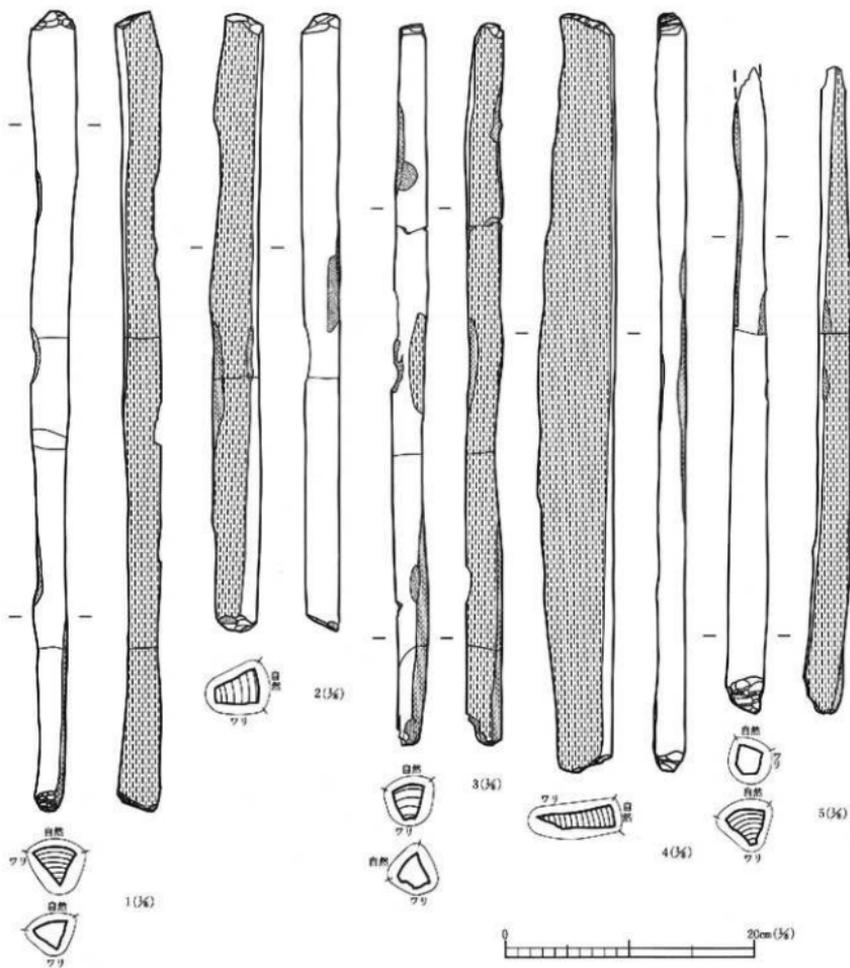
図中 番号	番号	種類	面	区	取上番号	法 量 ・ 寸 法 ・ 備 考				材料	木取り	時期	写真図版
1	L-1006	杖	角材	ⅡC 15	15C#24	全長 10.8	幅・厚 7.0	厚 5.5	両端加工、両き取型断面	クヌギ	両取	331-9	
2	L-1004	杖	角材	ⅡC 15	15C#25	8.2	4.4	2.9	両端加工、両き取型断面	クヌギ	両取	331-10	
3	L-1003	杖	角材	ⅡC 15	15C#27	56.5	5.0	3.1		ヒノキ	両取	331-12	
4	L-1001	杖	角材	ⅡC 15	15C#15	60.9	4.8	5.5	両端加工	クヌギ	両取	331-13	
5	L-1137	杖	角材	ⅡC 15	15C#6	120.1	5.3	4.3	両端加工		両取	332-2	
6	L-1171	杖	角材	ⅡC 15	15C#48	118.8	4.8	3.4	両端加工		両取	332-4	
7	L-1133	杖	角材	ⅡD 15a層	15a#1	206.5	5.0	4.2		サワラ	両取		

第561図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類50



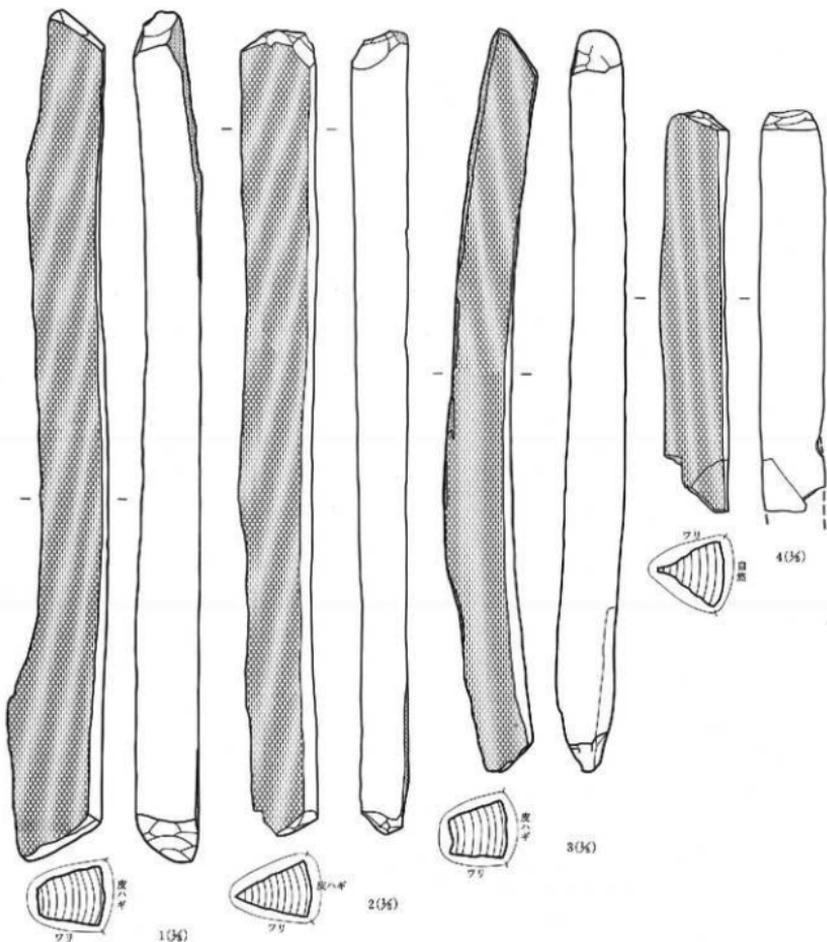
図中 番号	形	種別	製法	産地	取上番号	法要・特徴・備考				量	採取	時期	写真図録
						全長	幅・径	厚	重				
1	L-1163	材	角材	IX区 15d	15d材29	120.0	幅 0.4	厚 6.0	先端加工				
2	L-1110	材	角材	IX区 15c	15c材24	84.0	8.2	6.7	先端加工、2面歩投				332-3
3	L-086	材	角材	IX区 15	15材9	68.5	5.0	2.9		ミズキ			331-11
4	L-1026	材	角材	IX区 15	15d材53	66.3	5.8	4.7	先端加工				332-1
5	L-1036	材	角材	IX区 15	15d材64	68.4	6.0	3.2	先端加工				331-10

第562図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類51



図中 番号	番号	種別	部類	遺跡 区画	出土層砂	測量・特徴・備考				層位	木取り	時期	写真図版
1	L-1141	材	分割材	DBK 15c南	15c材17	全長 129.9	幅・厚 6.8	厚 6.2	両端加工	芯入り	15c層	発祥中層	333-4
2	L-1191	材	分割材	DD6 15c南	15c材68	100.4	7.1	5.8	両端加工	芯入り	15c層	発祥中層	334-2
3	L-1142	材	分割材	DD6 15c南	15c材14	117.2	5.1	3.7	両端加工		15c層	発祥中層	
4	L-1196	材	分割材	DD6 15c南	15c材73	123.0	12.2	3.8	両端加工		15c層	発祥中層	
5	L-1140	材	分割材	DC 15c南	15c材10	105.2	6.2	3.8	先端加工	芯入り	クリ 15c層	発祥中層	

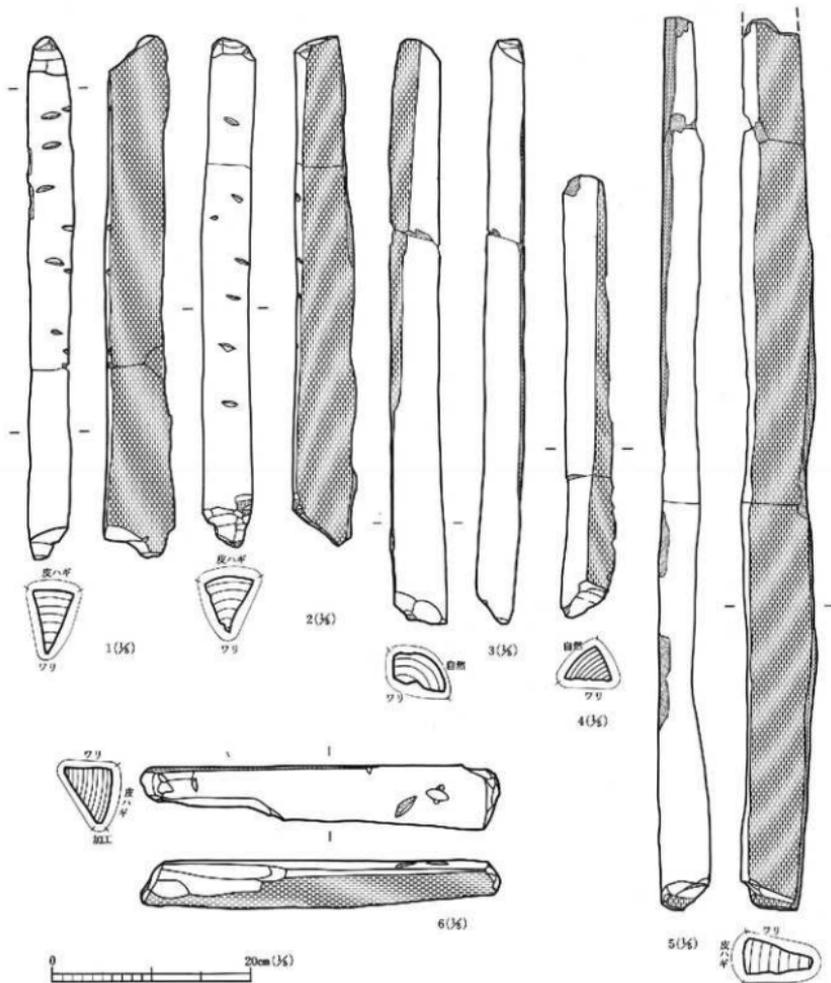
第563図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類52



0 20cm (34)

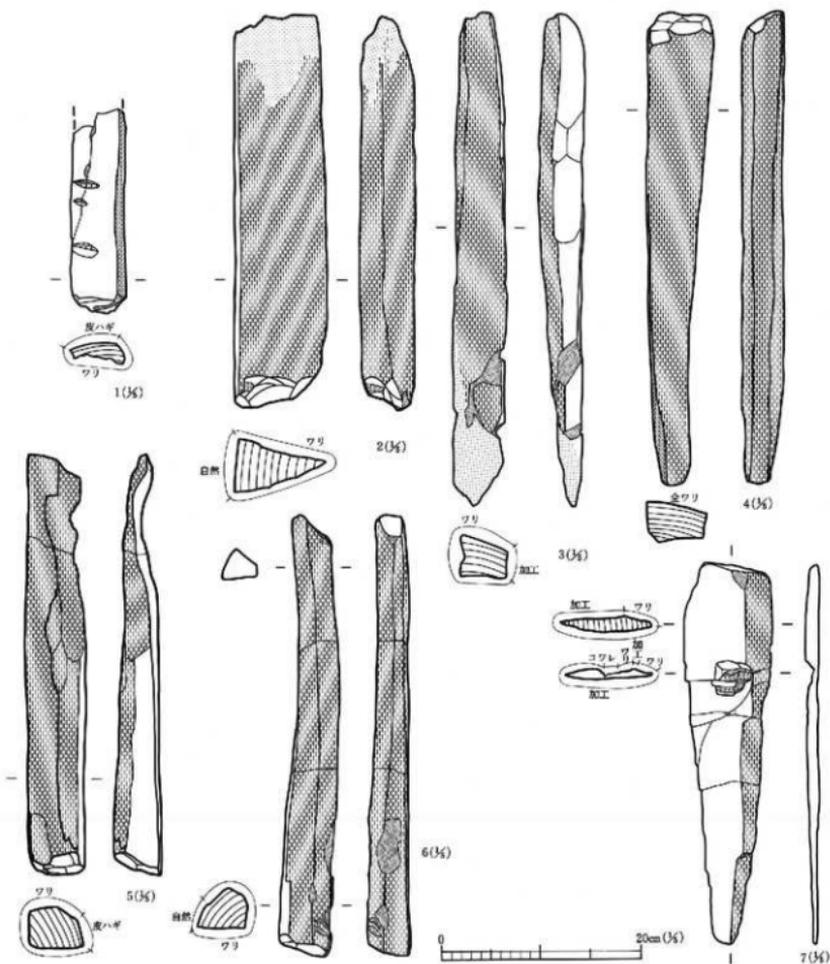
図中 番号	発掘 層号	種類	素材	地層 区別	取上部位	法量・特徴・備考				種類	木取り	時期	写真図版	
						全長	幅・径	厚	色					
1	L-102	射	分銅材	IXc区 15c層	15c-1射6	86.5	6.8	6.9	同軸加工	芯入り	クヌケ材	ミカノ	築山中期	333-1
2	L-113	射	分銅材	IXc区 15c層	15c射8	82.0	7.5	5.6	同軸加工		クヌケ材	ミカノ	築山中期	333-3
3	L-103	射	分銅材	IXc区 15c層	15c-1射8	75.7	6.8	5.8	同軸加工	芯入り	クヌケ材	ミカノ	築山中期	333-2
4	L-112	射	分銅材	IXc区 15c層	15d射8	41.0	6.6	6.5	先端加工			ミカノ	築山中期	

第564図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類53



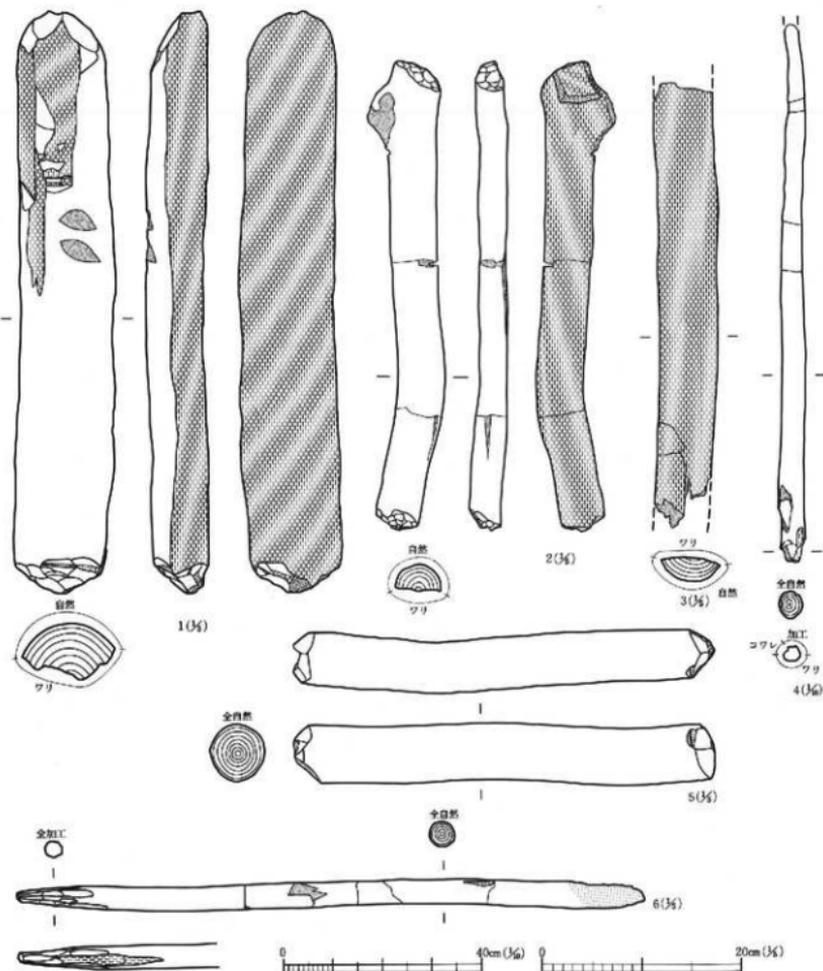
図中 番号	番号	種類	期別	産地	出土層	全長	最大幅	厚さ	出所・特徴・備考	製法	木取り	時期	写真図版
1	L-1027	材	分銅材	樺	15c#41	53.1	4.1	6.3	両端加工、皮剥ぎ痕	タヌ削	土の削	弥生前期	332-9
2	L-1198	材	分銅材	樺	15c#65	51.0	4.9	6.5	両端加工、皮剥ぎ痕	タヌ削	土の削	弥生前期	334-1
3	L-1023	材	分銅材	樺	15c#58	89.6	4.8	3.2	両端加工	タヌ削	土の削	弥生前期	
4	L-1147	材	分銅材	樺	15c#20	45.2	4.6	4.4	先端加工	タヌ削	土の削	弥生前期	
5	L-1199	材	分銅材	樺	15c#45	90.9	7.0	5.0	先端加工	タヌ削	土の削	弥生前期	
6	L-1168	材	分銅材	樺	15c#45	36.2	5.7	4.5	両端加工	タヌ削	土の削	弥生前期	

第565図 VIII-X区河川跡15層出土木製品類54



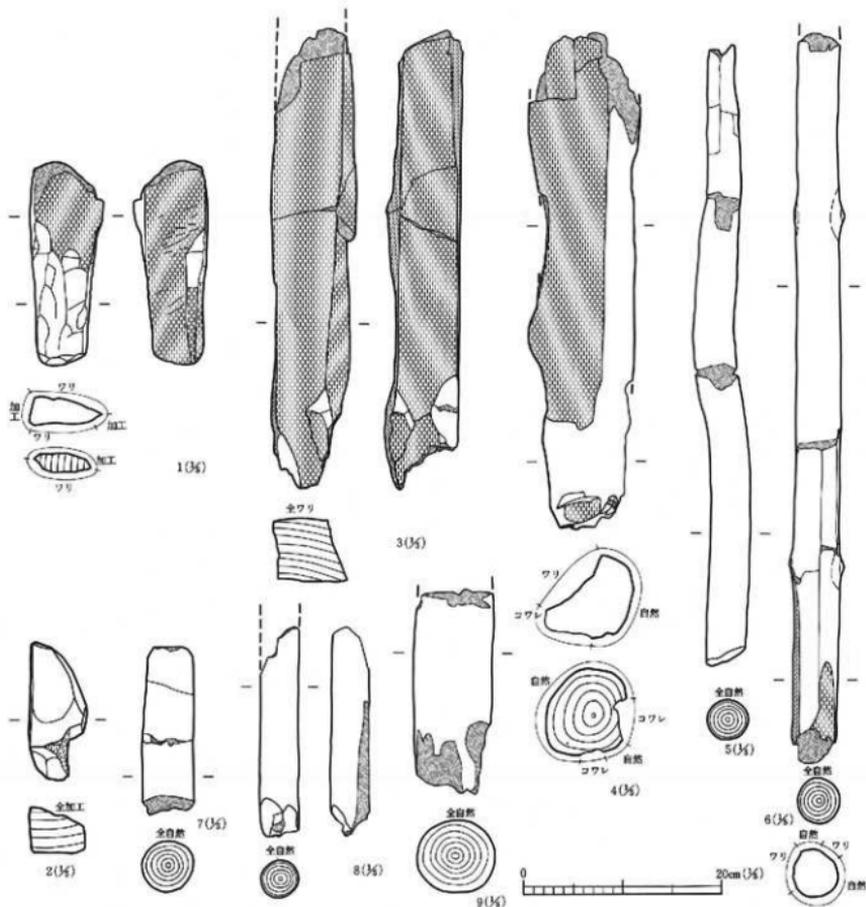
図中 番号	登録 番号	種別	部種	地区 区分	出土番号	長さ	幅・厚	厚さ	山 泉 ・ 特 徴 ・ 備 考	層 位	未取り	時期	写真図様
1	L-1172	材	分銅材	IX区 15層	15F49	金 29.9	幅 5.6	厚 2.0	先端加工	クヌギ		弥生前期	
2	L-991	材	分銅材	IX区 15層	15F115	49.0	9.1	4.5	先端加工, 洗皮	クスノキ		弥生前期	332-7
3	L-992	材	分銅材	IX区 15層	15F116	59.3	4.9	4.2	精砥	ケリ		弥生前期	
4	L-1007	材	分銅材	IX区 15層	15c-1F11	48.3	6.1	4.1	先端加工	クスノキ		弥生前期	
5	L-1016	材	分銅材	IX区 15層	15c-1F10	42.8	5.5	4.2	先端加工	クスノキ		弥生前期	
6	L-1019	材	分銅材	IX区 15層	15c-1F143	44.8	5.0	4.1	両端加工	クスノキ		弥生前期	
7	L-1148	材	分銅材	IX区 15層	15c-1F22	38.7	9.0	1.5	すり	クスノキ		弥生前期	332-10

第566図 VIII・IX区河川跡15層出土木製品類55



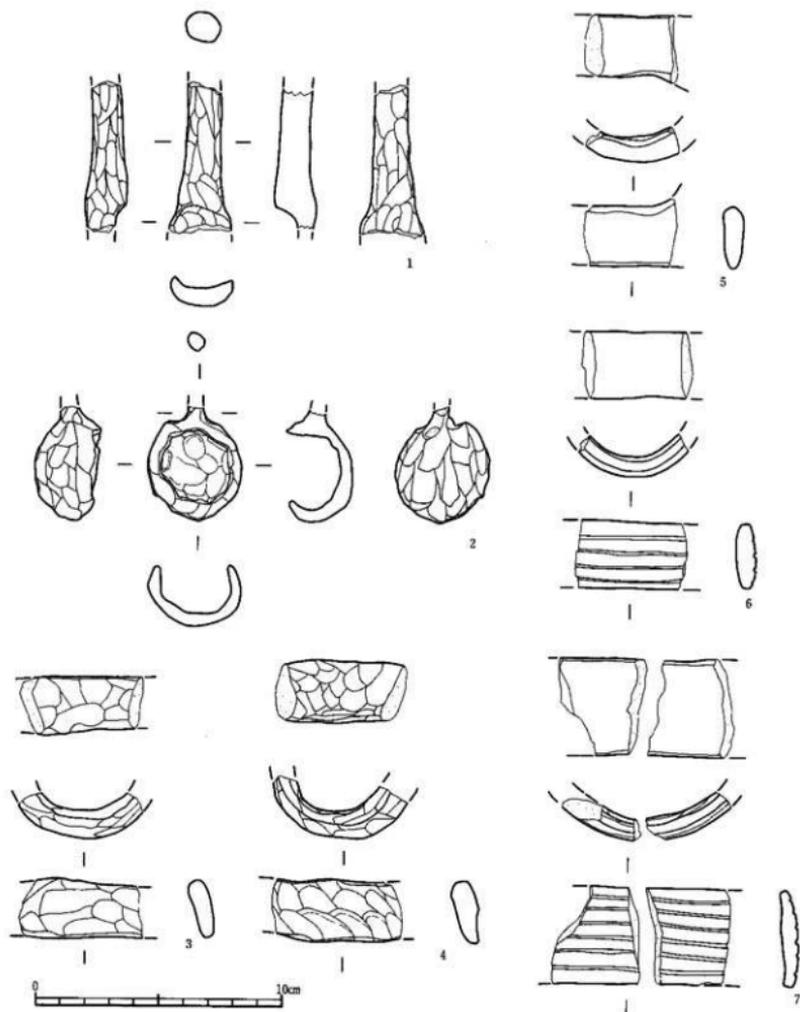
図中 番号	全長 cm	種別	素材	用途	取上順序	測量・特徴・備考					材質	木取り	時期	写真図版
						全長	幅・厚	厚さ	加工	備考				
1	L-1361	杖	平織材	DXD15 15c	15c材37	59.3	幅 9.1 厚 5.7		両端加工	上2部1段 下3部多段			表内欄	334-3
2	L-1304	杖	平織材	DXD15 15c	15c材29	47.8	幅 4.6 厚 3.6		両端加工				表内欄	
3	L-1149	杖	平織材	DXD15 15c	15c材23	42.5	幅 6.1 厚 2.2		両端加工				表内欄	
4	L-1184	杖	丸材	DXD15 15c	15c材72	109.3	幅 4.6 厚 5.2		先端加工			丸付丸	表内欄	
5	L-1189	杖	丸材	DXD15 15c	15c材66	42.0	幅 6.0 厚 5.9		両端加工			丸付丸	表内欄	334-6
6	L-1132	杖	丸材	ECC25 15c	15c木14	62.6	幅 2.5 厚 2.5		先端加工、多面多段、焼痕			丸付丸	表内欄	334-8

第567図 VII・I区河川跡15層出土木製品類56



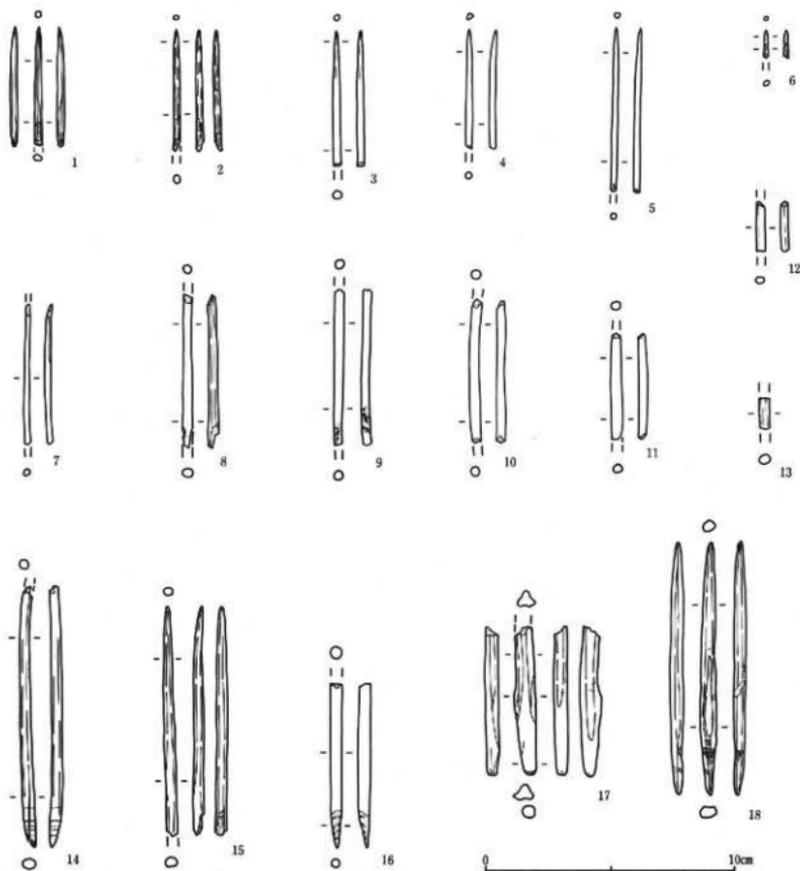
図中 番号	種別	器種	遺跡 位置	取上層号	法京・特産・備考				形状	木取り	時期	写真図版
1	L-1174	材	不明	IXC区 15a層	15aH51	全長 29.8	縦・厚 7.4 2.9			ナレ	目	製法不明
2	L-1186	材	不明	IXC区 15a層	15c-4H61	14.0	5.8 4.6				タリ	製法不明
3	L-1202	杖	柄杖	IXC区 15a層	15a杖3	全長 46.8	縦・厚 7.5 6.3	先端加工 ナレ				製法不明
4	L-1203	杖	柄杖	IXC区 15a層	15a杖4	59.6	6.9 8.3	切斷面			コナリ	製法不明
5	L-1063	杖	丸杖	IXC区 15a層	15c-杖2	63.0	4.2 4.0	ナレ				芯持丸 製法不明
6	L-1062	杖	丸杖	IXC区 15a層	15c-杖1	74.3	4.6 4.8	ナレ			コナリ	製法不明
7	L-1209	杖	丸杖	IXC区 15a層	15a杖1	17.2	5.2 5.2	ナレ			ナレ	芯持丸 製法不明
8	L-1201	杖	丸杖	IXC区 15a層	15a杖2	21.2	3.8 3.8	2面1段			ナレ	芯持丸 製法不明
9	L-1064	杖	丸杖	IXC区 15a層	15a杖3	20.8	7.9 7.2	ナレ			ナレ	芯持丸 製法不明

第568図 VII・IX区河川跡15層出土木製品類57



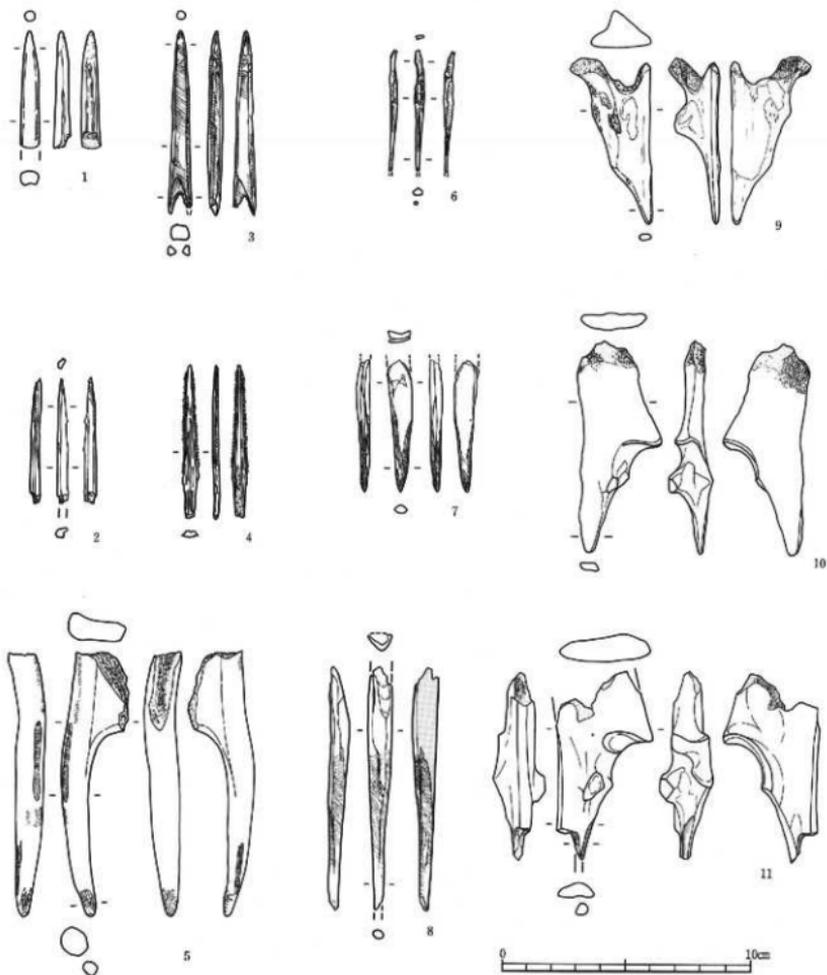
部中 番号	発 掘 番号	産出 層	器 種	出土地点			法 量			特 徴・備 考	素 材	貯 込	写真図版	
				地区	遺 構	層 位	取 上 層 位	全 長	口 径					厚 さ
1	F-16	土製灰	スプーン	D13F		15a層		6.2	2.6	1.7			弥生中期	342-1
2	F-16	土製灰	スプーン	D13G		15a層		4.2	3.8	2.7			弥生中期	342-2
3	F-18	土製灰	陶輪?	D14F		15c層		5.0	2.5	0.8	内外面ナデ、外径6.4cm		弥生中期	342-4
4	F-17	土製灰	陶輪?	D12E		15a層		5.1	2.6	1.2	内外面ナデ、外径6.0cm		弥生中期	342-3
5	F-20	土製灰	陶輪?	D16E		15f層		3.8	2.8	0.9	内外面ナデ、外径7.0cm		弥生中期	342-5
6	F-21	土製灰	陶輪?	D16G		15a層		4.4	2.8	0.8	外周4条沈線、内面ナデ、外径6.4cm		弥生中期	342-6
7	F-19	土製灰	陶輪?	D16C		15a層		6.1	4.0	0.7	外周6条沈線ナデ、内面ナデ、外径8.8cm		弥生中期	342-7

第569図 VII・IX区河川跡15層出土土製品



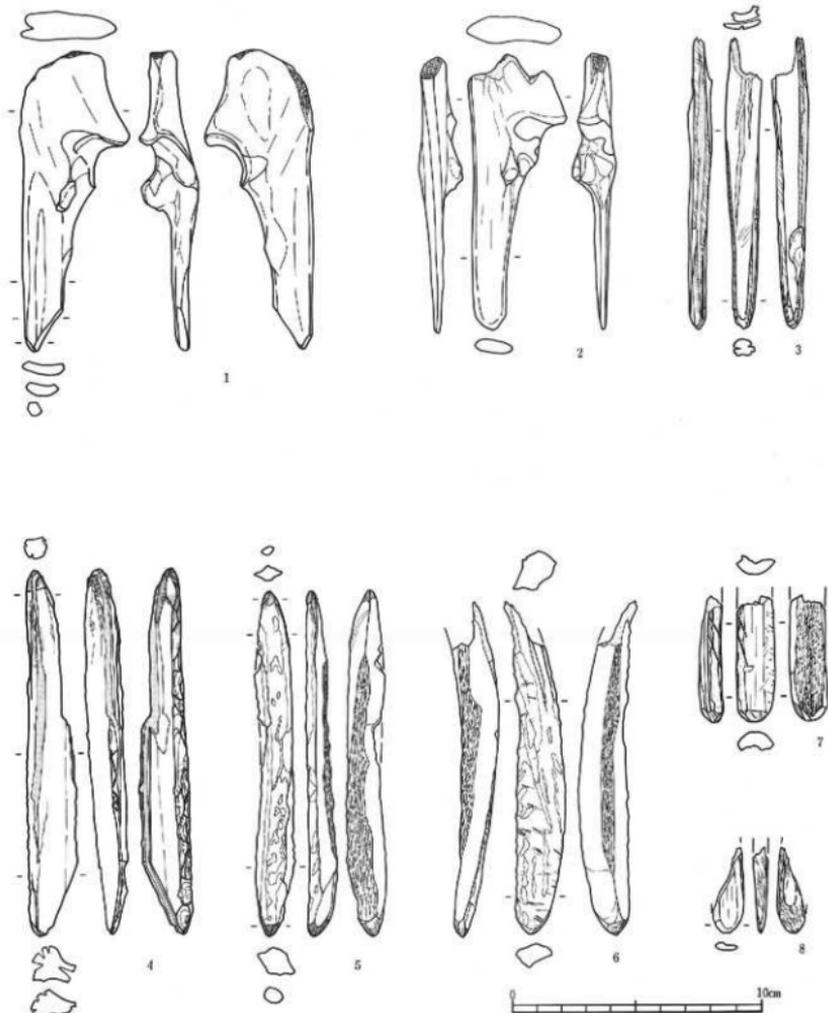
図中 番号	発掘 番号	類別	器種	出土地点			測定					特徴・備考	素材	時期	写真図版
				地区	遺構	層位	取上番号	全長	幅	厚	重				
1	Q-17	骨角部換装刺装具	ⅧB区	15c層	4.9	0.3	0.2	0.5			全体に光沢あり、基部筋力付削り痕あり	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-1	
2	Q-74	骨角部換装刺装具	ⅧB区	15a層	5.6	0.3	0.3	0.5			全面に光沢あり、特に先端部、基部欠損	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-2	
3	Q-72	骨角部換装刺装具	ⅧB区	15a層	5.6	0.3	0.3	0.7			表面の光沢面、基部欠損	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-3	
4	Q-67	骨角部換装刺装具	ⅧC区	15d層	4.9	2.5	2.5	0.3			光沢あり、基部欠損	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-4	
5	Q-54	骨角部換装刺装具	ⅧC区	15c層	6.8	0.2	0.2	0.4			光沢あり、基部欠損	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-5	
6	Q-75	骨角部換装刺装具	ⅧC区	15a層	1.2	0.2	0.2	0.1			基部欠損	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-6	
7	Q-60	骨角部換装刺装具	ⅧC区	15c層	5.8	0.2	0.2	0.4			両端欠損	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-7	
8	Q-16	骨角部換装刺装具	ⅧC区	15c層	6.3	0.4	0.4	1.0			両端欠損	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-8	
9	Q-29	骨角部換装刺装具	ⅧC区	15a層	6.4	0.4	0.3	1.1			両端欠損	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-11	
10	Q-78	骨角部換装刺装具	ⅧC区	15a層	5.9	0.4	0.4	0.7			両端欠損	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-12	
11	Q-79	骨角部換装刺装具	ⅧC区	15a層	4.3	0.4	0.4	0.6			光沢面、両端欠損	哺乳類、骨幹 骨幹(反折骨)	弥生中期	343-13	
12	Q-76	骨角部換装刺装具	ⅧC区	15a層	2.0	0.4	0.3	0.3			基部面、両端欠損	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-9	
13	Q-77	骨角部換装刺装具	ⅧC区	15a層	1.2	0.4	0.4	0.3			欠を受けている、両端欠損	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-10	
14	Q-58	骨角部換装刺装具	ⅧC区	15c層	10.7	0.5	0.4	2.2			基部筋力付削り痕あり、先端欠損	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-14	
15	Q-57	骨角部換装刺装具	ⅧC区	15c層	9.4	0.5	0.4	1.8			基部欠損	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-15	
16	Q-31	骨角部換装刺装具	ⅧC区	15a層	6.8	0.5	0.5	1.6			先端部欠損	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-16	
17	Q-56	骨角部換装刺装具	ⅧC区	15c層	6.1	0.9	0.6	2.2			先端部欠損	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-17	
18	Q-9	骨角部換装刺装具	ⅧB区	15層	10.4	0.6	0.5	3.1			基部とA-A状断面付、基部にB-B式の面取りあり	哺乳類、骨幹	弥生中期	343-18	

第570図 Ⅷ・Ⅸ区河川跡15層出土骨角器1



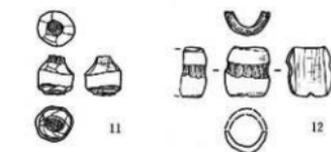
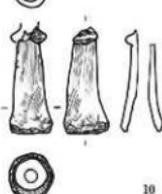
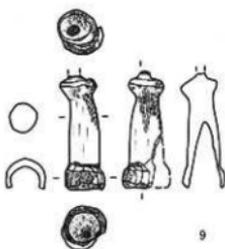
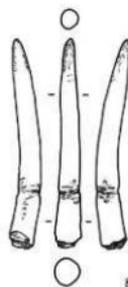
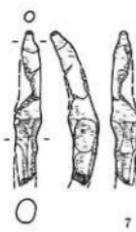
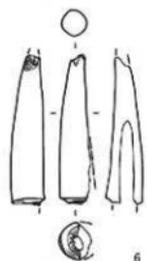
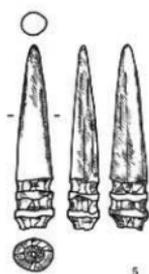
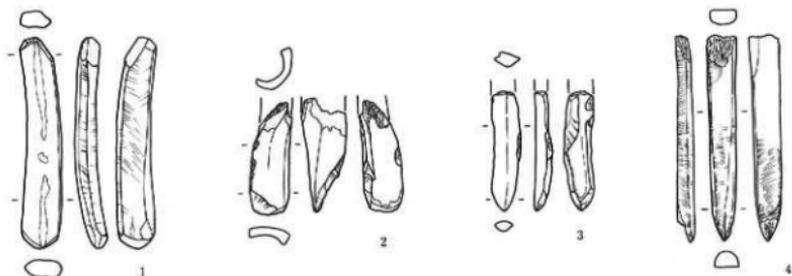
編年 層号	登録 番号	種別	器種	出土地点			法量				特徴・備考	素材	時期	写真図版	
				地区	遺構	層位	取上番号	全長	體・径	厚					重量
1	Q-60	骨角	漆喰刺具	DEK		15c層		4.8	0.7	0.5	1.9	先端部に磨痕あり、基部欠損	哺乳類、骨角	弥生中期	344-1
2	Q-15	骨角	漆喰刺具	DEK		15c層		5.2	0.4	0.4	0.8	右基端、基部磨痕	鹿、角の先端	弥生中期	344-2
3	Q-3	骨角	漆喰刺具	YMG		14c層		7.6	1.0	0.6	2.7	両基門部彫、全面に磨痕あり	中級哺乳類、 西 鹿	弥生中期	344-3
4	Q-59	骨角	漆喰刺具	DEK		15c層		8.3	0.6	0.2	0.8	先端部欠損	えい鹿、鹿類	弥生中期	344-4
5	Q-32	骨角	刺具	DEK		15a層		10.9	2.4	1.3	10.6	磨痕あり	鹿、角	弥生中期	345-3
6	Q-75	骨角	刺具	DEK		15a層		5.0	0.4	0.3	0.5	先端部欠損、基部刺痕あり	哺乳類、骨角	弥生中期	344-5
7	Q-4	骨角	刺具	YMG		14層		5.4	0.9	0.5	1.2	先端部部長磨痕、基部欠損	哺乳類、骨角	弥生中期	344-6
8	Q-44	骨角	刺具	DEK		15b層		9.9	0.9	0.8	2.7	磨痕あり、両端欠損	哺乳類、骨角	弥生中期	344-7
9	Q-6	骨角	刺具	YMG		14層		8.8	3.3	2.0	8.1	先端部若干欠損あり	鹿、尺骨	弥生中期	345-1
10	Q-80	骨角	刺具	DEK		15a2層		8.7	2.3	1.7	9.2		鹿、尺骨	弥生中期	344-8
11	Q-21	骨角	刺具	DEK		15層		7.8	3.9	2.1	12.6	穿孔の痕跡	鹿、尺骨	弥生中期	345-2

第571図 VII・IX区河川跡15層出土骨角器2



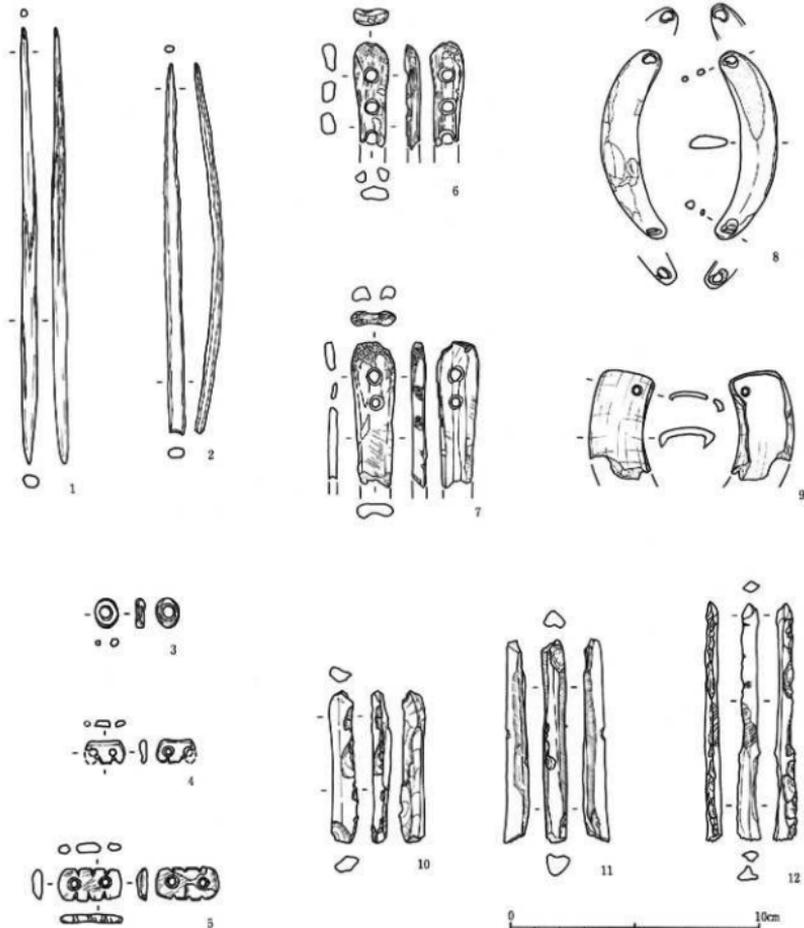
図中 番号	登録 番号	材料	種類	出土地点				法 量				特 徴・備 考	素材	時期	写真図版
				地区	段 級	層 位	取上番号	全 長	幅・厚	重 量	備 考				
1	Q-7	骨質	刺突具	ⅧBC		15a層		12.2	4.4	2.3	28.0	先端部打欠きによる加工	鹿、尺骨右	弥生中期	345-4
2	Q-4	骨質	ヘラ	ⅧBC		14層		11.3	3.9	1.1	19.3	先端部磨製	鹿、尺骨右	弥生中期	346-1
3	Q-61	骨質	ヘラ	ⅧBC		15a層		11.9	1.4	0.9	6.7	基部欠損、先端部磨製	鹿、中足骨右	弥生中期	346-2
4	Q-41	骨質	ヘラ	ⅧBC		15a層		15.0	2.6	1.4	19.2	両端に使用痕あり	鹿、中手骨	弥生中期	346-3
5	Q-49	骨質	ヘラ	ⅧBC		15a層		14.1	1.6	1.1	12.4	両端磨製	鹿、腓骨内	弥生中期	346-4
6	Q-34	骨質	ヘラ	ⅧBC		15a層		13.6	2.1	1.6	23.1	先端部磨製	鹿、腓骨内	弥生中期	346-5
7	Q-69	骨質	ヘラ	ⅧBC		15a層		5.2	1.5	0.8	3.9		鹿、肩 角	弥生中期	346-6
8	Q-71	骨質	ヘラ	ⅧBC		15a層		3.5	1.1	0.6	1.2	元形あり、先端部片	哺乳類、骨片	弥生中期	346-7

第572図 Ⅷ・Ⅸ区河川跡15層出土骨角器 3



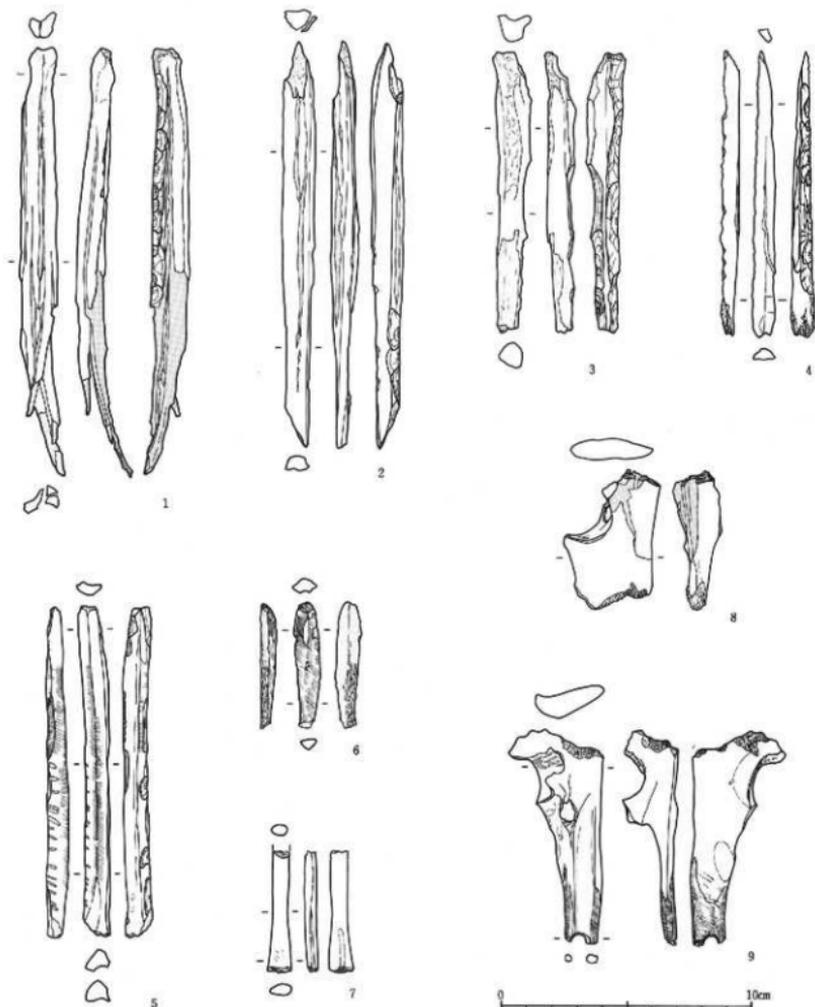
図中 番号	発掘 番号	種別	層位	地区	出土地点	取上層位	全長	幅・径	厚さ	重量	特徴・備考	素材	時期	写真図版
1	Q-45	骨器	へう	DE区	15c層		8.7	1.3	0.7	11.5	両端半磨滅	鹿、鹿角	弥生中期	346-8
2	Q-41	骨器	へう	DE区	15a層		4.7	1.6	1.8	4.3	先端半磨滅	猪、乳	弥生中期	346-9
3	Q-84	骨器	へう	DE区	15a層		4.9	1.1	0.8	3.2	先端半磨滅	猪、鹿角	弥生中期	346-10
4	Q-32	骨器	へう	DE区	15a層		8.4	1.3	0.7	4.4	テール状突起付、基部欠損	猪乳類?骨質	弥生中期	346-11
5	Q-52	骨器	同前	DE区	15c層		7.6	1.6	1.3	8.5	磨滅あり、基部欠損	鹿、鹿角	弥生中期	347-1
6	Q-2	骨器	同前	DE区	14層		6.2	1.5	1.0	6.9	先端にネズミの歯印あり、基部欠損	鹿、鹿角	弥生中期	347-2
7	Q-47	骨器	同前	DE区	15c層		6.4	1.1	1.2	2.9	磨滅あり、ネズミの歯印あり、先端磨片	鹿、鹿角	弥生中期	347-3
8	Q-26	骨器	同前	DE区	15a層		8.6	1.3	1.1	4.8	末鋭付、磨滅あり、基部欠損	鹿、鹿角	弥生中期	347-4
9	Q-28	骨器	同前	DE区	15a層		4.8	1.6	1.7	3.7	磨滅あり、先端磨片	鹿、鹿角	弥生中期	347-5
10	Q-27	骨器	同前	DE区	15a層		4.4	1.7	1.9	4.3	テール状突起付、磨滅あり、先端磨片	鹿、鹿角	弥生中期	347-6
11	Q-46	骨器	同前	DE区	15c層		1.6	1.5	1.5	1.9	両端欠損	鹿、鹿角	弥生中期	347-7
12	Q-49	骨器	同前	DE区	15c層		2.0	1.9	1.6	1.7	浮袋の口蓋、磨滅あり	鹿、鹿角	弥生中期	347-8

第573図 VII・IX区河川跡15層出土骨角器4



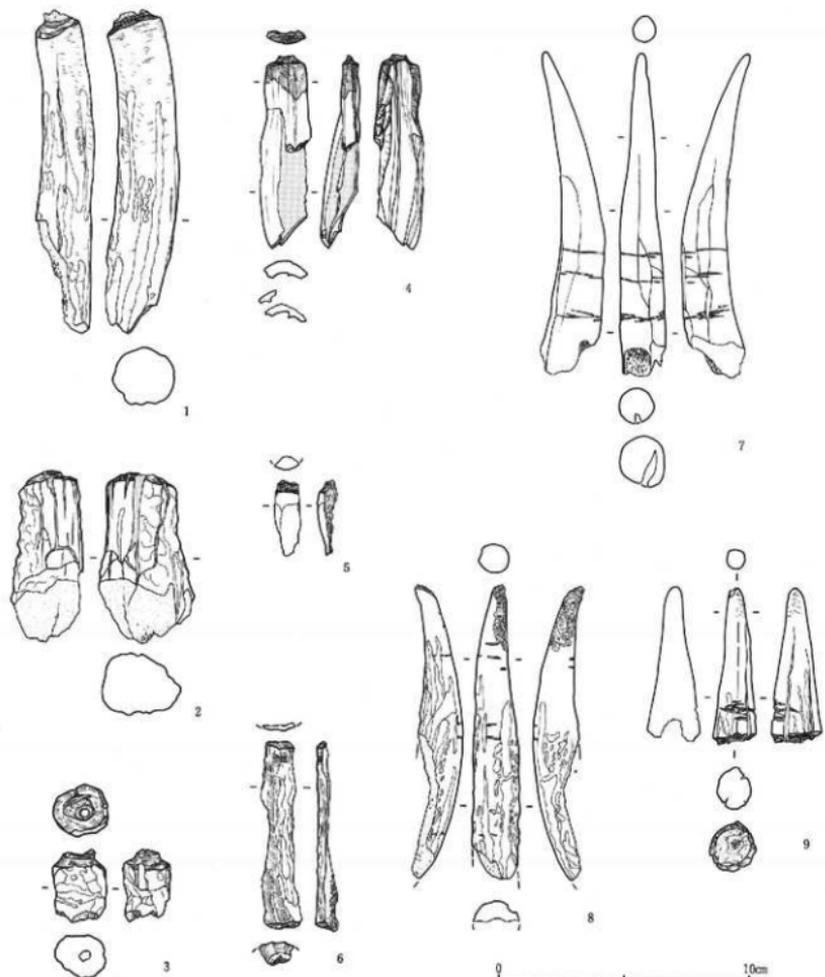
展中 番号	種別	層別	基層	出土地点	取上層号	全長	幅・厚	重量	特徴・備考	素材	時期	写真図版
1	Q-66	骨節	磯原区	15d層		17.9	0.6 0.6	3.8	骨節り?、光沢あり	哺乳類、四肢骨	發生中期	348-1
2	Q-65	骨節	磯原区	15c層		15.2	0.7 0.5	3.9	骨節り?、片端円形の穿孔状跡一處残存	鹿、蹄 角	發生中期	348-2
3	Q-61	骨節	磯原区	15c層		1.2	0.9 0.3	0.3	有穿孔	猪、犬 骨	發生中期	348-3
4	Q-70	骨節	磯原区	15a層		1.5	1.9 0.3	0.4	二孔あり、線維の一面に2ヶ所刺みあり	猪、下顎大骨	發生中期	348-4
5	Q-24	骨節	磯原区	15a層		2.5	1.3 0.4	1.3	二孔あり、線維に三ヶ所の刺みあり、光沢あり	鹿、蹄 角	發生中期	348-5
6	Q-23	骨節	磯原区	15a層		4.3	1.4 0.6	2.4	三孔あり、ターム状線刻付着	哺乳類、 骨 骨 骨 骨	發生中期	348-6
7	Q-8	骨節	磯原区	15層		6.0	1.8 0.6	4.0	基部に二孔あり、ネズミの歯形あり	鹿、中手 骨	發生中期	348-7
8	Q-50	骨節	磯原区	15c層		7.8	1.5 0.6	6.0	圓輪、二孔あり、光沢顯著	猪(蹄)下顎 犬 骨	發生中期	348-8
9	Q-5	骨節	磯原区	15層		4.5	2.2 0.3	4.6	基部に一孔あり、骨節り、先端部欠損	猪(蹄)下顎 犬 骨	發生中期	348-9
10	Q-82	骨節	磯原区	15a層		6.3	1.9 0.7	2.9	線維痕あり	鹿、中足骨石	發生中期	349-1
11	Q-25	骨節	磯原区	15a層		8.3	0.9 0.9	5.7	表面粗らあり、表面部に線刻あり、両端部欠損	鹿、中足 骨	發生中期	349-2
12	Q-13	骨節	磯原区	15層		9.7	0.8 0.6	3.0	割傷痕多数	哺乳類、骨節	發生中期	349-3

第574図 VII・IX区河川跡15層出土骨角器5



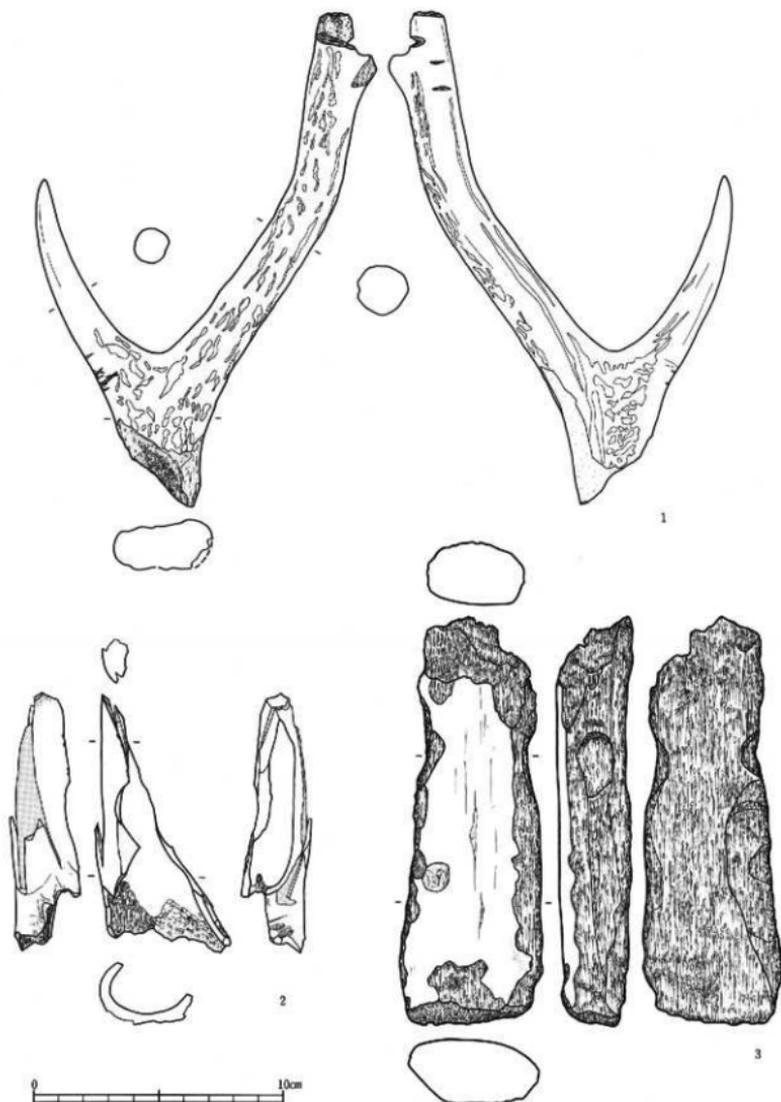
國中 番号	種別	器種	出土地点			法差			特徴・備考	素材	時期	写真掲載	
			地区	遺構	層位	取上番号	全長	幅・厚さ					重量
1	Q-42	骨棒	米製高	DCX	15a層	17.5	1.5	1.2	10.7	割線痕多数、擦痕あり	畿、中足骨	弥生中期	349-4
2	Q-39	骨棒	米製高	DCX	15a層	16.6	1.3	1.1	9.9	割線痕あり	畿、中足骨	弥生中期	349-5
3	Q-19	骨棒	米製高	NBC	15a層	11.9	1.1	1.1	10.0	割線痕多数	畿、中足骨左	弥生中期	349-6
4	Q-43	骨棒	米製高	DCX	15a層	11.7	1.0	0.8	4.7	割線痕多数、先端部ターム状微凸付点	畿、中足骨右	弥生中期	349-7
5	Q-45	骨棒	米製高	DCX	15a層	13.5	1.0	0.9	10.9	割線痕あり、擦痕あり、ターム状微凸付点	畿、中足骨右	弥生中期	349-8
6	Q-20	骨棒	加工高	DCX	15a層	5.2	1.1	0.7	1.7	表面に擦痕あり	福岡県、骨棒	弥生中期	349-9
7	Q-11	骨棒	加工高	NBC	15a層	5.6	1.0	0.5	1.3	片端欠損、片端は両面から磨り削跡あり	福岡県、骨棒	弥生中期	349-10
8	Q-64	骨棒	加工高	DCX	15c層	5.7	3.8	1.9	10.3	磨切り痕あり、片端欠損	畿、尺骨右	弥生中期	349-11
9	Q-19	骨棒	加工高	DCX	15c層	8.8	3.8	2.2	11.6	穿孔あり、刺突具末端品?	畿、尺骨左	弥生中期	349-12

第575図 VII・IX区河川跡15層出土骨角器 6



種中 番号	発 掘 番号	種別	器種	出土地点		法			特徴・備考	素材	時期	写真図版	
				地区	遺構・層位	長さ	幅	厚さ					重量
1	Q-35	骨端	加工品	ⅡB区	15a層	13.3	2.6	2.3	52.3	磨切り痕あり、表面磨滅、尖部あり	鹿、鹿角	弥生中期	350-1
2	Q-68	骨端	加工品	ⅡB区	15d層	7.0	3.8	2.7	36.2	磨切り痕あり、片端欠損	鹿、鹿角	弥生中期	350-2
3	Q-63	骨端	加工品	ⅡB区	15c層	2.9	2.1	1.7	8.2	磨切り痕あり、尖の破損あり	鹿、鹿角	弥生中期	350-3
4	Q-17	骨端	加工品	ⅡB区	15a層	7.9	2.0	1.6	7.2	片端に磨切り痕あり、刺痕あり	鹿、中子骨	弥生中期	350-4
5	Q-62	骨端	加工品	ⅡB区	15c層	3.1	1.6	0.7	1.1	磨切、磨切り痕あり	鹿、鹿角	弥生中期	350-5
6	Q-30	骨端	加工品	ⅡB区	15a層	7.7	1.6	0.9	3.7	側面に磨切り痕あり、側面に磨滅あり	鹿、鹿角	弥生中期	350-6
7	Q-14	骨端	加工品	ⅡB区	15a層	13.5	2.2	1.9	27.3	三条の割目あり	鹿、鹿角	弥生中期	350-8
8	Q-38	骨端	加工品	ⅡB区	15a層	12.0	2.6	1.8	22.3	磨方偏削り痕あり、先端に本穴と磨形あり	鹿、鹿角	弥生中期	350-9
9	Q-22	骨端	加工品	ⅡB区	15a層	6.4	1.8	2.1	9.3	先頭磨滅	鹿、鹿角	弥生中期	350-7

第576図 VII・IX区河川跡15層出土骨角器7



図中 番号	登録 番号	類別	名称	出土地点		法量				特徴・備考	素材	時期	写真図版		
				地区	遺構	層位	取り出し	全長	幅・径					厚さ	重量
1	Q-37	動物	加工品	窪塚	15a層			20.2	13.8	2.9	187.3	両状骨角部、磨切り痕あり	鹿(鹿)角内皮	弥生中期	351-1
2	Q-18	動物	その他	窪塚	15c層			10.6	5.5	2.8	21.9	磨断面に微細網織及び磨削痕あり	哺乳動物 骨髄~骨粉	弥生中期	351-2
3	Q-83	動物	その他	窪塚	15a層			16.6	5.8	2.7	114.4	磨切り痕あり	クジラ?	弥生中期	351-3

第577図 Ⅷ・Ⅸ区河川跡15層出土骨角器 8

## 荒井試掘調査登録遺物目録

### B. 弥生土器

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代
B-1	甕	ⅡB区		1層	12-1	9-1	8.0	弥生中

### F. G. 瓦類

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代
F-1	瓦	ⅡB区		1層	13-2	11-5	32.5	19C?

### I. 陶器類

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	器高	年代
I-1	灯明皿	ⅡB区		1層	12-2	9-2	2.2	19C後半
I-2	灯明皿	ⅡB区	SD-1	1層	12-3	9-3	2.2	19C後半
I-3	飯取の蓋?	ⅡB区		1層	12-4	9-4	7.7	
I-4	甕鉢	ⅡB区		1層	12-12	10-1	17.5	19C?
I-5	大甕	ⅡB区		1層	13-1	10-2	29.0	19C?
I-6	土瓶蓋	ⅡB区		1層	12-5	9-5	2.9	19C後半
I-7	海胆	ⅡB区		1層	12-6	9-7	2.8	19C後半
I-8	甕	ⅡB区	SD 2	1層	12-7	9-6	7.1	19C
I-9	甕	ⅡB区		1層	12-8	9-8	3.1	19C

### J. 磁器

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	器高	年代
J-1	胡瓶碗	ⅡB区		1層	12-9	11-1	5.1	19C後半
J-2	白磁製折縁煎煎	ⅡB区		1層	12-10	11-2	1.7	19C後半
J-3	白磁製煎煎	ⅡB区		1層	12-11	11-3	5.6	19C後半

### P. 土製品

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代
P-1	陶製門栓	ⅡB区		1層	12-13	11-4	46.6	19C?

## 荒井館跡登録遺物目録

### D. ロク口土師器

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代
D-1	羽釜			1層	18-1	13-1		

### I. 陶器類

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代
I-1	甕鉢			1層	18-2	13-2		

### J. 磁器

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代
J-1	胡瓶碗			1層	18-3	13-3		

## 荒井畑中遺跡登録遺物目録

### B. 弥生土器

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代
B-1	鉢	I区	pit7	Ⅱ層	29-1	15-1		

### C. 非ロク口土師器

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	器高	年代
C-1	甕	I区	SK-4	Ⅱ層	29-3	15-3	(9.2)	平安
C-2	甕	I区	SK-3	I層	29-2	15-4	(5.6)	古・前

### K. 石器・石製品

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代
K-1	石製	Ⅱ区	SD-1	I層	29-4	15-2	4.0	

## 高屋敷遺跡登録遺物目録

### A. 縄文土器

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代
A-1	鉢			Ⅱ層	35-1	20-1		

### B. 弥生土器

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代
B-1	甕			Ⅱ層	35-2	20-2		

### C. 非ロク口土師器

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	器高	年代
C-1	甕			Ⅱ層	35-12	21-4	(3.7)	
C-2	台付甕		SK-1		35-13	21-1	(4.4)	
C-3	甕		SK-9		35-8	20-3	4.2	
C-4	甕		SK-14		35-6	20-4	(5.0)	
C-5	甕		SK-14		35-4		(3.8)	
C-6	甕		SK-17		35-9	20-5	(5.3)	
C-7	高坪			Ⅱ層	32-11	21-5	(10.7)	
C-8	甕				35-3	20-6	7.6	
C-9	甕				35-14		(6.0)	
C-10	甕		SK-2		35-16	21-2	(9.0)	
C-11	甕		SD-1		35-5	20-7	5.9	
C-12	甕		SD-1		35-7	20-8	(5.0)	
C-13	甕		SD-1		35-15	21-3	(6.6)	
C-14	甕		SD-3		35-10		(3.9)	

### E. 須恵器

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	器高	年代
E-1	甕		SD-3		35-17	21-6	(3.7)	

### K. 石器・石製品

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代
K-1	石製標高品	ⅡB区		Ⅱ層	36-1	21-7	4.8	古墳
K-2	石製標高品			Ⅱ層	36-2	21-8	4.0	古墳

### L. 木器・木製品類

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代
L-1	杵		SK-18				64.4	

# 押口遺跡登録遺物目録 1

## B. 弥生土器

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	寸法(寸)	器高	年代
B-1	壺	I区	河川跡	7A層	58-1	43-1		弥生
B-2	壺	I区	河川跡	8B層	58-2	43-5		弥生
B-3	壺	I区	河川跡	15層	78-5	43-3		弥生・中
B-4	鉢	I区	河川跡	15層	78-3	42-13		弥生・中
B-5	鉢	I区	河川跡	15層	78-1	42-1		弥生・中
B-6	壺	I区	河川跡	15層	78-4			弥生・中
B-7	壺	II区	河川跡	15B層	78-2	42-12		弥生・中
B-8	壺	I区	河川跡	15層	78-6	43-14 (14.8)		弥生・中
B-9	壺	I区	河川跡	15層	72-1			
B-10	壺	II区	河川跡	12層	105-1			
B-11	壺	II区	河川跡	12層	105-2			
B-12	高坏	II区	河川跡	14層	113-4	42-10 (6.0)		弥生・中
B-13	壺	II区	河川跡	14層	113-15	43-15 28.2		弥生・中
B-14	壺	II区	河川跡	14層	113-10	43-8		弥生・中
B-15	壺	II区	河川跡	14層	113-9	43-7		弥生・中
B-16	壺	II区	河川跡	14層	113-8	43-6		弥生・中
B-17	壺	II区	河川跡	14層	113-14			弥生・中
B-19	壺	II区	河川跡	14層	113-13			弥生・中
B-20	壺	II区	河川跡	14層	113-7	43-4		弥生・中
B-21	壺	II区	河川跡	14層	113-6			弥生・中
B-22	壺	II区	河川跡	14層	113-11	43-9		弥生・中
B-23	壺	II区	河川跡	14層	113-7			弥生・中
B-24	鉢	II区	河川跡	14層	113-16			弥生・中
B-25	鉢	II区	河川跡	14層	113-3	42-3		弥生・中
B-26	鉢	II区	河川跡	14層	113-1	42-2		弥生・中
B-27	鉢	II区	河川跡	14層	113-2	42-14		弥生・中
B-28	壺	II区	河川跡	14層	113-12			弥生・中
B-29	壺	II区	河川跡	15層	114-11			弥生・中
B-30	鉢	II区	河川跡	15層	114-1	42-9 10.3		弥生・中
B-31	鉢	II区	河川跡	15層	114-10	42-11 20.2		弥生・中
B-32	壺	II区	河川跡	15層	114-18	43-13		弥生・中
B-33	壺	II区	河川跡	15層	114-7	43-12		弥生・中
B-34	壺	II区	河川跡	15層	114-14			弥生・中
B-35	壺	II区	河川跡	15層	114-15			弥生・中
B-36	壺	II区	河川跡	15層	114-15	43-10		弥生・中
B-37	壺	II区	河川跡	15層	114-16	43-11		弥生・中
B-38	鉢	II区	河川跡	15層	114-2	42-4		弥生・中
B-39	鉢	II区	河川跡	15層	114-3	42-5		弥生・中
B-40	鉢	II区	河川跡	15層	114-6	42-7		弥生・中
B-41	高坏	II区	河川跡	15層	114-9	43-2 (5.6)		弥生・中
B-42	鉢	II区	河川跡	15層	114-4	42-6		弥生・中
B-43	鉢	II区	河川跡	15層	114-5	42-15		弥生・中
B-44	鉢	II区	河川跡	15層	114-7	42-8		弥生・中
B-45	鉢?	II区	河川跡	15層	114-8			弥生・中
B-46	鉢?	II区	河川跡	15層	114-12			弥生・中

## C. 非口口土師器

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	寸法(寸)	器高	年代
C-1	高坏	I区	河川跡	5層	58-3	44-2	(9.1)	
C-2	手取ね土器	I区	河川跡	7A層	58-5		(3.8)	古墳
C-3	壺	I区	河川跡	8層	58-6		(5.9)	古墳
C-4	高坏	I区	河川跡	10層	67-2	44-4	(7.6)	古・前
C-5	口付壺	I区	河川跡	10層	67-3	46-5	(4.0)	古・前
C-6	坏	I区	河川跡	12層	67-1		(5.5)	古・前
C-7	壺	I区	河川跡	15層	72-9	45-6	(12.9)	古・前
C-8	壺	I区	河川跡	15層	72-12	45-4	(3.2)	古・前
C-9	壺	I区	河川跡	15層	72-10	45-3	(13.7)	古・前
C-10	壺	I区	河川跡	15層	73-1	45-8 16.1		古・前
C-11	高坏	I区	河川跡	15層	72-4	44-8	(6.4)	古・前
C-12	壺	I区	河川跡	15層	72-11		(4.8)	古・前
C-13	甗台	I区	河川跡	15層	72-3	44-7	(5.6)	古・前
C-14	壺	I区	河川跡	15層	73-4		(7.4)	古・前
C-15	壺	I区	河川跡	15層	72-8	45-2	(6.6)	古・前
C-16	高坏	I区	河川跡	15層	72-6	44-3	(6.7)	古・前
C-17	壺	I区	河川跡	15層	72-14	45-7	(19.0)	古・前
C-18	口付壺	I区	河川跡	16層	73-2	46-6	(4.0)	古・前
C-19	甗台	I区	河川跡	16層	72-5	44-9	(5.2)	古・前
C-20	壺	I区	河川跡	16層	73-3	46-10 13.1		古・前
C-21	壺	I区	河川跡	16層	72-13	45-6	(12.0)	古・前
C-22	壺	I区	河川跡	16層	72-7	45-1 10.1		古・前
C-23	壺	I区	河川跡	16層	58-4	66-7	(9.7)	平安
C-24	壺	II区	河川跡	7層	95-1		(2.6)	平安
C-25	壺	II区	河川跡	8層	95-2		(2.6)	平安
C-26	壺	II区	河川跡	8層	95-4		(3.2)	平安

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	寸法(寸)	器高	年代	
C-27	高坏	II区	河川跡	8層	93-3		(5.9)	平安	
C-28	高坏	II区	河川跡	11層	101-1	44-5	(7.7)	古・中	
C-29	壺	II区	河川跡	11層	101-4		(6.1)	古・中	
C-30	壺	II区	河川跡	11層	101-3	46-8	(7.9)	古・中	
C-31	壺	II区	河川跡	11層	101-5		(2.0)	古・中	
C-32	小形手取ね土器	II区	河川跡	11層	101-2		41-1	(2.3)	古・中
C-33	壺	II区	河川跡	12層	105-10	49-9	(12.0)	古・前	
C-34	壺	II区	河川跡	12層	105-7	46-3	(3.4)	古・前	
C-35	壺	II区	河川跡	12層	105-6	49-1	(2.2)	古・前	
C-36	壺	II区	河川跡	12層	105-12		(3.1)	古・前	
C-37	高坏	II区	河川跡	12層	105-4	44-6	(7.4)	古・前	
C-38	壺	II区	河川跡	12層	105-9		(1.3)	古・前	
C-39	甗台	II区	河川跡	12層	105-3		(3.0)	古・前	
C-40	壺	II区	河川跡	12層	105-5		(5.8)	古・前	
C-41	壺	II区	河川跡	12層	105-11		(1.0)	古・前	
C-42	火罨	II区	河川跡	12層	105-8	46-3	(3.2)	古・前	
C-43	壺	II区	河川跡	12層	122-2	46-4	(5.4)	古・前	
C-45	坏	II区	河川跡	29層	127-2		(4.9)	古・後	
C-46	坏	II区	河川跡	3層	127-4		(3.9)	古・後	
C-47	坏	II区	河川跡	3層	127-3			古・後	
C-48	外 土師器	II区	河川跡	3層	127-1		(4.1)		
C-49	外 土師器	I区	河川跡	5層	72-2		(6.0)		
C-50	甗台	II区	河川跡	12層	128-1	44-10	8.0		

## D. ロク口土師器

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	寸法(寸)	器高	年代
D-1	壺	II区	河川跡	3層	82-1		(5.8)	平安
D-2	壺	II区	河川跡	5層	88-8	47-7	(12.4)	平安
D-3	壺	II区	河川跡	5層	88-6	47-5	(6.0)	平安
D-4	壺	II区	河川跡	5層	88-7	47-6	(8.3)	平安
D-5	坏	II区	河川跡	5層	88-3		(2.0)	平安
D-6	外 土師器	II区	河川跡	2層	82-2	47-1	3.5	平安
D-7	坏	II区	河川跡	2層	88-5	47-4	5.9	平安
D-8	外 土師器	II区	河川跡	5層	88-4	47-3	3.7	平安
D-9	坏	II区	河川跡	5層	88-3	47-2	5.6	平安

## E. 須臾器

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	寸法(寸)	器高	年代
E-1	壺	II区	河川跡	5層	89-1	48-2	36.6	平安
E-2	壺	II区	河川跡	5層	88-9	48-1	(5.0)	平安

## F. G. 瓦類

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	寸法(寸)	器高	年代
F-1	瓦瓦	II区	河川跡	5層	82-2		49-1	平安
F-2	瓦瓦	I区	河川跡	11層	101-7		49-2	平安
G-1	平瓦	II区	河川跡	15層	82-2		49-3	平安
G-2	平瓦	II区	河川跡	3層	82-3		49-4	平安
G-3	平瓦	II区	河川跡	5層	89-3		49-5	平安

## I. 陶器類

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	寸法(寸)	器高	年代
I-1	?	I区	水田跡	1B層	39-1		49-6	(5.3)
I-2	?	I区	水田跡	1B層	37-2		49-7	(3.6)
I-3	折鉢前	II区	水田跡	1A層			49-8	近世

## K. 石器・石製品

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	寸法(寸)	器高	年代
K-1	磨石	I区	河川跡	6層	73-9	31-5	11.4	
K-4	砥	I区	河川跡	6層				
K-5	不定形石磨	I区	河川跡	1A層	38-8	50-4	7.5	
K-6	不定形石磨	I区	河川跡	1A層	15層	73-6	50-3	3.0
K-7	磨石	I区	河川跡	5層	90-2	31-7	6.6	
K-8	磨石	II区	河川跡	11層				近世
K-9	石臼	II区	河川跡	1B層	82-6		8.4	
K-10	削片石磨	II区	河川跡	1A層	128-3	39-5	4.1	
K-11	削片	II区	河川跡	1層				
K-12	板状石磨	II区	河川跡	1A層	128-2	31-3	12.2	
K-13	削片石磨	II区	河川跡	1A層			3.0	

押口遺跡登録遺物目録 2

登録番号	品類・種別	地区	遺跡名	層位	表層番号	写真番号	全長	年代
K-14	鏃	Ⅱ区	河川跡	19層	82-4	51-6	6.1	
K-15	鏃	Ⅱ区	河川跡	19層	82-5	51-9	3.3	
K-16	鏃	Ⅱ区	河川跡	19層	82-4	51-9	3.3	
K-17	刺片石	Ⅱ区	河川跡	5層	90-1	50-6	3.1	
K-18	鏃	Ⅱ区	河川跡	5層				平安
K-19	鏃	Ⅱ区	河川跡	5層		50-7		平安
K-20	鏃	Ⅱ区	河川跡	8層				平安
K-21	板状石鏃	Ⅱ区	河川跡	8層	95-5	51-1	8.9	
K-22	鏃	Ⅱ区	河川跡	10層	101-6	51-10	11.6	
K-23	鏃・鏃石	Ⅱ区	河川跡	12層	105-13	51-11	11.7	
K-24	鏃	Ⅱ区	河川跡	12層				弥生・中
K-25	刺片	Ⅱ区	河川跡	14層				弥生・中
K-26	アノリ方式石鏃	Ⅱ区	SX-1	7層	73-8	50-2	5.4	
K-27	石鏃	Ⅱ区	SX-1	7層	73-7	50-2	2.2	
K-28	板状石鏃	Ⅱ区	河川跡	15層	79-7	51-2	15.8	弥生・中
K-29	四石	Ⅳ区	4	15層	125-1	51-12	11.4	
K-30	鏃	Ⅳ区	5	15層	125-2	51-8	7.8	
K-31	四石	Ⅳ区	5	2層	135-3	51-13	14.1	
K-32	板状石鏃	Ⅳ区	1	15層	122-1	51-4	6.3	
K-33	四石	Ⅳ区	1	15層	78-8	61-14	10.8	

L. 木製品

登録番号	品類・種別	地区	遺跡名	層位	表層番号	写真番号	全長	年代
L-1	不明	Ⅰ区	河川跡	6層	61-1	52-1	17.8	平安
L-2	不明	Ⅰ区	河川跡	6層	63-7	57-6	32.2	平安
L-3	曲二又鏃	Ⅰ区	河川跡	13層	77-1	52-2	40.7	古・新
L-4	不明	Ⅰ区	SX-1	5層	74-3	57-3	12.6	古・新
L-5	焼痕材	Ⅰ区	SX-1	4層	74-6	59-2	43.3	古・新
L-6	不明	Ⅰ区	SX-1	4層	74-4		5.6	古・新
L-7	杵状木製品	Ⅰ区	SX-1	6層	74-1	57-1	28.9	古・新
L-8	不明	Ⅰ区	SX-1	6層	74-2	57-2	23.0	古・新
L-9	杵状木製品	Ⅰ区	SX-1	6層	74-5	57-2	23.0	古・新
L-10	分銅材	Ⅰ区	河川跡	6層	61-4		23.9	平安
L-11	丸材	Ⅰ区	河川跡	6層	61-5		5.6	平安
L-12	丸材	Ⅰ区	河川跡	6層			18.6	平安
L-13	板口板	Ⅰ区	河川跡	6層	61-2		9.7	平安
L-14	丸材	Ⅰ区	河川跡	6層	61-6		16.6	平安
L-15	半楕丸杖	Ⅰ区	河川跡	6層	61-7		18.0	平安
L-16	丸杖	Ⅰ区	河川跡	7層	62-2		54.1	平安
L-17	丸杖	Ⅰ区	河川跡	7層	62-4		61.9	平安
L-18	板杖	Ⅰ区	河川跡	7層	62-2	61-5	46.4	平安
L-19	丸杖	Ⅰ区	河川跡	7層	62-5		12.1	平安
L-20	不明	Ⅰ区	河川跡	7層	62-1	57-4	12.2	平安
L-21	柄	Ⅰ区	河川跡	10層	63-1	54-2	111.2	平安
L-22	丸杖	Ⅰ区	河川跡	8層	64-6		52.1	平安
L-23	板口板	Ⅰ区	河川跡	10層	64-2		10.5	平安
L-24	分銅材	Ⅰ区	河川跡	10層			20.9	平安
L-25	丸杖	Ⅰ区	河川跡	10層			21.4	平安
L-26	板口板	Ⅰ区	河川跡	10層	64-3		24.2	平安
L-27	丸杖	Ⅰ区	河川跡	8層	63-5		36.7	平安
L-28	文字木製品	Ⅰ区	河川跡	10層	64-1		5.3	平安
L-29	丸杖	Ⅰ区	河川跡	8層	64-7		49.6	平安
L-30	丸杖	Ⅰ区	河川跡	8層	64-7	61-10	49.8	平安
L-31	丸杖	Ⅰ区	河川跡	8層	63-6		141.0	平安
L-32	分銅材	Ⅰ区	河川跡	8層	64-5		78.0	平安
L-33	分銅材	Ⅰ区	河川跡	8層	63-4		233.5	平安
L-34	楕圓材	Ⅰ区	河川跡	10層	66-1	59-1	26.6	古・中
L-35	分銅材	Ⅰ区	河川跡	11層	66-2		25.1	古・中
L-36	板口板	Ⅰ区	河川跡	12層	68-1		51.6	古・新
L-37	半楕丸杖	Ⅰ区	河川跡	12層	68-4	61-6	23.6	古・新
L-38	分銅材	Ⅰ区	河川跡	12層	68-2		40.6	古・新
L-39	丸杖	Ⅰ区	河川跡	12層	68-2		17.6	古・新
L-40	分銅材	Ⅰ区	河川跡	13層	77-4		27.6	古・新
L-41	板口板	Ⅰ区	河川跡	13層	77-3		30.7	古・新
L-42	板口板	Ⅰ区	河川跡	13層	77-2		25.3	古・新
L-43	半楕丸杖	Ⅰ区	河川跡	13層	77-6		16.4	古・新
L-44	分銅材	Ⅰ区	河川跡	13層	77-5		26.4	古・新
L-45	楕圓材	Ⅰ区	河川跡	13層	77-7		28.4	古・新
L-46	分銅材	Ⅰ区	河川跡	14層	83-5		61.2	弥生・中
L-47	丸杖	Ⅰ区	河川跡	14層	80-1		137.5	弥生・中
L-48	板口板	Ⅰ区	河川跡	15層	81-1	61-1	15.0	弥生・中
L-49	丸杖	Ⅰ区	河川跡	15層	81-3		30.8	弥生・中
L-50	板口板	Ⅰ区	河川跡	15層	81-2	61-2	16.3	弥生・中
L-51	丸杖	Ⅰ区	河川跡	15層	80-2		223.0	弥生・中
L-52	分銅材	Ⅰ区	河川跡	15層	81-4		60.1	弥生・中
L-53	丸杖	Ⅰ区	SX-1	1層	73-3		103.8	古・新

登録番号	品類・種別	地区	遺跡名	層位	表層番号	写真番号	全長	年代
L-54	丸杖	Ⅰ区	SX-1	4層	75-6		32.3	古・新
L-55	半楕丸杖	Ⅰ区	SX-1	5層	75-1		42.3	古・新
L-56	半楕丸杖	Ⅰ区	SX-1	5層	75-2		52.2	古・新
L-57	丸杖	Ⅰ区	SX-1	5層	75-4		144.7	古・新
L-58	分銅材	Ⅰ区	SX-1	4層			4.3	古・新
L-59	分銅材	Ⅰ区	SX-1	6層	74-7		48.8	古・新
L-60	分銅材	Ⅰ区	SX-1	4層	74-8		69.1	古・新
L-61	丸杖	Ⅰ区	SX-1	5層	75-5		198.4	古・新
L-62	楕圓材	Ⅰ区	SX-1	5層	76-1		63.3	古・新
L-63	半楕丸杖	Ⅰ区	SX-1	6層	76-2		48.4	古・新
L-64	丸杖	Ⅰ区	SX-1	6層	76-3	62-2	35.0	古・新
L-65	板口板	Ⅰ区	河川跡	6層	61-3	61-4	79.0	平安
L-66	楕圓材	Ⅱ区	河川跡	5層	87-10	58-8	49.0	平安
L-67	楕圓材(楕圓)	Ⅱ区	河川跡	5層	87-3		5.6	平安
L-68	楕圓材(楕圓)	Ⅱ区	河川跡	5層	87-4		6.2	平安
L-69	楕圓材(楕圓)	Ⅱ区	河川跡	5層	87-6	58-2	4.9	平安
L-70	円板	Ⅱ区	河川跡	5層	87-8	58-7	13.9	平安
L-71	円板	Ⅱ区	河川跡	5層	87-9	58-6	8.7	平安
L-72	円板	Ⅱ区	河川跡	5層	87-7	38-9	10.7	平安
L-73	円板	Ⅱ区	河川跡	5層	87-6	38-4	13.0	平安
L-74	角材	Ⅱ区	河川跡	9層	100-5		68.1	古・中
L-75	楕圓材(?)	Ⅱ区	河川跡	9層	100-1	69-1	92.2	古・中
L-76	楕圓材	Ⅱ区	河川跡	10層	102-1	53-4	33.4	古・中
L-77	不明	Ⅱ区	河川跡	10層	102-2	57-7	63.9	古・中
L-78	角材	Ⅱ区	河川跡	10層	102-4		70.7	古・中
L-79	角材	Ⅱ区	河川跡	10層	102-3		84.3	古・中
L-80	角材	Ⅱ区	河川跡	11層	103-1	56-4	37.5	古・中
L-81	角材	Ⅱ区	河川跡	11層	103-2	56-3	3.1	古・中
L-82	角材	Ⅱ区	河川跡	12層	107-1	52-3	63.9	古・新
L-83	楕圓材(楕圓)	Ⅱ区	河川跡	12層	107-2	52-3	40.7	古・新
L-84	楕圓材(楕圓)	Ⅱ区	河川跡	12層	106-1	52-3	34.9	古・新
L-85	楕圓材	Ⅱ区	河川跡	12層	106-4	52-4	49.9	古・新
L-86	楕圓材	Ⅱ区	河川跡	12層	106-1	61-3	66.7	古・新
L-87	楕圓材	Ⅱ区	河川跡	12層	106-2		7.0	古・新
L-88	楕圓材	Ⅱ区	河川跡	12層	106-3	33-1	4.2	古・新
L-89	丸	Ⅱ区	河川跡	12層	106-5	56-5	15.1	弥生・中
L-90	円板	Ⅱ区	河川跡	14層	115-1	95-1	51.5	弥生・中
L-91	楕圓材(楕圓)	Ⅱ区	河川跡	14層	116-1	94-1	27.1	弥生・中
L-92	丸杖	Ⅱ区	河川跡	13層	115-3	95-3	120.2	弥生・中
L-93	半楕丸杖(半楕丸)	Ⅱ区	河川跡	11層	103-2	56-1	72.5	弥生・中
L-94	円板	Ⅱ区	河川跡	11層	115-2		85.4	弥生・中
L-95	楕圓材	Ⅱ区	河川跡	15層	115-4	94-5	44.9	弥生・中
L-96	楕圓材	Ⅱ区	河川跡	15層	115-5	94-6	26.1	弥生・中
L-97	丸	Ⅱ区	河川跡	15層	115-6	94-2	8.2	弥生・中
L-98	楕圓材	Ⅱ区	河川跡	6層	91-1		113.6	平安
L-99	板口板	Ⅱ区	河川跡	6層	91-5		166.8	平安
L-100	分銅材	Ⅱ区	河川跡	6層	91-3		64.0	平安
L-101	分銅材	Ⅱ区	河川跡	6層	91-4		122.3	平安
L-102	丸杖	Ⅱ区	河川跡	6層			35.4	平安
L-103	分銅材	Ⅱ区	河川跡	6層			36.7	平安
L-104	分銅材	Ⅱ区	河川跡	6層			49.8	平安
L-105	分銅材	Ⅱ区	河川跡	6層	91-6		36.5	平安
L-106	丸杖	Ⅱ区	河川跡	6層	92-6		85.8	平安
L-107	丸杖	Ⅱ区	河川跡	6層	92-3		49.9	平安
L-108	分銅材	Ⅱ区	河川跡	6層	91-7		60.0	平安
L-109	丸杖	Ⅱ区	河川跡	6層	92-1		26.1	平安
L-110	丸杖	Ⅱ区	河川跡	6層	92-4		34.5	平安
L-111	半楕丸杖	Ⅱ区	河川跡	6層	92-2	61-8	47.7	平安
L-112	分銅材	Ⅱ区	河川跡	6層	92-1		57.1	平安
L-113	板口板	Ⅱ区	河川跡	6層	91-2		47.3	平安
L-114	丸杖	Ⅱ区	河川跡	7層	96-1	61-9	42.8	平安
L-115	板口板	Ⅱ区	河川跡	7層	93-6		13.9	平安
L-116	板口板	Ⅱ区	河川跡	7層	93-5		7.0	平安
L-117	丸杖	Ⅱ区	河川跡	7層	96-6		26.0	平安
L-118	丸杖	Ⅱ区	河川跡	7層			42.1	平安
L-119	分銅材	Ⅱ区	河川跡	7層			15.0	平安
L-120	分銅材	Ⅱ区	河川跡	7層	96-1		64.0	平安
L-121	分銅材	Ⅱ区	河川跡	7層			14.4	平安
L-122	分銅材	Ⅱ区	河川跡	7層			57.0	平安
L-123	丸杖	Ⅱ区	河川跡	7層	96-2		44.3	平安
L-124	丸杖	Ⅱ区	河川跡	7層	96-7		288.5	平安
L-125	板口板	Ⅱ区	河川跡	7層	93-4		62.8	平安
L-126	分銅材	Ⅱ区	河川跡	8層	97-7		24.2	平安
L-127	分銅材	Ⅱ区	河川跡	8層	97-4		127.7	平安
L-128	分銅材	Ⅱ区	河川跡	8層			37.5	平安
L-129	分銅材	Ⅱ区	河川跡	8層			42.8	平安
L-130	角材	Ⅱ区	河川跡	8層	97-6		46.0	平安

### 押入道跡登録遺物目録3

登録番号	器種・類別	地区	遺物名	層位	発掘番号	考古番号	全長	年代
L-131	燧石片	II区	河川跡	8層	97-1	60-4	86.1	平安
L-132	瓦片	II区	河川跡	8層	97-2		176.0	平安
L-133	分銅材	II区	河川跡	8層			22.3	平安
L-134	角材	II区	河川跡	8層	97-3		133.9	平安
L-135	板瓦板	II区	河川跡	8層	97-5		20.0	平安
L-136	分銅材	II区	河川跡	9層	100-6		35.8	古・中
L-137	燧石片(?)	II区	河川跡	9層	100-3		146.4	古・中
L-138	板瓦板	II区	河川跡	9層	100-4		13.0	古・中
L-139	燧石片(?)	II区	河川跡	9層	100-2	60-2	186.2	古・中
L-140	炭化材	II区	河川跡	10層			20.0	古・中
L-141	炭化材	II区	河川跡	10層			5.9	古・中
L-142	分銅材	II区	河川跡	10層			14.8	古・中
L-143	分銅材	II区	河川跡	10層	102-6		95.4	古・中
L-144	板瓦板	II区	河川跡	10層	102-3		64.0	古・中
L-145	分銅材	II区	河川跡	11層			15.5	古・中
L-146	角材	II区	河川跡	11層	103-4		10.7	古・中
L-147	半鍍丸杖	II区	河川跡	11層	103-6		36.6	古・中
L-148	板瓦板	II区	河川跡	11層			28.0	古・中
L-149	不明	II区	河川跡	11層			5.4	古・中
L-150	ナナノ板	II区	河川跡	11層	103-3		29.2	古・中
L-151	瓦片	II区	河川跡	11層	103-5	61-7	10.1	古・中
L-152	角材	II区	河川跡	12層	108-6		28.4	古・前
L-153	角材	II区	河川跡	12層	108-3		34.9	古・前
L-154	瓦片	II区	河川跡	12層	110-1		21.9	古・前
L-155	瓦片	II区	河川跡	12層	109-8		38.1	古・前
L-156	分銅材	II区	河川跡	12層	109-3		17.4	古・前
L-157	瓦片	II区	河川跡	12層	109-7		51.7	古・前
L-158	炭化材	II区	河川跡	12層			48.5	古・前
L-159	炭化材	II区	河川跡	12層			39.3	古・前
L-160	分銅材	II区	河川跡	12層			32.0	古・前
L-161	炭化材	II区	河川跡	12層			32.9	古・前
L-162	角材(分銅材)	II区	河川跡	12層	108-4		8.3	古・前
L-163	燧石片	II区	河川跡	12層	107-3	54-7	31.7	古・前
L-164	角材	II区	河川跡	12層	108-7		81.3	古・前
L-165	炭化材	II区	河川跡	12層			20.2	古・前
L-166	炭化材	II区	河川跡	12層			28.5	古・前
L-167	炭化材	II区	河川跡	12層			12.6	古・前
L-168	炭化材	II区	河川跡	12層			20.0	古・前
L-169	炭化材	II区	河川跡	12層			98.0	古・前
L-170	炭化材	II区	河川跡	12層			11.4	古・前
L-171	分銅材	II区	河川跡	12層	109-5		37.5	古・前
L-172	分銅材	II区	河川跡	12層			35.6	古・前
L-173	分銅材	II区	河川跡	12層			23.0	古・前
L-174	炭化材	II区	河川跡	12層			12.9	古・前
L-175	分銅材	II区	河川跡	12層			18.6	古・前
L-176	炭化材	II区	河川跡	12層			17.6	古・前
L-177	分銅材	II区	河川跡	12層	109-2		23.0	古・前
L-178	炭化材	II区	河川跡	12層			26.4	古・前
L-179	分銅材	II区	河川跡	12層	109-4		13.5	古・前
L-180	炭化材	II区	河川跡	12層			39.8	古・前
L-181	炭化材	II区	河川跡	12層			10.8	古・前
L-182	炭化材	II区	河川跡	12層			全長不詳	古・前
L-183	瓦片	II区	河川跡	12層			9.1	古・前
L-184	炭化材	II区	河川跡	12層			21.7	古・前
L-186	炭化材	II区	河川跡	12層			26.8	古・前
L-187	分銅材	II区	河川跡	12層		60-3	13.1	古・前
L-188	炭化材	II区	河川跡	12層			7.8	古・前
L-189	炭化材	II区	河川跡	12層			10.1	古・前
L-190	炭化材	II区	河川跡	12層			25.4	古・前
L-191	炭化材	II区	河川跡	12層			9.9	古・前
L-192	炭化材	II区	河川跡	12層			14.0	古・前
L-193	板瓦板	II区	河川跡	12層			31.8	古・前
L-194	角材	II区	河川跡	12層	108-5		21.0	古・前
L-195	炭化材	II区	河川跡	12層			14.0	古・前
L-196	炭化材	II区	河川跡	12層			14.0	古・前
L-197	分銅材	II区	河川跡	12層	109-6		48.0	古・前
L-198	分銅材	II区	河川跡	12層	109-1		96.8	古・前
L-199	奥目盛柄	II区	河川跡	12層	107-4	54-4	55.6	古・前
L-200	板瓦板	II区	河川跡	12層	107-5		35.1	古・前
L-201	炭化材	II区	河川跡	12層			20.8	古・前
L-202	炭化材	II区	河川跡	12層			112.0	古・前
L-203	炭化材	II区	河川跡	12層			34.7	古・前
L-204	炭化材	II区	河川跡	12層			18.9	古・前
L-205	分銅材	II区	河川跡	12層			31.3	古・前
L-208	分銅材	II区	河川跡	13層	111-2		19.0	古・前
L-207	分銅材	II区	河川跡	13層	111-1		23.2	古・前

登録番号	器種・類別	地区	遺物名	層位	発掘番号	写真番号	全長	年代
L-208	板瓦板	II区	河川跡	15層			25.3	古・中
L-209	角材	II区	河川跡	15層	117-2		133.6	古・中
L-210	分銅材	II区	河川跡	15層			31.2	古・中
L-211	分銅材	II区	河川跡	15層			9.9	古・中
L-212	瓦片	II区	河川跡	15層	117-1		173.5	古・中
L-213	分銅材	II区	河川跡	15層	118-7		87.4	古・中
L-214	分銅材	II区	河川跡	15層	118-4		34.5	古・中
L-215	分銅材	II区	河川跡	15層	117-4		17.8	古・中
L-216	分銅材	II区	河川跡	15層	117-8		70.8	古・中
L-217	分銅材	II区	河川跡	15層			26.4	古・中
L-218	分銅材	II区	河川跡	15層	118-5		82.9	古・中
L-219	分銅材	II区	河川跡	15層	118-1		80.2	古・中
L-220	分銅材	II区	河川跡	15層	117-6		56.0	古・中
L-221	分銅材	II区	河川跡	15層	117-7		54.3	古・中
L-222	分銅材	II区	河川跡	15層	117-5		12.5	古・中
L-223	分銅材	II区	河川跡	15層			27.8	古・中
L-224	板瓦板	II区	河川跡	15層	118-3		31.3	古・中
L-225	分銅材	II区	河川跡	15層	118-2		56.0	古・中
L-226	分銅材	II区	河川跡	15層			21.2	古・中
L-227	分銅材	II区	河川跡	15層	118-6		40.4	古・中
L-228	角材	II区	河川跡	15層	117-3		18.7	古・中
L-229	分銅材	II区	河川跡	15層	118-3		38.3	古・中
L-230	瓦片	II区	河川跡	2層	85-3	62-8	169.2	古・前
L-231	瓦片	II区	河川跡	2層	85-4	62-9	172.6	古・前
L-232	瓦片	II区	河川跡	2層	85-2	62-11	245.8	古・前
L-233	瓦片	II区	河川跡	2層	85-5		29.2	古・前
L-234	瓦片	II区	河川跡	2層	85-1	62-10	274.8	古・前
L-235	瓦片	II区	河川跡	2層			142.6	古・前
L-236	瓦片	II区	河川跡	3層	87-1	62-6	136.1	古・前
L-237	瓦片	II区	河川跡	3層	87-2	62-7	175.4	古・前
L-238	燧石片	II区	河川跡	6層	99-1		83.0	平安
L-239	瓦片	II区	河川跡	6層	99-3		80.2	平安
L-240	瓦片	II区	河川跡	6層	99-2	62-4	90.7	平安
L-241	瓦片	II区	河川跡	7層	96-8		51.9	平安
L-242	瓦片	II区	河川跡	8層	97-8		21.0	平安
L-243	瓦片	II区	河川跡	8層	97-10		11.3	平安
L-244	燧石片	II区	河川跡	8層		62-5	43.5	平安
L-245	燧石片	II区	河川跡	8層			12.8	平安
L-246	角材	II区	河川跡	8層	97-9		44.6	平安
L-247	瓦片	II区	河川跡	9層	100-7		26.6	古・中
L-248	瓦片	II区	河川跡	11層	103-8		30.1	古・中
L-249	半鍍丸杖	II区	河川跡	11層	103-7		19.5	古・中
L-250	瓦片	II区	河川跡	12層	110-7		9.8	古・前
L-251	瓦片	II区	河川跡	12層	110-4		15.3	古・前
L-252	半鍍丸杖	II区	河川跡	12層	110-3		79.7	古・前
L-253	瓦片	II区	河川跡	12層	110-5		41.1	古・前
L-254	半鍍丸杖	II区	河川跡	12層	110-2	62-1	92.3	古・前
L-255	瓦片	II区	河川跡	12層	110-7		49.1	古・前
L-256	瓦片	II区	河川跡	13層	111-3		18.7	古・前
L-257	銅片	I区	河川跡	4層	63-3	54-3	20.2	平安
L-258	分銅材	II区	河川跡	6層	121-1		44.5	平安?
L-259	瓦片	II区	河川跡	6層	121-2		23.4	平安?

### N. 金属製品

登録番号	器種・類別	地区	遺物名	層位	発掘番号	写真番号	全長	年代
N-1	指輪	II区	河川跡	1層	82-9		49-9	1.1
N-2	釦鉄	II区	河川跡	1層	82-7		49-10	9.9
N-2	鉄線	II区	河川跡	1a層	82-8			1.4

### O. 自然遺物

登録番号	器種・類別	地区	遺物名	層位	発掘番号	写真番号	全長	年代
O-1	骨片	II区	河川跡	1a層				近世

### P. 土製品

登録番号	器種・類別	地区	遺物名	層位	発掘番号	写真番号	全長	年代
P-1	鈚鉢車	I区	XS-1	6層	73-5		49-11	6.6
								古・前

中在家南道跡登録遺物目録 1

A. 縄文土器

登録番号	遺物・類別	地区	遺跡名	層位	実測番号	寸法(単位)	高さ	年代
A-1	深鉢(壺)	II区	伊豆	B-2	230-2	167-1	28.9	縄・晩

B. 弥生土器

登録番号	遺物・類別	地区	遺跡名	層位	実測番号	寸法(単位)	高さ	年代
B-1	土	II区	河川跡	10層	168-15			縄・中
B-2	土	II区	河川跡	15層	217-7	168-8	(5.3)	縄・中
B-3	土	II区	河川跡	9層	232-1	168-16	(12.3)	縄・中
B-4	土	II区	河川跡	15層	214-12	167-7	(6.0)	縄・中
B-5	土	II区	河川跡	15層	215-6	168-2	(6.0)	縄・中
B-6	土	II区	河川跡	15層	215-5	168-1	(3.6)	縄・中
B-7	土	II区	河川跡	14層	202-1	168-5		縄・中
B-8	土	II区	河川跡	14層	202-10	168-7	3.4	縄・中
B-9	土	II区	河川跡	14層	202-3	168-14		縄・中
B-10	土	II区	河川跡	15層	214-11	168-13		縄・中
B-11	土	II区	河川跡	15層	215-8	168-4		縄・中
B-12	鉢	II区	河川跡	13層	191-12	167-16		縄・中
B-13	土	II区	河川跡	13層	191-13	168-15		縄・中
B-14	鉢	II区	河川跡	14層	202-4	167-13		縄・中
B-15	鉢	II区	河川跡	14層	202-5	167-14		縄・中
B-16	鉢?	II区	河川跡	14層	202-8			縄・中
B-17	土	II区	河川跡	14層	202-9	168-6	(8.3)	縄・中
B-18	鉢?	II区	河川跡	14層	202-6	167-15		縄・中
B-19	土	II区	河川跡	14層	202-2			縄・中
B-20	土	II区	河川跡	14層	202-11	168-8	6.2	縄・中
B-21	土	II区	河川跡	15層	214-2	168-9		縄・中
B-22	土	II区	河川跡	15層	215-2	167-4		縄・中
B-23	土	II区	河川跡	15層	215-1		(2.9)	縄・中
B-24	土	II区	河川跡	15層	215-3	167-5	(3.6)	縄・中
B-25	土	II区	河川跡	15層	215-4	167-6		縄・中
B-26	鉢?	II区	河川跡	15層	214-7	167-12		縄・中
B-27	土	II区	河川跡	15層	217-1	168-10		縄・中
B-28	鉢	II区	河川跡	15層	214-6	167-10		縄・中
B-29	鉢?	II区	河川跡	15層	214-6	167-8		縄・中
B-30	高鉢?	II区	河川跡	15層	214-5	167-3		縄・中
B-31	鉢	II区	河川跡	15層	214-9	167-11		縄・中
B-32	鉢	II区	河川跡	13層	214-7	167-9		縄・中
B-33	土	II区	河川跡	13層	214-1	168-11	(6.5)	縄・中
B-34	土	II区	河川跡	15層	213-3	168-12	(7.9)	縄・中
B-35	土	II区	河川跡	15層	214-19		(6.0)	縄・中
B-37	高鉢	II区	河川跡	16層	230-1	167-2	(12.4)	縄・前
B-38	鉢	V区	河川跡	1層	266-1	171-1		縄・中
B-39	土	V区	河川跡	1層	266-2	171-23	(6.0)	縄・中
B-40	鉢?	V区	河川跡	1層	266-3	171-2		縄・中
B-41	鉢?	V区	河川跡	1層	266-4	171-3		縄・中
B-42	鉢?	V区	河川跡	1層	266-5	171-4		縄・中
B-43	鉢?	V区	河川跡	1層	266-6	171-5		縄・中
B-44	土	V区	河川跡	1層	266-7	171-13		縄・中
B-45	土	V区	河川跡	1層	266-8	171-14		縄・中
B-46	土	V区	河川跡	1層	266-9	171-15		縄・中
B-47	土	V区	河川跡	1層	266-10	171-16		縄・中
B-48	土	V区	河川跡	1層	266-11	171-17		縄・中
B-49	土	V区	河川跡	1層	266-13	171-18		縄・中
B-50	土	V区	河川跡	1層	266-13	171-19		縄・中
B-51	鉢	V区	河川跡	1層	266-14	171-6		縄・中
B-52	鉢?	V区	SD-27		267-1	171-7		縄・中
B-53	鉢	V区	SK-31		267-2	171-8		縄・中
B-54	鉢?	V区	SX-8		267-3	171-9		縄・中
B-55	土	V区	SX-8		267-4	171-21		縄・中
B-56	土	V区	SX-8		267-5	171-20		縄・中
B-57	鉢?	V区	SX-8		267-6	171-10		縄・中
B-58	土	V区	SX-8		267-7	171-11		縄・中
B-59	鉢?	V区	SX-9		267-8	171-12		縄・中
B-60	土	V区	SX-9		267-9	171-22	(5.3)	縄・中
B-61	土	IV区	河川跡	1層	246-1	170-1		縄・中
B-62	土	IV区	河川跡	1層	246-2	170-2		縄・中
B-63	鉢?	IV区	河川跡	1層	246-3	170-9		縄・中
B-64	土	IV区	河川跡	1層	246-4	170-3		縄・中
B-65	鉢?	IV区	河川跡	1層	246-5	170-10		縄・中
B-66	鉢?	IV区	河川跡	1層	246-6	170-11		縄・中
B-67	土	IV区	SD 29		246-7	170-15		縄・中
B-68	土	IV区	SD-29		246-8	170-1		縄・中
B-69	土	IV区	SD 29		246-9	170-5		縄・中
B-70	鉢	IV区	SD-29		246-10	170-12		縄・中
B-71	土	IV区	SD-29		246-11	170-16		縄・中

登録番号	遺物・類別	地区	遺跡名	層位	実測番号	寸法(単位)	高さ	年代
B-72	土	IV区	SD-29		246-13	170-6		縄・中
B-73	土	IV区	SD 29		246-12			縄・中
B-74	土	IV区	SD-29		246-14	170-7		縄・中
B-75	土	IV区	SK 37		251-1			縄・中
B-76	土	IV区	SK-37		251-3			縄・中
B-77	土	IV区	SK 37		251-2			縄・中
B-78	土	IV区	SK-37		251-4			縄・中
B-79	土	IV区	SK 38		254-3	170-14	16.5	縄・中
B-80	土	IV区	or 粟		254-1	169-1	44.1	縄・中
B-81	土	IV区			254-2		(2.5)	縄・中
B-82	土	IV区	河川跡	2層	262-1	170-8		縄・中
B-83	土	IV区	河川跡	2層	262-2	170-13		縄・中
B-84	土	IV区	河川跡	2層	262-3	170-17		縄・中
B-85	土	IV区	河川跡	2層	262-4	170-18		縄・中
B-86	土	IV区	河川跡	2層	262-5		(12.8)	縄・中
B-87	土	IV区	河川跡	9層	312-1	172-8		縄・中
B-88	土	IV区	河川跡	10層	319-1	172-7		縄・中
B-89	土	IV区	河川跡	10層	319-2			縄・中
B-90	土	IV区	河川跡	15層	356-11	172-13		縄・中
B-91	土	IV区	河川跡	14層				縄・中
B-92	土	IV区	河川跡	15層	356-8	172-2		縄・中
B-93	土	IV区	河川跡	15層	356-7	172-1		縄・中
B-94	土	IV区	河川跡	15層	356-2	172-3		縄・中
B-95	土	IV区	河川跡	15層	356-6	172-5		縄・中
B-96	土	IV区	河川跡	15層	356-9	172-4		縄・中
B-97	土	IV区	河川跡	15層	356-1	172-2		縄・中
B-98	土	IV区	河川跡	15層	356-1	172-2		縄・中
B-99	土	IV区	河川跡	15層	356-2			縄・中
B-100	土	IV区	河川跡	15層	356-4			縄・中
B-102	土	IV区	河川跡	15層	356-6			縄・中
B-103	土	IV区	河川跡	13層				縄・中
B-104	土	IV区	河川跡	15層	356-7			縄・中
B-105	土	IV区	河川跡	15層	356-4			縄・中
B-106	土	IV区	河川跡	15層	356-8	172-10		縄・中
B-107	土	IV区	河川跡	15層	356-9			縄・中
B-108	土	IV区	河川跡	15層	355-10	173-1		縄・中
B-109	土	IV区	河川跡	15層	355-2	173-3		縄・中
B-110	土	IV区	河川跡	15層	356-10			縄・中
B-111	土	IV区	河川跡	15層	356-5			縄・中
B-112	土	IV区	河川跡	15層	356-5	172-9		縄・中
B-114	土	IV区	河川跡	13層	355-3	172-6		縄・中
B-115	土	IV区	河川跡	13層	355-3	172-12		縄・中
B-116	土	IV区	河川跡	13層	355-4	172-11		縄・中
B-117	土	IV区	河川跡	13層	355-5	172-10		縄・中
B-118	土	IV区	河川跡	13層	355-6	172-9		縄・中
B-120	土	IV区	河川跡	13層	357-2	176-3	19.8	縄・中
B-121	土	IV区	SD 47		373-5			縄・中
B-122	土	IV区	SD-47		373-4	175-12		縄・中
B-123	土	IV区	SD 47		373-3	174-12		縄・中
B-124	土	IV区	SD-47		373-2	174-11		縄・中
B-125	土	IV区		I層	368-7	175-19		縄・中
B-126	土	IV区		I層	368-8	175-20		縄・中
B-127	土	IV区		I層	368-10	177-10		縄・中
B-128	土	IV区		I層	378-21			縄・中
B-129	土	IV区		I層	378-20			縄・中
B-130	土	IV区		I層	378-3	174-7		縄・中
B-131	土	IV区		I層	378-15	177-2		縄・中
B-132	土	IV区		I層	378-17	177-8		縄・中
B-133	土	IV区		I層	378-15	177-1		縄・中
B-134	土	IV区		I層	368-9	177-9		縄・中
B-135	土	IV区		I層	368-6	175-18		縄・中
B-136	土	IV区		I層	368-1	174-20		縄・中
B-137	土	IV区		I層	368-5	174-21		縄・中
B-138	土	IV区		I層	368-3	174-19		縄・中
B-139	土	IV区		I層	368-2	174-18		縄・中
B-140	土	IV区		I層	368-11	177-18		縄・中
B-141	土	IV区		I層	379-7	174-17	2.3	縄・中
B-142	土	IV区		I層	379-8			縄・中
B-143	土	IV区		I層				縄・中
B-144	土	IV区		I層	379-5	177-16	(3.4)	縄・中
B-145	土	IV区		I層	379-6		(2.7)	縄・中
B-146	土	IV区		I層	378-9	175-6		縄・中
B-147	土	IV区		I層	378-8	175-5		縄・中
B-148	土	IV区		I層	378-6	174-9		縄・中
B-149	土	IV区		I層	378-3	174-8		縄・中
B-150	土	IV区		I層	379-4	177-15	(4.8)	縄・中
B-151	土	IV区		I層	379-3		(4.3)	縄・中
B-152	土	IV区		I層	378-4	177-11		縄・中
B-153	土	IV区		I層	378-11	175-8		縄・中
B-154	土	IV区		I層	378-12	175-9		縄・中

中在家遺跡登錄遺物目錄 2

登録番号	母體・種別	地区	遺跡名	層位	発掘番号	発掘時期	高さ	年代
B-155	鉢	河川跡	田原	378-10	175-7			※・中
B-156	鉢	河川跡	田原	378-14	175-11	(6.2)		※・中
B-157	鉢	河川跡	田原	378-18				※・小
B-158	鉢	河川跡	田原	378-19				※・中
B-159	鉢	河川跡	田原	378-19	175-10			※・中
B-160	鉢	河川跡	田原	378-7	174-10			※・中
B-161	鉢	河川跡	SD-42	371-4	175-13			※・中
B-162	鉢	河川跡	SD 42	371 5	175 14			※・中
B-163	鉢	河川跡	SD-42	371-7	175-16			※・中
B-164	鉢	河川跡	SD 42	371 6	175 15			※・中
B-165	鉢	河川跡	SD-42	371-8	175-17			※・中
B-166	鉢	河川跡	SD-42	371 10	177 6			※・中
B-167	鉢	河川跡	SD-42	371-9	177-5			※・中
B-168	鉢	河川跡	SD-42	371 8	177 7			※・中
B-169	壺	河川跡	SD-42	371-3	174-14			※・中
B-170	壺	河川跡	SD-42	371-2	174-13			※・中
B-171	壺	河川跡	SD 42	371-12				※・中
B-172	壺	河川跡	SD 42	371-13				※・中
B-173	壺	河川跡	SD 42	371 11				※・中
B-174	壺	河川跡	pit7	388-3	174-17			※・中
B-175	壺	河川跡	pit72	388 2	174 16			※・中
B-176	壺	河川跡	小溝D	388-1	174-15			※・中
B-177	鉢	河川跡	SK-51	376-19	175 4			※・中
B-178	高坏	河川跡	SK-51	376-7	177-12			※・中
B-179	鉢	河川跡	SK-51	376-9	175-3			※・中
B-180	鉢	河川跡	SK-51	376 14	177-3			※・中
B-181	壺	河川跡	SK-51	376-15	177-4			※・中
B-182	壺	河川跡	SK-51	376 3	174 4			※・中
B-183	壺	河川跡	SK-51	377-5				※・中
B-184	壺	河川跡	SK-51	377 4				※・中
B-185	壺	河川跡	SK-51	377-7				※・中
B-186	壺	河川跡	SK-51	377-6				※・中
B-187	壺	河川跡	SK-51	377 8				※・中
B-188	壺	河川跡	SK-51	377-9				※・中
B-189	壺	河川跡	SK-51	376 2	174 2			※・後
B-190	壺	河川跡	SK-51	376-1	174-1			※・後
B-191	壺	河川跡	SK 51	376 3	174 3			※・後
B-192	壺	河川跡	SK-51	377-2	176-2	(9.6)		※・中
B-193	壺	河川跡	SK 51	376 6	174 6	(20.4)		※・中
B-194	壺	河川跡	SK-51	377-3				※・中
B-195	壺	河川跡	SK-51	377-10	177-13	9.9		※・中
B-196	鉢	河川跡	SK-51	376-11	175-2	(7.6)		※・中
B-197	小型甕	河川跡	SK-51	376-4	174-3			※・中
B-198	鉢	河川跡	SK 51	376 8	175 1	7.7		※・中
B-199	壺	河川跡	SK-51	376-12	176-3	(13.3)		※・中
B-200	壺	河川跡	SK-51	377 11	177 14	7.6		※・中
B-201	壺	河川跡	SK-51	377-1	176-6	(11.2)		※・中
B-202	壺	河川跡	SK-51	376-13	176-4	(10.6)		※・中
B-203	鉢	河川跡	12層	405 3				※・中
B-204	小型甕	河川跡	12層	405-2				※・中
B-205	壺	河川跡	14層	432 10	201 7	(3.1)		※・中
B-206	高坏	河川跡	15層	443-1	199-2	(5.8)		※・中
B-207	高坏	河川跡	15層	441-1	193 1	(10.2)		※・中
B-208	高坏	河川跡	15層	442-8	194-2	(16.0)		※・中
B-209	高坏	河川跡	15層	441-8				※・中
B-210	壺	河川跡	15層	447 8		(6.4)		※・中
B-211	高坏	河川跡	15層	444-12	195-10	(6.7)		※・中
B-212	壺	河川跡	15層	475-3	211-1	(7.5)		※・中
B-213	壺	河川跡	15層	475-9	212-2	20.4		※・中
B-214	壺	河川跡	15層	476-1	212-3	(10.7)		※・中
B-215	壺	河川跡	15層	476 5		(13.0)		※・中
B-216	壺	河川跡	15層	475-4	210-10	10.9		※・中
B-217	鉢	河川跡	15層	446-10	197-8	8.1		※・中
B-218	鉢	河川跡	15層	447 7	198-6	(8.2)		※・中
B-219	鉢	河川跡	15層	446-7	197-7	7.1		※・中
B-220	鉢	河川跡	15層	447 6	198 3	8.9		※・中
B-221	高坏	河川跡	15層	441-3		(7.2)		※・中
B-222	高坏	河川跡	15層	441 10				※・中
B-223	鉢	河川跡	15層	448-5	199-6	8.6		※・中
B-224	鉢	河川跡	15層	446-18	197-13	7.2		※・中
B-225	鉢	河川跡	15層	445 20	196-18	6.0		※・中
B-226	鉢	河川跡	15層	448-13		(7.3)		※・中
B-227	鉢	河川跡	15層	447 8	198 7	8.7		※・中
B-228	鉢	河川跡	15層	450-1		(6.9)		※・中
B-229	鉢	河川跡	15層	450 9		6.4		※・中
B-230	鉢	河川跡	14層	449 4				※・中
B-231	鉢	河川跡	15層	449-3				※・中

登録番号	母體・種別	地区	遺跡名	層位	発掘番号	発掘時期	高さ	年代
B-232	鉢	河川跡	15層	446-4			(3.7)	※・中
B-233	鉢	河川跡	15層	446 16			6.9	※・中
B-234	壺	河川跡	15層	474 9	210-6		8.4	※・中
B-235	鉢	河川跡	15層	446 9			8.0	※・中
B-236	鉢	河川跡	15層	447 11	198-10		8.0	※・中
B-237	鉢	河川跡	15層	448 10	199 11		9.7	※・中
B-238	鉢	河川跡	15層	450-6	200-3	(7.0)		※・中
B-239	鉢	河川跡	15層	447-3	198 2	8.6		※・中
B-240	鉢	河川跡	15層	447-5	199-2	7.0		※・中
B-241	鉢	河川跡	15層	449-14				※・中
B-242	壺	河川跡	15層	485-17				※・中
B-243	鉢	河川跡	15層	449-9				※・中
B-244	鉢	河川跡	15層	449 10				※・中
B-245	鉢	河川跡	15層	446-8			(6.4)	※・中
B-246	鉢	河川跡	15層	449 17				※・中
B-247	鉢	河川跡	15層	449-13				※・中
B-248	壺	河川跡	15層	486 6			(3.1)	※・中
B-249	鉢	河川跡	15層	450 7				※・中
B-250	鉢	河川跡	15層	449 16				※・中
B-251	高坏	河川跡	15層	444-13			(4.0)	※・中
B-252	壺	河川跡	15層	486-10				※・中
B-253	鉢	河川跡	15層	450 3				※・中
B-254	鉢	河川跡	15層	450-10	200-4		9.8	※・中
B-255	鉢	河川跡	15層	451 5	200 6	10.7		※・中
B-256	鉢	河川跡	15層	451-2	200 7	6.7		※・中
B-257	鉢	河川跡	15層	454 4			(7.1)	※・中
B-258	鉢 or 高坏	河川跡	15層	453-8				※・中
B-259	鉢	河川跡	15層	451-1			(8.5)	※・中
B-260	鉢	河川跡	15層	451 11	200-10			※・中
B-261	鉢	河川跡	15層	450-3				※・中
B-262	壺	河川跡	15層	419 2	179 2	13.4		※・中
B-263	壺	河川跡	15層	422-13	181-4	(12.5)		※・中
B-264	壺	河川跡	15層	451 6	200 9	(8.4)		※・中
B-265	壺	河川跡	15層	422-13	181-6	(8.2)		※・中
B-266	壺	河川跡	15層	422-9		(4.5)		※・中
B-267	壺	河川跡	15層	423-1		(6.0)		※・中
B-268	高坏	河川跡	15層	444-1		(7.6)		※・中
B-269	壺	河川跡	15層	418-15		(6.5)		※・中
B-270	壺	河川跡	16層	484-5	216 9	6.9		※・中
B-271	壺	河川跡	15層	483 8	217-3	(6.6)		※・中
B-272	壺	河川跡	15層	486-5	217-8	(4.8)		※・中
B-273	壺	河川跡	15層	485 3	217-2	(3.8)		※・中
B-274	壺	河川跡	15層	482-1	215-1	5.9		※・中
B-275	壺	河川跡	15層	488-4		(8.3)		※・中
B-276	壺	河川跡	15層	486-8				※・中
B-277	壺	河川跡	15層	490-3				※・中
B-278	壺	河川跡	15層	483 15				※・中
B-279	壺	河川跡	15層	483-5		(5.0)		※・中
B-280	壺	河川跡	15層	484-14		(4.4)		※・中
B-281	壺	河川跡	15層	482-15		(2.9)		※・中
B-282	壺	河川跡	15層	482-14		(4.0)		※・中
B-283	壺	河川跡	15層	484 2		(4.6)		※・中
B-284	壺	河川跡	15層	482-13		(4.8)		※・中
B-285	壺	河川跡	15層	484 3		(3.9)		※・中
B-286	壺	河川跡	15層	484-12		(3.7)		※・中
B-287	壺	河川跡	15層	483-7	216-2	5.4		※・中
B-288	壺	河川跡	15層	486-2	217-5	8.5		※・中
B-289	壺	河川跡	15層	486-1	217-4	10.4		※・中
B-290	壺	河川跡	15層	489 11				※・中
B-291	壺	河川跡	15層	487 2		(6.7)		※・中
B-292	壺	河川跡	15層	484-15		(6.3)		※・中
B-293	壺	河川跡	15層	484 4		(5.4)		※・中
B-294	壺	河川跡	15層	487-7		(4.4)		※・中
B-295	壺	河川跡	15層	481-13		(2.9)		※・中
B-296	壺	河川跡	15層	484-6	216-10	6.6		※・中
B-297	壺	河川跡	15層	483-6	216-1	7.3		※・中
B-298	壺	河川跡	15層	488 9	219-4	11.4		※・中
B-299	壺	河川跡	15層	486-6	219-1	8.5		※・中
B-300	壺	河川跡	15層	489-8		(3.3)		※・中
B-301	壺	河川跡	15層	487-9		7.6		※・中
B-302	壺	河川跡	15層	482-12	216 7	6.2		※・中
B-303	壺	河川跡	15層	489 9		(9.4)		※・中
B-304	壺	河川跡	15層	488-2	216 7	10.5		※・中
B-305	壺	河川跡	15層	487 2	218 2	11.1		※・中
B-306	壺	河川跡	15層	483-2	215 2	6.9		※・中
B-307	壺	河川跡	15層	483-1	215 11	6.8		※・中
B-308	壺	河川跡	15層	489-3		(5.7)		※・中

中在家遺跡登録遺物目録 3

登録番号	遺物・類別	地区	遺跡名	層位	発掘時期	登録番号	層高	年代
B-305	土	河川跡	15階	487-5	(7.9)	※	※	※
B-310	土	河川跡	15階	487-7	(8.1)	※	※	※
B-311	土	河川跡	15階	483-14	(2.9)	※	※	※
B-312	土	河川跡	15階	418-3	178-2	7.4	※	※
B-313	土	河川跡	15階	418-4	178-3	8.1	※	※
B-314	土	河川跡	15階	418-14	178-12	(7.7)	※	※
B-315	土	河川跡	15階	418-13	(4.7)	※	※	※
B-316	土	河川跡	15階	418-1	178-1	(5.6)	※	※
B-317	土	河川跡	15階	420-7		※	※	※
B-318	土	河川跡	15階	419-7		(8.9)	※	※
B-319	土	河川跡	15階	446-3	197-6	5.9	※	※
B-320	土	河川跡	15階	445-9	196-8	5.5	※	※
B-321	土	河川跡	15階	445-25	197-3	6.5	※	※
B-322	土	河川跡	15階	445-19	196-17	6.0	※	※
B-323	土	河川跡	14階	443-4	196-3	3.7	※	※
B-324	土	河川跡	15階	445-17		(5.6)	※	※
B-325	土	河川跡	15階	419-5		※	※	※
B-326	土	河川跡	15階	445-13	196-12	4.7	※	※
B-327	土	河川跡	15階	416-6		(4.3)	※	※
B-328	土	河川跡	15階	445-1		3.3	※	※
B-329	土	河川跡	15階	431-5		※	※	※
B-330	ミニチュア土器	河川跡	15階	430-13	220-8	(4.3)	※	※
B-331	その他土器	河川跡	14階	490-7	220-2		※	※
B-332	土	河川跡	15階	452-8	201-6	11.0	※	※
B-333	土	河川跡	15階	452-7	201-5	10.1	※	※
B-334	土	河川跡	15階	452-11		(5.7)	※	※
B-335	土	河川跡	15階	452-13		※	※	※
B-336	土	河川跡	15階	428-1	206-1	22.5	※	※
B-337	土	河川跡	15階	427-4	205-4	24.7	※	※
B-338	土	河川跡	15階	459-3		21.8	※	※
B-339	土	河川跡	15階	465-6	209-5	(19.8)	※	※
B-340	土	河川跡	15階	460-2	207-3	29.2	※	※
B-341	土	河川跡	15階	453-1	201-8	19.5	※	※
B-342	土	河川跡	15階	453-4	200-2	25.3	※	※
B-343	土	河川跡	15階	467-4		(21.2)	※	※
B-344	土	河川跡	15階	463-4		(12.9)	※	※
B-345	土	河川跡	15階	466-3		(15.3)	※	※
B-346	土	河川跡	15階	459-3	207-1	27.3	※	※
B-347	土	河川跡	15階	467-1		(15.2)	※	※
B-348	土	河川跡	15階	461-8		(11.4)	※	※
B-349	土	河川跡	15階	457-1	190-1	(26.8)	※	※
B-350	土	河川跡	15階	479-3	213-6	(11.6)	※	※
B-351	土	河川跡	15階	479-9		※	※	※
B-352	土	河川跡	15階	475-10	211-3	20.5	※	※
B-353	土	河川跡	15階	476-9	212-1	(21.4)	※	※
B-354	土	河川跡	15階	476-10	212-2	14.9	※	※
B-355	土	河川跡	15階	476-8		(12.2)	※	※
B-356	土	河川跡	15階	476-2		(7.3)	※	※
B-357	土	河川跡	15階	478-4		※	※	※
B-358	土	河川跡	15階	474-10		(8.6)	※	※
B-359	土	河川跡	15階	474-7		(8.8)	※	※
B-360	土	河川跡	15階	429-2		(23.8)	※	※
B-361	土	河川跡	15階	437-2		(26.3)	※	※
B-362	土	河川跡	15階	438-1		(28.7)	※	※
B-363	土	河川跡	15階	424-4		(14.1)	※	※
B-364	土	河川跡	15階	477-9	212-2	(9.3)	※	※
B-365	土	河川跡	15階	477-9		(9.1)	※	※
B-366	土	河川跡	15階	436-1		(19.1)	※	※
B-367	土	河川跡	15階	410-1		(9.0)	※	※
B-368	土	河川跡	15階	440-3		(14.2)	※	※
B-369	土	河川跡	15階	440-2		(15.6)	※	※
B-370	土 or 土器 or 土	河川跡	15階	481-2		(6.3)	※	※
B-371	土 or 土器 or 土	河川跡	15階	480-5		(6.5)	※	※
B-372	土 or 土器 or 土	河川跡	15階	480-4		(6.8)	※	※
B-373	土 or 土器 or 土	河川跡	15階	480-9		(6.9)	※	※
B-374	土 or 土器 or 土	河川跡	15階	480-6		(8.3)	※	※
B-375	土	河川跡	15階	424-6		(6.1)	※	※
B-376	土	河川跡	15階	479-4	213-7	(15.6)	※	※
B-377	土	河川跡	15階	478-9	211-2	(17.0)	※	※
B-378	土	河川跡	15階	435-1	190-3	※	※	※
B-379	土	河川跡	15階	434-2		※	※	※
B-380	土	河川跡	15階	434-1	190-1	(13.7)	※	※
B-381	土	河川跡	15階	438-2		(34.2)	※	※
B-382	土	河川跡	15階	435-4		(25.0)	※	※
B-383	土	河川跡	15階	436-2		(23.9)	※	※
B-384	土	河川跡	15階	458-4		22.7	※	※
B-385	土	河川跡	15階	462-1		(11.9)	※	※

登録番号	遺物・類別	地区	遺跡名	層位	発掘時期	登録番号	層高	年代
B-386	土	河川跡	15階	462-7		(17.0)	※	※
B-387	土 or 土器 or 土	河川跡	15階	464-3		(15.5)	※	※
B-388	土	河川跡	15階	473-1		(21.8)	※	※
B-389	土	河川跡	15階	473-2		29.1	※	※
B-390	土	河川跡	15階	453-2	203-4	18.0	※	※
B-391	土	河川跡	15階	461-6		(10.4)	※	※
B-392	土	河川跡	15階	435-1	203-3	22.7	※	※
B-393	土	河川跡	15階	458-3	206-3	19.7	※	※
B-394	土	河川跡	15階	444-2	202-4	18.0	※	※
B-395	土	河川跡	15階	473-3		※	※	※
B-396	土	河川跡	15階	457-1	205-1	24.6	※	※
B-397	土	河川跡	15階	459-1	204-4	22.1	※	※
B-398	土	河川跡	15階	456-2	206-2	21.8	※	※
B-399	土	河川跡	15階	467-3		(18.4)	※	※
B-400	土	河川跡	15階	472-4		※	※	※
B-401	土	河川跡	15階	472-3		※	※	※
B-402	土	河川跡	15階	469-9		※	※	※
B-403	土	河川跡	15階	469-10		※	※	※
B-404	土	河川跡	15階	470-7		※	※	※
B-405	土	河川跡	15階	471-4		※	※	※
B-406	土	河川跡	15階	469-2		※	※	※
B-407	土	河川跡	15階	469-11		※	※	※
B-408	土	河川跡	15階	470-10		※	※	※
B-409	土	河川跡	15階	470-12		※	※	※
B-410	土	河川跡	15階	464-4	209-3	(6.0)	※	※
B-411	土	河川跡	15階	470-8		※	※	※
B-412	土	河川跡	15階	469-3		※	※	※
B-413	土	河川跡	15階	469-1		※	※	※
B-414	土	河川跡	15階	469-4		※	※	※
B-415	土	河川跡	15階	473-4		(7.2)	※	※
B-416	土	河川跡	15階	470-3		※	※	※
B-417	土	河川跡	15階	470-6		※	※	※
B-418	土	河川跡	15階	472-6	209-9	※	※	※
B-419	土	河川跡	15階	471-5		※	※	※
B-420	土	河川跡	15階	469-12		※	※	※
B-421	土	河川跡	15階	464-6		(6.3)	※	※
B-422	土	河川跡	15階	470-11		※	※	※
B-423	土	河川跡	15階	472-7		※	※	※
B-424	土	河川跡	15階	465-3		(12.1)	※	※
B-425	土	河川跡	15階	471-8		※	※	※
B-426	土	河川跡	15階	471-6		※	※	※
B-427	土	河川跡	15階	470-1		※	※	※
B-428	土	河川跡	15階	471-7		※	※	※
B-429	土	河川跡	15階	471-1		※	※	※
B-430	土	河川跡	15階	469-5		※	※	※
B-431	土	河川跡	15階	470-4		※	※	※
B-432	土	河川跡	15階	471-9	209-7	※	※	※
B-433	土	河川跡	15階	470-2		※	※	※
B-434	土	河川跡	15階	472-8		※	※	※
B-435	土	河川跡	15階	472-9		※	※	※
B-436	土	河川跡	15階	470-9		※	※	※
B-437	土	河川跡	15階			※	※	※
B-438	土	河川跡	15階	472-1		※	※	※
B-439	土	河川跡	15階	469-8		※	※	※
B-440	土	河川跡	15階	471-10		※	※	※
B-441	土	河川跡	15階	469-6		※	※	※
B-442	土	河川跡	15階	472-11		※	※	※
B-443	土	河川跡	15階	478-8		213.5	※	※
B-444	土	河川跡	15階	433-1	188-1	(40.6)	※	※
B-445	土 or 土器 or 土	河川跡	15階	481-1		(9.5)	※	※
B-446	土	河川跡	15階	440-4		(14.8)	※	※
B-447	土 or 土器 or 土	河川跡	15階	480-2		(6.2)	※	※
B-448	土 or 土器 or 土	河川跡	15階	480-3		(7.3)	※	※
B-449	土 or 土器 or 土	河川跡	15階	480-8		(8.9)	※	※
B-450	土 or 土器 or 土	河川跡	15階	480-7		(9.2)	※	※
B-451	土	河川跡	15階	452-9		16.0	※	※
B-452	土	河川跡	15階			※	※	※
B-453	土	河川跡	15階			※	※	※
B-454	土	河川跡	15階			※	※	※
B-455	土	河川跡	15階			※	※	※
B-456	土	河川跡	15階			※	※	※
B-457	土	河川跡	15階	439-2	192-2	(31.5)	※	※
B-458	土	河川跡	15階	479-1		(10.0)	※	※
B-459	土	河川跡	15階	427-2		(13.2)	※	※
B-460	土	河川跡	15階	435-3		(9.0)	※	※
B-461	土	河川跡	15階	425-5		(5.7)	※	※
B-462	土	河川跡	15階	421-5		(4.6)	※	※

中在家南遺跡登録遺物目録 4

登録番号	品類・類別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	調査	年代
B-463	鏝	河川跡	15層	430-3	(8,2)	外・中		
B-464	鏝	河川跡	15層	431-3	(8,7)	外・中		
B-465	鏝	河川跡	15層	421-4	(4,7)	外・中		
B-466	鏝	河川跡	15層	431-1	(6,6)	外・中		
B-467	鏝	河川跡	15層	431-2	(7,8)	外・中		
B-468	鏝	河川跡	15層	422-2	(4,4)	外・中		
B-469	鏝	河川跡	15層	425-6	(7,1)	外・中		
B-470	鏝	河川跡	15層	425-2	(7,1)	外・中		
B-471	鏝	河川跡	15層	426-3	(5,2)	外・中		
B-472	鏝	河川跡	15層	428-2	(7,8)	外・中		
B-473	鏝	河川跡	15層	420-3	180-1	(18,4)	外・中	
B-474	鏝	河川跡	15層	425-1	(8,4)	外・中		
B-475	鏝	河川跡	15層	430-5	(7,8)	外・中		
B-476	鏝	河川跡	15層	423-7	(15,4)	外・中		
B-477	鏝	河川跡	15層	427-1	(12,6)	外・中		
B-478	鏝	河川跡	15層	431-7	(15,1)	外・中		
B-479	鏝	河川跡	15層	433-5	(7,3)	外・中		
B-480	高坏	河川跡	15層	443-6	194-5	17,6	外・中	
B-481	高坏	河川跡	15層	443-7	193-5	17,1	外・中	
B-482	高坏	河川跡	15層	442-3	193-8	14,4	外・中	
B-483	高坏	河川跡	15層	441-2	193-2	(11,3)	外・中	
B-484	高坏	河川跡	15層	441-6	195-8	(8,8)	外・中	
B-485	高坏	河川跡	15層	442-7	(7,8)	外・中		
B-486	高坏	河川跡	15層	442-2	(6,0)	外・中		
B-487	高坏	河川跡	15層	444-15	196-12	(7,8)	外・中	
B-488	鉢	河川跡	15層	446-15	197-12	7,2	外・中	
B-489	鉢	河川跡	15層	447-2	198-1	8,7	外・中	
B-490	鉢	河川跡	15層	448-12	(8,7)	外・中		
B-491	鉢	河川跡	15層	475-7	210-12	9,8	外・中	
B-492	鉢	河川跡	15層	447-4	198-3	10,7	外・中	
B-493	鉢	河川跡	15層	448-3	199-4	10,1	外・中	
B-494	鉢	河川跡	15層	418-5	178-4	(8,5)	外・中	
B-495	鏝	河川跡	15層	419-4	(6,9)	外・中		
B-496	鏝	河川跡	15層	419-5	(6,9)	外・中		
B-497	ミニチュア土器	河川跡	15層	490-9	220-4	4,0	外・中	
B-498	鏝	河川跡	15層	452-3	201-3	12,8	外・中	
B-499	鏝	河川跡	15層	449-3	200-2	(6,5)	外・中	
B-500	鏝	河川跡	15層	474-4	210-2	7,0	外・中	
B-501	鉢	河川跡	15層	447-13	198-12	7,2	外・中	
B-502	鏝	河川跡	15層	475-1	210-7	11,5	外・中	
B-503	鏝	河川跡	15層	474-5	210-3	8,9	外・中	
B-504	鏝	河川跡	15層	482-8	215-8	6,3	外・中	
B-505	鏝	河川跡	15層	418-16	178-9	12,6	外・中	
B-506	鏝	河川跡	15層	476-7	211-6	(10,5)	外・中	
B-507	鏝	河川跡	15層	146-16	196-16	5,8	外・中	
B-508	鏝	河川跡	15層	445-6	195-5	5,8	外・中	
B-509	鏝	河川跡	15層	489-6	219-6	(7,7)	外・中	
B-510	鏝	河川跡	15層	489-7	219-7	(8,3)	外・中	
B-511	鏝	河川跡	15層	489-4	(4,4)	外・中		
B-512	鏝	河川跡	15層	487-10	218-5	9,4	外・中	
B-513	高坏	河川跡	15層	442-4	193-7	(6,5)	外・中	
B-514	高坏	河川跡	15層	444-3	(6,5)	外・中		
B-515	高坏	河川跡	15層	444-4	196-6	(7,5)	外・中	
B-516	高坏	河川跡	15層	442-9	194-3	(12,5)	外・中	
B-517	高坏	河川跡	15層	444-5	195-7	(6,9)	外・中	
B-518	高坏	河川跡	15層	444-16	195-13	(10,9)	外・中	
B-519	高坏	河川跡	15層	441-6	193-4	(6,0)	外・中	
B-520	高坏	河川跡	15層	487-3	218-4	(10,7)	外・中	
B-521	鏝	河川跡	15層	487-4	(7,1)	外・中		
B-522	鏝	河川跡	15層	183-10	216-5	5,7	外・中	
B-523	鏝	河川跡	15層	483-5	225-15	6,5	外・中	
B-524	鏝	河川跡	15層	484-7	(6,4)	外・中		
B-525	鏝	河川跡	15層	485-2	237-1	(4,1)	外・中	
B-526	鏝	河川跡	15層	489-1	218-1	10,9	外・中	
B-527	鏝	河川跡	15層	451-3	200-8	7,6	外・中	
B-528	鏝	河川跡	15層	484-5	215-5	7,1	外・中	
B-529	鏝	河川跡	15層	482-10	216-12	7,7	外・中	
B-530	鏝	河川跡	15層	488-8	219-3	11,8	外・中	
B-531	鏝	河川跡	15層	482-10	215-9	7,0	外・中	
B-532	鏝	河川跡	15層	483-2	215-12	7,0	外・中	
B-533	鏝	河川跡	15層	483-3	215-13	6,9	外・中	
B-534	鏝	河川跡	15層	483-8	216-3	7,0	外・中	
B-535	鏝	河川跡	15層	482-7	215-7	5,8	外・中	
B-536	鏝	河川跡	15層	482-9	(7,2)	外・中		
B-537	鏝	河川跡	15層	483-9	216-4	5,8	外・中	
B-538	鏝	河川跡	15層	483-11	216-6	6,0	外・中	
B-539	鏝	河川跡	15層	482-11	215-10	6,3	外・中	

登録番号	品類・類別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	調査	年代
B-540	鏝	河川跡	15層	484-1	(5,6)	外・中		
B-541	鏝	河川跡	15層	488-3	(7,6)	外・中		
B-542	鏝	河川跡	15層	485-15	216-8	(3,5)	外・中	
B-543	鏝	河川跡	15層	482-4	215-4	7,4	外・中	
B-544	鏝	河川跡	15層	487-1	218-1	10,3	外・中	
B-545	高坏	河川跡	15層	442-1	193-6	(7,6)	外・中	
B-546	高坏	河川跡	15層	444-2	195-5	(6,9)	外・中	
B-547	高坏	河川跡	15層	441-1	(5,3)	外・中		
B-548	鉢	河川跡	15層	445-18	196-16	6,5	外・中	
B-549	鉢	河川跡	15層	448-4	199-5	8,0	外・中	
B-550	鉢	河川跡	15層	445-8	196-7	6,5	外・中	
B-551	鉢	河川跡	15層	445-10	196-9	6,0	外・中	
B-552	鉢	河川跡	15層	446-3	197-10	7,3	外・中	
B-553	鉢	河川跡	15層	447-1	197-15	8,6	外・中	
B-554	鉢	河川跡	15層	448-1	199-3	7,5	外・中	
B-555	鉢	河川跡	15層	443-3	196-2	5,3	外・中	
B-556	鉢	河川跡	15層	446-2	197-5	5,9	外・中	
B-557	鉢	河川跡	15層	443-22	196-20	5,9	外・中	
B-558	鉢	河川跡	15層	449-13	179-6	(11,4)	外・中	
B-559	鏝	河川跡	15層	422-6	181-1	17,0	外・中	
B-560	鏝	河川跡	15層	425-1	203-1	11,9	外・中	
B-561	鏝	河川跡	15層	474-8	210-5	12,6	外・中	
B-562	鏝	河川跡	15層	447-4	210-4	9,3	外・中	
B-563	鏝	河川跡	15層	447-14	199-1	8,8	外・中	
B-564	鏝	河川跡	15層	417-10	196-9	7,4	外・中	
B-565	鏝	河川跡	15層	446-6	199-7	7,9	外・中	
B-566	鏝	河川跡	15層	446-1	197-4	5,4	外・中	
B-567	鏝	河川跡	15層	448-14	200-1	8,2	外・中	
B-568	鏝	河川跡	15層	419-10	(6,0)	外・中		
B-569	鏝	河川跡	15層	445-12	196-11	6,3	外・中	
B-570	鉢	河川跡	15層	445-21	196-19	6,4	外・中	
B-571	鏝	河川跡	15層	486-7	217-9	(5,6)	外・中	
B-572	鏝	河川跡	15層	486-4	217-7	7,9	外・中	
B-573	鏝	河川跡	15層	482-6	215-6	8,2	外・中	
B-574	鏝	河川跡	15層	487-6	218-3	(6,8)	外・中	
B-575	鏝	河川跡	15層	484-9	216-11	6,4	外・中	
B-576	鏝	河川跡	15層	475-1	210-8	8,5	外・中	
B-577	鏝	河川跡	15層	446-14	197-11	7,9	外・中	
B-578	鉢	河川跡	15層	147-12	198-11	10,3	外・中	
B-579	鉢	河川跡	15層	447-5	198-4	8,9	外・中	
B-580	鉢	河川跡	15層	445-11	196-10	5,5	外・中	
B-581	鉢	河川跡	15層	443-23	197-1	6,8	外・中	
B-582	鉢	河川跡	15層	445-24	197-2	7,1	外・中	
B-583	鏝	河川跡	15層	478-6	(13,5)	外・中		
B-584	鏝	河川跡	15層	418-9	178-8	12,3	外・中	
B-585	鏝	河川跡	15層	418-1	179-1	(11,6)	外・中	
B-586	その他の土器	河川跡	15層	490-6	220-1	(9,5)	外・中	
B-587	鏝	河川跡	15層	422-2	201-2	(9,4)	外・中	
B-588	鏝	河川跡	15層	418-12	178-13	14,3	外・中	
B-589	鏝	河川跡	15層	450-11	200-5	(9,6)	外・中	
B-590	鏝	河川跡	15層	477-2	212-4	(13,4)	外・中	
B-591	鏝	河川跡	15層	477-2	213-3	(12,4)	外・中	
B-592	鏝	河川跡	15層	479-6	(7,8)	外・中		
B-593	鏝	河川跡	15層	448-8	199-6	8,4	外・中	
B-594	鏝	河川跡	15層	482-3	215-3	8,1	外・中	
B-595	鏝	河川跡	15層	488-7	219-2	10,3	外・中	
B-596	鏝	河川跡	15層	446-12	197-9	9,1	外・中	
B-597	鏝	河川跡	15層	446-19	197-14	8,7	外・中	
B-598	鏝	河川跡	15層	448-9	199-10	(9,9)	外・中	
B-599	鏝	河川跡	15層	448-11	199-12	(10,6)	外・中	
B-600	鉢	河川跡	15層	448-7	199-8	9,5	外・中	
B-601	鏝	河川跡	15層	473-3	210-9	10,1	外・中	
B-602	鏝	河川跡	15層	474-3	210-1	13,2	外・中	
B-603	鏝	河川跡	15層	475-2	210-8	11,7	外・中	
B-604	鏝	河川跡	15層	475-6	210-11	11,6	外・中	
B-605	鏝	河川跡	15層	179-8	179-3	(13,2)	外・中	
B-606	鏝	河川跡	15層	478-6	178-5	(10,0)	外・中	
B-607	鏝	河川跡	15層	418-7	178-6	11,0	外・中	
B-608	鏝	河川跡	15層	418-2	(6,0)	外・中		
B-609	鏝	河川跡	15層	488-1	218-6	10,2	外・中	
B-610	鏝	河川跡	15層	486-3	217-6	7,4	外・中	
B-611	鏝	河川跡	15層	482-12	(7,3)	外・中		
B-612	高坏	河川跡	15層	442-6	195-1	(8,0)	外・中	
B-613	高坏	河川跡	15層	441-5	193-3	(6,0)	外・中	
B-614	高坏	河川跡	15層	443-4	193-4	(6,1)	外・中	
B-615	高坏	河川跡	15層	444-10	195-9	(8,7)	外・中	
B-616	高坏	河川跡	15層	444-17	196-14	(8,9)	外・中	

中在家南遺跡登錄遺物目錄

登録番号	品類・類別	地区	遺跡名	層位	宝器番号	本品番号	高さ	年代
B-617	罌	IX区	河川跡	15層	452	701-4	10.8	鉄・中
B-618	漆片	IX区	河川跡	15層	444-14	196-11	(7.8)	鉄・中
B-619	鉄	IX区	河川跡	15層	445-2	196-1	5.3	鉄・中
B-620	鉄	IX区	河川跡	15層	445-2	196-4	6.6	鉄・中
B-621	罌	IX区	河川跡	15層	485-1	216-14	(4.8)	鉄・中
B-622	罌	IX区	河川跡	15層	485-1	196-6	5.1	鉄・中
B-623	メノウ・玉石類	IX区	河川跡	15層	490-10	220-3	5.3	鉄・中
B-624	鉄	IX区	河川跡	15層	445-15	196-14	6.0	鉄・中
B-626	漆	IX区	河川跡	15層	445-14	196-13	5.3	鉄・中
B-627	漆	IX区	河川跡	15層	449-15			鉄・中
B-628	漆	IX区	河川跡	15層	418-2		(7.2)	鉄・中
B-629	漆	IX区	河川跡	15層	476-3		(8.3)	鉄・中
B-630	蓋	IX区	河川跡	15層	985-4		(4.3)	鉄・中
B-631	蓋	IX区	河川跡	15層	423-6	182-3	(12.1)	鉄・中
B-632	蓋	IX区	河川跡	15層	984-11	216-13	5.8	鉄・中
B-633	蓋	IX区	河川跡	15層	488-15		(6.8)	鉄・中
B-634	蓋	IX区	河川跡	15層	477-5	213-3	38.6	鉄・中
B-635	蓋	IX区	河川跡	15層	423-3	181-8	(11.7)	鉄・中
B-636	漆片	IX区	河川跡	15層	443-5	194-4	14.5	鉄・中
B-637	漆片	IX区	河川跡	15層	442-5	191-1	(14.1)	鉄・中
B-638	蓋	IX区	河川跡	15層	477-5	212-5	20.4	鉄・中
B-639	蓋	IX区	河川跡	15層	422-4	188-3	(29.9)	鉄・中
B-640	蓋	IX区	河川跡	15層	426-6	185-1	(12.6)	鉄・中
B-641	蓋	IX区	河川跡	15層	480-1	214-1	(25.1)	鉄・中
B-642	蓋	IX区	河川跡	15層	421-8	180-4	24.3	鉄・中
B-643	蓋	IX区	河川跡	15層	476-9	183-2	(14.5)	鉄・中
B-644	蓋	IX区	河川跡	15層	432-2	188-2	(13.3)	鉄・中
B-645	蓋	IX区	河川跡	15層	422-12	181-5	(10.4)	鉄・中
B-646	蓋	IX区	河川跡	15層	419-12	179-5	(7.3)	鉄・中
B-647	蓋	IX区	河川跡	15層	423-2	182-7	(18.3)	鉄・中
B-648	蓋	IX区	河川跡	15層	423-5	183-2	(16.0)	鉄・中
B-649	蓋	IX区	河川跡	15層	439-1	191-2	(28.2)	鉄・中
B-650	蓋	IX区	河川跡	15層	426-4	183-4	(17.9)	鉄・中
B-651	蓋	IX区	河川跡	15層	426-5	184-1	(13.9)	鉄・中
B-652	蓋	IX区	河川跡	15層	456-3	204-3	23.0	鉄・中
B-653	蓋	IX区	河川跡	15層	428-1	197-2	36.1	鉄・中
B-654	蓋	IX区	河川跡	15層	427-3	184-2	31.5	鉄・中
B-655	蓋	IX区	河川跡	15層	420-1	179-7	(14.9)	鉄・中
B-656	蓋	IX区	河川跡	15層	420-2	179-8	(20.0)	鉄・中
B-657	蓋	IX区	河川跡	15層	454-4	203-2	19.8	鉄・中
B-658	蓋	IX区	河川跡	15層	457-3	205-3	18.0	鉄・中
B-659	蓋	IX区	河川跡	15層	437-2	206-2	21.3	鉄・中
B-660	蓋	IX区	河川跡	15層	466-5		(19.6)	鉄・中
B-661	蓋	IX区	河川跡	15層	468-2		(18.3)	鉄・中
B-662	蓋	IX区	河川跡	15層	463-2		(17.6)	鉄・中
B-663	蓋	IX区	河川跡	15層	421-9	180-3	27.5	鉄・中
B-664	蓋	IX区	河川跡	15層	436-3		(25.7)	鉄・中
B-665	蓋	IX区	河川跡	15層	418-16	178-13	(15.5)	鉄・中
B-666	蓋	IX区	河川跡	15層	430-1	187-1	43.5	鉄・中
B-667	蓋	IX区	河川跡	15層	453-3	207-1	20.9	鉄・中
B-668	蓋	IX区	河川跡	15層	458-2	206-2	24.7	鉄・中
B-669	蓋	IX区	河川跡	15層	462-3	208-3	(20.0)	鉄・中
B-670	蓋	IX区	河川跡	15層	455-4	204-1	26.8	鉄・中
B-671	蓋	IX区	河川跡	15層	460-3	208-1	27.6	鉄・中
B-672	蓋	IX区	河川跡	15層	453-2	201-9	20.4	鉄・中
B-673	蓋	IX区	河川跡	15層	463-3		(18.7)	鉄・中
B-674	蓋	IX区	河川跡	15層	464-5		(13.6)	鉄・中
B-675	蓋	IX区	河川跡	15層	476-6	211-5	(12.4)	鉄・中
B-676	蓋	IX区	河川跡	15層	425-4		(17.9)	鉄・中
B-678	蓋	IX区	河川跡	15層	476-11		(7.8)	鉄・中
B-679	蓋	IX区	河川跡	15層	477-4	212-6	(14.6)	鉄・中
B-680	蓋	IX区	河川跡	15層	456-1	204-4	25.8	鉄・中
B-681	蓋	IX区	河川跡	15層	464-2	209-2	(25.2)	鉄・中
B-682	蓋	IX区	河川跡	15層	460-1	207-2	45.1	鉄・中
B-683	蓋	IX区	河川跡	15層	454-1	202-3	19.9	鉄・中
B-684	蓋	IX区	河川跡	15層	454-3	203-1	22.9	鉄・中
B-685	蓋	IX区	河川跡	15層	460-4	208-2	25.4	鉄・中
B-686	蓋	IX区	河川跡	15層	432-1	188-1	(16.0)	鉄・中
B-687	蓋	IX区	河川跡	15層	420-4		(17.3)	鉄・中
B-688	蓋	IX区	河川跡	15層	428-2	186-1	(14.1)	鉄・中
B-689	蓋	IX区	河川跡	15層	421-1	180-3	(20.9)	鉄・中
B-690	蓋	IX区	河川跡	15層	429-2		(23.2)	鉄・中
B-691	蓋	IX区	河川跡	15層	418-8	176-7	12.2	鉄・中
B-692	蓋	IX区	河川跡	15層	424-7	182-5	(15.0)	鉄・中
B-693	蓋	IX区	河川跡	15層	473-8		(12.3)	鉄・中
B-694	蓋	IX区	河川跡	15層	459-2		26.0	鉄・中

登録番号	品類・類別	地区	遺跡名	層位	宝器番号	写真番号	高さ	年代
B-695	罌	IX区	河川跡	15層	461-7		(18.6)	鉄・中
B-696	蓋	IX区	河川跡	15層	426-7		(14.9)	鉄・中
B-697	蓋	IX区	河川跡	15層	425-7	183-1	(15.2)	鉄・中
B-698	蓋	IX区	河川跡	15層	424-2	182-4	(15.8)	鉄・中
B-699	蓋	IX区	河川跡	15層	436-4	191-1	(24.6)	鉄・中
B-700	蓋	IX区	河川跡	15層	429-3		(16.1)	鉄・中
B-701	蓋	IX区	河川跡	15層	440-5		(18.0)	鉄・中
B-702	罌	IX区	河川跡	15層	481-4	214-3	(18.1)	鉄・中
B-703	罌	IX区	河川跡	15層	459-4		26.5	鉄・中
B-704	罌	IX区	河川跡	15層	481-7		(9.2)	鉄・中
B-705	罌	IX区	河川跡	15層	464-1	209-1	(7.4)	鉄・中
B-706	蓋	IX区	河川跡	15層	462-5		(8.2)	鉄・中
B-707	蓋	IX区	河川跡	15層	474-1		(13.3)	鉄・中
B-708	蓋	IX区	河川跡	15層	468-3		(18.7)	鉄・中
B-709	蓋	IX区	河川跡	15層	422-1		(4.8)	鉄・中
B-710	蓋	IX区	河川跡	15層	421-1	180-2	(8.5)	鉄・中
B-711	蓋	IX区	河川跡	15層	422-4		(16.4)	鉄・中
B-712	蓋	IX区	河川跡	15層	424-3		(14.3)	鉄・中
B-713	蓋	IX区	河川跡	15層	425-4		(7.3)	鉄・中
B-714	蓋	IX区	河川跡	15層	432-3		(8.6)	鉄・中
B-715	蓋	IX区	河川跡	15層	435-2		(7.1)	鉄・中
B-716	蓋	IX区	河川跡	15層	420-6		(8.1)	鉄・中
B-717	蓋	IX区	河川跡	15層	419-3		(9.2)	鉄・中
B-718	蓋	IX区	河川跡	15層	429-4		(4.8)	鉄・中
B-719	蓋	IX区	河川跡	15層	431-6		(6.8)	鉄・中
B-720	蓋	IX区	河川跡	15層	422-3		(8.5)	鉄・中
B-721	蓋	IX区	河川跡	15層	430-4		(8.7)	鉄・中
B-722	蓋	IX区	河川跡	15層	421-3		(15.4)	鉄・中
B-723	蓋	IX区	河川跡	15層	433-2	189-2		鉄・中
B-724	蓋	IX区	河川跡	15層	430-2		(5.7)	鉄・中
B-725	蓋	IX区	河川跡	15層	429-6		(6.0)	鉄・中
B-726	蓋	IX区	河川跡	15層	425-3		(7.1)	鉄・中
B-727	蓋	IX区	河川跡	15層	429-4		(7.0)	鉄・中
B-728	蓋	IX区	河川跡	15層	429-5		(16.8)	鉄・中
B-729	蓋	IX区	河川跡	15層	422-5		(13.9)	鉄・中
B-730	蓋	IX区	河川跡	15層	431-5		(7.4)	鉄・中
B-731	罌	IX区	河川跡	15層	466-7		(9.2)	鉄・中
B-732	蓋	IX区	河川跡	15層	465-7		(8.6)	鉄・中
B-733	蓋	IX区	河川跡	15層	465-4		(7.7)	鉄・中
B-734	蓋	IX区	河川跡	15層	466-6		(12.8)	鉄・中
B-735	蓋	IX区	河川跡	15層	463-6		(8.4)	鉄・中
B-736	蓋	IX区	河川跡	15層	474-2		(11.3)	鉄・中
B-737	蓋	IX区	河川跡	15層	465-5		(14.1)	鉄・中
B-738	罌	IX区	河川跡	15層	481-3		(11.1)	鉄・中
B-739	罌	IX区	河川跡	15層	466-2		(14.8)	鉄・中
B-740	蓋	IX区	河川跡	15層	461-2		(12.5)	鉄・中
B-741	蓋	IX区	河川跡	15層	466-1		(10.0)	鉄・中
B-742	蓋	IX区	河川跡	15層	468-5		(24.3)	鉄・中
B-743	蓋	IX区	河川跡	15層	467-6		(11.8)	鉄・中
B-744	蓋	IX区	河川跡	15層	462-6		(14.2)	鉄・中
B-745	蓋	IX区	河川跡	15層	462-2		(11.2)	鉄・中
B-746	蓋	IX区	河川跡	15層	464-3		(11.7)	鉄・中
B-747	蓋	IX区	河川跡	15層	463-5		(11.9)	鉄・中
B-748	蓋	IX区	河川跡	15層	461-5		(7.8)	鉄・中
B-749	蓋	IX区	河川跡	15層	464-7		(6.6)	鉄・中
B-750	蓋	IX区	河川跡	15層	461-1		(9.8)	鉄・中
B-751	蓋	IX区	河川跡	15層	456-1		22.7	鉄・中
B-752	蓋	IX区	河川跡	15層	463-2		(21.1)	鉄・中
B-753	蓋	IX区	河川跡	15層	463-1		(16.4)	鉄・中
B-754	蓋	IX区	河川跡	15層	467-3		(21.3)	鉄・中
B-755	蓋	IX区	河川跡	15層	465-1		(16.7)	鉄・中
B-756	蓋	IX区	河川跡	15層	470-5			鉄・中
B-757	蓋	IX区	河川跡	15層	473-3		(10.8)	鉄・中
B-758	蓋	IX区	河川跡	15層	468-4	209-6	(11.1)	鉄・中
B-759	蓋	IX区	河川跡	15層	464-8		(15.3)	鉄・中
B-760	蓋	IX区	河川跡	15層	471-1			鉄・中
B-761	蓋	IX区	河川跡	15層	467-2		(9.5)	鉄・中
B-762	蓋	IX区	河川跡	15層	462-4	208-4	(19.8)	鉄・中
B-763	蓋	IX区	河川跡	15層	432-4		(13.2)	鉄・中
B-764	蓋	IX区	河川跡	15層	472-13			鉄・中
B-765	蓋	IX区	河川跡	15層	484-8		6.4	鉄・中
B-766	蓋	IX区	河川跡	15層	486-7		(2.6)	鉄・中
B-767	漆	IX区	河川跡	15層	450-8			鉄・中
B-768	蓋	IX区	河川跡	15層	489-4		(4.5)	鉄・中
B-769	蓋	IX区	河川跡	15層	485-14			鉄・中
B-770	蓋	IX区	河川跡	15層	478-1			鉄・中
B-771	蓋	IX区	河川跡	15層	478-5			鉄・中

中在家南遺跡登録遺物目録 6

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写実番号	高さ	年代
B-772 壺	IXA	河川跡	15層	478-7	213-4			赤・中
B-773 壺	IXA	河川跡	15層	178-2				赤・中
B-774 壺	IXA	河川跡	15層	478-3				赤・中
B-775 壺	IXA	河川跡	15層	477-8		(6.6)		赤・中
B-776 壺	IXA	河川跡	15層	476-4		(10.0)		赤・中
B-777 鉢	IXA	河川跡	15層	450-2				赤・中
B-778 壺	IXA	河川跡	15層	452-12		(4.1)		赤・中
B-779 鉢	IXA	河川跡	15層	446-5		(4.7)		赤・中
B-780 鉢	IXA	河川跡	15層	449-2		(6.4)		赤・中
B-781 鉢	IXA	河川跡	15層	449-1		(4.3)		赤・中
B-782 鉢	IXA	河川跡	15層	419-7				赤・中
B-783 鉢	IXA	河川跡	15層	451-7				赤・中
B-784 鉢	IXA	河川跡	15層	446-11		7.3		赤・中
B-785 高坏	IXA	河川跡	15層	444-9				赤・中
B-786 鉢	IXA	河川跡	15層	449-12				赤・中
B-787 高坏	IXA	河川跡	15層	441-4		(4.4)		赤・中
B-788 高坏	IXA	河川跡	15層	441-9				赤・中
B-789 鉢 or 高坏	IXA	河川跡	15層	451-10				赤・中
B-790 高坏	IXA	河川跡	15層	443-2				赤・中
B-791 鉢	IXA	河川跡	15層	451-9				赤・中
B-792 高坏	IXA	河川跡	15層	442-10				赤・中
B-793 高坏	IXA	河川跡	15層	444-7		(9.1)		赤・中
B-794 高坏	IXA	河川跡	15層	444-18		(3.6)		赤・中
B-796 壺	IXA	河川跡	15層	424-5		(2.7)		赤・中
B-796 壺	IXA	河川跡	15層	422-7 181-2		(9.4)		赤・中
B-797 壺	IXA	河川跡	15層	422-8		(3.6)		赤・中
B-798 壺	IXA	河川跡	15層	422-10 181-3		(8.3)		赤・中
B-799 壺	IXA	河川跡	15層	419-9		(7.6)		赤・中
B-800 壺	IXA	河川跡	15層	421-7		(6.4)		赤・中
B-801 ミニチュア土器	IXA	河川跡	15層	490-17		(1.3)		赤・中
B-802 ミニチュア土器	IXA	河川跡	15層	490-14		(3.3)		赤・中
B-803 ミニチュア土器	IXA	河川跡	15層	490-16		(1.7)		赤・中
B-804 ミニチュア土器	IXA	河川跡	15層	490-15		(1.4)		赤・中
B-805 ミニチュア土器	IXA	河川跡	15層	490-12 220-7		1.7		赤・中
B-806 ミニチュア土器	IXA	河川跡	15層	490-11 220-6		2.7		赤・中
B-807 壺	IXA	河川跡	15層	419-6		(7.9)		赤・中
B-808 壺	IXA	河川跡	15層	418-11 178-10		(7.3)		赤・中
B-809 その他の土器	IXA	河川跡	15層	490-5		(4.5)		赤・中
B-810 壺	IXA	河川跡	15層	483-18				赤・中
B-811 壺	IXA	河川跡	15層	490-1				赤・中
B-812 壺	IXA	河川跡	15層	489-3		(6.1)		赤・中
B-813 壺	IXA	河川跡	15層	490-2				赤・中
B-814 壺	IXA	河川跡	15層	486-9				赤・中
B-815 壺	IXA	河川跡	15層	489-10				赤・中
B-816 壺	IXA	河川跡	15層	485-11				赤・中
B-817 壺	IXA	河川跡	15層	485-16				赤・中
B-818 壺	IXA	河川跡	15層	485-13				赤・中
B-819 壺	IXA	河川跡	15層	485-12				赤・中
B-820 壺	IXA	河川跡	15層	485-10				赤・中
B-821 壺	IXA	河川跡	15層	490-4				赤・中
B-822 壺	IXA	河川跡	15層	482-16		(3.3)		赤・中
B-823 壺	IXA	河川跡	15層	419-11 179-4		(5.1)		赤・中
B-824 その他の土器	IXA	河川跡	15層	490-8 220-3		(6.2)		赤・中
B-825 壺	IXA	河川跡	15層	423-4 182-1		(5.6)		赤・中
B-826 高坏	IXA	河川跡	15層	441-19 195-15		(4.3)		赤・中
B-827 鉢	IXA	河川跡	15層	450-1				赤・中
B-828 鉢	IXA	河川跡	15層	449-6				赤・中
B-829 鉢	IXA	河川跡	15層	446-17		(6.1)		赤・中
B-830 壺	IXA	河川跡	15層	426-1 183-3				赤・中
B-831 壺	IXA	河川跡	15層	468-4 202-4		(8.7)		赤・中
B-832 壺	IXA	河川跡	15層	452-5		(8.8)		赤・中
B-833 壺	IXA	河川跡	15層	471-2				赤・中
B-834 壺	IXA	河川跡	15層	460-7				赤・中
B-835 壺	IXA	河川跡	15層	472-12				赤・中
B-836 壺	IXA	河川跡	15層	472-3				赤・中
B-837 壺	IXA	河川跡	15層	420-5		(18.2)		赤・中
B-838 壺	IXA	河川跡	15層	421-6				赤・中
B-839 壺	IXA	河川跡	15層	472-10 209-10				赤・中
B-840 壺	IXA	河川跡	15層	461-3		(7.1)		赤・中
B-841 壺	IXA	河川跡	15層	464-9		(12.2)		赤・中
B-842 壺	IXA	河川跡	15層	471-12				赤・中
B-843 壺	IXA	河川跡	15層	461-4		(6.5)		赤・中
B-844 壺	IXA	河川跡	15層	449-1		(7.1)		赤・中
B-845 壺	IXA	河川跡	15層	471-13				赤・中
B-846 壺	IXA	河川跡	15層	476-1 211-4		(18.9)		赤・中
B-847 壺	IXA	河川跡	15層	483-4 215-14		4.6		赤・中
B-848 高坏	IXA	河川跡	15層	444-8		(7.6)		赤・中

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写実番号	高さ	年代
B-849 鉢	IXA	河川跡	15層	449-11		(7.7)		赤・中
B-850 高坏	IXA	河川跡	15層	443-3 195-3				赤・中
B-851 壺	IXA	河川跡	15層	483-9		(4.2)		赤・中
B-852 壺 or 鉢 or 壺	IXA	河川跡	15層	480-10		(8.9)		赤・中
B-853 壺	IXA	河川跡	15層	472-2 209-8		(5.6)		赤・中

C. 非口クロ土器器

登録番号	器種・種別	地区	遺構名	層位	実測番号	写実番号	高さ	年代
C-1 小形手掘土器	I区	1層	140-1	231-15	1.9			古墳
C-2 高坏ニシテツル	II区	2層	150-2	231-16	3.9			赤・中
C-3 高坏	II区	河川跡	5層	157-1		1.9		赤・中
C-4 壺	III区	河川跡	9層	166-6 227-1	(10.0)			古・中
C-5 壺	II区	河川跡	9層	169-7		(7.3)		赤・中
C-6 壺	II区	河川跡	9層	166-4 230-8	(5.9)			赤・中
C-7 壺	II区	河川跡	9層	166-2 227-4	(7.3)			赤・中
C-8 高坏	II区	河川跡	9層	169-2 222-7	(6.3)			赤・中
C-9 高坏	II区	河川跡	9層	169-3 220-7	(4.3)			赤・中
C-10 高坏	II区	河川跡	9層	169-1		(5.3)		赤・中
C-11 壺	I区	SK-2	1層	140-6 222-9	(4.6)			古・中
C-12 壺	I区	SK-2	1層	140-7		(8.0)		古・中
C-13 壺	I区	SD-11	1	140-4 221-7	9.3			赤・中
C-14 壺	I区	SD-11	1	140-3		(8.2)		赤・中
C-15 壺	I区	SD-11	1	140-2 225-9	4.3			赤・中
C-16 壺	I区	SD-11	1	140-5 228-1	(10.6)			古墳
C-17 壺	II区	河川跡	10層	168-5 221-9	8.2			赤・中
C-18 壺	II区	河川跡	10層	168-6 222-8	6.2			古・中
C-19 壺	II区	河川跡	10層	168-4 222-5	(6.2)			赤・中
C-20 壺	II区	河川跡	10層	168-7 223-5	5.2			古・中
C-21 壺	II区	河川跡	10層	168-3 223-9	(6.1)			赤・中
C-22 壺	II区	河川跡	10層	168-9 221-3	6.8			古・中
C-23 高坏	II区	河川跡	10層	168-10 231-2	(5.0)			古・中
C-24 壺	II区	河川跡	10層	168-11 224-7	8.3			赤・中
C-25 壺	II区	河川跡	10層	168-8	(6.0)			古・中
C-26 壺	II区	河川跡	10層	168-12	(7.7)			赤・中
C-27 壺	II区	河川跡	10層	168-11 230-9	(8.4)			古・中
C-28 小形手掘土器	II区	河川跡	10層	161-1 231-12	1.9			赤・中
C-29 小形手掘土器	II区	河川跡	10層	168-12 231-13	2.4			古・中
C-30 壺	II区	河川跡	10層	168-13	(17.8)			赤・中
C-31 高坏	II区	河川跡	11層	180-7 231-6	(6.7)			古・中
C-32 小形手掘土器	II区	河川跡	12層	191-1 231-9	3.1			赤・前
C-33 鉢	II区	河川跡	12層	191-4 221-1	6.4			古・前
C-34 壺	II区	河川跡	12層	191-3	(6.3)			赤・前
C-35 壺	II区	河川跡	12層	191-2 221-2	4.3			赤・前
C-36 壺	II区	河川跡	12層	191-7 229-6	(11.6)			古・前
C-37 壺	II区	河川跡	12層	191-9 228-2	(8.7)			古・前
C-38 壺	II区	河川跡	12層	191-10 228-1	(9.7)			古・前
C-39 壺	II区	河川跡	12層	191-11 226-3	(10.2)			古・前
C-40 壺 or 壺	I区	SK-10	1	140-8		(7.5)		赤・中
C-41 壺	II区	河川跡	11層	180-1 221-4	4.2			古・中
C-42 壺	II区	河川跡	11層	180-12	(11.9)			赤・中
C-43 壺	II区	河川跡	11層	180-10	(4.1)			赤・中
C-44 壺	II区	河川跡	11層	180-9	(4.2)			赤・中
C-45 壺	II区	河川跡	11層	180-6 225-5	7.8			赤・中
C-46 鉢	II区	河川跡	11層	180-5	(4.2)			赤・中
C-47 壺	II区	河川跡	11層	180-3	(6.7)			赤・中
C-48 壺	II区	河川跡	11層	180-4	(3.5)			赤・中
C-49 壺 or 壺	II区	河川跡	11層	180-2 231-7	(5.1)			赤・前
C-50 壺	II区	河川跡	12層	191-11	(4.5)			古・前
C-51 壺	II区	河川跡	12層	191-2	(8.7)			古・前
C-52 壺	II区	河川跡	11層	180-2 224-6	5.3			赤・中
C-53 壺 or 壺	II区	河川跡	11層	180-8 231-8	(6.8)			古・中
C-54 壺	II区	河川跡	12層	191-3 223-10	4.9			赤・中
C-55 壺	II区	河川跡	12層	191-6 230-6	(8.3)			古・中
C-56 壺	II区	SK-46	1層	230-2 225-7	(4.9)			赤・中
C-57 壺?	II区	SK-46	2層	230-3	(5.8)			古墳
C-58 壺	II区	SK-46	2層	230-5	(8.4)			古墳
C-59 鉢	II区	SK-46	2層	230-1 225-6	6.3			赤・中
C-60 高坏	II区	SD-25	1層	230-7 221-6	5.6			古・中
C-61 壺	II区	SD-25	1層	230-4	(5.7)			古墳
C-62 壺	II区	SD-25	2層	230-10 227-2	(15.8)			赤・中
C-63 壺	II区	SD-25	5層	230-2 221-5	4.9			古墳
C-64 壺	II区	SD-25	6層	230-6	(4.0)			古・中
C-65 壺	II区	SD-25	6層	230-5	(4.2)			古・中
C-66 壺	II区	SD-25	6層	230-8	(5.6)			古・中
C-67 壺	II区	SD-25	6層	230-9	(4.0)			古墳
C-68 壺?	II区	SD-25	6層	230-9 230-10	(12.5)			古墳

中在家南道跡登錄遺物目録7

登録番号	器種・類別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	器高	年代
C-69 環	凹区	SA-4	242-1				(6.0)	古・中
C-70 環	V区	SX-8	267-10	229-3		(3.5)	古・前	
C-71 鉢	V区	SA-8	267-11	229-4		(3.1)	古・前	
C-72 鉢	V区	SA-8	267-12	229-1		(11.1)		
C-73 鉢	V区	SA-8	267-12	229-8		(17.4)	古・中	
C-74 鉢	V区	SA-8	267-12	229-1		(4.3)	平安	
C-75 蓋	V区	SA-8	267-12	229-2		30	平安	
C-76 杯	V区	SA-8	267-12	229-8		6.1	古・前	
C-77 杯	V区	SA-8	267-12	229-4		(6.3)	古・中	
C-78 杯	V区	SA-8	267-12	229-7		6.4	古・中	
C-79 杯	V区	SA-8	267-12	229-10		6.2	古・中	
C-80 杯	V区	SA-8	267-12	229-11		5.9	古・中	
C-81 杯	V区	SA-8	267-12	229-2		6.7	古・中	
C-82 蓋	V区	SA-8	267-12	229-11		(7.0)	古・中	
C-83 蓋	V区	SA-8	267-12	229-4		(9.4)	古・中	
C-84 蓋	V区	SA-8	267-12	229-1		(5.1)	古・中	
C-85 蓋	V区	SA-8	267-12	229-3		(11.3)	古・中	
C-86 杯	V区	SA-8	267-12	229-2		(4.2)	古・中	
C-87 杯	V区	SA-8	267-12	229-8		(4.8)	古・中	
C-88 杯	V区	SA-8	267-12	229-3		(7.1)	古・中	
C-89 杯	V区	SA-8	267-12	229-9		(4.4)	古・中	
C-90 杯	V区	SA-8	267-12	229-2		(4.5)	古・中	
C-91 杯	V区	SA-8	267-12	229-8		5.3	古・中	
C-92 杯	V区	SA-8	267-12	229-11		4.9	古・中	
C-93 杯	V区	SA-8	267-12	229-3		6.0	古・中	
C-94 杯	V区	SA-8	267-12	229-1		4.9	古・中	
C-95 杯	V区	SA-8	267-12	229-3		5.6	古・中	
C-96 杯	V区	SA-8	267-12	229-1		6.2	古・中	
C-97 杯	V区	SA-8	267-12	229-1		6.6	古・中	
C-98 杯	V区	SA-8	267-12	229-1		7.3	古・中	
C-99 杯	V区	SA-8	267-12	229-3		7.8	古・中	
C-100 杯	V区	SA-8	267-12	229-5		9.1	古・中	
C-101 杯	V区	SA-8	267-12	229-3		6.7	古・中	
C-102 杯	V区	SA-8	267-12	229-10		(9.2)	古・中	
C-103 杯	V区	SA-8	267-12	229-2		6.3	古・中	
C-104 杯	V区	SA-8	267-12	229-3		6.4	古・中	
C-105 杯	V区	SA-8	267-12	229-5		7.1	古・中	
C-106 杯	V区	SA-8	267-12	229-3		(7.2)	古・中	
C-107 杯	V区	SA-8	267-12	229-18		7.1	古・中	
C-108 杯	V区	SA-8	267-12	229-1		6.4	古・中	
C-109 杯	V区	SA-8	267-12	229-4		6.4	古・中	
C-110 煎茶碗	V区	SA-8	267-12	229-2		(6.0)	古・中	
C-111 煎茶碗	V区	SA-8	267-12	229-3		10.2	古・中	
C-112 煎茶碗	V区	SA-8	267-12	229-5		(8.4)	古・中	
C-113 蓋	V区	SA-8	267-12	229-5		(7.9)	古・中	
C-114 蓋	V区	SA-8	267-12	229-5		(33.4)	古・中	
C-115 杯	V区	SA-8	267-12	229-6		(6.6)	古・中	
C-116 杯	V区	SA-8	267-12	229-2		(6.0)	古・中	
C-117 高杯	V区	SA-8	267-12	229-4		(9.2)	古・中	
C-118 高杯	V区	SA-8	267-12	229-3		(4.6)	古・中	
C-119 蓋	V区	SA-8	267-12	229-6		(4.3)	古・中	
C-120 蓋	V区	SA-8	267-12	229-5		(5.8)	古・中	
C-121 蓋	V区	SA-8	267-12	229-3		(3.5)	古・前	
C-122 蓋	V区	SA-8	267-12	229-4		(3.2)	古・前	
C-123 蓋	V区	SA-8	267-12	229-2		6.5	古・前	
C-124 高杯?	V区	SA-8	267-12	229-1		(2.7)	古・前	
C-125 甌	V区	SA-8	267-12	229-11		(6.9)	古・前	
C-126 甌	V区	SA-8	267-12	229-3		(7.1)	古・前	
C-127 甌	V区	SA-8	267-12	229-3		(6.2)	古・前	
C-128 甌	V区	SA-8	267-12	229-12		(6.2)	古・前	
C-129 甌	V区	SA-8	267-12	229-8		(5.8)	古・前	
C-130 小型甌	V区	SA-8	267-12	229-11		(5.2)	古・前	
C-131 小型甌	V区	SA-8	267-12	229-7		7.8	古・前	
C-132 甌	V区	SA-8	267-12	229-3		(4.7)	古・前	
C-133 甌	V区	SA-8	267-12	229-1		6.3	古・前	
C-134 小明手押土甌	V区	SA-8	267-12	229-10		4.3	古・前	
C-135 甌	V区	SA-8	267-12	229-6		2.1	古・前	
C-136 鉢	V区	SA-4	271-1	229-2		12.2	古・前	
C-137 鉢	V区	SA-4	271-1	229-9		(17.2)	古・前	
C-138 高杯	V区	SA-4	271-1	229-3		(9.9)	古・中	
C-139 小明手押土甌	V区	SA-4	271-1	229-14		(3.7)	古・中	
C-140 甌	V区	SA-4	271-1	229-5		(8.7)	古・中	
C-141 蓋	V区	SA-4	271-1	229-1		7.3	古・中	
C-142 蓋	V区	SA-4	271-1	229-1			古・中	
C-143 蓋	V区	SA-4	271-1	229-2			古・中	

D. ロコ口土師器

登録番号	器種・類別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	器高	年代
D-1 赤土土師環	凹区	河川跡	3層	150-6	233-3		4.6	平安
D-2 赤土土師環	凹区	河川跡	3層	150-12			(4.3)	平安
D-3 赤土土師環	凹区	河川跡	3層	150-13			(3.3)	平安
D-4 赤土土師環	凹区	河川跡	3層	150-14			(3.3)	平安
D-5 赤土土師環	凹区	河川跡	3層	150-11			4.2	平安
D-6 赤土土師環	凹区	河川跡	3層	150-9	233-6		5.1	平安
D-7 赤土土師環	凹区	河川跡	3層	150-10	233-7		4.7	平安
D-8 赤土土師環	凹区	河川跡	3層	150-7	233-4		5.2	平安
D-9 赤土土師環	凹区	河川跡	3層	150-8	233-5		4.7	平安
D-10 杯	凹区	河川跡	3層	150-5	232-13		5.2	平安
D-11 甌	凹区	SK-46	233-4	233-4		(9.7)	平安	
D-12 杯	凹区	SD-25	1層	236-1		(5.3)	平安	
D-13 杯	V区	河川跡	1a層	282-2	232-11		4.5	平安
D-14 杯	V区	河川跡	1b層	282-2	232-12		5.9	平安
D-15 杯	V区	河川跡	5層	299-4	232-10		5.6	平安
D-16 杯	V区	河川跡	5層	299-2	232-8		4.0	平安
D-17 杯	V区	河川跡	5層	299-5		(2.9)	平安	
D-18 杯	V区	河川跡	5層	299-2	232-9		4.5	平安
D-19 蓋	V区	河川跡	6層	299-3	232-2		(5.9)	平安
D-20 杯	V区	河川跡	6層	300-3	232-3		4.7	平安
D-21 杯	V区	河川跡	6層	300-4	232-4		4.5	平安
D-22 杯	V区	河川跡	6層	300-5	232-5		4.5	平安
D-23 杯	V区	河川跡	6層	300-6	232-6		4.9	平安
D-24 甌	V区	河川跡	7層	305-2	232-1	(18.7)	平安	
D-25 杯	V区	河川跡	7層	305-1	232-2		4.7	平安
D-26 杯	V区	河川跡	8層	309-1	232-1		4.2	平安
D-27 杯	V区	SK-50	276-1	232-7		4.9	平安	

E. 須臾器

登録番号	器種・類別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	器高	年代
E-1 高脚甌	V区	河川跡	11層	282-3	234-3	(10.1)	平安	
E-2 杯	V区	河川跡	5層	299-6	233-10		4.6	平安
E-3 杯	V区	河川跡	6層	300-7	233-8		4.2	平安
E-4 杯	V区	河川跡	6層	300-8	233-9		4.6	平安
E-5 甌	V区	河川跡	7層	305-3		(3.9)	平安	
E-6 甌	V区	河川跡	7層	305-4	234-2	(5.2)	平安	
E-7 甌	V区	河川跡	10層	321-1	234-1		古・中	

F. 瓦類

登録番号	器種・類別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	器高	年代
F-1 瓦瓦	V区			3層	283-1	233-5	10.4	
F-2 瓦瓦	V区			3層	299-7	235-2	8.2	平安

G. 平瓦類

登録番号	器種・類別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	器高	年代
G-1 平瓦	V区	河川跡	3層	283-2			15.8	
G-2 平瓦	V区	河川跡	3層	283-3	233-1		18.1	

I. 陶製類

登録番号	器種・類別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	器高	年代
I-1 片口鉢	凹区	河川跡	3層	150-15	234-8	(7.5)		
I-2 之形鉢	V区	河川跡	1層	277-1	234-9		(6.0)	
I-3 蓋	V区	河川跡	2層	279-1	234-13	(3.8)	近世	
I-4 杯	V区	河川跡	1a層	282-4	234-4	(2.3)	中世	
I-5 鉢	V区	河川跡	1a層	282-6	234-6	(6.0)	中世	
I-6 甌	V区	河川跡	1a層	282-8	234-11		中世	
I-7 鉢	V区	河川跡	1a層	282-7	234-7	(5.0)	中世	
I-8 甌	V区	河川跡	1a層	282-10	234-14		中世	
I-9 甌	V区	河川跡	1a層	282-9	234-12		中世	
I-10 杯	V区	河川跡	1b層	282-5	234-5	4.0		
I-11 扁鉢	凹区		1層	366-1	234-10		近世	

J. 磁器

登録番号	器種・類別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	器高	年代
J-1 瓶 (中国青磁)	V区	河川跡	1a層	282-11	234-15	(4.6)	中世	

中在家遺跡登録遺物目録8

K、石器・石製品

登録番号	品名・類別	地区	遺跡名	層位	発掘番号	全長	年代	
K-1	削片	Ⅱ区	SD 11	140-9	238-5	8.5	古・中	
K-2	磨石	Ⅱ区	河川跡	3層	160 16	241-7	11.2	古・中
K-3	砥石	Ⅱ区	SD 13	2階	144-1	241-11	2.3	古・中
K-4	凹石	Ⅱ区	河川跡	5層	177-2	241-6	10.2	古・中
K-5	砥石	Ⅱ区	河川跡	10層	169-3	243-10	5.3	古・山
K-6	磨石	Ⅱ区	河川跡	10層	169-2	241-9	8.0	古・中
K-7	凹石・砥石	Ⅱ区	河川跡	10層	169-1	241-4	9.5	古・中
K-8	凹石	Ⅱ区	河川跡	3層	150-3	241 13	3.9	古・前
K-9	自然磨	Ⅱ区	河川跡	3層				古・中
K-10	砥石	Ⅱ区	河川跡	14層	203-1	239-3	9.8	古・中
K-11	磨(砥石)	Ⅱ区	河川跡	14層				古・中
K-12	砥石	Ⅱ区	河川跡	14層	204-1	241-8	19.6	古・中
K-13	削片	Ⅱ区	河川跡	14層	204-2	238-2	4.4	古・中
K-14	土製給石片	Ⅱ区	河川跡	15層	216-1	239-4	12.0	古・中
K-15	石製砥石	Ⅱ区	SD-25	5層	236 11	236-26	5.0	古・中
K-16	磨	Ⅱ区	SD 29					古・中
K-17	板状石器	Ⅱ区	河川跡	1層	247 1	240-6	13.9	古・中
K-18	磨石	Ⅱ区	河川跡	1層	247-2	240-6	3.1	古・中
K-19	磨石	Ⅱ区	SD-29	2階	247-1	236-1	0.6	古・中
K-20	石	Ⅱ区	SD-29	3階	263-3	237-4	1.9	古・中
K-21	石	Ⅱ区	SD-29	4階	263-2	237-4	1.9	古・中
K-22	石	Ⅱ区	SD-29	5階	263-1	237-4	1.9	古・中
K-23	石	Ⅱ区	SD-29	6階	263-4	237-4	1.6	古・中
K-24	管玉	Ⅱ区	SD-29	7階	263-5	237-4	2.6	古・中
K-25	管玉	Ⅱ区	SD-29	8階	263-6	237-4	2.6	古・中
K-26	管玉	Ⅱ区	SD-29	9階	263-7	237-4	0.8	古・中
K-27	管玉	Ⅱ区	SD-29	10階	263-8	237-4	0.7	古・中
K-28	管玉	Ⅱ区	SD-29	11階	263-9	237-4	0.7	古・中
K-29	管玉	Ⅱ区	SD-29	12階	263-10	237-4	0.6	古・中
K-30	管玉	Ⅱ区	SD-29	13階	263-11	237-4	0.6	古・中
K-31	管玉	Ⅱ区	SD-29	14階	263-12	237-4	0.7	古・中
K-32	管玉	Ⅱ区	SD-29	15階	263-13	237-4	0.5	古・中
K-33	管玉	Ⅱ区	SD-29	16階	263-14	237-4	0.6	古・中
K-34	管玉	Ⅱ区	SD-29	17階	263-15	237-4	0.7	古・中
K-35	管玉	Ⅱ区	SD-29	18階	263-16	237-4	0.7	古・中
K-36	管玉	Ⅱ区	SD-29	19階	263-17	237-4	0.6	古・中
K-37	管玉	Ⅱ区	SD-29	20階	263-18	237-4	0.6	古・中
K-38	管玉	Ⅱ区	SD-29	21階	263-19	237-4	0.6	古・中
K-39	管玉	Ⅱ区	SD-29	22階	263-20	237-4	0.6	古・中
K-40	石	Ⅱ区	SD-29	23階	263-21	237-4	0.4	古・中
K-41	削片	Ⅱ区	SD-29	24階	263-22	237-4	2.4	古・中
K-42	削片	Ⅱ区	SD-29	25階	263-23	237-4	2.4	古・中
K-43	不定形石器	Ⅱ区	SD-29	26階	263-24	237-4	4.4	古・中
K-44	不定形石器	Ⅱ区	SD-29	27階	263-25	237-4	3.6	古・中
K-45	不定形石器	Ⅱ区	SD-29	28階	263-26	237-4	4.4	古・中
K-46	削片	Ⅱ区	SD-29	29階	263-27	237-4	3.7	古・中
K-47	不定形石器	Ⅱ区	SD-29	30階	263-28	237-4	1.8	古・中
K-48	不定形石器	Ⅱ区	SD-29	31階	263-29	237-4	14.9	古・中
K-49	磨石	Ⅱ区	SD-29	32階	263-30	241-11	8.1	古・中
K-50	磨石	Ⅱ区	SD-29	33階	263-31	241-11	8.1	古・中
K-51	小定形石器	Ⅱ区	SD-29	34階	263-32	241-11	8.1	古・中
K-52	不定形石器	Ⅱ区	SD-29	35階	263-33	241-11	8.1	古・中
K-53	石	Ⅱ区	SD-29	36階	263-34	241-11	8.1	古・中
K-54	削片	Ⅱ区	SD-29	37階	263-35	241-11	8.1	古・中
K-55	石	Ⅱ区	SD-29	38階	263-36	241-11	8.1	古・中
K-56	石	Ⅱ区	SD-29	39階	263-37	241-11	8.1	古・中
K-57	アメリカ式石	Ⅱ区	SD-29	40階	263-38	241-11	8.1	古・中
K-58	削片	Ⅱ区	SD-29	41階	263-39	241-11	3.4	古・中
K-59	板状石器	Ⅱ区	SD-29	42階	263-40	241-11	10.7	古・中
K-60	板状石器	Ⅱ区	SD-29	43階	263-41	241-11	10.7	古・中
K-61	石	Ⅱ区	SD-29	44階	263-42	241-11	1.9	古・中
K-62	石	Ⅱ区	SD-29	45階	263-43	241-11	3.8	古・中
K-63	石製砥石	Ⅱ区	SD-29	46階	263-44	241-11	3.8	古・中
K-64	石製砥石	Ⅱ区	SD-29	47階	263-45	241-11	3.8	古・中
K-65	石製砥石	Ⅱ区	SD-29	48階	263-46	241-11	3.8	古・中
K-66	石製砥石	Ⅱ区	SD-29	49階	263-47	241-11	3.8	古・中
K-67	石製砥石	Ⅱ区	SD-29	50階	263-48	241-11	3.8	古・中
K-68	石製砥石	Ⅱ区	SD-29	51階	263-49	241-11	3.8	古・中
K-69	石製砥石	Ⅱ区	SD-29	52階	263-50	241-11	3.8	古・中
K-70	磨石	Ⅱ区	SD-29	53階	263-51	241-11	3.8	古・中
K-71	磨石	Ⅱ区	SD-29	54階	263-52	241-11	3.8	古・中
K-72	石製砥石	Ⅱ区	SD-29	55階	263-53	241-11	3.8	古・中
K-73	石製砥石	Ⅱ区	SD-29	56階	263-54	241-11	3.8	古・中
K-74	石製砥石	Ⅱ区	SD-29	57階	263-55	241-11	3.8	古・中
K-75	石製砥石	Ⅱ区	SD-29	58階	263-56	241-11	3.8	古・中

登録番号	品名・類別	地区	遺跡名	層位	発掘番号	全長	年代	
K-76	石製砥石	Ⅱ区	河川跡	16層	313-4	236-22	2.4	古・中
K-77	石製砥石	Ⅱ区	河川跡	16層	313-1	236-19	3.1	古・中
K-78	凹石	Ⅱ区	河川跡	16層	313-6	236-25	3.6	古・中
K-79	石製砥石	Ⅱ区	河川跡	16層	313-2	236-20	3.5	古・中
K-80	石製砥石	Ⅱ区	河川跡	16層	313-3	236-21	3.3	古・中
K-81	石製砥石	Ⅱ区	河川跡	16層	321-2	236-17	3.8	古・中
K-82	磨石	Ⅱ区	河川跡	10層	321-3	236-18	3.0	古・中
K-83	磨石片/凹石	Ⅱ区	河川跡	10層	321-4	236-15	5.3	古・中
K-84	穿孔石	Ⅱ区	河川跡	12層	343-3	236-16	5.3	古・中
K-85	磨石	Ⅱ区	河川跡	10層	343-2	241-3	9.1	古・中
K-86	凹石・凹石	Ⅱ区	河川跡	10層	343-1	241-1	28.0	古・中
K-87	凹石・砥石	Ⅱ区	河川跡	10層	357-1	241-2	14.0	古・中
K-88	板状石器	Ⅱ区	河川跡	10層	357-2	240-1	5.0	古・中
K-89	不定形石器	Ⅱ区	河川跡	10層	380-15	245-6	9.29	古・中
K-90	板状石器	Ⅱ区	河川跡	10層	381-6	258-10	11.9	古・中
K-91	凹石・凹石	Ⅱ区	河川跡	10層	382-1	259-6	16.0	古・中
K-92	凹石	Ⅱ区	河川跡	10層	383-4	247-5	5.04	古・中
K-93	凹石	Ⅱ区	河川跡	10層	383-1	248-2	7.99	古・中
K-94	凹石	Ⅱ区	河川跡	10層	383-2	248-3	6.28	古・中
K-95	凹石	Ⅱ区	河川跡	10層	383-3	259-3	9.0	古・中
K-96	凹石	Ⅱ区	河川跡	10層	385-6	262-2	11.9	古・中
K-97	不定形石器	Ⅱ区	河川跡	10層	380-16	243-4	5.0	古・中
K-98	板状石器	Ⅱ区	河川跡	10層	381-4	258-6	6.0	古・中
K-99	石	Ⅱ区	河川跡	10層	383-3	242-18	2.78	古・中
K-100	石	Ⅱ区	河川跡	10層	384-1	247-1	11.19	古・中
K-101	石	Ⅱ区	河川跡	10層	380-12	243-21	1.61	古・中
K-102	石	Ⅱ区	河川跡	10層	380-11	243-23	1.91	古・中
K-103	石	Ⅱ区	河川跡	10層	383-4	260-13	4.9	古・中
K-104	石	Ⅱ区	河川跡	10層	382-2	262-1	10.8	古・中
K-105	板状石器	Ⅱ区	河川跡	10層	381-1	258-2	4.3	古・中
K-106	石	Ⅱ区	河川跡	10層	380-14	244-1	3.67	古・中
K-107	石	Ⅱ区	河川跡	10層	380-8	242-28	1.98	古・中
K-108	石	Ⅱ区	河川跡	10層	380-5	243-8	2.69	古・中
K-109	石	Ⅱ区	河川跡	10層	385-2	262-1	7.4	古・中
K-110	石	Ⅱ区	河川跡	10層	380-13	244-11	2.42	古・中
K-111	板状石器	Ⅱ区	河川跡	10層	381-3	258-3	3.3	古・中
K-112	石	Ⅱ区	河川跡	10層	382-4	247-3	9.3	古・中
K-113	石	Ⅱ区	河川跡	10層	382-3	247-3	9.3	古・中
K-114	石	Ⅱ区	河川跡	10層	384-3	262-3	6.7	古・中
K-115	板状石器	Ⅱ区	河川跡	10層	380-6	242-2	2.41	古・中
K-116	石	Ⅱ区	河川跡	10層	380-2	242-15	3.25	古・中
K-117	石	Ⅱ区	河川跡	10層	383-3	248-4	7.17	古・中
K-118	石	Ⅱ区	河川跡	10層	383-3	248-4	7.17	古・中
K-119	板状石器	Ⅱ区	河川跡	10層	381-9	258-8	10.4	古・中
K-120	板状石器	Ⅱ区	河川跡	10層	381-10	258-9	11.3	古・中
K-121	板状石器	Ⅱ区	河川跡	10層	381-8	258-7	9.4	古・中
K-122	磨石	Ⅱ区	河川跡	10層	382-7	260-12	12.7	古・中
K-123	磨石	Ⅱ区	河川跡	10層	382-3	260-12	7.4	古・中
K-124	石	Ⅱ区	河川跡	10層	380-9	242-20	1.61	古・中
K-125	石	Ⅱ区	河川跡	10層	380-4	242-3	2.66	古・中
K-126	石	Ⅱ区	河川跡	10層	380-7	242-4	2.51	古・中
K-127	石	Ⅱ区	河川跡	10層	380-10	242-22	1.91	古・中
K-128	板状石器	Ⅱ区	河川跡	10層	381-2	258-3	5.2	古・中
K-129	板状石器	Ⅱ区	河川跡	10層	381-5	258-5	9.0	古・中
K-130	石	Ⅱ区	河川跡	10層	381-7	258-7	9.0	古・中
K-131								

中在家南遺跡登録遺物目録9

登録番号	名称・類別	地区	遺物名	寸法	実測長さ	写真番号	全長	年代		
K-153	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	497-5	256-5	8.7	弥生・中		
K-154	石磨丁	Ⅲ区	河川跡	15号	206	1	247	2	弥生・中	
K-155	骨玉	Ⅲ区	河川跡	15号	310-6	262-13	2.0	弥生・中		
K-156	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	491-4	242-9	3.37	弥生・中		
K-157	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	491-10	243-1	2.59	弥生・中		
K-158	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	497-14	243-17	2.18	弥生・中		
K-159	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492-15	243-19	1.92	弥生・中		
K-160	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492-16	243-19	1.92	弥生・中		
K-161	木製鋸刃片	Ⅲ区	河川跡	15号	506	2	250	5	弥生・中	
K-162	板石	Ⅲ区	河川跡	15号	505-5	262-8	15.8	弥生・中		
K-163	板石	Ⅲ区	河川跡	15号	504	2	261	10	弥生・中	
K-164	板石	Ⅲ区	河川跡	15号	497-2	256-1	6.81	弥生・中		
K-165	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	496	1	256	4	弥生・中	
K-166	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	510-4	250-2	1.86	弥生・中		
K-167	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	493-9	241	2	5.33	弥生・中	
K-168	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	491-11	243-9	2.58	弥生・中		
K-169	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	497-6	256-6	6.7	弥生・中		
K-170	鋸片	Ⅲ区	河川跡	15号	505	7	262	10	弥生・中	
K-171	石・板石	Ⅲ区	河川跡	15号	499-3	239-10	11.6	弥生・中		
K-172	板石	Ⅲ区	河川跡	15号	505	1	261	15	弥生・中	
K-173	鋸片	Ⅲ区	河川跡	15号	395-6	230-10	19.7	弥生・中		
K-174	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	406-4	268-1	24.2	弥生・中		
K-175	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	406-5	243-12	2.14	弥生・中		
K-176	石磨丁	Ⅲ区	河川跡	15号	506-2	248-1	7.20	弥生・中		
K-177	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	491	12	242	7	弥生・中	
K-178	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	491-13	242-7	2.54	弥生・中		
K-179	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	308	2	251	3	弥生・中	
K-180	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	493-8	243-26	2.68	弥生・中		
K-181	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	497-1	256	1	19.5	弥生・中	
K-182	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	498-6	257-6	8.0	弥生・中		
K-183	木製鋸刃片	Ⅲ区	河川跡	15号	307-1	251-2	13.09	弥生・中		
K-184	スライパー	Ⅲ区	河川跡	15号	491-1	244-14	5.78	弥生・中		
K-185	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	499-3	245-24	1.67	弥生・中		
K-186	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	493-5	242-11	2.3	弥生・中		
K-187	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	491-5	242-11	3.87	弥生・中		
K-188	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	491-14	243	3	2.19	弥生・中	
K-189	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492-16	242-14	3.05	弥生・中		
K-190	鋸片	Ⅲ区	河川跡	15号	495-5	246	2	4.67	弥生・中	
K-191	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	505-2	262-4	4.3	弥生・中		
K-192	不定形石器	Ⅲ区	河川跡	15号	494-10	246-4	3.68	弥生・中		
K-193	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492	17	243	18	2.15	弥生・中
K-194	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	491-15	242-16	2.71	弥生・中		
K-195	扁平片 刃石	Ⅲ区	河川跡	15号	509	1	252	3	9.71	弥生・中
K-196	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	498-7	257-7	10.1	弥生・中		
K-197	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	496-6	245-13	3.63	弥生・中		
K-198	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492-18	243-5	1.98	弥生・中		
K-199	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	493-11	244-4	2.14	弥生・中		
K-200	鋸片	Ⅲ区	河川跡	15号	503	3	262	5	4.7	弥生・中
K-201	板石	Ⅲ区	河川跡	15号	505-8	262-9	11.8	弥生・中		
K-202	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	496-1	254-1	19.91	弥生・中		
K-203	板石	Ⅲ区	河川跡	15号	502-6	260-9	10.5	弥生・中		
K-204	石・板石	Ⅲ区	河川跡	15号	501-1	259-8	8.7	弥生・中		
K-205	石	Ⅲ区	河川跡	15号	292	2	300	4	14.9	弥生・中
K-206	石・板石	Ⅲ区	河川跡	15号	499-4	259-5	12.0	弥生・中		
K-207	礫石	Ⅲ区	河川跡	15号	501-3	262-12	17.3	弥生・中		
K-208	鋸片	Ⅲ区	河川跡	15号	495-1	246-3	3.02	弥生・中		
K-209	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	498-5	257-5	6.3	弥生・中		
K-210	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492	8	242	1	2.49	弥生・中
K-211	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492-19	243-13	2.47	弥生・中		
K-212	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	493-12	243-5	1.92	弥生・中		
K-213	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	493-11	244-4	2.14	弥生・中		
K-214	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	510-5	253-2	5.19	弥生・中		
K-215	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492-9	243	6	1.89	弥生・中	
K-216	鋸片	Ⅲ区	河川跡	15号	495-3	246-6	3.53	弥生・中		
K-217	石磨丁	Ⅲ区	河川跡	15号	506-3	247-1	6.26	弥生・中		
K-218	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	503-8	261-8	5.9	弥生・中		
K-219	板石	Ⅲ区	河川跡	15号	502-3	260-6	11.6	弥生・中		
K-220	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	508	1	257	1	14.5	弥生・中
K-221	石・板石	Ⅲ区	河川跡	15号	501-5	260-2	10.2	弥生・中		
K-222	礫石	Ⅲ区	河川跡	15号	500-5	259-13	8.4	弥生・中		
K-223	板石	Ⅲ区	河川跡	15号	304-4	301-12	9.5	弥生・中		
K-224	石・板石	Ⅲ区	河川跡	15号	301-4	300-1	12.9	弥生・中		
K-225	石・板石	Ⅲ区	河川跡	15号	300	2	309	7	7.4	弥生・中
K-226	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	493-7	245-8	3.32	弥生・中		
K-227	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	491-16	243-25	1.91	弥生・中		
K-228	扁平片 刃石	Ⅲ区	河川跡	15号	510-2	250-3	11.13	弥生・中		
K-229	扁平片 刃石	Ⅲ区	河川跡	15号	510-3	250-4	4.89	弥生・中		

登録番号	名称・類別	地区	遺物名	寸法	実測長さ	写真番号	全長	年代		
K-230	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	511-1	253-1	13.32	弥生・中		
K-231	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492-2	242-6	2.33	弥生・中		
K-232	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	491-7	242-10	3.56	弥生・中		
K-233	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	499-2	242-17	3.13	弥生・中		
K-234	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	501-2	261-5	9.9	弥生・中		
K-235	石・板石	Ⅲ区	河川跡	15号	500-4	259-4	16.5	弥生・中		
K-236	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	504	5	261	13	9.1	弥生・中
K-237	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	499-1	257-8	13.3	弥生・中		
K-238	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	497-2	256	2	15.6	弥生・中	
K-239	石・板石	Ⅲ区	河川跡	15号	500-3	259-11	9.5	弥生・中		
K-240	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	493-13	244-3	4.16	弥生・中		
K-241	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492-3	243-16	2.66	弥生・中		
K-242	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	498-2	257-2	15.3	弥生・中		
K-243	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	502-4	260-7	10.6	弥生・中		
K-244	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	496-3	257-3	15.9	弥生・中		
K-245	板石	Ⅲ区	河川跡	15号	503	4	262	6	7.0	弥生・中
K-246	板石	Ⅲ区	河川跡	15号	305-5	300-8	15.2	弥生・中		
K-247	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	501-1	261	9	8.4	弥生・中	
K-248	石・板石	Ⅲ区	河川跡	15号	500-2	259-12	11.5	弥生・中		
K-249	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	503-7	261-7	7.2	弥生・中		
K-250	板石	Ⅲ区	河川跡	15号	503-2	261-2	7.4	弥生・中		
K-251	板石	Ⅲ区	河川跡	15号	503-3	261-3	5.8	弥生・中		
K-252	板石	Ⅲ区	河川跡	15号	303	1	301-1	9.0	弥生・中	
K-253	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	500-1	260-5	11.3	弥生・中		
K-254	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	504-6	261	14	15.3	弥生・中	
K-255	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	497-3	256-3	14.2	弥生・中		
K-256	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	499-3	259-2	11.5	弥生・中		
K-257	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	499-2	259-1	8.6	弥生・中		
K-258	不定形石器	Ⅲ区	河川跡	15号	494-2	245-5	2.65	弥生・中		
K-259	不定形石器	Ⅲ区	河川跡	15号	494	9	249-10	4.06	弥生・中	
K-260	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492-20	243-24	2.36	弥生・中		
K-261	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	494	10	244	6	2.88	弥生・中
K-262	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	499-4	265-1	3.16	弥生・中		
K-263	鋸片	Ⅲ区	河川跡	15号	497-7	246	8	6.31	弥生・中	
K-264	鋸片	Ⅲ区	河川跡	15号	495-2	246-9	4.01	弥生・中		
K-265	板石	Ⅲ区	河川跡	15号	500-4	261-4	3.6	弥生・中		
K-266	不定形石器	Ⅲ区	河川跡	15号	494	4	245-11	3.21	弥生・中	
K-267	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	493-1	242-21	1.31	弥生・中		
K-268	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492-1	242	23	1.71	弥生・中	
K-269	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492-11	242-27	1.91	弥生・中		
K-270	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492-12	243-17	1.99	弥生・中		
K-271	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492-2	243-10	2.37	弥生・中		
K-272	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	495-4	242-26	2.1	弥生・中		
K-273	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492	5	243	25	2.63	弥生・中
K-274	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	493-5	243-2	2.52	弥生・中		
K-275	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	492-6	243-14	2.6	弥生・中		
K-276	不定形石器	Ⅲ区	河川跡	15号	494-3	243-2	3.7	弥生・中		
K-277	鋸片	Ⅲ区	河川跡	15号	495-4	246	7	2.5	弥生・中	
K-278	不定形石器	Ⅲ区	河川跡	15号	494	6	243-3	2.5	弥生・中	
K-279	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	493-4	244-7	1.9	弥生・中		
K-280	板状石器	Ⅲ区	河川跡	15号	495-8	244	12	3.6	弥生・中	
K-281	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	491-8	243-25	2.37	弥生・中		
K-282	石鏃	Ⅲ区	河川跡	15号	502-1	260-3	14.1	弥生・中		
K-283	板石	Ⅲ区	河川跡	15号	503	5	261	11	7.9	弥生・中
K-284	板石	Ⅲ区	河川跡	15号	503-6	261-6	9.3	弥生・中		
K-285	不定形石器	Ⅲ区	河川跡	15号	494	245	7	3.44	弥生・中	
K-286	不定形石器	Ⅲ区	河川跡	15号	494-5	246-1	5.02	弥生・中		

L. 木製品

登録番号	名称・類別	地区	遺物名	寸法	実測長さ	写真番号	全長	年代	
L-1	櫛	Ⅲ区	河川跡	3号	152-2	264-4		弥生・中	
L-2	平丸	Ⅲ区	河川跡	3号	152-6	263-8		弥生・中	
L-3	下駄	Ⅲ区	河川跡	3号	152	263	7	14.6	弥生・中
L-4	コロボシ	Ⅲ区	河川跡	3号	151-1	265-15	103.0	弥生・中	
L-5	円板	Ⅲ区	河川跡	3号	152-3	264-11	15.1	弥生・中	
L-6	角材	Ⅲ区							

中在家南遺跡登錄遺物目錄10

登録番号	品名・種別	地区	遺跡名	層位	発見番号	全長	年代	
L-17	角材	II区	河川跡	3層	152-10	20.8	平~中	
L-18	角材	II区	河川跡	3層		17.3	平~中	
L-19	角材	II区	河川跡	3層	153-5	41.5	平~中	
L-20	丸杖	II区	河川跡	3層	153-5	38.5	平~中	
L-21	穴蓋	II区	河川跡	3層	152-4 264 7	23.8	平~中	
L-22	丸杖	II区	河川跡	3層	154-5	13.0	平~中	
L-23	角杖	II区	河川跡	3層	154-1	25.4	平~中	
L-24	丸杖	II区	河川跡	3層		3.5	平~中	
L-25	丸杖	II区	河川跡	3層	153 7 335 1	91.1	平~中	
L-26	丸杖	II区	河川跡	3層	154-10 335-6	106.7	平~中	
L-27	角杖	II区	河川跡	3層	154-4	19.9	平~中	
L-28	丸杖	II区	河川跡	3層	154-8	64.0	平~中	
L-29	丸杖	II区	河川跡	3層	154-9	7.9	平~中	
L-30	丸杖	II区	河川跡	3層	154-6	4.5	平~中	
L-31	丸杖	II区	河川跡	3層	154-7 335-5	24.7	平~中	
L-32	角杖	II区	河川跡	3層	154-3	26.2	平~中	
L-33	角杖	II区	河川跡	3層	154-2	27.1	平~中	
L-34	角杖	II区	河川跡	3層	153 8 335 2	73.2	平~中	
L-35	内板	II区	河川跡	5層	158-4 265-8	20.8	平安	
L-36	蓋材	II区	河川跡	5層	158-1 265-1	105.2	平安	
L-37	丸杖	II区	河川跡	3層	159-2	19.9	平安	
L-38	板状物	II区	河川跡	3層	158 2 265-2	35.0	平安	
L-39	蓋材	II区	河川跡	3層	158-6	30.6	平安	
L-40	不明	II区	河川跡	3層	158-5 265-3	28.9	平安	
L-41	角材	II区	河川跡	3層	159-1	88.0	平安	
L-42	分銅材	II区	河川跡	2層		45.6	平安	
L-43	板材	II区	河川跡	5層	158 7	105.5	平安	
L-44	板状物	II区	河川跡	5層	159-3	77.2	平安	
L-45	丸杖	II区	河川跡	5層	139 4 337-7	111.5	平安	
L-46	丸杖	II区	河川跡	5層	161-3	60.8	平安	
L-47	丸杖	II区	河川跡	6層	161 2 337-8	61.2	平安	
L-48	丸杖	II区	河川跡	6層	161-6	170.5	平安	
L-49	丸杖	II区	河川跡	6層	161-5 337-3	207.2	平安	
L-50	丸杖	II区	河川跡	6層	161-4	195.8	平安	
L-51	丸杖	II区	河川跡	6層	161-7	187.4	平安	
L-52	丸杖	II区	河川跡	8層	163-3	107.1	平安	
L-53	分銅材	II区	河川跡	8層	163-2	55.2	平安	
L-54	分銅材	II区	河川跡	8層	163-1	36.7	平安	
L-55	梁材	II区	河川跡	8層		56.7	平安	
L-56	丸杖	II区	河川跡	8層	163-5 337-9	85.4	平安	
L-57	丸杖	II区	河川跡	8層	163-4	89.9	平安	
L-58	梁材	II区	河川跡	9層	167-1 329 2	135.2	古・中	
L-59	分銅材	II区	河川跡	10層		171.6	古・中	
L-60	分銅材	II区	河川跡	10層	177 1	343.4	古・中	
L-61	梁材(不明)	II区	河川跡	10層	173-5 329-3	161.5	古・中	
L-62	梁材(不明)	II区	河川跡	10層	174-1 329-4	194.4	古・中	
L-63	分銅材	II区	河川跡	10層		176.6	古・中	
L-64	梁材	II区	河川跡	10層	171-2 268-7	27.8	古・中	
L-65	不明角材	II区	河川跡	10層	172 6 269-1	31.8	古・中	
L-66	板材	II区	河川跡	10層	173-5	59.6	古・中	
L-67	不明	II区	河川跡	10層	173-2 271-1	22.0	古・中	
L-68	板材	II区	河川跡	10層	178-2 327 10	25.9	古・中	
L-69	弓	II区	河川跡	10層	172-2 270-2	17.6	古・中	
L-70	弓	II区	河川跡	10層	172-3 270-3	54.4	古・中	
L-71	不明角材	II区	河川跡	10層	172-4 269-2	42.9	古・中	
L-72	不明	II区	河川跡	10層	171-1 271-2	18.2	古・中	
L-73	一木脚	II区	河川跡	10層	170-1 268 1	89.0	古・中	
L-74	不明	II区	河川跡	10層	173-4 271-3	46.2	古・中	
L-75	板材	II区	河川跡	10層	175 4	18.2	古・中	
L-76	板材	II区	河川跡	10層		17.0	古・中	
L-77	板材	II区	河川跡	10層	175-2	32.6	古・中	
L-78	板	II区	河川跡	10層	172 5 270 8	39.0	古・中	
L-79	分銅材	II区	河川跡	10層		17.1	古・中	
L-80	分銅材	II区	河川跡	10層	175 8	33.3	古・中	
L-81	分銅材	II区	河川跡	10層		21.7	古・中	
L-82	分銅材	II区	河川跡	10層		109.4	古・中	
L-83	板材	II区	河川跡	10層	175 3	28.4	古・中	
L-84	分銅材	II区	河川跡	10層		19.9	古・中	
L-85	分銅材	II区	河川跡	10層	176-4	78.2	古・中	
L-86	分銅材	II区	河川跡	10層		21.1	古・中	
L-87	分銅材	II区	河川跡	10層		48.8	古・中	
L-88	板材	II区	河川跡	10層	173 6	72.1	古・中	
L-89	丸杖	II区	河川跡	10層	178-3	23.2	古・中	
L-90	角材	II区	河川跡	10層	176-2	44.0	古・中	
L-91	角材	II区	河川跡	10層	176 1	275.8	古・中	
L-92	掘り跡	II区	河川跡	10層	170-2	268-6	84.8	古・中
L-93	穴蓋	II区	河川跡	10層				

登録番号	品名・種別	地区	遺跡名	層位	発見番号	全長	年代
L-94	銅釘	II区	河川跡	10層	177-1 268-8	20.2	古・中
L-95	丸杖	II区	河川跡	10層	171 8	40.3	古・中
L-96	不明	II区	河川跡	10層	173-7 271-4	45.6	古・中
L-97	分銅材	II区	河川跡	10層	176 3	221.8	古・中
L-98	銅釘	II区	河川跡	10層	171-4 270-1	58.2	古・中
L-99	丸杖	II区	河川跡	10層	178-1 327 11	20.3	古・中
L-100	銅釘	II区	河川跡	10層	178-9	88.6	古・中
L-101	丸杖	II区	河川跡	10層	178-8	27.8	古・中
L-102	銅釘	II区	河川跡	10層	178-7	29.8	古・中
L-103	丸杖	II区	河川跡	10層	178-10	19.5	古・中
L-104	銅釘	II区	河川跡	10層	178 14	11.5	古・中
L-105	銅釘	II区	河川跡	10層	178-6	102.9	古・中
L-106	分銅材	II区	河川跡	11層	184 8	114.2	古・中
L-107	分銅材	II区	河川跡	11層	184-2	34.0	古・中
L-108	分銅材	II区	河川跡	11層	184 7	112.7	古・中
L-109	分銅材	II区	河川跡	11層		26.7	古・中
L-110	丸杖	II区	河川跡	11層	187-3	78.1	古・中
L-111	丸杖	II区	河川跡	11層	187-1 330-5	107.4	古・中
L-112	丸杖	II区	河川跡	11層	187-4	33.4	古・中
L-113	丸杖	II区	河川跡	11層	186-8	180.2	古・中
L-114	銅釘	II区	河川跡	12層	191-1 272-10	17.0	古・前
L-115	一木・又脚	II区	河川跡	12層	193 2 273 3	79.2	古・前
L-116	杵子状木製品	II区	河川跡	12層	195-1 277-10	25.8	古・前
L-117	丸杖	II区	河川跡	12層	197 1	70.2	古・前
L-118	銅釘	II区	河川跡	12層	194-5 277-7	30.2	古・前
L-119	不明	II区	河川跡	12層	195 3 278 11	40.4	古・前
L-120	板材	II区	河川跡	12層	193-6	4.6	古・前
L-121	丸杖	II区	河川跡	12層	194-3 278-1	38.8	古・前
L-122	不明	II区	河川跡	12層	193-8 278-3	42.5	古・前
L-123	不明	II区	河川跡	12層	195-4 278-2	22.4	古・前
L-124	不明角材	II区	河川跡	12層	192 4 277 8	16.9	古・前
L-125	杵子状木製品	II区	河川跡	12層	195-2 277-11	42.2	古・前
L-126	銅釘・又脚	II区	河川跡	12層	193-1 275-1	61.0	古・前
L-127	銅釘	II区	河川跡	12層	194-1 276-5	18.4	古・前
L-128	銅釘・又脚	II区	河川跡	12層	192-3 273-2	61.8	古・前
L-129	丸杖	II区	河川跡	12層	197 2	64.5	古・前
L-130	丸杖	II区	河川跡	12層	198-7	47.7	古・前
L-131	丸杖	II区	河川跡	12層	198-2	21.0	古・前
L-132	平杖・丸杖	II区	河川跡	12層	198-1	31.4	古・前
L-133	丸杖	II区	河川跡	12層	198-8	61.0	古・前
L-134	分銅材	II区	河川跡	12層		133.4	古・前
L-135	分銅材	II区	河川跡	12層		19.3	古・前
L-136	分銅材	II区	河川跡	12層		41.7	古・前
L-137	分銅材	II区	河川跡	12層	197-7	38.3	古・前
L-138	丸杖	II区	河川跡	12層	197-3	38.6	古・前
L-139	分銅材	II区	河川跡	12層		72.9	古・前
L-140	丸杖	II区	河川跡	12層	196-4	14.0	古・前
L-141	分銅材	II区	河川跡	12層	197-4	22.2	古・前
L-142	板材	II区	河川跡	12層	195-7	10.7	古・前
L-143	板材	II区	河川跡	12層	195-8	31.2	古・前
L-144	丸杖	II区	河川跡	12層	198 10 339 10	40.3	古・前
L-145	銅釘・又脚	II区	河川跡	12層	199-1 273-3	42.4	古・前
L-146	分銅材	II区	河川跡	12層	199-4	11.8	古・前
L-147	分銅材	II区	河川跡	12層		67.4	古・前
L-148	分銅材	II区	河川跡	13層	199-5	74.1	古・前
L-149	分銅材	II区	河川跡	13層	199 8	119.0	古・前
L-150	銅釘	II区	河川跡	13層	199-9	15.6	古・前
L-151	銅釘	II区	河川跡	14層	209-2 312-2	17.2	古・前
L-152	分銅材	II区	河川跡	14層	213-2	13.8	古・前
L-153	分銅材	II区	河川跡	14層		41.2	古・前
L-154	分銅材	II区	河川跡	14層		56.2	古・前
L-155	丸杖	II区	河川跡	14層	213-6	30.4	古・前
L-156	丸杖	II区	河川跡	14層	211-2	25.9	古・前
L-157	分銅材	II区	河川跡	14層		49.2	古・前
L-158	平杖・丸杖	II区	河川跡	14層	213-7	58.9	古・前
L-159	分銅材	II区	河川跡	14層	210-6	23.5	古・前
L-160	銅釘	II区	河川跡	15層	221-1 304-8	48.6	古・前
L-161	銅釘	II区	河川跡	15層	224-2 313-5	34.4	古・前
L-162	銅釘	II区	河川跡	15層	217-1 285-1	46.2	古・前
L-163	不明角材	II区	河川跡	15層	219-2 306-3	14.0	古・前
L-164	板材	II区	河川跡	15層	225-4	44.1	古・前
L-165	板	II区	河川跡	15層	222 2 317 3	68.1	古・前
L-166	丸杖	II区	河川跡	15層		18.7	古・前
L-167	分銅材	II区	河川跡	15層		32.4	古・前
L-168	丸杖	II区	河川跡	15層	226 3	31.7	古・前
L-169	丸杖	II区	河川跡	15層		37.0	古・前
L-170	丸杖	II区	河川跡	15層	228 1	44.8	古・前

中在家南遺跡登錄遺物目錄11

物品番号	名称・類別	地区	遺物名	单位	数量/重量	寸法/形状	全長	年代
L-171	角材	ⅢB区	河川跡	3層	17.0		17.0	平安
L-172	角材	ⅢB区	河川跡	3層	9.5		9.5	平安
L-173	分銅材	ⅢB区	河川跡	3層	22.9		22.9	平安
L-174	分銅材	ⅢB区	河川跡	3層	13.8		13.8	平安
L-175	分銅材	ⅢB区	河川跡	7層	78.5		78.5	平安
L-176	分銅材	ⅢB区	河川跡	7層	33.0		33.0	平安
L-177	分銅材	ⅢB区	河川跡	7層	20.6		20.6	平安
L-178	角材	ⅢB区	河川跡	7層	15.0		15.0	平安
L-179	不明	Ⅲ区	SD 13		145.1	263.1	12.4	不明
L-180	建築材	Ⅰ区	Ⅱe 40				15.5	平安
L-181	門板	Ⅲ区	河川跡	6層	161.1	266.2	14.4	平安
L-182	丸杭	Ⅲ区	河川跡	9層	167.3	338.7	82.6	古・中
L-183	門板	Ⅲ区	河川跡	9層	167.2	266.3	25.2	古・中
L-184	唐戸板	Ⅲ区	河川跡	10層	172.3	270.10	36.2	古・中
L-185	建築材(不明)	Ⅲ区	河川跡	10層	174.2	320.5	36.2	古・中
L-186	不明(農具)	Ⅲ区	河川跡	10層	171.3	269.4	74.8	古・中
L-187	丸杭	Ⅲ区	河川跡	10層	177.6		81.8	古・中
L-188	分銅材	Ⅲ区	河川跡	10層	176.6		92.8	古・中
L-189	分銅材	Ⅲ区	河川跡	10層	175.6		70.6	古・中
L-190	分銅材	Ⅲ区	河川跡	10層	177.3		140.5	古・中
L-191	角材	Ⅲ区	河川跡	10層	176.3		191.0	古・中
L-192	丸杭	Ⅲ区	河川跡	10層	177.2	328.1	255.0	古・中
L-193	丸杭	Ⅲ区	河川跡	10層	178.10		72.7	古・中
L-194	分銅材	Ⅲ区	河川跡	10層			29.0	古・中
L-195	丸材	Ⅲ区	河川跡	10層	177.7		74.3	古・中
L-196	丸材	Ⅲ区	河川跡	10層			83.8	古・中
L-197	板材	Ⅲ区	河川跡	11層	182.8		25.2	古・中
L-198	板材	Ⅲ区	河川跡	11層	182.3	270.9	23.4	古・中
L-199	分銅材	Ⅲ区	河川跡	11層	183.7		30.5	古・中
L-200	丸材	Ⅲ区	河川跡	11層	186.1		56.5	古・中
L-201	小洞	Ⅲ区	河川跡	11層	181.1	271.5	39.0	古・中
L-202	板材	Ⅲ区	河川跡	11層	183.1	327.8	62.4	古・中
L-203	分銅材	Ⅲ区	河川跡	11層	183.8		83.4	古・中
L-204	丸材	Ⅲ区	河川跡	11層	183.3		107.4	古・中
L-205	不明	Ⅲ区	河川跡	11層	185.1-4	271.6	52.5	古・中
L-206	角材	Ⅲ区	河川跡	11層	182.5		64.2	古・中
L-207	丸杭	Ⅲ区	河川跡	9層	167.5	338.8	84.5	古・後
L-208	丸杭	Ⅲ区	河川跡	11層	187.2		72.6	古・中
L-209	丸材	Ⅲ区	河川跡	11層	185.9		95.0	古・中
L-210	丸材	Ⅲ区	河川跡	11層	185.6	328.2	96.3	古・中
L-211	分銅材	Ⅲ区	河川跡	11層	184.4		70.4	古・中
L-212	丸材	Ⅲ区	河川跡	11層	185.1		108.8	古・中
L-213	半截丸杭	Ⅲ区	河川跡	10層	178-11		26.8	古・中
L-214	丸材	Ⅲ区	河川跡	10層	177.5		46.0	古・中
L-215	丸材	Ⅲ区	河川跡	10層	177.4		66.5	古・中
L-216	分銅材	Ⅲ区	河川跡	10層			32.5	古・中
L-217	板材	Ⅲ区	河川跡	10層	179.4	268.2	54.4	古・中
L-218	丸杭	Ⅲ区	河川跡	11層	188.2	339.6	82.4	古・中
L-219	分銅材	Ⅲ区	河川跡	11層	183.3		49.5	古・中
L-220	丸材	Ⅲ区	河川跡	11層	186.5		14.2	古・中
L-221	木脚	Ⅲ区	河川跡	11層	181.2	268.10	16.6	古・中
L-222	分銅材	Ⅲ区	河川跡	11層	184.9		31.6	古・中
L-223	分銅材	Ⅲ区	河川跡	11層	184.6		33.3	古・中
L-224	分銅材	Ⅲ区	河川跡	11層			15.7	古・中
L-225	分銅材	Ⅲ区	河川跡	11層			23.0	古・中
L-226	分銅材	Ⅲ区	河川跡	11層	183.4		17.6	古・中
L-227	不明	Ⅲ区	河川跡	11層	182.7	271.7	32.2	古・中
L-228	分銅材	Ⅲ区	河川跡	11層	184.1		54.3	古・中
L-229	角材	Ⅲ区	河川跡	11層	183.5		48.4	古・中
L-230	丸材	Ⅲ区	河川跡	11層	186.3		59.1	古・中
L-231	分銅材	Ⅲ区	河川跡	11層	184.3		54.8	古・中
L-232	丸材	Ⅲ区	河川跡	11層	186.7		2.1	古・中
L-233	分銅材	Ⅲ区	河川跡	11層	183.2		14.6	古・中
L-234	分銅材	Ⅲ区	河川跡	12層			25.9	古・前
L-235	製作	Ⅲ区	河川跡	12層	194.6	277.2	123.0	古・前
L-236	分銅材	Ⅲ区	河川跡	12層			53.9	古・前
L-237	分銅材	Ⅲ区	河川跡	14層	207.2	292.2	32.3	古・前
L-238	分銅材	Ⅲ区	河川跡	14層	209.1	269.2	59.4	古・前
L-239	分銅材	Ⅲ区	河川跡	14層			17.8	古・前
L-240	板材	Ⅲ区	河川跡	14層	211.1		36.1	古・前
L-241	分銅材	Ⅲ区	河川跡	14層			15.2	古・前
L-242	分銅材	Ⅲ区	河川跡	14層			14.0	古・前
L-243	分銅材	Ⅲ区	河川跡	14層			19.9	古・前
L-244	分銅材	Ⅲ区	河川跡	14層	211.9		68.7	古・前
L-245	分銅材	Ⅲ区	河川跡	14層			38.1	古・前
L-246	分銅材	Ⅲ区	河川跡	14層			43.1	古・前
L-247	分銅材	Ⅲ区	河川跡	14層			50.5	古・前

物品番号	名称・類別	地区	遺物名	單位	数量/重量	寸法/形状	全長	年代
L-248	分銅材	Ⅲ区	河川跡	14層	211.7		106.0	古・中
L-249	半截丸杭	Ⅲ区	河川跡	14層	213.8		117.0	古・中
L-250	分銅材	Ⅲ区	河川跡	14層	212.4		114.0	古・中
L-251	製作	Ⅲ区	河川跡	15層	221.4	304.2	103.4	古・中
L-252	分銅材	Ⅲ区	河川跡	15層	227.2	332.6	23.5	古・中
L-253	製作	Ⅲ区	河川跡	15層	222.1	306.6	27.0	古・中
L-254	製作	Ⅲ区	河川跡	15層	221.2	304.5	42.0	古・中
L-255	分銅材	Ⅲ区	河川跡	15層			17.2	古・中
L-256	分銅材	Ⅲ区	河川跡	15層			33.0	古・中
L-257	分銅材	Ⅲ区	河川跡	15層	227.3		32.5	古・中
L-258	分銅材	Ⅲ区	河川跡	15層			26.0	古・中
L-259	角材	Ⅲ区	河川跡	15層	236.4		50.8	古・中
L-260	分銅材	Ⅲ区	河川跡	15層	227.1		22.7	古・中
L-261	分銅材	Ⅲ区	河川跡	15層			33.4	古・中
L-262	分銅材	Ⅲ区	河川跡	15層			32.6	古・中
L-263	分銅材	Ⅲ区	河川跡	15層	227.6		43.3	古・中
L-264	丸材	Ⅲ区	河川跡	15層	226.2		25.0	古・中
L-265	分銅材	Ⅲ区	河川跡	15層	227.8		21.6	古・中
L-266	厚板(樹状木製品)	Ⅲ区	河川跡	15層	225.2	319.4	47.4	古・中
L-267	丸杭	Ⅲ区	河川跡	15層	228.9		73.0	古・中
L-268	分銅材	Ⅲ区	河川跡	15層			74.1	古・中
L-269	分銅材	Ⅲ区	河川跡	15層	227.5		50.4	古・中
L-270	分銅材	Ⅲ区	河川跡	15層	227.5		41.8	古・中
L-271	分銅材	Ⅲ区	河川跡	15層			51.8	古・中
L-272	丸杭	Ⅲ区	河川跡	16層	231.3		23.5	古・中
L-273	丸杭	Ⅲ区	河川跡	3層	138.3	265.9	16.4	平安
L-274	丸杭	Ⅲ区	河川跡	9層	167.4	330.1	25.4	古・中
L-275	丸杭	Ⅲ区	河川跡	10層	178.12		26.6	古・中
L-276	丸材	Ⅲ区	河川跡	10層	177.9		3.7	古・中
L-277	角材	Ⅲ区	河川跡	10層	178.4		61.0	古・中
L-278	分銅材	Ⅲ区	河川跡	10層			27.3	古・中
L-279	分銅材	Ⅲ区	河川跡	10層	178.5		12.4	古・中
L-280	板材	Ⅲ区	河川跡	10層	175.7		22.4	古・中
L-281	板材	Ⅲ区	河川跡	10層	170.3	268.3	23.0	古・中
L-282	板材	Ⅲ区	河川跡	10層	175.1		235.8	古・中
L-283	古銅線	Ⅲ区	河川跡	11層	181.3	267.1	19.2	古・中
L-284	製作	Ⅲ区	河川跡	11層	182.1	268.9	20.4	古・中
L-285	古銅線	Ⅲ区	河川跡	12層	191.2	272.8	29.2	古・前
L-286	板材	Ⅲ区	河川跡	12層	194.4	277.3	32.2	古・前
L-287	製作	Ⅲ区	河川跡	12層	194.2	276.6	25.2	古・前
L-288	不明	Ⅲ区	河川跡	12層	192.5	278.4	16.0	古・前
L-289	古銅線	Ⅲ区	河川跡	14層	208.2	309.3	70.2	古・前
L-290	不明	Ⅲ区	河川跡	14層	207.6	318.8	37.6	古・前
L-291	古銅線	Ⅲ区	河川跡	14層	210.1	313.3	90.8	古・前
L-292	古銅線	Ⅲ区	河川跡	15層	206.2	320.4	33.8	古・前
L-293	古銅線	Ⅲ区	河川跡	14層	208.1	301.2	113.0	古・前
L-294	古銅線	Ⅲ区	河川跡	14層	205.1	294.1	81.2	古・前
L-295	古銅線	Ⅲ区	河川跡	14層	207.1	297.6	16.0	古・前
L-296	古銅線	Ⅲ区	河川跡	14層	206.1	296.2	22.2	古・前
L-297	古銅線	Ⅲ区	河川跡	14層	209.3	312.4	92.0	古・前
L-298	不明	Ⅲ区	河川跡	14層	207.4		7.8	古・前
L-299	丸杭	Ⅲ区	河川跡	11層	188.1		26.2	古・前
L-300	不明	Ⅲ区	河川跡	11層	182.6	271.8	39.8	古・前
L-301	板化竹	Ⅲ区	河川跡	11層			20.5	古・前
L-302	板材	Ⅲ区	河川跡	11層	182.4		9.0	古・前
L-303	分銅材	Ⅲ区	河川跡	11層			38.3	古・前
L-304	分銅材	Ⅲ区	河川跡	11層	183.6		46.8	古・前
L-305	丸材	Ⅲ区	河川跡	11層	186.6		18.4	古・前
L-306	分銅材	Ⅲ区	河川跡	11層			23.7	古・前
L-307	丸材	Ⅲ区	河川跡	11層	186.4	328.3	15.9	古・前
L-308	赤銅	Ⅲ区	河川跡	12層	220.6		42.6	古・前
L-309	丸材	Ⅲ区	河川跡	11層	185.2		143.0	古・前
L-310	半截丸材	Ⅲ区	河川跡	11層	186.2		58.4	古・前
L-311	分銅材	Ⅲ区	河川跡	11層			63.5	古・前
L-312	丸材	Ⅲ区	河川跡	11層			145.0	古・前
L-313	丸杭	Ⅲ区	河川跡	12層	193.3	276.2	60.7	古・前
L-314	分銅材	Ⅲ区	河川跡	12層			55.9	古・前
L-315	角材	Ⅲ区	河川跡	12層	196.5		16.0	古・前
L-316	丸材	Ⅲ区	河川跡	12層	198.4		44.9	古・前
L-317	分銅材	Ⅲ区	河川跡	12層			36.4	古・前
L-318	分銅材	Ⅲ区	河川跡	12層			17.3	古・前
L-319	丸杭	Ⅲ区	河川跡	12層	198.9		15.1	古・前
L-320	分銅材	Ⅲ区	河川跡	12層			15.4	古・前
L-321	半截丸材	Ⅲ区	河川跡	12層			16.3	古・前
L-322	分銅材	Ⅲ区	河川跡	12層			10.0	古・前
L-323	分銅材	Ⅲ区	河川跡	12層			8.1	古・前
L-324	角材	Ⅲ区	河川跡	12層	196.6		6.2	古・前

中在家南遺跡登錄遺物目錄12

登録番号	遺種・類別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代
L-325	分銅材	Ⅱ区	河川跡	12層			24.6	古・前
L-326	分銅材	Ⅱ区	河川跡	12層			25.2	古・前
L-327	瓦材	Ⅱ区	河川跡	12層			51.2	古・前
L-328	瓦材	Ⅱ区	河川跡	12層	198-3	329-6	23.4	古・前
L-329	瓦材	Ⅱ区	河川跡	12層	198-5	329-7	36.2	古・前
L-330	瓦材	Ⅱ区	河川跡	12層	198-5		31.2	古・前
L-331	平張瓦材	Ⅱ区	河川跡	12層	198-5		27.6	古・前
L-332	板材	Ⅱ区	河川跡	12層			16.3	古・前
L-333	分銅材	Ⅱ区	河川跡	12層			8.2	古・前
L-334	分銅材	Ⅱ区	河川跡	12層			28.3	古・前
L-335	分銅材	Ⅱ区	河川跡	12層			11.9	古・前
L-336	分銅材	Ⅱ区	河川跡	12層			12.4	古・前
L-337	分銅材	Ⅱ区	河川跡	12層	197-2		39.4	古・前
L-338	瓦材	Ⅱ区	河川跡	12層	196-3		81.6	古・前
L-339	分銅材	Ⅱ区	河川跡	12層			84.5	古・前
L-340	分銅材	Ⅱ区	河川跡	12層	197-6		70.6	古・前
L-341	分銅材	Ⅱ区	河川跡	12層	197-9		74.6	古・前
L-342	分銅材	Ⅱ区	河川跡	12層	197-5		111.2	古・前
L-343	分銅材	Ⅱ区	河川跡	12層	196-1		179.3	古・前
L-344	瓦材	Ⅱ区	河川跡	12層	199-2		336.4	古・前
L-345	瓦材	Ⅱ区	河川跡	12層	199-2		37.2	古・前
L-346	分銅材	Ⅱ区	河川跡	13層	199-3		18.1	古・前
L-347	分銅材	Ⅱ区	河川跡	13層	199-6		27.1	古・前
L-348	分銅材	Ⅱ区	河川跡	13層	199-7		18.0	古・前
L-349	瓦材	Ⅱ区	河川跡	13層	199-3		26.0	古・前
L-350	不明	Ⅱ区	河川跡	14層	207-3		3.6	古・中
L-351	板材	Ⅱ区	河川跡	14層	210-4		11.9	古・中
L-352	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			34.3	古・中
L-353	瓦材	Ⅱ区	河川跡	14層	213-11		16.2	古・中
L-354	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			19.4	古・中
L-355	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層	211-8		13.5	古・中
L-356	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層	213-5		19.5	古・中
L-357	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			12.0	古・中
L-358	盤	Ⅱ区	河川跡	14層	210-3	318-1	25.0	古・中
L-359	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層	213-4		17.2	古・中
L-360	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			15.6	古・中
L-361	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			7.7	古・中
L-362	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			32.9	古・中
L-363	盤	Ⅱ区	河川跡	14層	210-2	318-2	82.2	古・中
L-364	瓦材	Ⅱ区	河川跡	14層	211-5		52.2	古・中
L-365	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			19.4	古・中
L-366	板材	Ⅱ区	河川跡	14層	210-5		19.9	古・中
L-367	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			23.3	古・中
L-368	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			17.7	古・中
L-369	平張瓦材	Ⅱ区	河川跡	14層			44.1	古・中
L-370	瓦瓦	Ⅱ区	河川跡	14層	213-12		17.5	古・中
L-371	平張瓦材	Ⅱ区	河川跡	14層	213-10		46.1	古・中
L-372	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層	213-6	332-5	11.5	古・中
L-373	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層	213-3		12.6	古・中
L-374	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			20.6	古・中
L-375	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			17.6	古・中
L-376	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			33.3	古・中
L-377	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			31.4	古・中
L-378	板材	Ⅱ区	河川跡	14層	213-1		13.0	古・中
L-379	平張瓦材	Ⅱ区	河川跡	14層			36.7	古・中
L-380	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			11.9	古・中
L-381	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			28.1	古・中
L-382	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			51.7	古・中
L-383	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			25.0	古・中
L-384	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層	212-3		127.4	古・中
L-385	瓦材	Ⅱ区	河川跡	14層			211.2	古・中
L-386	平張瓦材	Ⅱ区	河川跡	14層	213-9	334-4	109.9	古・中
L-387	瓦材	Ⅱ区	河川跡	14層	212-7		95.5	古・中
L-388	瓦材	Ⅱ区	河川跡	14層		329-4	61.6	古・中
L-389	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			66.3	古・中
L-390	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層	212-1		208.7	古・中
L-391	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層	212-2		112.0	古・中
L-392	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層	212-5		84.7	古・中
L-393	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層	212-8		56.7	古・中
L-394	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			11.6	古・中
L-395	瓦材	Ⅱ区	河川跡	14層			18.8	古・中
L-396	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			6.2	古・中
L-397	瓦材	Ⅱ区	河川跡	14層	207-3		5.4	古・中
L-398	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			15.7	古・中
L-399	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			16.1	古・中
L-400	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			25.3	古・中
L-401	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層			31.7	古・中

登録番号	遺種・類別	地区	遺構名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代
L-402	瓦材	Ⅱ区	河川跡	14層	211-3		44.6	古・中
L-403	瓦材	Ⅱ区	河川跡	14層	211-4		71.6	古・中
L-404	分銅材	Ⅱ区	河川跡	14層	212-6		42.4	古・中
L-405	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	219-4	296-3	9.8	古・中
L-406	板材	Ⅱ区	河川跡	15層	225-3	330-1	27.4	古・中
L-407	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			15.6	古・中
L-408	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			10.4	古・中
L-409	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	218-2	382-1	41.0	古・中
L-410	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層	224-1	314-1	59.0	古・中
L-411	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	212-2	283-1	38.2	古・中
L-412	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	219-3	283-3	50.2	古・中
L-413	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	218-1	382-8	42.0	古・中
L-414	不明瓦瓦	Ⅱ区	河川跡	15層	219-3	305-4	37.2	古・中
L-415	不明	Ⅱ区	河川跡	15層	221-3	318-9	9.2	古・中
L-416	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			27.4	古・中
L-417	盤	Ⅱ区	河川跡	15層	222-3	318-3	19.1	古・中
L-418	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	221-3	304-1	120.4	古・中
L-419	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	223-2	315-1	83.1	古・中
L-420	打掛	Ⅱ区	河川跡	15層	220-1	300-1	111.6	古・中
L-421	平張瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	222-1	310-1	72.8	古・中
L-422	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	220-2	303-4	169.2	古・中
L-423	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層	226-1		22.0	古・中
L-424	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			6.3	古・中
L-425	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			50.9	古・中
L-426	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			18.0	古・中
L-427	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			18.3	古・中
L-428	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			26.2	古・中
L-429	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			19.9	古・中
L-430	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	226-6		62.6	古・中
L-431	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			41.1	古・中
L-432	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			22.0	古・中
L-433	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			20.1	古・中
L-434	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層	226-5		16.5	古・中
L-435	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			16.3	古・中
L-436	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			1.0	古・中
L-437	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			12.0	古・中
L-438	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			18.3	古・中
L-439	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			22.0	古・中
L-440	板材	Ⅱ区	河川跡	15層			31.2	古・中
L-441	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			8.6	古・中
L-442	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層	227-9		12.4	古・中
L-443	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層	227-7		18.8	古・中
L-444	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			33.5	古・中
L-445	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			48.0	古・中
L-446	平張瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層			40.9	古・中
L-447	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			46.1	古・中
L-448	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	228-4		31.3	古・中
L-449	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	228-3	334-5	44.5	古・中
L-450	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			7.8	古・中
L-451	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			33.2	古・中
L-452	板材	Ⅱ区	河川跡	15層			20.8	古・中
L-453	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層			41.8	古・中
L-454	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	226-2		19.1	古・中
L-455	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			6.6	古・中
L-456	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			13.9	古・中
L-457	板材	Ⅱ区	河川跡	15層	224-5		36.0	古・中
L-458	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層	227-4		28.3	古・中
L-459	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			25.6	古・中
L-460	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			35.9	古・中
L-461	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			23.8	古・中
L-462	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	228-5		103.8	古・中
L-463	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	227-10		62.2	古・中
L-464	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層	229-1		200.2	古・中
L-465	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層	226-7		191.0	古・中
L-466	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層			224.7	古・中
L-467	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層	226-8		203.6	古・中
L-468	分銅材	Ⅱ区	河川跡	15層			115.6	古・中
L-469	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	228-6		36.3	古・中
L-470	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	228-8		32.0	古・中
L-471	瓦材	Ⅱ区	河川跡	15層	228-7		39.9	古・中
L-472	瓦材	Ⅱ区	河川跡	16層	231-1		29.4	古・中
L-473	分銅材	Ⅱ区	河川跡	16層	231-2		16.7	古・中
L-474	盤	Ⅱ区	河川跡	16層	286-2		1.1	中世
L-475	瓦物	Ⅱ区	河川跡	16層			盤・中世	
L-476	盤	Ⅱ区	河川跡	16層	285-3	264-1	15.0	古・中
L-477	筒形瓦	Ⅱ区	河川跡	16層	287-2	264-12	24.6	古・中
L-478	中世	Ⅱ区	河川跡	16層	287-4		9.0	古・中

中在家南道跡登錄遺物目録13

登録番号	遺物・類別	地区	遺物名	部位	実測番号	写真番号	全長	年代
L-479	円板	VR区	河川跡	3層	287	264	13	平~中
L-480	動物陶板	VR区	河川跡	3層	286-18	264-10	15.8	中世
L-481	下駄	VR区	河川跡	3層	285-4	263	22.4	平安
L-482	瓦	VR区	河川跡	3層	286-6	264-6	6.8	中世
L-483	瓦板	VR区	河川跡	3層	285-3	263-5	19.2	平安
L-484	動物陶板	VR区	河川跡	3層	286-8		17.4	中世
L-485	釘痕	VR区	河川跡	3層	285-7		18.7	中世
L-486	不明	VR区	河川跡	3層	286-15	264	10.2	平安
L-487	不明	VR区	河川跡	3層	286-5		8.2	中世
L-488	木炭	VR区	河川跡	3層	285-2	263-3	18.0	中世
L-489	動物陶板	VR区	河川跡	3層	286-16		6.6	平~中
L-490	不明	VR区	河川跡	3層	285-8	264	17.8	中世
L-491	不明	VR区	河川跡	3層	285-6		7.6	平~中
L-492	動物陶板	VR区	河川跡	3層	286-10		14.8	平~中
L-493	瓦	VR区	河川跡	3層	286-7	264-5	8.4	中世
L-494	動物陶板	VR区	河川跡	3層	286-13		8.0	中世
L-495	瓦	VR区	河川跡	3層	286-5		10.1	平~中
L-496	瓦	VR区	河川跡	3層	286-4	264-2	10.1	中世
L-497	瓦	VR区	河川跡	3層	285-1	263-9	9.6	中世
L-498	エブリ	VR区	河川跡	3層	285-1	263-2	31.6	中世
L-499	動物陶板	VR区	河川跡	3層	286-17		11.0	平~中
L-500	動物陶板	VR区	河川跡	3層	286-9		10.0	中世
L-501	動物陶板	VR区	河川跡	3層	286-11		8.0	平~中
L-502	動物陶板	VR区	河川跡	3層	286-12		11.0	中世
L-503	円板	VR区	河川跡	3層	289-1		96.3	平~中
L-504	円板	VR区	河川跡	3層	288-4		46.9	平~中
L-505	分銅材	VR区	河川跡	3層			17.7	平~中
L-506	分銅材	VR区	河川跡	3層			26.0	平~中
L-507	分銅材	VR区	河川跡	3層	289-5		22.4	平~中
L-508	分銅材	VR区	河川跡	3層			39.1	平~中
L-509	円板	VR区	河川跡	3層	287-5		12.0	平~中
L-510	円板	VR区	河川跡	3層			4.4	中世
L-511	丸板	VR区	河川跡	3層	287-7		21.8	平~中
L-512	分銅材	VR区	河川跡	3層	289-3		24.9	平~中
L-513	分銅材	VR区	河川跡	3層	287-7		8.9	平~中
L-514	分銅材	VR区	河川跡	3層			48.7	平~中
L-515	分銅材	VR区	河川跡	3層	289-4		23.6	平安
L-516	分銅材	VR区	河川跡	3層			45.8	平安
L-517	分銅材	VR区	河川跡	3層	287-6		8.2	平~中
L-518	円板	VR区	河川跡	3層	SD-34		14.4	平~中
L-519	円板	VR区	河川跡	3層	SD-31	287-9	21.4	中世
L-520	円板	VR区	河川跡	3層			46.8	平~中
L-521	分銅材	VR区	河川跡	3層			17.6	平~中
L-522	分銅材	VR区	河川跡	3層			25.9	平~中
L-523	分銅材	VR区	河川跡	3層			32.1	平~中
L-524	分銅材	VR区	河川跡	3層	288-5		19.0	中世
L-525	円板	VR区	河川跡	3層	SD-34		33.8	平安
L-526	半張丸板	VR区	河川跡	3層	289-6		34.7	平~中
L-527	動物陶板	VR区	河川跡	3層	288-14		7.4	平~中
L-528	動物陶板	VR区	河川跡	3層	288-3		62.9	平安
L-529	板材	VR区	河川跡	3層	287-8	287-1	16.0	平~中
L-530	円板	VR区	河川跡	3層	289-2		101.6	平安
L-531	板材	VR区	河川跡	3層	287-1	264-14	60.8	平安
L-532	板材	VR区	河川跡	3層	288-1		88.9	平~中
L-533	板材	VR区	河川跡	3層	288-2	327	75.1	平安
L-534	丸板	VR区	河川跡	3層	297-4		50.7	中世
L-535	丸板	VR区	河川跡	3層	290-1		20.8	平~中
L-536	丸板	VR区	河川跡	3層	295-5		26.1	中世
L-537	丸板	VR区	河川跡	3層	290-5		13.6	中世
L-538	丸板	VR区	河川跡	3層	296-3		83.9	中世
L-539	丸板	VR区	河川跡	3層	292-3		10.1	平~中
L-540	丸板	VR区	河川跡	3層	296-1		98.9	中世
L-541	丸板	VR区	河川跡	3層	294-2	335	81.6	中世
L-542	丸板	VR区	河川跡	3層	292-1	335-9	68.4	平~中
L-543	丸板	VR区	河川跡	3層	290-3		21.3	平~中
L-544	丸板	VR区	河川跡	3層	295-1		205.0	中世
L-545	丸板	VR区	河川跡	3層	292-2	335-7	100.9	平~中
L-546	丸板	VR区	河川跡	3層	291-6	335	78.8	平~中
L-547	丸板	VR区	河川跡	3層	293-4		48.1	中世
L-548	丸板	VR区	河川跡	3層	293-3		18.9	中世
L-549	丸板	VR区	河川跡	3層	297-5		31.6	中世
L-550	丸板	VR区	河川跡	3層	294-4	335-11	113.8	中世
L-551	丸板	VR区	河川跡	3層	291-2		45.4	平~中
L-552	丸板	VR区	河川跡	3層	296-2		83.9	中世
L-553	丸板	VR区	河川跡	3層	290-7		17.2	平~中
L-554	丸板	VR区	河川跡	3層	291-1		17.2	平~中
L-555	丸板	VR区	河川跡	3層	290-6		23.5	平~中

登録番号	遺物・類別	地区	遺物名	部位	実測番号	写真番号	全長	年代
L-556	丸板	VR区	河川跡	3層	293-2		42.6	中世
L-557	丸板	VR区	河川跡	3層	297-3		136.1	中世
L-558	丸板	VR区	河川跡	3層	299-2	335-3	166.8	平~中
L-559	丸板	VR区	河川跡	3層	299-4		78.3	中世
L-560	丸板	VR区	河川跡	3層	298-9		123.8	平~中
L-561	丸板	VR区	河川跡	3層	291-3		129.7	平~中
L-562	丸板	VR区	河川跡	3層	295-4	336-1	82.3	平~中
L-563	丸板	VR区	河川跡	3層	294-2	336-2	132.1	中世
L-564	丸板	VR区	河川跡	3層	294-1	336-3	67.0	中世
L-565	丸板	VR区	河川跡	3層	297-4	336-4	117.4	平~中
L-566	丸板	VR区	河川跡	3層	292-1		90.6	中世
L-567	丸板	VR区	河川跡	3層	295-4	336-5	168.4	中世
L-568	丸板	VR区	河川跡	3層	293-3	336-6	173.5	中世
L-569	丸板	VR区	河川跡	3層	295-2	336-7	214.2	中世
L-570	丸板	VR区	河川跡	3層	292-5	336	106.4	平~中
L-571	丸板	VR区	河川跡	3層	291-4		146.7	平~中
L-572	丸板	VR区	河川跡	3層	292-6	336	191.5	平~中
L-573	丸板	VR区	河川跡	3層	294-5	336-10	180.1	中世
L-574	丸板	VR区	河川跡	3層	297-7		134.7	中世
L-575	丸板	VR区	河川跡	3層	293-1	337-1	226.5	中世
L-576	丸板	VR区	河川跡	3層	293-3	337-2	150.7	中世
L-577	丸板	VR区	河川跡	3層	291-5	337-4	171.4	平~中
L-578	丸板	VR区	河川跡	3層	296-5		194.5	中世
L-579	不明	VR区	河川跡	3層	301-4	263	25.4	平安
L-580	不明	VR区	河川跡	6層	301-1	265-10	13.0	平安
L-581	不明	VR区	河川跡	6層	301-3	263-4	14.9	平安
L-582	丸板	VR区	河川跡	6層	301-2	266-6	5.0	平安
L-583	分銅材	VR区	河川跡	6層	302-3		89.0	平安
L-584	板材	VR区	河川跡	6層	301-6		11.8	平安
L-585	板材	VR区	河川跡	6層	300-1		44.6	平安
L-586	板材	VR区	河川跡	6層	301-7		72.1	平安
L-587	板材	VR区	河川跡	6層	302-4		21.3	平安
L-588	分銅材	VR区	河川跡	6層	302-2		22.4	平安
L-589	分銅材	VR区	河川跡	6層	301-5	329-1	156.0	平安
L-590	丸板	VR区	河川跡	6層	304-2		139.0	平安
L-591	丸板	VR区	河川跡	6層	302-6	337-4	162.3	平安
L-592	丸板	VR区	河川跡	6層	302-5	337-5	127.9	平安
L-593	丸板	VR区	河川跡	6層	303-4		52.4	平安
L-594	丸板	VR区	河川跡	6層	302-1		84.0	平安
L-595	丸板	VR区	河川跡	6層	303-2		108.5	平安
L-596	丸板	VR区	河川跡	6層	303-3	337-6	182.0	平安
L-597	丸板	VR区	河川跡	6層	302-5	337-10	162.5	平安
L-598	丸板	VR区	河川跡	6層	307-8	265-11	21.6	平安
L-599	動物陶板	VR区	河川跡	7層	307-2		19.4	平安
L-600	不明	VR区	河川跡	7層	307-1	263	15.1	平安
L-601	不明	VR区	河川跡	7層	307-6		24.0	平安
L-602	分銅材	VR区	河川跡	7層			17.2	平安
L-603	半張丸板	VR区	河川跡	7層	307-3		35.1	平安
L-604	分銅材	VR区	河川跡	7層	307-4		70.7	平安
L-605	分銅材	VR区	河川跡	7層			41.8	平安
L-606	丸板	VR区	河川跡	7層	308-3		68.4	平安
L-607	丸板	VR区	河川跡	7層	308-1	338-2	97.4	平安
L-608	丸板	VR区	河川跡	7層	307-9		111.8	平安
L-609	丸板	VR区	河川跡	7層	307-7		72.3	平安
L-610	丸板	VR区	河川跡	7層	308-2		90.1	平安
L-611	丸板	VR区	河川跡	7層	307-8	338-3	207.5	平安
L-612	木多文飾	VR区	河川跡	9層	314-1	266-1	85.0	古・中
L-613	不明	VR区	河川跡	9層	315-1	266-10	10.2	古・中
L-614	動物陶板	VR区	河川跡	9層	315-2		19.2	古・中
L-615	丸板	VR区	河川跡	9層	315-4		32.0	古・中
L-616	分銅材	VR区	河川跡	9層			12.2	古・中
L-617	分銅材	VR区	河川跡	9層	315-8		91.3	古・中
L-618	丸板	VR区	河川跡	9層	315-5	327	45.7	古・中
L-619	分銅材	VR区	河川跡	9層	315-3		14.5	古・中
L-620	分銅材	VR区	河川跡	9層			15.3	古・中
L-621	分銅材	VR区	河川跡	9層			43.1	古・中
L-622	分銅材	VR区	河川跡	9層			106.2	古・中
L-623	不明	VR区	河川跡	9層	314-2	266	78.7	古・中
L-624	板材	VR区	河川跡	9層	315-6		135.8	古・中
L-625	丸板	VR区	河川跡	9層	316-5	339-2	127.5	古・中
L-626	丸板	VR区	河川跡	9層	316-4	339-6	38.1	古・中
L-627	丸板	VR区	河川跡	9層	317-5		66.5	古・中
L-628	丸板	VR区	河川跡	9層	317-1		30.2	古・中
L-629	丸板	VR区	河川跡	9層	317-4		32.0	古・中
L-630	丸板	VR区	河川跡	9層	316-6		11.0	古・中
L-631	丸板	VR区	河川跡	9層	316-7		21.6	古・中
L-632	丸板	VR区	河川跡	9層	317-3		31.4	古・中

中在家南遺跡登錄遺物目錄14

登録番号	器種・類別	地区	遺跡名	層位	土器番号	写真番号	全長	年代
L-633	瓦杭	VR区	河川跡	9層	317-6	339-3	65.0	古・中
L-631	瓦杭	VR区	河川跡	9層	318-1		65.0	古・中
L-635	瓦杭	VR区	河川跡	9層	318-2		62.4	古・中
L-636	瓦杭	VR区	河川跡	9層	324-2	338-4	124.9	古・中
L-637	瓦杭	VR区	河川跡	9層	316-3		39.7	古・中
L-638	瓦杭	VR区	河川跡	9層	317-7	339-4	66.0	古・中
L-639	瓦杭	VR区	河川跡	9層	317-3		36.9	古・中
L-640	瓦杭	VR区	河川跡	9層	318-3		43.9	古・中
L-641	瓦杭	VR区	河川跡	9層	316-1	338-3	176.0	古・中
L-642	瓦杭	VR区	河川跡	9層	315-7		66.8	古・中
L-643	不明品瓦	VR区	河川跡	10層	323-3		8.8	古・中
L-644	不明	VR区	河川跡	10層	327-2	271-9	22.4	古・中
L-645	矢	VR区	河川跡	10層	325-5		3.6	古・中
L-646	不明	VR区	河川跡	10層	327-1	271-10	18.2	古・中
L-647	不明	VR区	河川跡	10層	328-4	271-12	20.2	古・中
L-648	瓦葺	VR区	河川跡	10層	323-4	268-4	11.8	古・中
L-649	木樋	VR区	河川跡	10層	324-2	268-11	14.8	古・中
L-650	不明	VR区	河川跡	10層	327-3	271-11	15.6	古・中
L-651	不明品瓦	VR区	河川跡	10層	326-3	269-3	3.6	古・中
L-652	木樋	VR区	河川跡	10層	324-1	268-12	20.2	古・中
L-653	不明	VR区	河川跡	10層	328-3	271-13	34.8	古・中
L-654	不明	VR区	河川跡	10層	328-2	271-14	22.4	古・中
L-655	ナスビ型平盤	VR区	河川跡	10層	322-2	267-2	56.2	古・中
L-656	火皿白	VR区	河川跡	10層	322-1	270-11	21.3	古・中
L-657	ナスビ型平盤	VR区	河川跡	10層	323-2	267-5	17.4	古・中
L-658	不明	VR区	河川跡	10層	322-4	271-15	44.4	古・中
L-659	ナスビ型平盤	VR区	河川跡	10層	322-1	267-3	30.8	古・中
L-660	ナスビ型平盤	VR区	河川跡	10層	323-1	267-4	34.8	古・中
L-661	矢	VR区	河川跡	10層	325-3	270-4	3.1	古・中
L-662	矢	VR区	河川跡	10層	325-4	270-5	3.9	古・中
L-663	瓦葺	VR区	河川跡	10層	324-1	270-7	3.6	古・中
L-664	漆塗	VR区	河川跡	10層	326-6	269-7	18.2	古・中
L-665	漆塗	VR区	河川跡	10層	325-2	269-8	29.0	古・中
L-666	漆塗	VR区	河川跡	10層	323-5	269-9	39.8	古・中
L-667	漆塗	VR区	河川跡	10層	323-6		32.6	古・中
L-668	不明	VR区	河川跡	10層	327-4	272-1	83.6	古・中
L-669	分銅材	VR区	河川跡	10層			69.5	古・中
L-670	分銅材	VR区	河川跡	10層	334-3		18.9	古・中
L-671	分銅材	VR区	河川跡	10層	332-4		20.1	古・中
L-672	分銅材	VR区	河川跡	10層	333-6		56.2	古・中
L-673	分銅材	VR区	河川跡	10層			13.2	古・中
L-674	分銅材	VR区	河川跡	10層			102.4	古・中
L-675	分銅材	VR区	河川跡	10層			11.4	古・中
L-676	分銅材	VR区	河川跡	10層	332-8		23.9	古・中
L-677	分銅材	VR区	河川跡	10層	336-2		93.8	古・中
L-678	分銅材	VR区	河川跡	10層			14.6	古・中
L-679	分銅材	VR区	河川跡	10層	334-2		18.8	古・中
L-680	分銅材	VR区	河川跡	10層			25.6	古・中
L-681	分銅材	VR区	河川跡	10層			28.2	古・中
L-682	分銅材	VR区	河川跡	10層			12.1	古・中
L-683	分銅材	VR区	河川跡	10層			12.6	古・中
L-684	分銅材	VR区	河川跡	10層			13.7	古・中
L-685	分銅材	VR区	河川跡	10層	336-5		31.9	古・中
L-686	分銅材	VR区	河川跡	10層			21.7	古・中
L-687	分銅材	VR区	河川跡	10層	332-5		12.0	古・中
L-688	分銅材	VR区	河川跡	10層	339-3		47.3	古・中
L-689	分銅材	VR区	河川跡	10層	331-1		98.6	古・中
L-690	不明	VR区	河川跡	10層	327-5	272-2	82.2	古・中
L-691	分銅材	VR区	河川跡	10層			17.8	古・中
L-692	瓦葺	VR区	河川跡	10層	336-3		71.7	古・中
L-693	分銅材	VR区	河川跡	10層			52.1	古・中
L-694	分銅材	VR区	河川跡	10層	335-2		19.3	古・中
L-695	分銅材	VR区	河川跡	10層			33.2	古・中
L-696	瓦葺	VR区	河川跡	10層	337-1		32.0	古・中
L-697	瓦葺	VR区	河川跡	10層	332-6		17.5	古・中
L-698	瓦葺	VR区	河川跡	10層	337-4		36.7	古・中
L-699	不明	VR区	河川跡	10層	326-6	272-3	26.2	古・中
L-700	分銅材	VR区	河川跡	10層	332-3		32.4	古・中
L-701	分銅材	VR区	河川跡	10層			11.3	古・中
L-702	瓦葺	VR区	河川跡	10層	335-7		15.8	古・中
L-703	漆塗	VR区	河川跡	10層	326-1	269-9	33.2	古・中
L-704	漆塗	VR区	河川跡	10層	332-7		19.3	古・中
L-705	分銅材	VR区	河川跡	10層			27.8	古・中
L-706	分銅材	VR区	河川跡	10層			9.3	古・中
L-707	分銅材	VR区	河川跡	10層			24.5	古・中
L-708	分銅材	VR区	河川跡	10層			33.8	古・中
L-709	分銅材	VR区	河川跡	10層	332-2		31.0	古・中

登録番号	器種・類別	地区	遺跡名	層位	土器番号	写真番号	全長	年代	
L-710	筒材	VR区	河川跡	10層	333-3	327-7	22.7	古・中	
L-711	筒材	VR区	河川跡	10層			33.6	古・中	
L-712	分銅材	VR区	河川跡	10層	334-1		16.6	古・中	
L-713	板材	VR区	河川跡	10層			17.3	古・中	
L-714	不明	VR区	河川跡	10層	326-5	272-1	16.4	古・中	
L-715	筒材	VR区	河川跡	10層	333-5		16.0	古・中	
L-716	木樋	VR区	河川跡	10層	324-3	268-13	17.0	古・中	
L-717	瓦葺	VR区	河川跡	10層	337-3	328-4	21.8	古・中	
L-718	筒材	VR区	河川跡	10層			41.2	古・中	
L-719	分銅材	VR区	河川跡	10層			35.1	古・中	
L-720	不明品瓦	VR区	河川跡	10層	324-5	269-6	58.8	古・中	
L-721	不明品瓦	VR区	河川跡	10層	324-4	269-5	24.6	古・中	
L-722	分銅材	VR区	河川跡	10層			32.1	古・中	
L-723	分銅材	VR区	河川跡	10層			43.0	古・中	
L-724	平盤丸瓦	VR区	河川跡	10層	335-1		80.0	古・中	
L-725	分銅材	VR区	河川跡	10層			32.9	古・中	
L-726	板材	VR区	河川跡	10層	332-1	327-9	47.3	古・中	
L-727	筒材	VR区	河川跡	10層	333-2		51.2	古・中	
L-728	分銅材	VR区	河川跡	10層			32.3	古・中	
L-729	分銅材	VR区	河川跡	10層			37.8	古・中	
L-730	分銅材	VR区	河川跡	10層	336-6	328-7	30.8	古・中	
L-731	分銅材	VR区	河川跡	10層			28.9	古・中	
L-732	分銅材	VR区	河川跡	10層	333-1		20.3	古・中	
L-733	不明	VR区	河川跡	10層	328-1	272-5	40.3	古・中	
L-734	建築材(漆)	VR区	河川跡	10層	328-5	320-6	112.4	古・中	
L-735	板材	VR区	河川跡	10層			16.0	古・中	
L-736	丸瓦	VR区	河川跡	10層	335-5		13.7	古・中	
L-737	板材	VR区	河川跡	10層	333-3		15.3	古・中	
L-738	建築材	VR区	河川跡	10層	330-3	321-1	114.0	古・中	
L-739	分銅材	VR区	河川跡	10層			23.8	古・中	
L-740	分銅材	VR区	河川跡	10層			9.6	古・中	
L-741	分銅材	VR区	河川跡	10層			11.3	古・中	
L-742	分銅材	VR区	河川跡	10層			14.2	古・中	
L-743	分銅材	VR区	河川跡	10層			30.8	古・中	
L-744	分銅材	VR区	河川跡	10層	337-2	328-5	16.3	古・中	
L-745	筒材	VR区	河川跡	10層	339-3		117.2	古・中	
L-746	丸瓦	VR区	河川跡	10層	336-1	328-8	97.3	古・中	
L-747	丸瓦	VR区	河川跡	10層	336-4		101.6	古・中	
L-748	分銅材	VR区	河川跡	10層	334-5		122.4	古・中	
L-749	分銅材	VR区	河川跡	10層			110.2	古・中	
L-750	分銅材	VR区	河川跡	10層			74.2	古・中	
L-751	建築材	VR区	河川跡	10層	329-6	321-2	111.6	古・中	
L-752	分銅材	VR区	河川跡	10層			106.8	古・中	
L-753	分銅材	VR区	河川跡	10層	334-4		90.5	古・中	
L-754	丸瓦	VR区	河川跡	10層	335-4	328-9	103.8	古・中	
L-755	板材	VR区	河川跡	10層	331-4		115.4	古・中	
L-756	分銅材	VR区	河川跡	10層			118.8	古・中	
L-757	分銅材	VR区	河川跡	10層			76.0	古・中	
L-758	建築材	VR区	河川跡	10層	330-4	321-3	119.0	古・中	
L-759	分銅材	VR区	河川跡	10層	334-6		125.1	古・中	
L-760	建築材	VR区	河川跡	10層	330-2	321-4	208.0	古・中	
L-761	分銅材	VR区	河川跡	10層			204.0	古・中	
L-762	板材	VR区	河川跡	10層	331-2		234.5	古・中	
L-763	建築材	VR区	河川跡	10層	330-1	321-5	229.5	古・中	
L-764	分銅材	VR区	河川跡	10層			248.5	古・中	
L-765	建築材	VR区	河川跡	10層	329-3	321-6	158.0	古・中	
L-766	分銅材	VR区	河川跡	10層			190.3	古・中	
L-767	板材	VR区	河川跡	10層	331-3		154.6	古・中	
L-768	分銅材	VR区	河川跡	10層	333-7		251.5	古・中	
L-769	建築材	VR区	河川跡	10層	329-1	321-7	140.2	古・中	
L-770	分銅材	VR区	河川跡	10層	334-2		186.5	古・中	
L-771	建築材	VR区	河川跡	10層	329-2	322-1	81.6	古・中	
L-772	丸瓦	VR区	河川跡	10層	332-7		129.4	古・中	
L-773	瓦葺	VR区	河川跡	10層	338-1		124.3	古・中	
L-774	建築材	VR区	河川跡	10層	337-5		18.2	古・中	
L-775	瓦葺	VR区	河川跡	10層	327-6		21.8	古・中	
L-776	丸瓦	VR区	河川跡	10層	338-3		51.8	古・中	
L-777	瓦葺	VR区	河川跡	10層	338-4		97.5	古・中	
L-778	瓦葺	VR区	河川跡	10層	338-2		78.7	古・中	
L-779	丸瓦	VR区	河川跡	10層	337-8		339-7	162.8	古・中
L-780	分銅材	VR区	河川跡	10層	340-1		43.3	古・中	
L-781	鳥居瓦葺	VR区	河川跡	10層	346-3	276-4	28.4	古・前	
L-782	不明	VR区	河川跡	10層	347-5	272-6	11.4	古・前	
L-783	鳥居瓦葺	VR区	河川跡	10層	346-2	276-3	42.2	古・前	
L-784	瓦葺	VR区	河川跡	10層	346-5	276-5	33.8	古・前	
L-785	瓦葺	VR区	河川跡	10層	345-2	277-4	28.4	古・前	
L-786	建築材	VR区	河川跡	10層	347-6	272-3	34.6	古・前	

中在家南遺跡登錄遺物目錄15

登録番号	種別・類別	地区	遺跡名	層位	発見番号	数量	年代
L-787	煮物小皿	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	345-3	277-7	70.2 古・前
L-788	藤柄二文	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	345-1	274-1	33.4 古・前
L-789	磁石	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	346-6	276-10	80.1 古・前
L-790	瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		0.2	古・前
L-791	漆器	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	347-1	276-11	36.2 古・前
L-792	陶器	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	345-4	276-7	18.2 古・前
L-793	台付香炉	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	347-4	277-12	27.0 古・前
L-794	動物線刻	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	346-3	277-4	7.4 古・前
L-795	刀	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	347-5	277-9	21.6 古・前
L-796	瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	360-3		60.6 古・前
L-797	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	348-1		33.1 古・前
L-798	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	350-7		21.2 古・前
L-799	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	350-4		36.0 古・前
L-800	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		6.2	古・前
L-801	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		37.0	古・前
L-802	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		24.1	古・前
L-803	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		63.8	古・前
L-804	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		22.1	古・前
L-805	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	349-1		87.2 古・前
L-806	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		32.3	古・前
L-807	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		45.2	古・前
L-808	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		48.6	古・前
L-809	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	350-6		39.0 古・前
L-810	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		54.7	古・前
L-811	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	350-1		333.0 古・前
L-812	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		11.4	古・前
L-813	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	349-3		31.7 古・前
L-814	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		22.6	古・前
L-815	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		44.0	古・前
L-816	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	348-4		86.4 古・前
L-817	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		21.3	古・前
L-818	摺り鉢?	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	346-4	276-9	9.0 古・前
L-819	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	350-5		33.8 古・前
L-820	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		40.7	古・前
L-821	木簡	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	347-2	277-6	14.8 古・前
L-822	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		21.9	古・前
L-823	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	349-2		31.7 古・前
L-824	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	349-5		169.5 古・前
L-825	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	347-7	279-2	31.2 古・前
L-826	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		46.7	古・前
L-827	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		109.8	古・前
L-828	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		44.9	古・前
L-829	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	349-5		33.0 古・前
L-830	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	348-2	329-1	22.3 古・前
L-831	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	349-4		132.2 古・前
L-832	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	348-5		82.6 古・前
L-833	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	349-2		136.2 古・前
L-834	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	349-7		98.6 古・前
L-835	漆器	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	321-1		31.4 古・前
L-836	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	320-2		279.5 古・前
L-837	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	322-5		66.0 古・前
L-838	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	322-3		42.4 古・前
L-839	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	322-2		23.0 古・前
L-840	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	321-2	329-3	81.1 古・前
L-841	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	332-4		47.3 古・前
L-842	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		121.2	古・前
L-843	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		27.9	古・前
L-844	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		38.2	古・前
L-845	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	334-6		30.5 古・前
L-846	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	334-8		86.4 古・前
L-847	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	334-7		85.4 古・前
L-848	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	334-2		49.7 古・前
L-849	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	334-4		19.3 古・前
L-850	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	334-5		38.4 古・前
L-851	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	334-3		30.0 古・前
L-852	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	334-9		26.7 古・前
L-853	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		37.1	古・前
L-854	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	334-1	331-8	74.2 古・前
L-855	漆器片断	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	338-1	298-3	32.2 古・前
L-856	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	361-2	304-7	36.9 古・前
L-857	銅銭	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	338-2	293-1	8.8 古・前
L-858	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	361-2	304-6	60.0 古・前
L-859	漆器	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	338-3	293-2	11.2 古・前
L-860	漆器	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	361-1	315-2	38.2 古・前
L-861	瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	360-3	318-4	40.5 古・前
L-862	建築材(板)	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	362-1	325-1	136.0 古・前
L-863	瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	329-2	290-2	35.0 古・前

登録番号	種別・類別	地区	遺跡名	層位	発見番号	数量	年代	
L-864	瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	360-1	289-1	42.0 古・前	
L-865	瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	359-1	291-1	36.4 古・前	
L-866	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		23.1	古・前	
L-867	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		33.0 古・前		
L-868	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	363-2		91.1 古・前	
L-869	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		56.4	古・前	
L-870	内材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	362-3		38.8 古・前	
L-871	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		39.0	古・前	
L-872	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	362-4		25.4 古・前	
L-873	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	362-4		13.4 古・前	
L-874	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		32.1	古・前	
L-875	平蓋丸瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	363-3		49.4 古・前	
L-876	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	363-5		23.9 古・前	
L-877	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	364-1	334-7	173.5 古・前	
L-878	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	362-2		21.9 古・前	
L-879	作兼台	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	360-2	336-4	27.2 古・前	
L-880	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	363-4		64.3 古・前	
L-881	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		196.3	古・前	
L-882	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	363-1	335-8	78.2 古・前	
L-883	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	304-1		149.2 平室	
L-884	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		327-3	6.8 古・前	
L-885	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		327-6	4.7 古・前	
L-886	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	326-3	264-3	4.8 古・前	
L-887	瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	359-1	309-1	298-3	30.6 古・前
L-888	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		327-4	5.2 古・前	
L-889	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		35.4	古・前	
L-890	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		34.3	古・前	
L-891	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	400-3		139.2 古・前	
L-892	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		111.8	古・前	
L-893	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		76.5	古・前	
L-894	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	400-1		35.5 古・前	
L-895	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		30.8	古・前	
L-896	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	400-2		85.9 古・前	
L-897	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	400-4		136.2 古・前	
L-898	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		139.5	古・前	
L-899	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	400-5		47.0 古・前	
L-900	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	400-5		47.0 古・前	
L-901	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	401-1		98.3 古・前	
L-902	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	401-3		66.9 古・前	
L-903	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	401-5		114.2 古・前	
L-904	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	405-6		35.9 古・前	
L-905	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	401-2		71.3 古・前	
L-906	平蓋丸瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	401-1		62.3 古・前	
L-907	藤柄・文	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	407-2	274-2	56.8 古・前	
L-908	瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	407-3	275-2	52.0 古・前	
L-909	瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	408-1	277-3	92.2 古・前	
L-910	打棒	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	408-2	277-4	69.2 古・前	
L-911	伊呂波瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	407-1	277-9	31.4 古・前	
L-912	瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	408-3	272-1	260.4 古・前	
L-913	建築材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	412-1	223-1	79.2 古・前	
L-914	瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	409-1	323-2	81.4 古・前	
L-915	瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層				
L-916	建築材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	409-2	323-3	62.6 古・前	
L-917	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		158.6	古・前	
L-918	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	411-3		75.4 古・前	
L-919	板材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	413-1		10.0 古・前	
L-920	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		34.0 古・前		
L-921	内材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		99.7 古・前		
L-922	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	412-4		70.9 古・前	
L-923	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		103.8 古・前		
L-924	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		74.0 古・前		
L-925	平蓋丸瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	412-3		101.7 古・前	
L-926	内材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	413-1		11.4 古・前	
L-927	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	413-6		89.1 古・前	
L-928	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	413-1		103.8 古・前	
L-929	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	413-4	329-12	89.0 古・前	
L-930	瓦材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	394-1		4.4 古・前	
L-931	不明	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		16.2	古・前	
L-932	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	403-1		24.4 古・前	
L-933	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	411-5		275.7 古・前	
L-934	建築材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	412-1	324-1	68.6 古・前	
L-935	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	412-1		147.5 古・前	
L-936	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	412-2		140.2 古・前	
L-937	建築材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		153.2 古・前		
L-938	分銅材	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層		139.9 古・前		
L-939	瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	524-3	297-1	14.8 古・前	
L-940	瓦	Ⅴ区	河川跡	Ⅱ層	524-2	296-4	17.4 古・前	

中在家南遺跡登錄遺物目錄16

遺物番号	形態・類別	地区	遺物名	形状	実測寸法	実量番号	全长	年代
L-941	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	15層	514-2	286-4	33.6	弥中
L-942	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層	516-2	287-4	36.0	弥中
L-943	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	13層	512-1	286-1	32.0	弥中
L-944	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	13層	515-2	288-1	39.2	弥中
L-945	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	15層	515-2	288-3	38.8	弥中
L-946	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	15層	517-1	283-4	44.0	弥中
L-947	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	15層	520-1	282-2	36.2	弥中
L-948	埴	ⅡB区	河川跡	13層	533-1	318-3	73.0	弥中
L-949	埴	ⅡB区	河川跡	13層	523-1	297-2	38.8	弥中
L-950	埴	ⅡB区	河川跡	13層	523-2	297-3	3.9	弥中
L-951	打埴	ⅡB区	河川跡	15層	533-3	302-2	88.0	弥中
L-952	打埴	ⅡB区	河川跡	15層	533-1	302-4	116.6	弥中
L-953	打埴	ⅡB区	河川跡	15層	533-2	303-1	102.0	弥中
L-954	打埴	ⅡB区	河川跡	15層	537-3	298-4	105.2	弥中
L-955	赤色の粘土製品	ⅡB区	河川跡	15層	366-1	319-1	53.2	弥中
L-956	赤色の粘土製品	ⅡB区	河川跡	15層	365-2	319-2	62.4	弥中
L-957	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	344-1	307-2	81.6	弥中
L-958	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	342-2	308-2	78.8	弥中
L-959	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	542-1	308-3	73.6	弥中
L-960	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	510-1	310-2	75.6	弥中
L-961	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	518-1	281-4	43.6	弥中
L-962	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	548-4	304-4	41.6	弥中
L-963	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	553-2	313-1	99.9	弥中
L-964	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	550-2	313-5	42.7	弥中
L-965	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	13層	530-3	313-1	4.0	弥中
L-966	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	551-1	313-2	49.2	弥中
L-967	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	13層	551-3	316-3	11.0	弥中
L-968	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	552-1	311-3	61.6	弥中
L-969	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	541-2	309-1	68.3	弥中
L-970	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	522-1	272-2	49.6	弥中
L-971	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	329-2	293-3	32.0	弥中
L-972	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	327-1	291-1	31.2	弥中
L-973	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	328-1	295-2	30.6	弥中
L-974	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	336-1	294-2	28.4	弥中
L-975	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	531-2	290-1	32.1	弥中
L-976	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	659-8		81.5	弥中
L-977	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			11.5	弥中
L-978	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			6.3	弥中
L-979	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層	567-4	304-5	139.5	弥中
L-980	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			21.6	弥中
L-981	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	13層	523-1	278-5	95.2	弥中
L-982	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			93.4	弥中
L-983	埴	ⅡB区	河川跡	13層	555-3	324-2	82.8	弥中
L-984	埴	ⅡB区	河川跡	15層	559-4		19.0	弥中
L-985	分銅片	ⅡB区	河川跡	14層			93.8	弥中
L-986	埴	ⅡB区	河川跡	15層	562-3	331-11	68.5	弥中
L-987	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			42.7	弥中
L-988	埴	ⅡB区	河川跡	15層	360-1		19.0	弥中
L-989	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			315.0	弥中
L-990	埴	ⅡB区	河川跡	15層	559-2	331-1	15.5	弥中
L-991	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層	566-2	332-7	40.0	弥中
L-992	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層	566-3	332-3	50.3	弥中
L-993	埴	ⅡB区	河川跡	15層			18.4	弥中
L-994	埴	ⅡB区	河川跡	15層	559-5	331-2	14.5	弥中
L-995	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			20.6	弥中
L-996	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			42.1	弥中
L-997	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	548-1	306-1	74.6	弥中
L-998	埴	ⅡB区	河川跡	15層	538-6	331-7	16.6	弥中
L-999	埴	ⅡB区	河川跡	15層	539-6	331-4	9.8	弥中
L-1000	埴	ⅡB区	河川跡	15層	561-1	331-9	10.8	弥中
L-1001	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層	561-2	331-10	8.2	弥中
L-1002	埴	ⅡB区	河川跡	15層	561-3	331-12	56.3	弥中
L-1003	埴	ⅡB区	河川跡	15層	567-2		17.8	弥中
L-1004	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			256.0	弥中
L-1005	埴	ⅡB区	河川跡	15層	560-3		46.3	弥中
L-1006	埴	ⅡB区	河川跡	15層	566-4		48.3	弥中
L-1007	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層	566-4		48.3	弥中
L-1008	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	15層	522-2	279-1	59.6	弥中
L-1009	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			41.0	弥中
L-1010	埴	ⅡB区	河川跡	13層			35.4	弥中
L-1011	埴	ⅡB区	河川跡	15層	561-4	331-13	60.9	弥中
L-1012	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			30.7	弥中
L-1013	埴	ⅡB区	河川跡	15層			32.5	弥中
L-1014	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			31.4	弥中
L-1015	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			35.6	弥中
L-1016	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層	566-5		42.9	弥中
L-1017	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層	565-1	332-9	33.1	弥中

遺物番号	形態・類別	地区	遺物名	形状	実測寸法	実量番号	全长	年代
L-1018	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			40.3	弥中
L-1019	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層	566-6		38.8	弥中
L-1020	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			27.3	弥中
L-1021	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			49.6	弥中
L-1022	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層	364-1	303-1	86.6	弥中
L-1023	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			27.5	弥中
L-1024	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層	564-3	333-2	75.7	弥中
L-1025	埴	ⅡB区	河川跡	13層	558-7	331-5	45.5	弥中
L-1026	埴	ⅡB区	河川跡	13層	558-7	331-5	16.4	弥中
L-1027	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			39.1	弥中
L-1028	埴	ⅡB区	河川跡	15層	562-4	332-1	66.3	弥中
L-1029	埴	ⅡB区	河川跡	15層			90.0	弥中
L-1030	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			102.6	弥中
L-1031	埴	ⅡB区	河川跡	15層	560-5		25.8	弥中
L-1032	埴	ⅡB区	河川跡	15層	560-4		58.6	弥中
L-1033	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層	366-3		59.6	弥中
L-1034	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			34.9	弥中
L-1035	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			19.0	弥中
L-1036	不明	ⅡB区	河川跡	15層	566-2		14.0	弥中
L-1037	埴	ⅡB区	河川跡	15層	558-1	329-8	21.5	弥中
L-1038	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			43.5	弥中
L-1039	埴	ⅡB区	河川跡	15層	562-5		48.4	弥中
L-1040	不明	ⅡB区	河川跡	15層			25.2	弥中
L-1041	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			64.9	弥中
L-1042	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			51.4	弥中
L-1043	平蓋丸埴	ⅡB区	河川跡	15層			54.7	弥中
L-1044	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			21.6	弥中
L-1045	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			16.0	弥中
L-1046	埴	ⅡB区	河川跡	15層	559-1	331-6	13.1	弥中
L-1047	埴	ⅡB区	河川跡	15層	557-2	330-3	14.9	弥中
L-1048	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			33.9	弥中
L-1049	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			75.4	弥中
L-1050	分銅片	ⅡB区	河川跡	15層			13.5	弥中
L-1051	埴	ⅡB区	河川跡	15層	568-5		74.3	弥中
L-1052	丸埴	ⅡB区	河川跡	15層	568-5		63.0	弥中
L-1053	丸埴	ⅡB区	河川跡	15層	568-5		20.0	弥中
L-1054	丸埴	ⅡB区	河川跡	15層	568-5		20.0	弥中
L-1055	埴	ⅡB区	河川跡	10層	399-3	322-2	90.8	弥中
L-1056	埴	ⅡB区	河川跡	10層	399-4		63.1	弥中
L-1057	丸埴	ⅡB区	河川跡	10層	402-1		100.6	弥中
L-1058	丸埴	ⅡB区	河川跡	10層	402-2		26.3	弥中
L-1059	丸埴	ⅡB区	河川跡	10層	402-3		20.0	弥中
L-1060	丸埴	ⅡB区	河川跡	10層	402-4		16.1	弥中
L-1061	木脚	ⅡB区	河川跡	10層	399-2	288-14	16.0	弥中
L-1062	分銅片	ⅡB区	河川跡	12層			67.2	弥中
L-1063	埴	ⅡB区	河川跡	12層	411-2	329-5	53.0	弥中
L-1064	赤埴	ⅡB区	河川跡	12層	412-6	339-8	84.8	弥中
L-1065	丸埴	ⅡB区	河川跡	12層	413-3		18.2	弥中
L-1066	赤埴	ⅡB区	河川跡	12層	413-2	339-9	104.4	弥中
L-1067	赤埴丸埴	ⅡB区	河川跡	12層	413-2	339-11	100.0	弥中
L-1068	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	12層	513-2	287-1	36.0	弥中
L-1069	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	12層	513-1	287-2	28.2	弥中
L-1070	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	15層	516-1	288-2	28.8	弥中
L-1071	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	15層	514-1	287-3	38.2	弥中
L-1072	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	15層	512-2	286-2	29.8	弥中
L-1073	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	15層	513-3	283-2	40.1	弥中
L-1074	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	15層	519-1	280-3	60.0	弥中
L-1075	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	15層	521-1	281-1	48.2	弥中
L-1076	直柄土甕	ⅡB区	河川跡	15層	518-2	281-3	48.0	弥中
L-1077	埴	ⅡB区	河川跡	15層	527-2	283-3	29.2	弥中
L-1078	埴	ⅡB区	河川跡	15層	524-4	297-4	12.6	弥中
L-1079	埴	ⅡB区	河川跡	15層	524-1	296-5	22.2	弥中
L-1080	埴	ⅡB区	河川跡	15層	525-3	297-5	7.2	弥中
L-1081	埴	ⅡB区	河川跡	15層	529-1	296-1	13.0	弥中
L-1082	埴	ⅡB区	河川跡	15層	526-2	294-3	36.0	弥中
L-1083	埴	ⅡB区	河川跡	15層	509-1	292-1	42.4	弥中
L-1084	埴	ⅡB区	河川跡	15層	531-1	291-2	38.8	弥中
L-1085	埴	ⅡB区	河川跡	15層	528-2	293-1	29.8	弥中
L-1086	打埴	ⅡB区	河川跡	15層	524-2	302-3	123.0	弥中
L-1087	打埴	ⅡB区	河川跡	15層	533-1	305-2	110.8	弥中
L-1088	打埴	ⅡB区	河川跡	15層	538-3	306-1	49.0	弥中
L-1089	埴	ⅡB区	河川跡	15層	338-2	305-2	52.0	弥中
L-1090	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	341-1	311-1	70.8	弥中
L-1091	赤色の埴	ⅡB区	河川跡	15層	554-4	319-3	57.2	弥中
L-1092								

中在家南遺跡登録遺物目録17

登録番号	品名・類別	地区	遺物名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代
L-1095	箸跡把手	IX区	河川跡	553	4	318-5	24.2	第・中
L-1096	板材	IX区	河川跡	558	2	329-9	9.8	第・中
L-1097	板材	IX区	河川跡	558	7	329-9	8.0	第・中
L-1098	扁石製物	IX区	河川跡	558	2	298	41.8	第・中
L-1099	扁石製物	IX区	河川跡	542	4	307-4	34.0	第・中
L-1100	扁石製物	IX区	河川跡	548	2	307	21.6	第・中
L-1101	扁石製物	IX区	河川跡	548	3	298-3	30.6	第・中
L-1102	扁石製物	IX区	河川跡	549	2	316	19.6	第・中
L-1103	扁石製物	IX区	河川跡	549	1	316-2	25.2	第・中
L-1104	扁石製物	IX区	河川跡	350	1	312	43.2	第・中
L-1105	扁石製物	IX区	河川跡	349	3	313-6	35.2	第・中
L-1106	扁石	IX区	河川跡	354	2	318-6	22.2	第・中
L-1107	香爐	IX区	河川跡	504	1	318-7	41.2	第・中
L-1108	打棒	IX区	河川跡	537	2	299-5	118.8	第・中
L-1109	打棒	IX区	河川跡	534	3	301	104.8	第・中
L-1110	打棒	IX区	河川跡	535	2	301	110.6	第・中
L-1111	不明	IX区	河川跡	539	2	305-5	71.2	第・中
L-1112	扁石製物	IX区	河川跡	549	2	311-2	72.2	第・中
L-1113	扁石製物	IX区	河川跡	545	3	307	83.8	第・中
L-1114	扁石製物	IX区	河川跡	543	1	308-1	84.0	第・中
L-1115	扁石製物	IX区	河川跡	547	1	307	86.4	第・中
L-1116	一木平刀	IX区	河川跡	532	2	298-1	158.4	第・中
L-1117	扁石製物	IX区	河川跡	549	1	306	76.8	第・中
L-1118	扁石製物	IX区	河川跡	519	2	281-2	51.6	第・中
L-1119	打棒	IX区	河川跡	306	1	299	109.8	第・中
L-1120	打棒	IX区	河川跡	337	1	299-2	116.0	第・中
L-1121	打棒	IX区	河川跡	536	2	299-3	117.6	第・中
L-1122	打棒	IX区	河川跡	503	2	317	89.2	第・中
L-1123	打棒	IX区	河川跡	552	2	316-6	116.8	第・中
L-1124	扁石製物	IX区	河川跡	517	5	282	62.0	第・中
L-1125	打棒	IX区	河川跡	534	1	305-2	92.4	第・中
L-1126	遺物製物	IX区	河川跡	529	2	290	42.8	第・中
L-1127	打棒	IX区	河川跡	501	1	305-7	27.0	第・中
L-1128	打棒	IX区	河川跡	530	2	297	19.2	第・中
L-1129	打棒	IX区	河川跡	558	5	303-3	151.6	第・中
L-1130	打棒	IX区	河川跡	556	1	306	11.8	第・中
L-1131	板材	IX区	河川跡	537	1	291	21.9	第・中
L-1132	丸杖	IX区	河川跡	561	6	334-8	62.6	第・中
L-1133	内杖	IX区	河川跡	567-7			206.5	第・中
L-1134	分銅材	IX区	河川跡	567			36.5	第・中
L-1135	分銅材	IX区	河川跡	567			37.6	第・中
L-1136	分銅材	IX区	河川跡	567			74.6	第・中
L-1137	角杖	IX区	河川跡	561	5	332-2	120.1	第・中
L-1138	打棒	IX区	河川跡	538	3	304	33.9	第・中
L-1139	分銅材	IX区	河川跡	563	1	333-3	82.0	第・中
L-1140	分銅材	IX区	河川跡	563	5		105.2	第・中
L-1141	分銅材	IX区	河川跡	563	5		43.5	第・中
L-1142	分銅材	IX区	河川跡	563	3		117.2	第・中
L-1143	分銅材	IX区	河川跡	563	1		38.9	第・中
L-1144	分銅材	IX区	河川跡	563	1	333-4	129.9	第・中
L-1145	板材	IX区	河川跡	559	3		14.4	第・中
L-1146	分銅材	IX区	河川跡	567			41.8	第・中
L-1147	分銅材	IX区	河川跡	565	4		45.2	第・中
L-1148	分銅材	IX区	河川跡	569	7	332-10	38.7	第・中
L-1149	半截丸杖	IX区	河川跡	567	3		42.5	第・中
L-1150	丸杖	IX区	河川跡	562	2	332	84.0	第・中
L-1151	板材	IX区	河川跡	567			32.5	第・中
L-1152	板材	IX区	河川跡	538	3	329	10	第・中
L-1153	板材	IX区	河川跡	567			30.5	第・中
L-1154	分銅材	IX区	河川跡	567			13.2	第・中
L-1155	丸杖	IX区	河川跡	567			94.3	第・中
L-1156	板材	IX区	河川跡	559	9		64.7	第・中
L-1157	分銅材	IX区	河川跡	567			85.9	第・中
L-1158	板材	IX区	河川跡	567			38.9	第・中
L-1159	分銅材	IX区	河川跡	567			44.8	第・中
L-1160	角杖	IX区	河川跡	567			15.8	第・中
L-1161	半截丸杖	IX区	河川跡	567	1	334	30.3	第・中
L-1162	分銅材	IX区	河川跡	564	4		41.0	第・中
L-1163	丸杖	IX区	河川跡	562	1		120.0	第・中
L-1164	分銅材	IX区	河川跡	567			22.8	第・中
L-1165	分銅材	IX区	河川跡	567			42.0	第・中
L-1166	分銅材	IX区	河川跡	567			24.8	第・中
L-1167	板材	IX区	河川跡	568	4		11.6	第・中
L-1168	分銅材	IX区	河川跡	565	6		26.2	第・中
L-1169	分銅材	IX区	河川跡	565	5		90.9	第・中
L-1170	分銅材	IX区	河川跡	565	3		39.2	第・中
L-1171	角杖	IX区	河川跡	561	6	332-4	118.8	第・中

登録番号	品名・類別	地区	遺物名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代		
L-1172	分銅材	IX区	河川跡	15階	566	1	20.9	第・中		
L-1173	分銅材	IX区	河川跡	15階			24.0	第・中		
L-1174	不明	IX区	河川跡	15階	568	1	20.8	第・中		
L-1175	分銅材	IX区	河川跡	15階			28.4	第・中		
L-1176	分銅材	IX区	河川跡	15階			42.3	第・中		
L-1177	板材	IX区	河川跡	15階			21.6	第・中		
L-1178	板材	IX区	河川跡	15階	558-5	331	15.1	第・中		
L-1179	板材	IX区	河川跡	15階	557	3	330	22.2	第・中	
L-1180	遺物製物	IX区	河川跡	15階	516	4	282	22.9	第・中	
L-1181	板材	IX区	河川跡	15階			49.2	第・中		
L-1182	板材	IX区	河川跡	15階			43.4	第・中		
L-1183	板材	IX区	河川跡	15階	560	6	98.6	第・中		
L-1184	丸杖	IX区	河川跡	15階	521	2	279	49.4	第・中	
L-1185	扁石製物	IX区	河川跡	15階			38.8	第・中		
L-1187	分銅材	IX区	河川跡	15階			52.7	第・中		
L-1188	分銅材	IX区	河川跡	15階	563	2	334	51.0	第・中	
L-1189	丸杖	IX区	河川跡	15階	567	5	334	42.0	第・中	
L-1190	分銅材	IX区	河川跡	15階			89.5	第・中		
L-1191	分銅材	IX区	河川跡	15階	363	2	334	100.4	第・中	
L-1192	分銅材	IX区	河川跡	15階			69.7	第・中		
L-1193	分銅材	IX区	河川跡	15階			44.6	第・中		
L-1194	丸杖	IX区	河川跡	15階	567	4	109.3	第・中		
L-1195	分銅材	IX区	河川跡	15階	563	4	123.0	第・中		
L-1196	板材	IX区	河川跡	15階	560	2	18.9	第・中		
L-1197	板材	IX区	河川跡	15階	556	2	326	2	87.6	第・中
L-1198	板材	IX区	河川跡	15階	509	10	50.5	第・中		
L-1199	分銅材	IX区	河川跡	15階			106.9	第・中		
L-1200	丸杖	IX区	河川跡	15階	568	7	17.2	第・中		
L-1201	丸杖	IX区	河川跡	15階	568	8	21.2	第・中		
L-1202	網鉄	IX区	河川跡	15階	568	3	46.8	第・中		
L-1203	網鉄	IX区	河川跡	15階	568	4	30.6	第・中		

N. 金属製品

登録番号	品名・類別	地区	遺物名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代	
N-1	刀	VI区	河川跡	2階	279	2	340	6.0	近世
N-2	小刀	VI区	河川跡	3階	283	5	340	30.0	
N-3	鎌状鉄片	VI区	河川跡	3階	283	4	340	25.0	
N-4	鎌	VI区	河川跡	3階	283	6	340	8.3	
N-5	鎌	VI区	河川跡	7階	305	5	340	5.4	平安
N-6	釘	VI区	河川跡	7階	305	6	340	3.7	平安
N-7	鉄状鉄片	VI区	河川跡	13階	405	1	340	12.5	古・前

O. 自然遺物

登録番号	品名・類別	地区	遺物名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代
O-1	キノコ	II区		14階				第・中

P. 土製品

登録番号	品名・類別	地区	遺物名	層位	実測番号	写真番号	全長	年代	
P-1	土甕	II区	河川跡	2階	150	1	341	2.3	
P-2	土甕	IX区	河川跡	3階	150	4	341	2.4	
P-3	土甕	III区	河川跡	1階	242	2	341	3.5	
P-4	不明	VI区	河川跡	7階	305	7	342	8 (11.1)	平安
P-5	不明	VI区	河川跡	8階	309	2	342	9 (7.3)	平安
P-7	土甕	IX区	河川跡	11階	339	11	341	4.6	古・中
P-7	土甕	IX区	河川跡	11階	339	9	341	6.7	古・中
P-8	土甕	VI区	河川跡	11階	339	10	341	3.5	古・中
P-9	土甕	IX区	河川跡	11階	339	7	341	4.1	古・中
P-10	土甕	VI区	河川跡	11階	339	8	341	3.1	古・中
P-11	土甕	IX区	河川跡	14階	344	4	341	4.2	古・前
P-12	土甕	VI区	河川跡	14階	344	3	341	3.6	古・前
P-13	土甕	IX区	河川跡	14階	344	2	341	3.0	古・前
P-14	土甕	VI区	河川跡	14階	344	1	341	3.3	古・前
P-15	スプーン	IX区	河川跡	14階	560	1	342	6.2	第・中
P-16	スプーン	IX区	河川跡	14階	569	2	342	2.2	第・中
P-17	陶輪?	IX区	河川跡	14階	569	4	342	5.1	第・中
P-18	陶輪?	IX区	河川跡	14階	569	3	342	4.0	第・中
P-19	陶輪?	IX区	河川跡	14階	569	7	342	6.1	第・中
P-20	陶輪?	IX区	河川跡	14階	569	5	342	3.8	第・中
P-21	陶輪?	IX区	河川跡	13階	369	6	342	4.4	第・中

中在家南遺跡登録遺物目録18

Q. 骨角製品

登録番号	品名・種別	地区	遺跡名	層位	発掘番号	年表	年代
Q-1	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層	571-7	344-6	5.4 弥・中
Q-2	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	573-6	347-2	6.2 弥・中
Q-3	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	14層	571-3	344-7	7.5 弥・中
Q-4	骨角製品	Ⅱ区	河川跡	14層	572-2	346-1	11.3 弥・中
Q-5	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層	574-9	348-9	4.5 弥・中
Q-6	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層	571-9	345-1	6.8 弥・中
Q-7	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	572-1	345-4	12.2 弥・中
Q-8	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層	374-7	348-7	6.0 弥・中
Q-9	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-18	348-18	10.4 弥・中
Q-10	未製品	Ⅱ区	河川跡	15層	375-3	349-6	11.5 弥・中
Q-11	加工品	Ⅱ区	河川跡	15層	375-7	349-10	5.0 弥・中
Q-12	加工品	Ⅱ区	河川跡	15層	376-1	350-4	7.9 弥・中
Q-13	未製品	Ⅱ区	河川跡	15層	374-12	349-3	9.7 弥・中
Q-14	加工品	Ⅱ区	河川跡	15層	376-7	350-8	13.3 弥・中
Q-15	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	371-2	344-2	5.2 弥・中
Q-16	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-8	345-8	6.3 弥・中
Q-17	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-1	343-1	4.9 弥・中
Q-18	その他	Ⅱ区	河川跡	15層	572-2	351-2	10.6 弥・中
Q-19	加工品	Ⅱ区	河川跡	15層	575-9	349-12	8.8 弥・中
Q-20	加工品	Ⅱ区	河川跡	15層	575-6	349-9	5.2 弥・中
Q-21	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層	571-11	345-2	7.8 弥・中
Q-22	加工品	Ⅱ区	河川跡	15層	576-9	350-7	6.4 弥・中
Q-23	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層	574-6	348-6	4.3 弥・中
Q-24	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層	571-5	348-3	2.5 弥・中
Q-25	未製品	Ⅱ区	河川跡	15層	574-11	349-2	8.3 弥・中
Q-26	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	373-8	347-4	8.6 弥・中
Q-27	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	373-10	347-6	4.4 弥・中
Q-28	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	373-9	347-5	1.8 弥・中
Q-29	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-9	343-11	6.4 弥・中
Q-30	加工品	Ⅱ区	河川跡	15層	376-5	350-6	7.7 弥・中
Q-31	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-16	343-16	6.9 弥・中
Q-32	へら	Ⅱ区	河川跡	15層	373-4	346-11	8.4 弥・中
Q-33	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層	371-5	345-3	10.9 弥・中
Q-34	へら	Ⅱ区	河川跡	15層	372-6	346-5	13.6 弥・中
Q-35	加工品	Ⅱ区	河川跡	15層	376-1	350-1	13.3 弥・中
Q-36	加工品	Ⅱ区	河川跡	15層			弥・中
Q-37	加工品	Ⅱ区	河川跡	15層	377-1	351-1	20.2 弥・中
Q-38	加工品	Ⅱ区	河川跡	15層	376-8	350-9	12.0 弥・中
Q-39	未製品	Ⅱ区	河川跡	15層	373-2	349-5	16.6 弥・中
Q-40	へら	Ⅱ区	河川跡	15層	372-5	345-4	14.1 弥・中
Q-41	へら	Ⅱ区	河川跡	15層	372-4	345-3	15.0 弥・中
Q-42	未製品	Ⅱ区	河川跡	15層	375-1	349-4	17.5 弥・中
Q-43	未製品	Ⅱ区	河川跡	15層	375-4	349-7	11.7 弥・中
Q-44	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層	371-8	344-7	9.9 弥・中
Q-45	未製品	Ⅱ区	河川跡	15層	375-5	349-8	13.5 弥・中
Q-46	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	373-11	347-7	1.5 弥・中
Q-47	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	373-7	347-3	6.4 弥・中
Q-48	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層			弥・中
Q-49	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	373-12	347-8	2.0 弥・中
Q-50	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層	374-8	348-8	7.8 弥・中
Q-51	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層	374-3	348-3	1.2 弥・中
Q-52	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	373-5	347-1	7.6 弥・中
Q-53	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層	374-2	348-2	15.2 弥・中
Q-54	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-5	343-5	6.8 弥・中
Q-55	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-7	343-7	5.8 弥・中
Q-56	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-17	343-17	6.1 弥・中
Q-57	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-15	343-15	9.4 弥・中
Q-58	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-14	343-14	10.5 弥・中
Q-59	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	371-4	344-4	6.5 弥・中
Q-60	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	371-1	344-1	4.8 弥・中
Q-61	へら	Ⅱ区	河川跡	15層	372-3	346-2	11.9 弥・中
Q-62	加工品	Ⅱ区	河川跡	15層	376-5	350-5	3.1 弥・中
Q-63	加工品	Ⅱ区	河川跡	15層	376-3	350-3	2.9 弥・中
Q-64	加工品	Ⅱ区	河川跡	15層	373-8	349-11	5.7 弥・中
Q-65	へら	Ⅱ区	河川跡	15層	373-1	346-8	8.7 弥・中
Q-66	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層	374-1	348-1	17.9 弥・中
Q-67	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-4	343-4	4.9 弥・中
Q-68	加工品	Ⅱ区	河川跡	15層	376-2	350-2	7.0 弥・中
Q-69	へら	Ⅱ区	河川跡	15層	372-7	346-6	5.2 弥・中
Q-70	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層	374-4	348-4	1.5 弥・中
Q-71	へら	Ⅱ区	河川跡	15層	372-8	346-7	3.2 弥・中
Q-72	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-3	343-3	5.6 弥・中
Q-73	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-6	343-6	1.2 弥・中
Q-74	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-2	343-2	5.0 弥・中
Q-75	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層	371-6	344-3	5.0 弥・中

登録番号	品名・種別	地区	遺跡名	層位	発掘番号	年表	年代
Q-76	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-12	343-9	2.0 弥・中
Q-77	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-13	343-10	1.2 弥・中
Q-78	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-10	343-12	5.9 弥・中
Q-79	弥生銅製器具	Ⅱ区	河川跡	15層	370-11	343-13	1.3 弥・中
Q-80	新発見品	Ⅱ区	河川跡	15層	371-10	344-6	8.7 弥・中
Q-81	へら	Ⅱ区	河川跡	15層	372-9	346-9	1.7 弥・中
Q-82	未製品	Ⅱ区	河川跡	15層	371-10	349-1	6.3 弥・中
Q-83	へら	Ⅱ区	河川跡	15層	377-3	351-3	16.6 弥・中
Q-84	へら	Ⅱ区	河川跡	15層	373-3	346-10	4.9 弥・中

X. その他の遺物

登録番号	品名・種別	地区	遺跡名	層位	発掘番号	年表	年代
X-1	鏡	Ⅱ区		13層			弥・前

## 報告書抄録

ふりがな		なかざいけみなみいせきほか						
書名		中在家南遺跡他						
副書名		仙台市荒井十地区函整理事業関係遺跡調査報告書						
巻次								
シリーズ名		仙台市文化財調査報告書						
シリーズ番号		第213集						
編著者名		工藤哲司・赤澤靖章・斎野裕彦・須藤隆・鈴木三男・富岡直人						
編集機関		仙台市教育委員会						
所在地		〒980-71 宮城県仙台市青葉区洞分町三丁目7-1 TEL. 022-214 8893～8894						
発行年月日		1996年12月23日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
荒井館跡	仙台市若林区 荒井字矢取59 他	04100	01232	381426	1405701	19891113～19891116	30㎡	仙台市荒井十地区 函整理事業
荒井畑中遺跡	仙台市若林区 荒井字畑中43 他	04100	01431	381425	1405649	19890615～19890711	100㎡	
高屋敷遺跡	仙台市若林区 荒井字高屋敷 22他	04100	01430	381427	1405631	19890619～19890726	90㎡	
押口遺跡	仙台市若林区 荒井字大場伝 28他	04100	01312	381429	1405638	19890910～19891107	960㎡	
中在家南遺跡	仙台市若林区 荒井字中在家 23他	04100	01427	381420	1405612	19880801～19881105	3408㎡	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
荒井館跡	城館	近世	溝跡・土坑	土師器・陶器・磁器				
荒井畑中遺跡	散布地	平安～近世	溝跡・土坑・掘立柱 建物跡	土師器・須恵器・陶器・ 磁器				
高屋敷遺跡	散布地	古墳～平安	溝跡・土坑・遺物包 含層	土師器・須恵器・陶器・ 磁器・石製品				
押口遺跡	散布地 河川跡	弥生～中世	土坑・水田跡	弥生土器・土師器・須 恵器・石器・木製品				
中在家南遺跡	集落 河川跡	弥生～中世	溝跡・土坑・竪穴住 居跡・掘立柱建物 跡・土器棺墓・土墳 墓・方形周溝墓・遺 物包含層	弥生土器・土師器・須 恵器・石器・木製品・ 鉄製品・土製品・骨角 器				

---

仙台市文化財調査報告書第213集

**中在家南遺跡他**

仙台市荒井土地区画整理事業  
関係遺跡発掘調査報告書

第1分冊 本文編

1996年12月

発行 仙台市教育委員会

仙台市青葉区国分町三丁目7番1号  
文化財課 022(214)8893

印刷 株式会社 東北プリント

仙台市青葉区立町24-24  
TEL 022(263)1166

---

